KIER DISCUSSION PAPER SERIES

KYOTO INSTITUTE
OF
ECONOMIC RESEARCH

Discussion Paper No. 2401

ロシアにおける新型コロナ感染症下でのソーシャル・キャピタルに関する調査研究

溝端 佐登史 ・横川 和穂 ・Victor Gorshkov ・林 裕明 ・Vasiliy Anikin

2024 年 6 月

KYOTO UNIVERSITY

KYOTO, JAPAN

ロシアにおける新型コロナ感染症下でのソーシャル・キャピタルに関する調査研究*

溝端 佐登史[a]・横川 和穂[b]・Victor Gorshkov[c]・林 裕明[d]・Vasiliy Anikin[e]

* 本調査研究は、日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B)一般「ソーシャル・キャピタルによるロシアの社会構造に関する研究」（20H04404: 研究代表者・溝端佐登史）、領域開拓プログラム国立大学法人京都大学「エビデンスに基づく感染症拡大の経済学・疫学連携研究と政策分析/課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業」（2020-2023 年、100203800002)および京都大学経済研究所先端政策分析研究センターの助成を受けて行われたものである。

[a] 京都大学経済研究所

[b] 神奈川大学経済学部

[c] 新潟県立大学国際経済学部

[d] 立命館大学経済学部

[e] HSE University, Russia

ロシアにおける新型コロナ感染症下でのソーシャル・キャピタルに関する調査研究

要　旨

本調査研究は、ロシアにおけるソーシャル・キャピタルのあり方を解明するために、2022 年 2 月～3 月にかけて実施されたアンケート調査を取りまとめたものである。人びとのネットワーク、社会的信頼、市民参加に加え、新型コロナ感染症による影響や政策への評価、また調査実施時に勃発したロシア・ウクライナ間の軍事紛争に対する考え方についても尋ねている。調査はロシア側研究者の協力の下、ロシア全土の 1700 名に対して電話インタビューの形で行われた。ロシアにおいては一般的な信頼が低い一方で、家族・親族間の結びつき、信頼は極めて強く、コロナ禍においてもそのネットワークを介した助け合いが機能した。また、制度的信頼の中で大統領への信頼が突出して高いことが、現在のロシア政府の政策への支持にもつながっている。

JEL classification: A13, A14, P52

キーワード：ソーシャル・キャピタル、ロシア、COVID-19、社会的ネットワーク、信頼、市民参加

Social Capital in Russia during the COVID-19 Pandemic

Abstract

This paper summarizes the survey results on social capital in Russia conducted from February to March 2022 via computer-assisted telephone interviewing by a Russian research agency. The total number of respondents is 1,700 people covering all major federal districts of Russia. The survey focuses on people's social networks, social trust, civic participation, the impact of COVID-19, and perceptions of Russian citizens towards the Russia-Ukraine military conflict and other social and economic policy issues. The survey results demonstrate that while general trust in Russia remains low, particularized trust such as trust in family and kinship networks is extremely strong. Thus, mutual assistance through family ties and close relatives has functioned positively during the pandemic. In addition, trust in the president is particularly high among trust in other institutions, leading to a high level of support for the current policies of Russia's government.

JEL classification: A13, A14, P52

Key words: social capital, Russia, COVID-19, social network, trust, civic participation

目　次

はじめに
1.　ロシアにおけるソーシャル・キャピタルの課題
2.　調査方法と回答者属性
3.　調査結果と解説
　A.　社会的ネットワークと組織への参加
　B.　社会的信頼
　C.　可能性と影響
　D.　社会的結束と包摂
　E.　集団行動と協同
　F.　パンデミックの影響
　G.　社会政治的態度
　H.　回答者の基本情報
おわりに
引用文献
付録：アンケート質問票

はじめに

ロシアの経済システムが特殊なのか否かは、体制転換後のひとつの論争点と言うことができる。中所得の普通の国という見方（Shleifer and Treisman, 2005）がひとつの極であるとすれば、もうひとつの極はロシアがドラスチックな体制転換を経験したにもかかわらず変わらない構造を有し経路依存的進化を遂げたと見る見方（Hedland, 2005）であろう。いずれもがロシア市場のあり方、結果としての経済水準に光を当てているが、最大の問題は人びとの行動変化にあると言って過言ではない。確かにロシアは市場経済を形成し、ショッピングモールやネットショッピングを例に出すまでもなくそれは西側先進国のそれを想起させるように機能しているのだが、そこでの経済主体の利害、行動は必ずしも世界標準と一致しているわけではない。非公式制度・非公式部門の大きさ、人びとの国家に対する依存心と人的ネットワークを重視した行動がそれを示唆する。世界銀行の Doing Business の水準は日本と変わらないにもかかわらず、汚職の水準は世界的に見て群を抜いて低く、アフリカ並みの水準となるギャップもまた、人びとの独自の行動結果を表現する。

ロシア経済・ロシア市場を考察する場合、それゆえ人びとの行動そのものが重要な手掛かりになり、とくにソーシャル・キャピタル研究が有力な手段となる。『世界価値観調査』（Haerpfer et al., 2022）[1]のように国際的な価値観の比較研究を行う上で欠くことのできないデータもロシアをカバーしている。同データによると、ロシアは国有の存在には寛容で、政治への信頼は低くても政府の責任は強く意識されている。国際的なデータだけではなく、ロシア国内で実施されている社会調査もまた存し、その代表的なものがソ連時代は全連邦世論調査センター（VCIOM）[2]、および同センターの中心的存在の Y. レヴァダ（Yuri Levada、1930-2006 年）のチームが研究を続け 2003 年に設立した非政府機関のレヴァダ分析センター[3]であり、いずれもが社会調査・世論調査を実施している。

本調査研究は、ロシアにおけるソーシャル・キャピタルの動向、とくに新型コロナ感染症が与えた影響を考察することを狙いとして、大規模なアンケート調査を実施し、その考察を行うものである。本研究は、ロシアにおける市場、企業、国家の行動をソーシャル・キャピタルの

---

[1] 『世界価値観調査』（Haerpfer et al., 2022）WVS: World Value Survey, https://www.worldvaluessurvey.org/wvs.js、ロシアの直近の調査は 2017 年。

[2] 1987 年に労働省・労働組合評議会の一部として設立され、体制転換後 1998 年にユニタリー企業（国有）となり、2003 年に完全国家所有の公開株式会社 ВЦИОМ（VCIOM）として登録されている。最初の所長は社会学の重鎮 T. ザスラフスカヤ（所長任期 1987-1992 年）、第 2 代所長は Y. レヴァダ（同 1992-2003 年）である。労働省などの代表者が取締役会のメンバーになっており、現在の所長は大統領府第一副長官顧問の V. フョードロフ（2003-現在）である。The Monitoring of Public Opinion: Economic and Social Changes を刊行している。例えば、2024 年 5 月 6-12 日大統領の活動に対する信認は 78.9%で、プーチン個人の信認は 81%であった（https://wciom.ru, 2024 年 5 月 20 日アクセス）。

[3] 2003 年に VCIOM のレヴァダを中心とするチームが立ち上げた非政府系世論調査機関。レヴァダ（所長任期 2003-2006 年）が最初の所長で、2013 年までザスラフスカヤが理事長であった。次いで L. グトコフ（同 2006-2021 年）、D. ヴォルコフが継いでいる。センターは«Вестник общественного мнения: Данные. Анализ. Дискуссии»を刊行している（https://www.levada.ru, 2024 年 5 月 20 日アクセス）。

観点から分析し、ロシア社会の構造を明らかにすることを目的として組織されたロシア経済・社会を専門とする研究者による共同研究チームの研究成果である。上記のように西側先進諸国とは大きく異なる経済制度を構成し、国家主導性の強いロシアの経済システム（溝端編, 2022）を研究する場合、経済学において自明と考えられた人びとの価値観および動機、刺激メカニズムを再考することは避けられない。

さらに、本研究の独自性を特徴づけているのは、次の 2 つの点である。ひとつは、社会を見通す X 線効果を有する新型コロナ感染症に対する社会の反応を調査することで、社会がどのようにパンデミックに対応できたのかを分析している。こうした研究は、ソーシャル・キャピタルが感染予防行動に対する意思決定にプラス効果を有しており、地域でのネットワークや政府の信頼の醸成の感染症対策上の有効性を示している関根（2022）あるいは、パンデミックの抑制要因としてのソーシャル・キャピタルに注目した Никишина, Коробкова （2022）に見られるように、世界的に種々の調査、研究が実施された。ロシアでもいち早く体系的な研究が行われており、Плаксин, Жулин, Фаризова, ред. (2021) が代表的な研究成果と言うことができる。

もうひとつは、2022 年 2 月 24 日に始まるロシアーウクライナ間の軍事紛争がもたらした社会への影響である。軍事紛争状態にあることは、「特別軍事作戦」下であっても一般市民に認識されていることであるが、人びとはそうした状態を消極的であっても支持する背景、あるいは紛争状態が人びとの行動に及ぼす影響は、国家への信頼などを通して確認することが可能となる。本研究が注目している点である。

共同研究チームは 2020－2025 年科学研究費補助金基盤研究（B）一般「ソーシャル・キャピタルによるロシアの社会構造に関する研究」(20H04404: 研究代表者・溝端佐登史）に携わり、研究代表者以外に、林裕明、横川和穂、Victor Gorshkov が研究分担者となっている。また、ロシアのソーシャル・キャピタル研究に精通しかつ実際に社会調査経験を有する Vasiliy Anikin（ロシア高等経済大学院）が本研究に直接、共同研究者として参加している。

本研究はロシアを対象としてソーシャル・キャピタルに関する主観調査（アンケート調査）を実施しデータ構築を行うことで上記研究課題に接近することを計画していた。その際、比較経済学を専門とする研究チームはロシアを国際比較の視座からも接近するうえで、日本におけるソーシャル・キャピタル研究を並行して行うことも研究課題に含めることとして、本調査研究に至った。とりわけ、このことは 2019 年秋に始まる新型コロナ感染症に対する人びとの反応、社会・国家の対応を比較するうえでも、先行研究にはない接近になると考えている。比較研究のために 2022 年 1 月に実施した日本の調査結果は、京都大学経済研究所ディスカッションペーパー『日本における新型コロナ感染症下でのソーシャル・キャピタルに関する調査研究』(No.2304、2024 年 3 月発行）(溝端他, 2024）に取りまとめ、公表している。参照されたい。

ロシアにおける研究調査結果の分析・取りまとめに際し、A. ネットワーク、D.社会的結束、G.社会政治的態度は横川和穂が、B.社会的信頼および E. 集団行動と協同については Victor Gorshkov が、C.可能性と影響、および H.回答者に関する質問は林裕明が、F.新型コロナ感染症に関する質問については溝端と横川が担当した。また、質問票の作成は、『世界価値観指標』および過去のロシアにおける研究に依拠しつつ全員で対応したが、直近のロシアの調査・研究と比較する意図から、Vasiliy Anikin が全体の調整を行っている。両国における質問の対比は末

尾の付録、アンケート質問票に示している。

本調査研究は、2022 年 2−3 月のロシアにおけるアンケート調査結果を取りまとめている。ロシアのソーシャル・キャピタルおよび新型コロナ感染症に関する研究に資するだけでなく、同時期に実施した日本を対象にした調査研究と重ね合わせることで、新しい比較研究の手掛かりにもなると考えている。さらに、2022 年 2 月のロシアーウクライナ間の軍事紛争勃発後の時期に焦点をあてて調査することで、世界最初のロシアの「軍事紛争」に対する世論調査の役割も果たしている。ソーシャル・キャピタルと紛争に対する意識も本調査で読み取ることが可能となる。なお、本調査の取りまとめに際して、分析部分での図表は第 1 図、第 1 表の様式で表記し、アンケート調査結果をまとめた部分では問の番号に沿って、図 1 の様式で表記している。

1. ロシアにおけるソーシャル・キャピタルの課題

世界的に見て、ロシアのソーシャル・キャピタルの評価は必ずしも低いわけではなく、中位の水準にあるとみることができる。イギリス Legatum Institute の繁栄指数（Legatum Prosperity Index）は、貧困から繁栄への経路を明らかにするツールとして開発されたもので、包摂的社会、オープン経済、能力のある人びとの 3 つの領域からなる 12 の柱で構成され、そのひとつの柱としてソーシャル・キャピタルが位置付けられている 。2023 年の調査では、日本は、繁栄指数では 167 カ国中 16 位の上位にあっても、ソーシャル・キャピタルは 141 位ととびぬけて低い。対照的に、繁栄指数 77 位のロシアのソーシャル・キャピタル順位は 54 位で、決して低いというわけではない。ロシア・ウクライナ軍事紛争と反体制派への抑圧からボイス、ボランティア、投票面での社会・市民参加の水準は低くなっているが、信頼の水準は高い。ロシアの一般的信頼の水準を低く評価する研究（Maltseva, 2012）があるのだが、OECD でも一般的信頼についてロシアは中位の水準とみなされる（Algan, 2018)。このほか、ロシアの社会特性、信頼感の独自性を分析したものとして、石川他（2017）がある。友人信頼、政府信頼の高さが注目され、ロシア社会を特徴づけている。また、ロシア・ウクライナ紛争にかかわって Volkov and Kolesnikov（2022)があり、世論・立場の分極化が示唆されている。

ロシアの体制転換においてソーシャル・キャピタルの評価は必ずしも一致したものではないが、転換後に多くの研究が生み出されている。いずれもロシアに存するソーシャル・キャピタルがどのようなものか、その水準がどのように転換・経済発展に影響するのかに関心が置かれている。また、国家主導性の強い経済システムを前提にすると、国家がソーシャル・キャピタルを代替するのかもまた研究課題になるだろう。

非公式制度の作動からソーシャル・キャピタルの弱さが強調される（Schrader, 2004)。福祉国家としての脆弱性、格差の問題は個人化などのソーシャル・キャピタルの弱さに関連する（Alfio, 2006)。Buttrick and Moran（2005）もロシアのソーシャル・キャピタルが企業家をもたらさず、豊かさに結び付いていないと論ずる。さらに、Kennedy and Kawachi（1998）はソーシャル・キャピタルの不十分さと大量死に相関を見出し、Eberstadt（2010）もソーシャル・キャピタルの不足を人口問題の主要因と見なしている。Gundacker and Fidrmuc（2017）は、むしろ逆に強いソーシャル・キャピタルとオリガルヒの相関に着目して、地域におけるネットワークが脆弱な公的ガバナンスに代替したと捉える。

その一方で、Petro（2001）は、ノヴゴロド地域の成功を手掛かりに経済パフォーマンス、政府の信頼、連動した活動から、地域におけるソーシャル・キャピタルの水準を高く評価する。Marsh（2000）もロシアにおける民主化とソーシャル・キャピタルの正の相関を主張している。さらに、Borisova et al.（2017）はロシアにおけるブリッジング型のソーシャル・キャピタルを重視し、それによってたとえ制度が脆弱でも再分配の公的支援を促すと主張している。

両方の折衷的な接近は、2007 年の調査に基づく Menyashev and Polishchuk（2011）であり、異質なものを結び付ける橋渡し型（ブリッジング）ソーシャル・キャピタルと、同質なものが結びつく紐帯強化型（ボンディング）ソーシャル・キャピタルを区分し（稲葉 2007, 7)、橋渡し型と都市の発展の間には正の相関がみられるが、紐帯強化型は制度の質を落とし、都市の発

展に負に作用すると結論している。すなわち、ロシアは近代的なものと非近代的なものが混在する状況にある。この矛盾に満ちた人間行動のタイプは、レヴァダの研究から、「ずる賢い人間（The Wily Man)」とさえ特徴づけられる（Yaffa, 2020, 10)。それは、「社会の現実に適応し、統治機構の中の見落としや欠落部分を探し、自分自身の利益のためにゲームのルールを使おうとし…、国家の保護を必要とするように見え…国家のために奉仕したいとは望まない」（Yaffa, 2020, 10-11）人間像に他ならない。

本研究でも、ロシアにおけるソーシャル・キャピタルを特徴づけるとともに、市場経済化、経済発展に対する影響を考察し、「ずる賢い人間」像に迫ろう。とりわけ、新型コロナ感染症および国際的な軍事紛争のロシアに対する影響をあわせて分析することで、人びとの危機に対する考え方もまた明らかになる。

2. 調査方法と回答者属性

(1) 調査方法と内容

本科学研究費補助金基盤研究 B は 2020 年度に開始し、まず 2020 年度は主に内外の文献研究を行い、課題を明確にしたうえで、2021 年度に日本とロシアのソーシャル・キャピタルと新型コロナ感染症に対する人びとの反応・意識・行動を考察するためのアンケート調査の準備に取り掛かった。主に『世界価値観調査』と岩井・宍戸（2021）に依拠しながら、かつ 2021 年夏から秋にかけてロシアの共同研究者 Vasiliy Anikin を含めた ZOOM 会議を頻繁に開催し、アンケート項目の精査を行った。最終のアンケート項目は日本を対象としたものとロシアを対象にしたものをそれぞれ準備し、いずれについても日本語、英語、ロシア語で準備した。なお、本調査研究末尾に付録の形で質問票を添付している。質問票で最大の議論、懸念事項となったのは収入の区分であった。所得格差が特に地域間で大きいロシアと比較的地域間の格差が小さい日本とでは、平均収入を取り出しそれを階層区分化するという作業は簡単ではなく、結局日本は単純に全国一律で６階層に区分したが、ロシアでは５階層に分けたうえで、地域間（連邦管区）の格差を反映して、基準額を地域ごとに違えている。第３分位（中位）の収入金額で見れば、もっとも低い北カフカス連邦管区（15000－24000 ルーブル）から、もっとも高いモスクワを含む中央連邦管区（31000－50000 ルーブル）まで倍以上の格差が存している。

ロシアを対象として調査は、共同研究者が主宰する個人企業（Individual Entrepreneur Anikin Vasily Aleksandrovich PSRN IE）に調査を依頼し、電話による聞き取り調査の方法に基づく。調査時期は戦争開始直後の 2022 年 2－3 月にあたり、調査の質問事項は、8 つの大項目に沿って構成されている（第 1 表）。質問数は派生する小さいものも含め 100 問近くあり、ソーシャル・キャピタルの全体像に迫るものである。日本の質問項目との対照表も添付している。

第 1 表　質問項目

回答者属性	同意、性別、年齢、居住地域
A. 社会的ネットワークと組織加入	参加組織（Q5）、参加程度（Q6-7）、人間関係（Q8）、コミュニケーション（Q9-10）、近所づきあい（Q11-12）、友人（Q13-15）、つきあい方（Q16-28）
B. 社会的信頼	一般的信頼（Q29-32）
C. 機会と影響	決断（Q33）、幸せ（34-35）、影響（Q36）、心理状態（Q137）、ウクライナ問題（Q138-139）
D. 社会的結束と包摂性	結束（Q37-41）
E. 集団行動と協同	集団行動（Q42）、ボランティア（Q43）、つきあい（Q44）、陳情（Q45）
F. COVID-19 の影響	責任（Q46）、情報（Q47）、変化（Q48-51）、ワクチン（Q52）、政策・支援（53-54）
G. 社会政治的態度	格差（Q55）、政策評価（Q56）
H. 回答者プロフィール	教育（Q57-62）、家族（Q63-64）、収入・仕事（Q65-82）

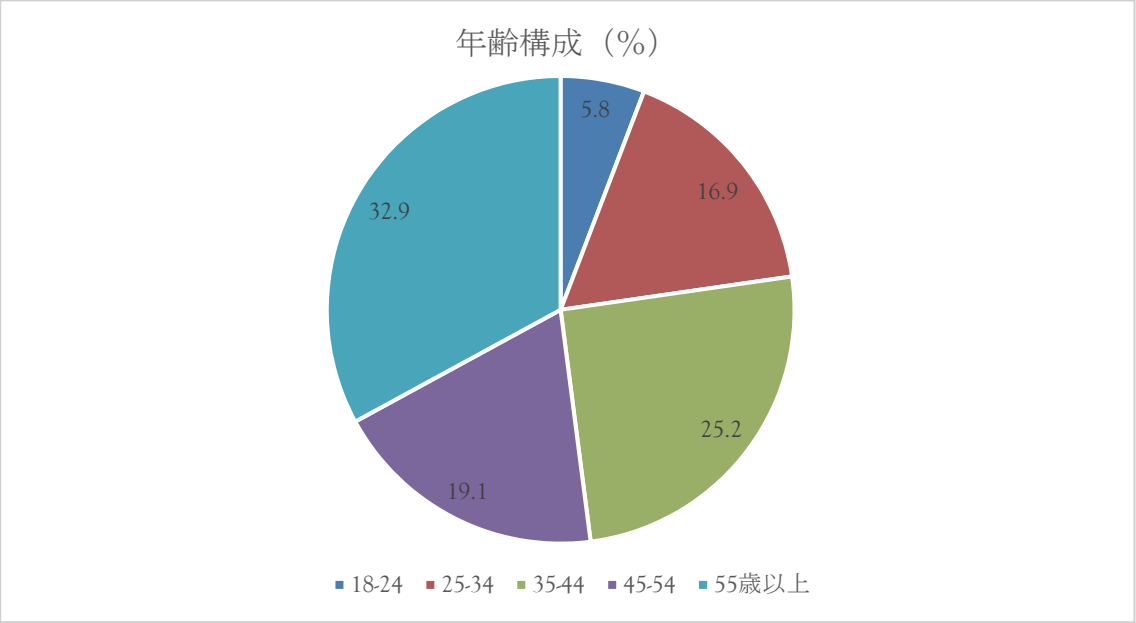
(2) 回答者の属性

日本を対象とした本調査は、NTT コムオンライン・マーケティング・ソリューションズ株式会社を通じて、2021 年 1 月に実施しており、同社のインターネット・アンケート調査モニターが調査対象となっている。調査サンプル数は 18 歳以上 4171 名であった。対照的にロシアの場合、

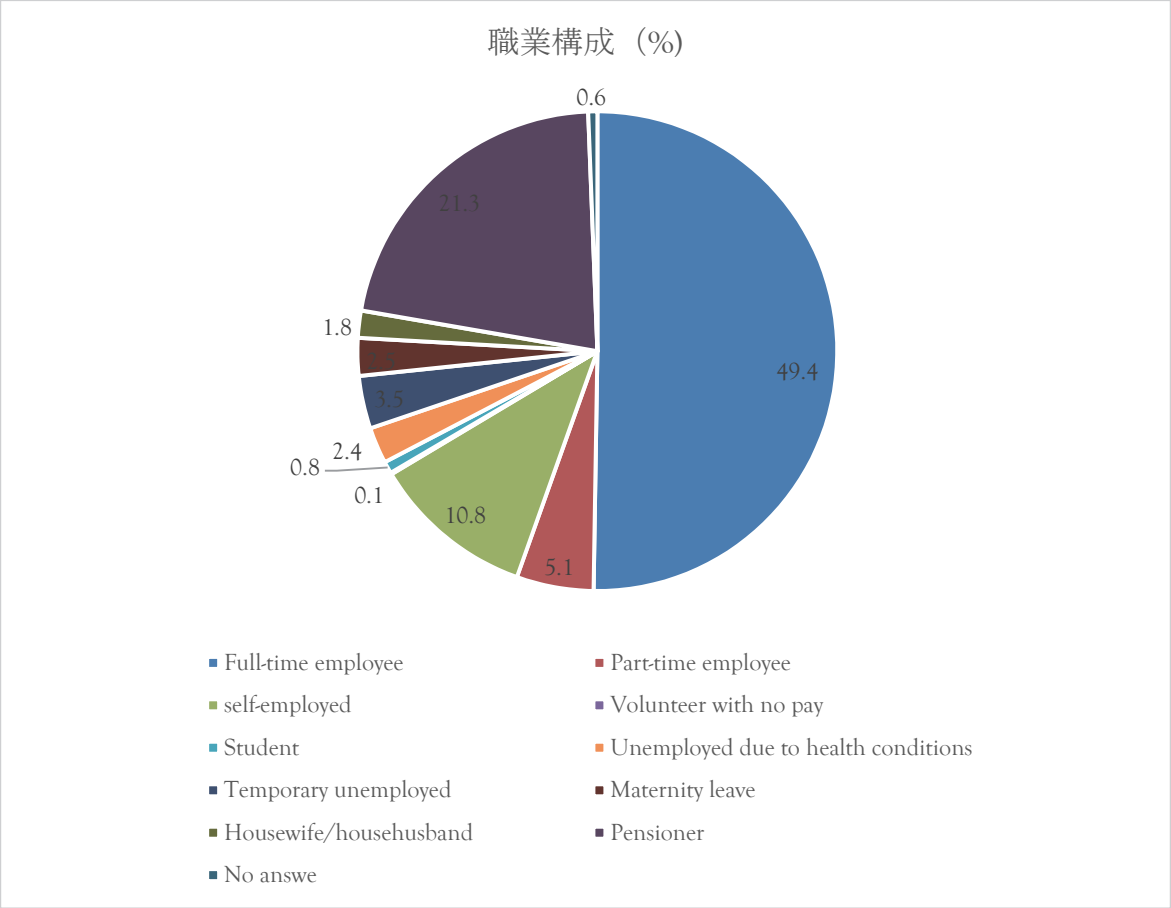
CATI Stratified RDD-Sample 方法で電話によるインタビューを行っている。サンプル数は 18 歳以上の 1700 名で、全ロシア地域（85 連邦構成地域）を対象としている。男性 49.2%、女性 50.8%で、詳細な回答者の属性については次節で確認されたい。年齢構成は第 1 図のようになり、改正以前の女性の年金受給年齢 55 歳を超す階層が 3 分の 1 ほどを占める。居住地域は、モスクワおよびサンクトペテルブルグが 8.9%、大都市 36.2%、中小都市 27.5%、町 10.7%、農村 17%で、概して都市部居住者が多い。

職業構成では（第 2 図）、フルタイム従業員が 49.4%と圧倒的に多く、パートタイム 5.1%、自営業 10.8%、年金生活者 21.3%、一時的失業者 3.5%、健康のため離職者 2.4%、出産休暇 2.5%、家事 1.8%、学生 0.8%、ボランティア 0.1%となり、相対的に通常の労働者と年金生活者が多く、主婦主夫、失業者、学生は日本に比して著しく少ない。収入による区分は第 3 図のようになる。地域ごとに所得区分の大きさは異なっている。北カフカス、ヴォルガ、南、シベリア、ウラル、北西、極東、中央の順で高くなり、5 つの階層はほぼ 2 割ずつに分かれる。

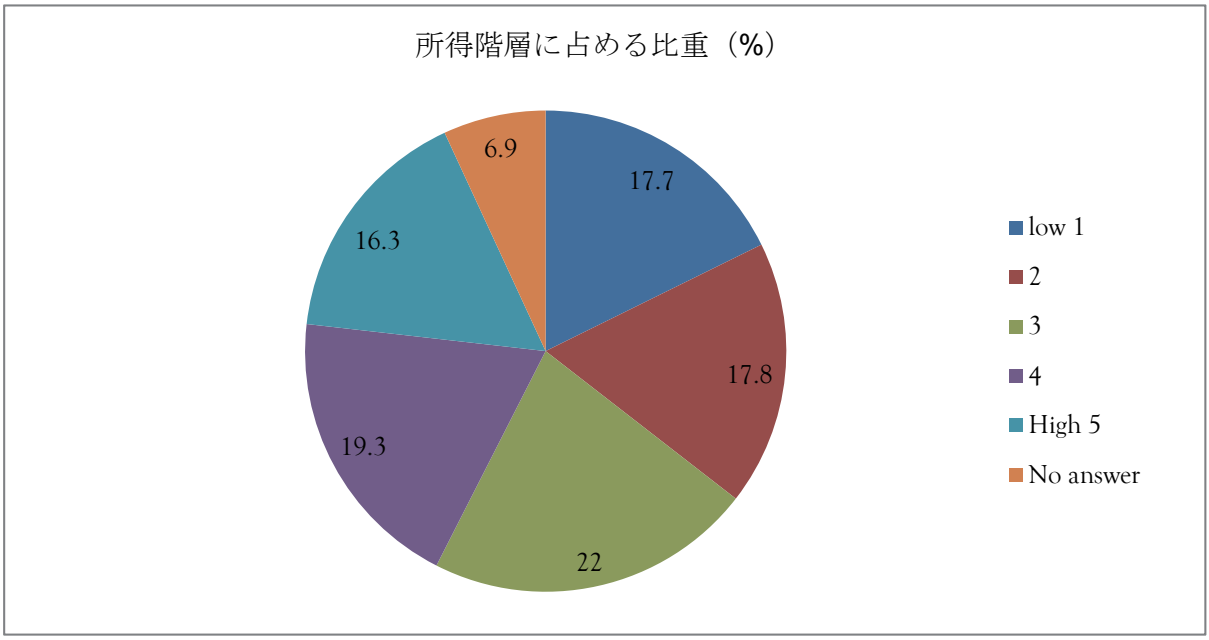
第 1 図　回答者年齢構成（%）



第 2 図　回答者職業構成（%）



第 3 図　回答者の所得階層別構成（%）



3. 調査結果と解説

以下では、A.社会的ネットワークと組織への参加、B. 社会的信頼、C. 機会と影響、D. 社会的結束と包摂性、E. 集団行動と協同、F. COVID-19 の影響、G. 社会政治的態度、H. 回答者プロフィールという 8 つの項目について調査結果を解説する。

A. 社会的ネットワークと組織への参加

セクション A では、ロシア人の団体への参加や周囲の人たちとの付き合い方を 17 の質問に基づいて分析する。個々のアンケート結果については節末にまとめているので参照されたい。

質問 A1 から A4 は団体への参加について尋ねている。A1（Q5）は何らかの団体に参加しているか否かを尋ねているが、参加団体がある割合は 9.4%にとどまった。大部分の人はこうした団体に参加していないが、女性よりは男性、高齢者よりは若年層、低所得層よりは高所得層、農村よりは大都市において、若干参加率が高くなっている。参加団体ありと答えた人の中でも 6 割以上は 1 つにとどまっており、それほど多くない。属性別で見ると、高所得層は比較的参加団体数が多くなっており、50%超が 2 つ以上の団体に参加している。

A2（Q6）の具体的な参加団体としては、最も多いのは趣味やスポーツの集まりで、次いで NPO やボランティア活動、専門家集団、地縁組織という結果になった。属性別では、男性は趣味やスポーツの集まりに、女性は NPO・ボランティア団体に、それぞれ最も積極的に参加している。趣味やスポーツの会は、若年層の参加率が最も高く、年齢が上がるにつれて減少する傾向にある。NPO やボランティア活動においても、若年層ほど参加率が高い。政治団体は、若年層と高齢者層で参加率が高く、ミドルエイジでは低くなる。収入と参加率との間にはとくに相関関係は見られない。ただし、労働組合への加入率が高所得層で高くなっている点は、職場環境が影響している可能性がある。居住地域別では、趣味やスポーツの会への参加は 2 大都市あるいは農村という両極で高く、専門家集団への参加は大都市ほど高い。また、都市型集落における労働組合や地縁組織への参加率の高さは、企業城下町的な同地域の性格が影響している可能性が考えられる。

A3（Q7）の過去 1 年間に最も積極的に参加した団体としては、「いずれでもない」が 20.1%で最も多く、2020 年のコロナの影響が考えられる。第 2 は趣味・スポーツの集まりの 19.5%、第 3 が NPO・ボランティア団体で 17.6%であった。男女別に見ると、女性は NPO・ボランティア団体が多い。男性は趣味・スポーツの会が最も多いが、地縁組織、同窓会、専門家集団への参加も女性より多くなっている。年齢別では、18-24 歳の若年層において NPO・ボランティア団体への参加が非常に多いことが注目され、その内容について詳しい検証が必要と思われる。25 歳以上の層ではより回答が多様化している。収入別では、特定の傾向を見い出すことは難しいが、どの層も 2 割前後が NPO・ボランティア活動をあげている。地域別では 2 大都市圏では趣味やスポーツの団体をあげた人が 4 割超を占め、他の地域より多くなっている。NPO・ボランティア団体は、どの地域においても比較的多い。政治団体をあげた人は農村や小規模な都市ほど増える傾向にある。地縁組織は中規模な都市では見られるが、2 大都市や農村ではあげられていない。

A4 （Q8-Q1010）で過去 1 年間に最も積極的に参加した団体におけるメンバー間の人間関係を尋ねたところ、最も人数が多い趣味の団体が比較的多様なメンバーから構成されているのに対し、次に多い NPO・ボランティア団体は同質性が非常に高くなっている。

A5（Q9）～A6（Q10）は家族・親族とのコミュニケーションについて尋ねている。同居家族以外で日常的に連絡をとっている家族・親族の数（A5）としては、3-4 人が最も多く 28.5%、1-2 人、5-9 人がそれぞれ約 4 分の 1 前後を占めている。10 人以上という回答も 1 割以上いる。男女別で見ると、女性の方が男性よりもコンタクトをとる人数が多い。年齢別では、0 人という回答が若年層で若干高いが、全体的に家族・親族間のコンタクトが広く存在する。収入別、居住地域別ではそれほど大きな違いはない。同居していない家族・親族とのコンタクトの頻度（A6）としては、毎日～週に数回程度という答えが 24.3%で最も多く、回答者の 4 分の 1 はかなり頻繁に連絡をとっていることがわかる。他方で全く連絡をとらない人も 22.6%おり、全体としては家族・親族間のつながりが強い人も弱い人も一定数いると言える。属性別では、男女間の違いが最も顕著で、女性の方が密にコンタクトをとっている。年齢別では「全くない」は年齢があがるほど増える傾向にあるが、55 歳以上では「毎日～週に数回程度」の比率も高くなっている。高齢者層では、家族・親族間のネットワークの有無が二極化していると言える。収入別では、比較的低所得の層では、コミュニケーションが全くない人と日常的にある人の双方が多い。また、中所得以上になると、相対的に付き合いの頻度が減っていく傾向がある。地域による差はあまり見られない。

A7(Q11)～A8(Q12)は近所付き合いについて尋ねている。あいさつ程度の近所付き合いのある人数について尋ねた質問（A7）では、0 人という回答が 6%だったのに対し、1-4 人、5-9 人、10-19 人、20 人以上という答えがそれぞれ 20 数%でほぼ同程度あり、大部分の人が多かれ少なかれ近所の人と言葉を交わしている。属性別では、近所付き合いがゼロという回答は 18-24 歳で最も多く 17%を占めるが、年齢が上がるほど近所付き合いも増える傾向にある。地域的には、都市の規模が大きいほど、若干ではあるが付き合いのある人数が少なくなる傾向が見られる。ほかにはそれほど顕著な違いは見られない。より深い近所付き合いについて尋ねた A8 では、相談や頼みごとができる近所の人の数として 0 人が 32.2%で最多であった。以下、1-2 人が 26%、3-4 人が 14.7%と少なくなっていく。属性別では、年齢が上がるほど密な付き合いができる近所の人が増える。収入別に見ると、所得が上がるほど 0 人という回答が増えている。地域別では大都市部よりも農村の方が、近所の人との深い付き合いがあることがうかがえる。

A9(Q13)～A11(Q15)は友人・知人との付き合いについて尋ねている。親しい友人の数としては（A9）、1-2 人が最も多く 35.2%、次いで 3-4 人が 23.5%、０人が 18.8%、5-9 人が 14.1%であった。属性別では、友人がいない人の割合は女性より男性で高く、男性では 4-5 人に 1 人は親しい友人がいないという。年齢別では、年齢が上がるほど、わずかではあるが友人がいない人も多い人も増える傾向にあり、個人差が目立つようになる。収入別では、年収が高いほど友人の数が増える傾向が見られる。居住地域別には目立った違いは見られない。友人・知人に相談や頼みごとをする頻度としては（A10）、全くないか、年に 1 回から数年に 1 回、月に 1 回～年に数回程度という回答がそれぞれ 27%程度でほぼ並んでおり、この 3 つで 8 割を超えている。属性別で見ると、年齢が上がるほど「全くない」の比率が増えており、若い人ほど頻繁に友人

や知人とつき合っていることがわかる。収入別では、低所得層ほど「全くない」の比率が大きい。高齢者や低所得の人ほど、頼れる友人・知人のネットワークが乏しいことがうかがえる。地域別では、「全くない」の比率は都市型集落や農村で若干高く、大規模な都市の方が頼れる友人の数が多くなる傾向にある。男女別の違いはあまり見られない。友人・知人とのやり取りの方法では（A11）、最もよく使われるのは電話で約 50%を占めた。次が対面で約 30%、SNS は 14.5%であった。電話の比率が高いことは日本との大きな違いである。とくに女性、高齢者で電話を選んだ人が多い。若年層では SNS が最もよく使われており、年齢が上がるほど SNS は減る。対面は 10 代から 50 代までのどの世代も約 3 分の 1 が選択している。地域別では、農村で電話が圧倒的に多いが、これは高齢者が多いことが関係していると思われる。

A12 (Q16)は日常的に付き合っている家族以外の人たちの地位について尋ねている。約 8 割が自分と地位がほぼ同じであると回答しており、同質的な付き合いが中心になっている。男女別では、男性よりも女性の方が同じ地位同士での付き合いが若干多い。年齢別では、18-24 歳の層では自分よりも地位の高い人との付き合いが 13%あるが、年齢が上がるほど同じ地位同士での付き合いが増えていく。年収による差はそれほど大きくはないが、最上位の層では、自分より地位が低い人との付き合いが自分より地位が高い人との付き合いを上回っている。居住地域別にはとくに違いは見られない。

A13(Q17)は親族や友人・知人など、周囲にどのような職業の知り合いがいるかを尋ねた質問である。最も知り合いが多かったのは医師・看護師の 62.1%、次いで学校の教員の 47.3%、コンピューター・プログラマー、警察官、公務員・官僚がそれぞれ約 4 割で続いている。大学教員、企業経営者は 3 割弱、弁護士と企業の人事担当者は 20 数%、最も少ないのは政治家で約 1 割であった。属性別に見ると、男女で多少差があるのは、学校の先生、警察官、政治家、企業経営者で、学校の先生では女性の方が知り合いが多いのに対し、後の 3 つの職業では男性の方が知り合いが多くなっている。年齢別では、18-24 歳はいずれの職業でも知り合いがいる比率が低く、それより上の世代との間に差がある。弁護士、プログラマー、企業経営者などは比較的若い世代で知り合いがいる比率が高く、35-44 歳でピークを迎えてその後は減少する。警察、政治家、公務員など国家権力と関わる職種や、企業の人事担当者では、25-34 歳までの若い層で最も知り合いが多くなっている。大学教授や医療関係者、教員などは、25 歳以上は世代による変化があまりない。収入別では、概ねどの職業でも収入が高いほど知り合いが増える傾向にある。地域別には、教員、警察官、公務員はどの地域でも大差はないが、それ以外の職業は大都市ほど知り合いがいる比率が高くなる傾向にあり、とくにプログラマーや企業経営者などはそれが顕著である。

A14(Q18-Q24) は様々な問題をまず誰に相談するかについて尋ねており、具体的には①心理的問題、②健康上の問題、③家事・育児、介護に関わる問題、④金銭的問題、⑤緊急時や災害の問題、⑥求職に関わる問題、⑦教育・進学に関わる問題の 7 つを取り上げている。①心理的な問題では、同居家族とその他の親族が 50%を超え、次いで誰にも助けを求めなかった、友人・知人が続く。②健康上の問題では、43.3%と多数の人々が医師などの専門家に相談している。医療関係者の知り合いがいる人が多いことが影響している可能性がある。③家事、育児や介護などの問題では、同居家族およびその他の親族に相談するケースが圧倒的に多く、両者で 6 割を超え

ている。その一方、誰にも助けを求めなかった人も 22%存在している。④金銭的な問題では、50%超の人々が同居家族およびその他の親族に頼っているが、友人・知人を頼るケースも 12%ある。⑤緊急時や災害の問題に関しては、55%が同居家族あるいはその他の親族をあげている。⑥求職に関わる問題では、家族や親族はあまりあげられておらず、「誰にも助けを求めなかった」と「友人・知人」がそれぞれ 2 割前後であった。また、そのような経験をしたことがない人も全項目中最も多く、17.8%であった。⑦教育に関わる問題では、誰にも助けを求めなかったが 27.2%で最も多く、次いで専門家が約 2 割で多い。

心理的な問題を男女別に見ると、男性は同居家族が最も多く 3 割超を占めているが、誰にも助けを求めなかったという回答が女性より 2 倍以上多く、約 25%ある。これに対し、女性は同居家族とその他の親族が同程度に多く、友人・知人に相談するケースも多い。年齢別では、18-24 歳の若年層では友人・知人に相談するケースが最も多い。それより上の世代では、同居家族およびその他の親族の合計が 5 割あるいはそれ以上となっている。収入別では、収入が高いほど同居家族の比率が増えるが、代わりにそれ以外の親族が減り、家族・親族の合計ではそれほど収入による差は見られない。地域別では、2 大都市では同居家族の比率がやや高いが、家族・親族の合計はいずれの地域でも約 5 割である。

健康上の問題は、男性は同居家族か専門家に、女性は専門家に相談する傾向にある。年齢別では、いずれの世代も専門家に相談するケースが多いが、18-24 歳では同居していない親族の比率が他の世代より高くなっている。収入別では、下から 2 番目の層で家族・親族の比率が若干高いが、それ以外に大きな違いは見られない。地域別でもそれほど違いは認められない。

家事や育児、介護の問題は、男性では同居家族が 4 割を超えるが、女性の場合は同居家族が若干少なく、その分その他の親族が重要な位置を占めている。男性は妻に、女性は親やその他の親族に頼っている可能性が考えられる。世代別では、同居家族とその他の親族の比率は、年齢が上がるにつれて徐々に減少しており、とくに 55 歳以上では「誰にも助けを求めなかった」が急増している。収入別では、高所得層ほど同居家族およびその他の親族に相談する比率が高い一方、低所得層ほど誰にも相談できない比率が高くなっている。低所得層や高齢者の頼れる人脈が乏しいことがうかがえる。

金銭的な問題は、女性では同居家族およびその他の親族の合計が 6 割を超えるが、男性では 4 割超にとどまり、代わって友人・知人が多くなっている。年齢別では、若年層では同居家族およびその他の親族が約 65%を占めているが、年齢とともにその比率は減っていき、高齢者層では誰にも助けを求めないケースが増える。収入別に見ると、友人・知人の比率が所得水準の上昇とともに増えている点が注目される。地域別では顕著な違いは見られない。

緊急時や災害の問題では、男女別で顕著な差が見られ、女性は同居家族およびその他の親族に頼る傾向が男性より強い。その他、年齢別や収入別、地域別にはそれほど大きな違いは見られないが、年齢別に見た際に、同居家族とその他の親族の比率が、おそらくは生活環境の変化によって変化している。

求職に関わる問題は、世代によって顕著な差が見られた。55 歳以上の層では、「そのような経験をしたことがない」および「誰にも相談しなかった」が非常に多く、おそらくソ連時代に現役生活を送ったか否かによって、回答内容に断絶が生じていると考えられる。相談相手とし

ては、18-24 歳では家族・親族が重要であるが、それ以上の世代では友人・知人が最も重要になっている。収入別では、所得が上がるほど同僚や友人・知人に相談するケースが増える傾向にある。

教育については、年齢が上がるほど、そのような経験をしたことがない、および誰にも相談しなかったという回答が増える。とりわけ 55 歳以上のケースで顕著に多い。求職の問題と同様、55 歳以上のソ連時代に教育を受けたケースでは、教育に関してそれほど問題を感じていなかった可能性が考えられる。若年層では、専門家や家族・親族、友人に相談するケースが多い。収入別では、高所得層ほど専門家に相談するケースが多くなっている。

A15(Q25-26)は、金銭的に困った際に支援してくれる人がいるかどうかを、農村、都市別に尋ねている。A15.1(Q25)で農村住民を対象に急に 1 週間分の生活費を借りる必要が生じたとして、貸してくれそうな人がいるかどうかを尋ねたところ、「確実にいる」「どちらかと言えばいる」の肯定的な回答が合計で約 64%に達した。これは否定的な回答をした人の 23.5%よりはるかに多い。とくに女性より男性の方が楽観的に捉えている人が多い。年齢別では、25-44 歳までの層では「確実にいる」が 5 割を超え、非常に高い。18-24 歳の若年層では、周囲の人の経済力がまだ低いためか、他の層より否定的な回答が多くなっている。収入別では、所得が高いほどお金を貸してくれそうな人も多いという結果になった。都市住民を対象に同じように尋ねた A15.2(Q26) では、確実にいるが 43.4%、どちらかと言えばいるが 22.2%で、合わせて 65.6%となった。困った時に金銭的に誰かが助けてくれるという信頼感は、農村部と同程度か、さらに強い。否定的な回答をした人は 24%で、これも農村部とあまり変わらない。属性別では、男女差はほとんど見られない。年齢別では、18-24 歳を除くと、比較的若い層で肯定的な回答が多く、年齢が上がるほどそれが下がっていく。収入別では、高所得層ほど肯定的な回答が増える。地域別では、都市型集落で「確実にいる」の比率がやや下がるが、それほど目立った違いは見られない（なお、この項目ではモスクワ市およびサンクトペテルブルグ市の住民は対象に含まれていない）。

A16(Q27)は人的交流の中で最も重要な人物を尋ねた質問である。57%が家族・親族をあげており、ほかと大差をつけている。次に友人・知人の約 20%、そして職場の同僚の約 13%が続く。女性は男性より家族・親族をあげる人が多く、男性は女性よりも職場の同僚をあげる人が多くなっている。年齢別では、家族・親族をあげる人が年齢とともに増えていく傾向にある。18-24 歳の若年層では、友人・知人と家族・親族がそれぞれ 35%で同じであるが、友人・知人の比率は年齢が上がるほど減少している。また、職場の同僚は、30-40 代の働き盛りの世代で多くなっている。収入別では、低所得層の方が家族・親族をあげる人が多く、所得が高い人ほど職場の同僚の比率が高くなっている。地域別では、大都市よりも地方、農村になるほど、家族・親族の比率が増えており、職場の同僚の存在は逆に大都市ほど大きくなっている。

A17(Q28)は社会的に成功する上での有力者との関係の重要性について尋ねているが、重要だという回答と、重要ではないという回答がほぼ均等に分かれた。男女別では回答に差がないが、年齢別で見ると、年とともに「まったく重要でない」あるいは「極めて重要である」という両極端な回答が増える傾向にある。ただし、18 歳から 44 歳までの層では、どちらかというと重要であると考える人の方が若干多いのに対し、45-54 歳の層では肯定的な回答と否定的な回答の比

重がほぼ均衡し、55 歳以上の層では重要でないという回答の方が多くなっている。収入別では、どちらかというと所得が高いほど有力者との関係を重要と考える傾向がある。居住地域別では、重要でないと考える人の比率では地域による差はあまり見られないものの、反対に重要であると考える人は、大都市よりも農村や小規模都市の方で多くなっている。

A1.（Q5.）多くの場合、人々はさまざまなグループ、組織、ネットワーク、団体に関与しています。社会団体、政党、趣味のクラブ、ボランティア団体など、正式に設立されたグループもあれば、単に定期的に集まって一緒に仕事をしたり、さまざまなテーマについて話し合ったりする人々のグループもあります。あなたやあなたのご家族は、このうちいくつのグループに所属していますか？

	実数（人）	%
参加団体あり	159	9.4%
参加団体なし	1531	90.1%
答えられない	10	0.6%
総計	1700	100.0%

図 A1-0　総計（N＝1700）

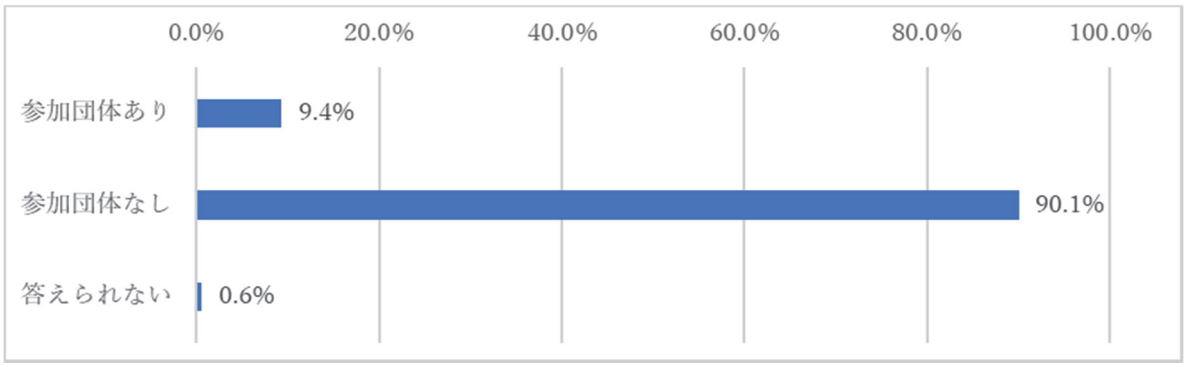


図 A1-1　男女別（N＝1690）

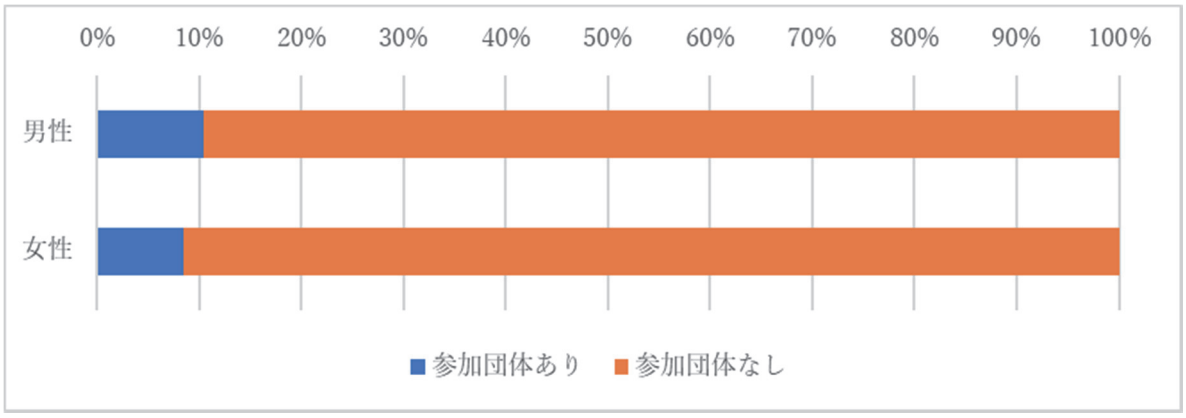


図 A1-2　年齢別（N＝1690）

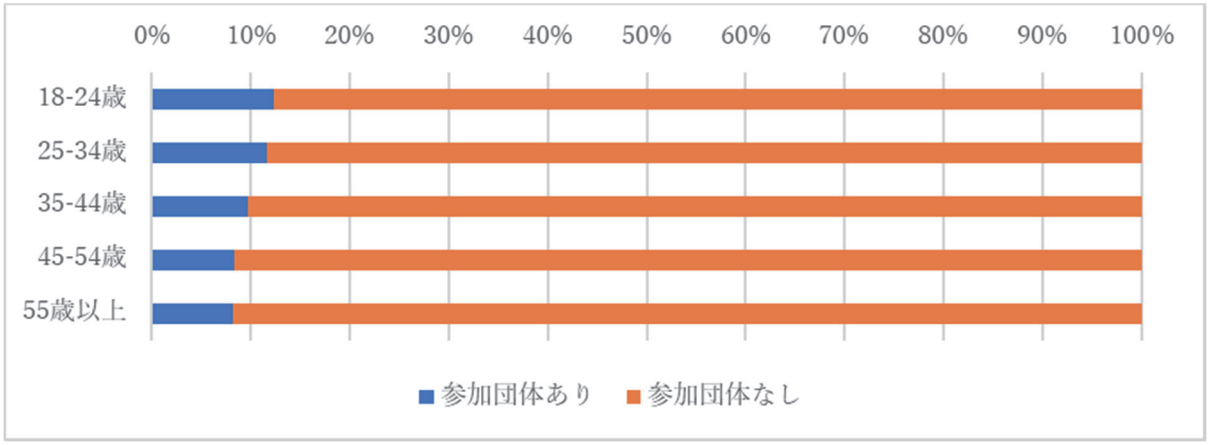


図 A1-3　収入別（N＝1573）

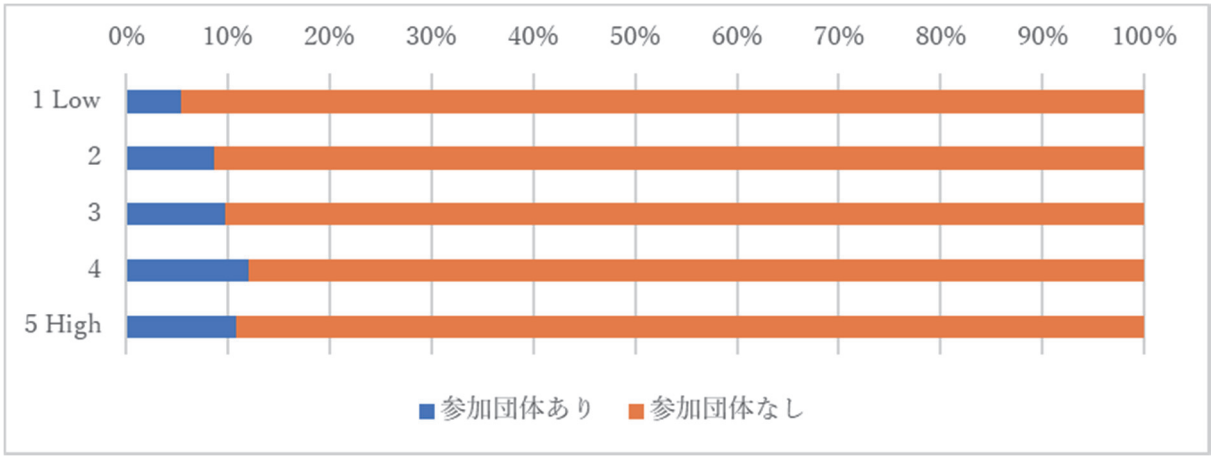
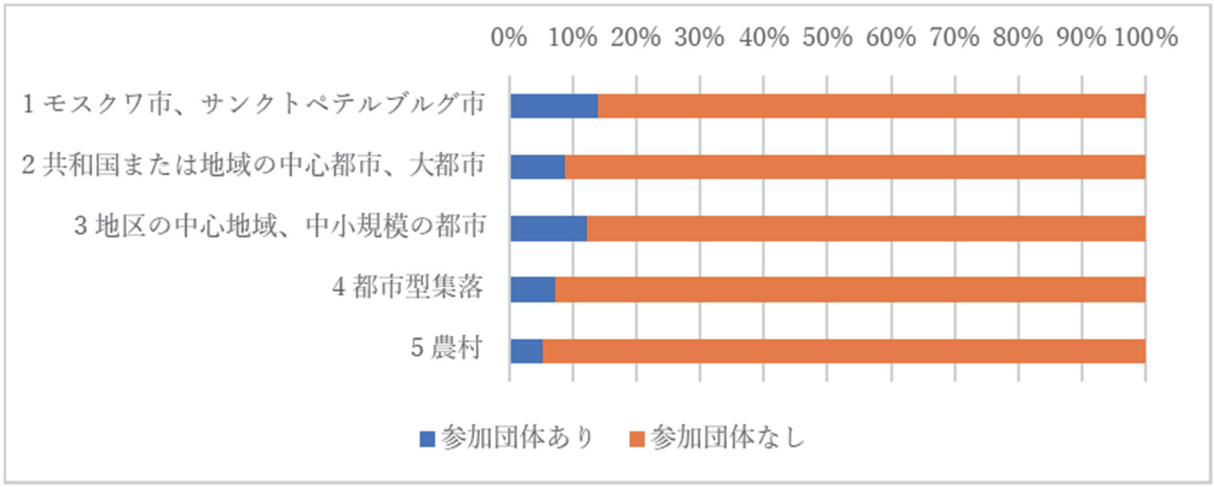


図 A1-4　居住地域別（N＝1681）



A1_1N 「参加団体あり」と答えた人のみ、参加団体数をお書きください。

図 A1_1N-0　総計 (N＝159)

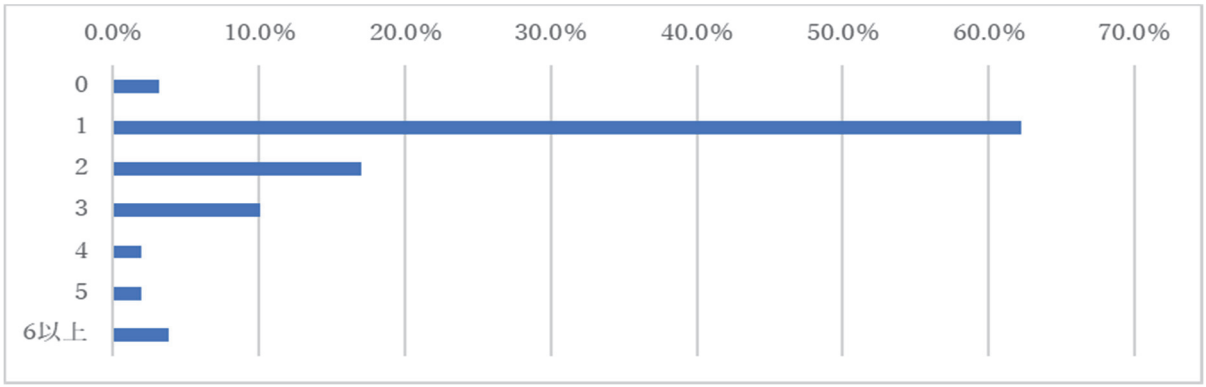


図 A1_1N-1　男女別 (N＝159)

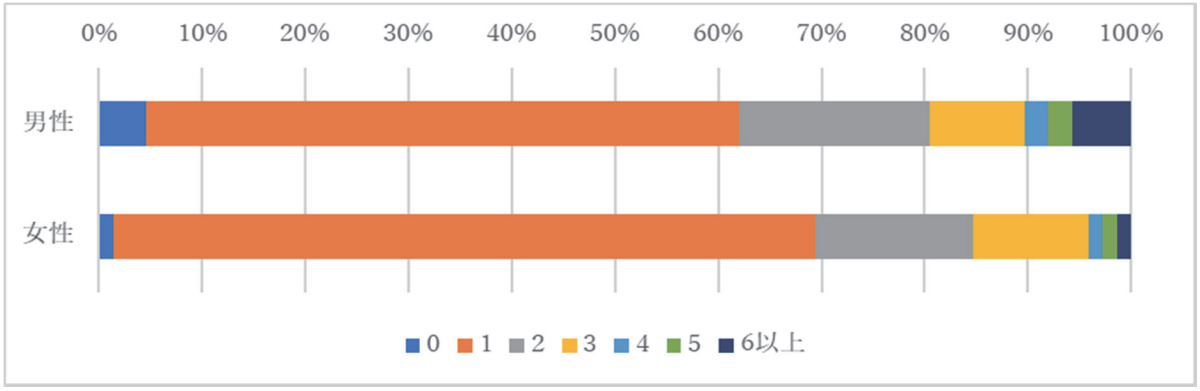


図 A1_1N-2　年齢別 (N＝159)

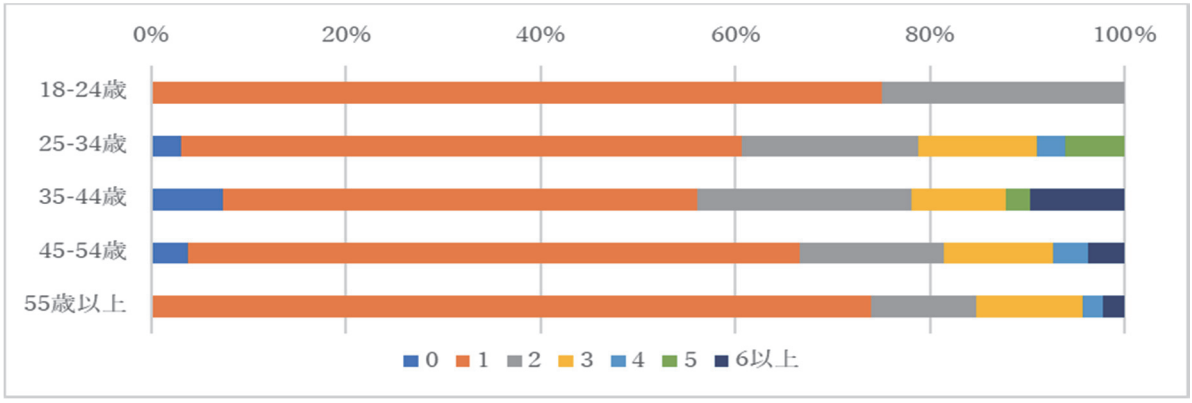


図 A1_1N-3　収入別（N＝148）

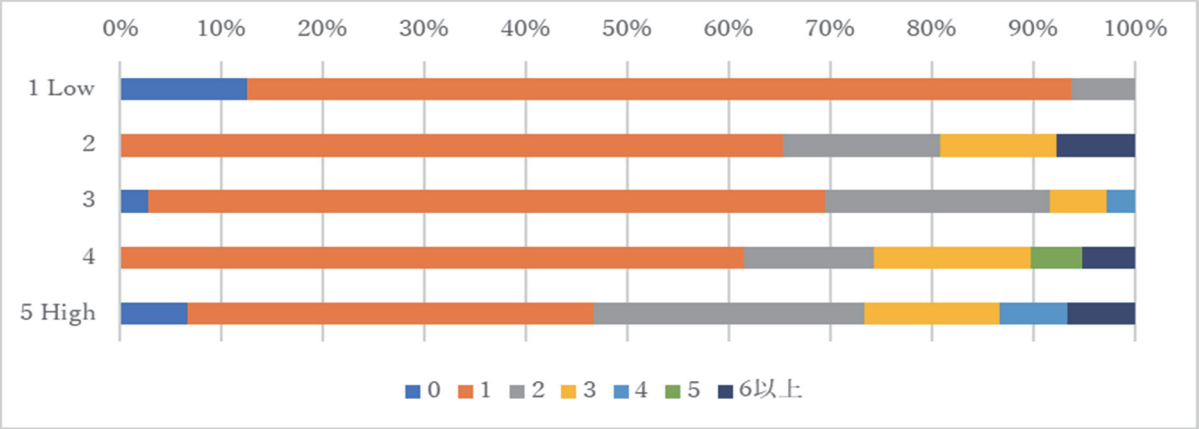
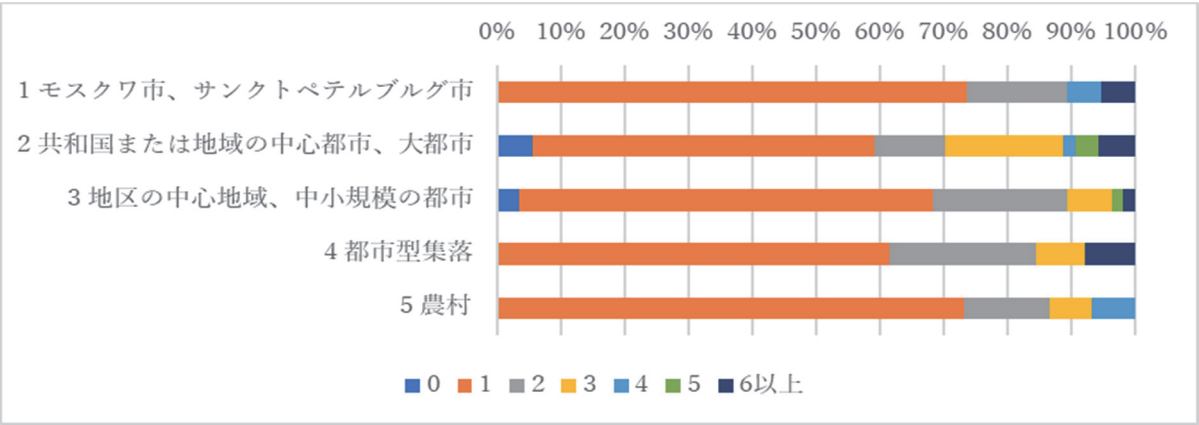


図 A1_1N-4　居住地域別（N＝158）



A2.（Q6.）A1.（Q5.）=1 を選択した方のみ。以下の組織の活動にどの程度積極的に参加しているか教えてください。

（単位：人）

	積極的に参加している	加入のみ	参加していない	答えられない	計
Q6_1. 政治団体	13	17	127	2	159
Q6_2. 地縁組織（住宅所有者組合など）	21	19	117	2	159
Q6_3. NPO・ボランティア団体	39	13	106	1	159
Q6_4. 専門家集団	27	19	104	9	159
Q6_5. 宗教団体	6	4	148	1	159
Q6_6. 学校・大学の同窓会	6	18	132	3	159
Q6_7. 趣味の団体（芸術やスポーツなど）	39	26	93	1	159
Q6_8. 労働組合	12	21	124	2	159
Q6_9. 職業団体（弁護士会、銀行協会など）	6	5	147	1	159

図 A2-0　総計（N＝159）

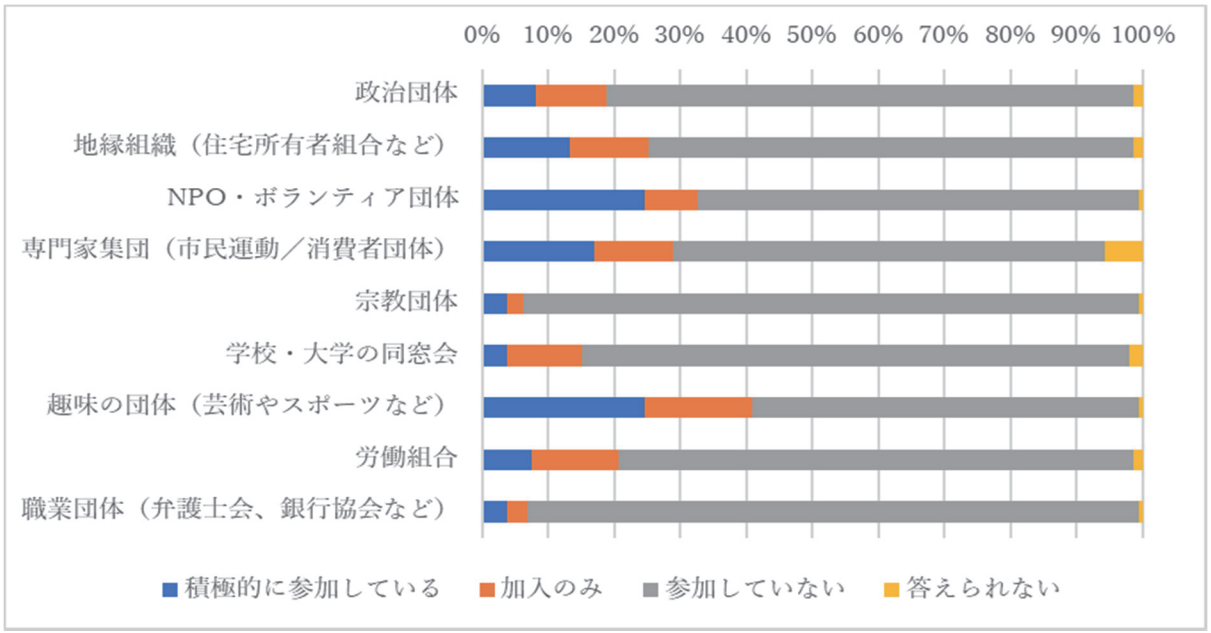

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
政治団体
地縁組織（住宅所有者組合など）
NPO・ボランティア団体
専門家集団（市民運動／消費者団体）
宗教団体
学校・大学の同窓会
趣味の団体（芸術やスポーツなど）
労働組合
職業団体（弁護士会、銀行協会など）
積極的に参加している
加入のみ
参加していない
答えられない

図 A2-1　男女別

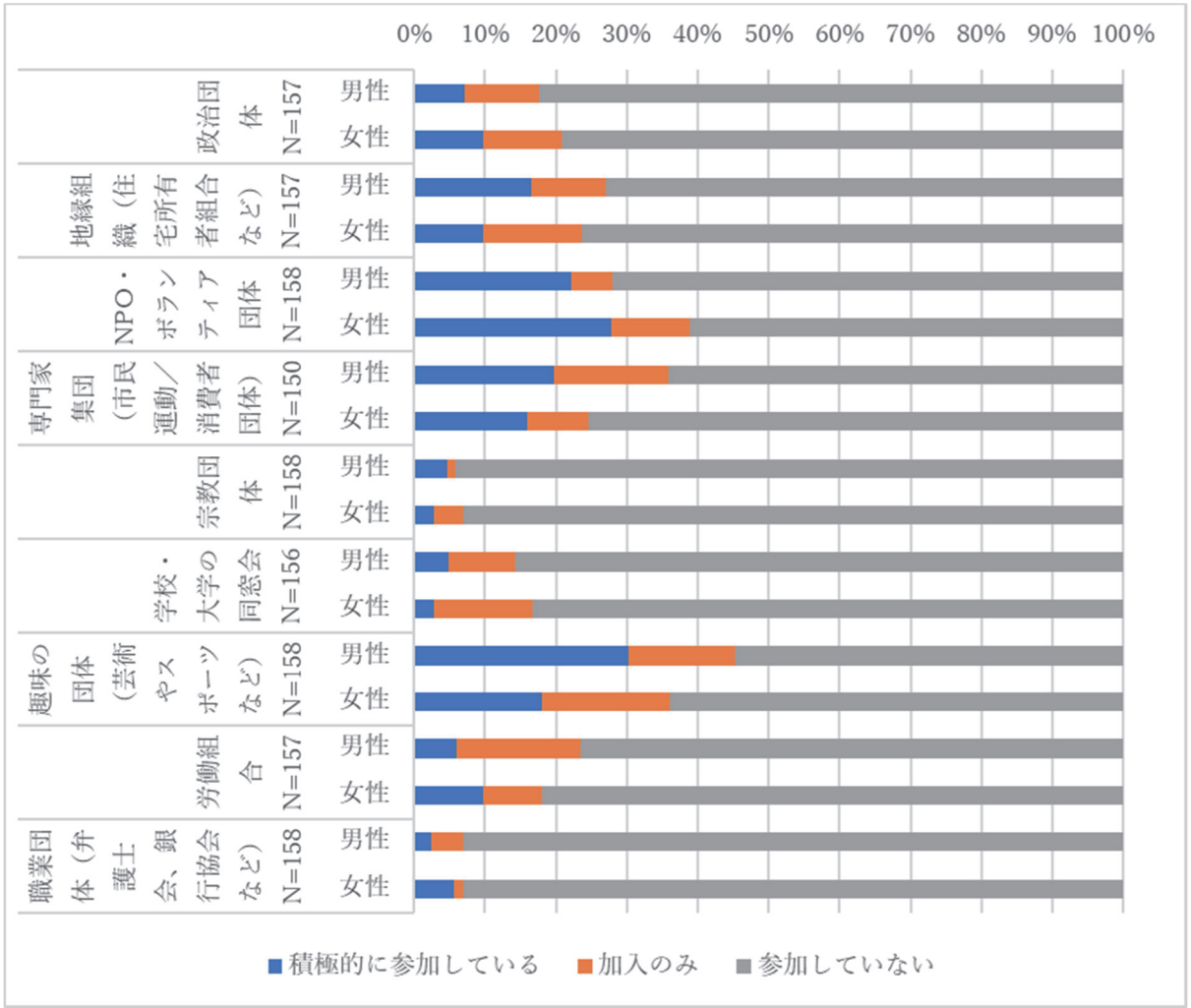

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
政治団体 N=157
地縁組織（住宅所有者組合など） N=157
NPO・ボランティア団体 N=158
専門家集団（市民運動／消費者団体） N=150
宗教団体 N=158
学校・大学の同窓会 N=156
趣味の団体（芸術やスポーツなど） N=158
労働組合 N=157
職業団体（弁護士会、銀行協会など） N=158
男性
女性
積極的に参加している
加入のみ
参加していない

図 A2-2　年齢別

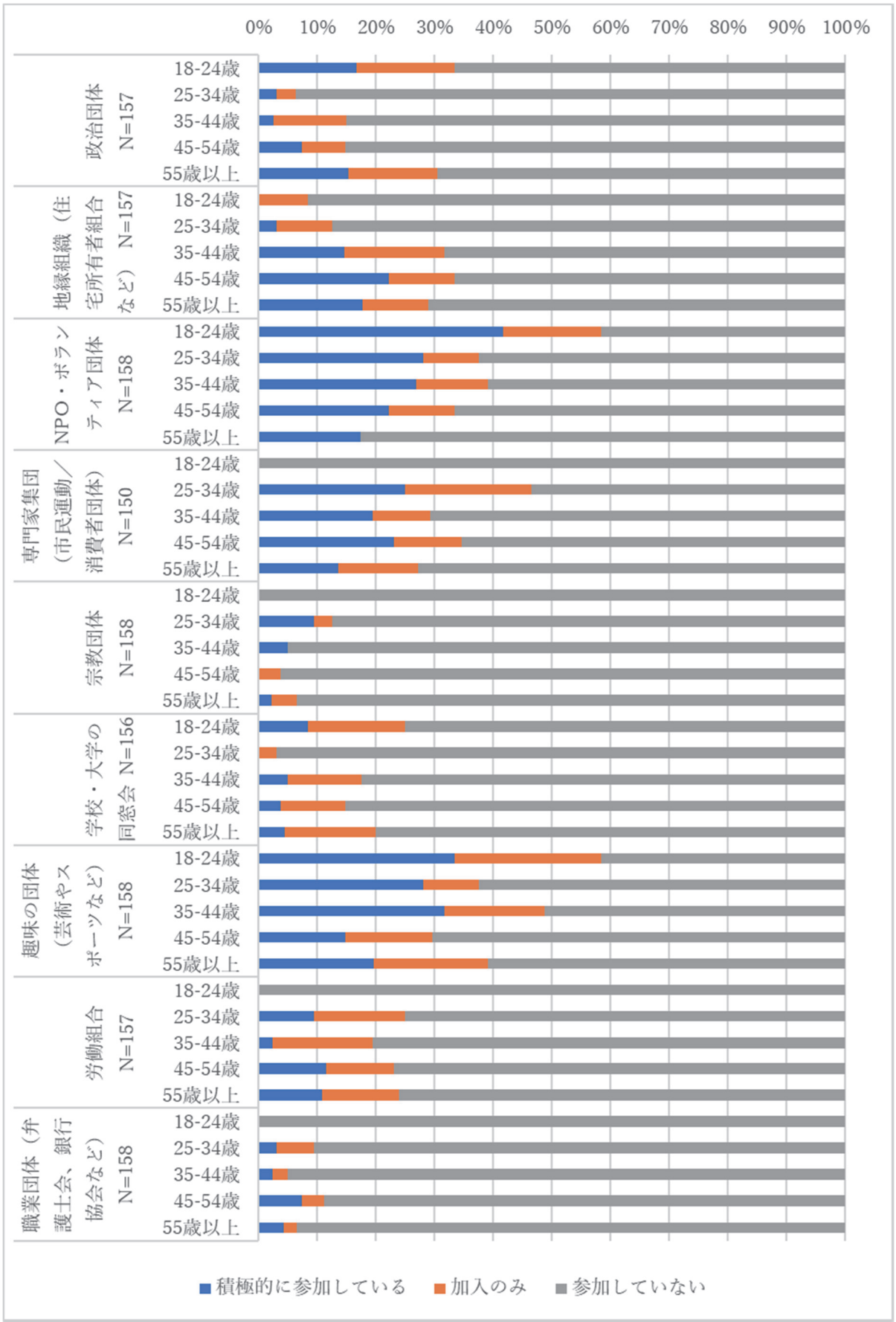

0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
政治団体 N=157
地縁組織（住宅所有者組合など） N=157
NPO・ボランティア団体 N=158
専門家集団（市民運動／消費者団体） N=150
宗教団体 N=158
学校・大学の同窓会 N=156
趣味の団体（芸術やスポーツなど） N=158
労働組合 N=157
職業団体（弁護士会、銀行協会など） N=158
18-24歳
25-34歳
35-44歳
45-54歳
55歳以上
積極的に参加している
加入のみ
参加していない

図 A2-3　収入別

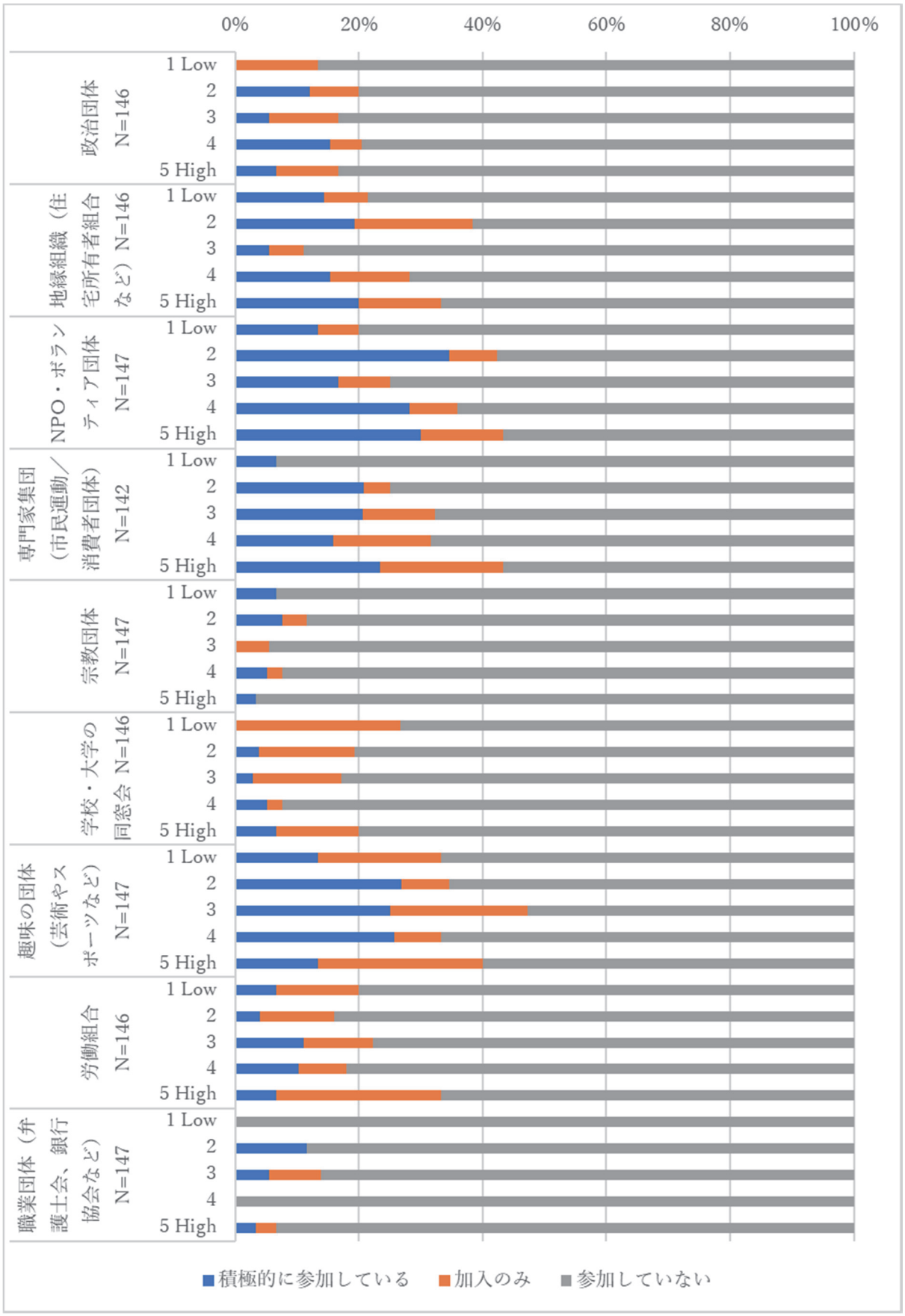
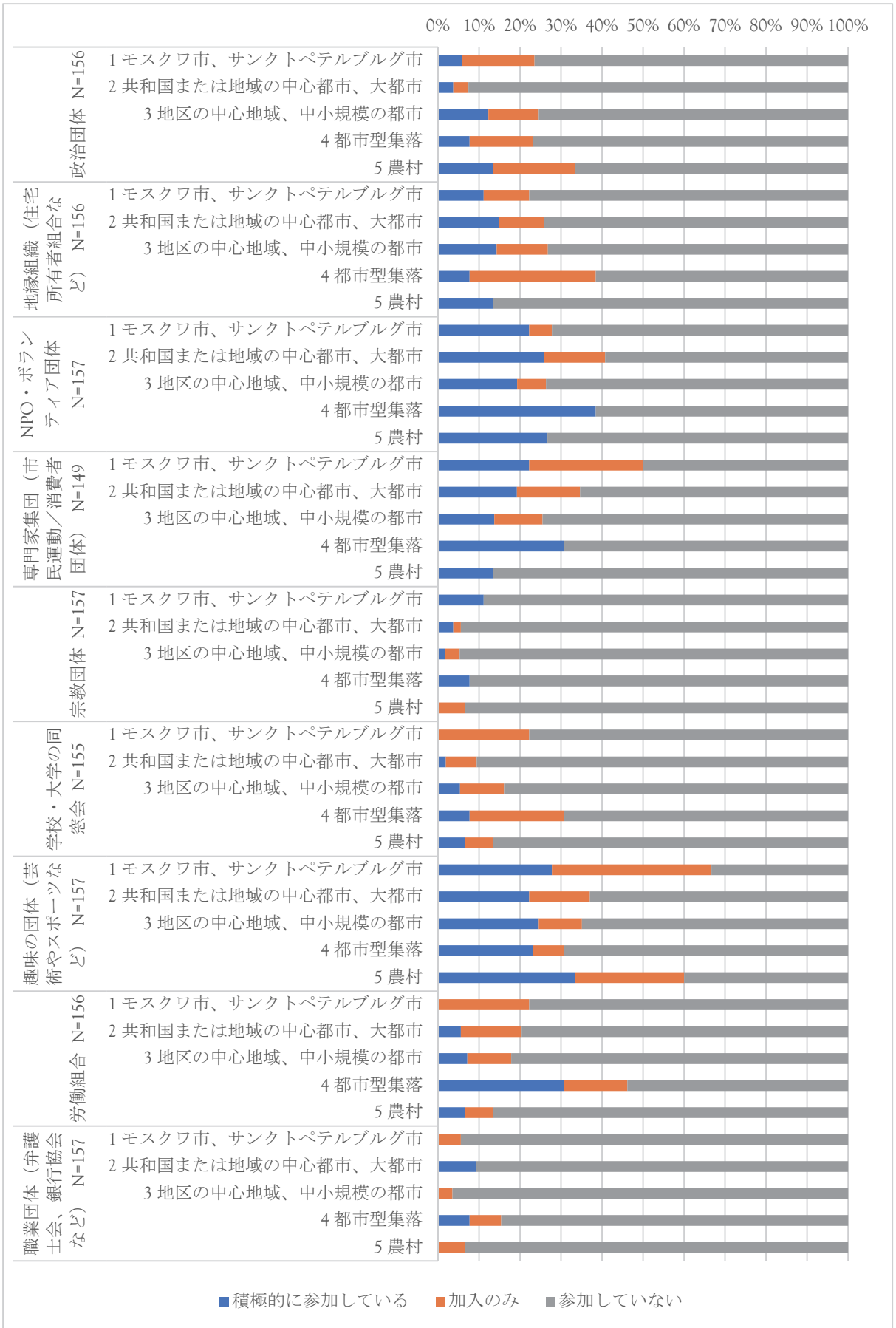

0%
20%
40%
60%
80%
100%
政治団体 N=146
地縁組織（住宅所有者組合など） N=146
NPO・ボランティア団体 N=147
専門家集団（市民運動／消費者団体） N=142
宗教団体 N=147
学校・大学の同窓会 N=146
趣味の団体（芸術やスポーツなど） N=147
労働組合 N=146
職業団体（弁護士会、銀行協会など） N=147
1 Low
2
3
4
5 High
積極的に参加している
加入のみ
参加していない

図 A2-4　居住地域別


0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
政治団体 N=156
地縁組織（住宅所有者組合など） N=156
NPO・ボランティア団体 N=157
専門家集団（市民運動／消費者団体） N=149
宗教団体 N=157
学校・大学の同窓会 N=155
趣味の団体（芸術やスポーツなど） N=157
労働組合 N=156
職業団体（弁護士会、銀行協会など） N=157
1 モスクワ市、サンクトペテルブルグ市
2 共和国または地域の中心都市、大都市
3 地区の中心地域、中小規模の都市
4 都市型集落
5 農村
積極的に参加している
加入のみ
参加していない

A3.（Q7.）Q5=1 を選択された方のみ。この 1 年間で、あなたが最も積極的に活動に参加した組織は以下のうちどれですか？

	実数（人）	比率
1. 政治団体	13	8.2%
2. 地縁組織（住宅所有者組合など）	13	8.2%
3. NPO・ボランティア団体	28	17.6%
4. 専門家集団	8	5.0%
5. 宗教団体	6	3.8%
6. 学校・大学の同窓会	5	3.1%
7. 趣味の団体（芸術やスポーツなど）	31	19.5%
8. 労働組合	8	5.0%
9. 職業団体（弁護士会、銀行協会など）	6	3.8%
10. その他（具体的に）	8	5.0%
98. いずれでもない	32	20.1%
99. 答えられない	1	0.6%
総計	159	100.0%

10.その他の記述：飲兵衛の会、多子家庭の会、退役軍人の会、集落の寄り合い、猟師の会など。

図 A3-0 総計（N＝159）

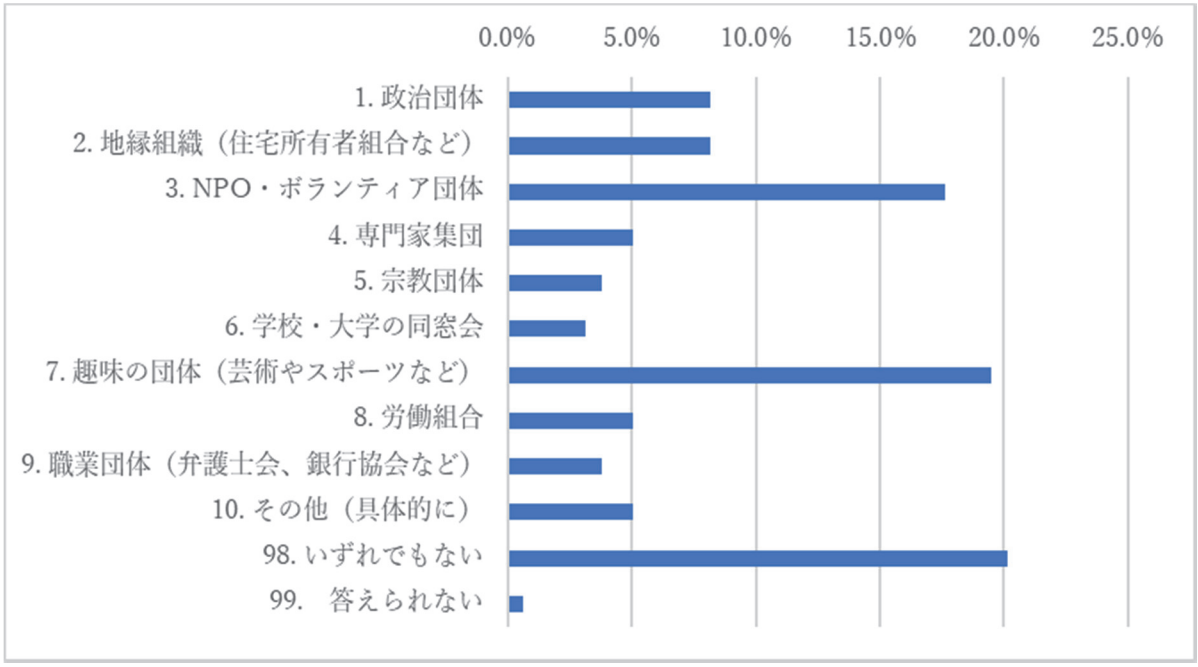


図 A3-1　男女別（N＝126）

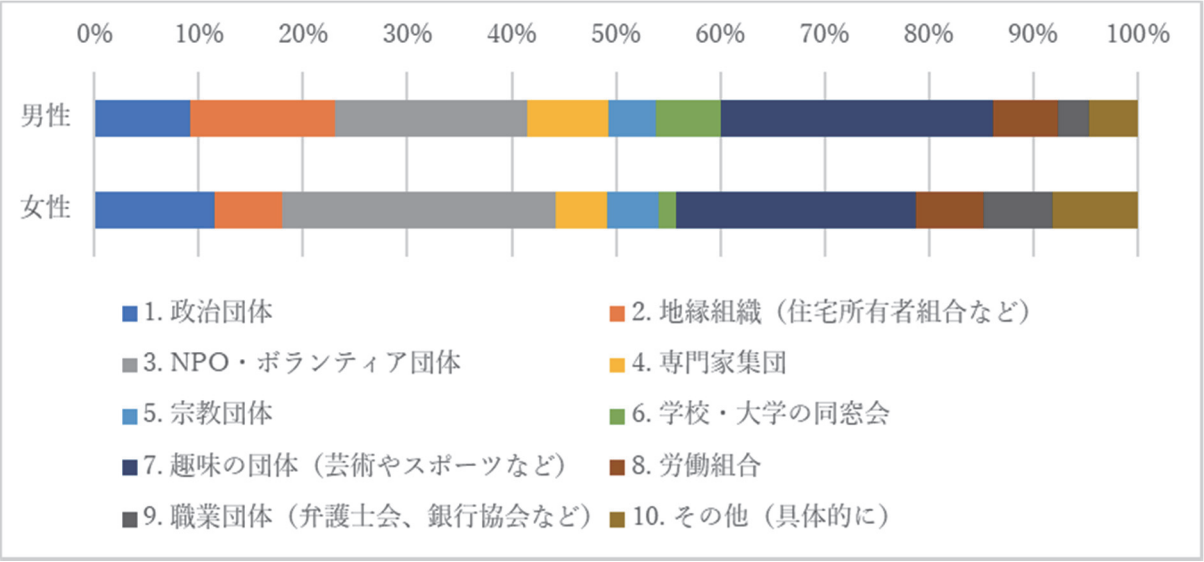


図 A3-2　年齢別（N＝126）

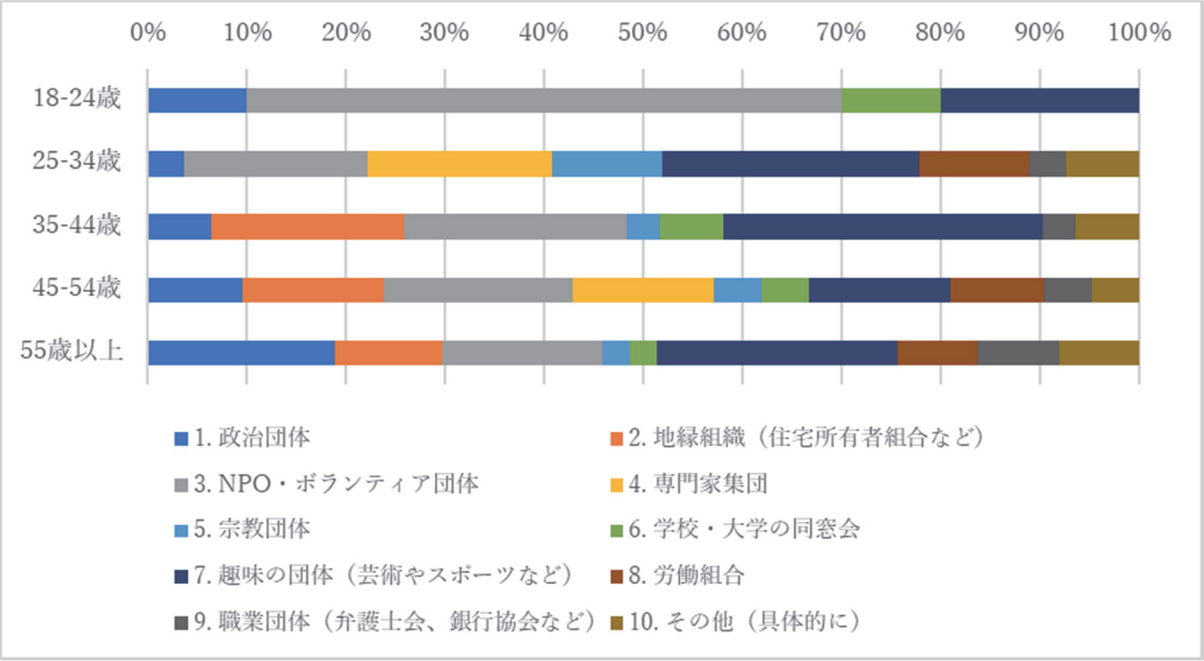


図 A3-3　収入別（N＝118）

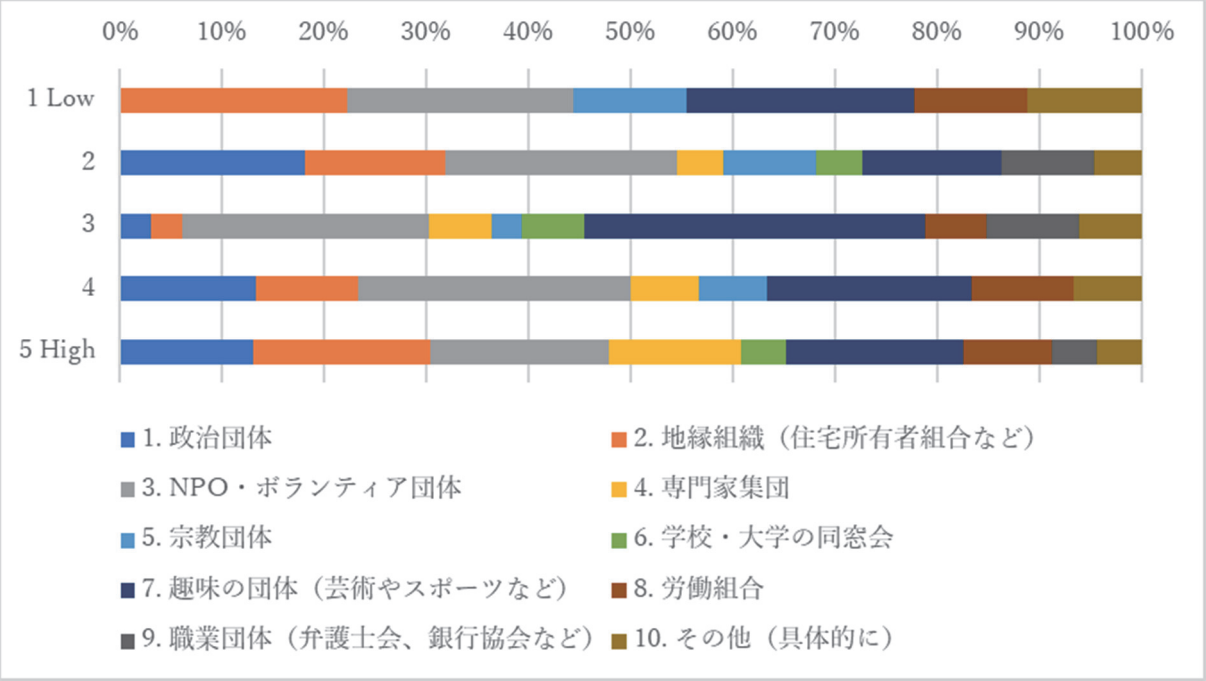
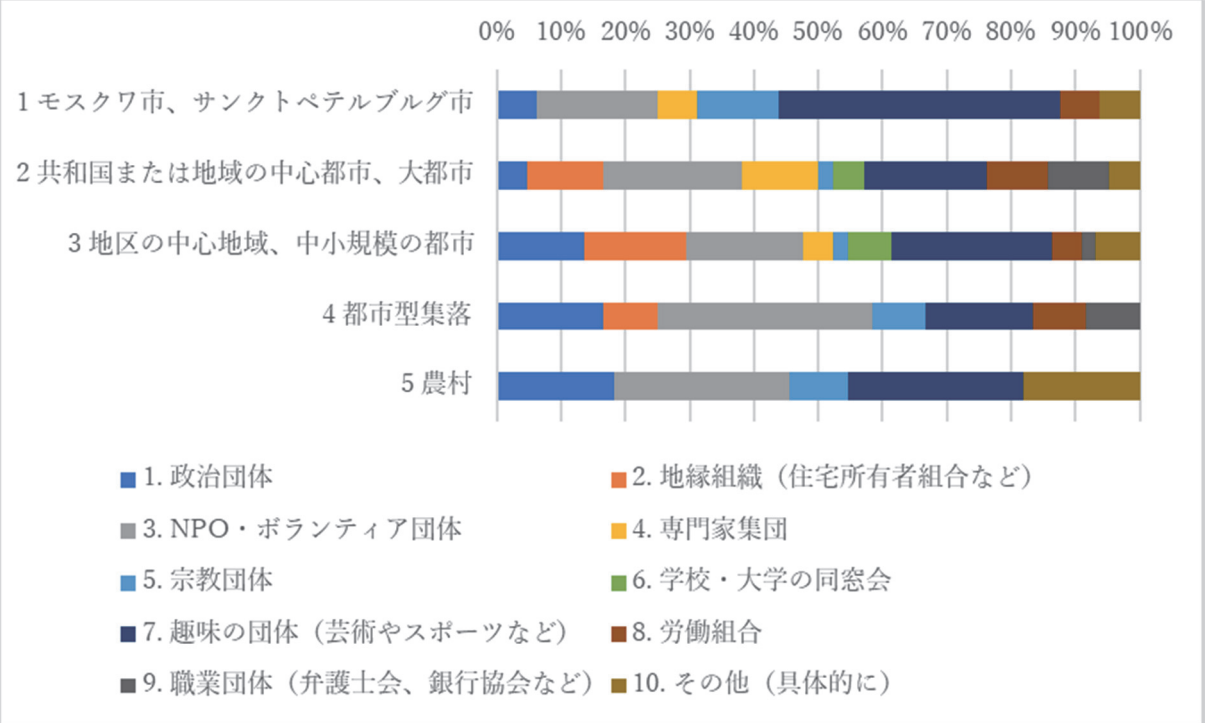


図 A3-4　居住地域別（N＝125）

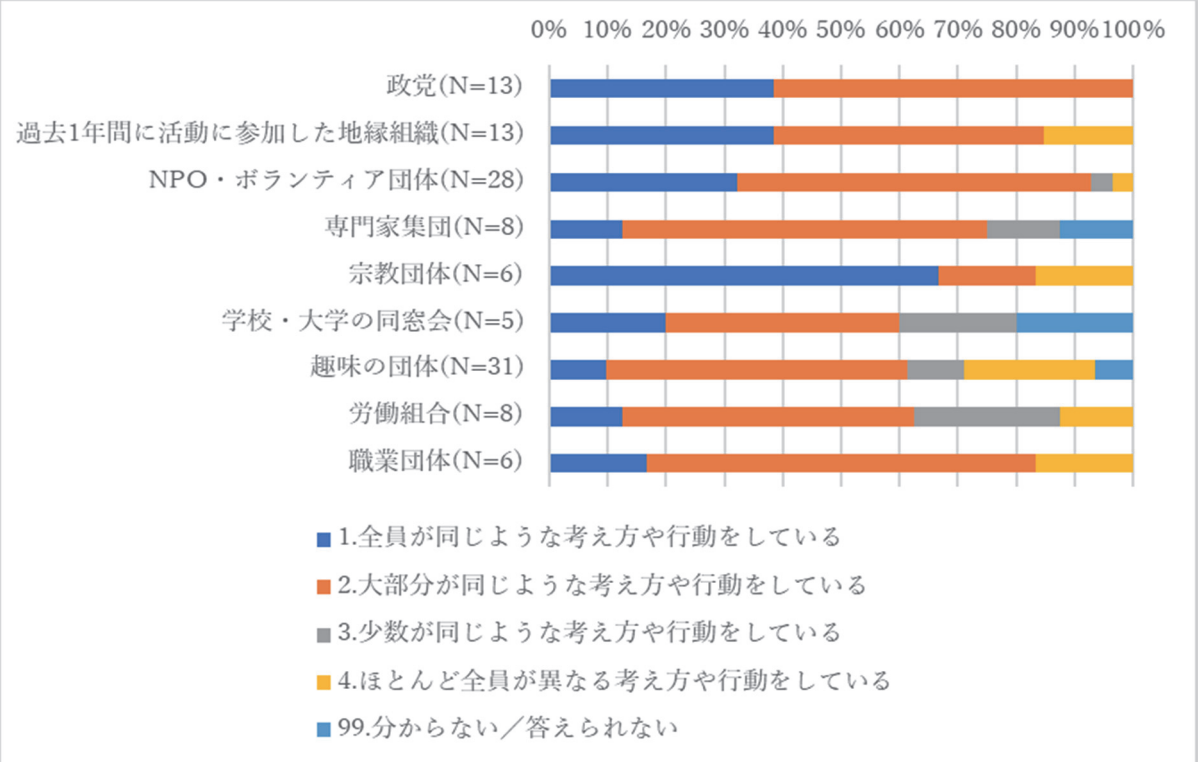


A4. （Q8- Q1010.） 次の記述のうち、あなたが A3（Q7）で選んだ以下の団体における人間関係を正しく表しているのはどれですか。

（単位：人）

	1.全員が同じような考え方や行動をしている	2.大部分が同じような考え方や行動をしている	3.少数が同じような考え方や行動をしている	4.ほとんど全員が異なる考え方や行動をしている	99.分からない／答えられない	回答者計
Q8. 政党	5	8				13
Q1001. 過去 1 年間に活動に参加した地縁組織	5	6		2		13
Q1002. NPO・ボランティア団体	9	17	1	1		28
Q1005. 専門家集団	1	5	1		1	8
Q1006. 宗教団体	4	1		1		6
Q1007. 学校・大学の同窓会	1	2	1		1	5
Q1008. 趣味の団体	3	16	3	7	2	31
Q1009. 労働組合	1	4	2	1		8
Q1010. 職業団体	1	4		1		6

図 A4-0　総計



A5.（Q9.）普段のコミュニケーションについてうかがいます。あなたが普段、1 日に直接、または電話やインターネットで連絡を取っているご家族や親族の人数をお答えください（同居している人は含みません）。

	実数（人）	比率
0 人	160	9.4%
1-2 人	433	25.5%
3-4 人	484	28.5%
5-9 人	403	23.7%
10-19 人	160	9.4%
20 人以上	39	2.3%
答えられない	21	1.2%
総計	1700	100.0%

図 A5-0　総計（N＝1700）

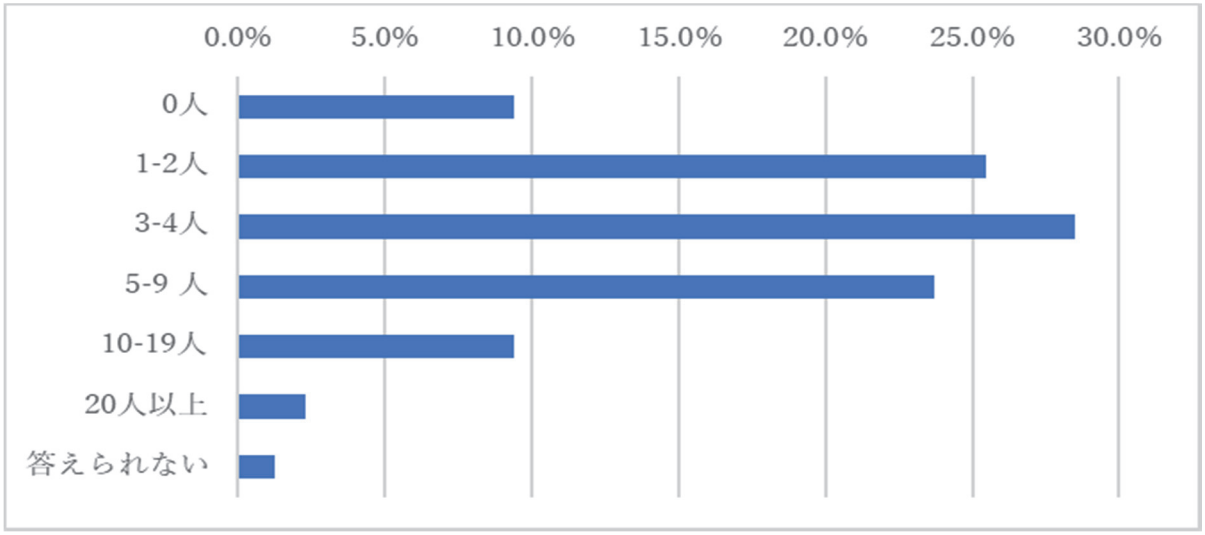


図 A5-1　男女別（N＝1679）

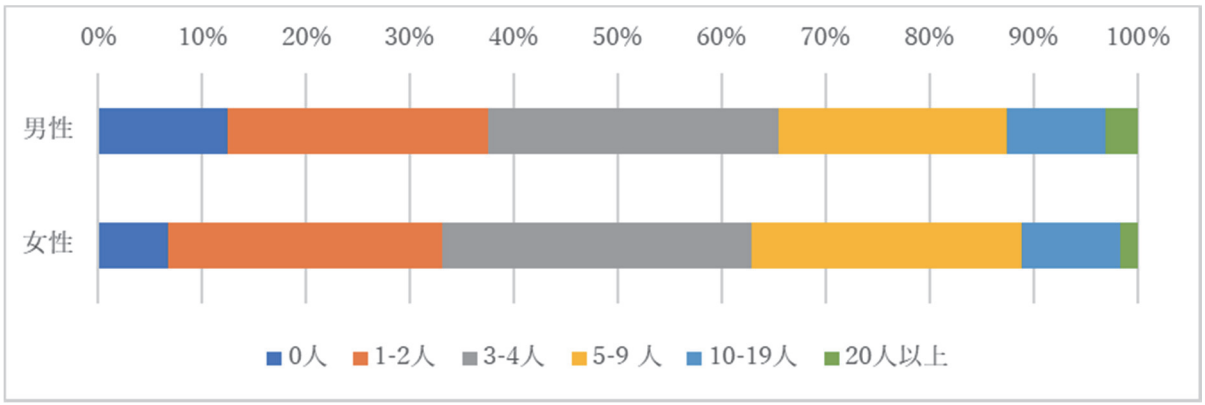


図 A5-2　年齢別（N＝1679）

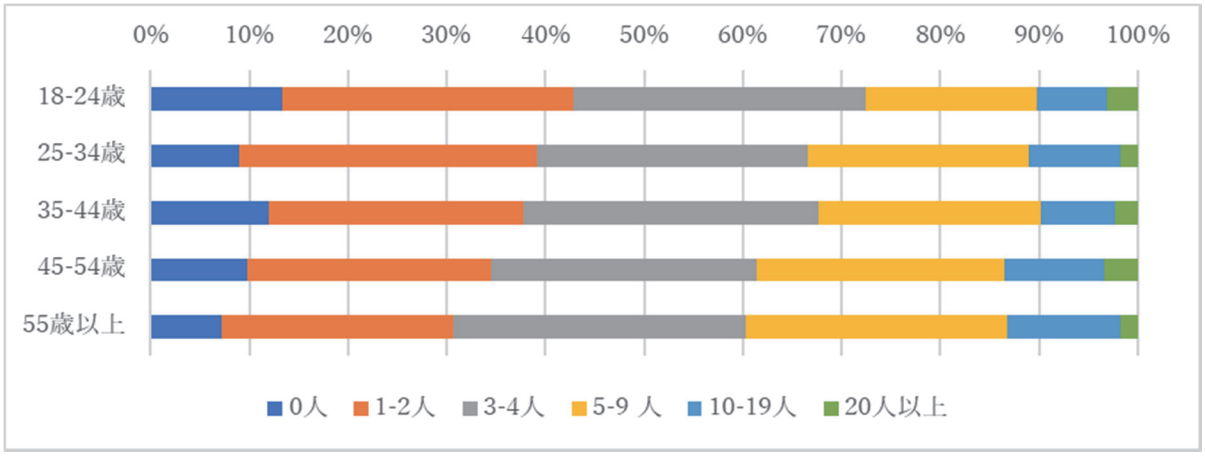


図 A5-3　収入別（N＝1566）

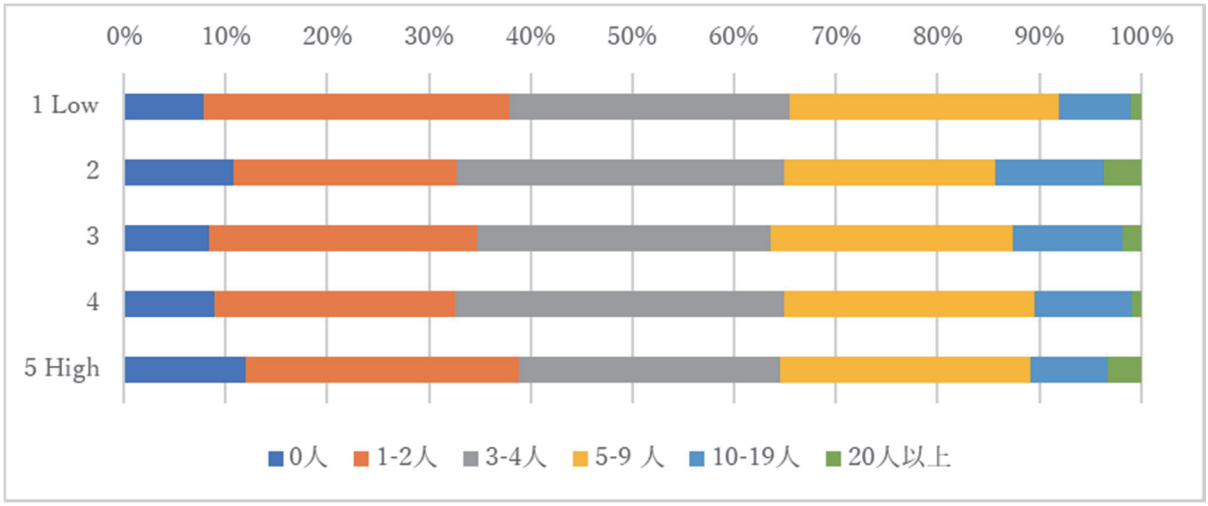
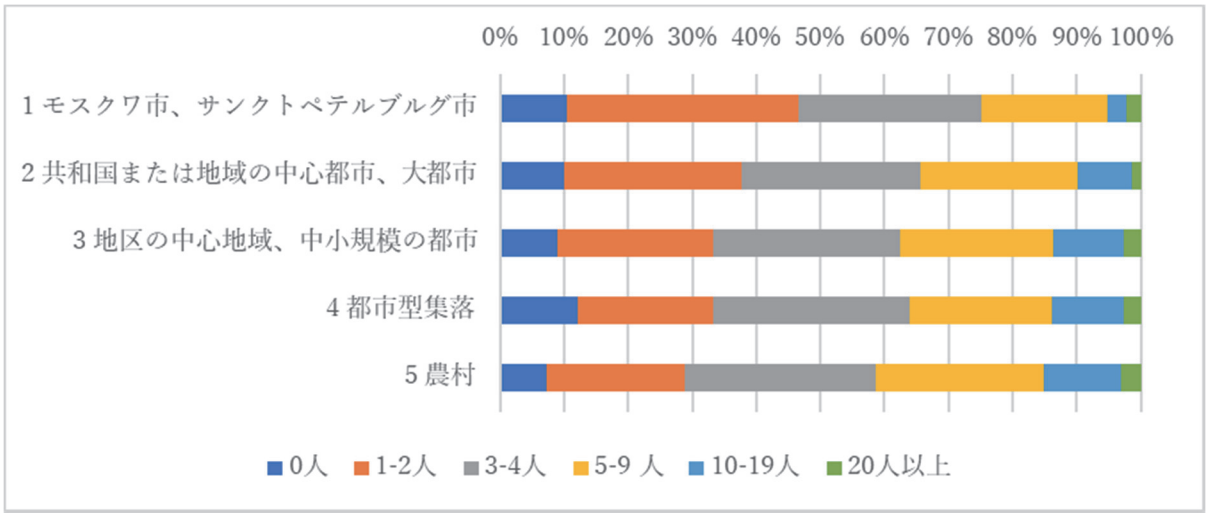


図 A5-4　居住地域別（N＝1670）



A6.（Q10.）あなたは普段、どの程度の頻度で家族や親族とコミュニケーションをとったり、アドバイスや助けを求めたりしますか？（同居家族は除く）

	実数（人）	比率
全くない（もしくは親族はいない）	384	22.6%
年に 1 回～数年に 1 回程度	238	14.0%
月 1 回～年に数回程度	352	20.7%
週に 1 回～月に数回程度	279	16.4%
毎日～週に数回程度	413	24.3%
答えられない	34	2.0%
総計	1700	100.0%

図 A6-0　総計（N＝1700）

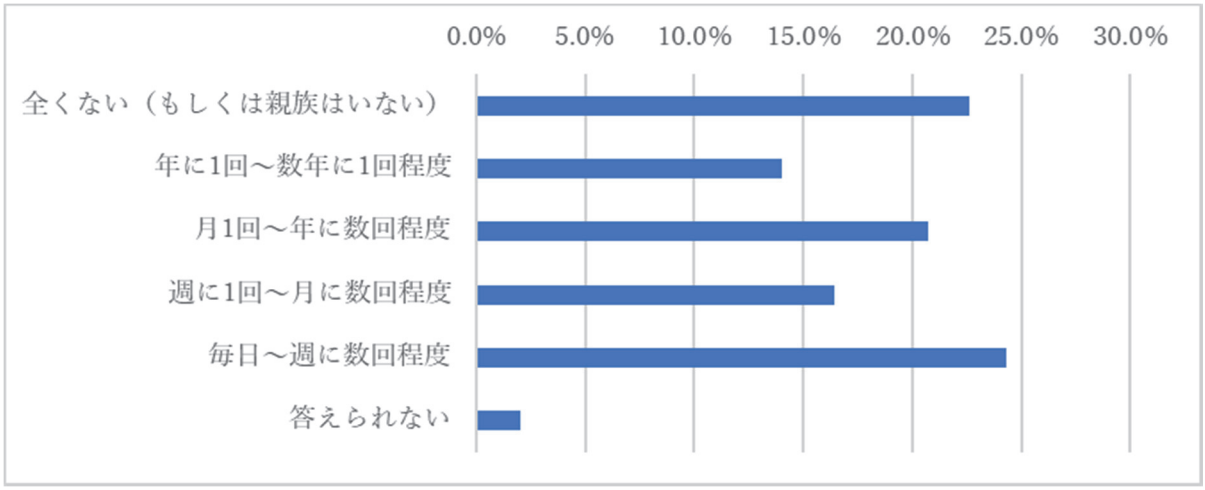


図 A6-1　男女別（N＝1666）

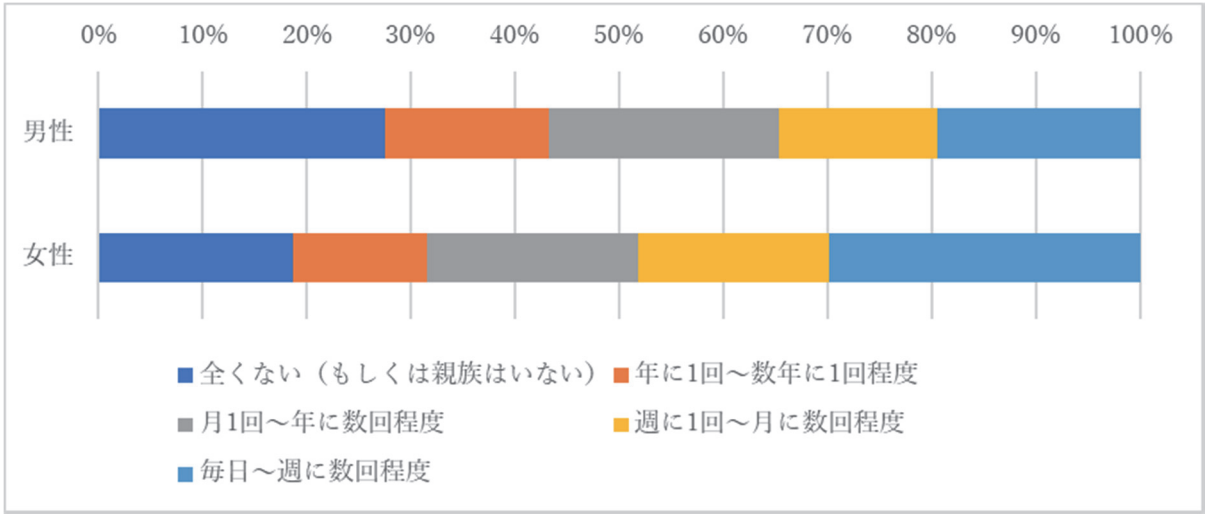


図 A6-2　年齢別（N＝1666）

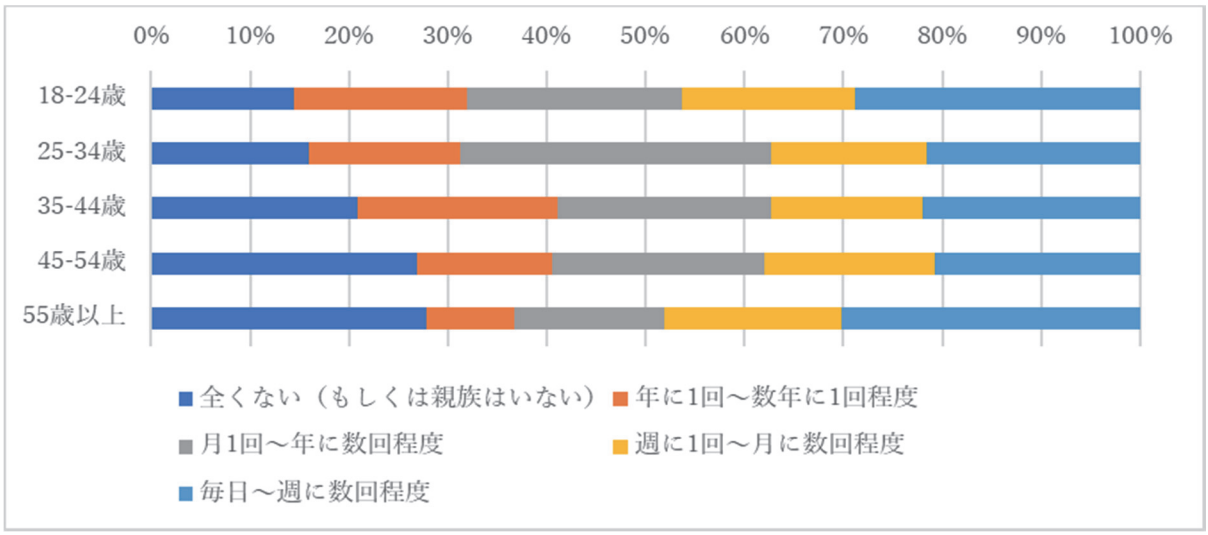


図 A6-3　収入別（N＝1554）

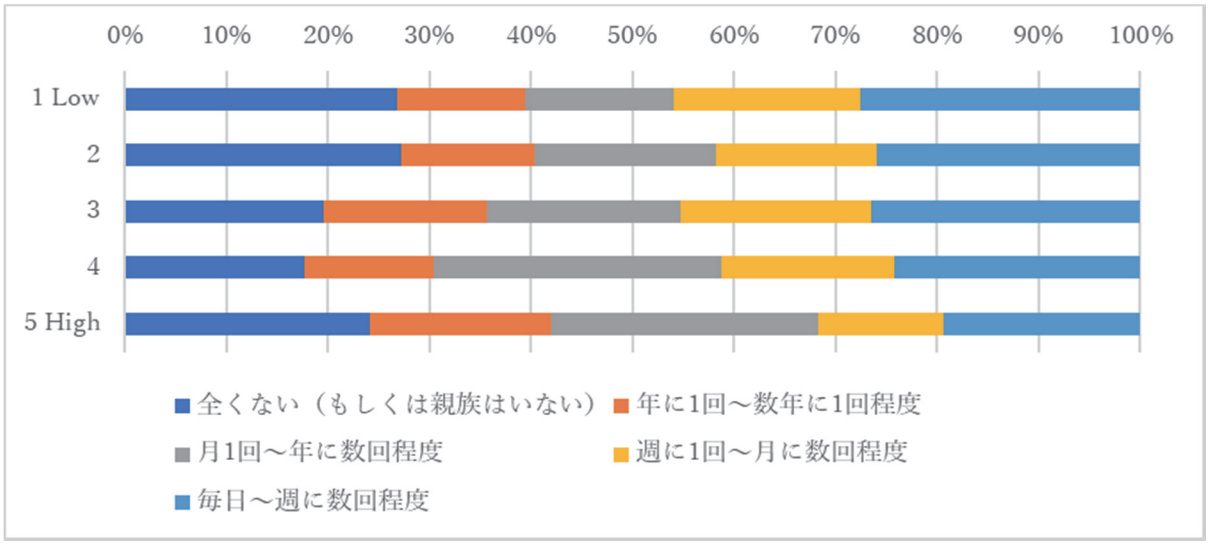
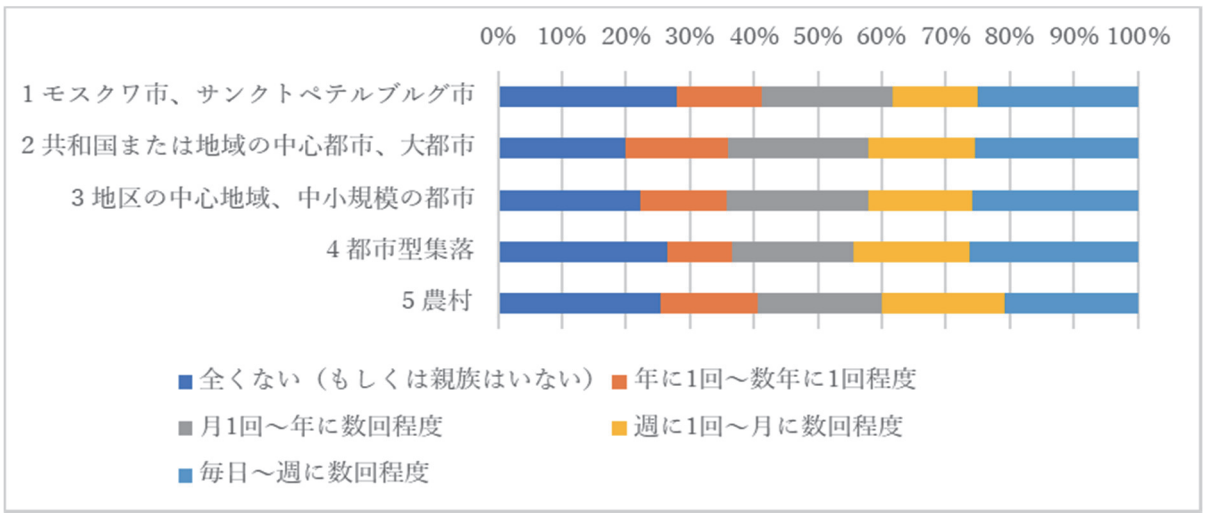


図 A6-4　居住地域別（N＝1657）



A7. （Q11.）あいさつ程度の付き合いがある近所の人は、何人くらいいますか？

	実数（人）	比率
1　0 人	102	6.0%
2　1-4 人	384	22.6%
3　5-9 人	392	23.1%
4　10-19 人	378	22.2%
5　20 人以上	392	23.1%
99　答えられない	52	3.1%
総計	1700	100.0%

図 A7-0　総計（N＝1700）

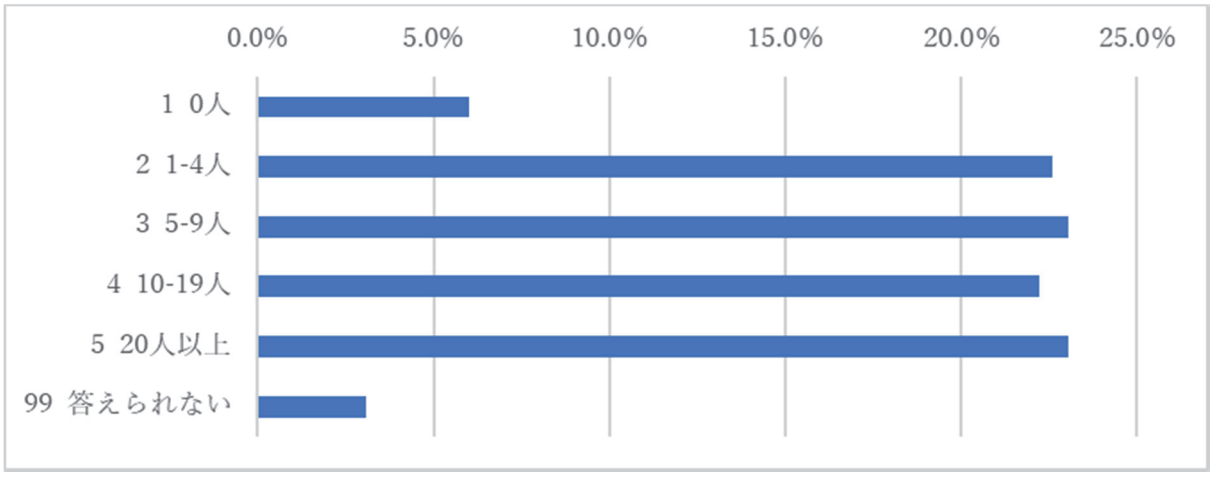


図 A7-1　男女別（N＝1648）

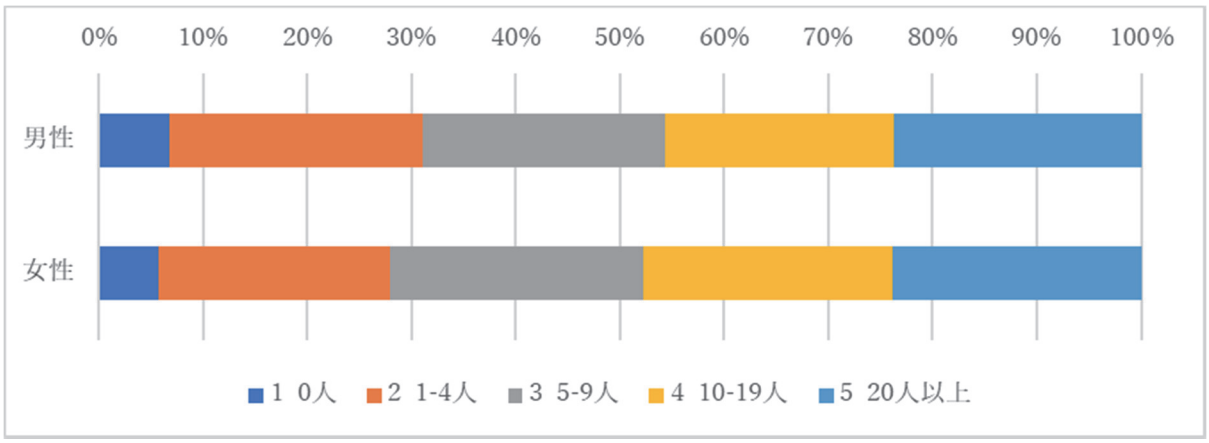


図 A7-2　年齢別（N＝1648）

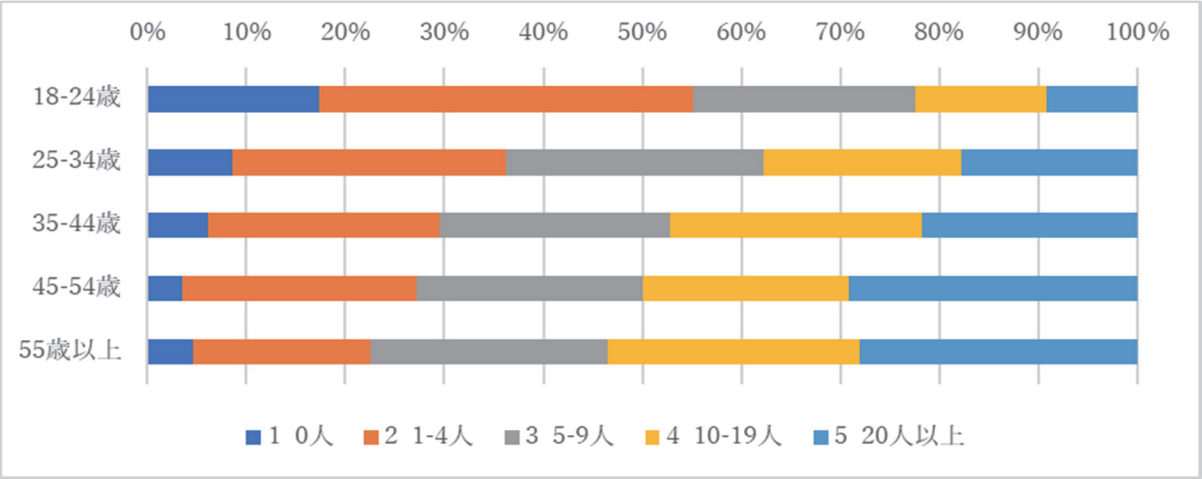


図 A7-3　収入別（N＝1537）

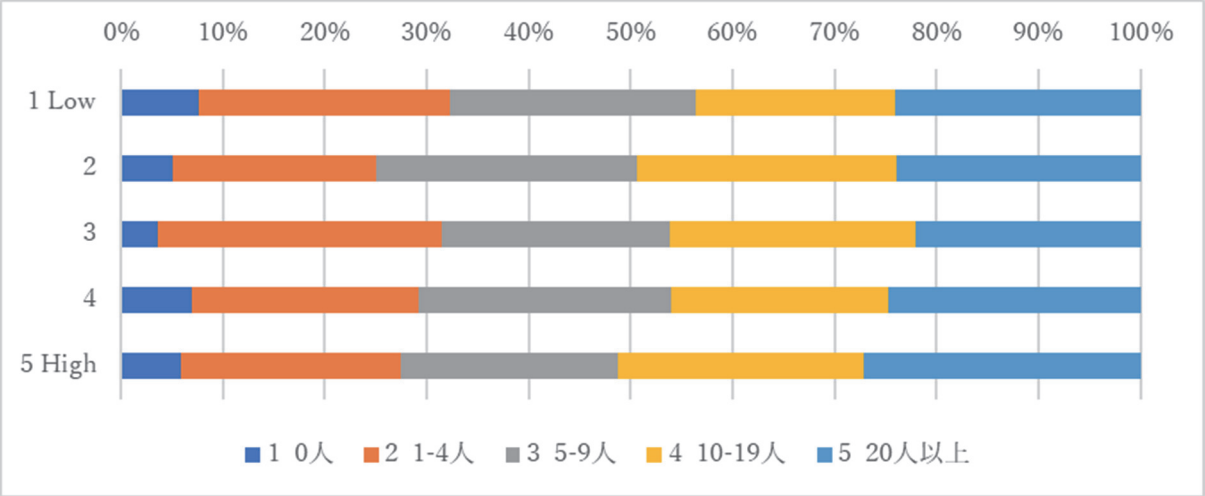
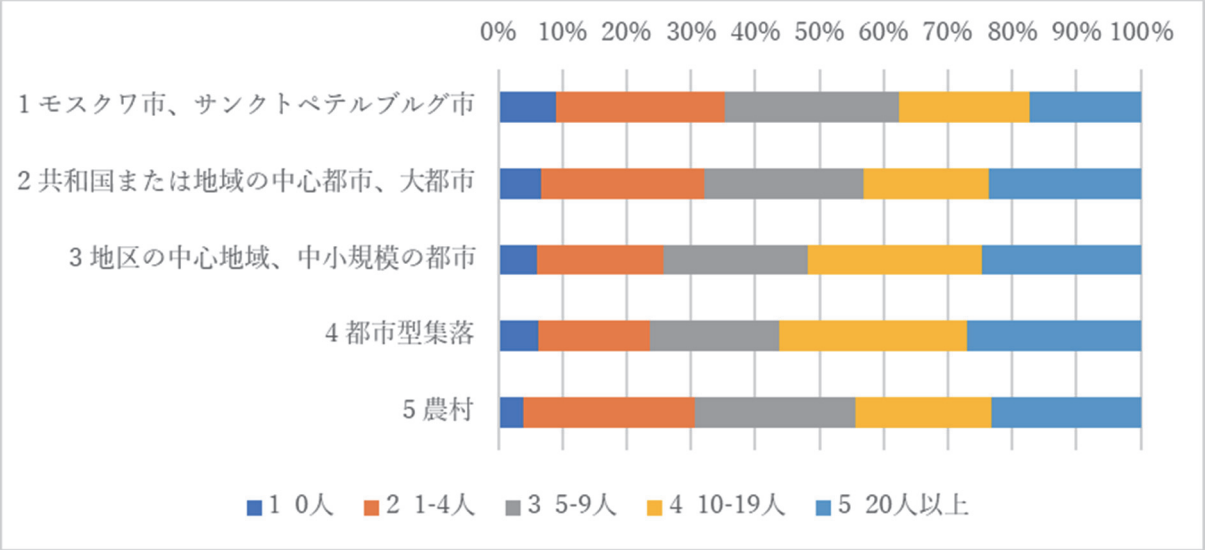


図 A7-4　居住地域別（N＝1640）



A8. （Q12.）困ったときに相談や頼み事ができる近所の人は、何人くらいいますか？

	実数（人）	比率
1　0 人	547	32.2%
2　1-2 人	444	26.1%
3　3-4 人	250	14.7%
4　5-9 人	204	12.0%
5　10 人以上	180	10.6%
99　答えられない	75	4.4%
総計	1700	100.0%

図 A8-0　総計（N＝1700）

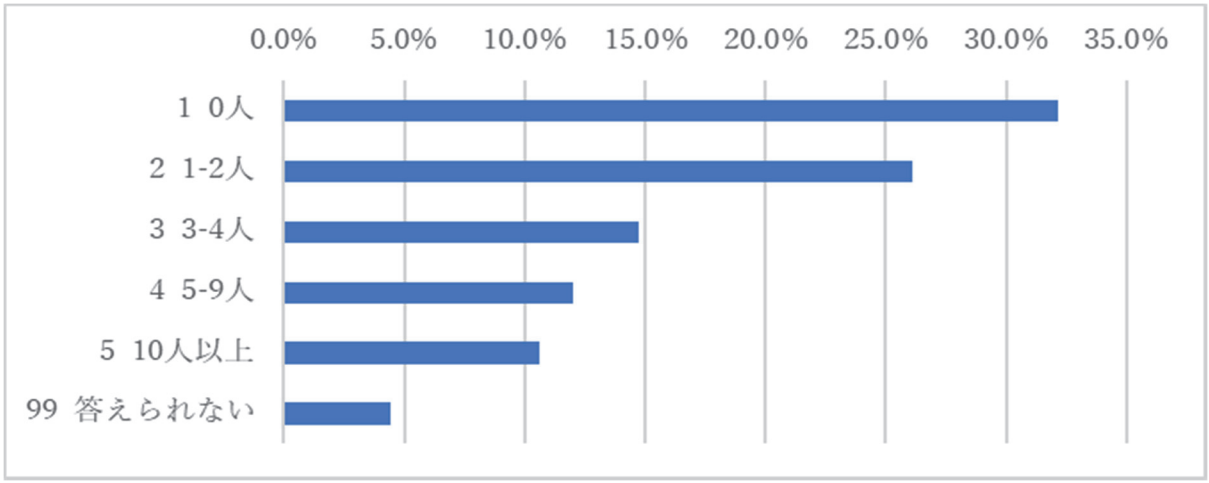


図 A8-1　男女別（N＝1625）

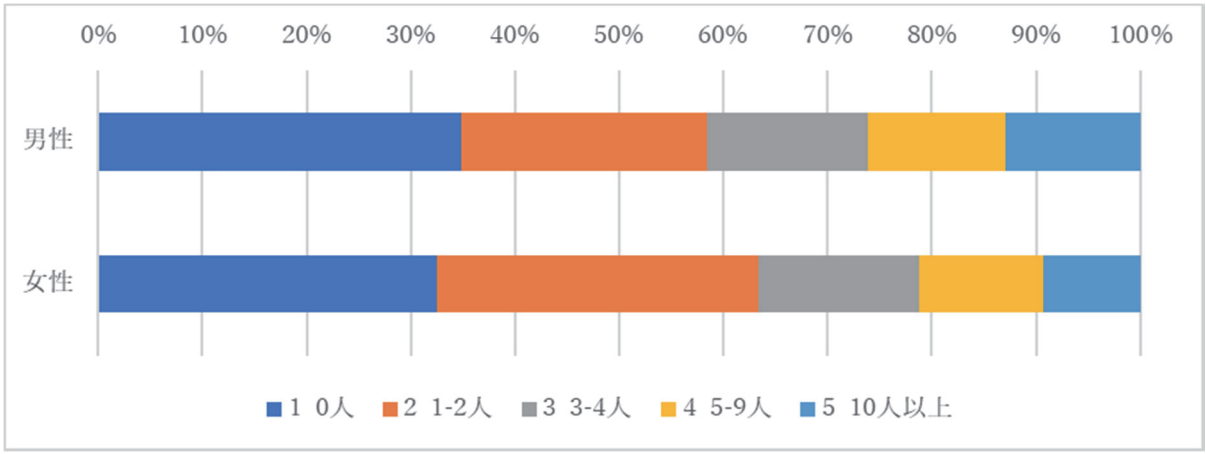


図 A8-2　年齢別（N＝1625）

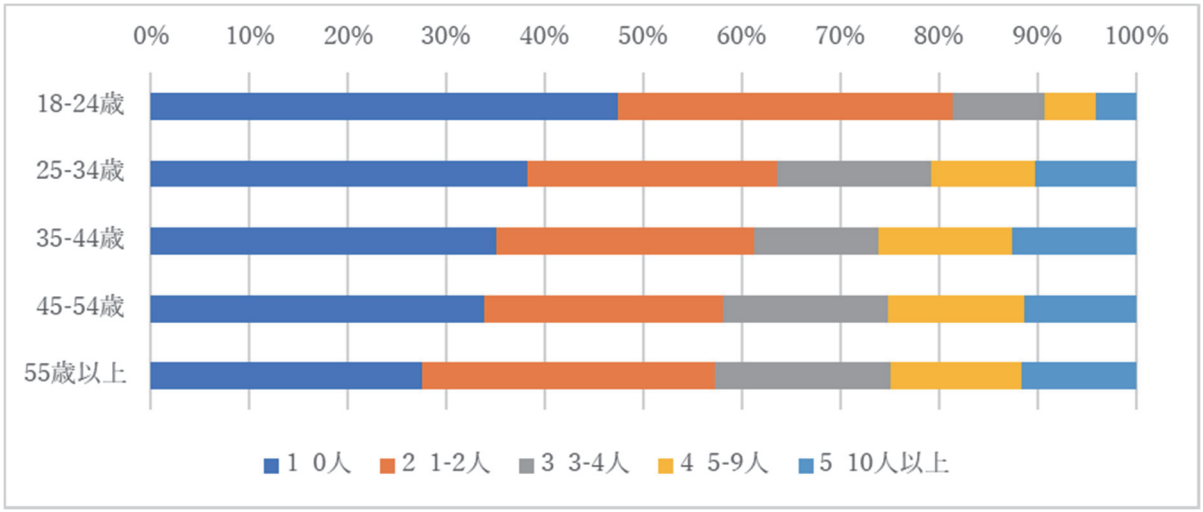


図 A8-3　収入別（N＝1513）

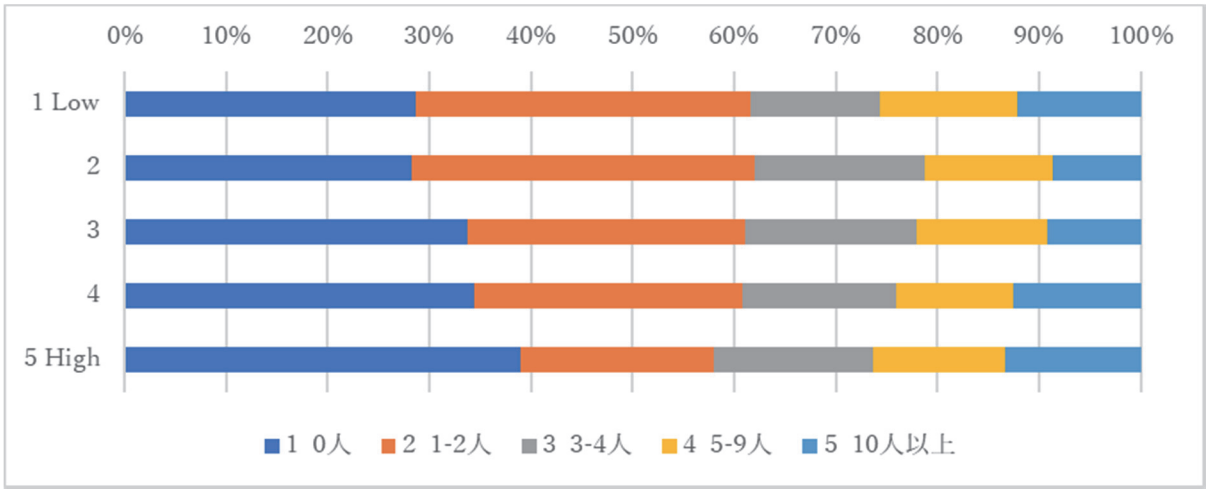
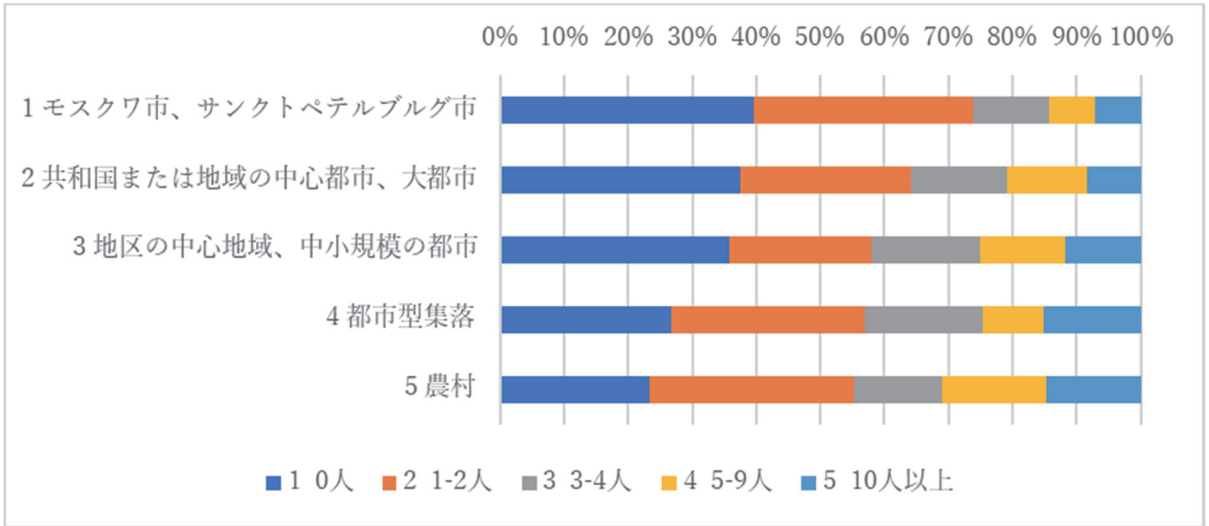


図 A8-4　居住地域別（N＝1616）



A9. (Q13.) あなたには、プライベートなことを話したり、困難な状況にあるときに助言や助けを求めたりできる親しい友人が何人いますか？

	実数（人）	比率
1　0 人	320	18.8%
2　1-2 人	598	35.2%
3　3-4 人	399	23.5%
4　5-9 人	239	14.1%
5　10-19 人	77	4.5%
6　20-49 人	25	1.5%
7　50-99 人	6	0.4%
8　100 人以上	4	0.2%
99　答えられない	32	1.9%
総計	1700	100.0%

図 A9-0　総計（N＝1700）

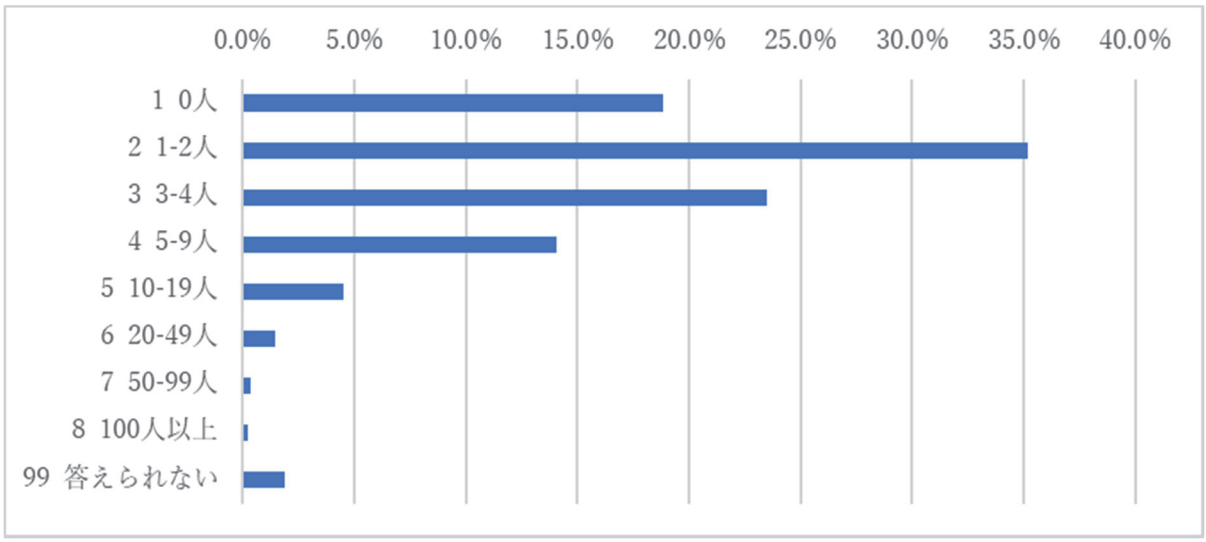


図 A9-1　男女別（N＝1668）

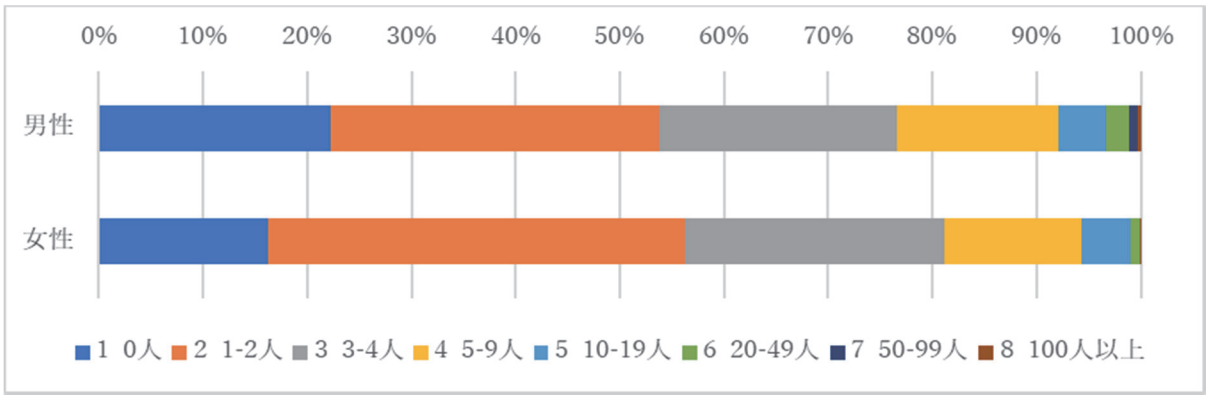


図 A9-2　年齢別（N＝1668）

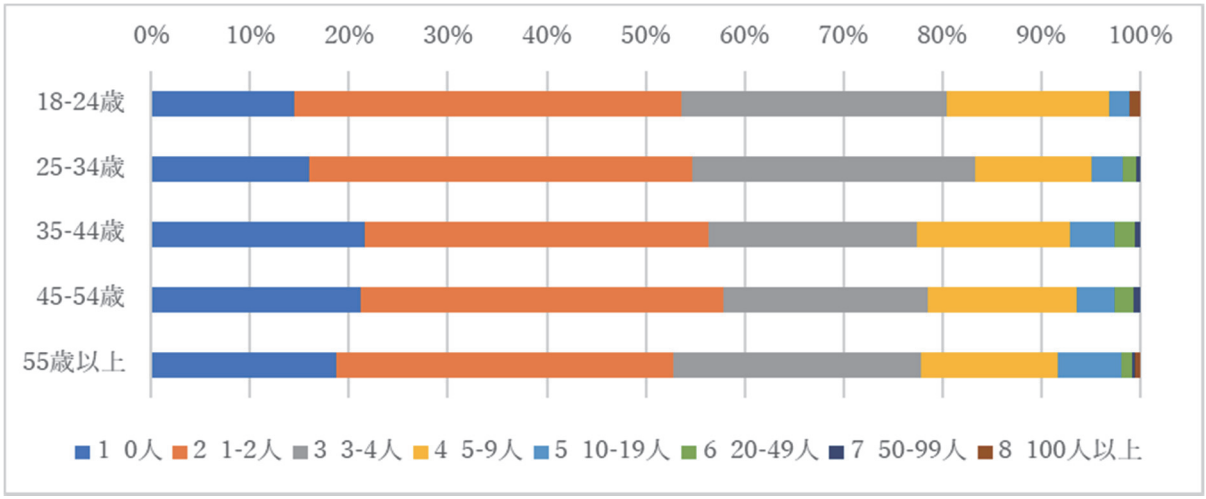


図 A9-3　収入別（N＝1552）

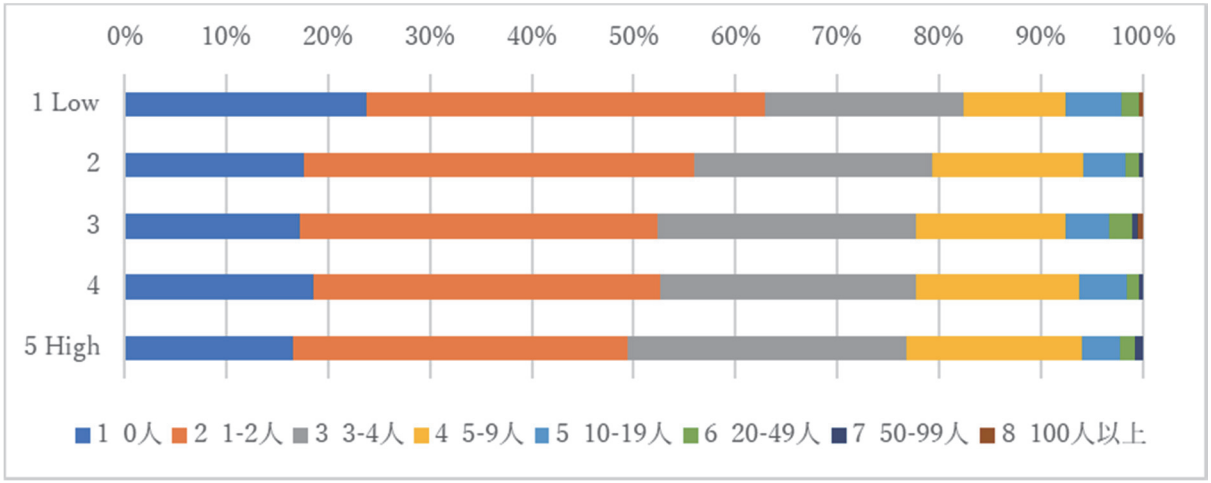
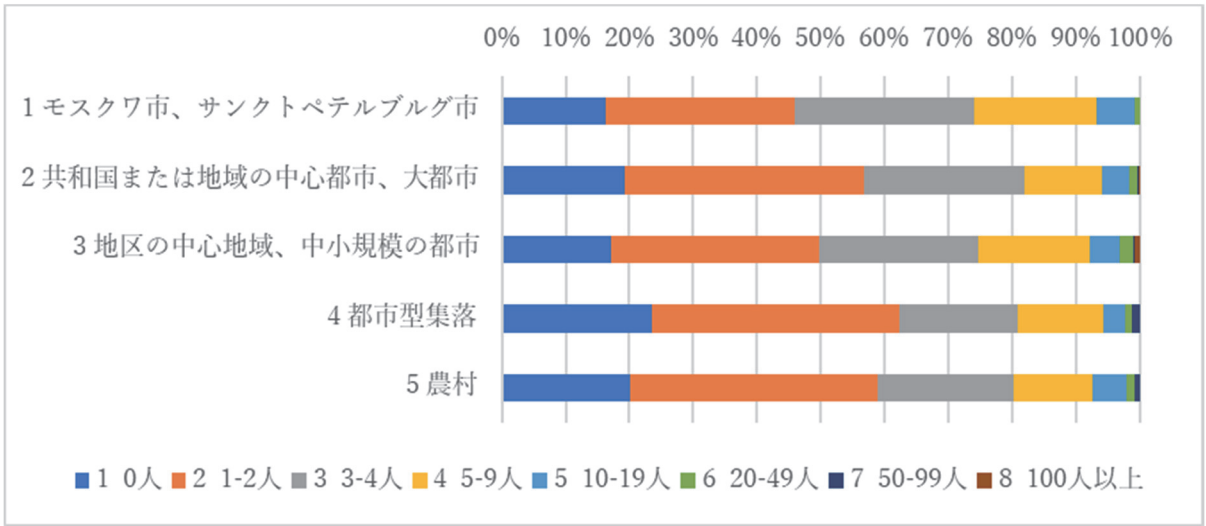


図 A9-4　居住地域別（N＝1660）



A10. （Q14.）あなたは普段、どの程度の頻度で友人・知人（仕事仲間を除く）と、相談や頼み事といった付き合いをされていますか？

	実数（人）	比率
1　全くない（もしくは友人・知人はいない）	462	27.2%
2　年に1回～数年に1回程度	475	27.9%
3　月に1回～年に数回程度	454	26.7%
4　週に1回～月に数回程度	176	10.4%
5　毎日～週に数回程度	83	4.9%
99 答えられない	50	2.9%
総計	1700	100.0%

図 A10-0　総計（N＝1700）

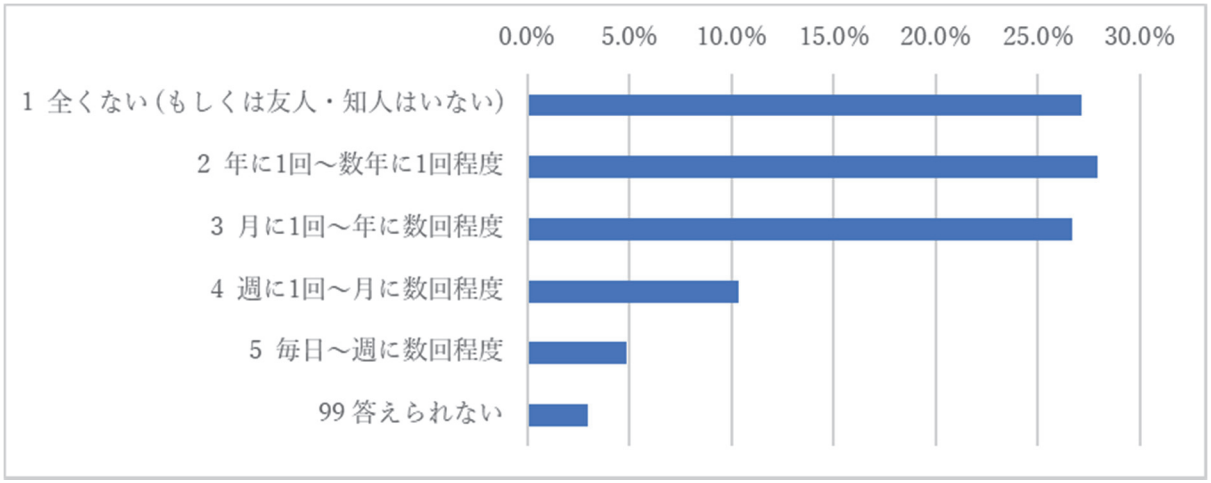


図 A10-1　男女別（N＝1650）

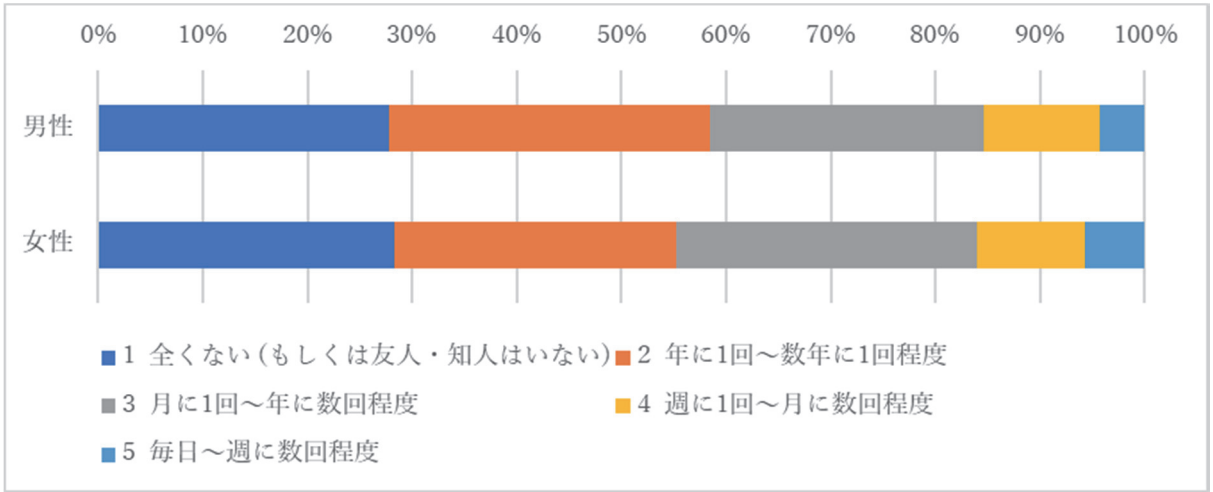


図 A10-2　年齢別（N＝1650）

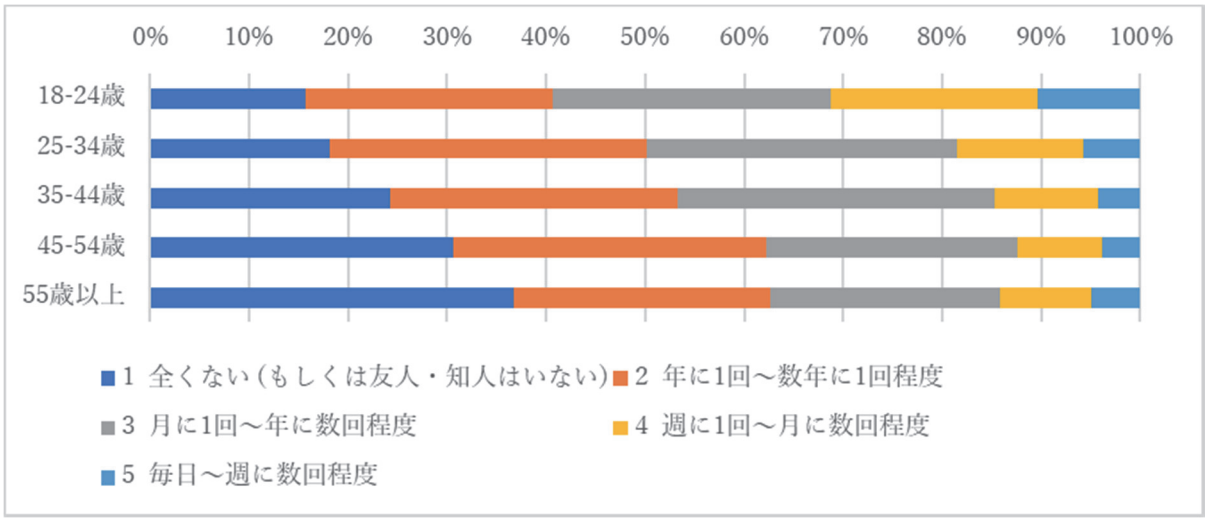


図 A10-3　収入別（N＝1534）

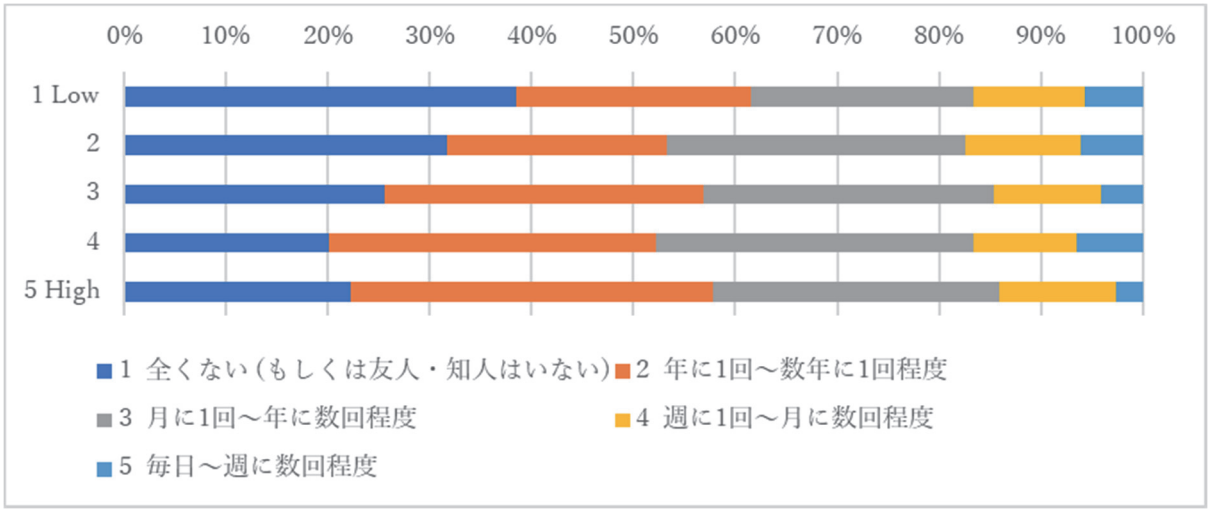
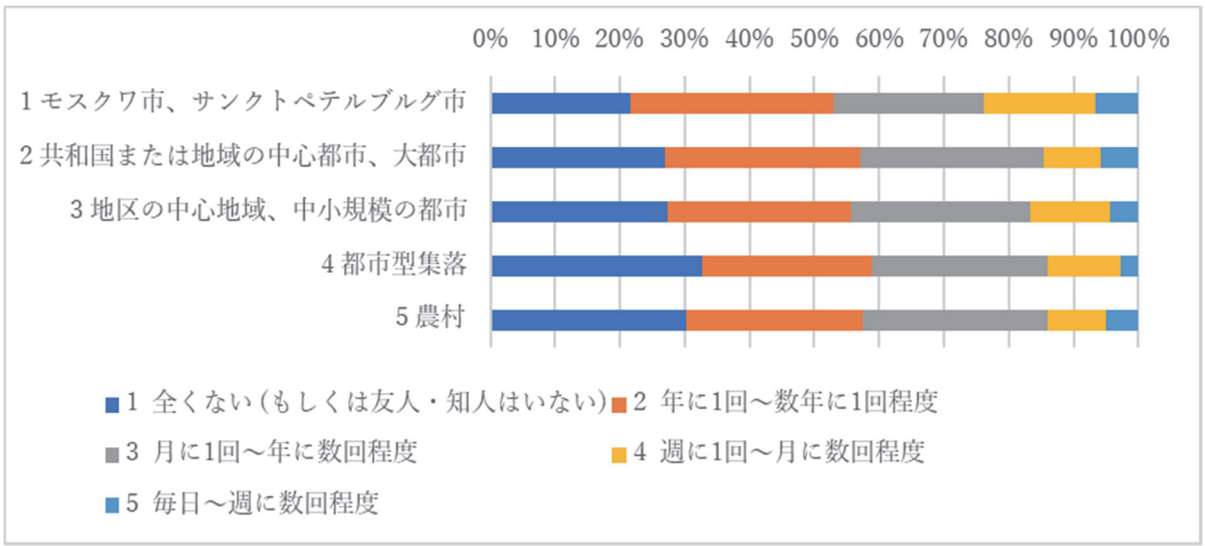


図 A10-4　居住地域別（N＝1641）



A11.（Q15.）友人・知人とは、どのように接することが多いですか？

	実数（人）	比率
1 対面	526	30.9%
2 電話	841	49.5%
3 電子メール	5	0.3%
4 SNS	247	14.5%
5 その他	59	3.5%
99 答えられない	22	1.3%
総計	1700	100.0%

（注）その他の回答としては、スカイプや SNS の具体名をあげた回答が多かった。

図 A11-0　総計（N＝1700）

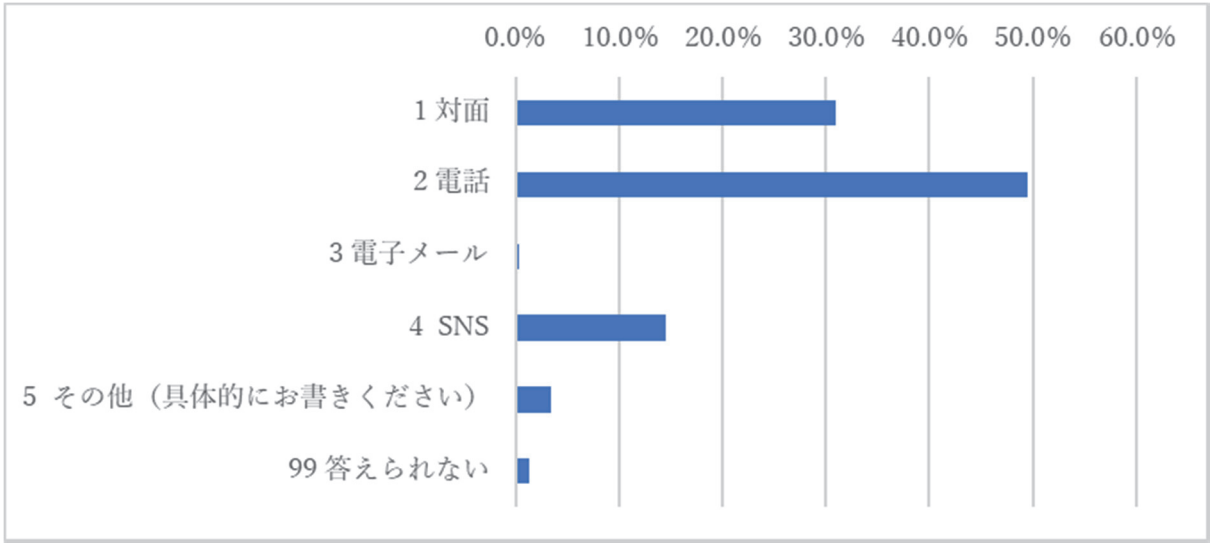


図 A11-1　男女別（N＝1678）

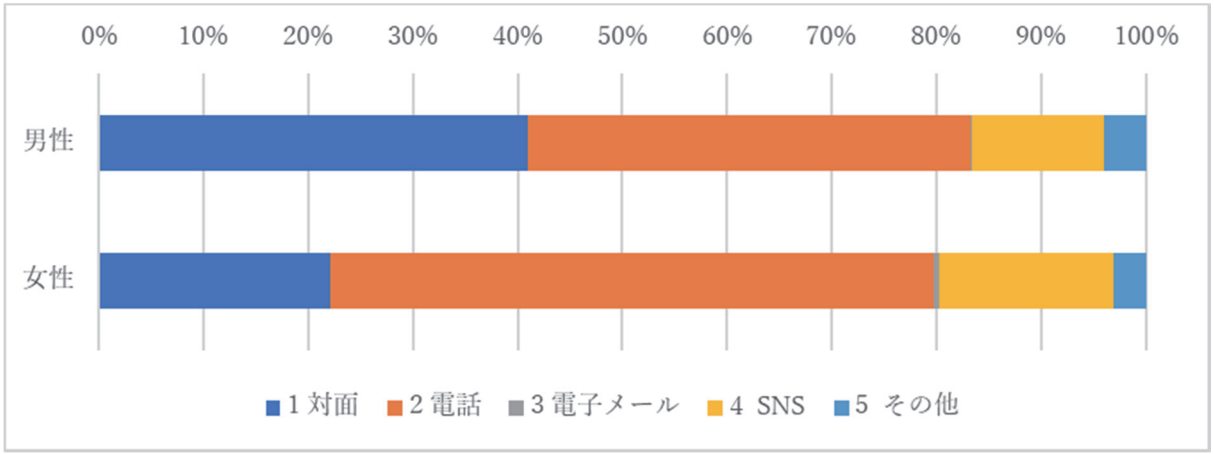


図 A11-2　年齢別（N＝1678）

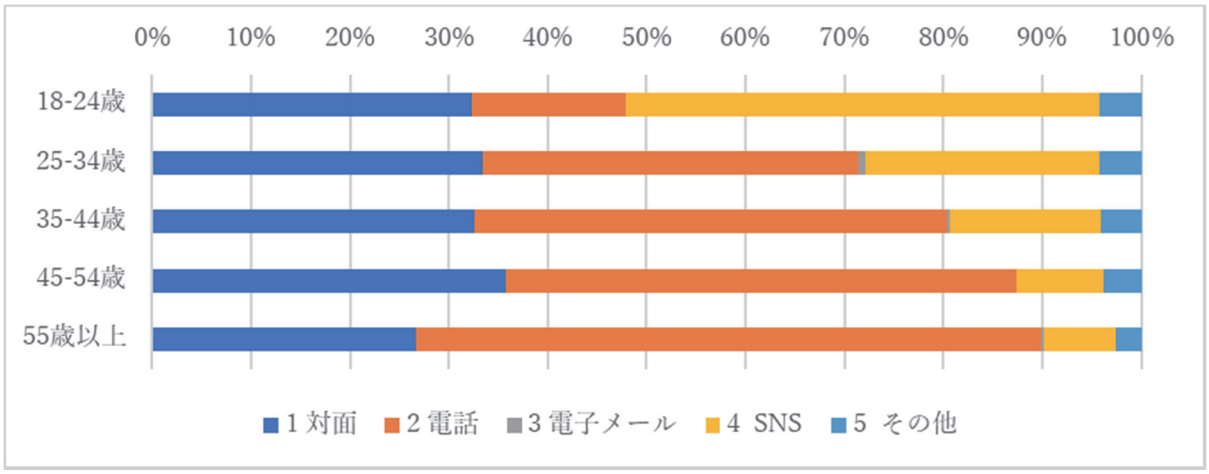


図 A11-3　収入別（N＝1560）

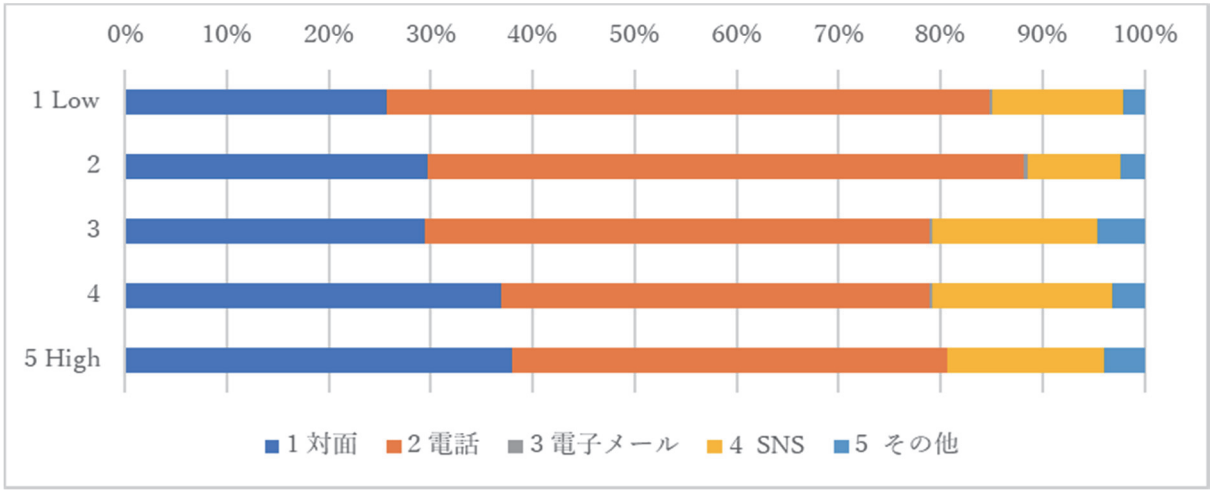
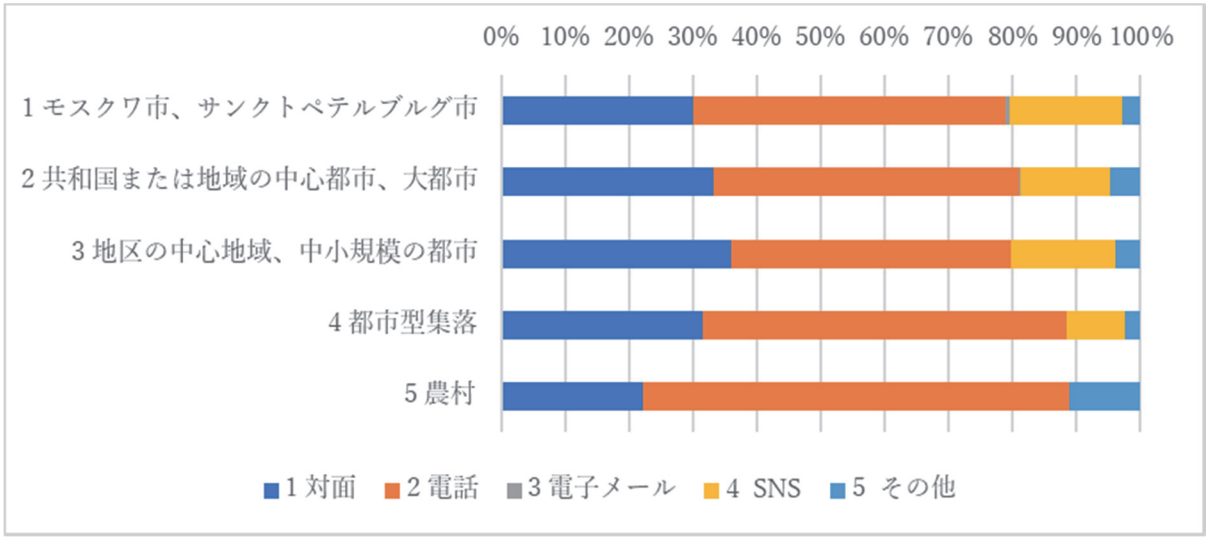


図 A11-4　居住地域別（N＝1542）



A12. （Q16.）あなたが親族以外で日常的によくお付き合いをしている人たちについて、以下のうちどの記述がもっともよく当てはまりますか？

	実数（人）	比率
1 私よりも地位の高い人が多い	110	6.5%
2 私と地位がほぼ同じ人が多い	1368	80.5%
3 私よりも地位の低い人が多い	80	4.7%
99 答えられない	142	8.4%
総計	1700	100.0%

図 A12-0　総計（N＝1700）

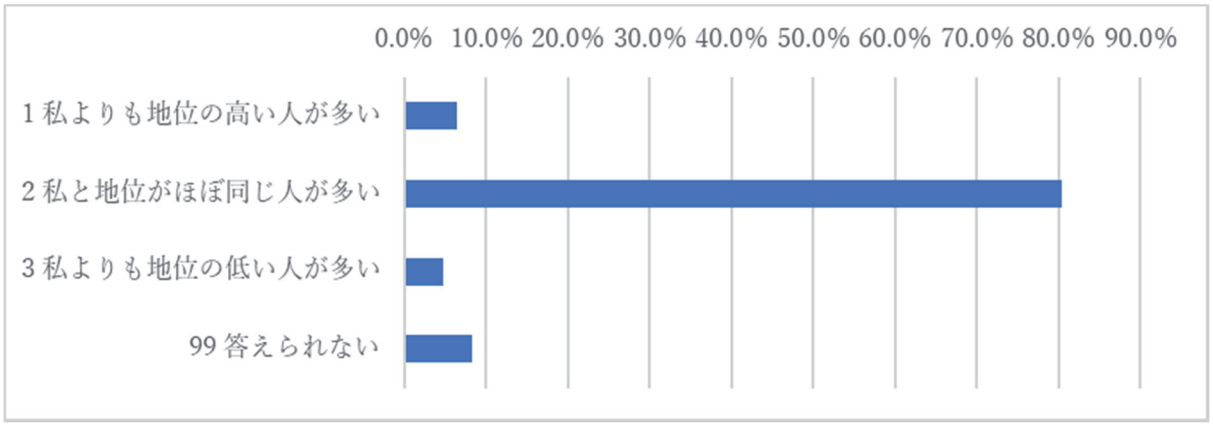


図 A12-1　男女別（N=1558）

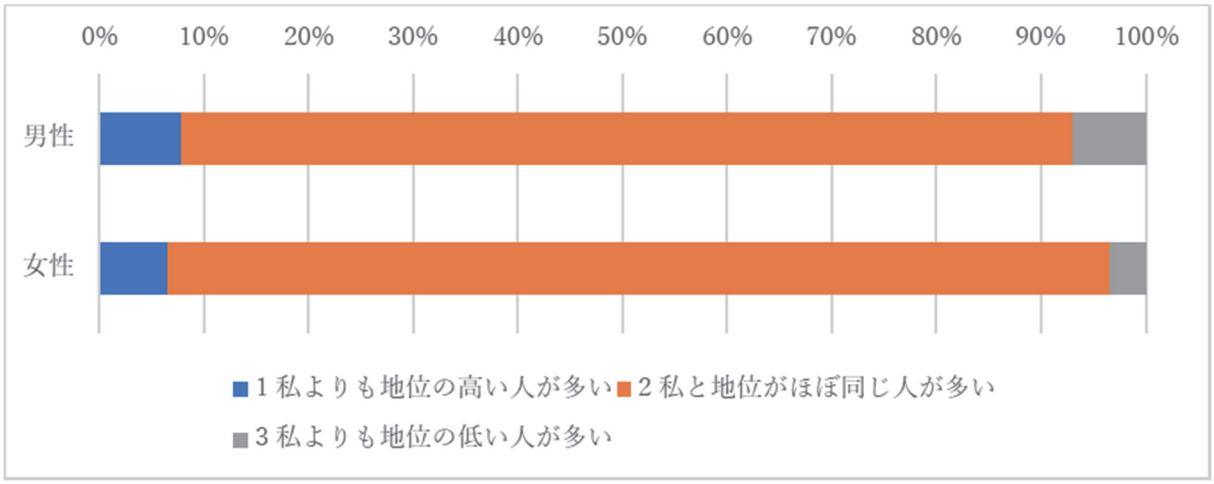


図 A12-2　年齢別（N=1558）

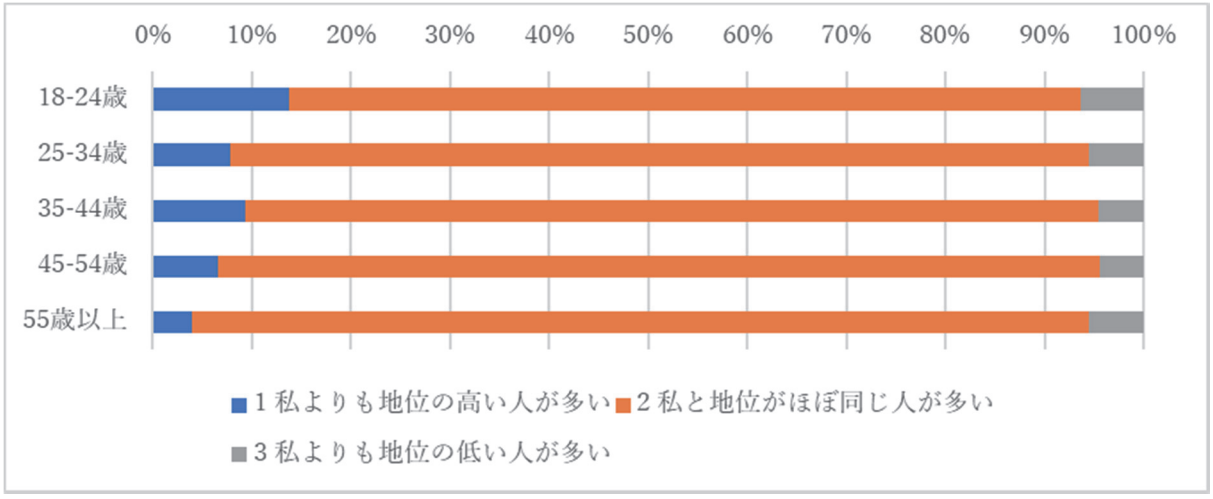


図 A12-3　収入別（N=1458）

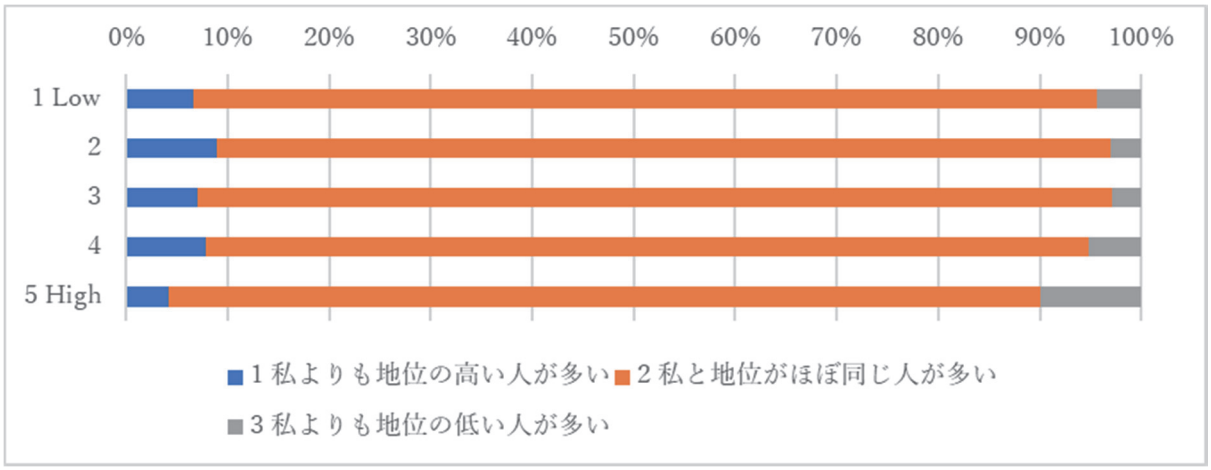
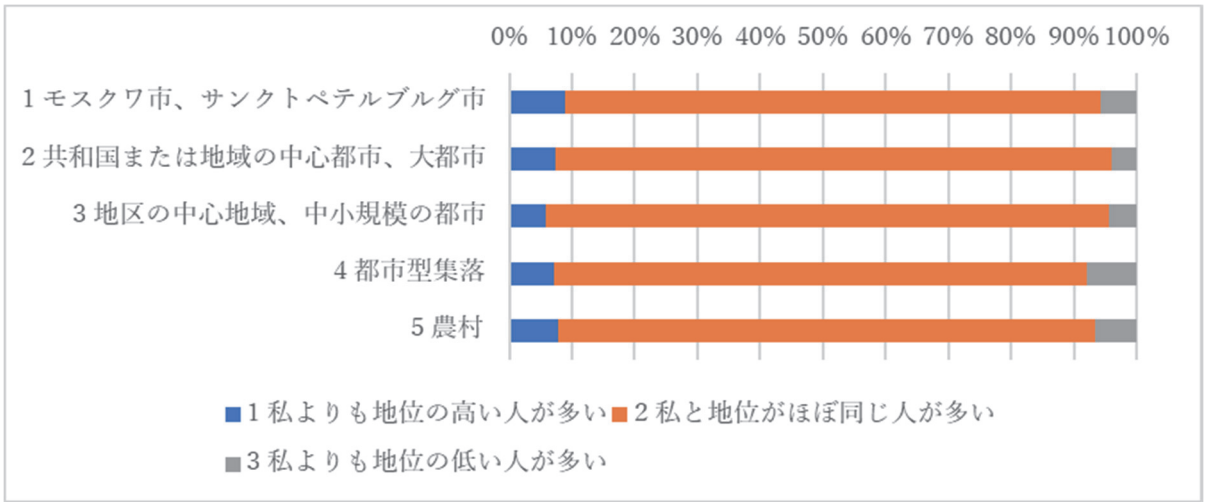


図 A12-4　居住地域別（N=1549）



A13. （Q17.）あなたの親族や友人・知人に、以下の職業の方がいらっしゃいますか？

	いる		いない		総計（人）
1　大学教員	489	28.8%	1211	71.2%	1700
2　弁護士	410	24.1%	1290	75.9%	1700
3　医師・看護師	1055	62.1%	645	37.9%	1700
4　コンピューター・プログラマー	706	41.5%	994	58.5%	1700
5　学校の先生	804	47.3%	896	52.7%	1700
6　企業の人事担当者	380	22.4%	1320	77.6%	1700
7　警察官	694	40.8%	1006	59.2%	1700
8　政治家	173	10.2%	1527	89.8%	1700
9　公務員・官僚	671	39.5%	1029	60.5%	1700
10　企業経営者	498	29.3%	1202	70.7%	1700
99　答えられない	239	14.1%	1461	85.9%	1700

図 A13-0　総計（N＝1700）

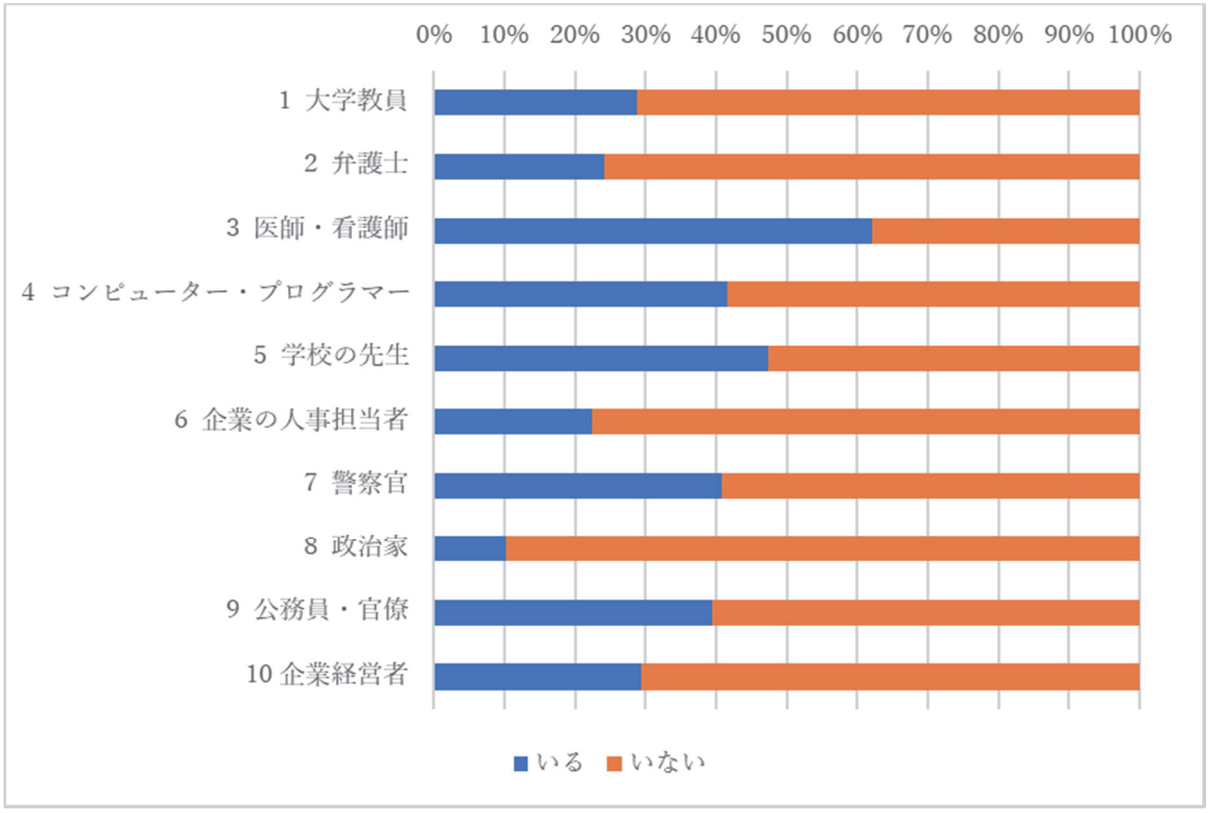


図 A13-1　男女別（N＝1700）

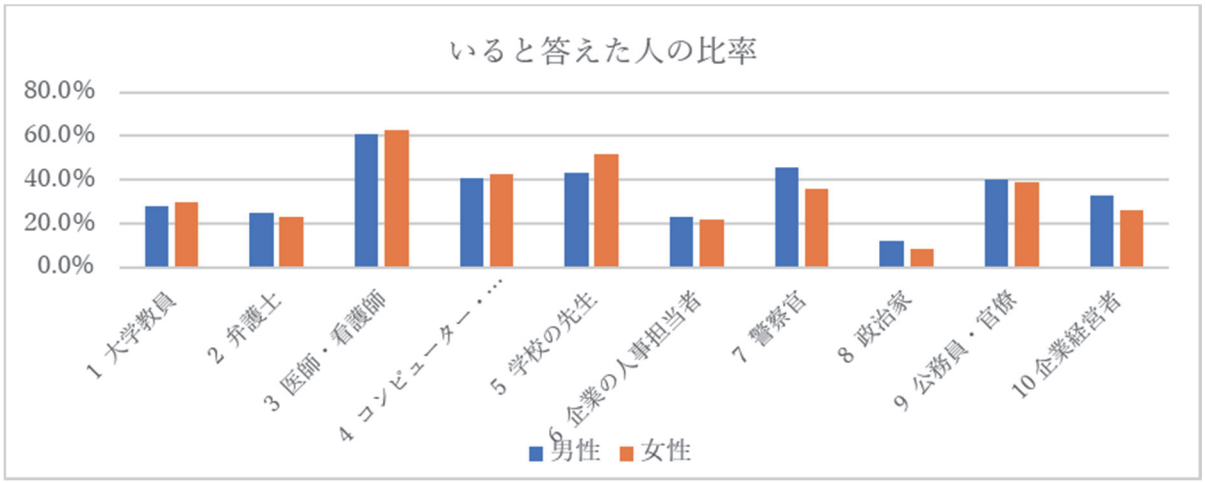


図 A13-2　年齢別（N＝1700）

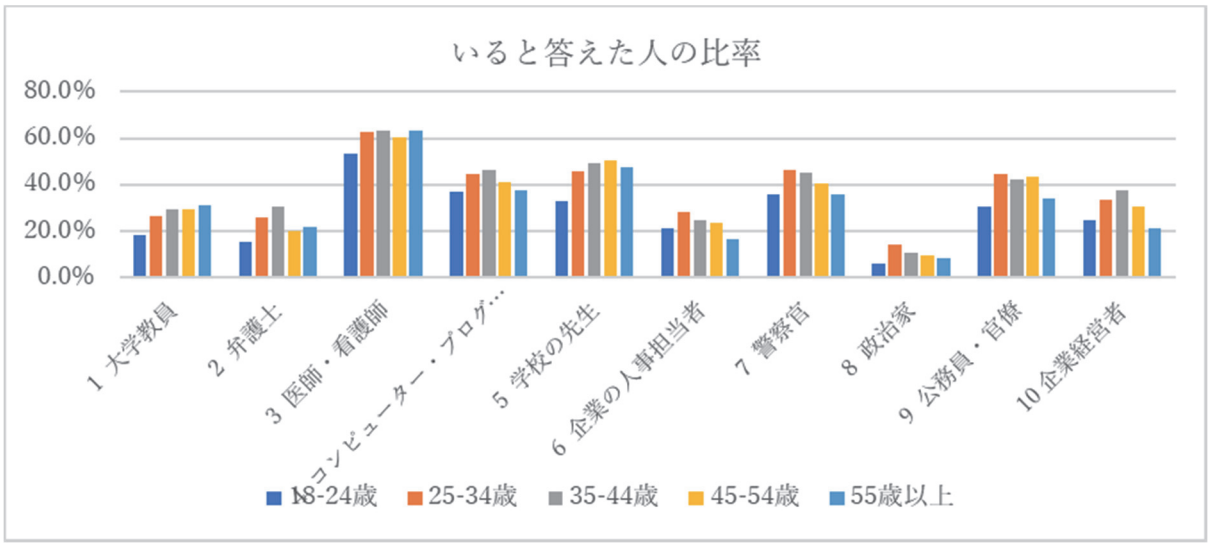


図 A13-3　収入別（N＝1580）

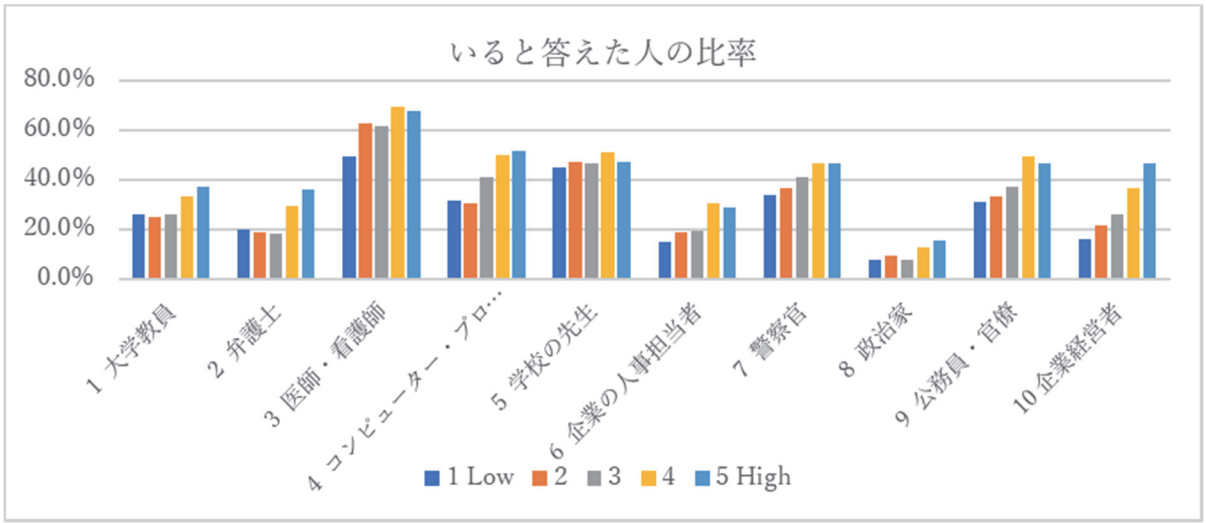
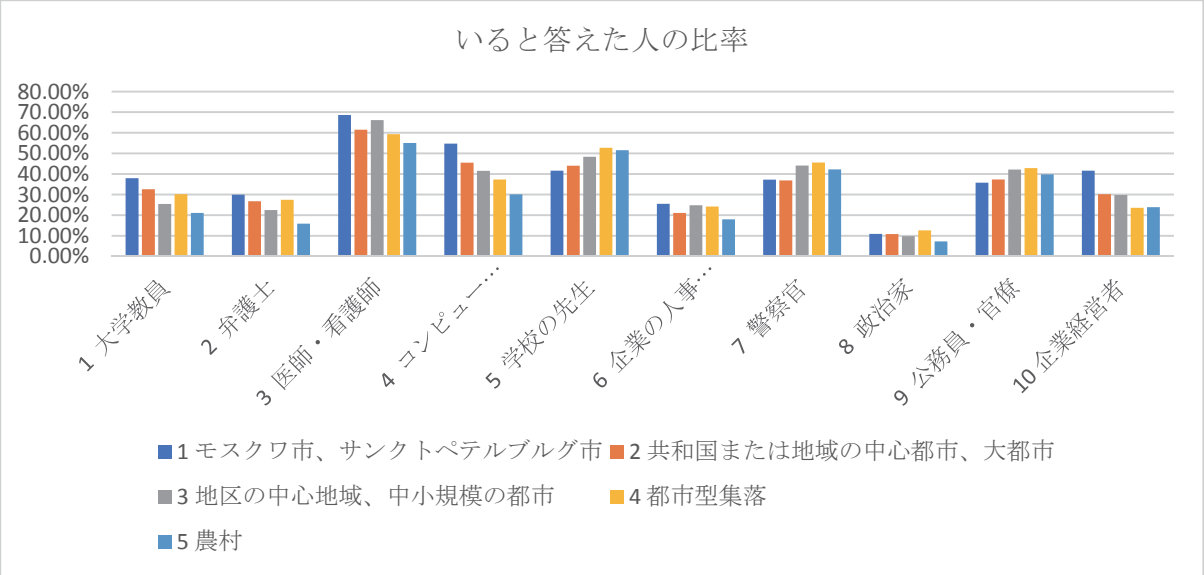


図 A13-4　居住地域別（N＝1691）



A14.（Q18-24.）あなたは、以下のような場合に、まず誰に相談しますか？

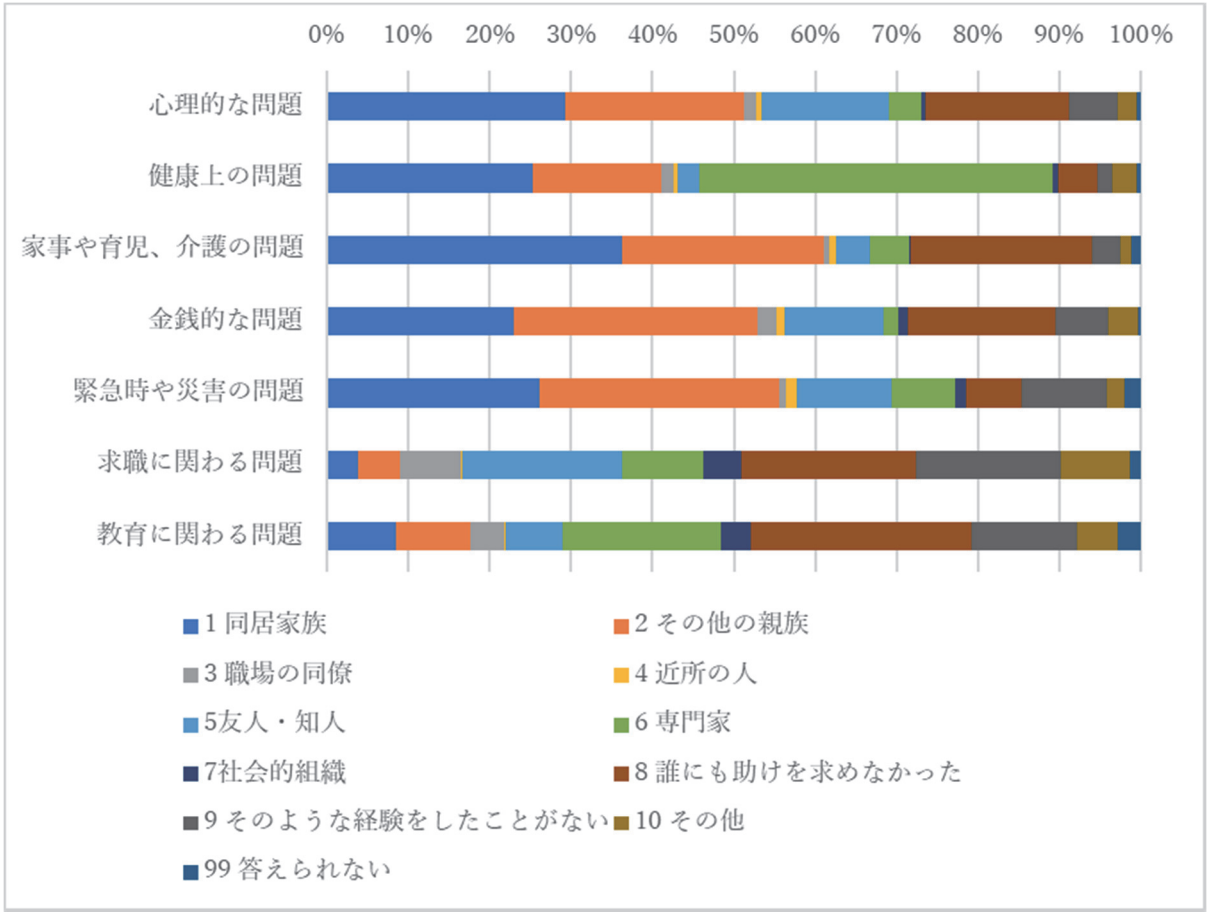
（単位：%）

	1 同居家族	2 その他の親族	3 職場の同僚	4 近所の人	5 友人・知人	6 専門家	7 社会的組織	8 誰にも助けを求めなかった	9 そのような経験をしたことがない	10 その他（具体的に）	99 答えられない	総計
A14.1(Q18) 心理的な問題	29.3	21.9	1.5	0.7	15.6	4.1	0.4	17.7	6.0	2.4	0.5	100
A14.2(Q19) 健康上の問題	25.2	15.9	1.5	0.5	2.7	43.3	0.8	4.8	1.8	3.1	0.5	100
A14.3(Q20) 家事や育児、介護の問題	36.2	24.8	0.8	0.8	4.2	4.8	0.2	22.4	3.4	1.3	1.2	100
A14.4(Q21) 金銭的な問題	22.9	30.1	2.4	0.9	12.2	1.7	1.3	18.1	6.4	3.6	0.4	100
A14.5(Q22) 緊急時や災害の問題	26.1	29.4	0.9	1.2	11.6	7.8	1.5	6.8	10.4	2.2	2.0	100

A14.6(Q23) 求職に関わる問題	3.9	5.1	7.5	0.1	19.6	10.1	4.6	21.6	17.8	8.5	1.3	100
A14.7(Q24) 教育に関わる問題	8.4	9.2	4.1	0.2	7.1	19.5	3.6	27.2	12.9	5.0	2.8	100

（注）「10 その他」は、求職、教育に関わる問題ではインターネットが多い。金銭的問題では銀行など。

図 A14-0　総計（N＝1700）



A14.1(Q18.) 心理的な問題

図 A14.1-1　男女別（N＝1692）

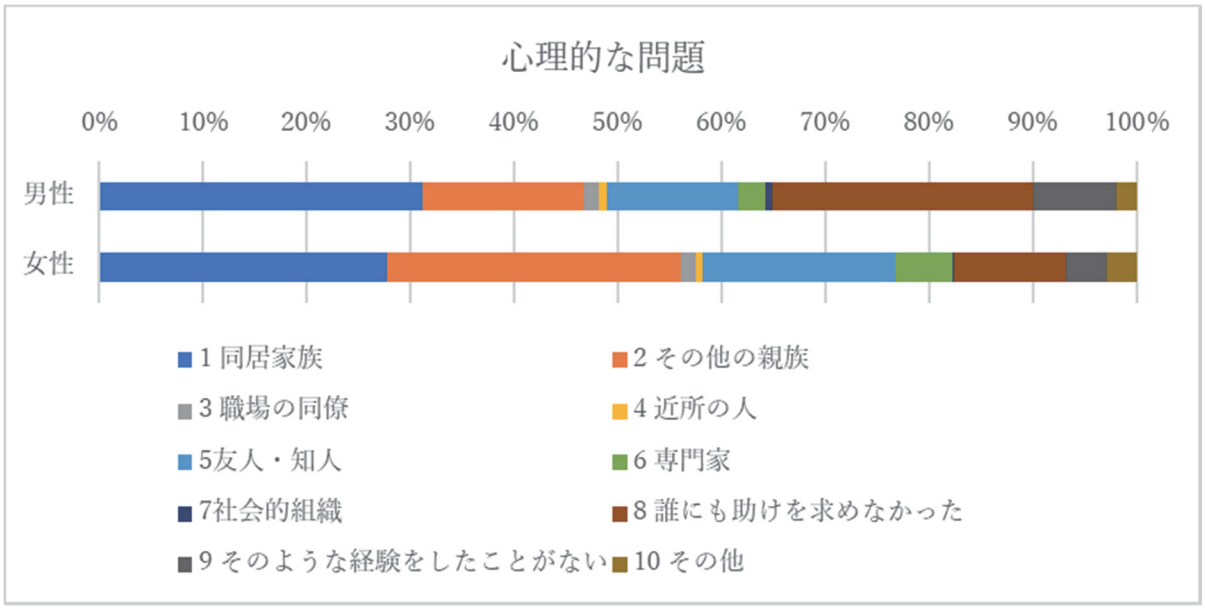


図 A14.1-2　年齢別（N＝1692）

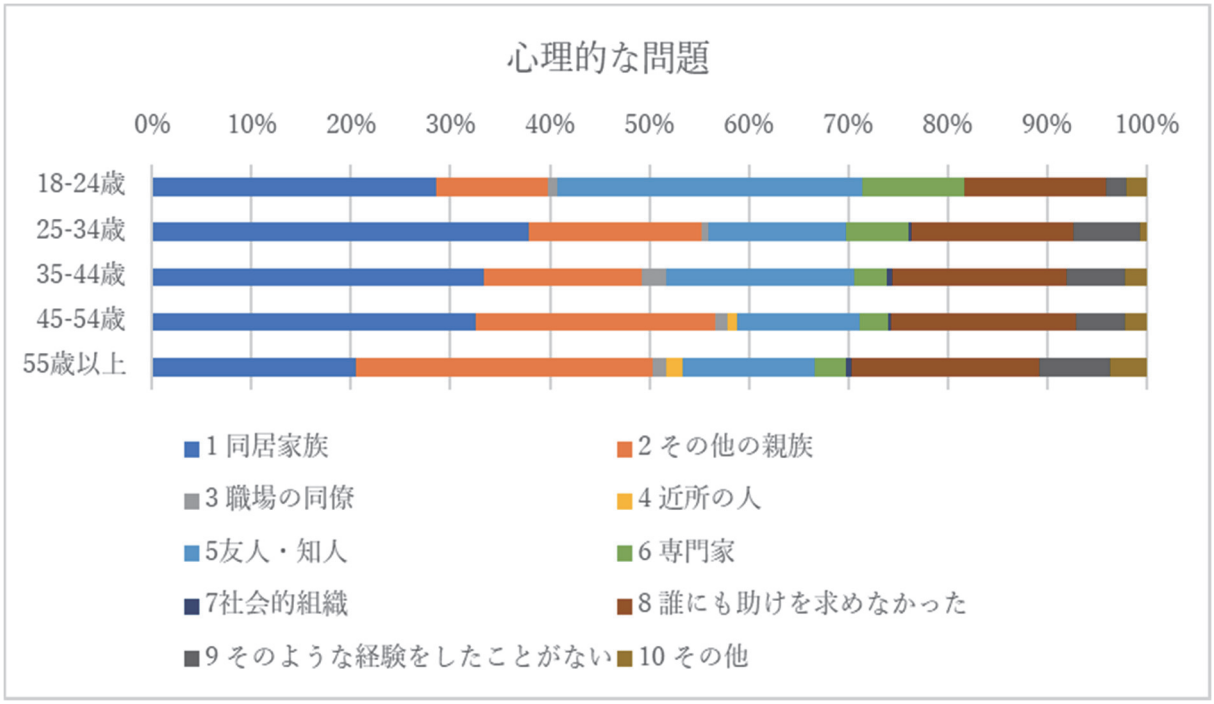


図 A14.1-3　収入別（N＝1575）

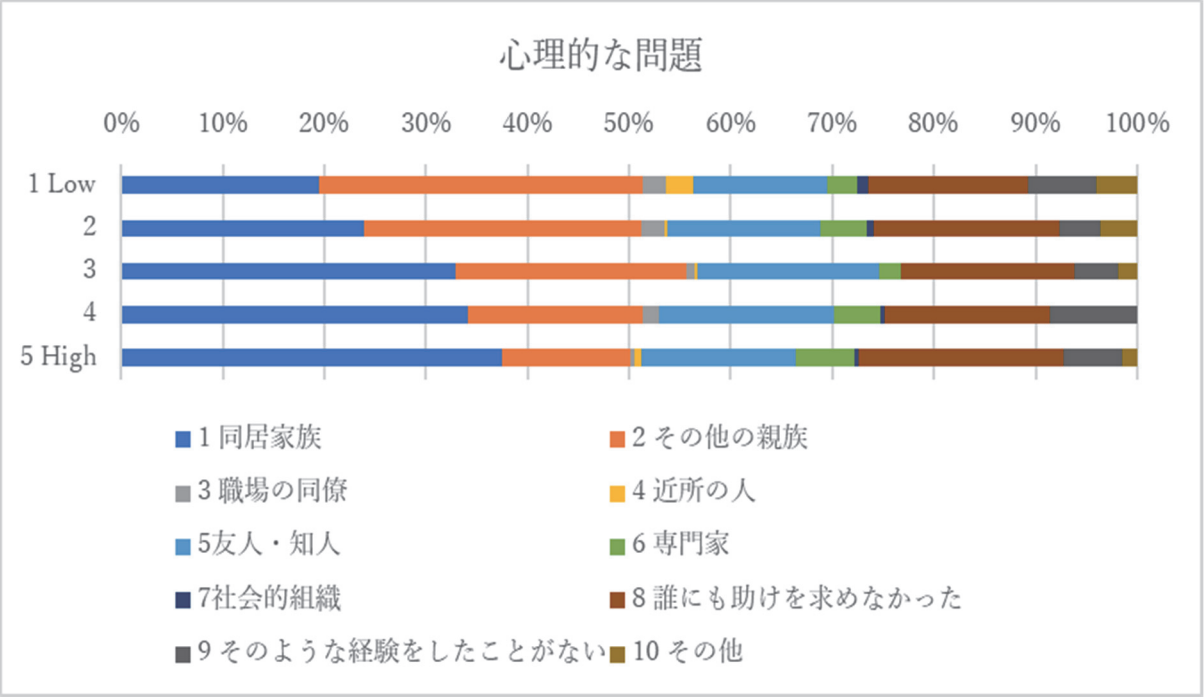
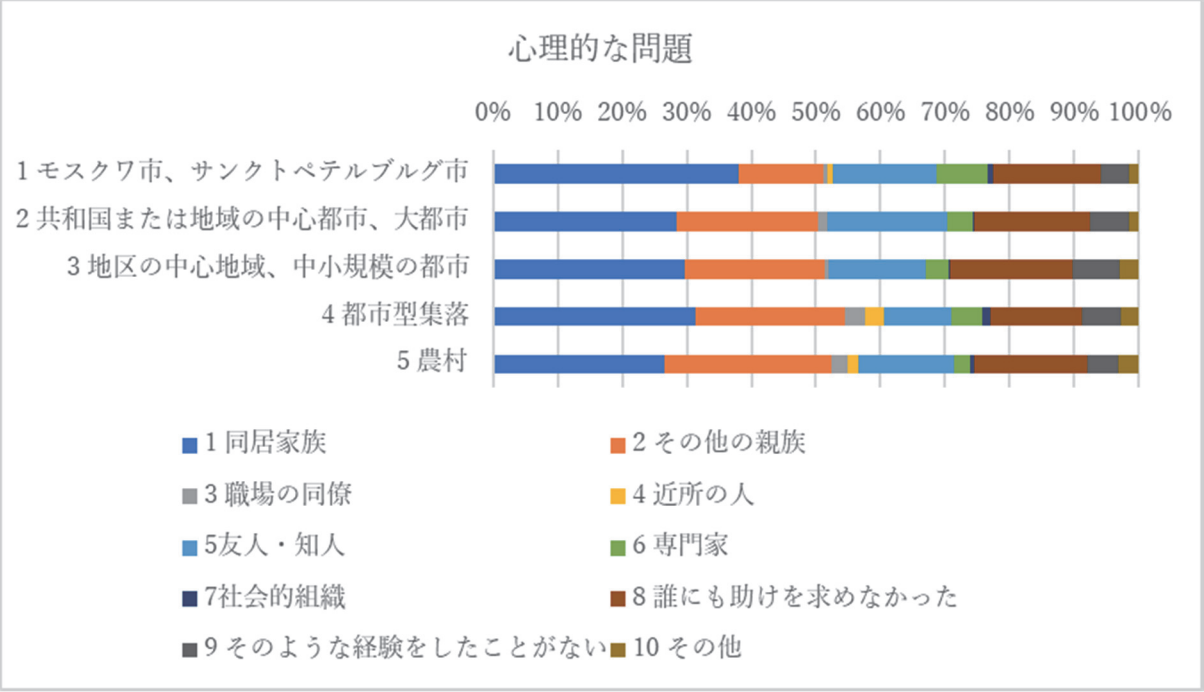


図 A14.1-4　居住地域別（N＝1683）



A14.2(Q19.) 健康上の問題

図 A14.2-1　男女別 (N=1692)

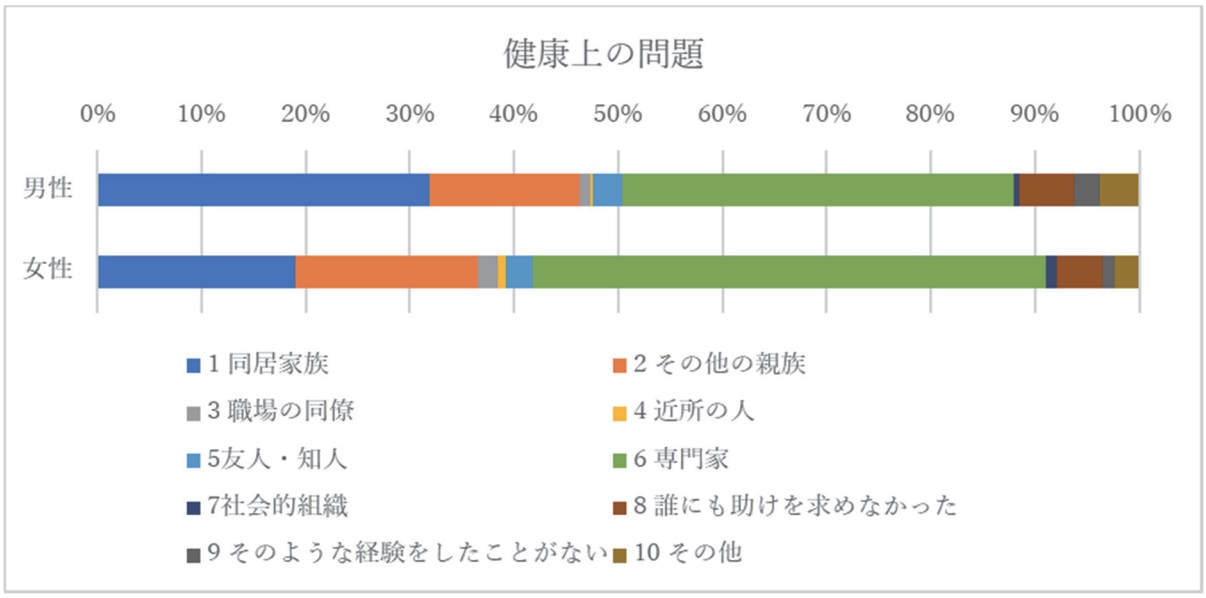


図 A14.2-2　年齢別 (N＝1692)

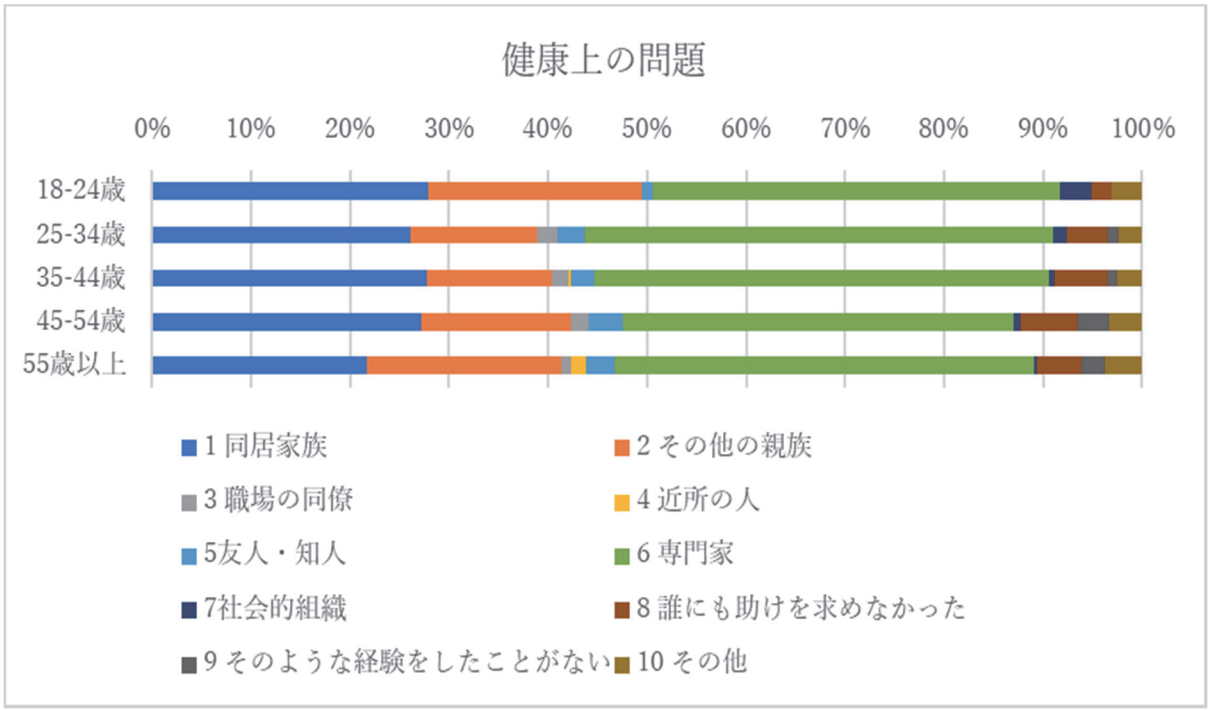


図 A14.2-3　収入別（N＝1574）

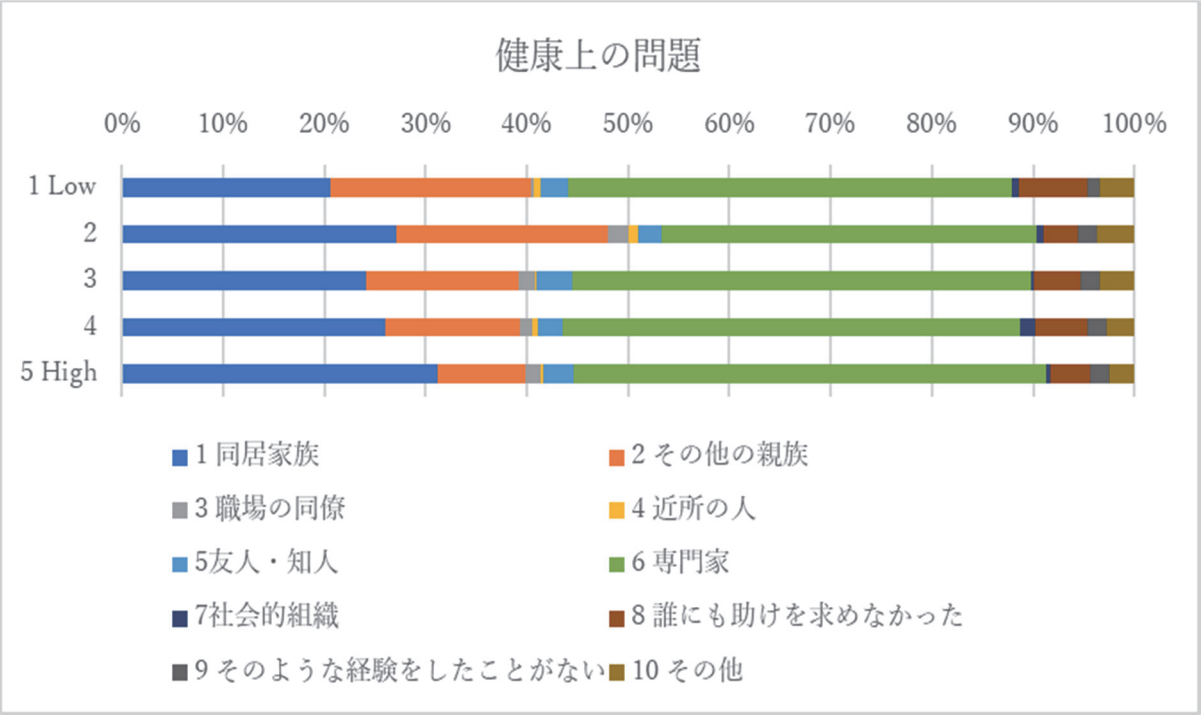
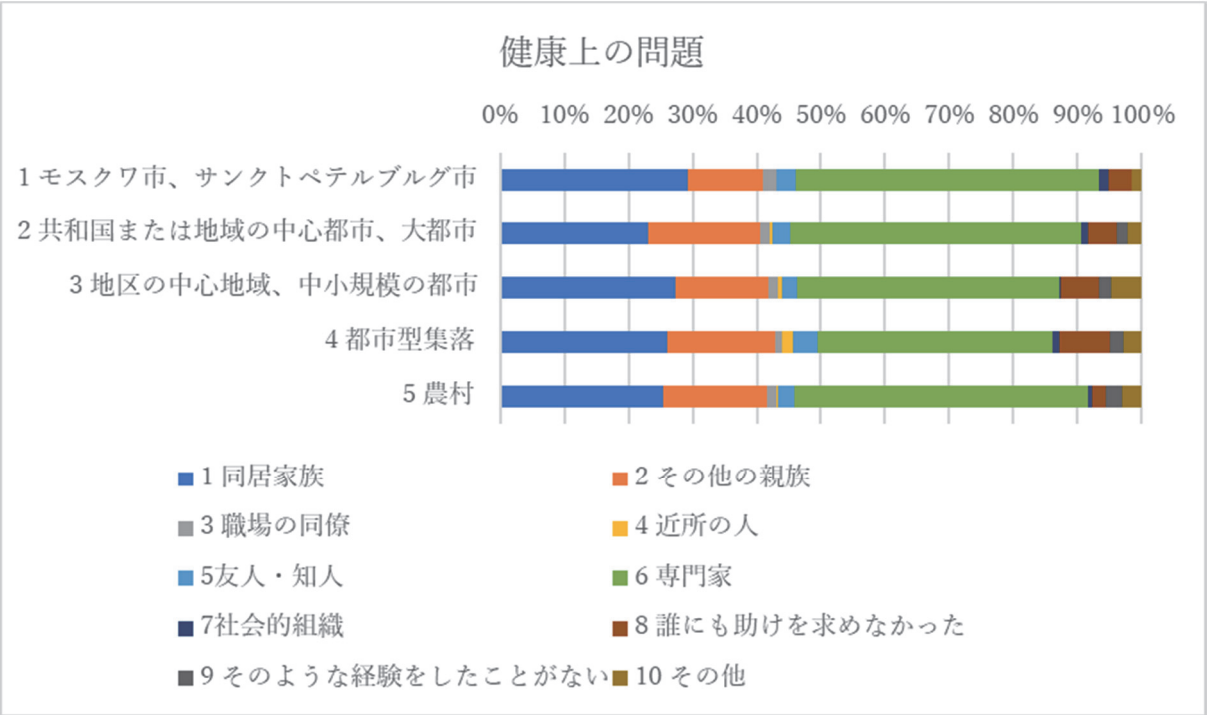


図 A14.2-4　居住地域別（N＝1683）



A14.3(Q20) 家事や育児、介護の問題

図 A14.3-1　男女別（N＝1679）

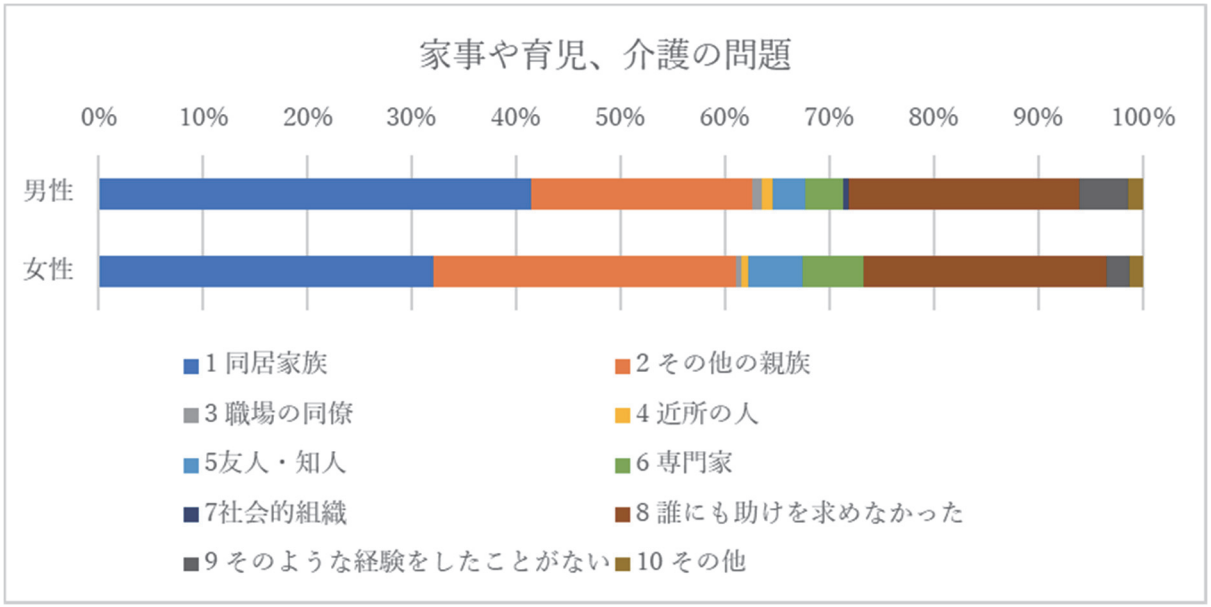


図 A14.3-2　年齢別（N＝1679）

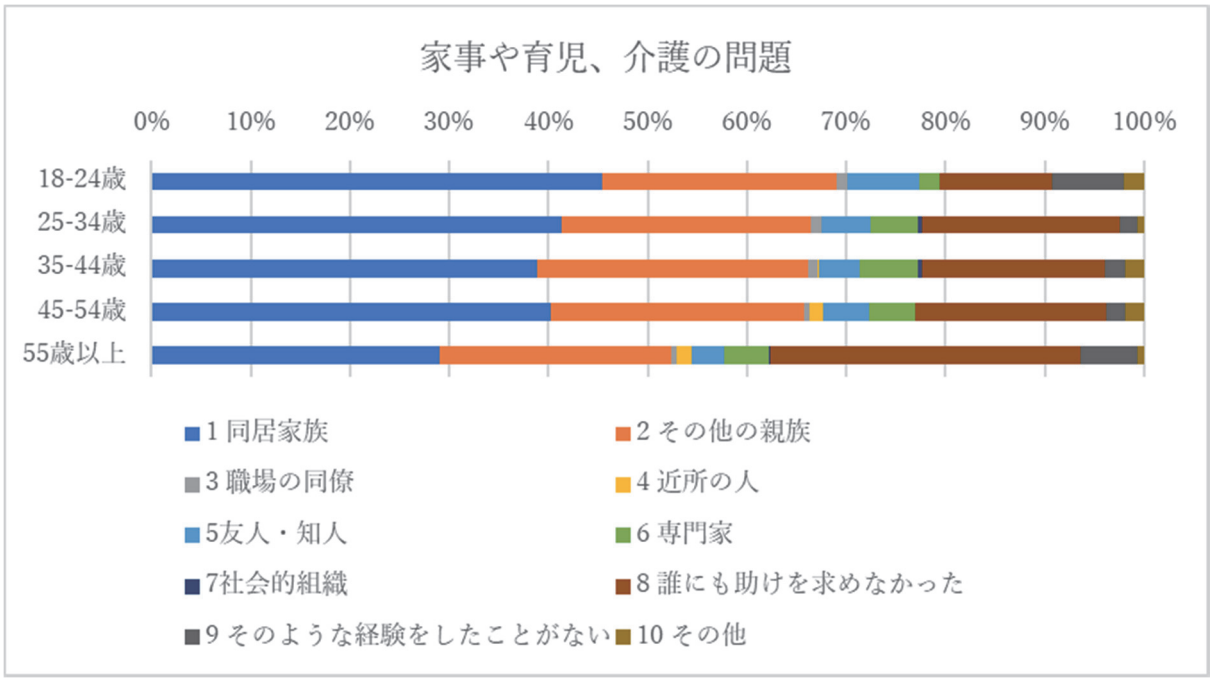


図 A14.3-3　収入別（N＝1563）

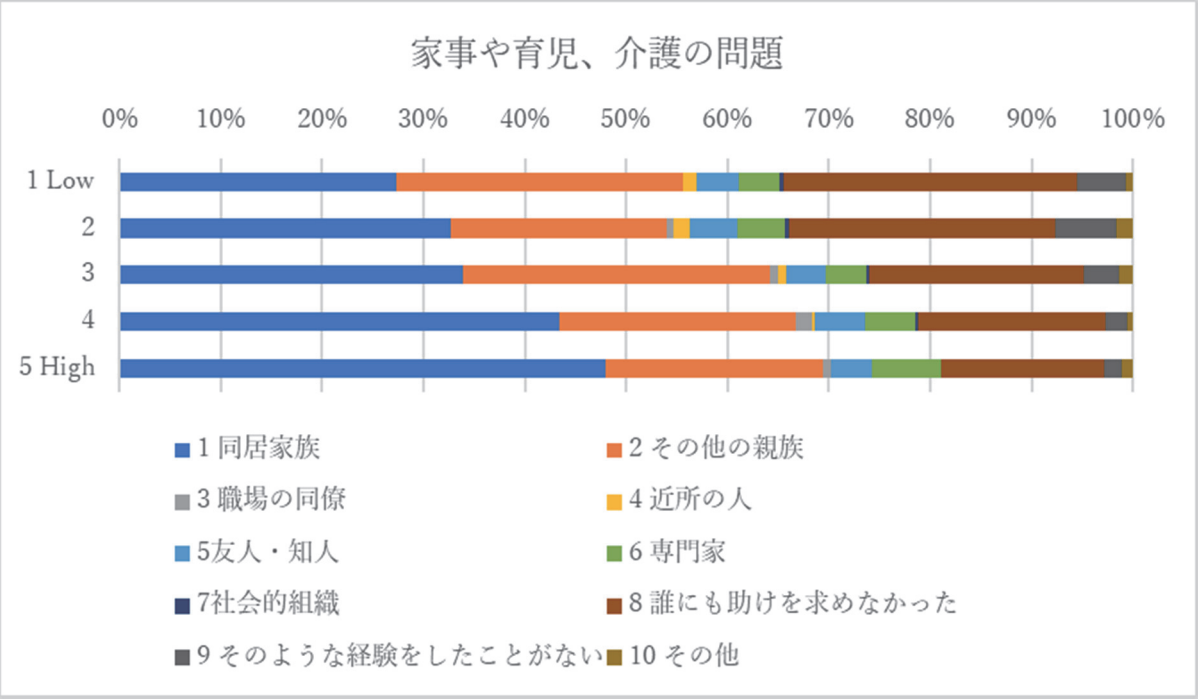
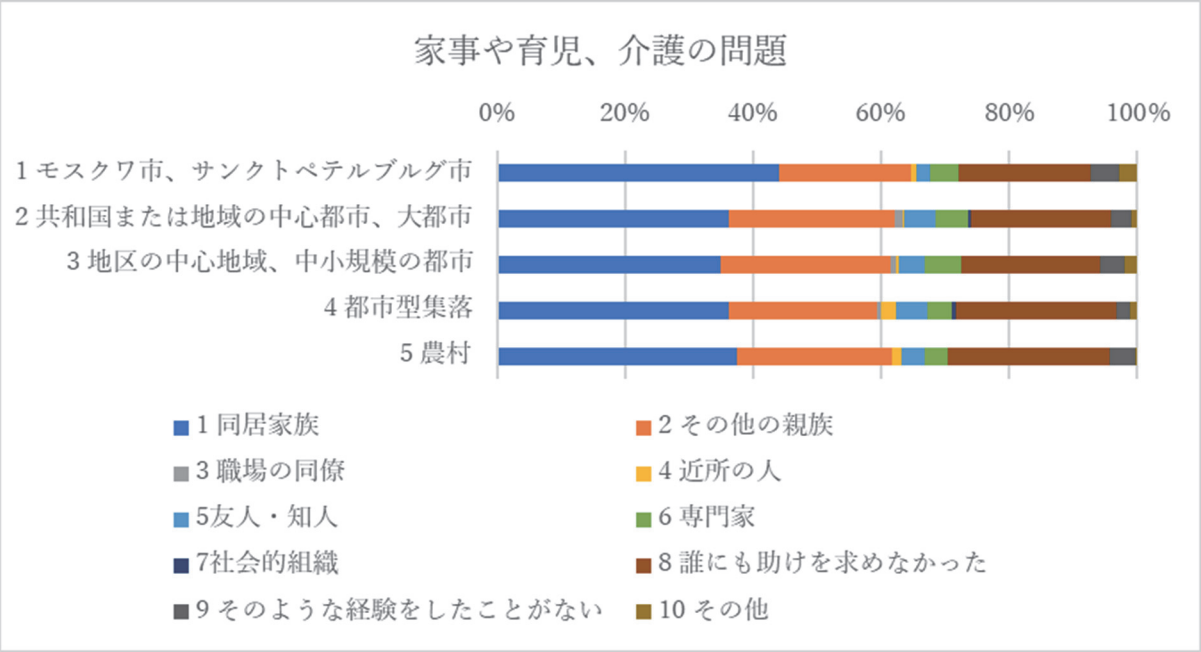


図 A14.3-4　居住地域別（N＝1670）



A14.4(Q21.) 金銭的な問題

図 A14.4-1　男女別（N＝1693）

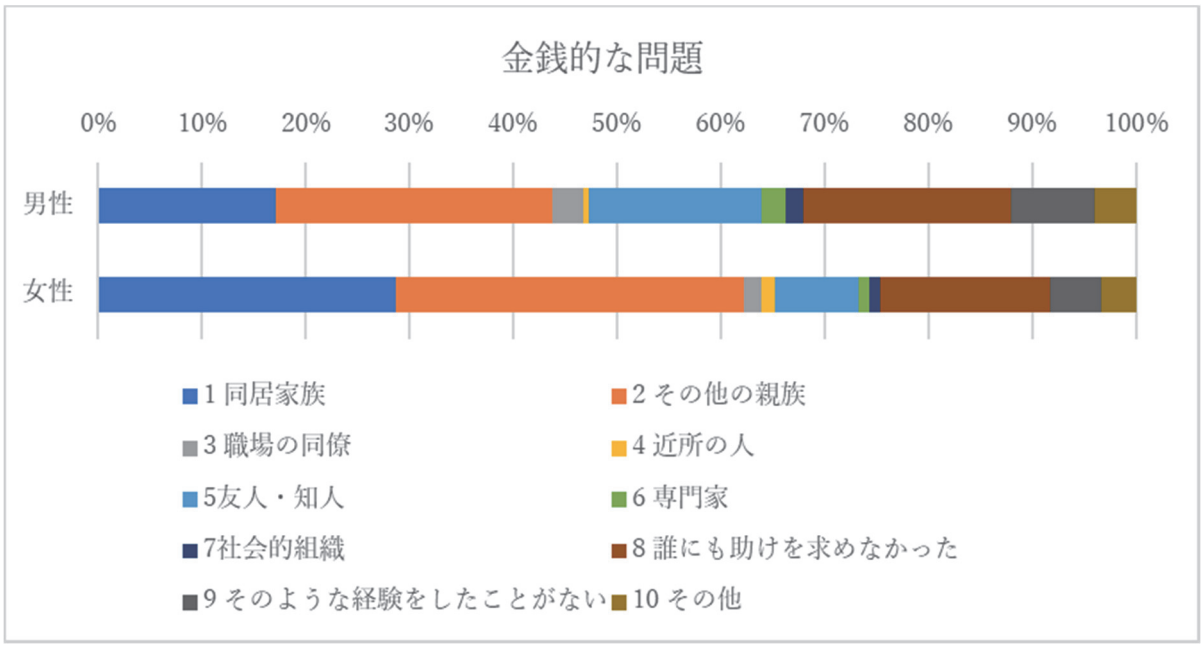


図 A14.4-2　年齢別（N＝1693）

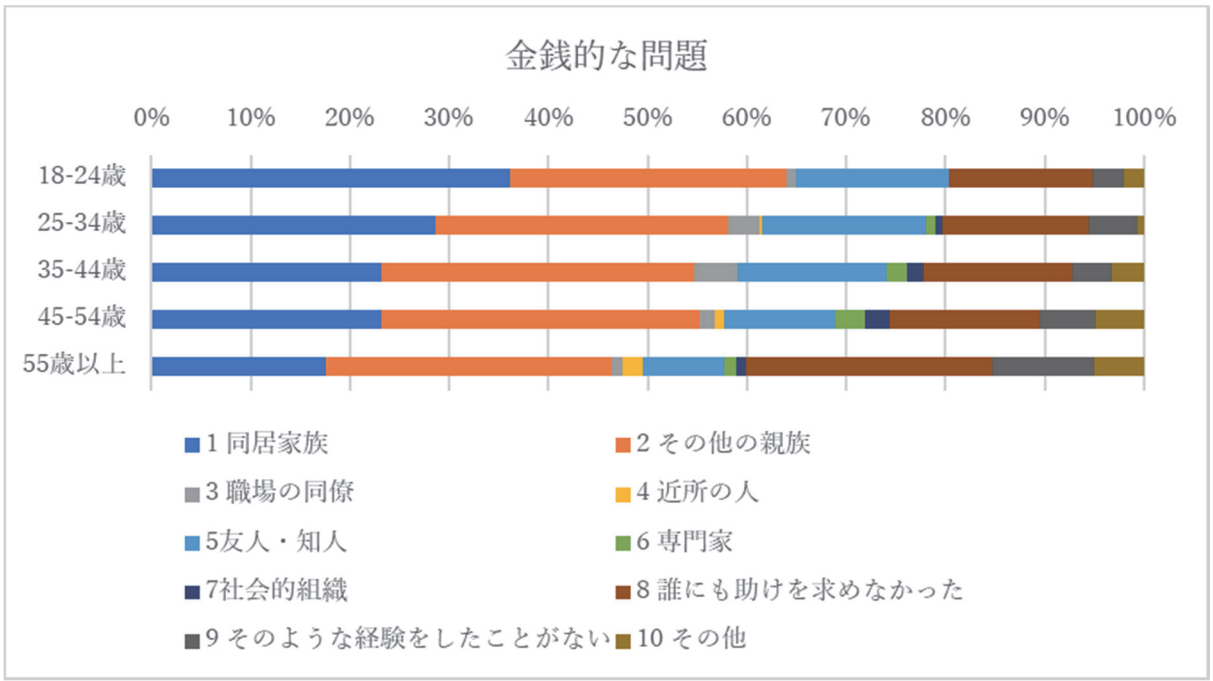


図 A14.4-3　収入別（N＝1574）

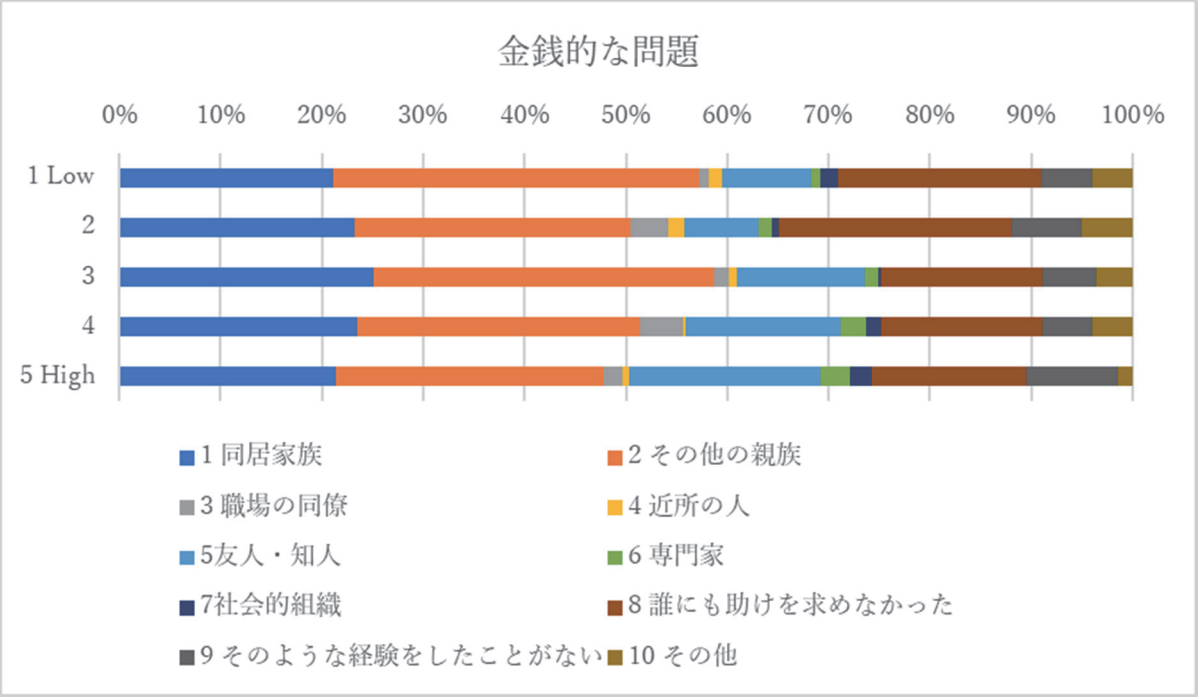
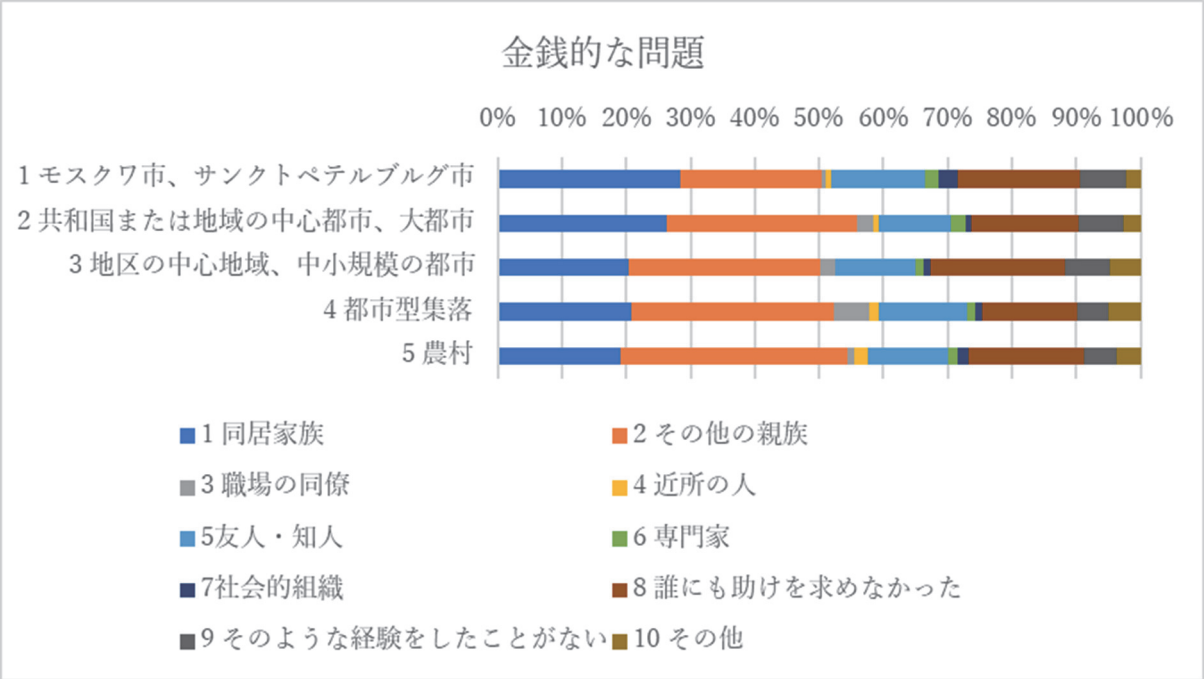


図 A14.4-4　居住地域別（N＝1684）



A14.5(Q22.) 緊急時や災害の問題

図 A14.5-1　男女別（N＝1666）

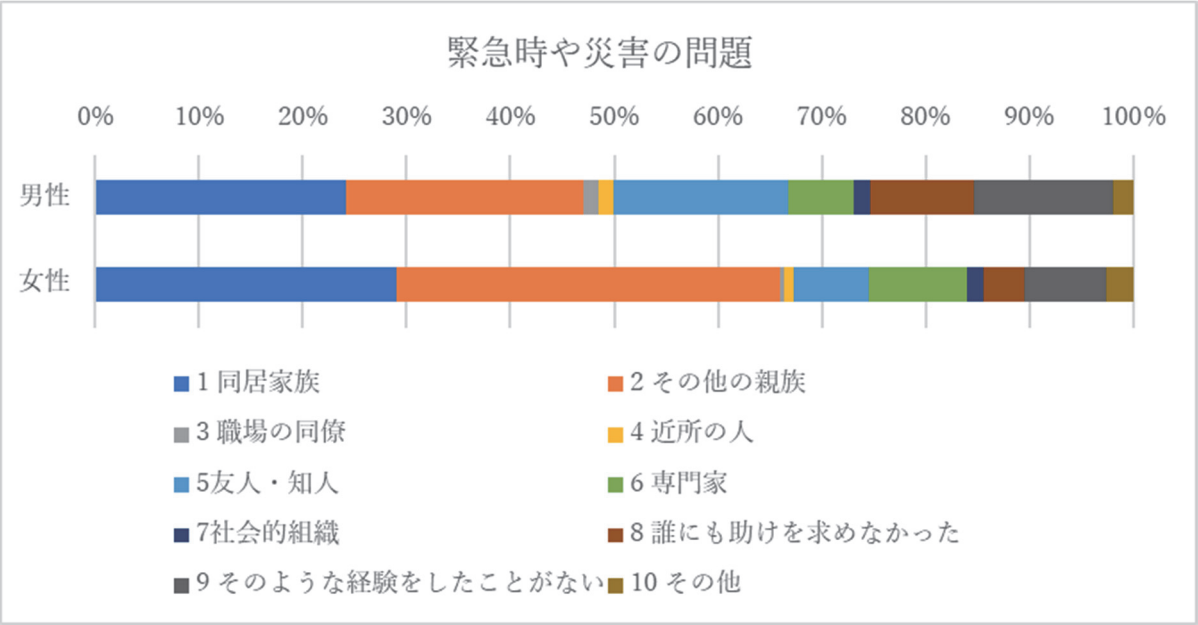


図 A14.5-2　年齢別（N＝1666）

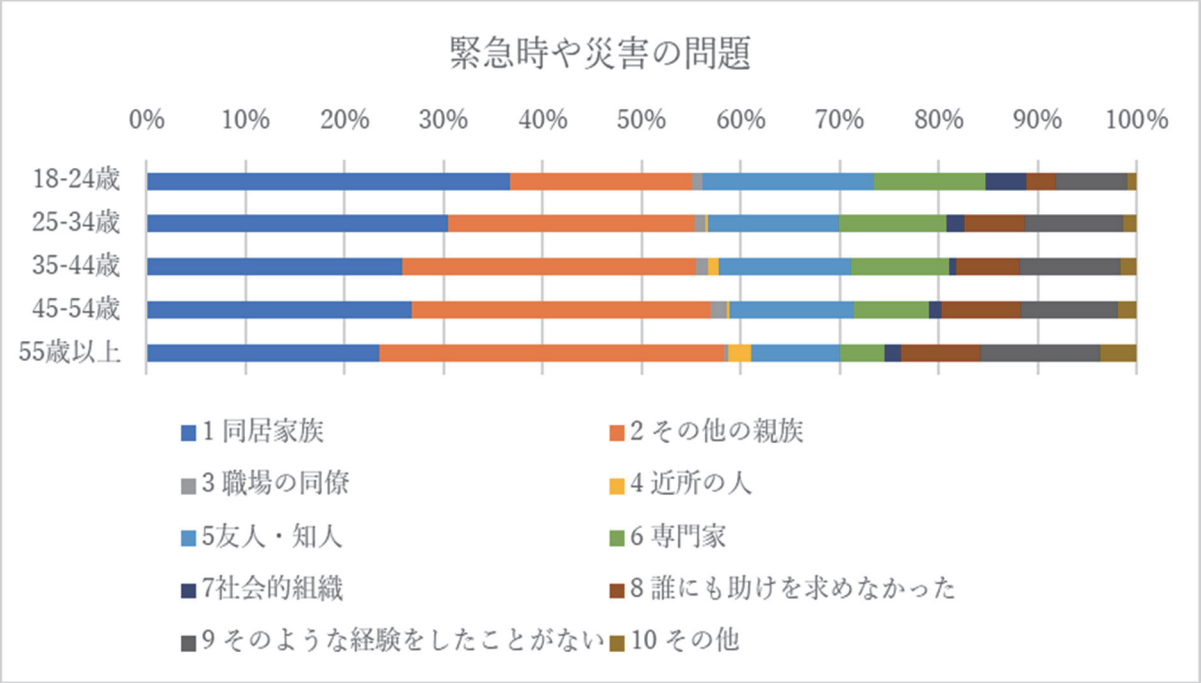


図 A14.5-3　収入別（N＝1551）

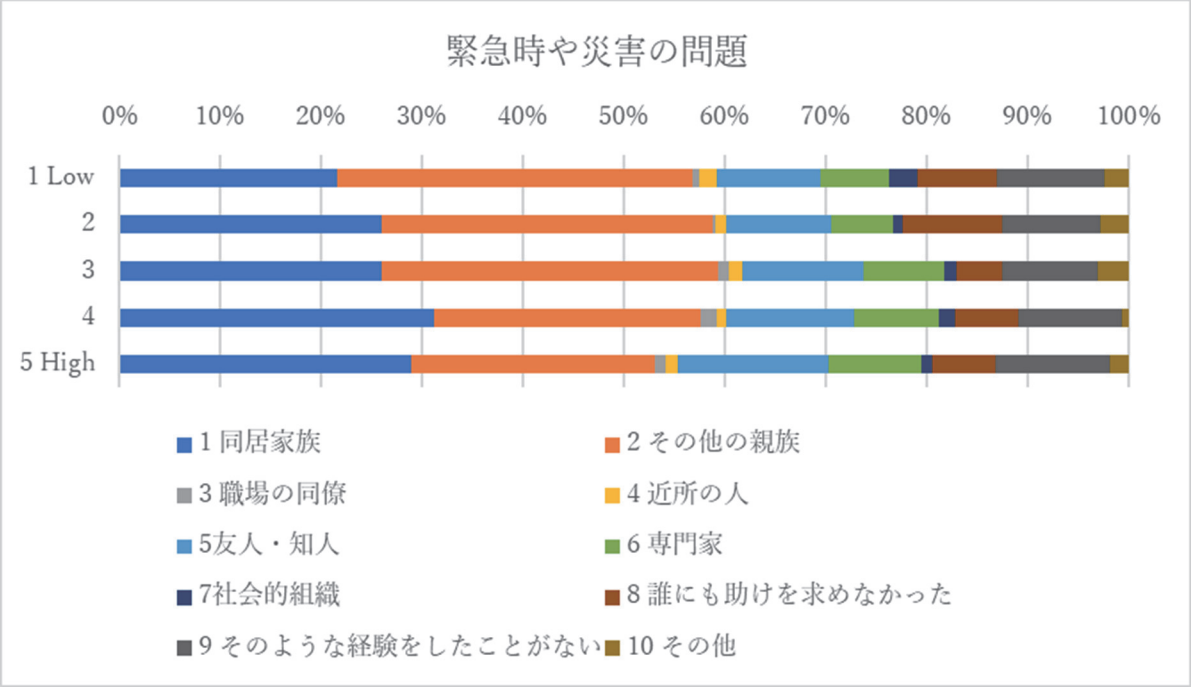
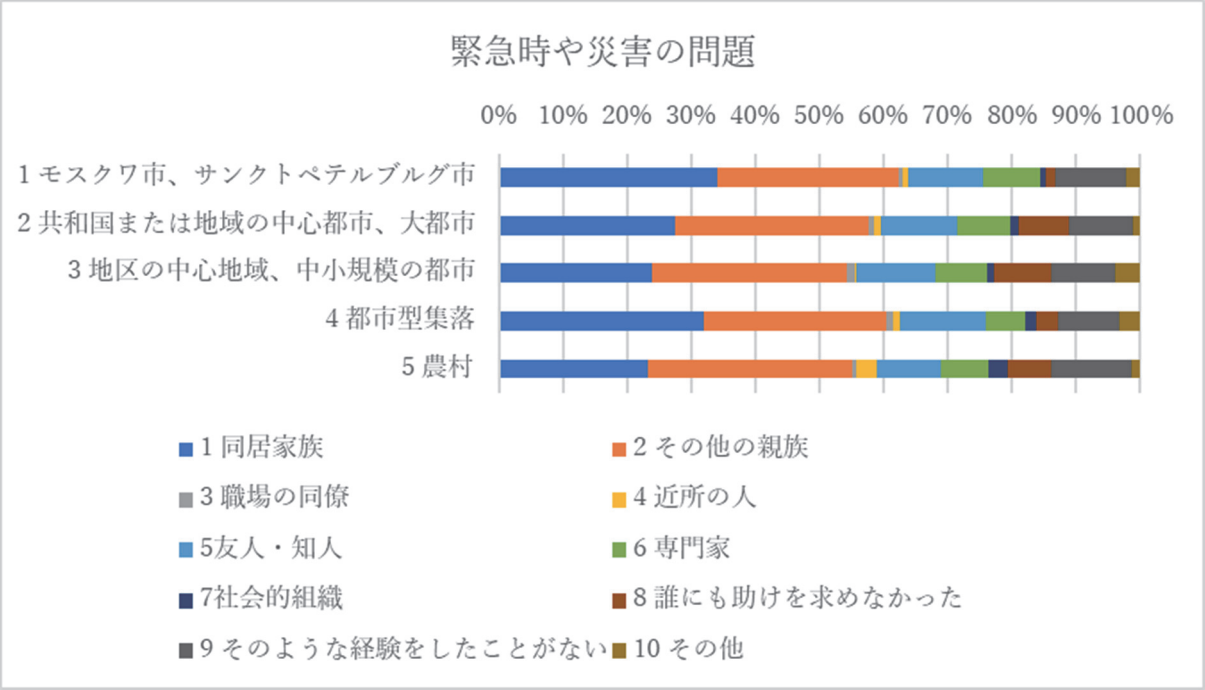


図 A14.5-4　居住地域別（N＝1659）



A14.6(Q23.) 求職に関わる問題

図 A14.6-1　男女別（N＝1678）

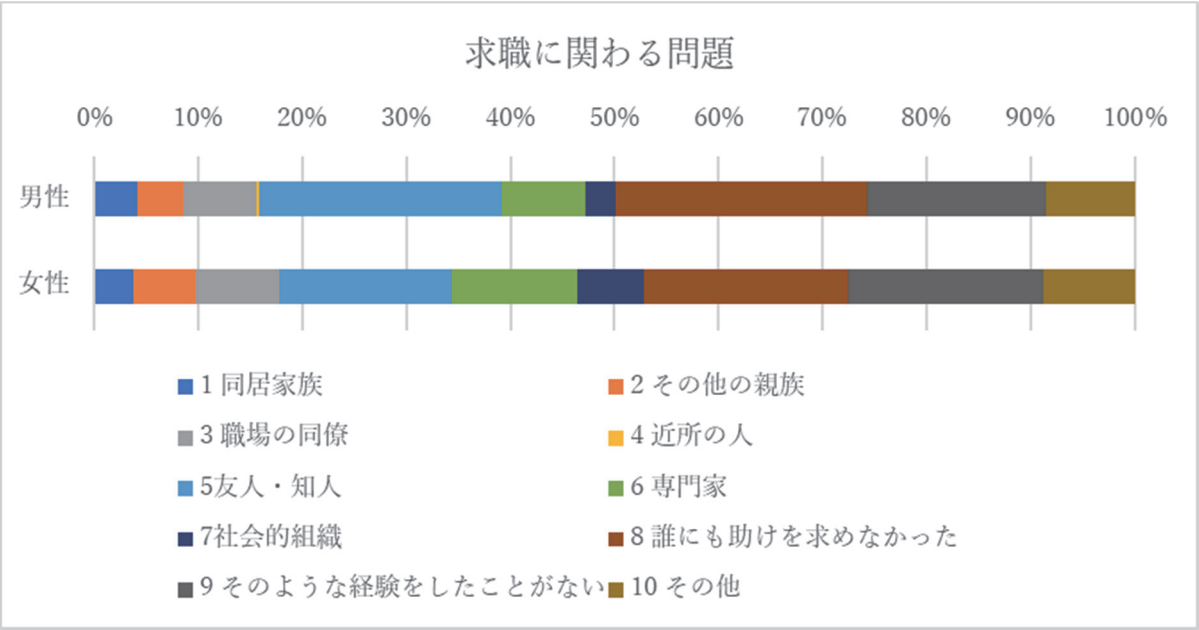


図 A14.6-2　年齢別（N＝1678）

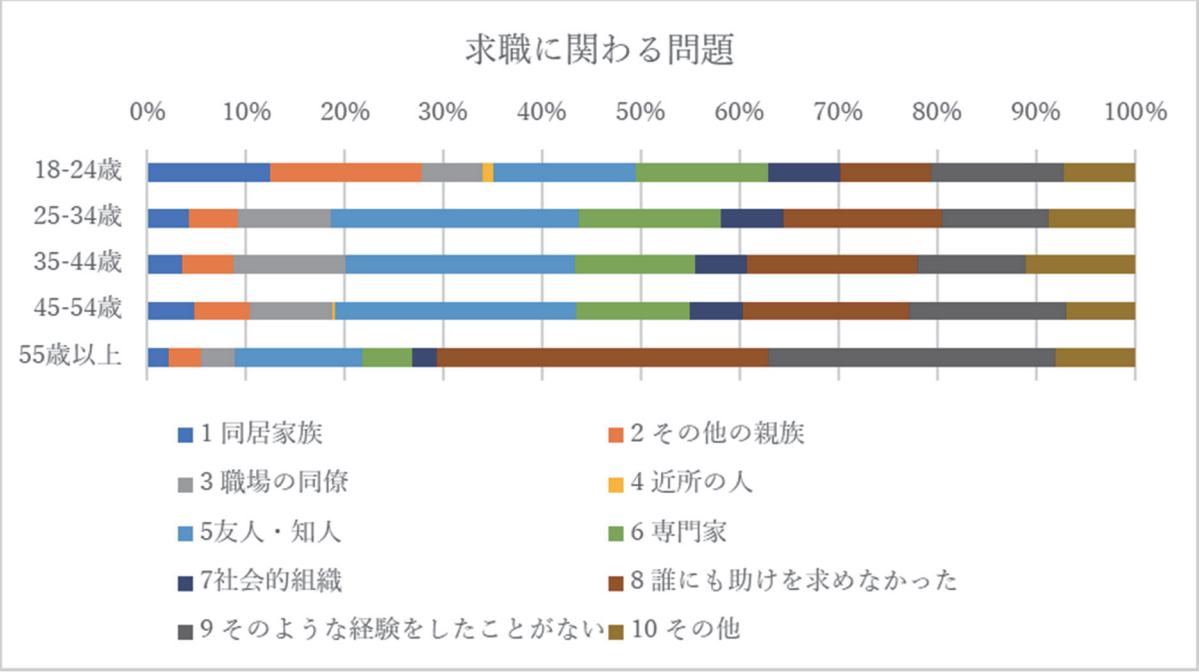


図 A14.6-3　収入別（N＝1561）

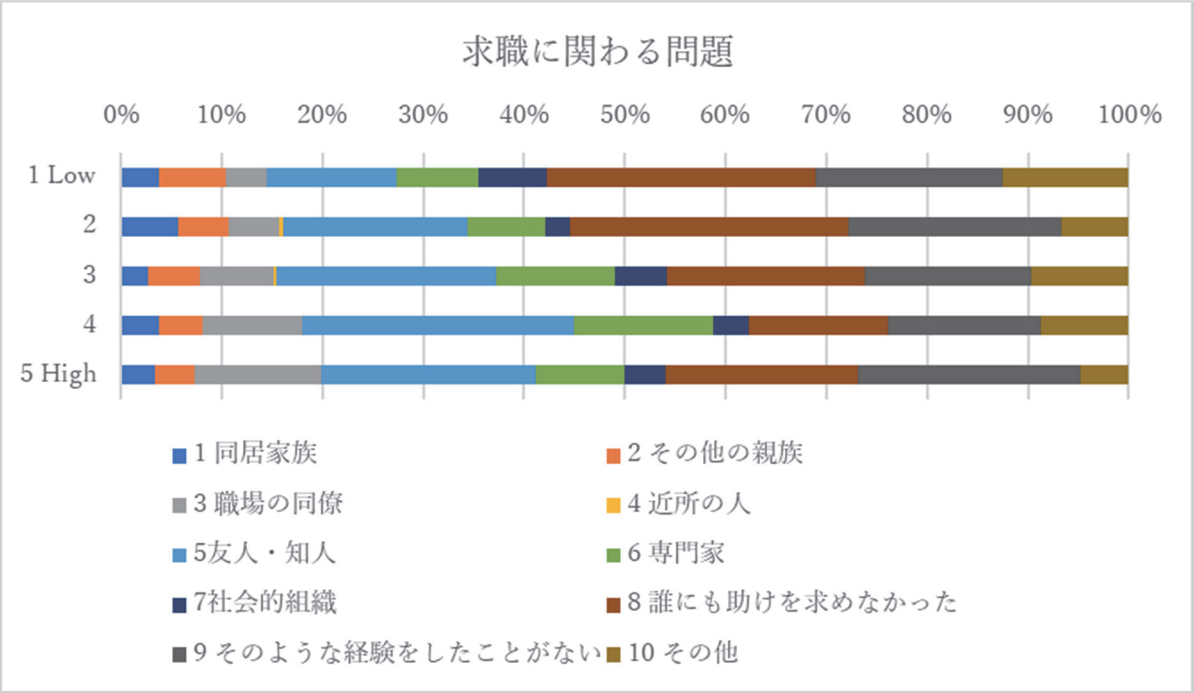
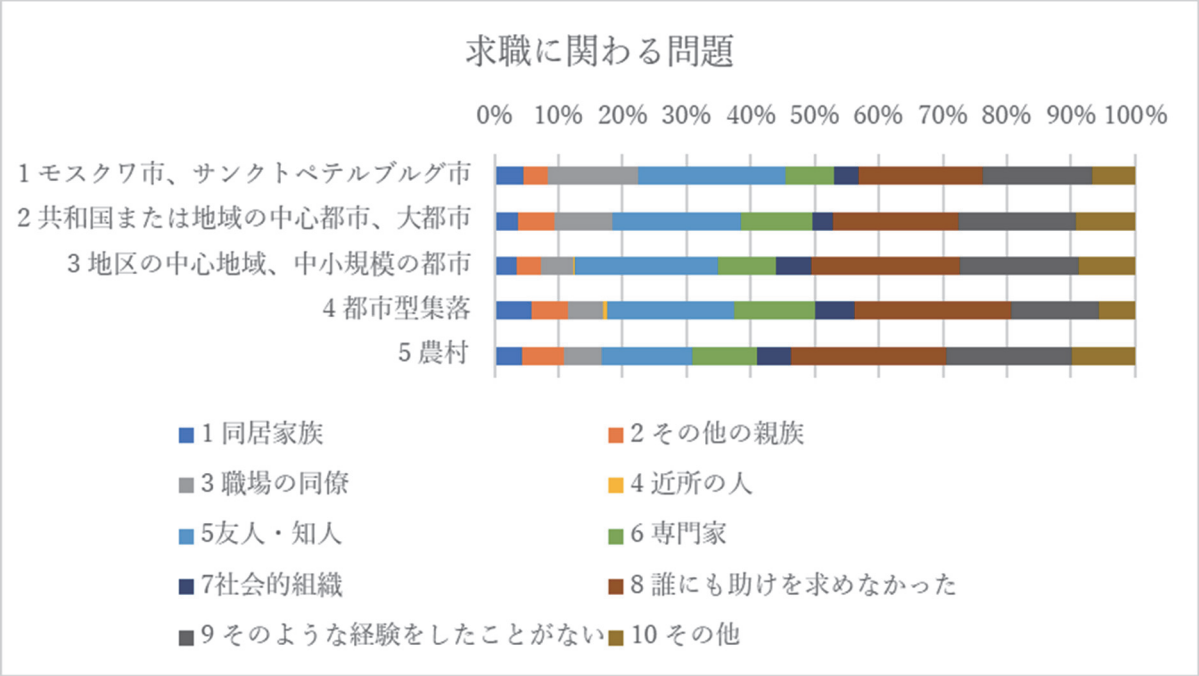


図 A14.6-4　居住地域別（N＝1669）



A14.7(Q24.) 教育に関わる問題

図 A14.7-1　男女別（N＝1652）

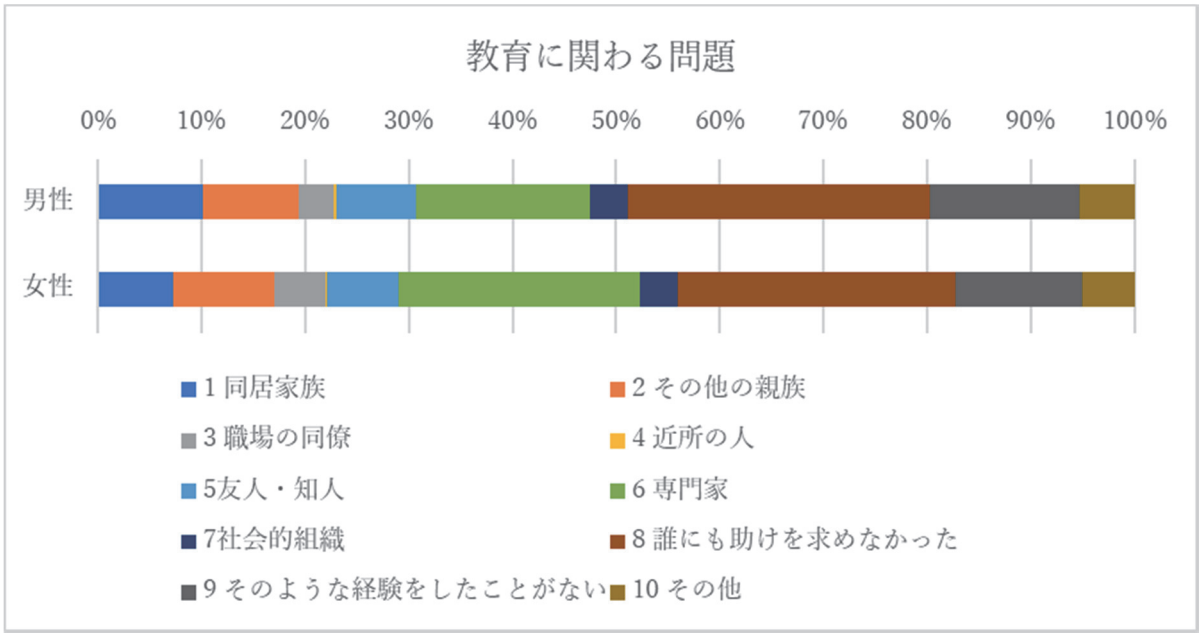


図 A14.7-2　年齢別（N＝1652）

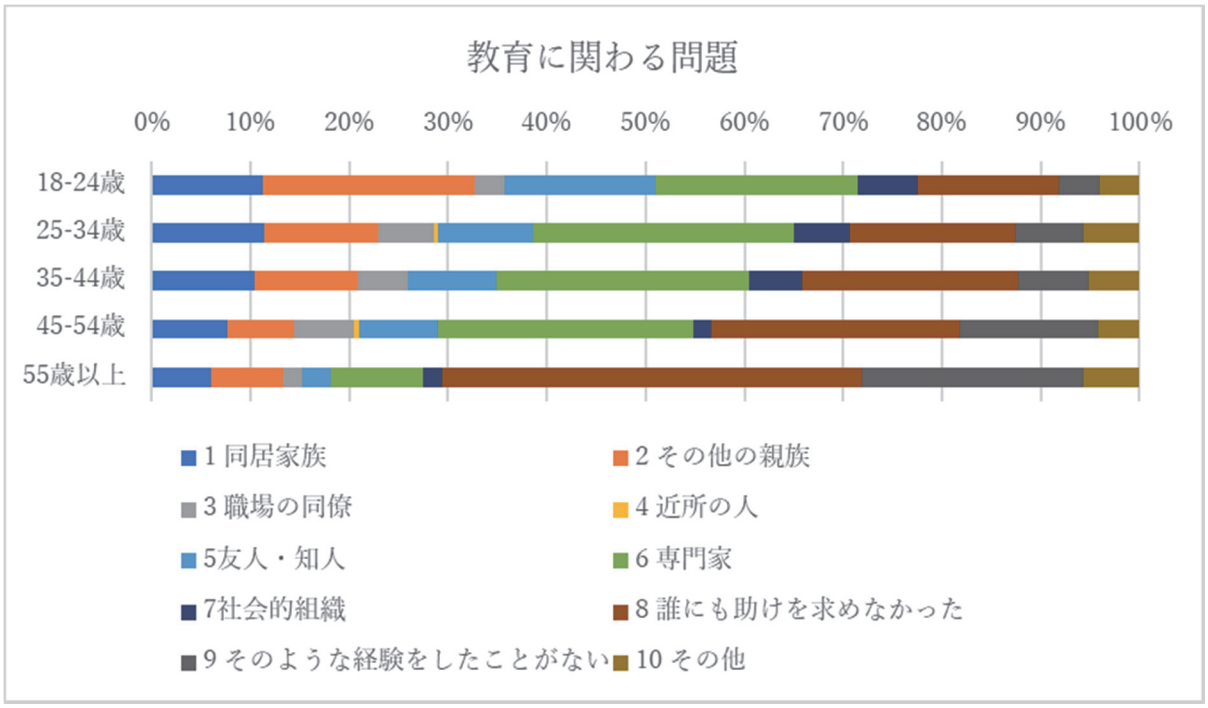


図 A14.7-3　収入別（N＝1537）

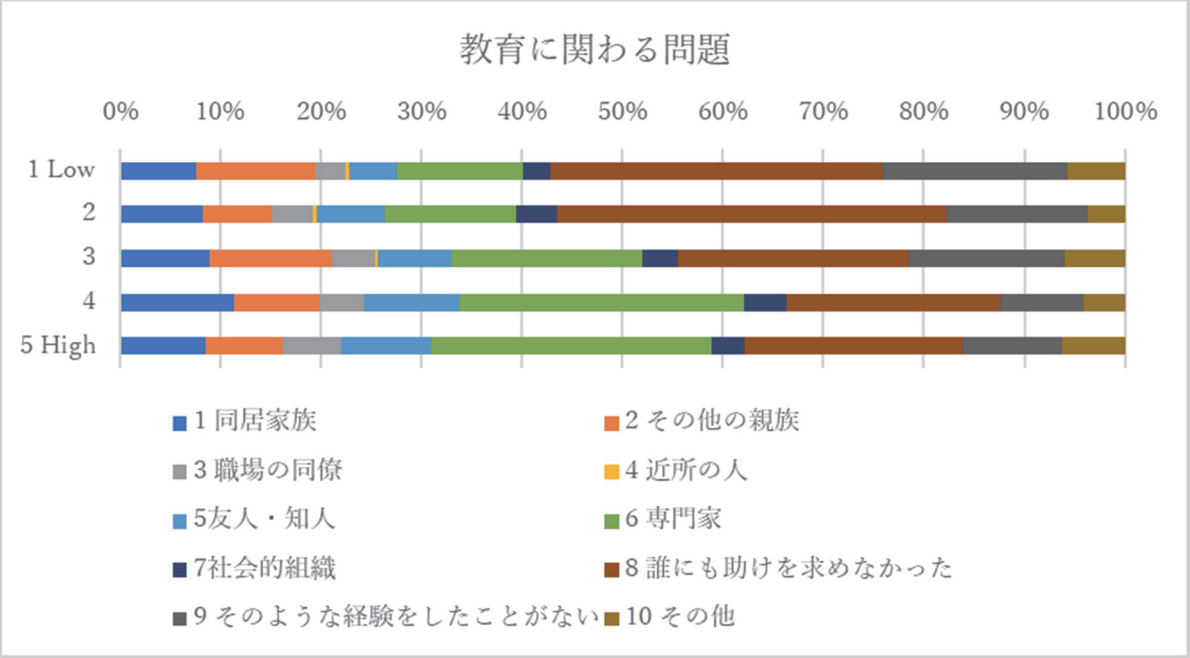
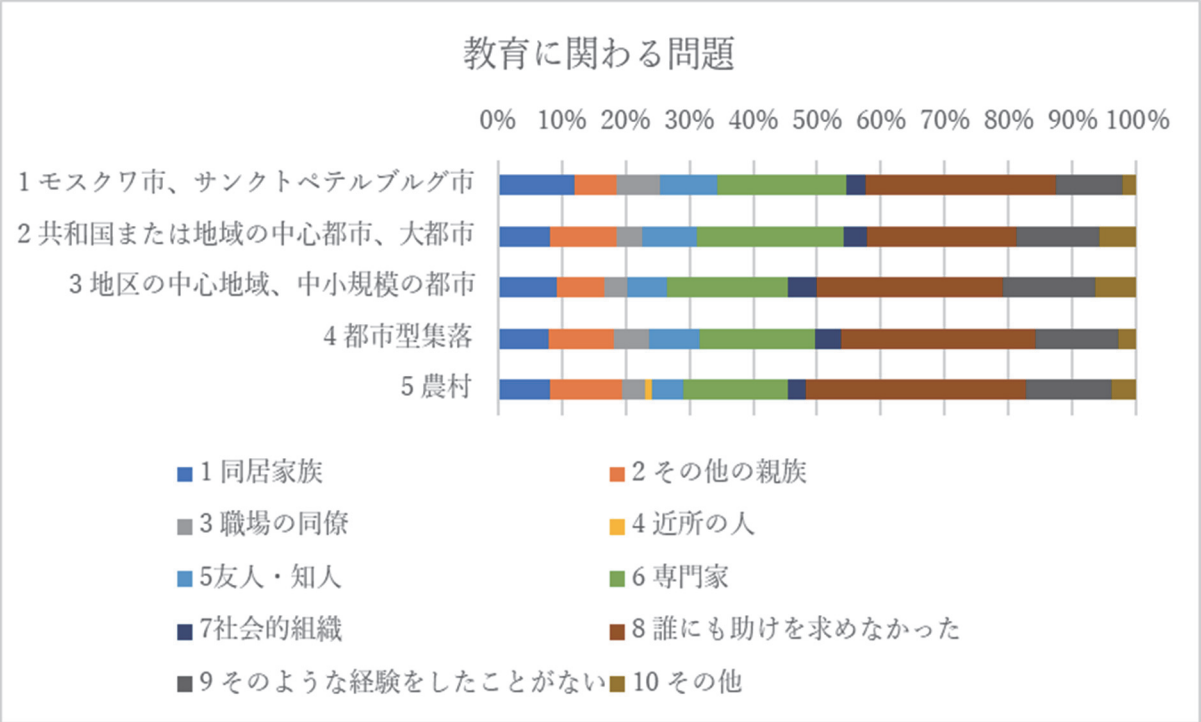


図 A14.7-4　居住地域別（N＝1643）



A15.1（Q25.）農村在住者（Q4＝5）のみ

突然、1週間分の家族の生活費をまかなうために少額のお金を借りる必要が生じた場合、あなたの身近な家族や親族以外で、あなたにお金を貸してくれそうな（その意思があり、実際に貸せる）人はいますか？

	実数（人）	比率
1 確実にいる	98	33.9%
2 どちらかと言えばいる	86	29.8%
3 わからない	16	5.5%
4 どちらかと言えばいない	22	7.6%
5 確実にいない	46	15.9%
99 答えられない	21	7.3%
回答者計	289	100.0%

図 A15.1-0　総計（N＝289）

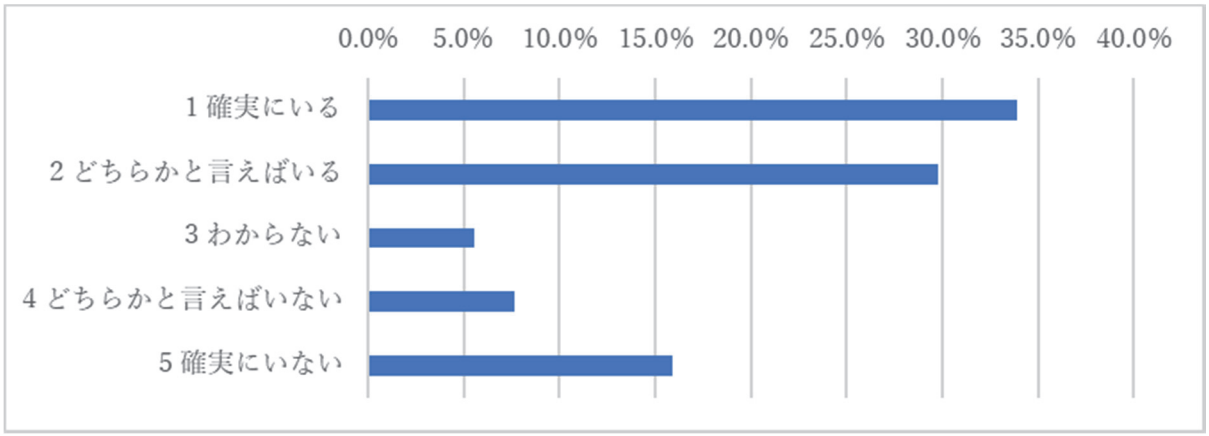


図 A15.1-1　男女別（N＝268）

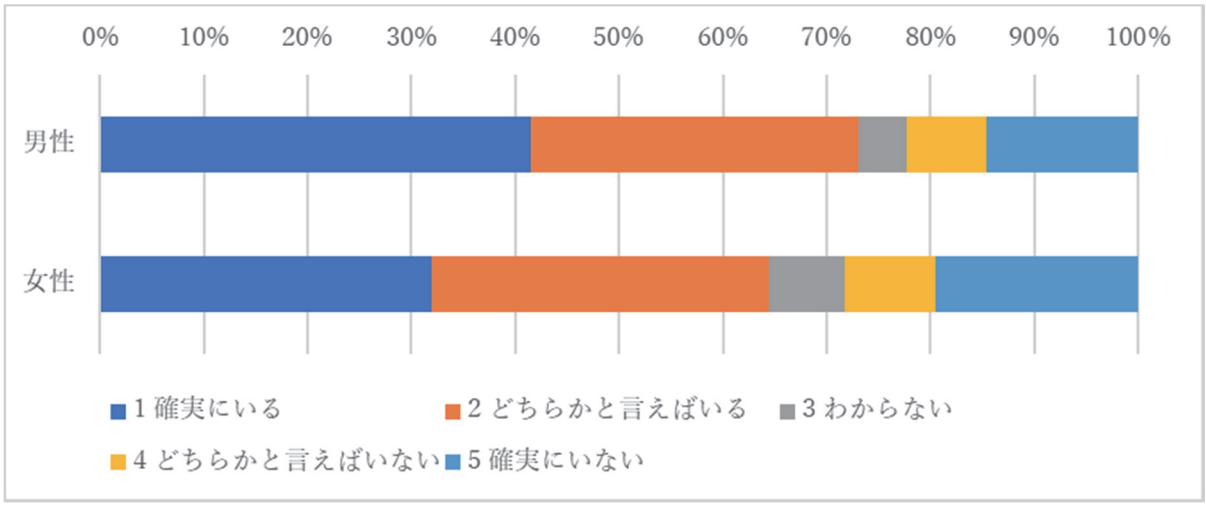


図 A15.1-2　年齢別（N＝268）

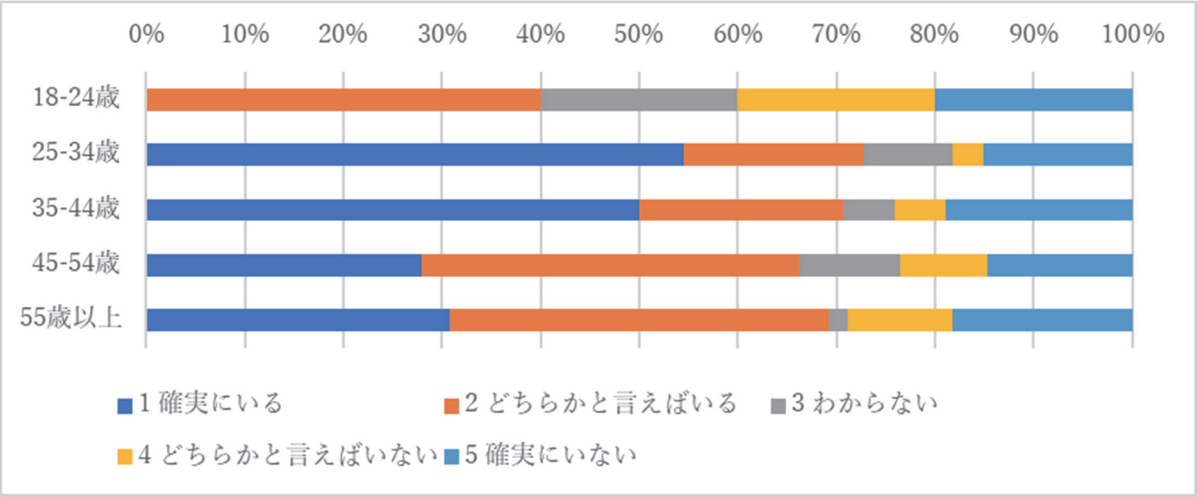
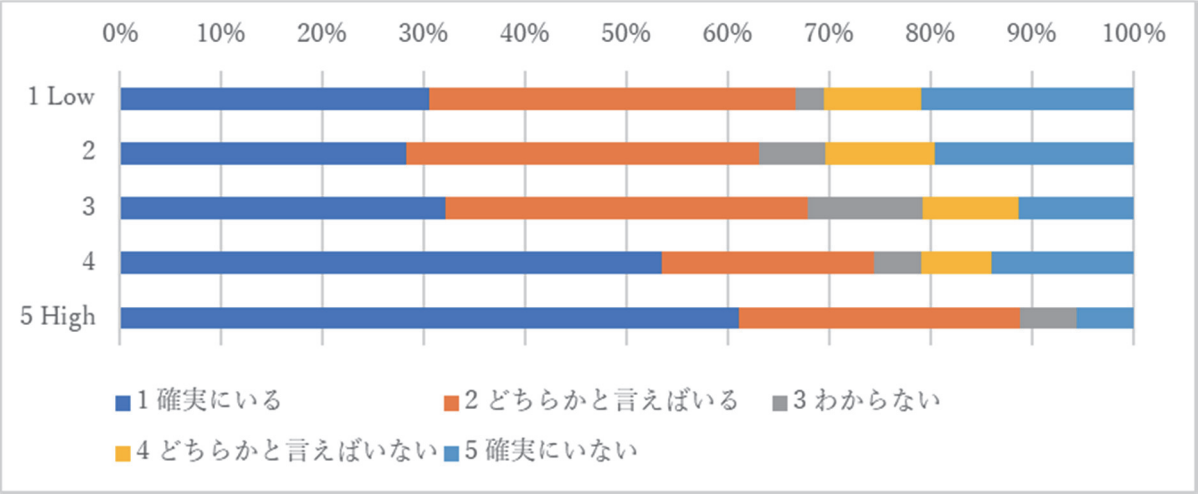


図 A15.1-3　収入別（N＝256）



A15.2（Q26.）都市住民（Q4！＝5）のみ

突然、1 週間分の給料程度の少額のお金を借りる必要が生じた場合、あなたの身近な家族や親族以外で、あなたにお金を貸してくれそうな（その意思があり、実際に貸せる）人はいますか？

	実数（人）	比率
1 確実にいる	553	43.4%
2 どちらかと言えばいる	283	22.2%
3 わからない	76	6.0%
4 どちらかと言えばいない	110	8.6%
5 確実にいない	195	15.3%
99 答えられない	57	4.5%
回答者計	1274	100.0%

図 A15.2-0　総計（N＝1274）

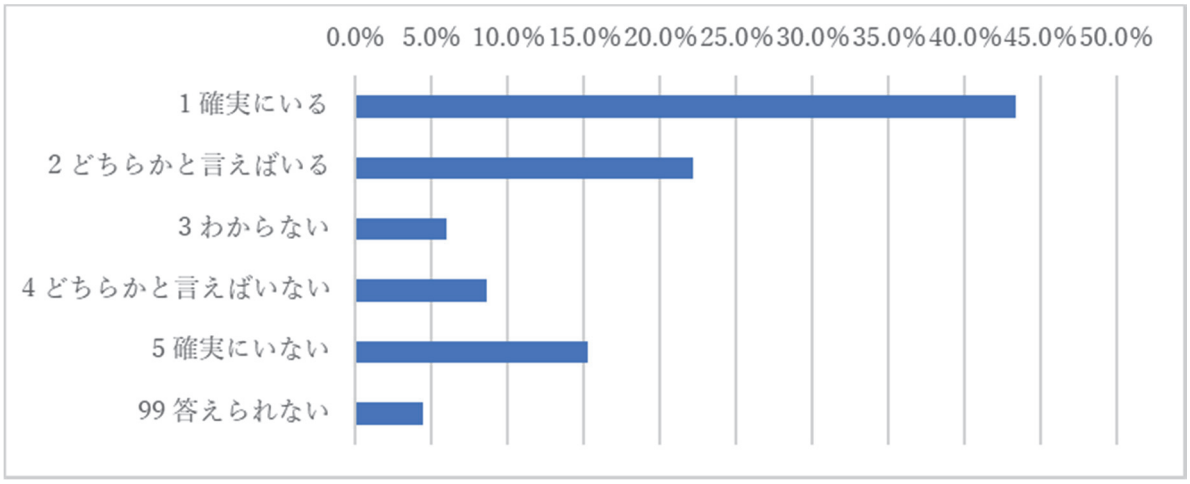


図 A15.2-1　男女別（N＝1217）

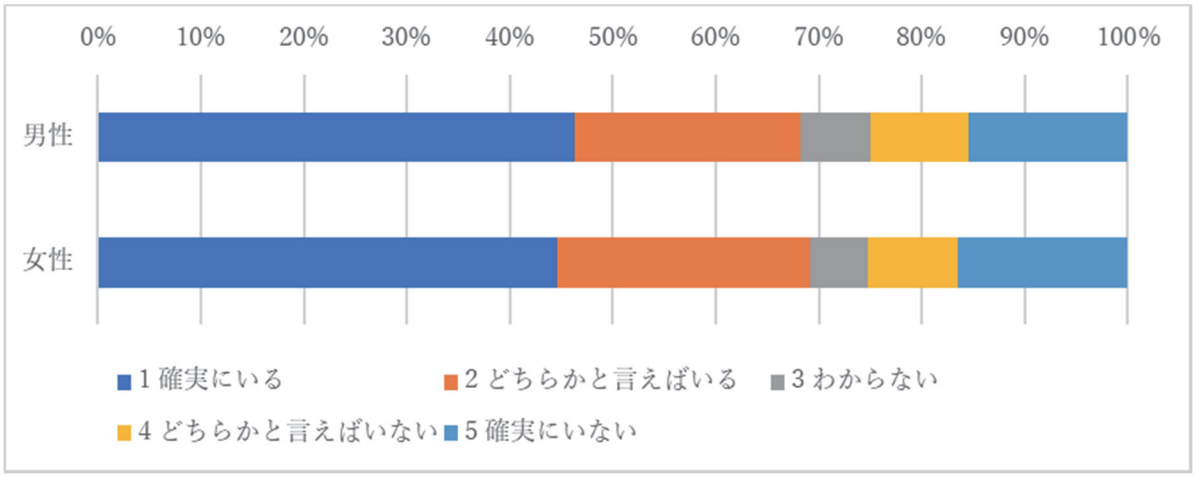


図 A15.2-2　年齢別（N＝1217）

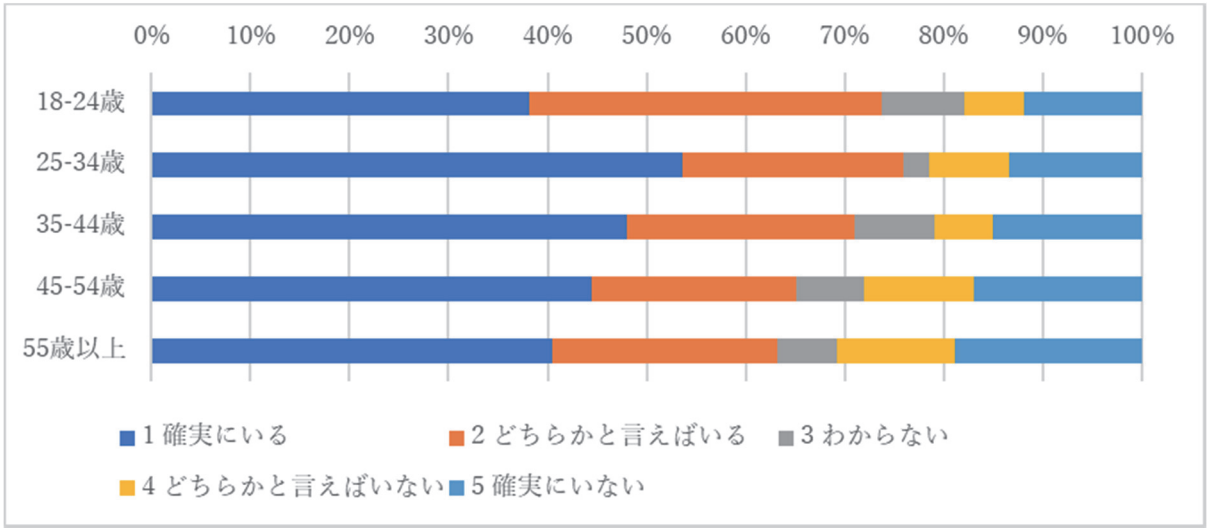


図 A15.2-3　収入別（N＝1137）

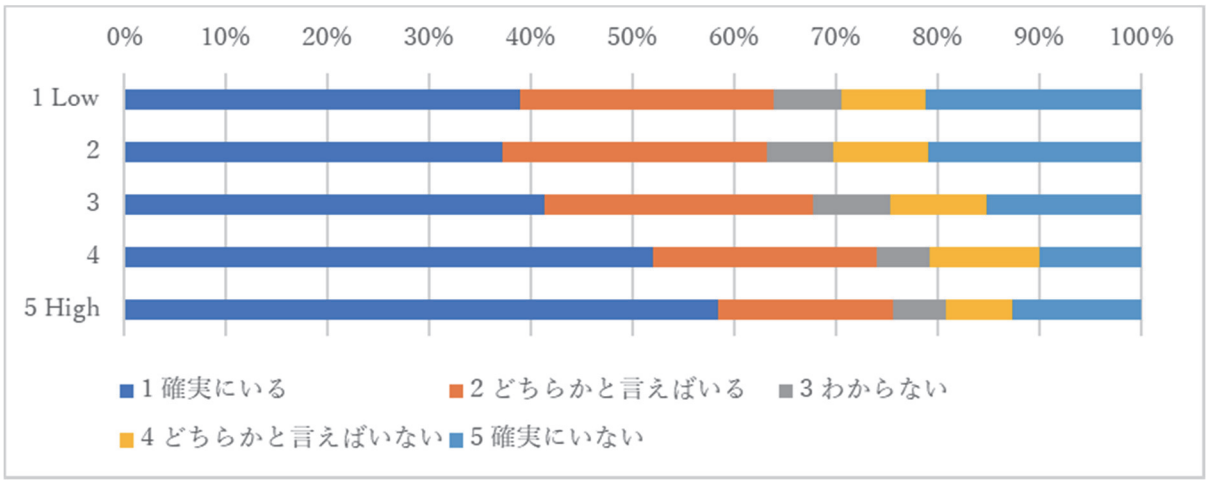
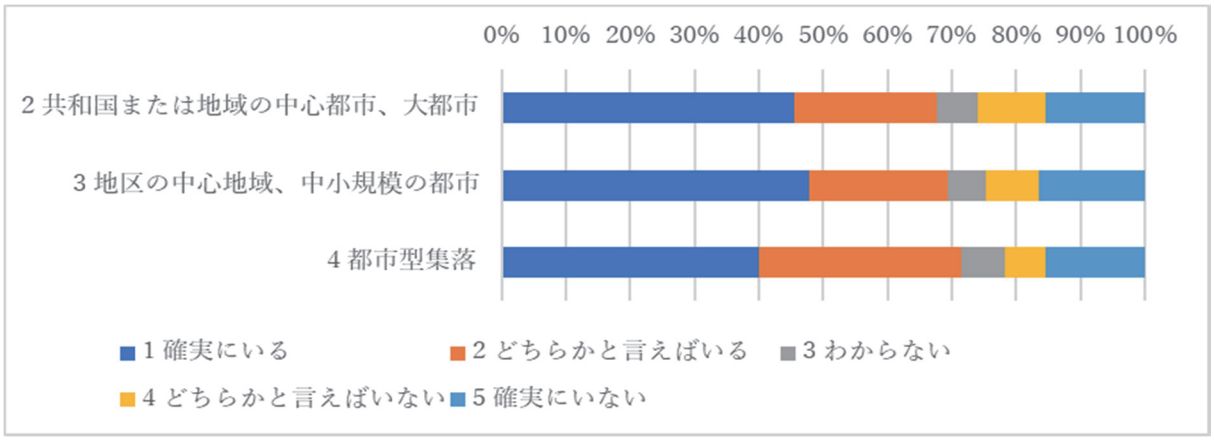


図 A15.2-4　居住地域別（N＝1208）



（注）本項目の回答者には、モスクワ市およびサンクトペテルブルグ市の住民は含まれない。

A16.（Q27.）以下の中で、あなたの人的交流の最も大きな部分を占める人物は誰ですか？

	実数（人）	%
1 家族・親族	969	57.0%
2 隣人	48	2.8%
3 クラスメート、同級生	45	2.6%
4 友人・知人（同級生は含まない）	339	19.9%
5 職場の同僚	220	12.9%
6　NPO、ボランティア団体の職員	4	0.2%
7 教会代表者	13	0.8%
8 政党関係者	5	0.3%
9 その他（具体的に）	36	2.1%
10 答えられない	21	1.2%
総計	1700	100.0%

図 A16-0　総計（N＝1700）

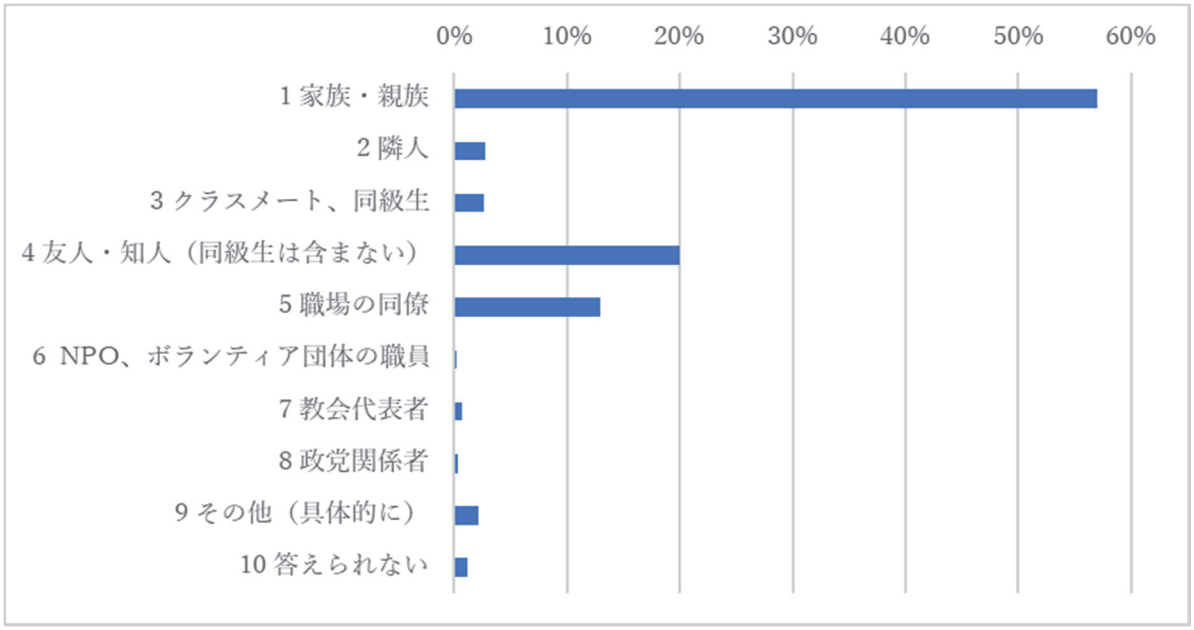


図 A16-1　男女別（N＝1679）

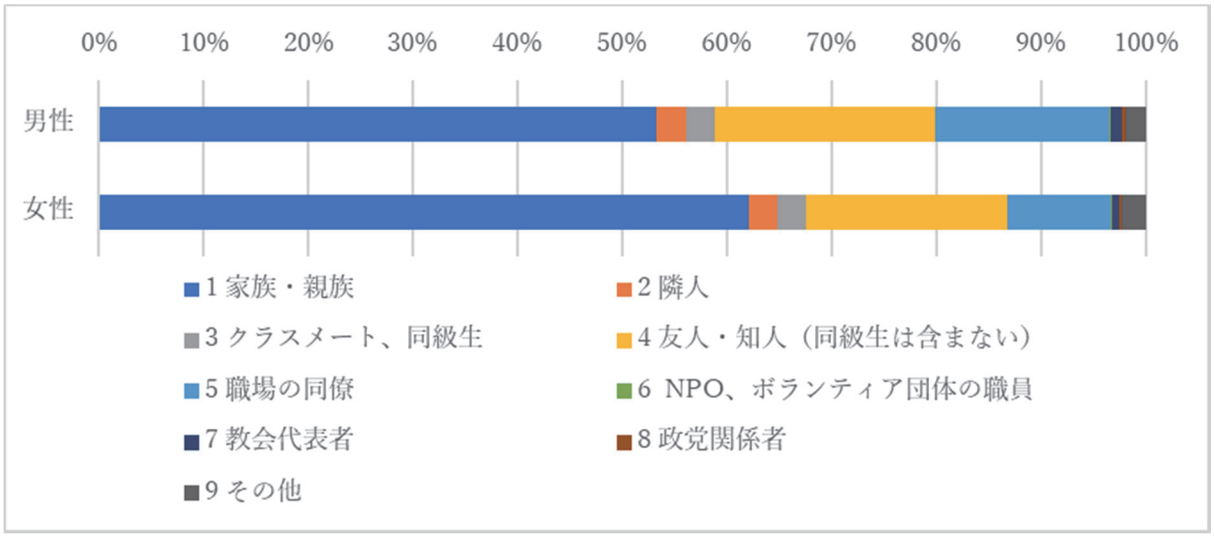


図 A16-2　年齢別（N＝1679）

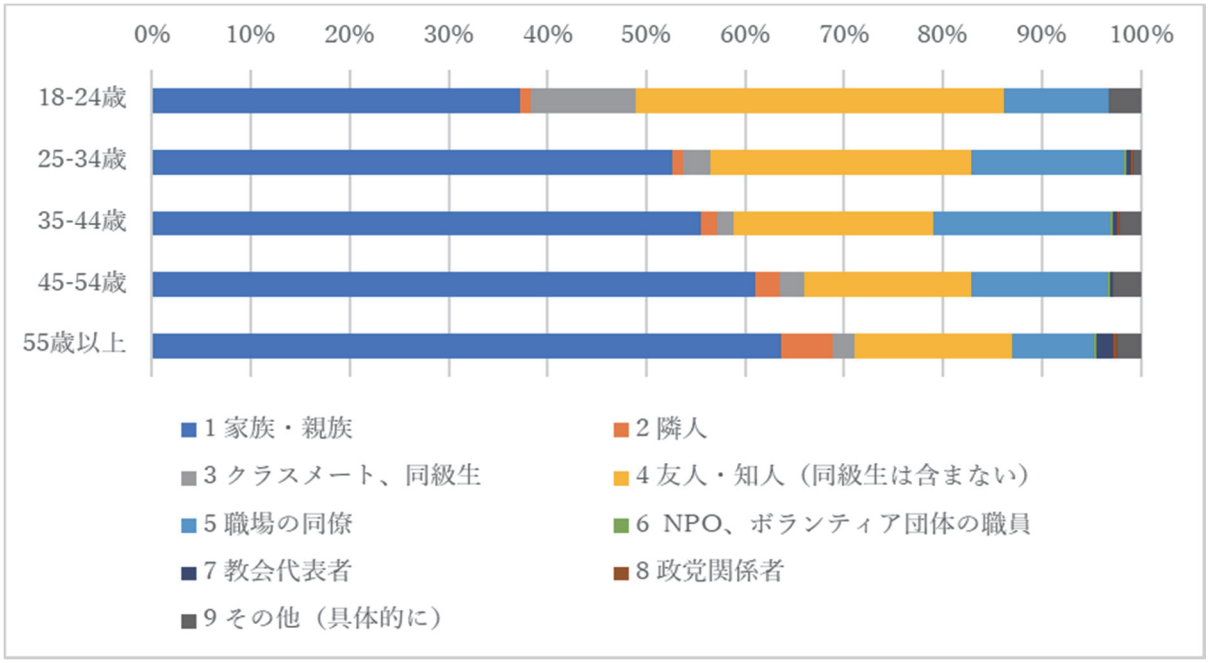


図 A16-3　収入別（N＝1562）

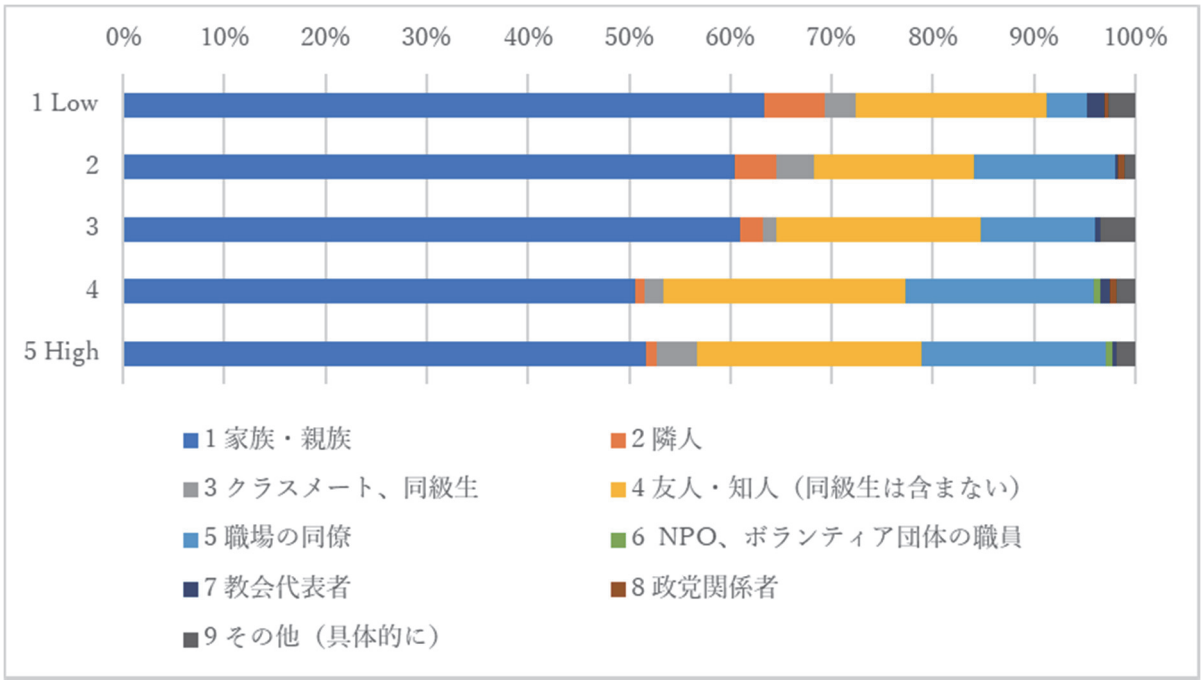
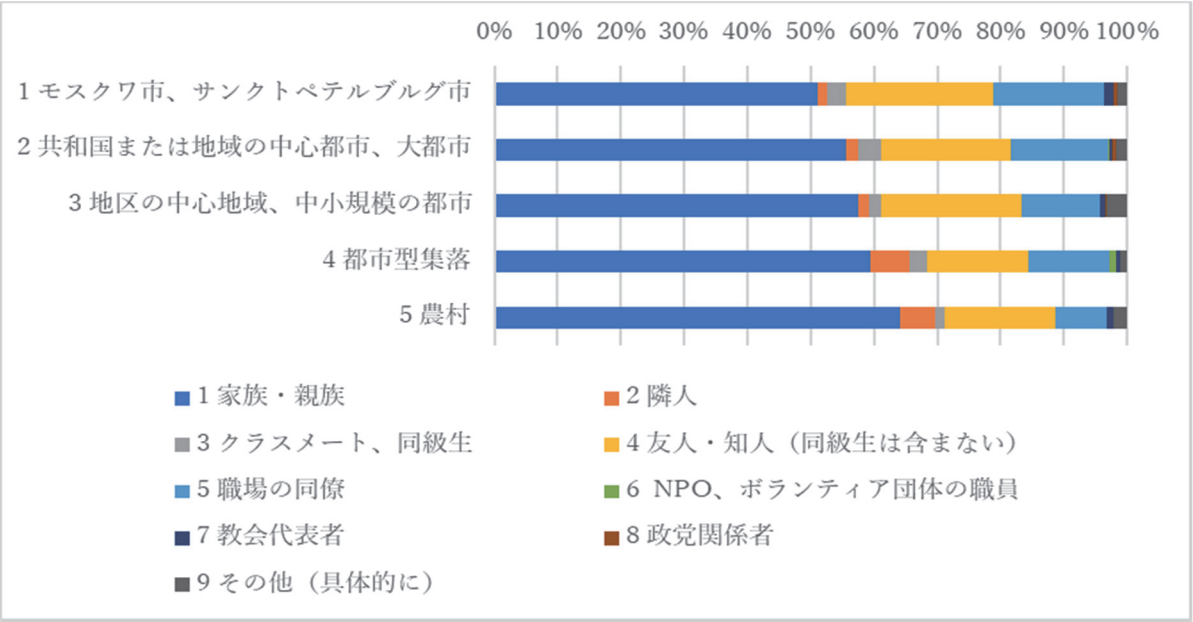


図 A16-4　居住地域別（N＝1670）



A17.（Q28.）社会で成功する上で、有力者（政治家、官僚、企業経営者など）との関係はどの程度重要だとお考えですか？

	実数（人）	比率
1　まったく重要ではない	493	29.0%
2　それほど重要ではない	125	7.4%
3　どちらとも言えない	318	18.7%
4　ある程度重要である	219	12.9%
5　極めて重要である	470	27.6%
6　答えられない	75	4.4%
総計	1700	100.0%

図 A17-0　総計（N＝1700）

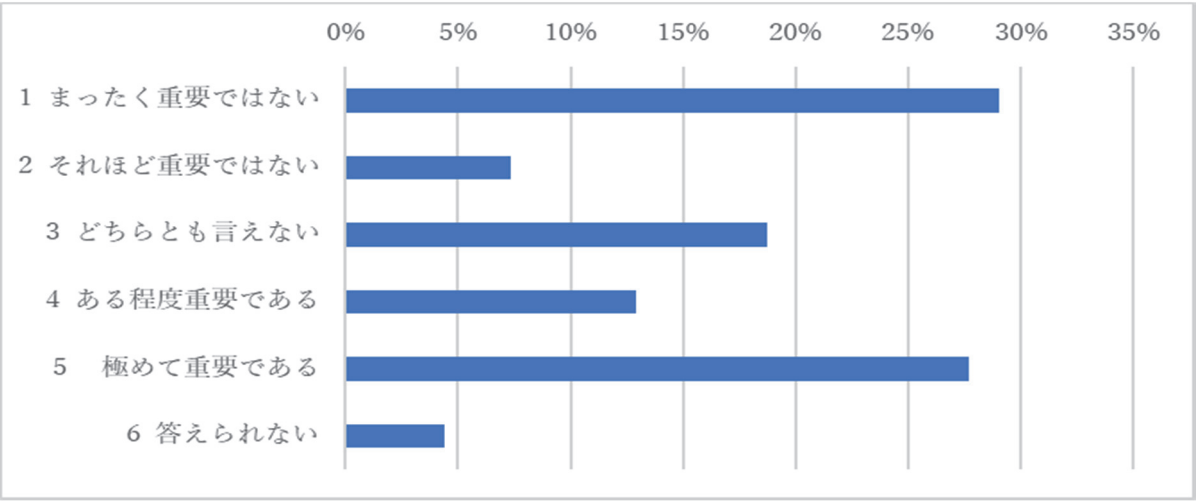


図 A17-1　男女別（N＝1625）

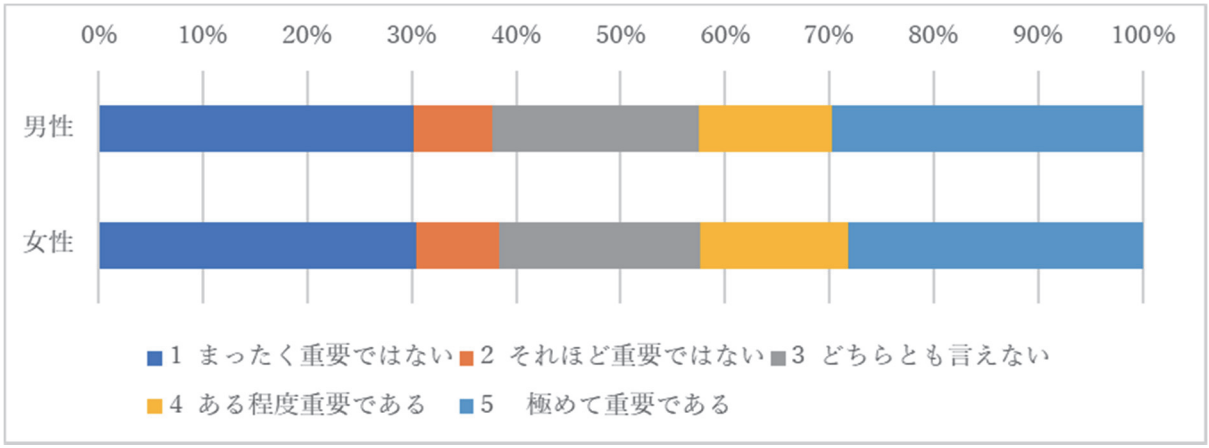


図 A17-2　年齢別（N＝1625）

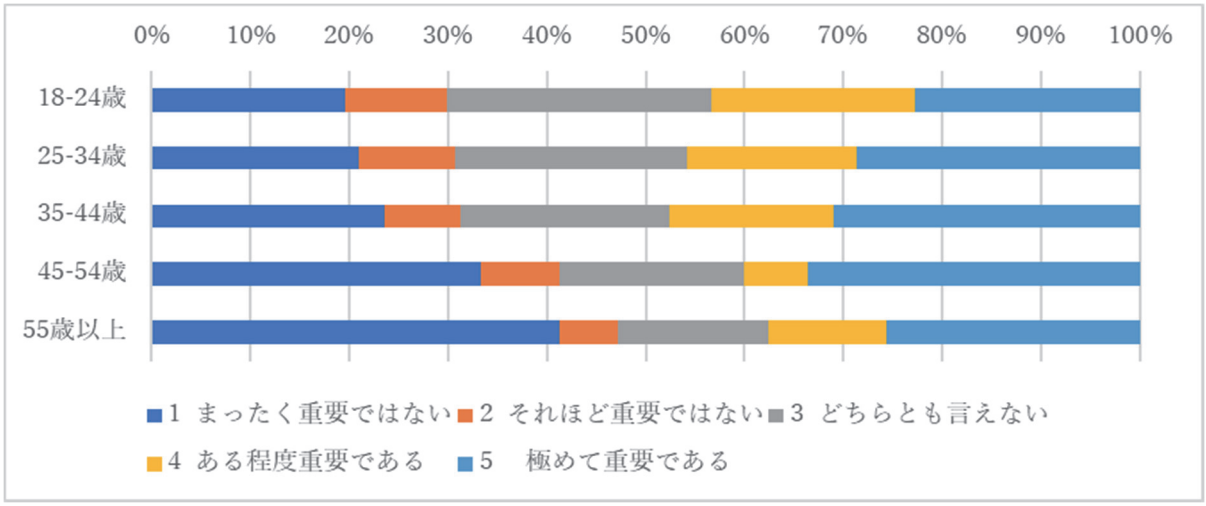


図 A17-3　収入別（N＝1509）

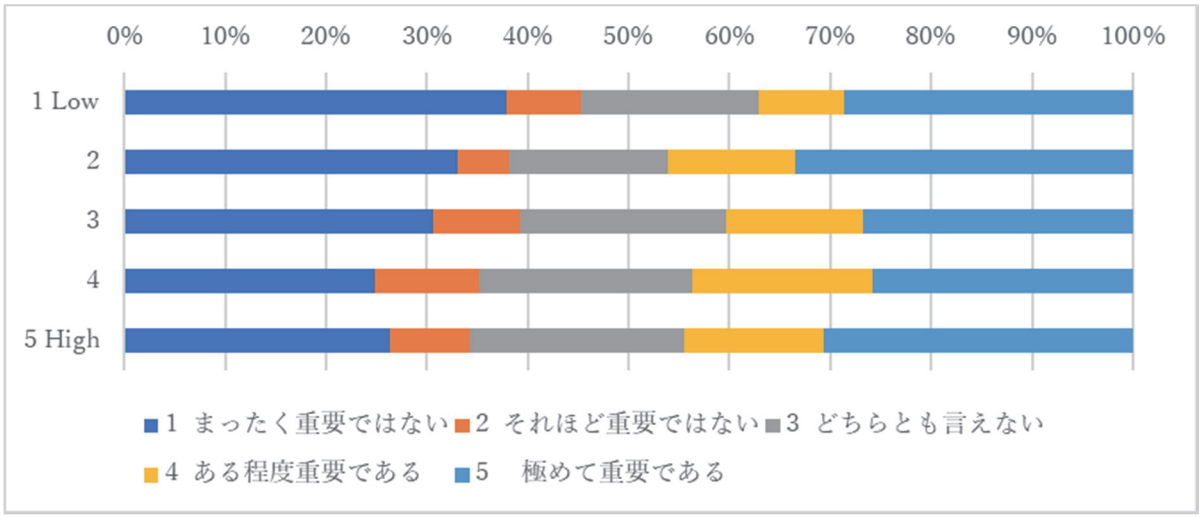
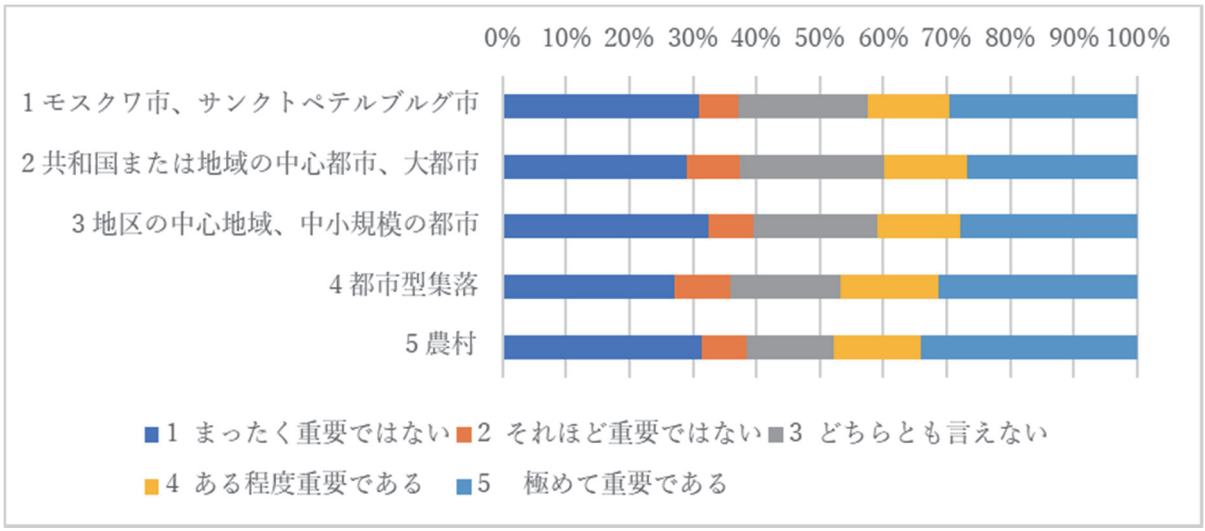


図 A17-4　居住地域別（N＝1618）


0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
1 モスクワ市、サンクトペテルブルグ市
2 共和国または地域の中心都市、大都市
3 地区の中心地域、中小規模の都市
4 都市型集落
5 農村
1 まったく重要ではない
2 それほど重要ではない
3 どちらとも言えない
4 ある程度重要である
5 極めて重要である

B. 社会的信頼

セクションBでは、信頼について3つの質問を行っている。

B1(Q29)の質問では、一般的信頼（generalized trust）について尋ねている。総計では、「たいていは、用心した方が良い」と「ほとんどの場合は、用心した方が良い」を合わせた回答（64.3%）が、「ほとんどの場合は信用できる」と「たいていの場合は、信用できる」を合わせた肯定的な回答（34.4%）を大きく上回っていることから、一般的な信頼に関しては、ロシア社会は不信頼の社会（society of distrust）と言える。男女別の集計では、顕著な差異が見られないものの、年齢別では、若年層ほど「たいていは、用心した方が良い」と「ほとんどの場合は、用心した方が良い」の回答が多い。収入別では、所得が上がるにつれて、若干であるが一般的な信頼が高くなる。居住地域別では、「地区の中心地、中小規模の都市」と「農村」において、他の地域より「たいていは、用心した方が良い」と「ほとんどの場合は、用心した方が良い」の回答が多い。

B2 (Q.30-31)の質問では、対人信頼（interpersonal trust）、一般的信頼（generalized trust）、機関・制度への信頼度（institutional trust）について尋ねている。まず、対人信頼を構成する「家族・親類」、「友人」、「近所の人」、「職場の人」に対する信用の程度について5件法で尋ねている。回答者は家族を信用している割合が最も高く、「ある程度信頼している」と「とても信頼している」を合わせた回答が 90.0%となっており、続いて「親類」（78.23%）、「友人」（69.83%）、「職場の人」（31.77%）、「近所の人」(26.88%)の順になっている。ロシア人は身近にいる人への信頼（家族、親類、友人）が高いことがうかがえる。属性別に集計すると、「家族」、「親類」の項目では、女性の信頼度が若干高い。年齢別では、25-34 歳の年齢層では「家族」、「友人」への信頼が最も高い。全ての年齢層において「近所」への信頼度が低いレベルにあるが、年齢が上がるにつれて、信頼度が高くなる傾向が見られる。収入別の集計では、収入が上がるにつれて、「家族」、「親類」、「友人」への信頼が高くなる一方、「近所」への信頼は低くなる傾向が見られる。居住地域別では、ほぼ全ての項目において、居住地域の規模が大きいほど信頼度が高い傾向が見られるが、「近所への信頼」に関しては、真逆の傾向が見られ、中小規模の都市と農村では、近所の助け合いが依然として重要であるとわかる。

次に、一般的信頼の指標の一つ「初対面の人への信頼」である。ソーシャル・キャピタルの理論では、一般的信頼が高い人は他者から得られる潜在的な資源に敏感で、幅広く社会的にネットワークを構築するとさていれる（岩井・宍戸、2021）。ロシア人の「初対面の人」に対する信頼は極めて低く、「全く信頼していない」と「あまり信頼していない」を合わせた数値が79.18%であり、「ある程度信頼している」と「とても信頼している」と回答した人は 4.53%である。男女別では、女性の方が若干否定的な回答が多い。年齢別では数値に大きな差異はないものの、収入別では、所得が低いほど若干「初対面の人」への不信が強い。居住地域別では、「共和国または地域の中心都市、中小規模の都市」と「地区の中心地域、中小規模の都市」に住んでいる回答者の方が「初対面の人」を信頼しない傾向が見られる。

最後に、様々な制度・機関への信頼である。公的制度の中で、とりわけ、「軍隊」（76.29%）、「大統領」（69.88%）への信頼度が高い。一方で、「地方公務員」「国家公務員」

「政党」「選挙」「裁判官」への信頼に関しては、否定的な回答が肯定的な回答を上回っているため、全体を通して公的制度への信頼が高くないことを物語っている。「地方公務員」「国家公務員」「選挙」に対する不信は極めて高い。「ロシア政府」（48.24%）とロシア議会（36.18%）への信頼は他の公的制度と比べてやや高い。年齢別の集計では、全ての項目において、女性の方が公的制度への信頼が高い。年齢別では、年齢が上がるにつれて、「大統領」「軍隊」「ロシア政府」「ロシア議会」への信頼が高くなっている傾向が見られる。収入別の集計では、所得が高い層ほど、「大統領」「軍隊」「ロシア政府」「ロシア議会」「政党」「選挙」への信頼が低くなっている。居住地域別では、地域の規模が小さいほど、公的制度への信頼が高くなる傾向が見られる。

非公的機関で働いている人への信頼は、「科学者」（62.71%）、「教員」(61.94%)、「医者」（48.59%）、「教会」（46.53%）、企業経営者・役員（29.41%）、NGO・NPO リーダー（19.41%）、従来のメディア（22.41%）、ソーシャル・メディア（10.35%）の順に続いている。男女別の集計では、「医者」への信頼を除き、全ての項目において女性の方が若干肯定的な回答が多い。年齢別では、「医者」への信頼が 18-24 歳の年齢層で最も高く、年齢が上がるにつれて、低くなる傾向が見られる。一方で、「教会」「従来のメディア」への信頼は年齢層が高いほど、比較的高い水準となっている。企業経営者・役員、NGO・NPO リーダーに関しては、年齢が上がるにつれて、「全く信頼していない」と「あまり信頼していない」を合わせた回答が増えている。収入別の集計では、所得が高いほど、「教会」、「従来のメディア」への信頼が低い。居住地域別では、地域の規模が小さいほど、「教会」「従来のメディア」への信頼が高い傾向が見られる。

B3 (Q 32)は人間の本性について、「1 人間の本性は本来「悪」である」「7 人間の本性は本来「善」である」を両端とする 7 件法で尋ねたものである。人間の本性が「善」寄りだと答えた回答者は、61.35%である。性別では、女性の方が「善」であるという回答が多かった。年齢別では、顕著な差異が見られない。収入別では、中所得（収入グループ 3 と 4）の方が「善」寄りだと答えた回答者がやや多かった。居住地域別では、顕著な差異が見られない。

B1.（Q29.）一般的に言って、人は信用できると思いますか、それとも人と接するときには細心の注意を払う必要があると思いますか？

		実数（人）	比率（%）
1	ほとんどの場合、信用できる	221	13.0
2	たいていは、信用できる	363	21.4
3	たいていは、用心した方がよい	491	28.9
4	ほとんどの場合、用心した方がよい	602	35.4
99	無回答	23	1.4
	総数	1700	100.0

図 B1-0　総計（N=1700）

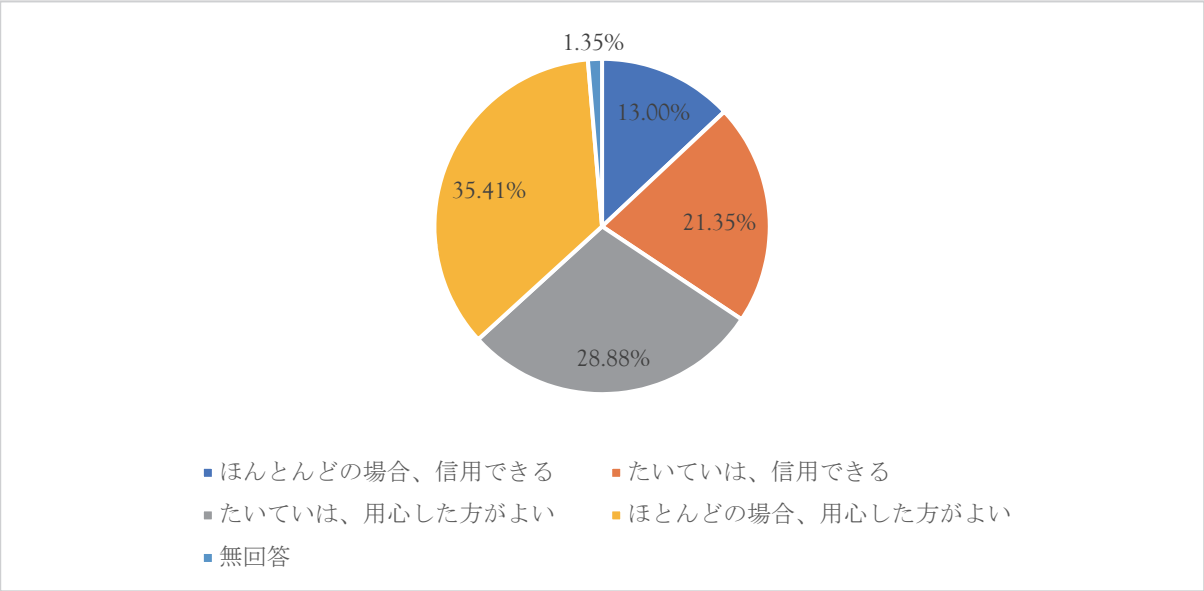


図 B1-1　男女別（N=1677）

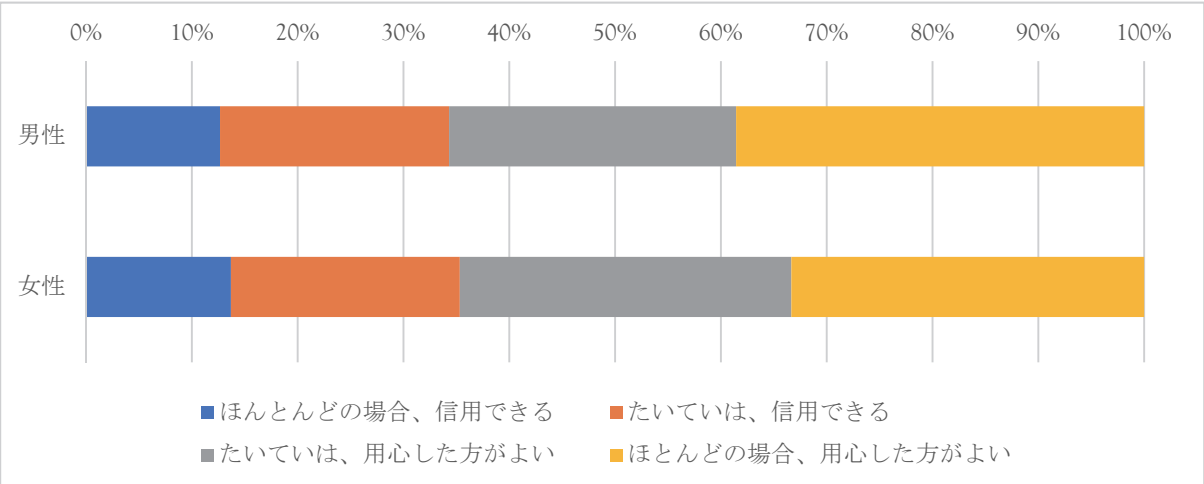


図 B1-2　年齢別（N=1677）

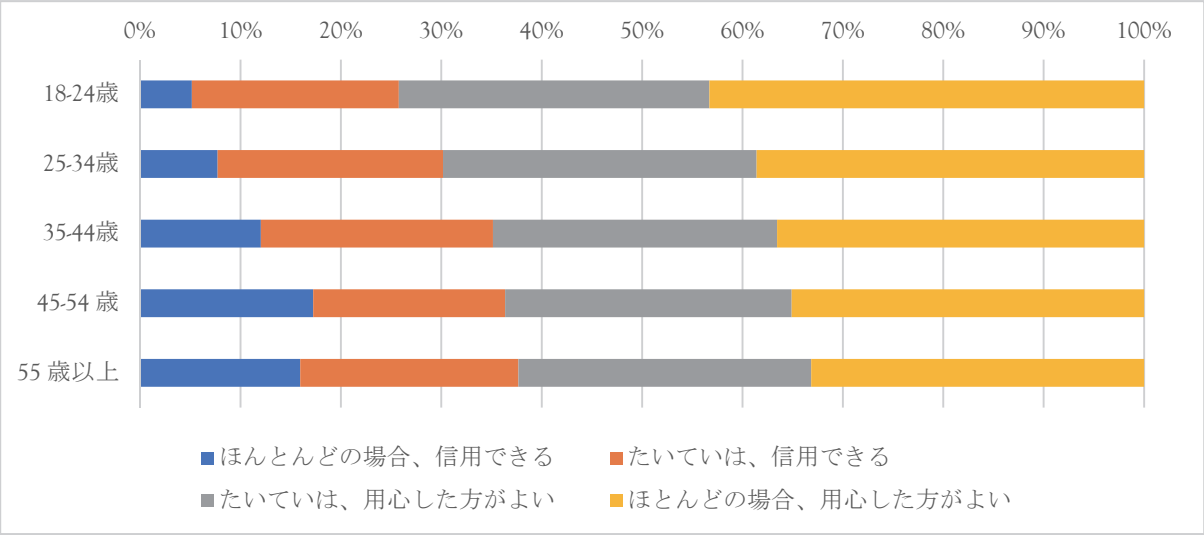


図 B1-3　収入別（N=1561）

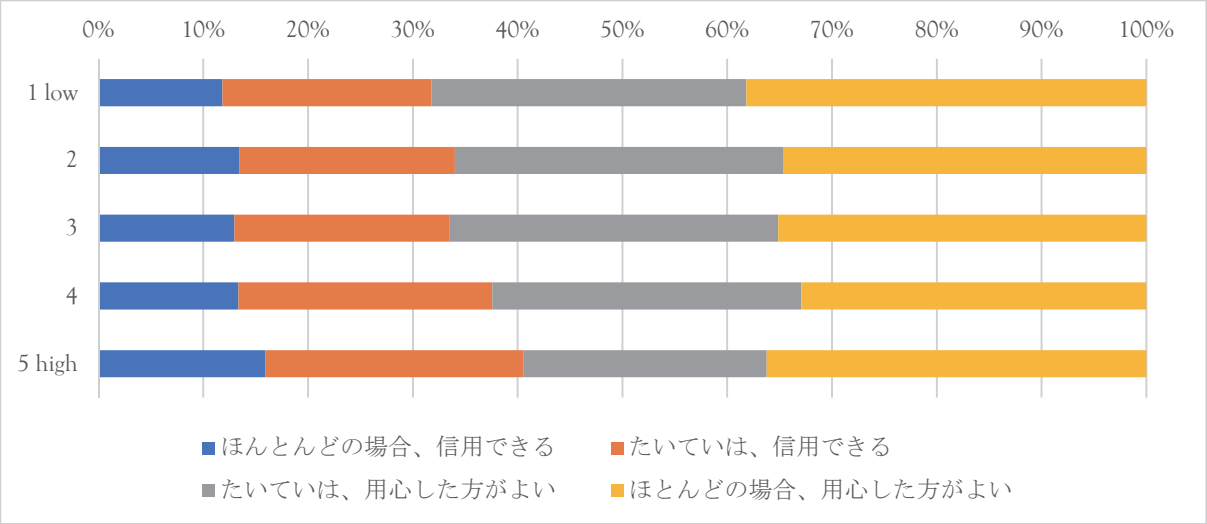
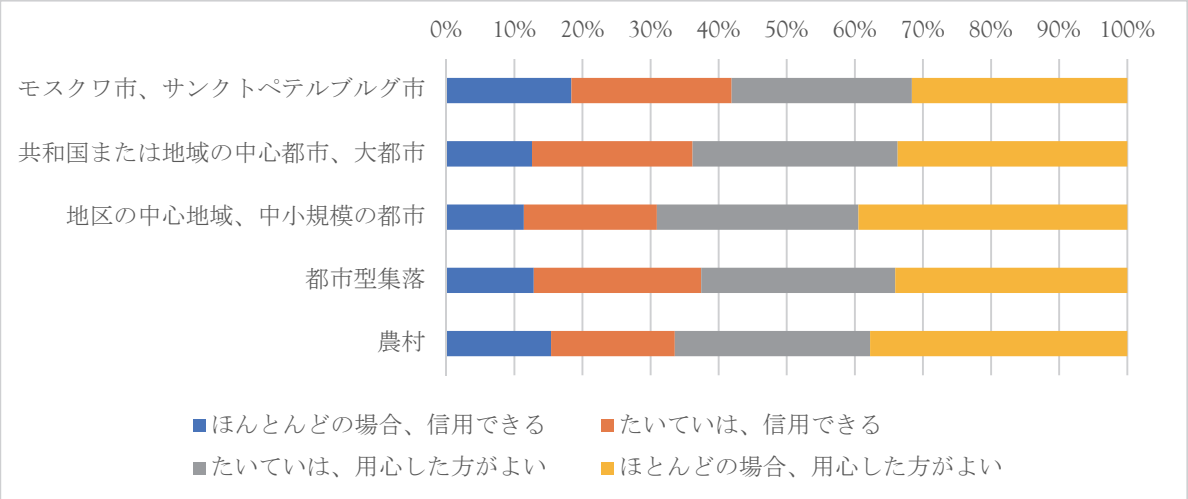


図 B1-4　居住地域別（N=1668）



B2. (Q30-31.) あなたは自分の身近な環境をどの程度信用していますか？1～5 で評価してください。1：全く信用しない、5：完全に信用する。

		全く信用していない	あまり信用していない	どちらとも言えない	ある程度信用している	とても信用している	無回答	全体
家族	%	2.88%	1.41%	4.65%	11.94%	78.06%	1.06%	100%
	実数	49	24	79	203	1327	18	1700
親類	%	5.00%	3.71%	11.47%	19.82%	58.41%	1.59%	100%
	実数	85	63	195	337	993	27	1700
友人	%	7.82%	4.94%	14.82%	28.65%	41.18%	2.59%	100%
	実数	133	84	252	487	700	44	1700
職場の人（学生の場合は同じ学校の人、あるいは学校内での上司（先生））	%	14.35%	12.24%	26.24%	21.06%	10.71%	15.41%	100%
	実数	244	208	446	358	182	262	1700
近所の人	%	27.06%	16.29%	25.59%	15.76%	11.12%	4.18%	100%
	実数	460	277	435	268	189	71	1700
初対面の人	%	64.06%	15.12%	13.18%	2.59%	1.94%	3.12%	100%
	実数	1089	257	224	44	33	53	1700
医者	%	9.47%	7.71%	33.06%	29.29%	19.29%	1.18%	100%
	実数	161	131	562	498	328	20	1700
企業経営者・役員	%	15.35%	13.65%	34.00%	20.71%	8.71%	7.59%	100%
	実数	261	232	578	352	148	129	1700
NGO/NPO のリーダー	%	25.06%	16.88%	28.82%	15.76%	3.65%	9.82%	100%
	実数	426	287	490	268	62	167	1700
教員	%	6.00%	5.41%	21.35%	37.82%	24.12%	5.29%	100%
	実数	102	92	363	643	410	90	1700
科学者	%	7.53%	3.53%	17.94%	31.76%	30.94%	8.29%	100%
	実数	128	60	305	540	526	141	1700
地方公務員	%	22.24%	17.29%	34.71%	16.29%	6.18%	3.29%	100%
	実数	128	60	305	540	526	141	1700
国家公務員	%	25.00%	16.53%	28.47%	17.00%	8.82%	4.18%	100%
	実数	425	281	484	289	150	71	1700
大統領	%	12.88%	3.12%	10.82%	17.29%	52.59%	3.29%	100%
	実数	219	53	184	294	894	56	1700
政党	%	27.00%	12.53%	28.53%	16.94%	8.00%	7.00%	100%
	実数	459	213	485	288	136	119	1700
選挙	%	32.06%	10.35%	21.53%	16.29%	16.35%	3.41%	100%
	実数	545	176	366	277	278	58	1700
裁判官	%	22.94%	12.94%	28.24%	18.76%	10.29%	6.82%	100%
	実数	390	220	480	319	175	116	1700
警察	%	19.12%	13.00%	31.24%	21.59%	11.71%	3.35%	100%

	実数	325	221	531	367	199	57	1700
軍隊	%	7.06%	3.47%	9.71%	19.18%	57.12%	3.47%	100%
	実数	120	59	165	326	971	59	1700
教会	%	21.18%	8.47%	17.47%	17.06%	29.47%	6.35%	100%
	実数	360	144	297	290	501	108	1700
従来のメディア（テレビ、ラジオ、新聞）	%	28.82%	17.71%	29.00%	14.47%	7.94%	2.06%	100%
	実数	490	301	493	246	135	35	1700
ソーシャルメディア（SNS、ブログ、YouTubeなど）	%	31.65%	24.76%	26.82%	7.41%	2.94%	6.41%	100%
	実数	538	421	456	126	50	109	1700
ロシア政府	%	15.88%	8.71%	21.65%	25.35%	22.88%	5.53%	100%
	実数	270	148	368	431	389	94	1700
ロシア議会	%	20.94%	10.76%	24.82%	21.12%	15.06%	7.29%	100%
	実数	356	183	422	359	256	124	1700

図 B2-0　総計（N=1700）

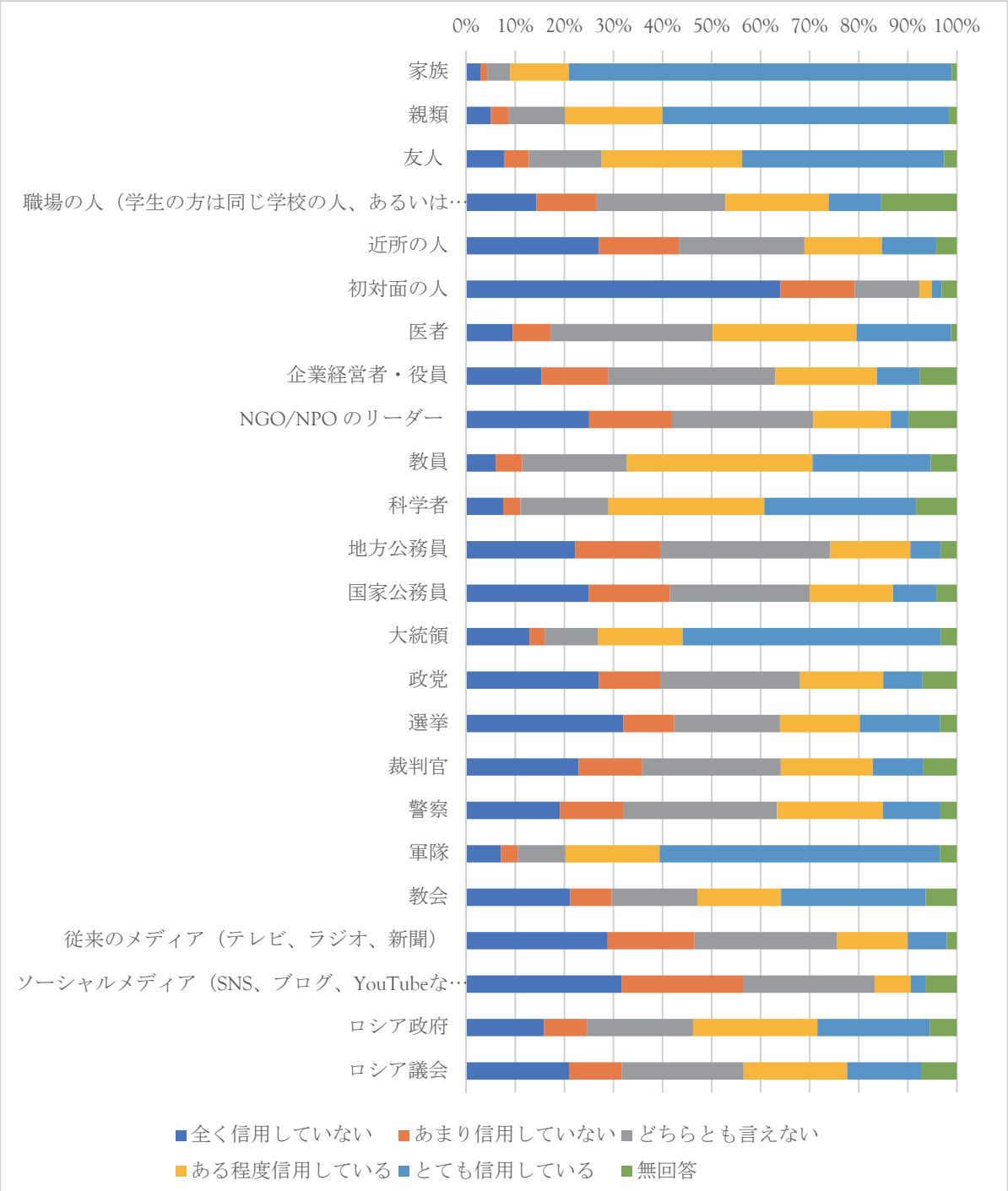


図 B2-1　男女別

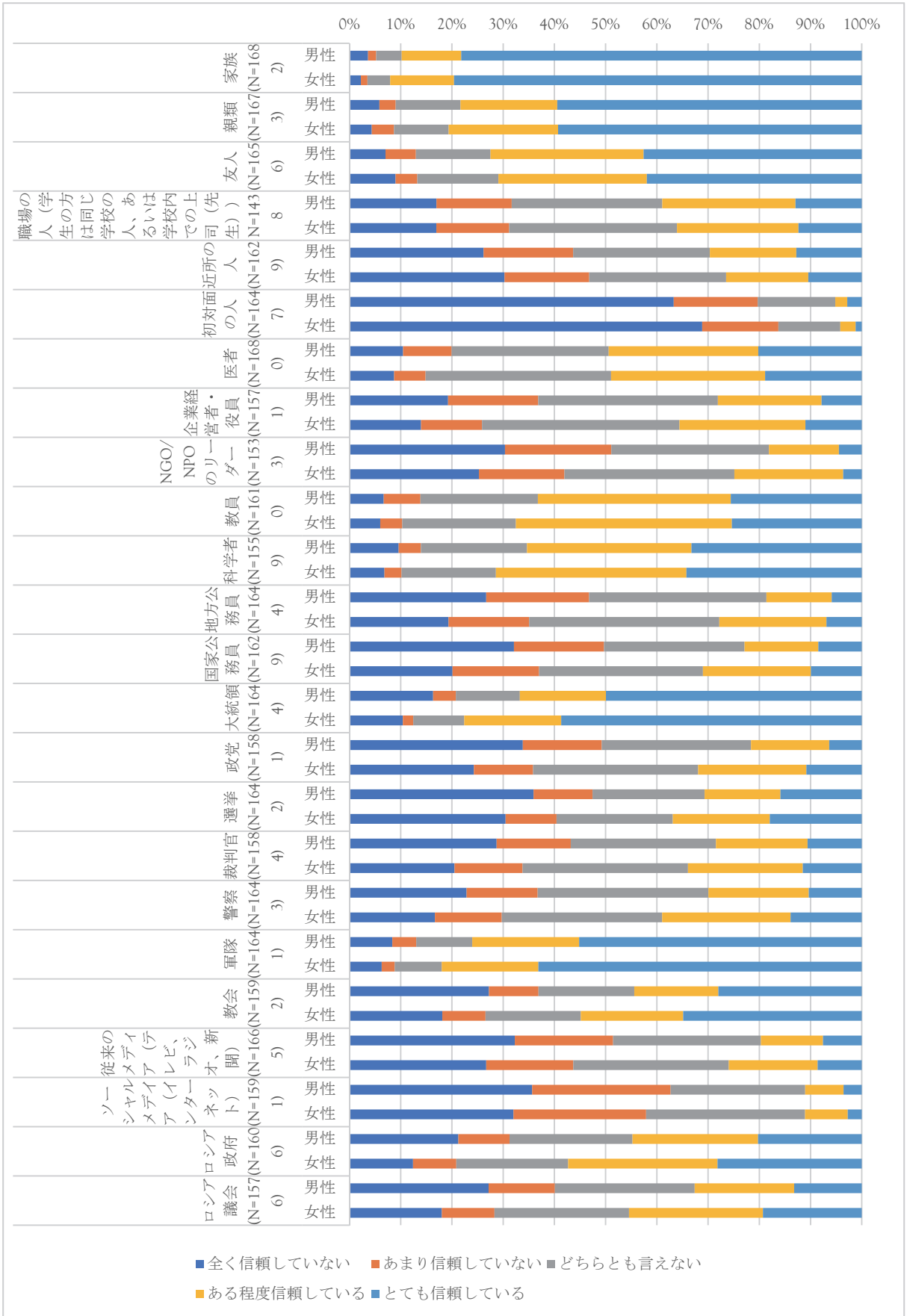
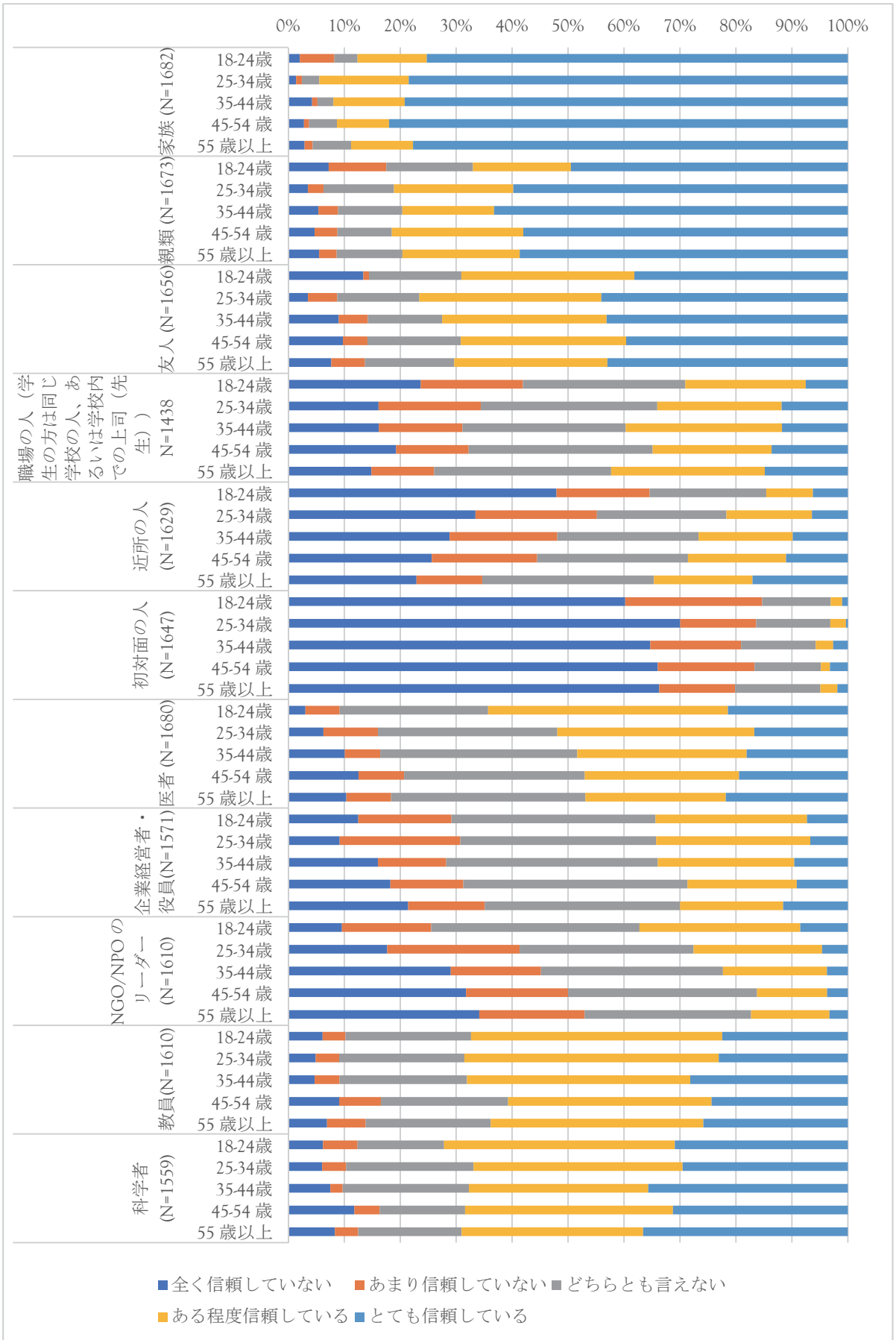

0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
家族 (N=168) 男性 女性
親類 (N=167) 男性 女性
友人 (N=165) 男性 女性
職場の人（学生の方は同じ学校の人、あるいは学校内での上司（先生）） (N=143) 男性 女性
近所の人 (N=162) 男性 女性
初対面の人 (N=164) 男性 女性
医者 (N=168) 男性 女性
企業経営者・役員 (N=157) 男性 女性
NGO/NPOのリーダー (N=153) 男性 女性
教員 (N=161) 男性 女性
科学者 (N=155) 男性 女性
地方公務員 (N=164) 男性 女性
国家公務員 (N=162) 男性 女性
大統領 (N=164) 男性 女性
政党 (N=158) 男性 女性
選挙 (N=164) 男性 女性
裁判官 (N=158) 男性 女性
警察 (N=164) 男性 女性
軍隊 (N=164) 男性 女性
教会 (N=159) 男性 女性
新聞） (N=166) 男性 女性
従来のメディア（テレビ、ラジオ、
ソーシャルメディア（インターネット） (N=159) 男性 女性
ロシア政府 (N=160) 男性 女性
ロシア議会 (N=157) 男性 女性
全く信頼していない
あまり信頼していない
どちらとも言えない
ある程度信頼している
とても信頼している

図 B2-2　年齢別


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
家族 (N=1682)
親類 (N=1673)
友人 (N=1656)
職場の人（学生の方は同じ学校の人、あるいは学校内での上司（先生））N=1438
近所の人 (N=1629)
初対面の人 (N=1647)
医者 (N=1680)
企業経営者・役員(N=1571)
NGO/NPO のリーダー (N=1610)
教員(N=1610)
科学者 (N=1559)
18-24歳
25-34歳
35-44歳
45-54 歳
55 歳以上
全く信頼していない
あまり信頼していない
どちらとも言えない
ある程度信頼している
とても信頼している

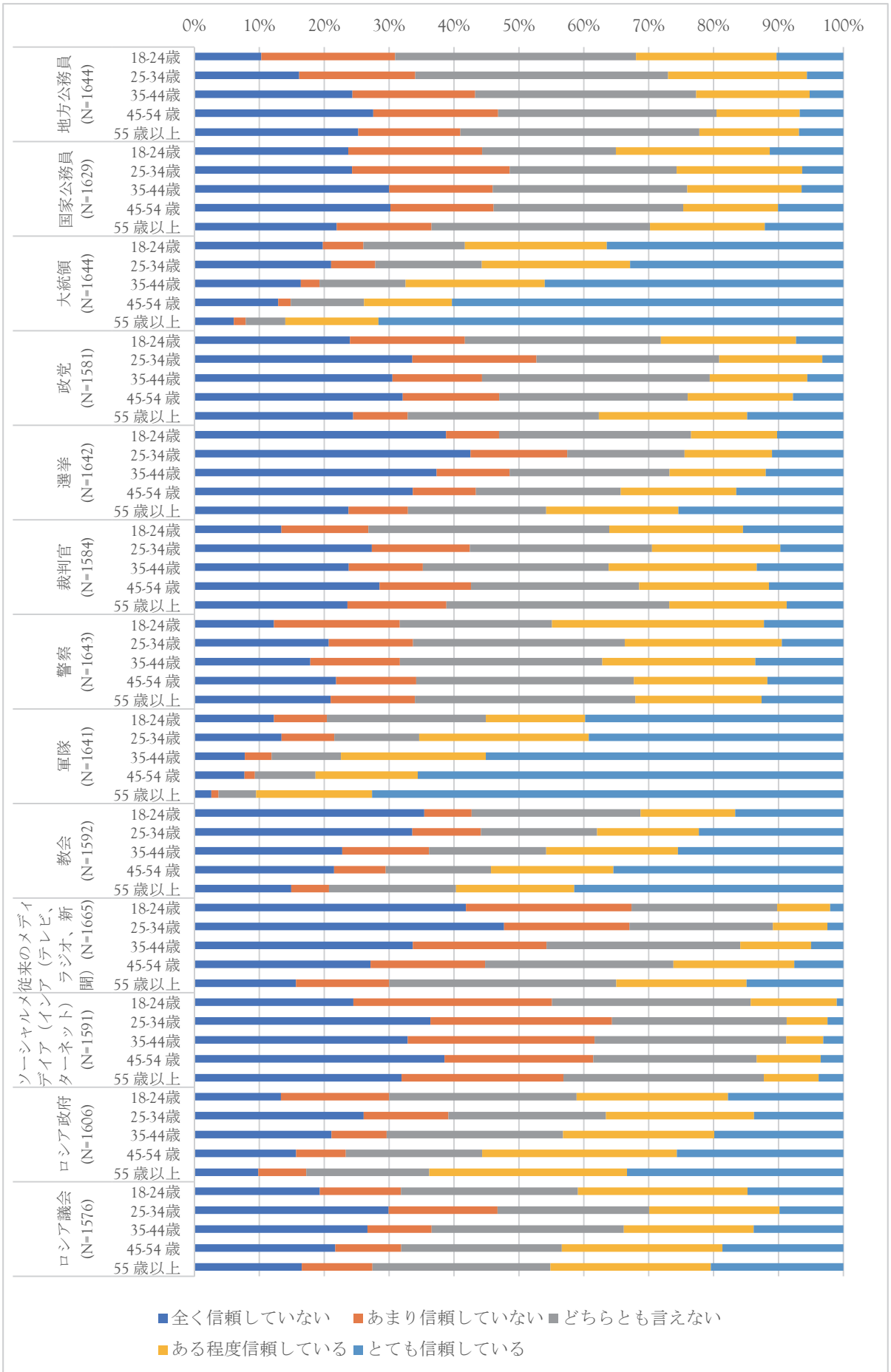
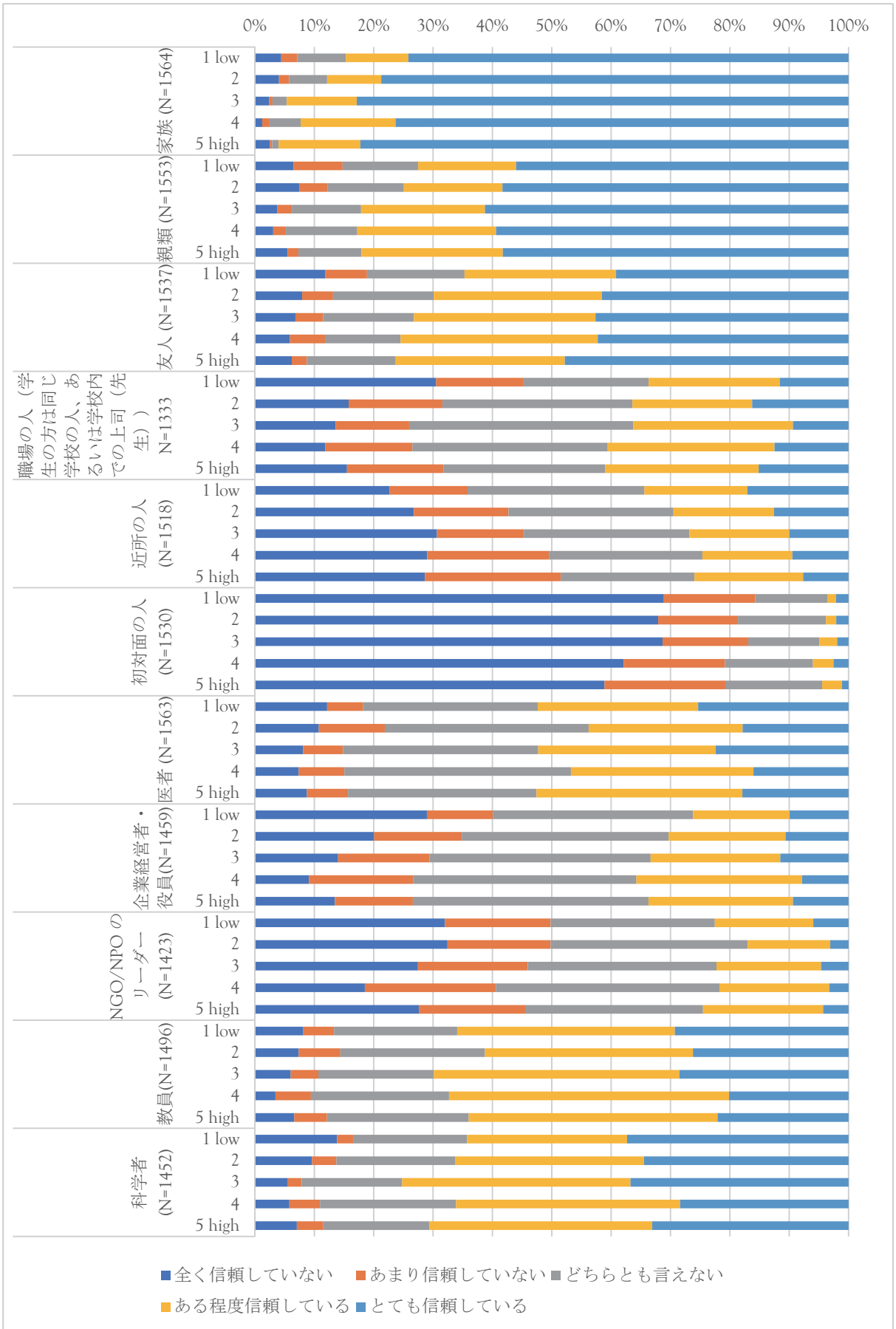

0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
地方公務員 (N=1644)
国家公務員 (N=1629)
大統領 (N=1644)
政党 (N=1581)
選挙 (N=1642)
裁判官 (N=1584)
警察 (N=1643)
軍隊 (N=1641)
教会 (N=1592)
ソーシャルメディア（インターネット） (N=1591)
従来のメディア（テレビ、ラジオ、新聞） (N=1665)
ロシア政府 (N=1606)
ロシア議会 (N=1576)
18-24歳
25-34歳
35-44歳
45-54 歳
55 歳以上
全く信頼していない
あまり信頼していない
どちらとも言えない
ある程度信頼している
とても信頼している

図 B2-3　収入別


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
家族 (N=1564)
親類 (N=1553)
友人 (N=1537)
職場の人（学生の方は同じ学校の人、あるいは学校内での上司（先生））
N=1333
近所の人
(N=1518)
初対面の人
(N=1530)
医者 (N=1563)
企業経営者・役員(N=1459)
NGO/NPO のリーダー
(N=1423)
教員(N=1496)
科学者
(N=1452)
1 low
2
3
4
5 high
全く信頼していない
あまり信頼していない
どちらとも言えない
ある程度信頼している
とても信頼している

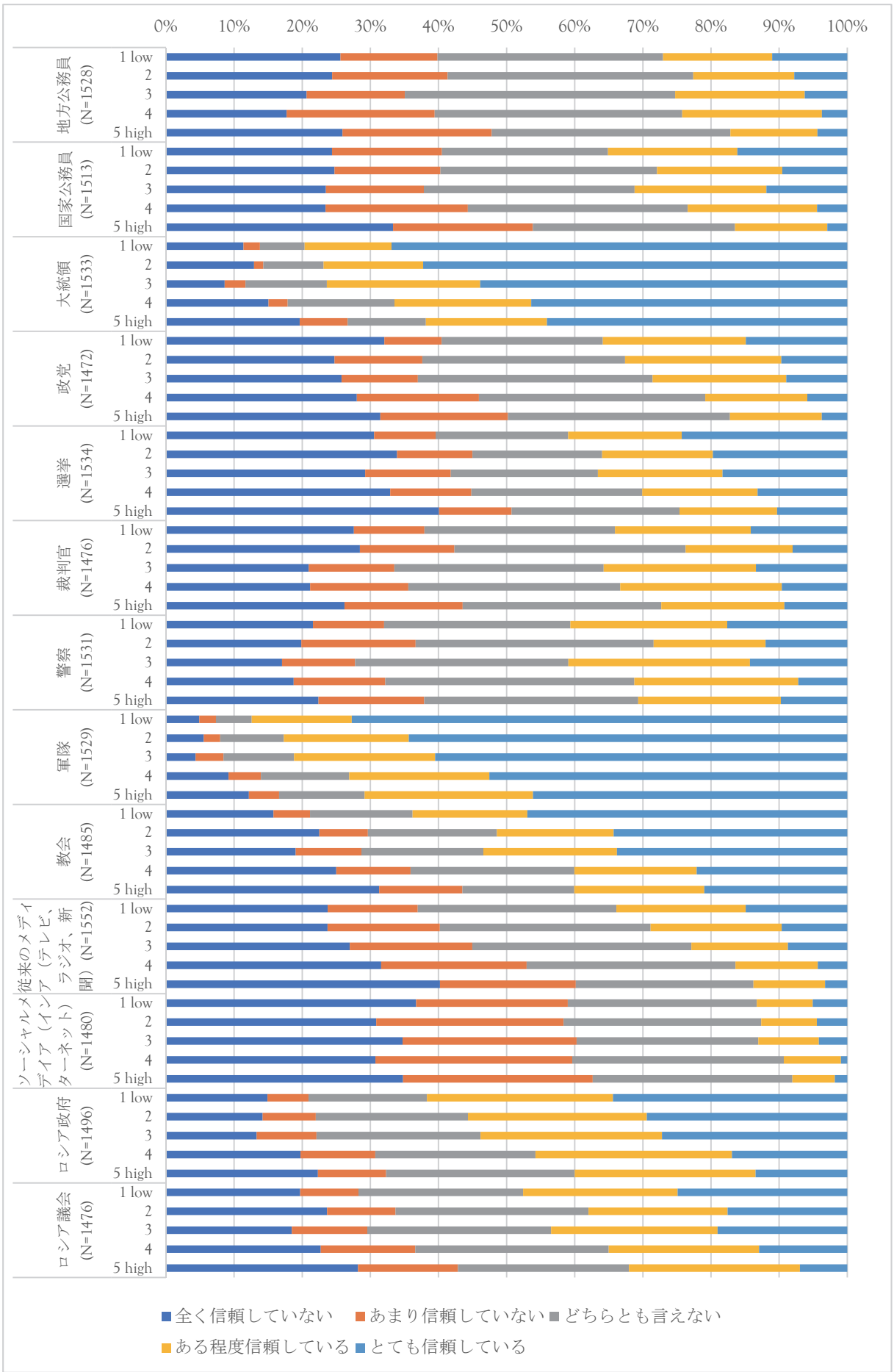
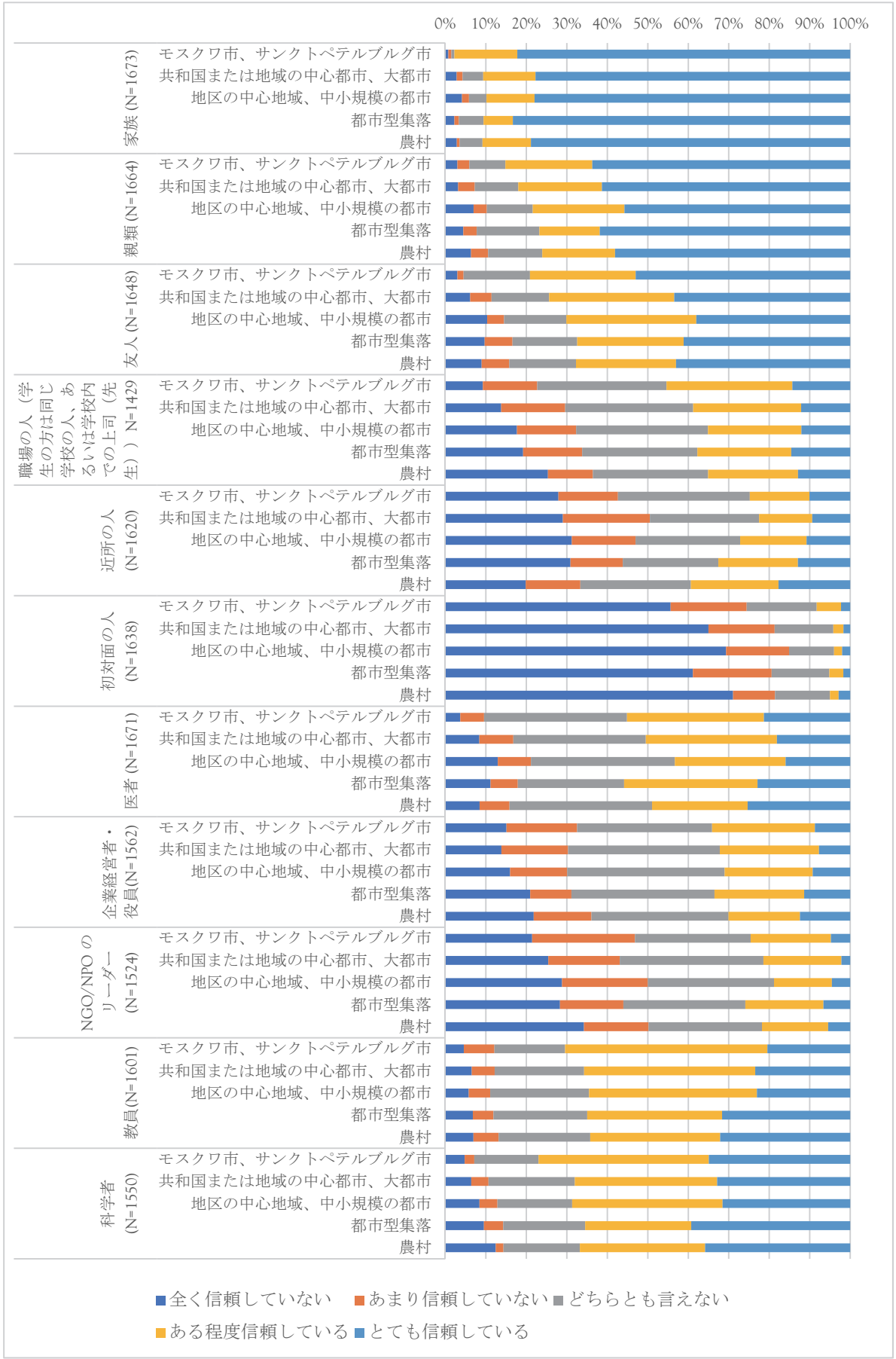
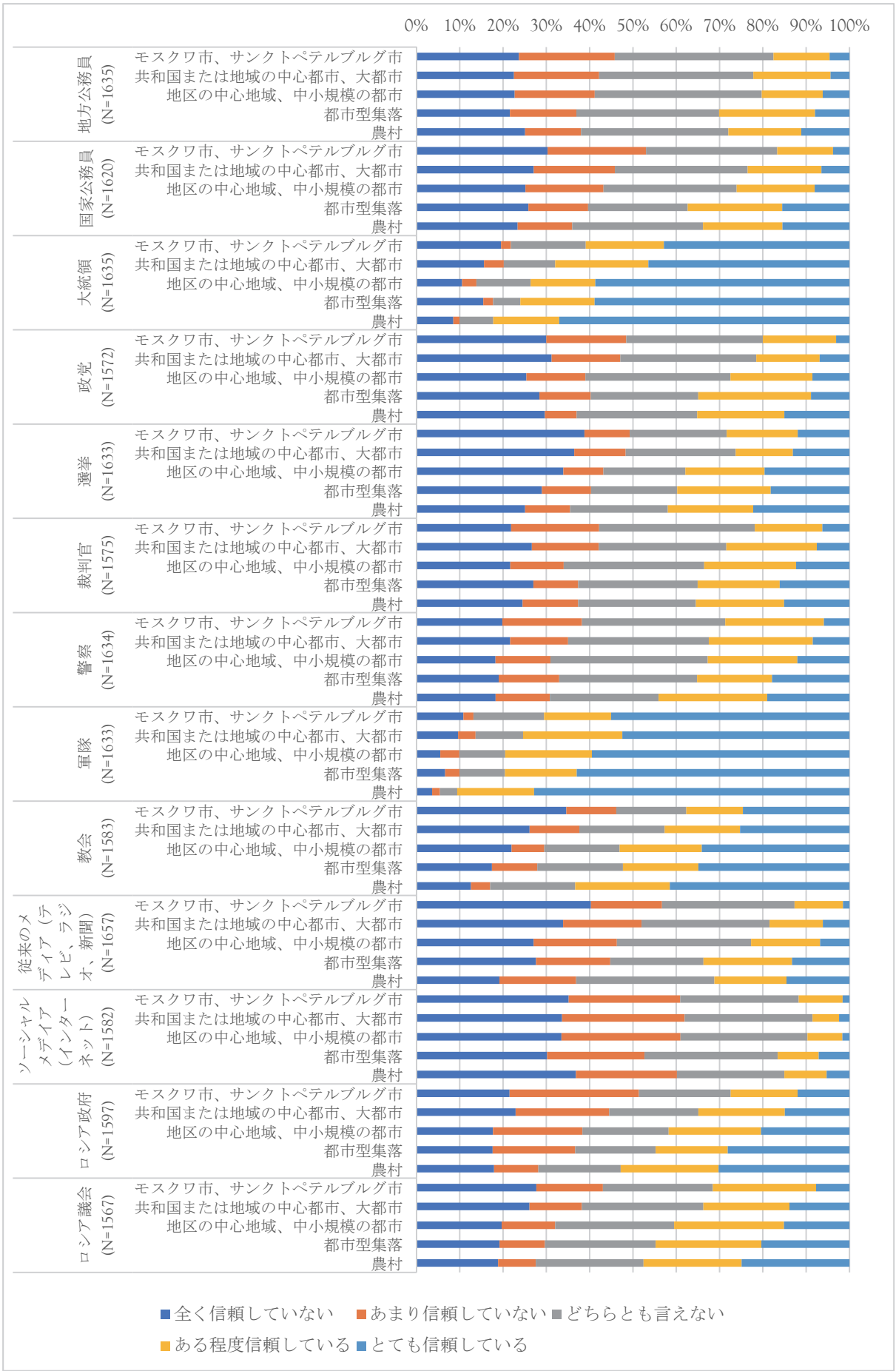

0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
地方公務員 (N=1528)
国家公務員 (N=1513)
大統領 (N=1533)
政党 (N=1472)
選挙 (N=1534)
裁判官 (N=1476)
警察 (N=1531)
軍隊 (N=1529)
教会 (N=1485)
従来のメディア（テレビ、ラジオ、新聞） (N=1552)
ソーシャルメディア（インターネット） (N=1480)
ロシア政府 (N=1496)
ロシア議会 (N=1476)
1 low
2
3
4
5 high
全く信頼していない
あまり信頼していない
どちらとも言えない
ある程度信頼している
とても信頼している

図 B2-4　居住地域別


0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
家族 (N=1673)
親類 (N=1664)
友人 (N=1648)
職場の人（学生の方は同じ学校の人、あるいは学校内での上司（先生））N=1429
近所の人 (N=1620)
初対面の人 (N=1638)
医者 (N=1671)
企業経営者・役員(N=1562)
NGO/NPO のリーダー (N=1524)
教員(N=1601)
科学者 (N=1550)
モスクワ市、サンクトペテルブルグ市
共和国または地域の中心都市、大都市
地区の中心地域、中小規模の都市
都市型集落
農村
全く信頼していない
あまり信頼していない
どちらとも言えない
ある程度信頼している
とても信頼している


0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
地方公務員 (N=1635)
国家公務員 (N=1620)
大統領 (N=1635)
政党 (N=1572)
選挙 (N=1633)
裁判官 (N=1575)
警察 (N=1634)
軍隊 (N=1633)
教会 (N=1583)
従来のメディア（テレビ、ラジオ、新聞） (N=1657)
ソーシャルメディア（インターネット） (N=1582)
ロシア政府 (N=1597)
ロシア議会 (N=1567)
モスクワ市、サンクトペテルブルグ市
共和国または地域の中心都市、大都市
地区の中心地域、中小規模の都市
都市型集落
農村
全く信頼していない
あまり信頼していない
どちらとも言えない
ある程度信頼している
とても信頼している

B3. （Q32.）あなたは人間の本性についてどう思いますか。1～7 の数字を選んでください。1：人間の本性は本来「悪」である　～　7：人間の本性は本来「善」である。

	実数（人）	%
1　人間の本性は本来「悪」である	53	3. 12%
2	33	1. 94%
3	135	7. 94%
4	409	24. 06%
5	605	35. 59%
6	161	9. 47%
7　人間の本性は本来「善」である	277	16. 29%
無回答	27	1. 59%
総計	1700	100

図 B3-0　総計（N=1700）

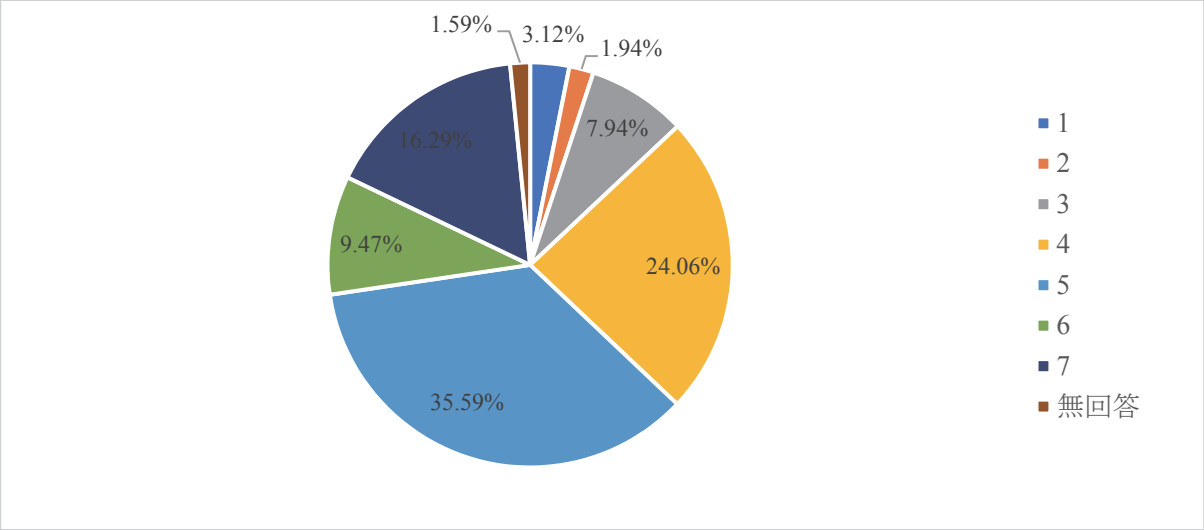


図 B3-1　男女別（N=1673）

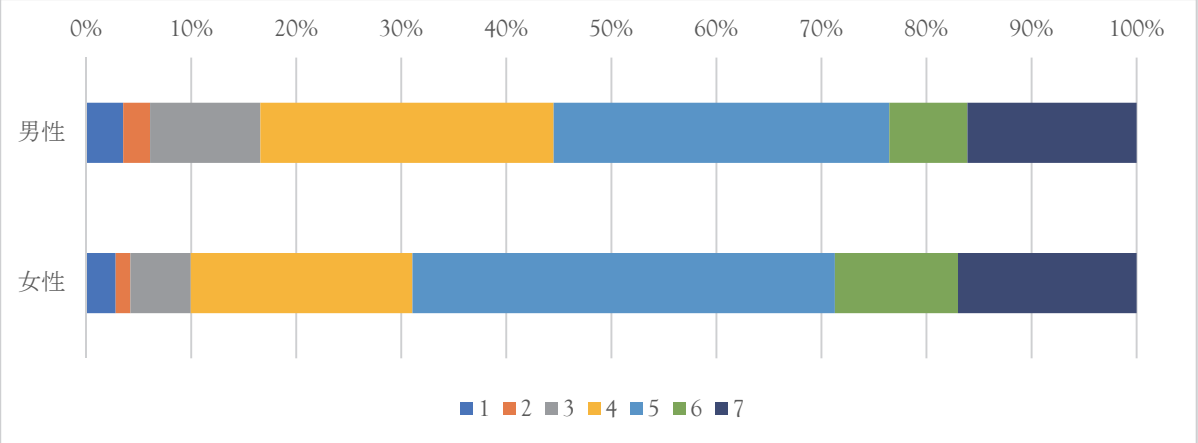


図 B3-2　年齢別（N=1663）

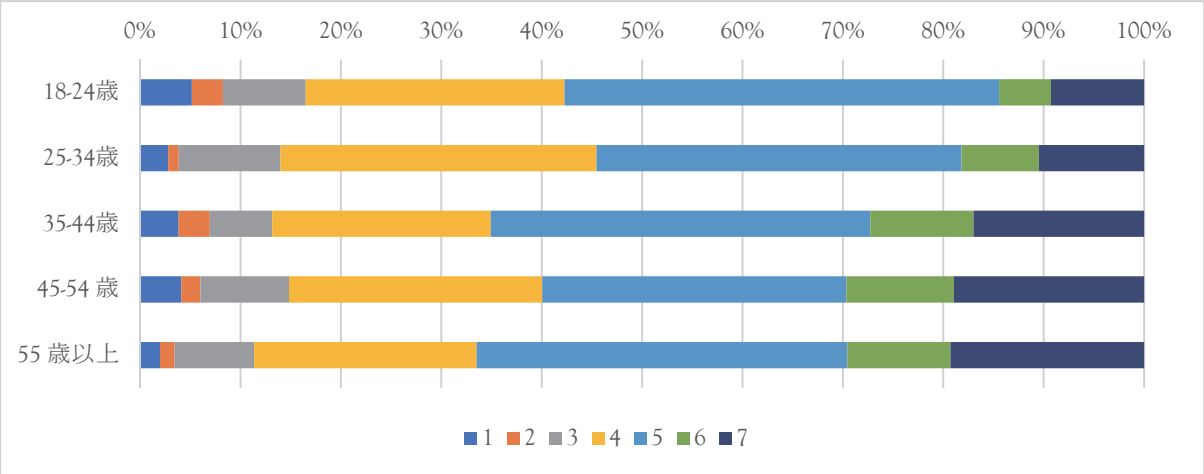


図 B3-3　収入別（N=1556）

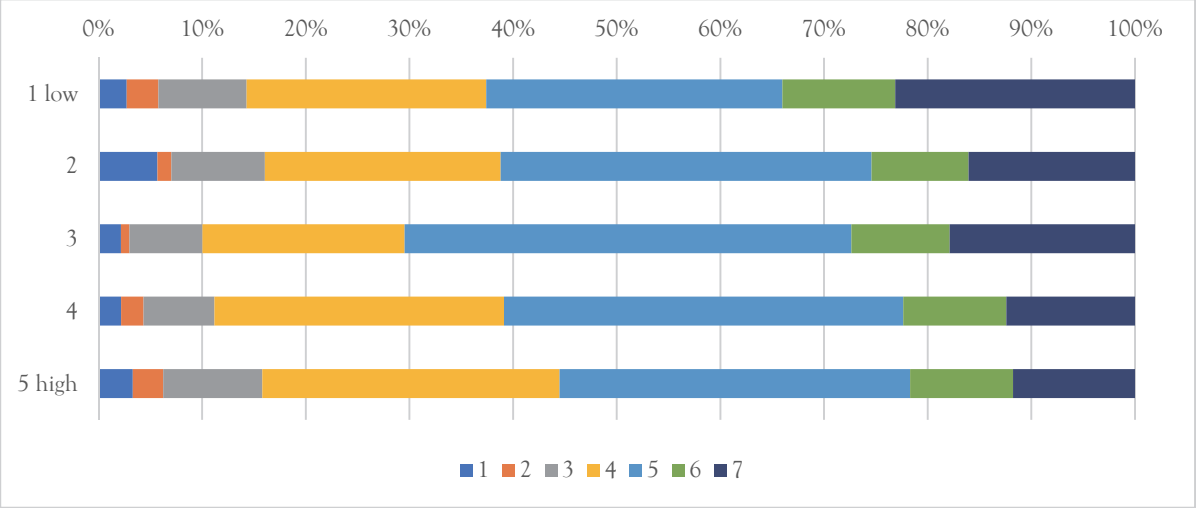
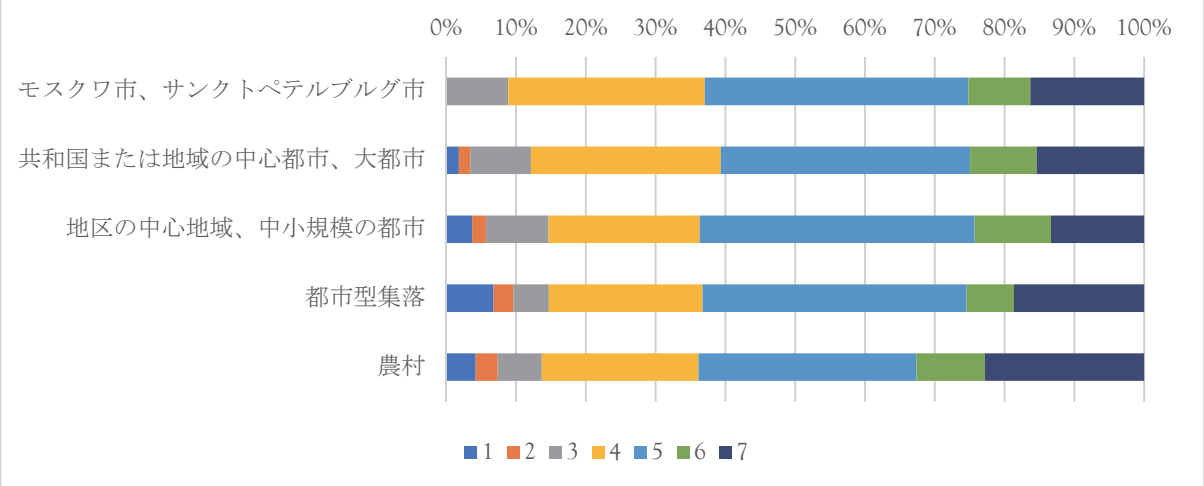


図 B3-4　居住地域別（N=1664）



C. 可能性と影響

セクションCでは、人生に対する影響力、満足度や幸福感、さらにはロシアの対ウクライナ政策に関する考え方について尋ねている。

C1（Q33）は、人生を変えるような重要な決断をどの程度自分自身で下せるかを尋ねている。「人生を変えることは十分にできる」、「どちらかと言えば、人生を変えることができる」を合わせ、全体で 80%強の人が人生を変えることができると考えており、日本（58.7%）での結果を大きく上回っている。男女別では、男性の方が肯定的に捉える人が多い。年齢別で見ると、35-44 歳のグループまでは、人生を変えることができると考える比率が 9 割を超えているが、45 歳以上では「変えられない」という回答が増加する傾向にある。収入別では、収入の高い人ほど、人生を変えることができると考える比率が高くなる。

C2（Q34）では、人生における幸福度を問うている。「非常に幸せ」「どちらかというと幸せ」を合わせ、全体で 61.7%の人が幸せであると答えており、「幸せではない」は 3.2%にとどまった。年齢別で見ると、35-44 歳のグループまでは、年齢が上がるにつれて、幸せであると考える人の比率が高まるが、それ以降は低下する。収入別では、収入の高い人ほど、幸せであると考える人の比率が高くなる。

C3（Q35）は、生活全般に対する満足度を尋ねた質問である。全体では、どちらともいえないが 40%近くを占めて最大であるが、「非常に満足」「どちらかというと満足」を合わせて概ね満足している人が 54.7%を占めている。これに対し満足していない人は合わせて 5%と極めて少ない。この質問では、年齢ではなく、所得との相関が高く、所得の高い人ほど満足感を示す人の比率が高くなる。地域別では、農村よりも大都市の方が満足度が高い傾向にある。

C4（Q36）は、身近な人々の中で誰がもっとも自身に影響を与えているか、問題解決や目的達成など、人生においてもっとも助言や援助をしてくれるのは誰かを尋ねている。全体として、「そのような人はいない」が過半数を占め、次に多いのは「その他」の 36%であった。「その他」の具体的な内容としては、家族（父親、母親）、友人などが多かった。わずかではあるが、高所得層ほど職場の上司の重要性が高まる傾向にある。

C5（Q137）は、普段の心理状態について尋ねている。全体として、「穏やかでバランスのとれた気分」が最大（43.6%）で、次の「状況によって変化する」（34.6%）とあわせて 8 割近くを占めた。「不安を感じる」は 10.6%を占めている。男女別では、男性の方が「穏やかな気分」の比率が高く、女性はより「不安」や「状況によって変化する」が高くなる。年齢別では、18－24 歳の若者は「状況によって変化する」が他の年代より高いが、25 歳以上については大きな差は見られない。所得別では、所得が高くなるにつれ、「穏やかでバランスのとれた気分」が増加している。地域的には、モスクワ、サンクトペテルブルグ市の「穏やかな気分」の比率が他より高くなっている。

C6（Q138）および C7（Q139）は、ロシアの対ウクライナ政策について尋ねている。ロシアの対ウクライナ政策に対する考えを尋ねた C6 では、全体として、「絶対的に支持する」（49.8%）、「どちらかというと支持する」（22.7%）を合わせ、支持を示す比率が 70%を超えている。反対に「支持しない」は 15.6%であった。回答困難、あるいは回答拒否が合わせて約 12%あり、ほかの質問よりも回答を躊躇する人が多いことがうかがわれる。年齢別では、18－24 歳の若年層

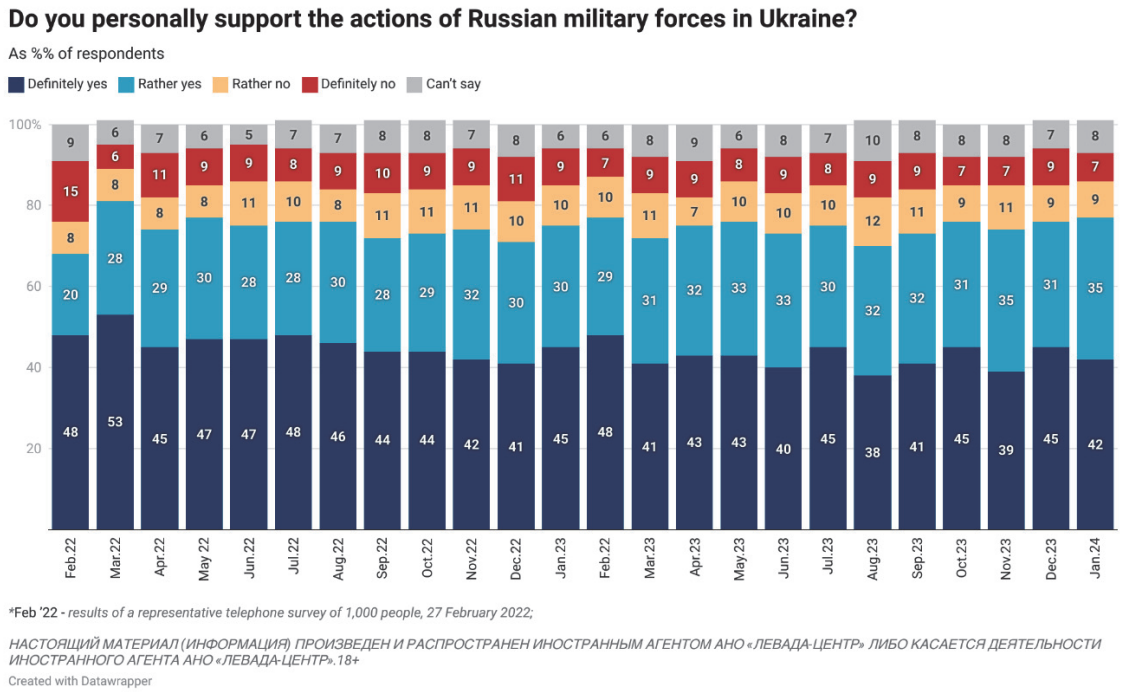
では支持派と不支持派がほぼ3割ずつで拮抗しているが、年齢が上がるにつれて、支持、とくに「絶対的に支持する」の比率が高まる傾向にある。所得別では、低所得層ほど支持派が多く、所得が高くなるにつれ、「支持しない」人が増える傾向にあるが、支持する人が過半数を超える点ではいずれの層も共通している。地域的には、都市部より農村部において支持率が高く、首都圏では他地域より支持しない人が多くなっている。

ここで、ロシアの対ウクライナ政策に関わる以上の回答結果がロシアにおける実態を正確に反映していると言えるのかどうか、ロシアの独立系世論調査機関レヴァダ・センターによる調査結果と照合してみたい。ロシア全土の 1600 人を対象に定期的に実施されてきたウクライナでのロシアの軍事行動を支持するかどうかを尋ねたアンケート（第 4 図）では、開戦した 2022 年 2 月の時点で「完全に支持する」(48%)、「どちらかと言えば支持する」(20%) を合わせ、支持派が 68%であった。その後、ロシアの行動を支持するという回答は全体として 7 割以上に増加しており、反対派の方が減少している。これは我々の調査結果とも整合的である。また、年齢別に示すと（第 5 図)、年齢が上がるにつれて支持派が増え、55 歳以上では 8 割超が支持している点でも本稿の調査と一致する。したがって、ほかの項目についても、本稿の調査結果が平均的なロシア社会像からそれほどかけ離れてはいないと考えることができる。

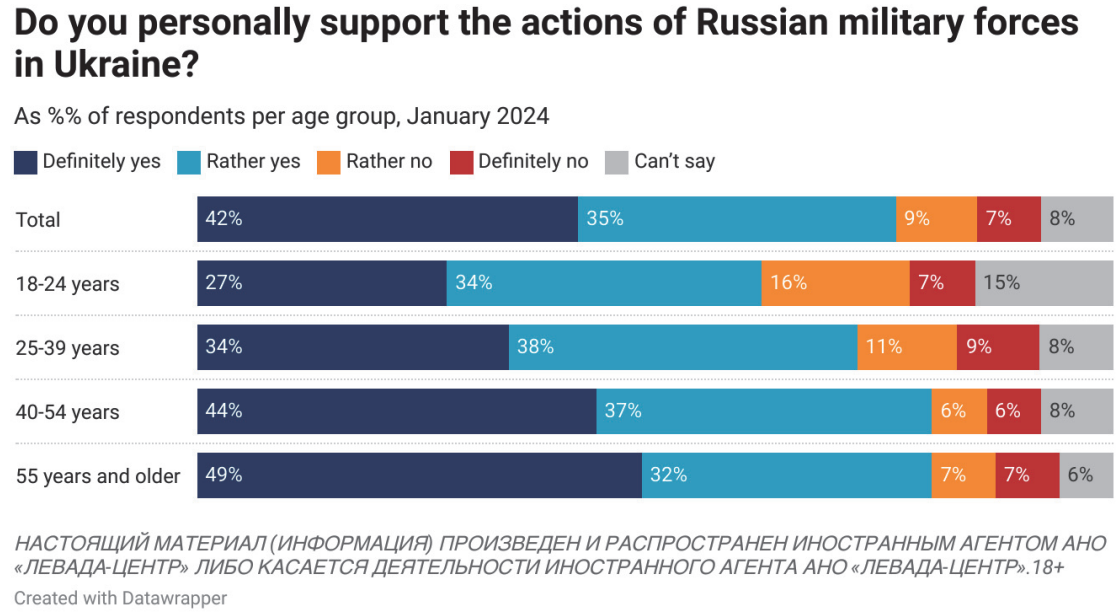
次の C7 では、ロシア軍によるウクライナでの軍事行動の責任が誰にあると思うかを尋ねている。全体として、比率の高い順に「外国政府のリーダー」(24.2%)、「ロシアの政権」(19.2%)、「ロシア・ウクライナ両国の政治家、議員」(16.1%)、「ウクライナの政権」(13.8%) という回答となった。外国政府とは、この場合 NATO 加盟国、中でもアメリカ政府を念頭に置いているものと考えられる。また、14.6%が回答困難・回答拒否などを選んでおり、C6 の質問と同じく、回答をためらう人が多いセンシティブな問題であることがうかがわれる。男女別では、若干、女性の方がロシア政府の責任とみなす人が多いのに対し、男性は外国政府の責任と考える比率が高くなる。年齢別では、18－24 歳の若年層では「ロシア政府」、およびロシアを含めた「両国の政治家、議員」の責任であると考える比率が合わせて 6 割を超えているが、年齢が上がるにつれて、「外国政府のリーダー」および「ウクライナの政権」という回答比率が高まっていく。所得別では、意外にも低所得層ほどロシアの政権の責任だと考える人が多く、高所得層の方が外国政府に責任を転嫁する比率が多くなっている。地域別では、モスクワやサンクトペテルブルグでは、ロシア政府の責任と考える人が他より若干多かった。

レヴァダ・センターが 2022 年 4 月に行った世論調査には、同様の趣旨の質問「ウクライナでの死や破壊の責任は誰にあると思いますか？」がある。それを引用すると（第 6 図)、57%がアメリカ・NATO と回答している。次いでウクライナ政府が 17%、ロシアが 7%となっている。我々の調査と比較すると、アメリカ・NATO という回答が 2 倍以上多く、反対にロシア政府の責任をあげる人は 10 ポイント以上少なくなっている。このことは、少なくとも我々の調査対象がロシア政府の行動を擁護する国民に偏っているわけではないという証明にはなっていると思われる。

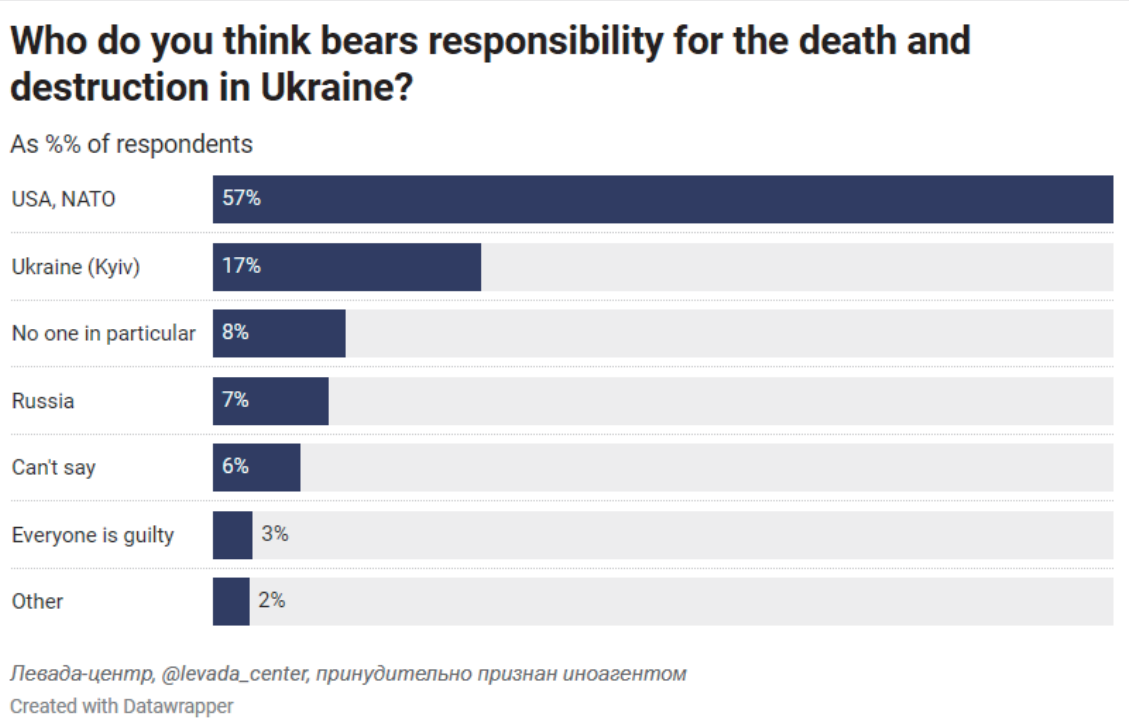
第 4 図　あなたは個人的に、ロシア軍のウクライナでの行動を支持しますか？（時系列）



第 5 図　あなたは個人的に、ロシアの軍のウクライナでの行動を支持しますか？（年齢別）
（2023 年 12 月 14-20 日、2024 年 1 月 25-31 日実施調査）



第 6 図　ウクライナでの死や破壊の責任は誰にあると思いますか？（2022 年 4 月 21-27 日実施調査）



（出所）いずれもレヴァダ・センター、https://www.levada.ru/（2024 年 5 月 2 日アクセス）。

C1. （Q33.） あなたは人生を変えるような重要な決断をどの程度くだせますか？

表 C1-0 総計

	実数（人）	%
1 自分の人生を変えることはまったくできない	60	3.5
2 どちらかといえば、人生を変えることはできない	212	12.5
3 どちらかといえば、人生を変えることができる	747	43.9
4 人生を変えることは十分にできる	621	36.5
99 無回答	60	3.5
総計	1700	100

図 C1-0 総計 (N=1700)

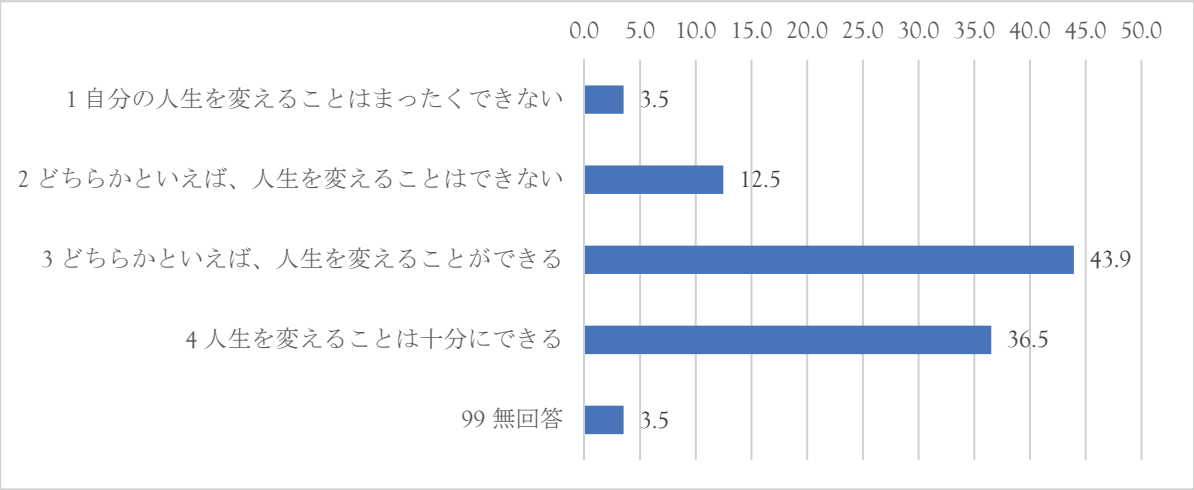


図 C1-1 男女別 (N=1640)

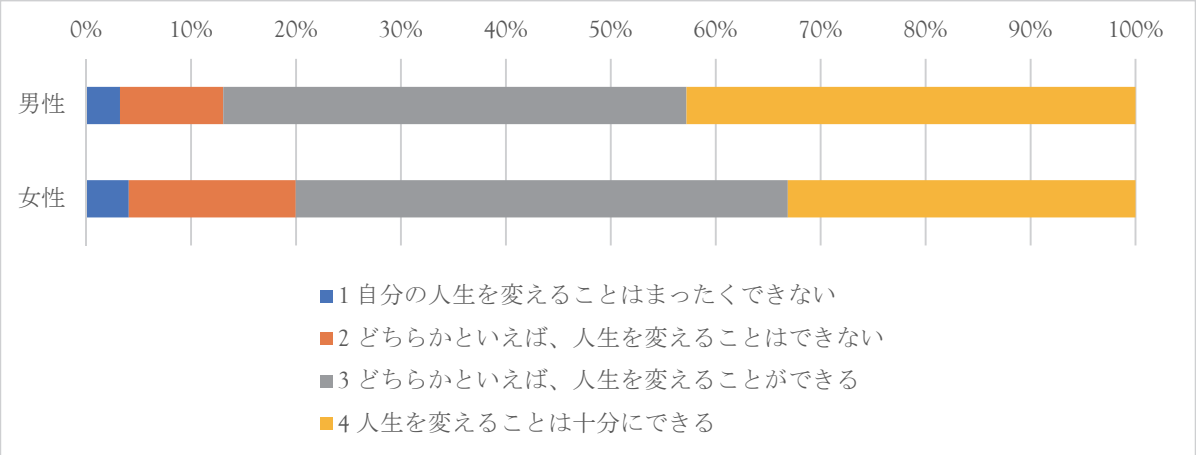


図 C1-2 年齢別 (N=1640)

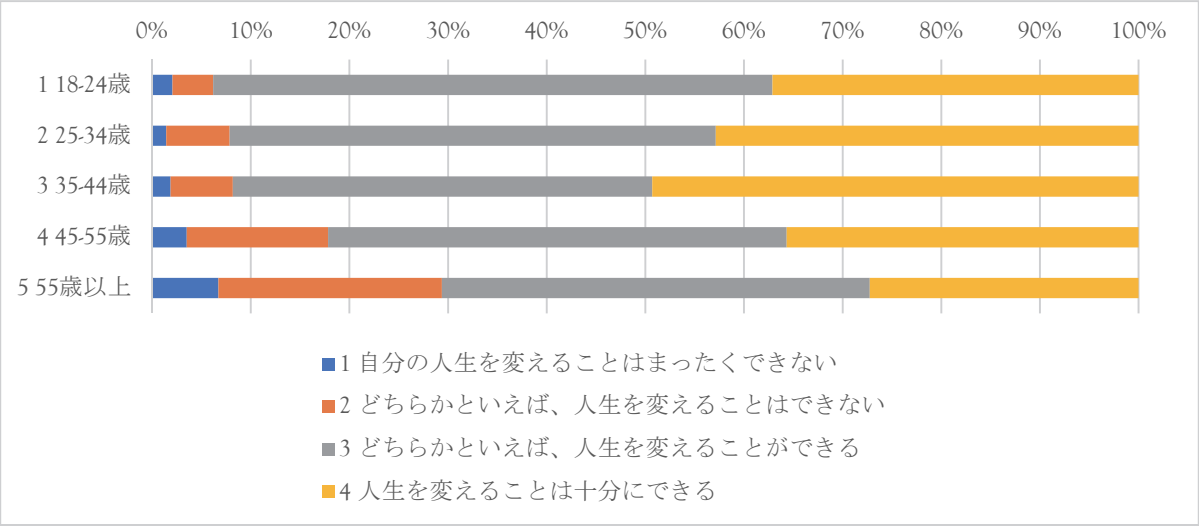


図 C1-3　収入別（N=1524）

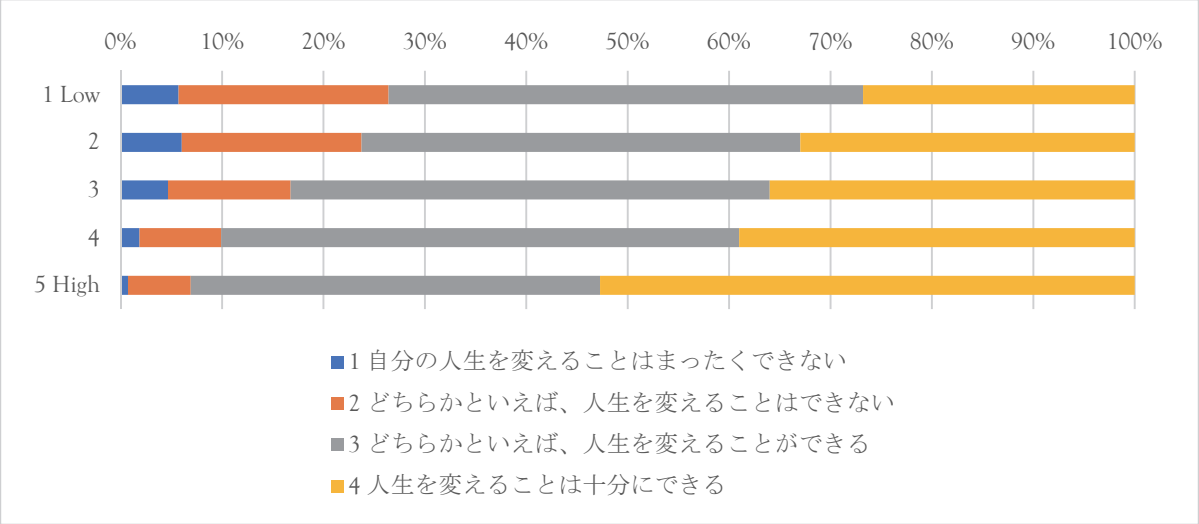
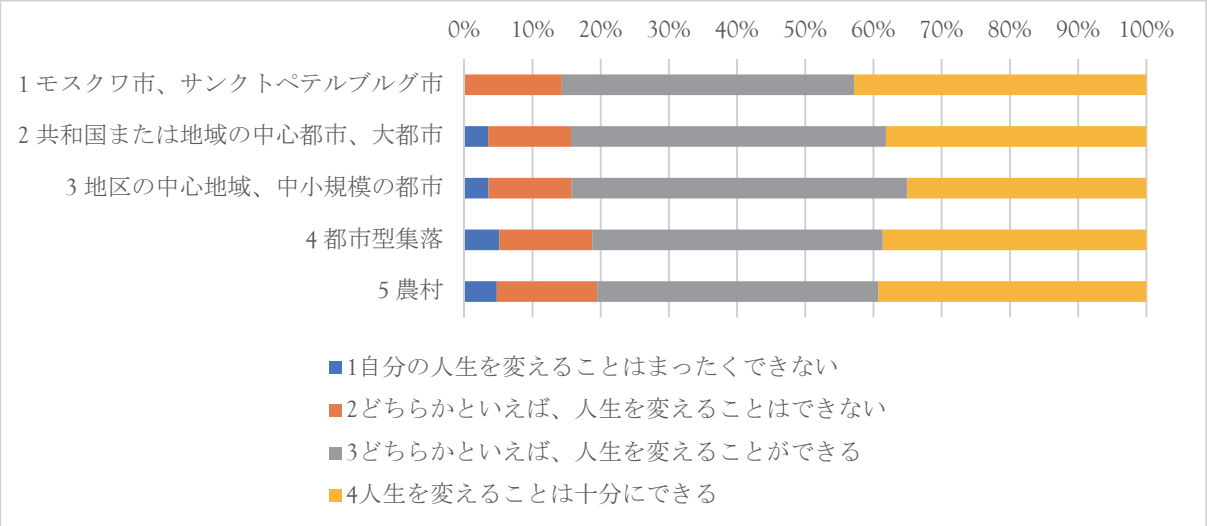


図 C1-4　地域別（N=1632）



C2. (Q34.) 人生のあらゆる側面を考えたとき、あなたはどれくらい幸せですか？

表 C2-0 総計

	実数（人）	比率（%）
1 まったく幸せではない	20	1.2
2 どちらかといえば幸せではない	34	2.0
3 幸せなこともあれば、不幸なこともあり、はっきり言えない。	590	34.7
4 どちらかといえば幸せである	675	39.7
5 非常に幸せである	374	22.0
99 無回答	7	0.4
総計	1700	100

図 C2-0 総計 (N＝1700)

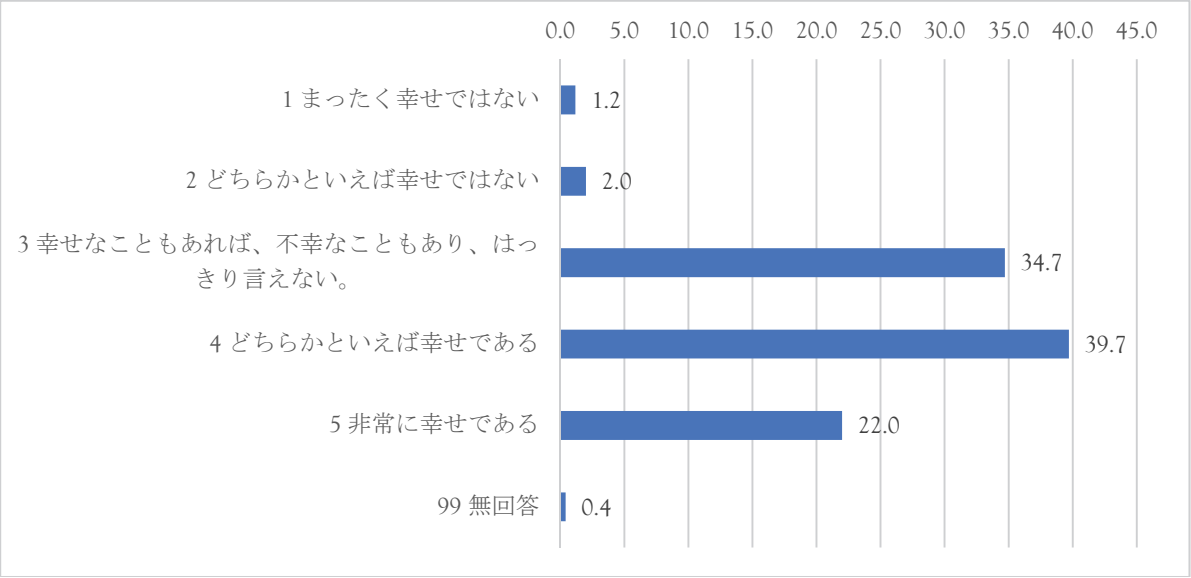


図 C2-1 男女別 (N=1693)

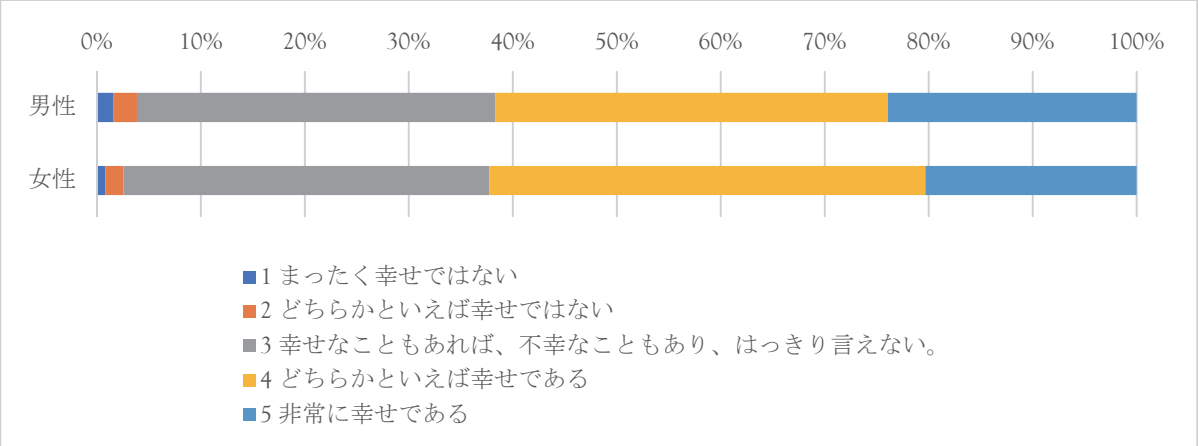


図 C2-2 年齢別 (N=1693)

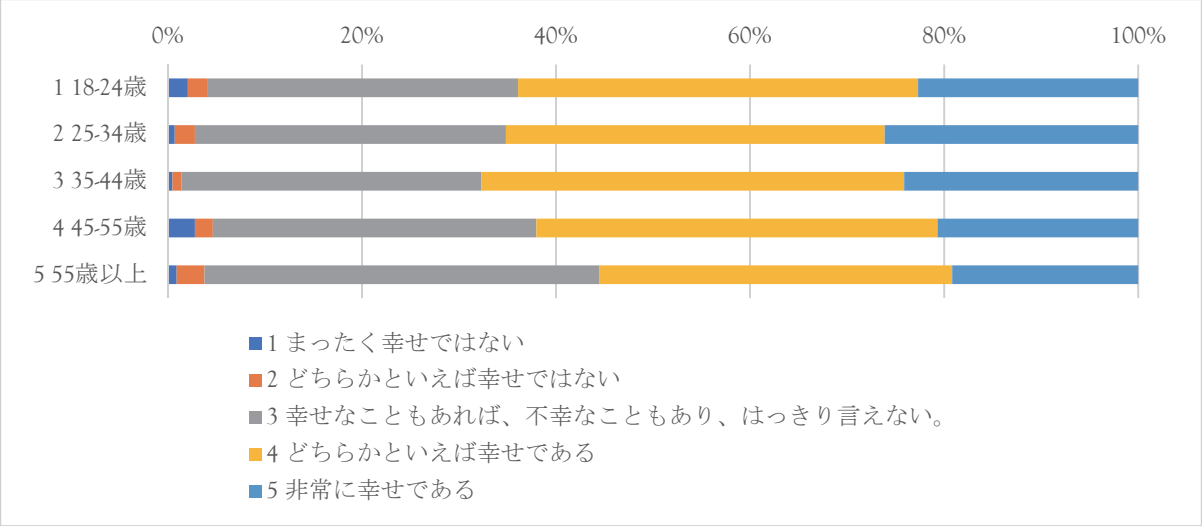


図 C2-3　収入別（N=1575）

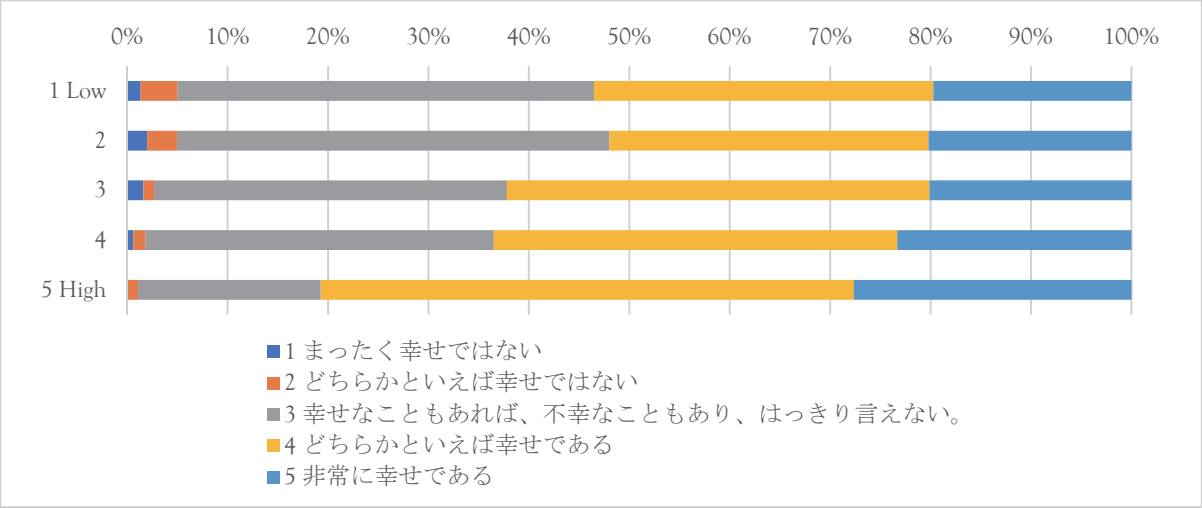
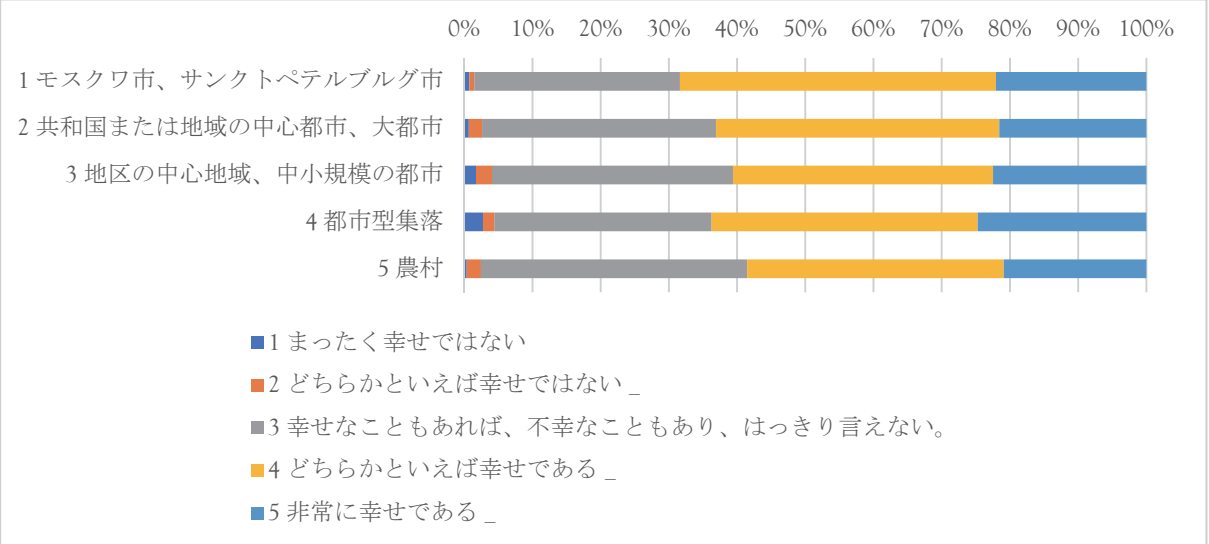


図 C2-4　地域別（N=1684）



C3. （Q35.）あなたの生活全般に対する満足度はどの程度ですか？

表 C3-0　総計

	実数（人）	比率（%）
1 全く満足していない	23	1.4
2 どちらかというと満足していない	61	3.6
3 どちらともいえない	675	39.7
4 どちらかというと満足	644	37.9
5 非常に満足	286	16.8
99 無回答	11	0.6
総計	1700	100

図 C3-0　総計

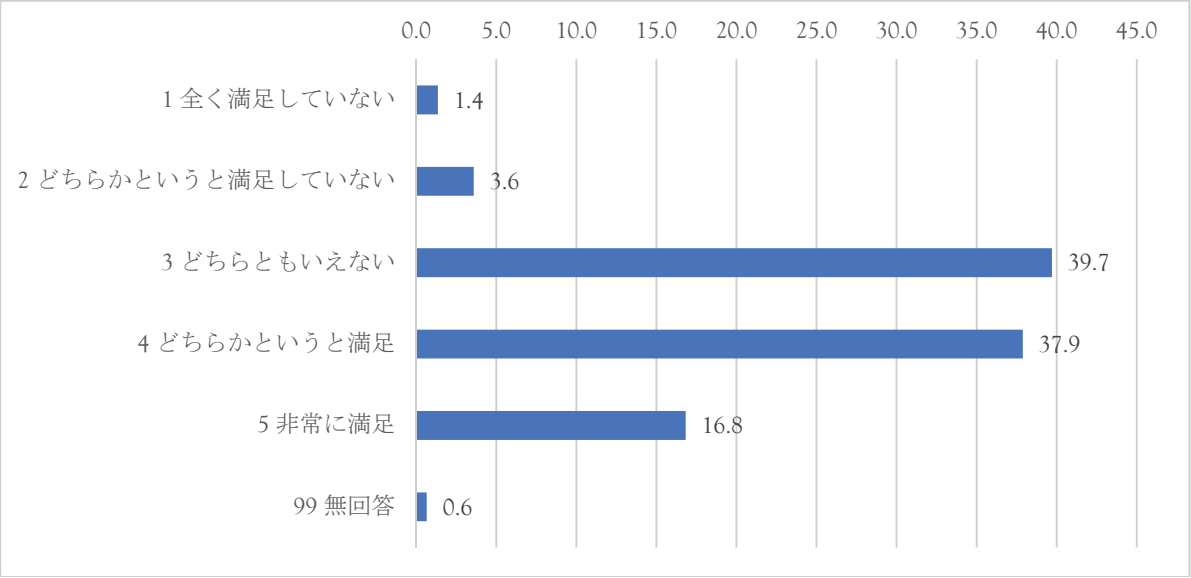


図 C3-1　男女別（N=1689）

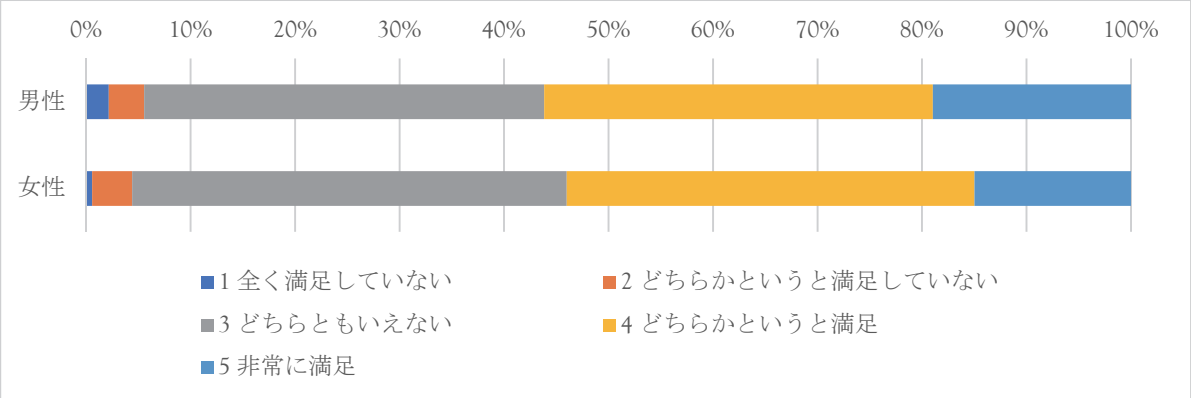


図 C3-2　年齢別（N=1689）

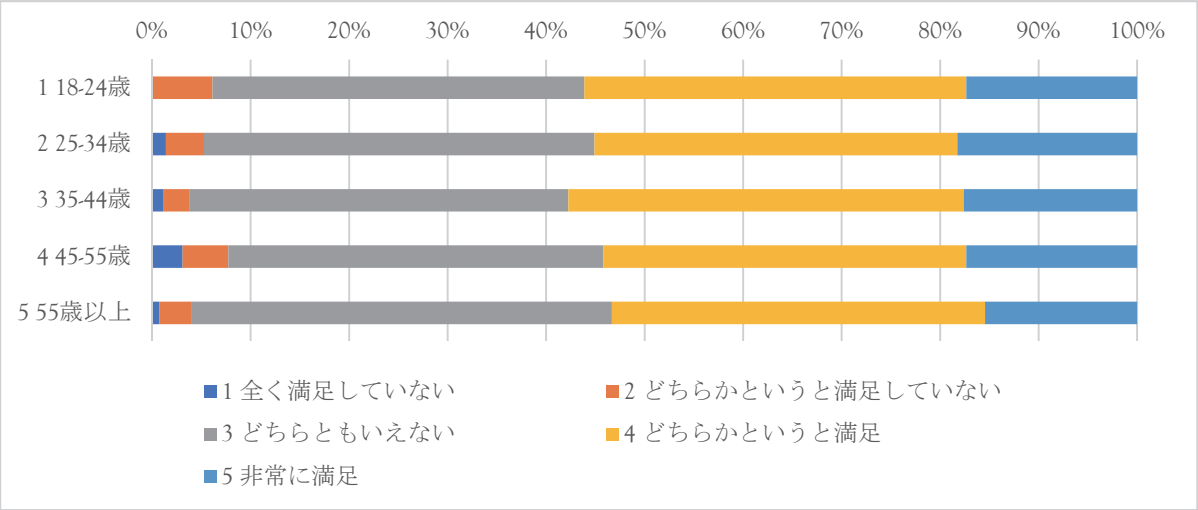


図 C3-3　所得別（N=1572）

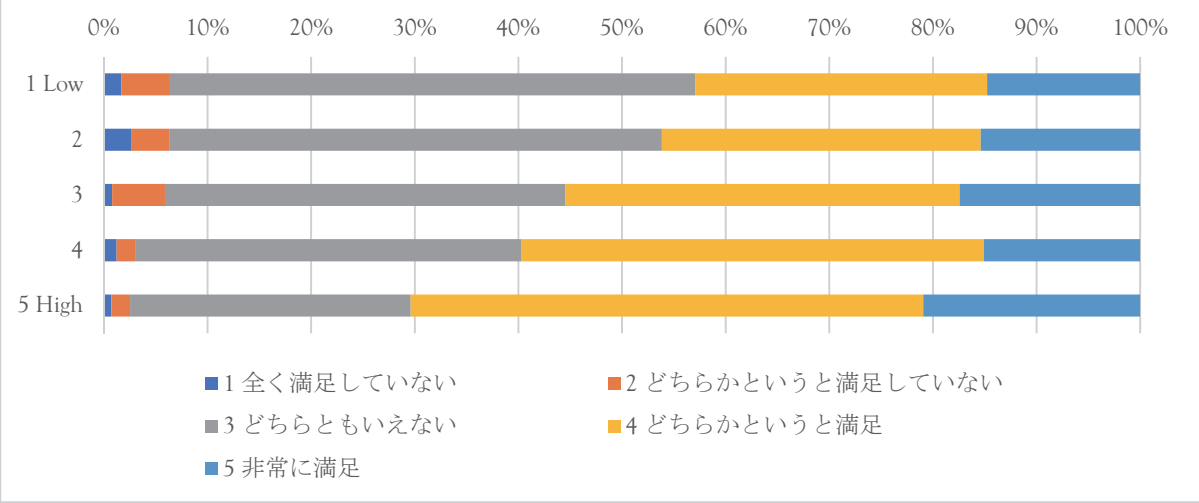
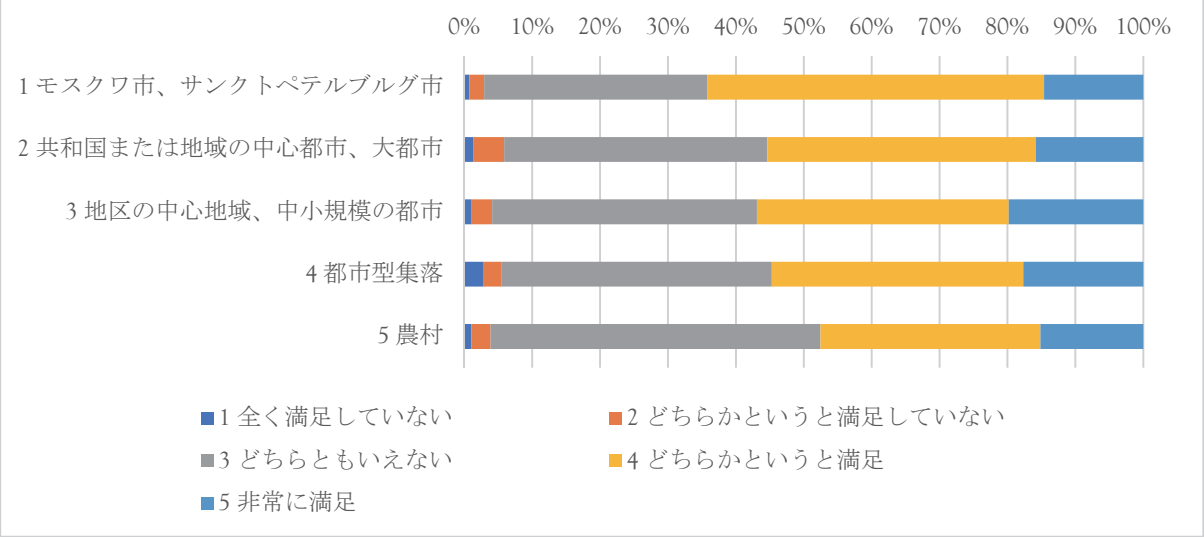


図 C3-4　地域別（N＝1680）



C4. （Q36.）あなたの身近な人々のうちだれが最もあなたに影響を与えていますか？あなたにとっての権威者、問題解決や目的達成に際して主に助言や援助をしてくれる人々は誰ですか？

表 C4-0　総計（N＝1700）

	実数（人）	比率（%）
1 職場の上司	84	4.9
2 国家または地方政府関係者	16	0.9
3 政治家	15	0.9
4 学校・大学の先生	32	1.9
5 地元コミュニティーのメンバー	13	0.8
6 その他	619	36.4
7 そのような人はいない	886	52.1
99　無回答	35	2.1
総計	1700	100

図 C4-0　総計（N＝1700）

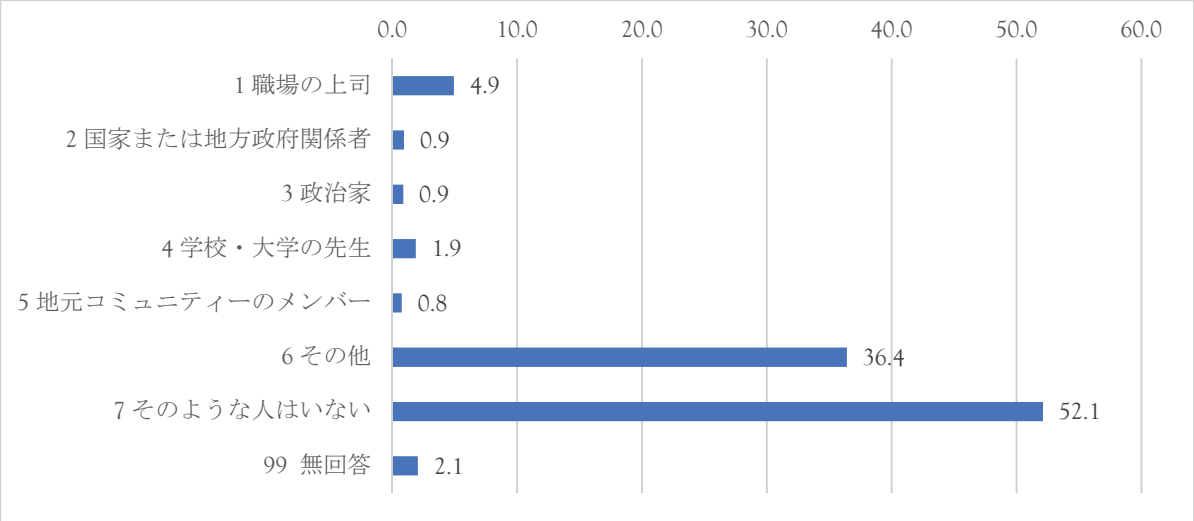


図 C4-1　男女別（N=1665）

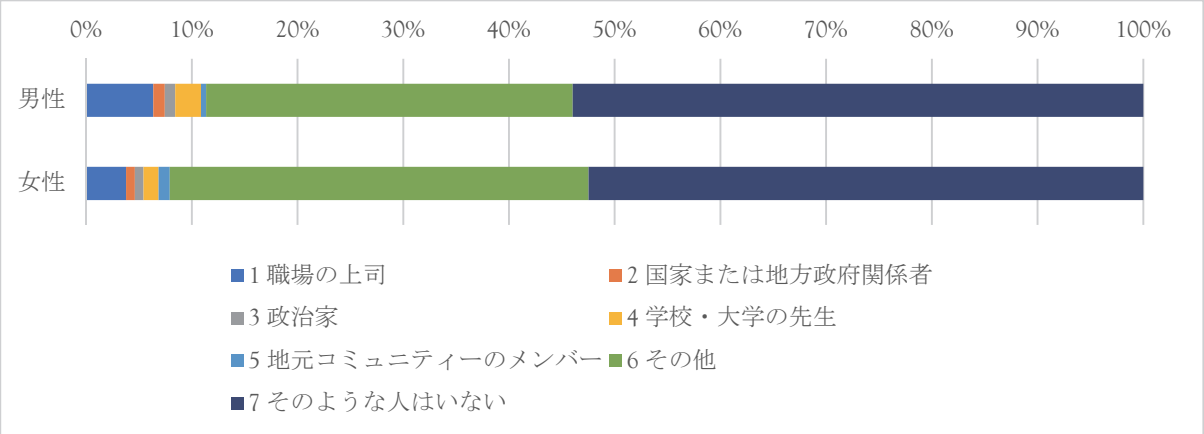


図 C4-2　年齢別（N=1665）

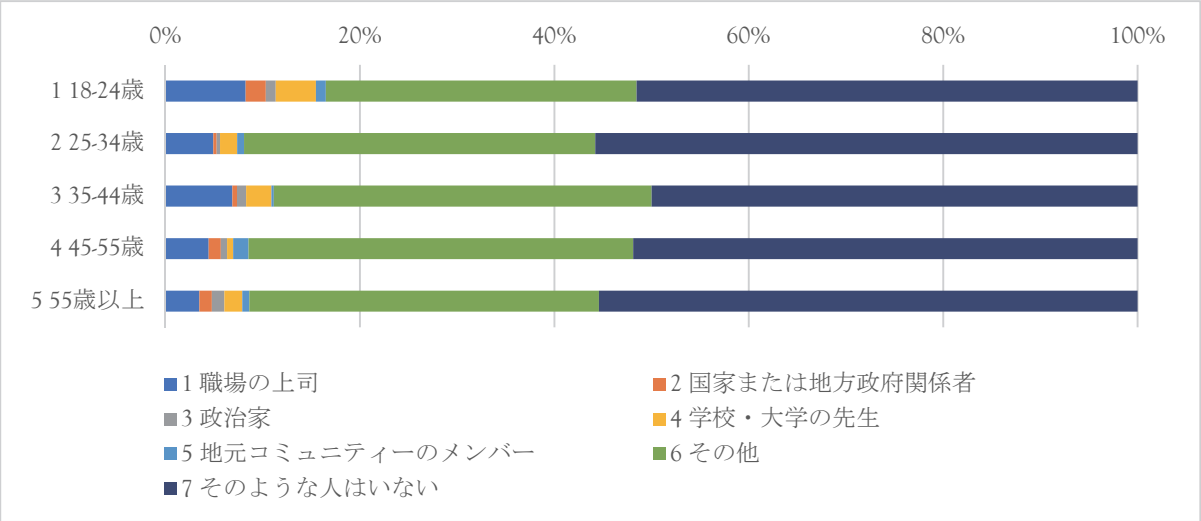


図 C4-3　所得別（N=1548）

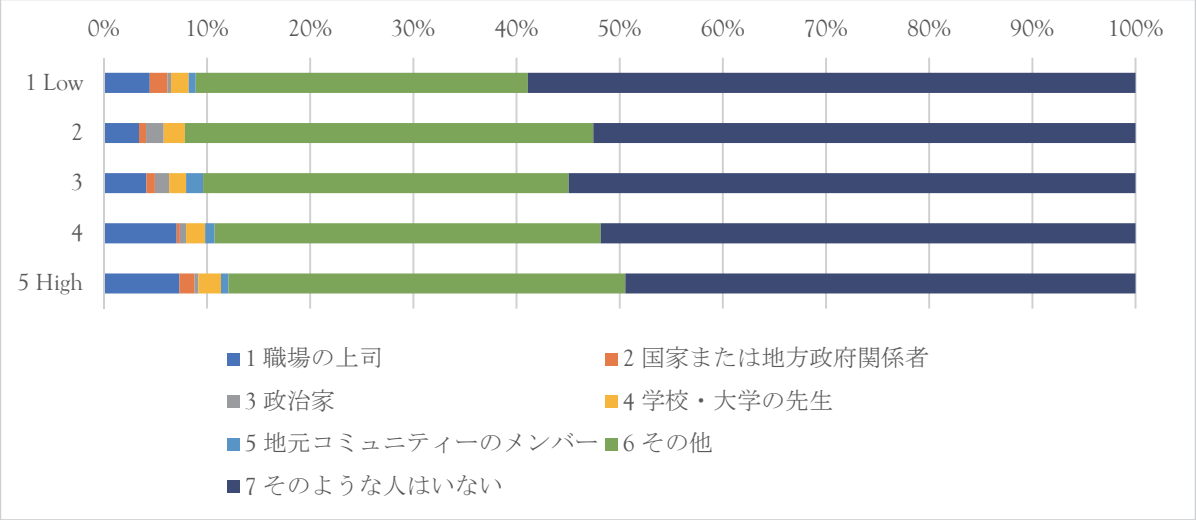
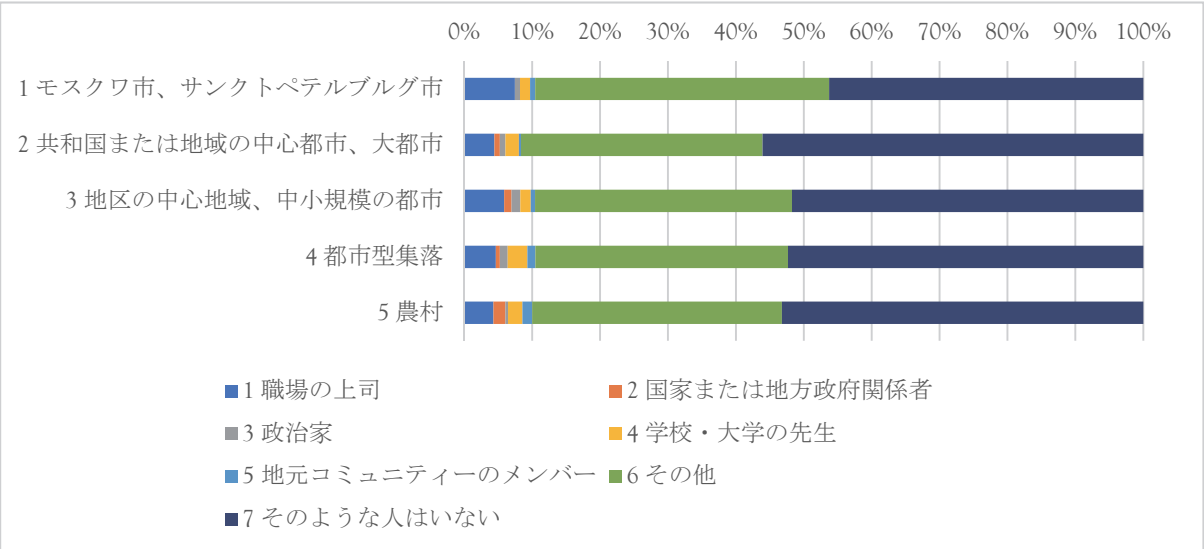


図 C4-4　地域別（N＝1656）



C5. （Q137.）あなたの普段の感情や心理状態はどのようなものでしょうか？

表 C5-0　総計

	実数（人）	比率（%）
1 感情の高揚を感じる	60	3.5
2 穏やかでバランスのとれた気分	742	43.6
3 無気力、無関心を感じる。	40	2.4
4 不安を感じる	180	10.6
5 イライラを感じる	17	1.0
6 怒りを感じる	4	0.2
7 積極性を感じる	3	0.2
8 状況によって変化する	588	34.6
9 その他	21	1.2
99 無回答	3	0.2
欠損値	42	2.5
総計	1700	100

図 C5-0　総計

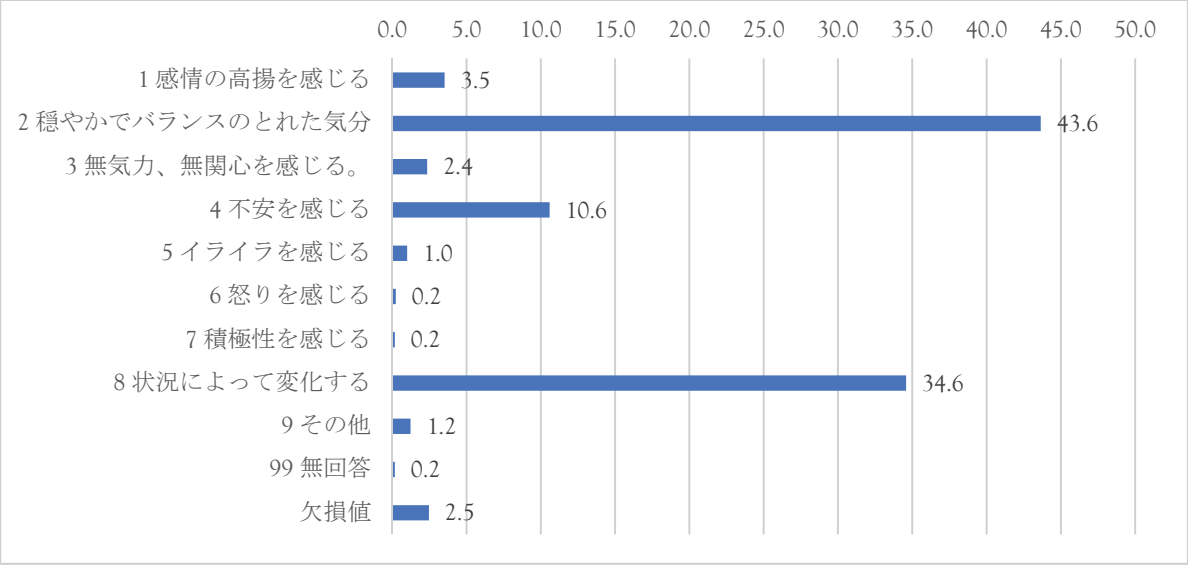


図 C5-1　男女別（N=1655）

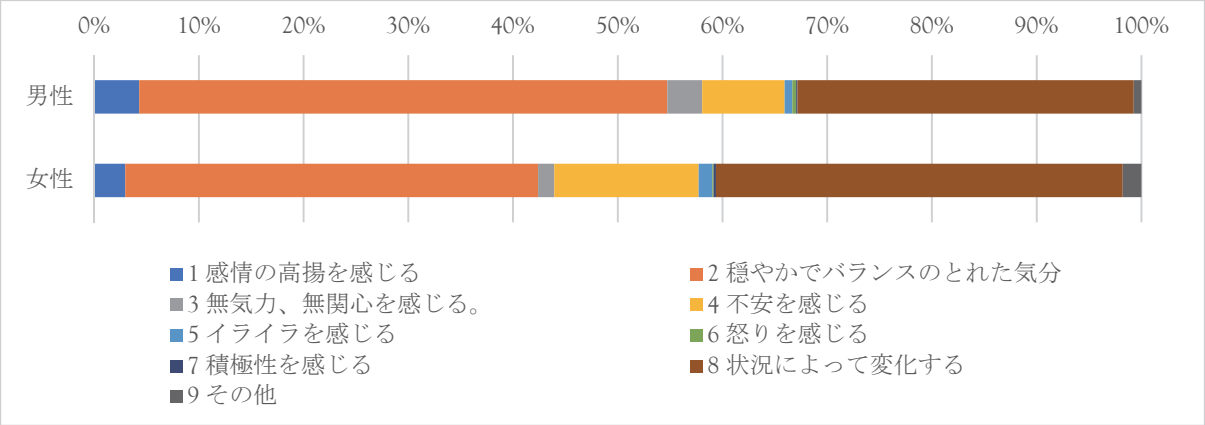


図 C5-2　年齢別（N=1655）

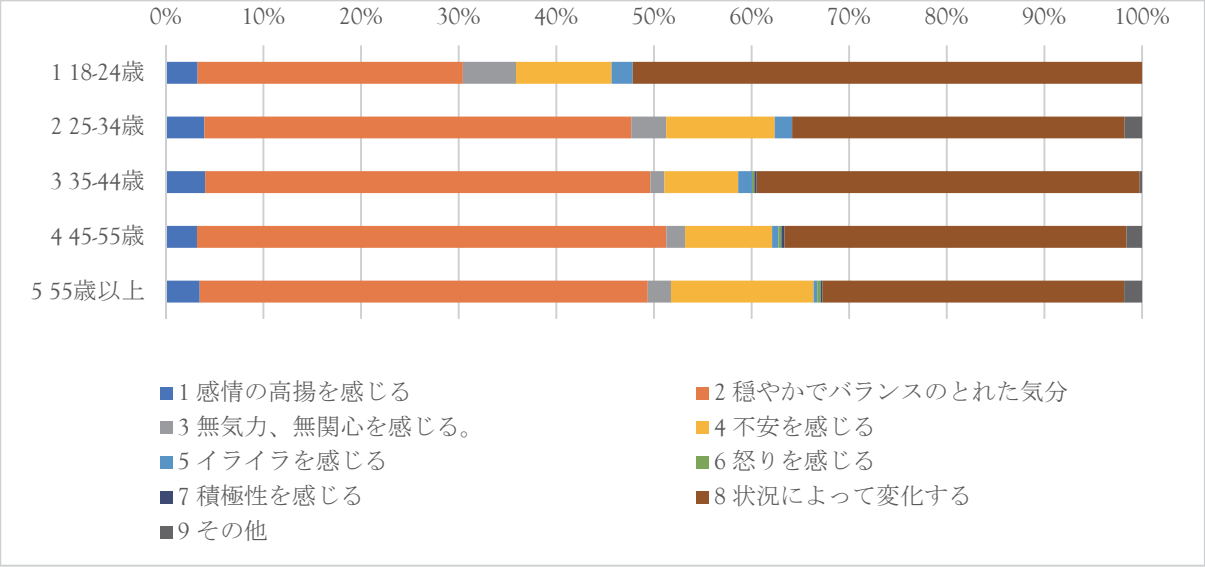


図 C5-3　所得別（N=1538）

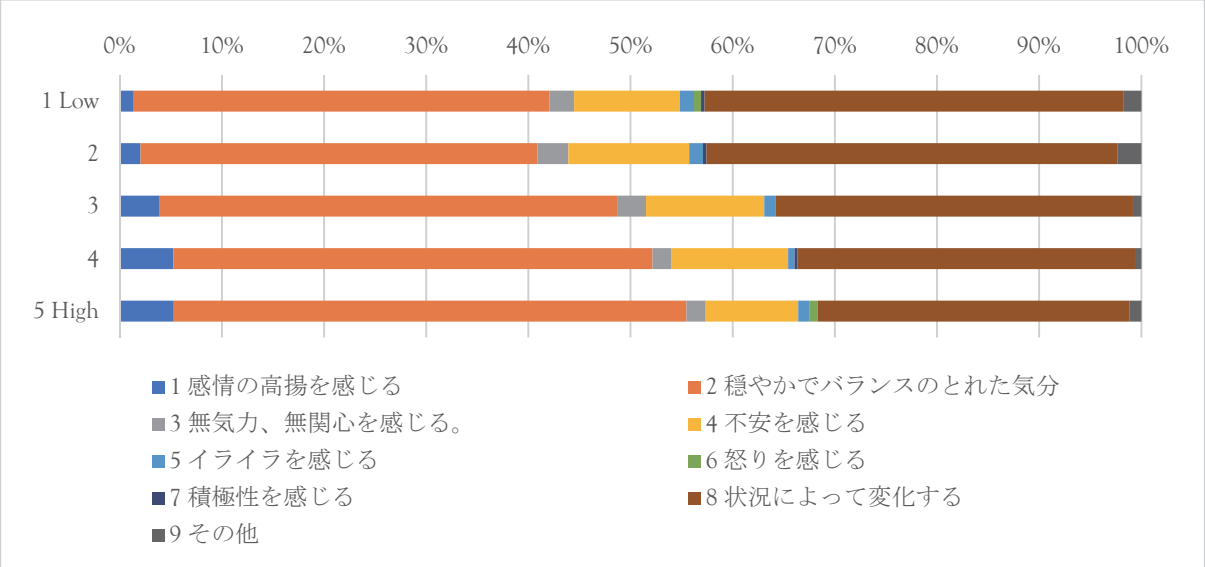
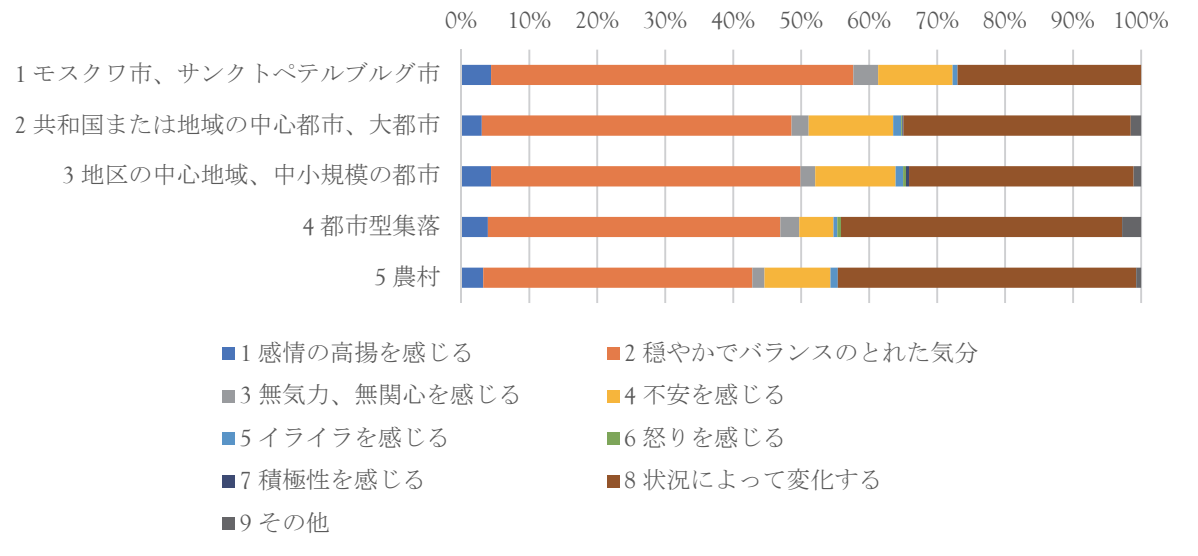


図 C5-4　地域別（N＝1646）



C6.（Q138.）現在のロシアの対ウクライナ政策について、どのようにお考えですか？

表 C6-0　総計

	実数（人）	比率（%）
1 絶対に支持しない	145	8.5
2 どちらかというと支持しない	121	7.1
3 どちらかというと支持する	386	22.7
4 絶対的に支持する	846	49.8
98 回答は困難	124	7.3
99 無回答	36	2.1
欠損値	42	2.5
総計	1700	100

図 C6-0　総計（N＝1700）

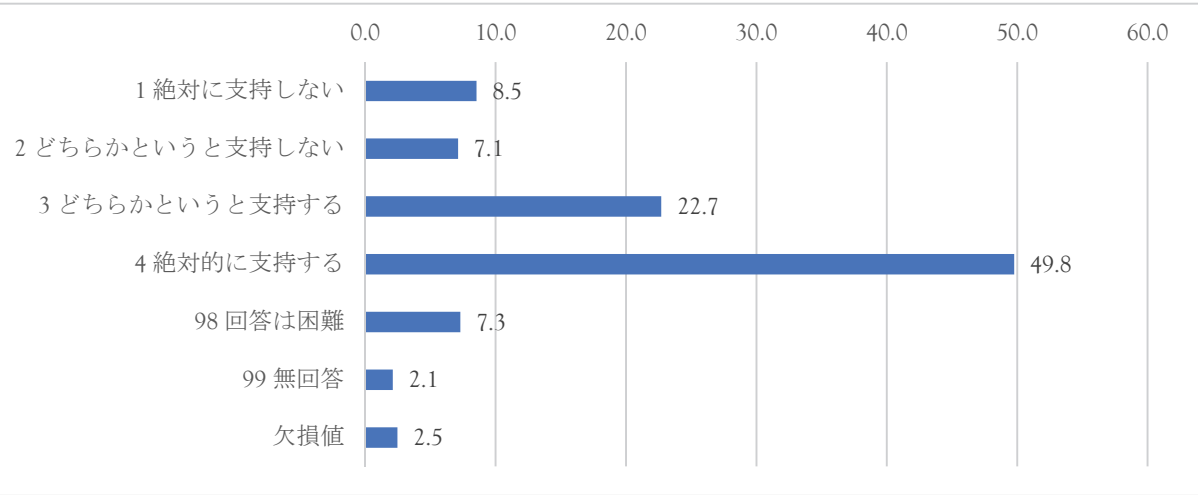


図 C6-1　男女別（N=1622）

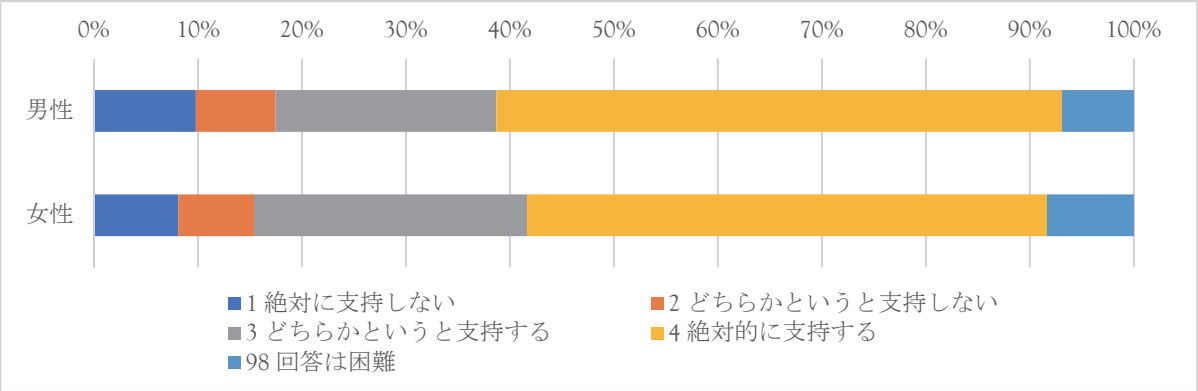


図 C6-2　年齢別（N=1622）

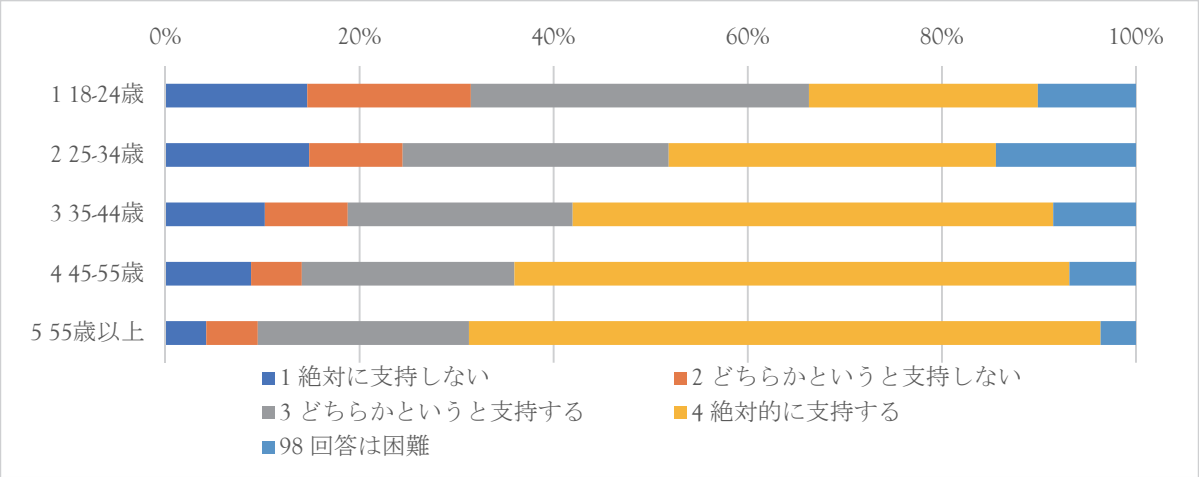


図 C6-3　所得別（N=1517）

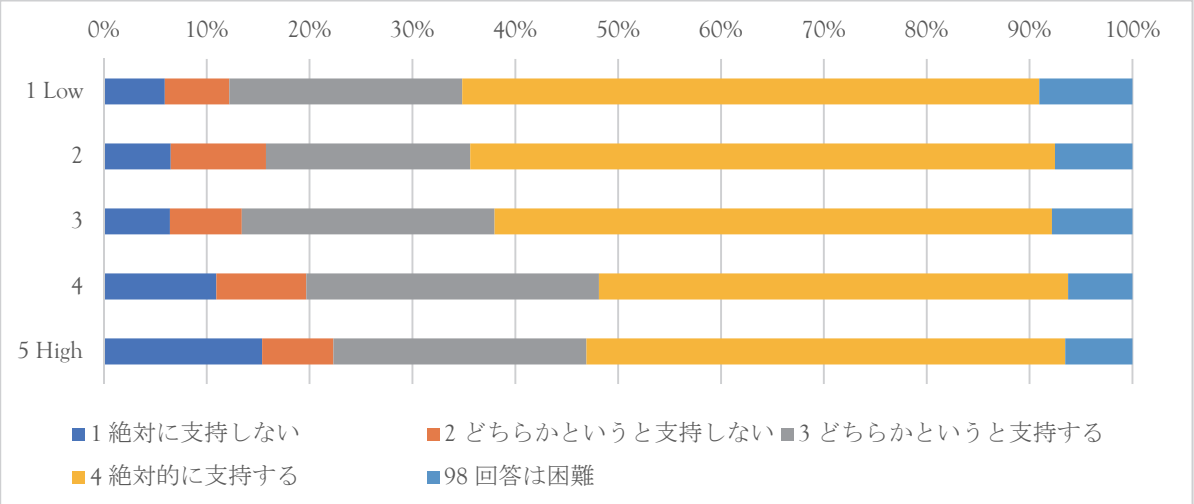
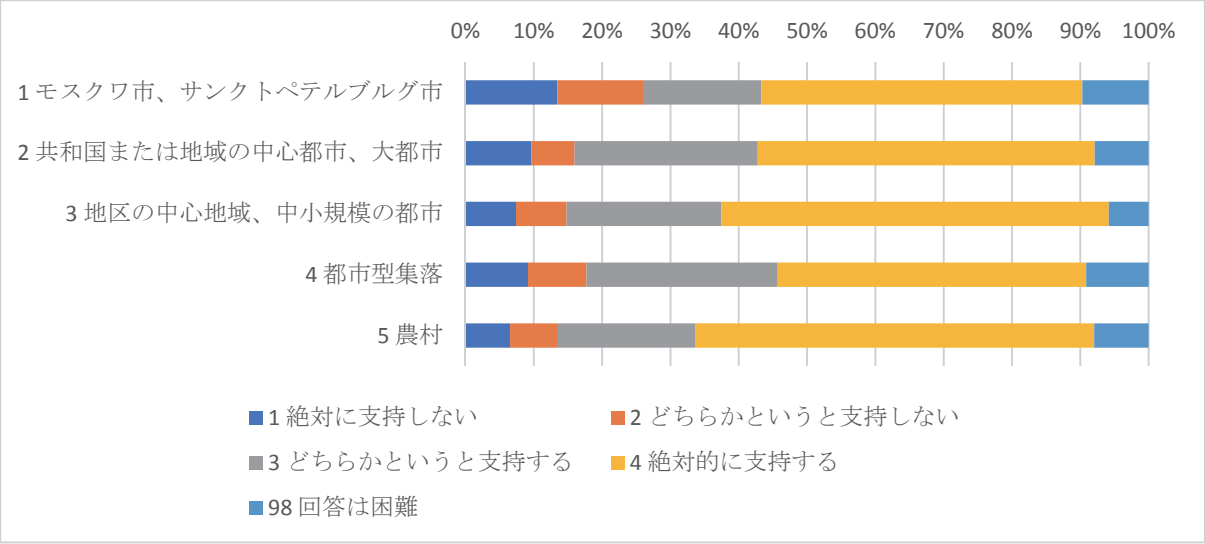


図 C6-4　地域別（N＝1613）



C7.（Q139.）ウクライナ領土内におけるロシア軍の軍事行動の最大の責任はだれにあると考えますか？

表 C7-0　総計

	実数（人）	比率（%）
1 ロシアの政権	326	19.2
2 ウクライナの政権	234	13.8
3 両国の政治家、議員	273	16.1
4 ロシア国民	26	1.5
5 ウクライナ国民	14	0.8
6 外国政府のリーダー	411	24.2
7 外国のビジネスマン	49	2.9
8 その他	118	6.9
98 回答が困難	165	9.7
99 回答を拒否	42	2.5
欠損値	42	2.5
総数	1700	100

図 C7-0　総計（N＝1700）

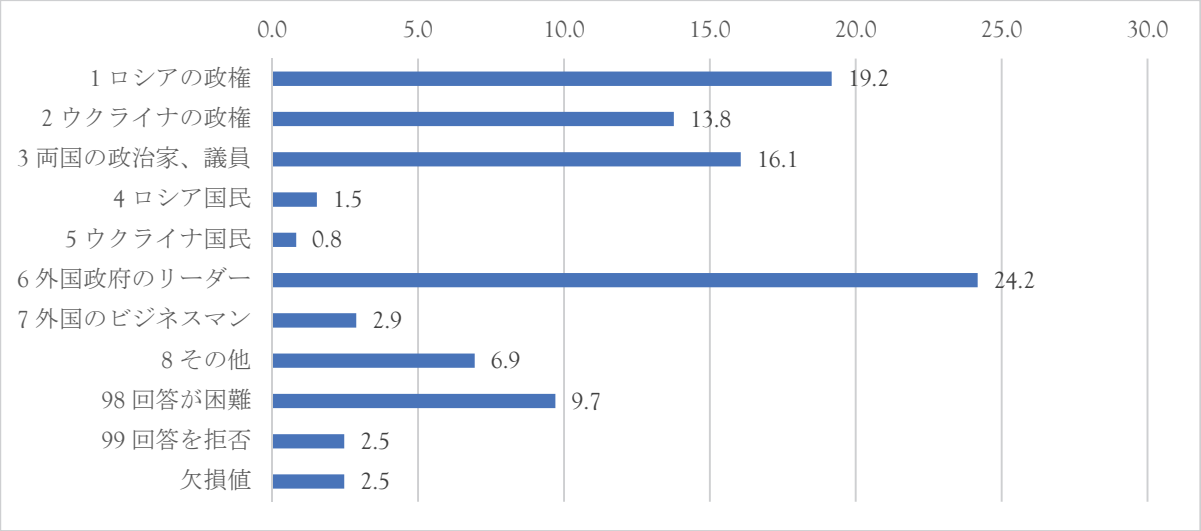


図 C7-1　男女別（N=1451）

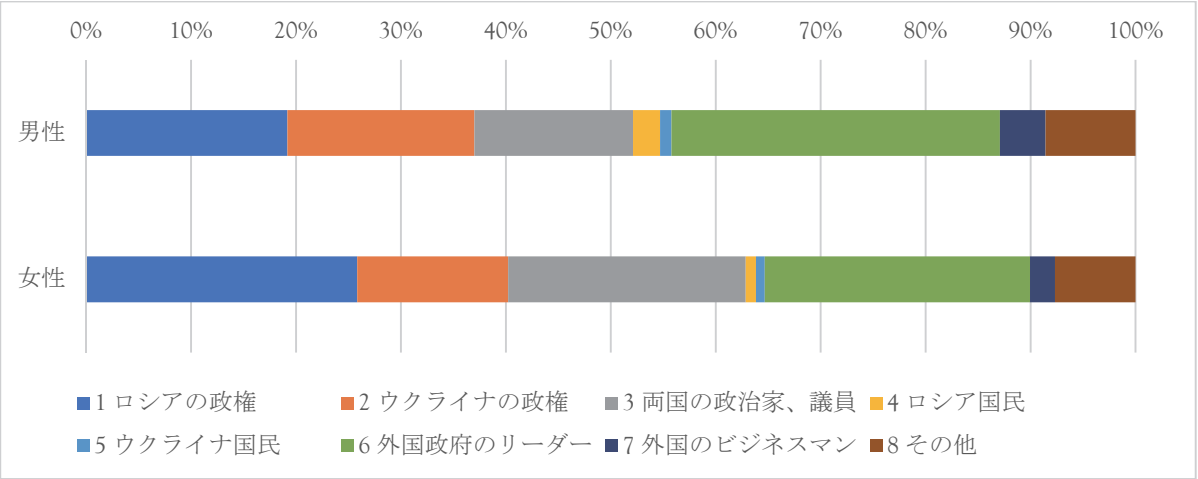


図 C7-2　年齢別（N=1451）

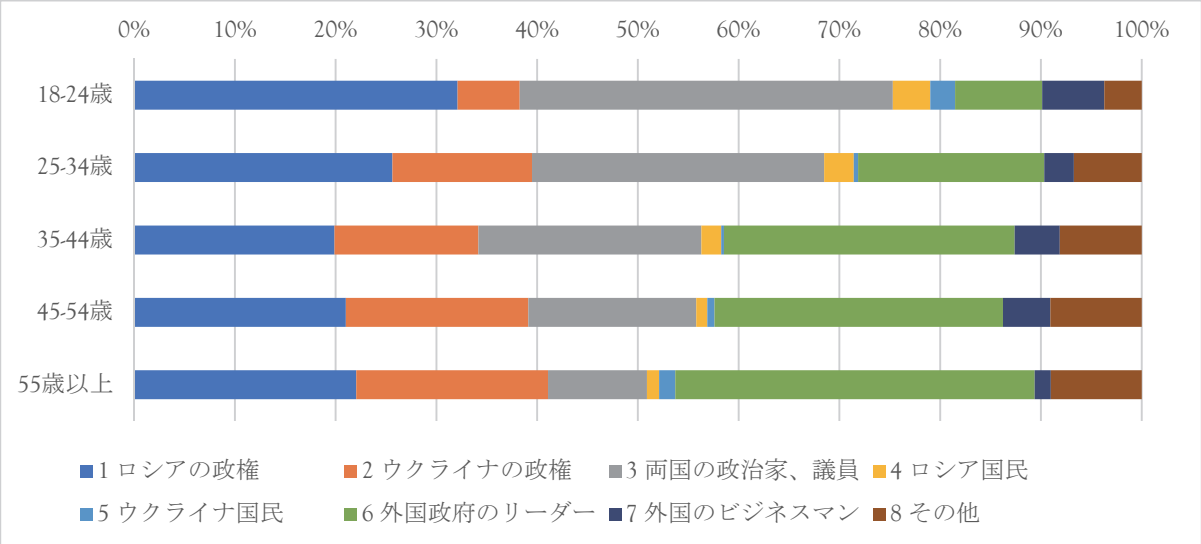


図 C7-3　所得別（N=1362）

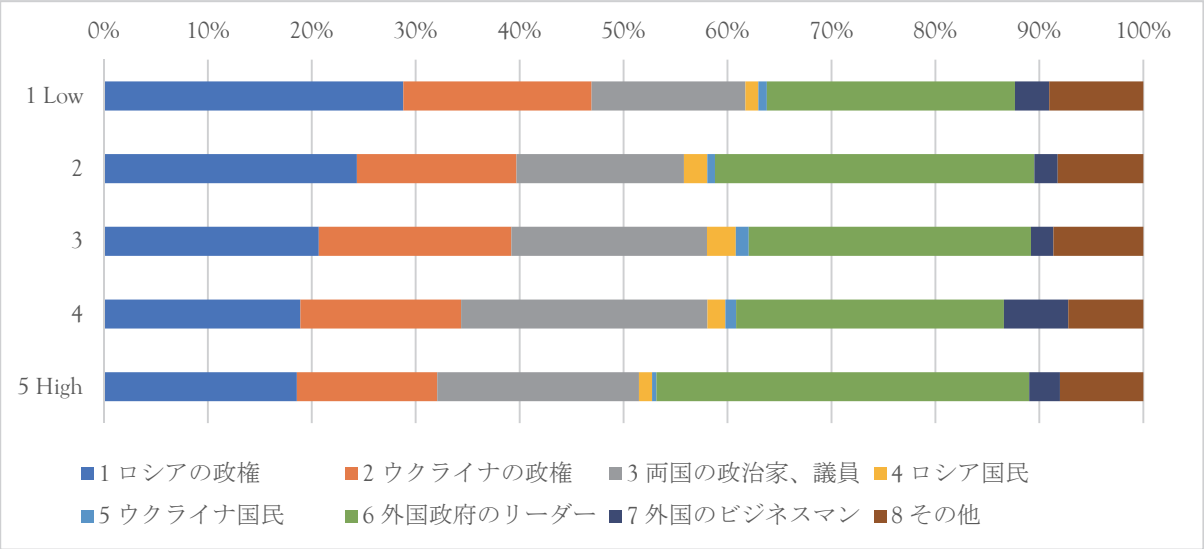
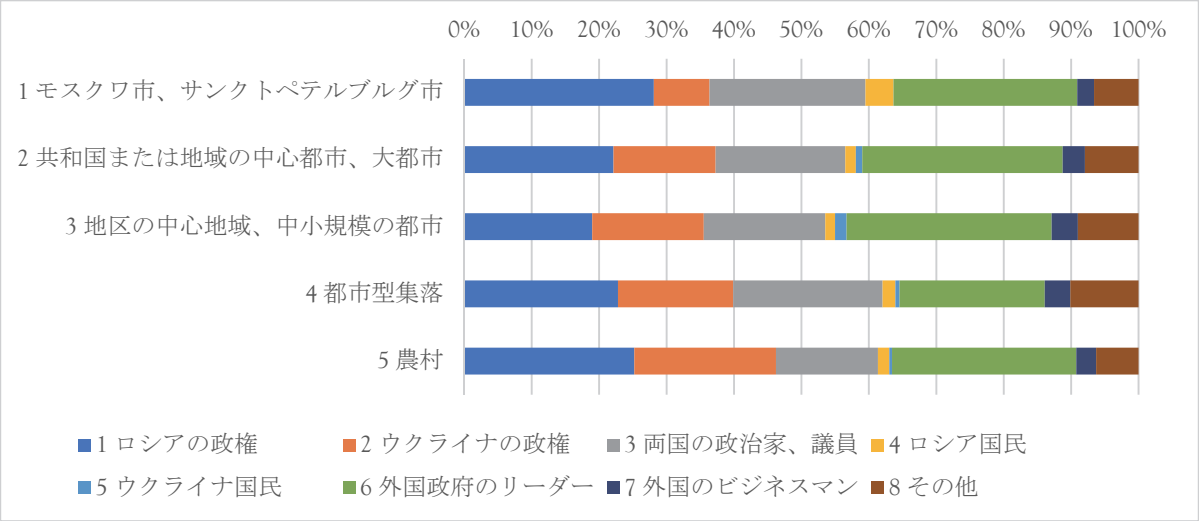


図 C7-4　地域別（N＝1443）



D. 社会的結束と包摂

セクションDでは、地域住民の間の様々な差異が地域で問題をもたらしているかどうかについて尋ねている。

D1（Q37）は地域住民の間に相違が見られるか否かを尋ねているが、ほとんど見られない、あまり見られないが半数を超えており、それほど顕著ではない。男性よりも女性が、若者よりも中高年以上の層が、違いを感じない傾向にある。収入別では、低所得層の方が「ほとんど見られない」という回答が多くなる。地域による差異は、農村で「ほとんど見られない」が若干多いほかは、それほど顕著ではない。

D2（Q38）の地域住民間の相違が問題を生じているかどうかについては、76%が「いいえ」を選択している一方で、「はい」を選択した人も2割いる。問題を生じると感じている人は、年齢層が上がるにつれて増える傾向にあり、また所得が高い人よりは低い人で若干多い。地域別では中小規模の都市で若干多くなる。

D2で地域住民間の相違が問題を生じると答えた人に、問題となる具体的な相違点を挙げてもらったところ（D3／Q39）、最も多いのは物的所有面での格差、第2に社会的地位の格差、第3に教育の格差、第4に民族・文化・言語的な相違、第5に政治的見解の違いであった。男女別に見ると、物的所有の格差や社会的地位の格差、民族・文化・言語的な相違は、男性の方があげている比率が高いのに対し、教育の格差や政治的見解の相違、さらに宗教上の相違などは女性の方があげる率が高くなっている。年齢別では一定の傾向を見出すのは難しいが、18-24歳の層では、社会的地位の差が4割超と最も多く、次いで宗教上の相違が3割とほかの世代より多い。25-34歳の層では、物的所有の格差が4割で最も多い。35-44歳の層では、教育、物的所有、社会的地位がいずれも25%を超えている。45-54歳の層では、第1に社会的地位、第2に民族・文化・言語的な違いがあげられている。55歳以上では物的所有の格差が32.8%で最も多くなっている。収入別では、大雑把に言えば、教育格差、経済的な格差、政治的見解、民族的相違など、多くの項目において高所得層の方が様々な相違を問題と捉える傾向がある。地域別では、物的所有や土地所有の格差など、経済的豊かさと結びついた格差が農村でより問題と認識されているのに対し、教育、宗教、政治的見解、民族・文化・言語などの相違は、多様な人々が居住する大都市でより問題と認識されている。

D4（Q40）は地域住民間の相違が実際に地域における暴力的行為につながっているかどうかを尋ねている。3割弱がはいと回答しており、モスクワ、サンクトペテルブルグの2大都市を筆頭に、都市部において実際に住民間の衝突が生じていることがわかる。

D5（Q41） の住んでいる地域の治安については、大部分の人が比較的安全と感じているようであるが、どちらかというと危ない、非常に危ないという回答も合わせて2割存在している。とくに女性、若年層、高齢者層という、比較的被害に会いやすい人々が危険を感じる比率が高くなっている。収入別では、最も高所得の層で「非常に安全」という回答がほかの層より多く、高所得層の人々がとくに守られた環境で居住している可能性がうかがえる。地域別では、農村では都市部よりも「非常に安全」という回答が多いものの、同時に「非常に危険」という回答も都市部より多く、どの地域が最も安全かをここから判断するのは難しい。

D1.（Q37.）同じ地域に住んでいても、社会的地位、収入、国籍、言語、政治的志向、宗教、年齢、性別などの面で大きな違いがあることはよくあることです。あなたの居住地では、そのような相違はどの程度顕著ですか？1～5 で評価してください。

	実数（人）	比率
1　ほとんど見られない	710	41.8%
2　あまり見られない	238	14.0%
3　どちらとも言えない	355	20.9%
4　ある程度見られる	149	8.8%
5　非常に強く見られる	187	11.0%
6　答えられない	61	3.6%
総計	1700	100.0%

図 D1-0　総計（N＝1700）

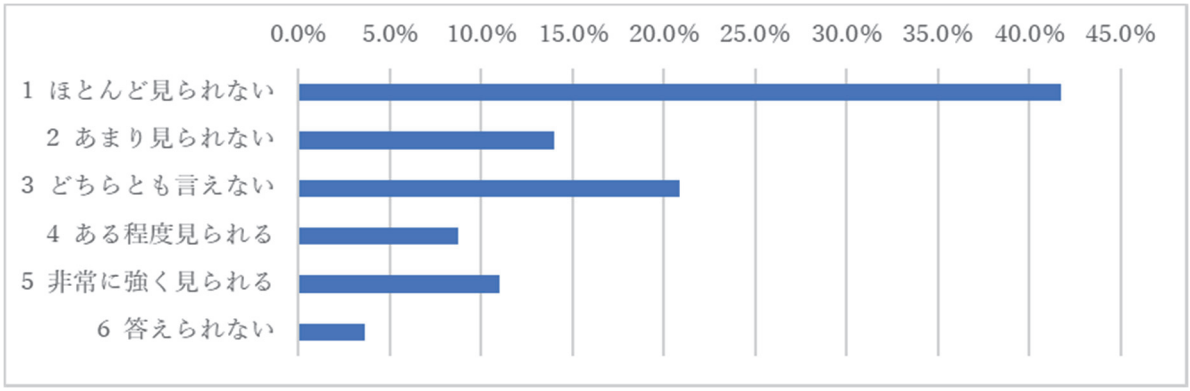


図 D1-1　男女別（N＝1639）

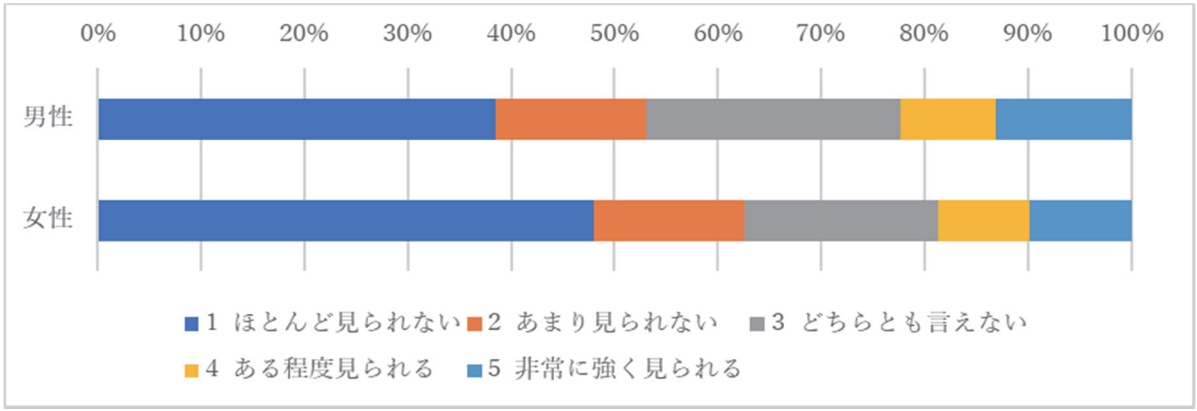


図 D1-2　年齢別（N＝1639）

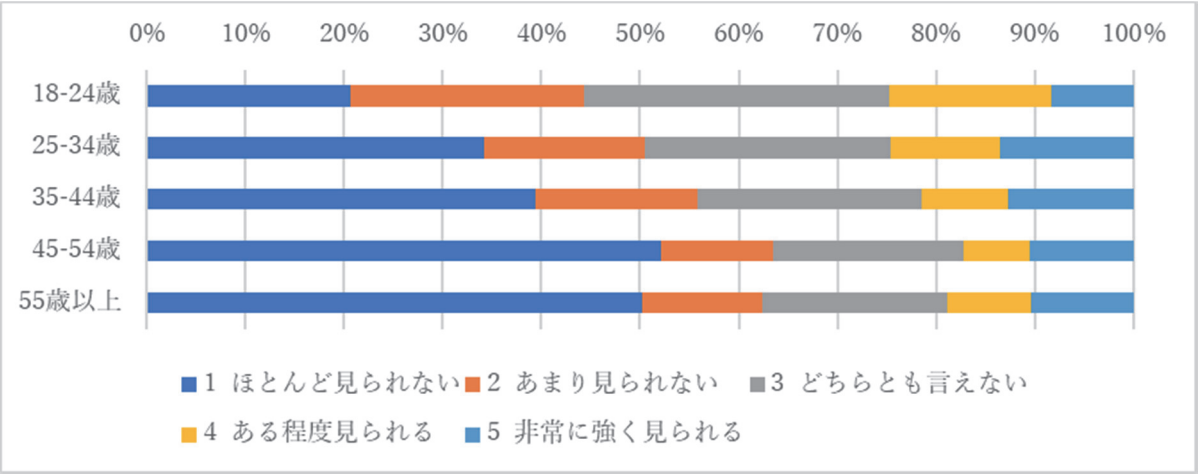


図 D1-3　収入別（N＝1524）

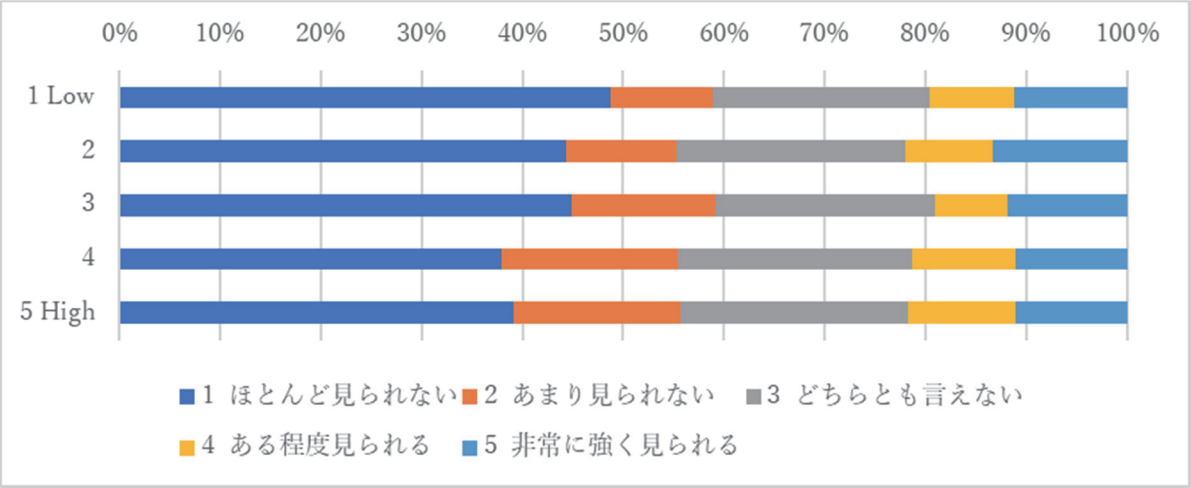
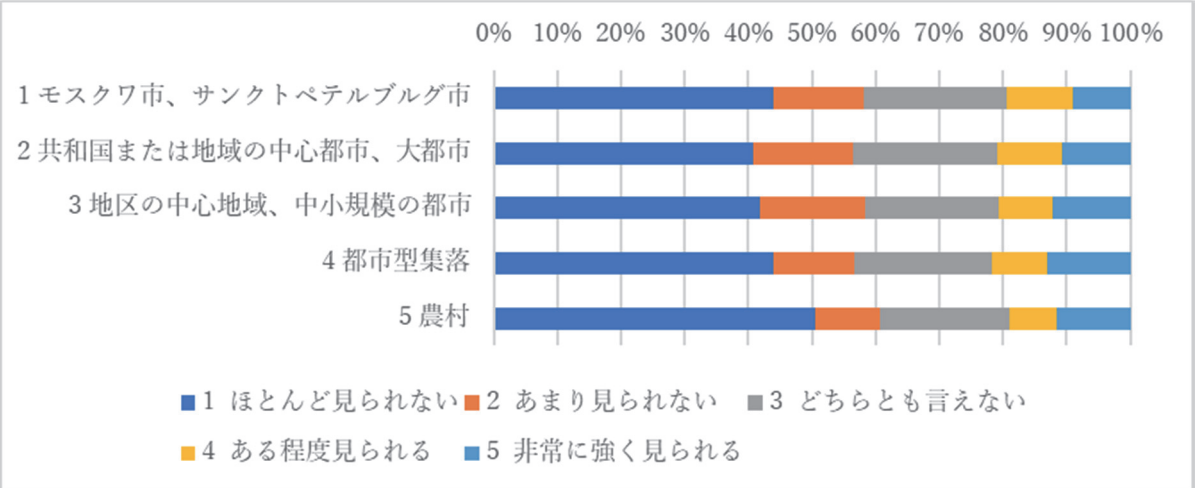


図 D1-4　居住地域別（N＝1630）



D2. （Q38.）そのような相違は問題を生じますか？

	実数（人）	比率
1　はい	348	20.5%
2　いいえ	1297	76.3%
3　答えられない	55	3.2%
総計	1700	100.0%

（Q38>1 の場合は Q41 へ）

図 D2-0　総計（N＝1700）

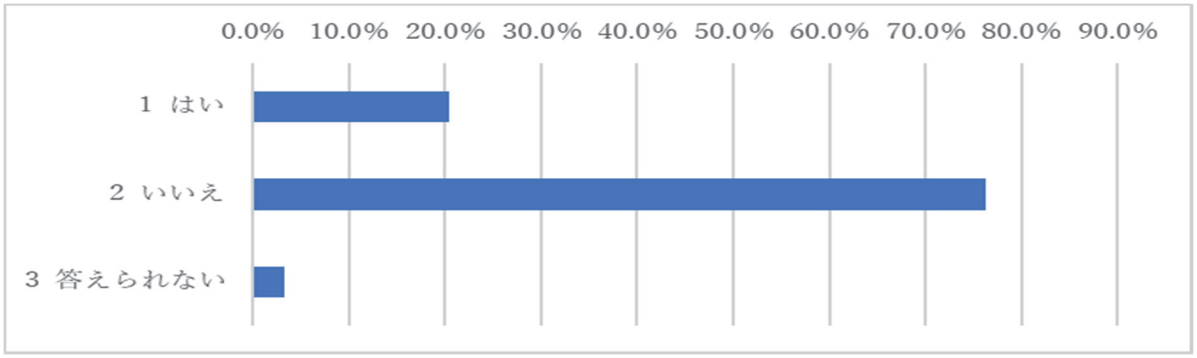


図 D2-1　男女別（N＝1645）

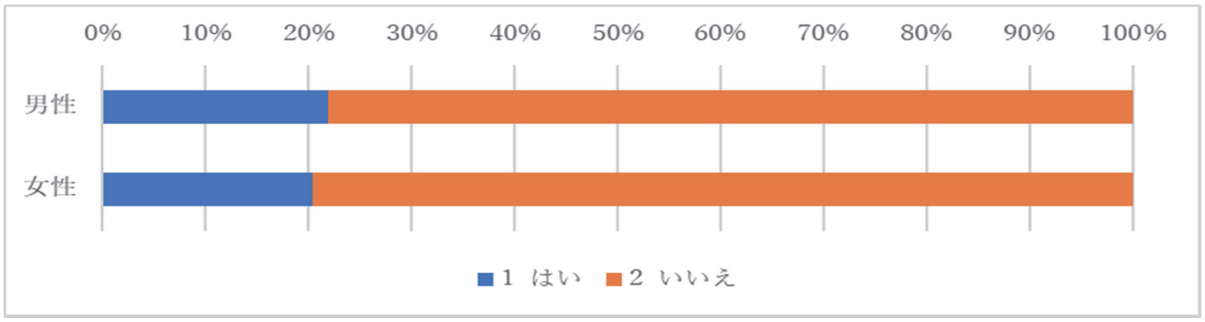


図 D2-2　年齢別（N＝1645）

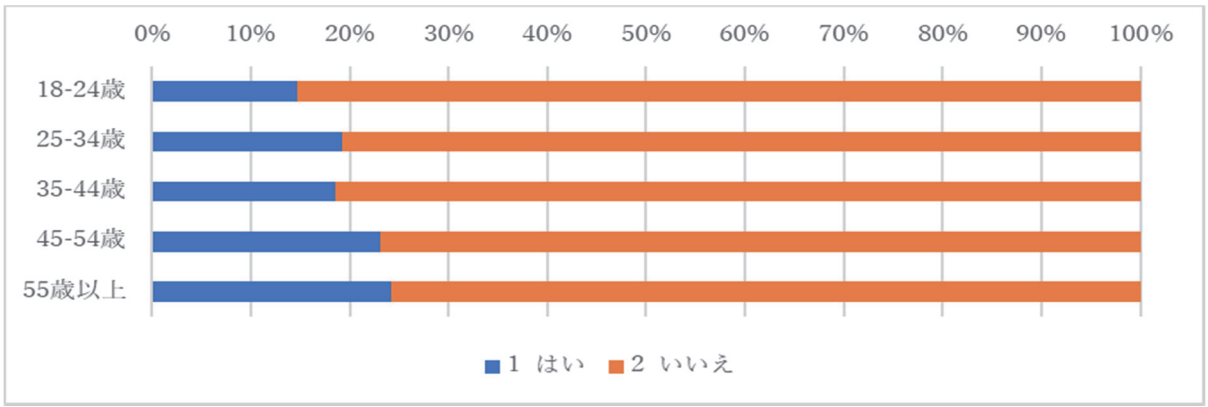


図 D2-3　収入別（N＝1527）

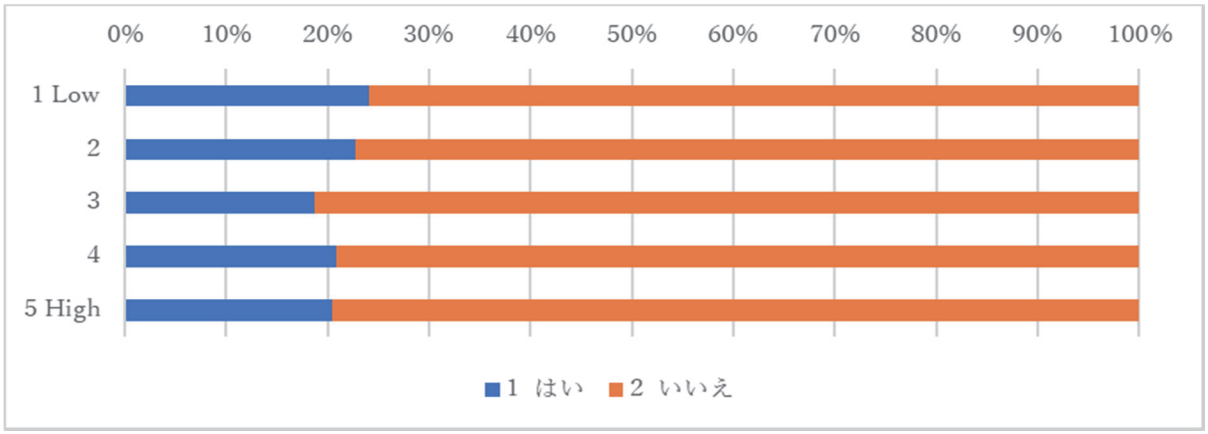
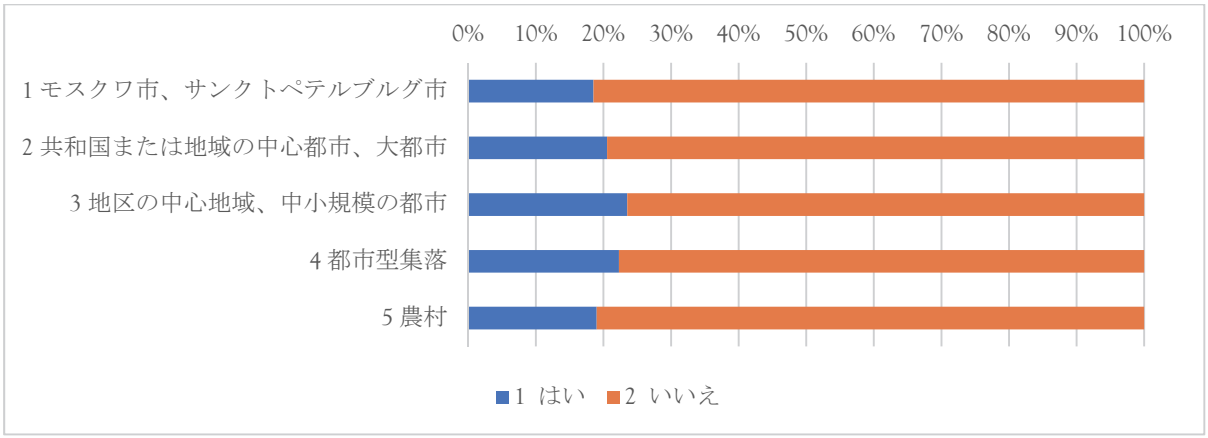


図 D2-4　居住地域別（N＝1638）



D2.（Q38.）=1 を選択された方のみ

D3.（Q39.）以下の相違のうち、意見の対立やもめ事の原因となりうるのはどれでしょうか？

（複数回答可）　　（単位：人）

	選択	非選択	計
1 教育の格差	71	277	348
2 土地所有の格差	21	327	348
3 物的所有の格差	101	247	348
4 社会的地位の格差	82	266	348
5 男女間の差異	5	343	348
6 世代間格差	34	314	348
7 地域での居住年数の格差（長く住んでいる人と新しく来た人）	37	311	348
8 政治的見解の違い	50	298	348
9 宗教上の相違	35	313	348
10 民族・文化・言語的な相違	64	284	348
99 答えられない	17	331	348
11 その他（具体的にお書きください）	20	328	348

図 D3-0　総計（N＝348）

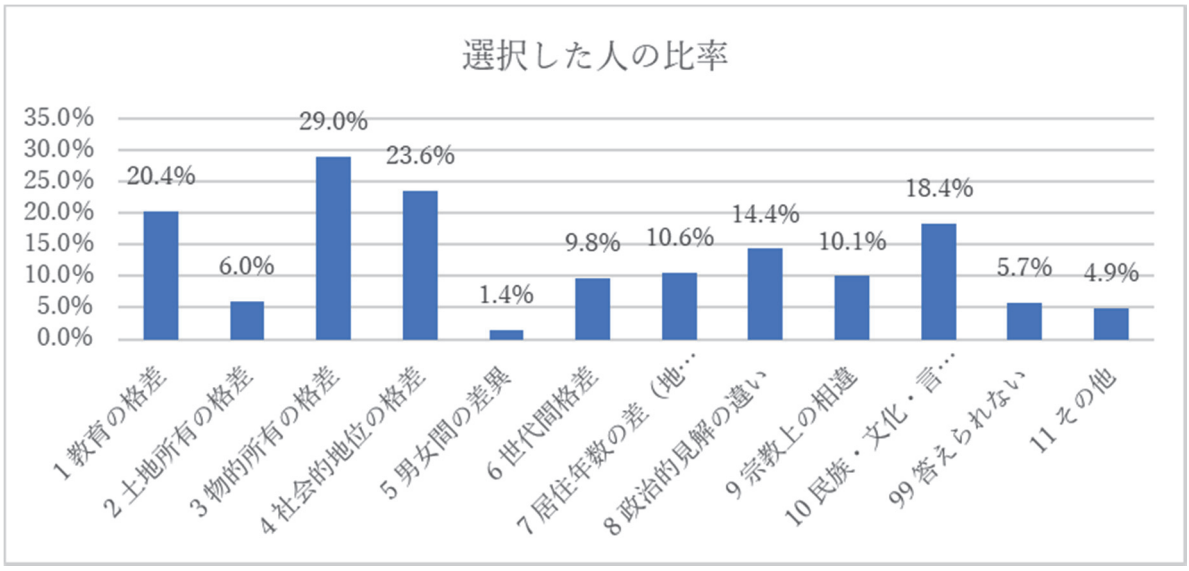


図 D3-1　男女別（N＝348）

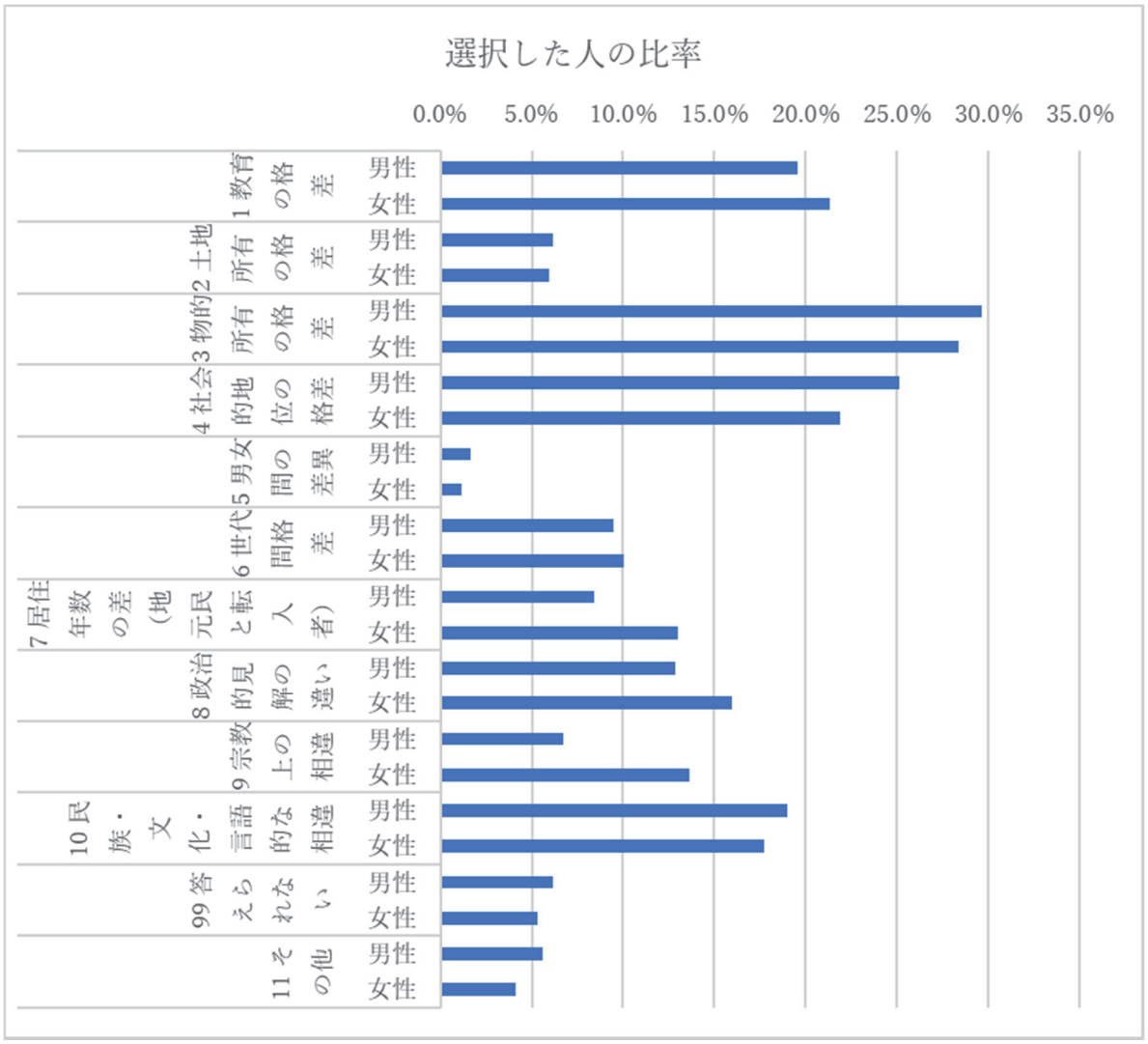


図 D3-2　年齢別（N＝348）

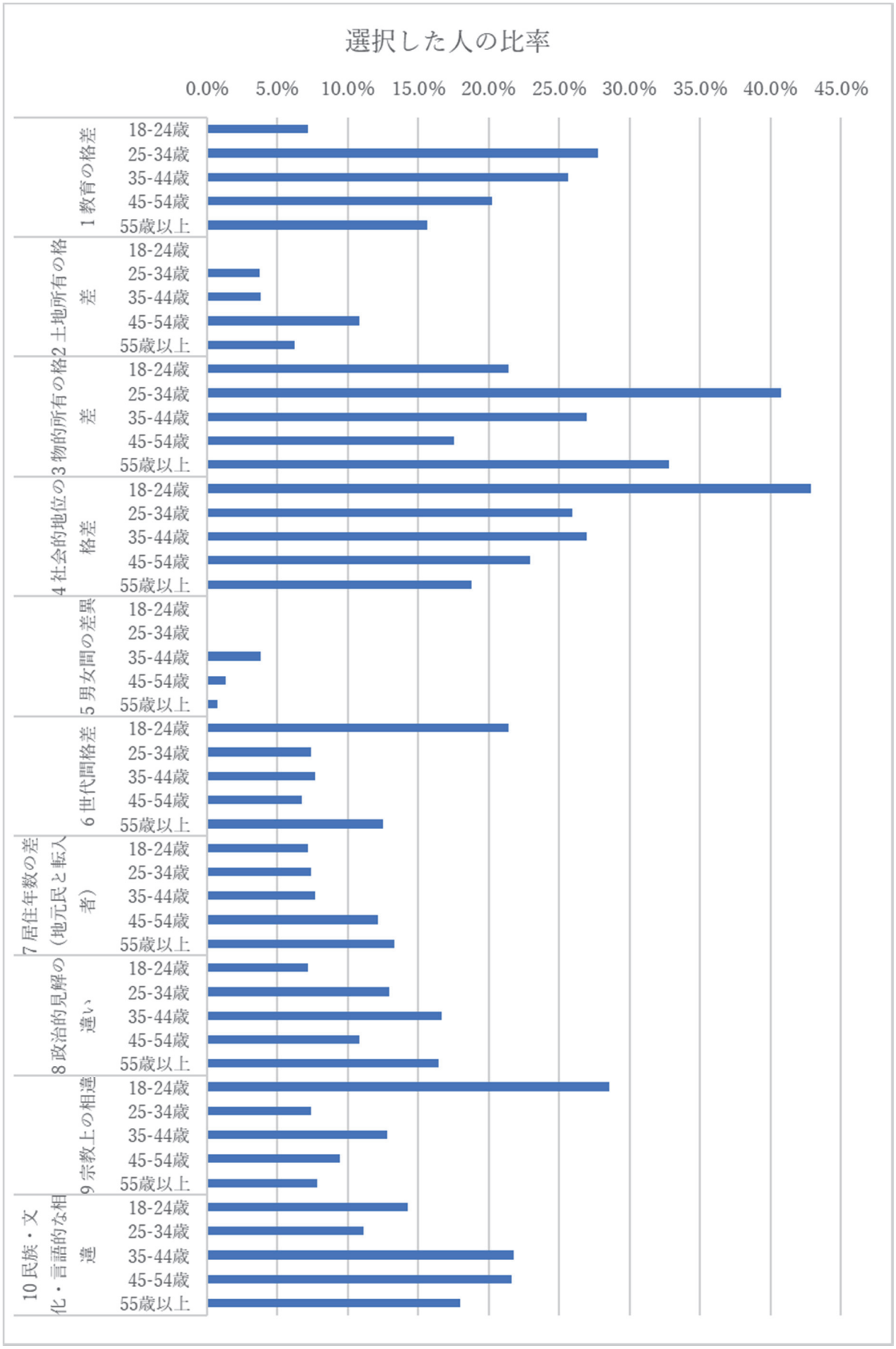

選択した人の比率
0.0%
5.0%
10.0%
15.0%
20.0%
25.0%
30.0%
35.0%
40.0%
45.0%
1 教育の格差
2 土地所有の格差
3 物的所有の格差
4 社会的地位の格差
5 男女間の差異
6 世代間格差
7 居住年数の差（地元民と転入者）
8 政治的見解の違い
9 宗教上の相違
10 民族・文化・言語的な相違
18-24歳
25-34歳
35-44歳
45-54歳
55歳以上

図 D3-3　収入別（N＝324）

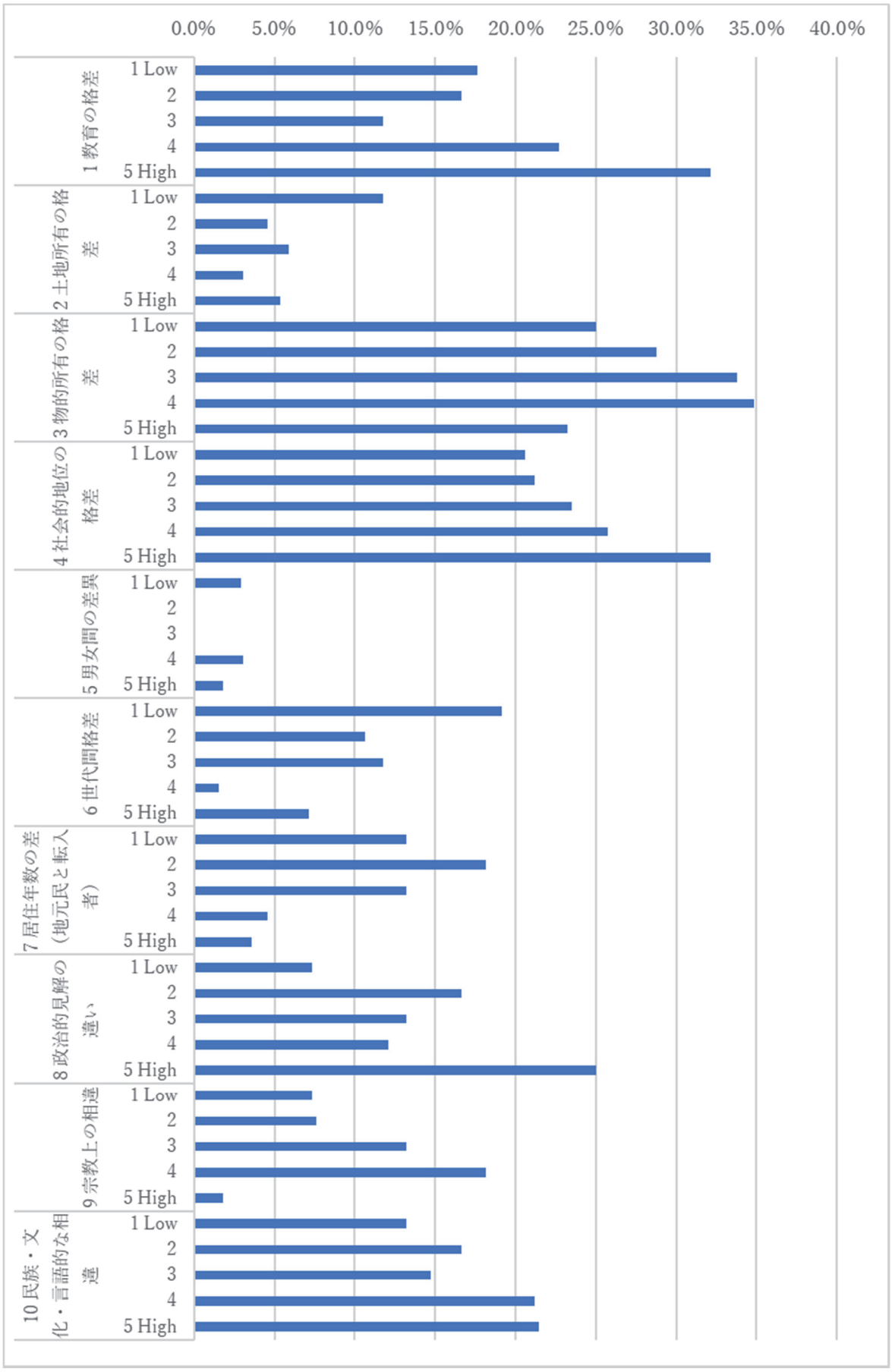
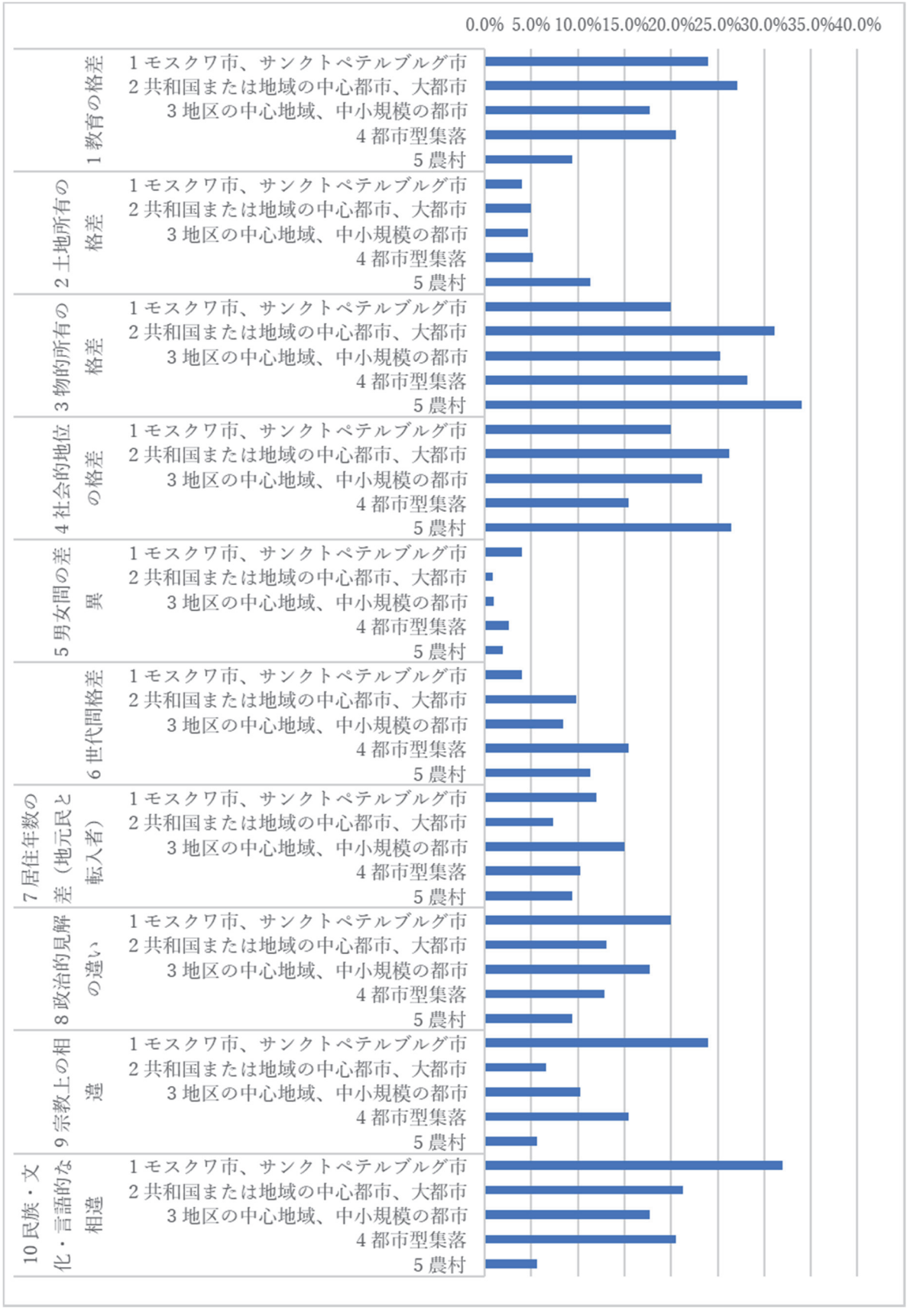


図 D3-4　居住地域別（N＝323）



D2. （Q38.）=1 を選択された方のみ

D4. （Q40.）それらの問題が、あなたの地域では暴力的行為の発生につながっていますか？

	実数（人）	比率
1 はい	102	29.3%
2 いいえ	195	56.0%
3 わからない	50	14.4%
99 答えない	1	0.3%
計	348	100.0%

図 D4-0　総計（N＝348）

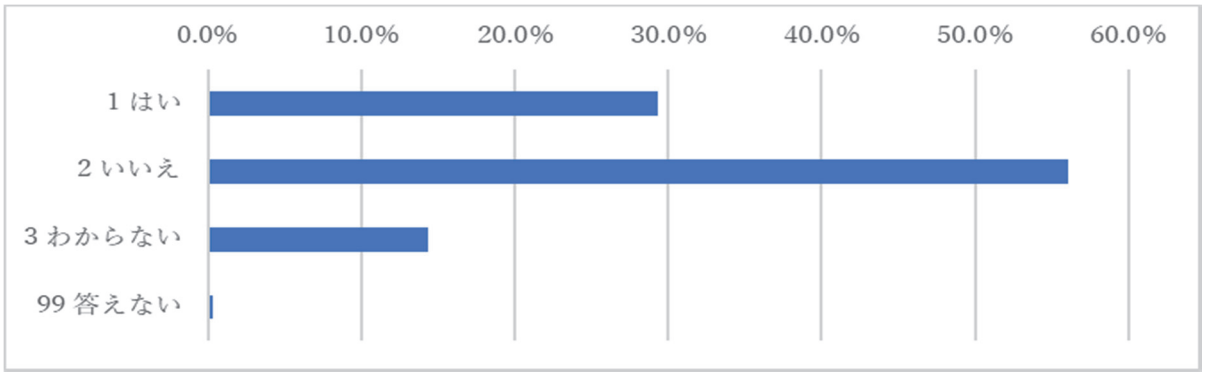
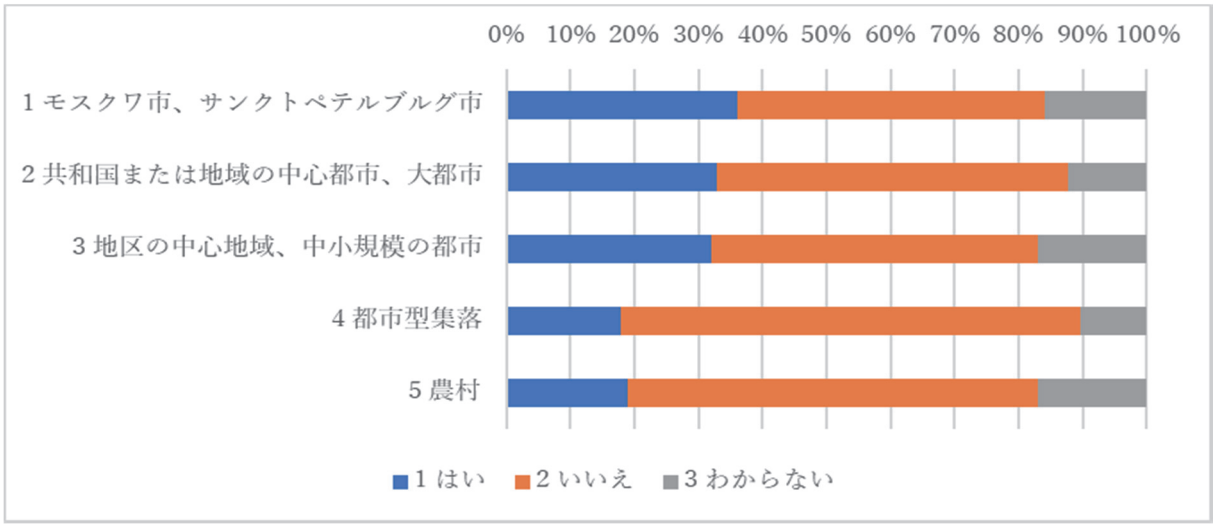


図 D4-4　居住地域別（N＝345）



全員に

D5. （Q41.）あなたの個人的な感覚として、お住いの地域で夜間に一人で歩くのはどの程度安全ですか？

	実数（人）	比率
1 非常に安全	675	39.7%
2 どちらかと言えば安全	628	36.9%
3 どちらかと言えば危ない	265	15.6%
4 非常に危ない	96	5.6%
99 答えられない	36	2.1%
総計	1700	100.0%

図 D5-0　総計（N＝1700）

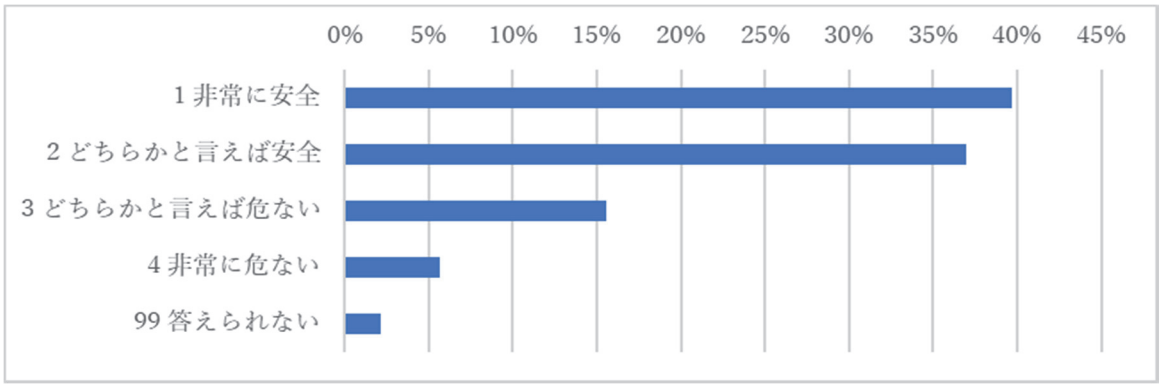


図 D5-1　男女別（N＝1664）

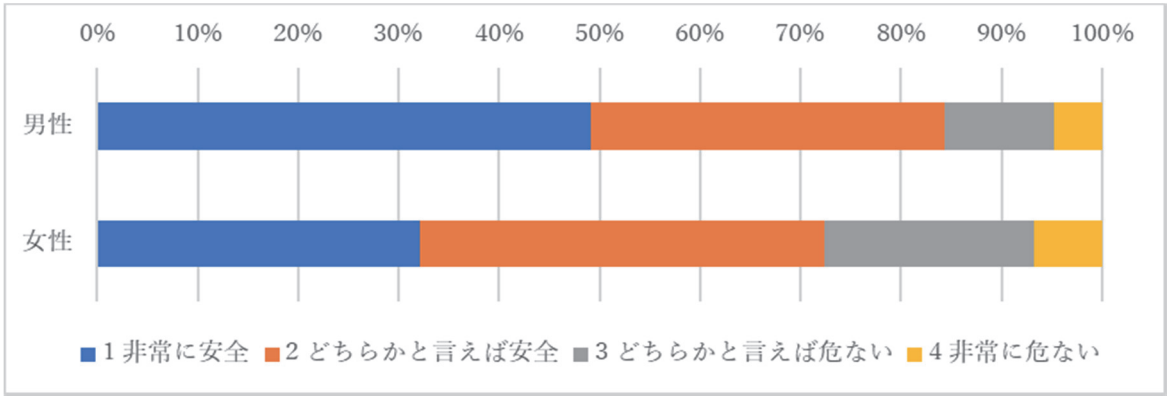


図 D5-2　年齢別（N＝1664）

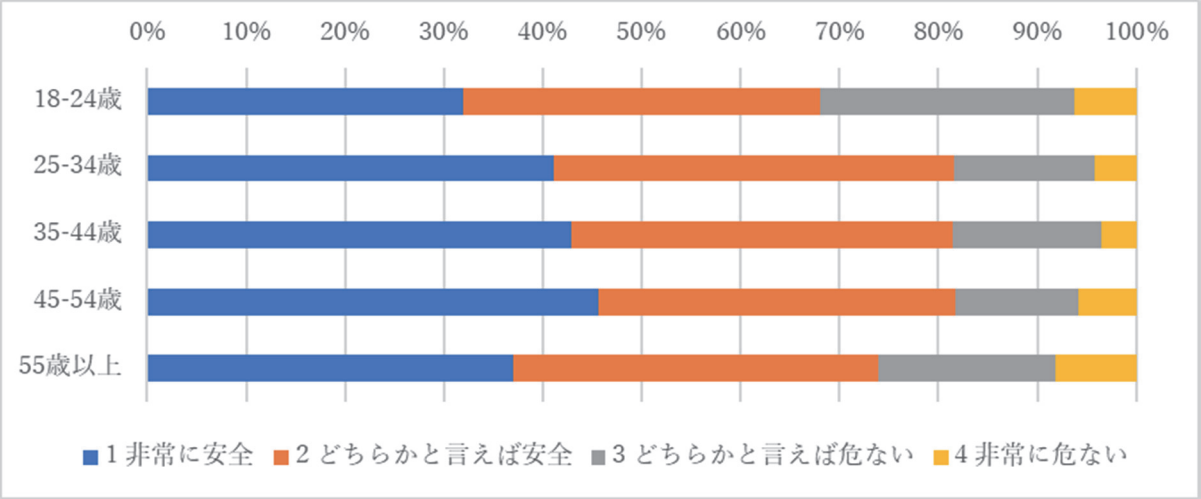


図 D5-3　収入別（N＝1546）

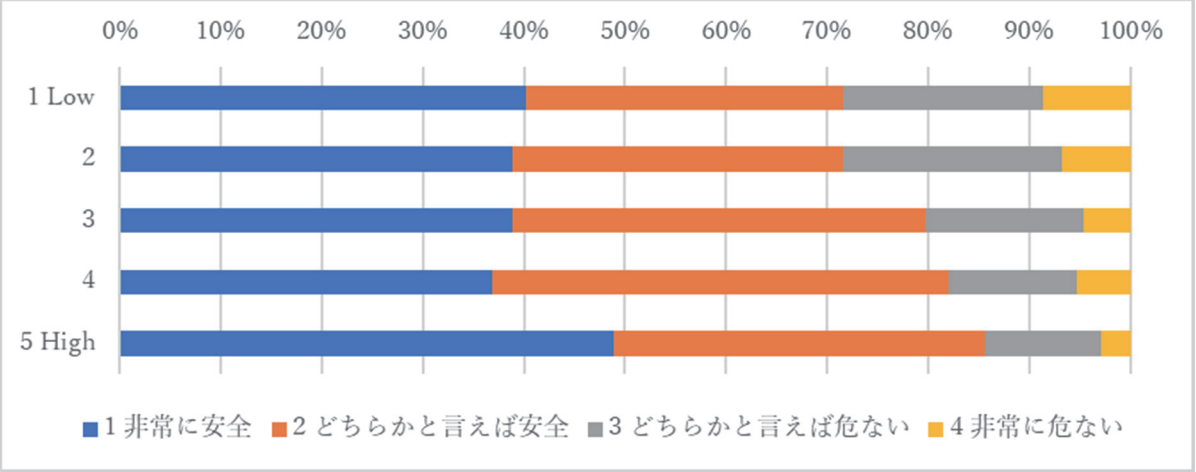
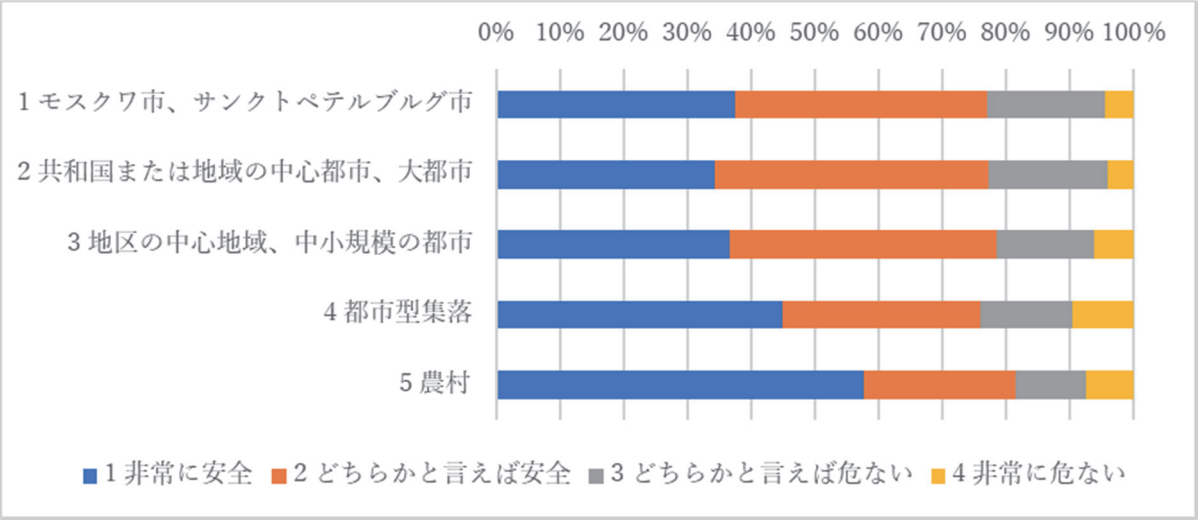


図 D5-4　居住地域別（N＝1656）



E. 集団行動と協同

セクションE1～E4は、市民参加に関する質問である。

E1(Q43)では、市民参加（civic engagement）の指標の一つとして、社会問題への関心について尋ねている。総計では、「上記の問題に対して3人以上で話し合ったことがない」の回答の割合は「環境問題」（51.35%）、「教育問題」（39.35%）、「安全・安心の問題」（48.65%）、消費者問題(34.59%)、「社会問題」(29.35%)、「医療問題」(29.35%)であった。男女別では、「環境問題」、「教育問題」、「医療問題」に関しては、それぞれの項目において「数回」、「ほぼ毎月」、「ほぼ毎週」を合わせた回答が、男性より女性の方が高かった。年齢別の集計では、年齢が上がるにつれて「教育問題」と「安全・安心の問題」について話し合ったことがない回答者の割合が大きくなる。収入別の集計では、「教育問題」、「安全・安心の問題」、「消費者問題」に関して、頻度はともかくとして、全体を通して所得が高い年齢層ほど、その問題について話し合ったことがあると答えている回答者が多い。居住地域別では、有意義だと思われる差異は見られない。

E2（Q 43)では、市民参加（civic engagement）の指標の一つとして、ボランティア活動への参加について尋ねている。総計のいずれの項目においても参加率が著しく低く、COVID-19の影響を否定できない。「地域ボランティア」への参加度が最も高く、16.35%であり、次に、「社会的支援を必要とする人々を対象としたボランティア」（15.94%）、「スポーツ・文化・芸術・学術」（6.82%%）、「政治的問題に関連した活動」（5.53%）の順番であった。男女別の集計では、顕著な差異が見られない。年齢別の集計では、一部の項目を除いて、年齢層が高いほどボランティア参加率が低い。収入別の集計では、顕著な差異が見られない。居住地域別の集計では、「地区の中心地域、中小規模の都市」に住む回答者の「地域ボランティア」と「社会的支援を必要とする人々を対象としたボランティア」への参加率が他の地域より若干高い。

E3(Q 44)では、市民権、政府、近所付き合いに関する考え方について尋ねている。まず、「自分のような普通の市民には、政府のすることに対して、影響を及ぼせるほどの力がない」という項目では、「強く賛成」と「どちらかと言えば賛成」を合わせた回答が45.7%であり、市民の影響力に限界があると感じている回答者が極めて多いことが伺える。男女別の集計では、差異が見られないが、年齢別では、45歳以上の年齢層では、政府に影響を及ぼすことができると感じる回答者が少なくなっている。収入別では、所得が低い層ほど、市民の影響力に限界があると感じている回答者が多い。居住地域別では、顕著な差異が見られない。

次に、「政治や政府は複雑なので、何をやっているのかよく理解できない」という項目では、「強く賛成」と「どちらかと言えば賛成」を合わせた回答が36.53%であり、ロシア社会では政治や政府への理解がやや不十分であることがわかる。男女別の集計では、差異が見られないが、年齢別では、年齢が高いほど、政府・政治への理解度が低い傾向が見られる。収入別では、高所得者ほど、政府・政治への理解度が高い。居住地域別の集計では、顕著な差異が見られない。

「私は政治に対して関心がある」という項目では、「強く賛成」と「どちらかと言えば賛成」を合わせた回答が48.53%であり、男性の回答者の方が政治に関心を示している。年齢別の集計では、年齢が上がるにつれて政治への関心が高くなっており、55歳以上の年齢層では、政

治へ関心を持つ割合がおよそ 58%となっている。収入別では、高所得者の回答者が最も政治に関心を示している。居住地域別では、顕著な差異が見られない。

「私は社会のために役に立ちたい」という項目では、「強く賛成」と「どちらかと言えば賛成」を合わせた回答が 67.94%であり、男性の方が社会のために役に立ちたいと回答している。年齢別では、35-44 歳の「強く賛成」と「どちらかと言えば賛成」を合わせた肯定的な回答が多い。収入別では、高所得層はより社会のために役に立ちたいと回答している。居住地域別では、顕著な差異が見られない。

「近所の人は、お互いを気にかけている」という項目では、「強く賛成」と「どちらかと言えば賛成」を合わせた回答が 47.7%であり、近隣関係がやや密接になっていることがわかる。男女別では差異がなく、年齢別では、年齢が上がるにつれて肯定的な回答が多い。収入別では、若年層ほど「近所の人は、お互いに気にかけている」と回答している人がやや多い。居住地域別では、住んでいる地域規模が小さいほど肯定的な回答が多い。

「近所の人は、私が困っていたら手助けしてくれる」という項目では、「強く賛成」と「どちらかと言えば賛成」を合わせた回答が 51.64%であり、女性の回答者の方がそのように考える傾向がある。年齢別では、年齢層が高いほど、近所の人は、「私が困っていたら手助けしてくれる」と回答している人が多い。収入別では、高所得者ほど「私が困っていたら手助けしてくれる」と回答している人が少ない。居住地域別では、住んでいる地域規模が小さいほど肯定的な回答が多い。

E4(Q45)は、住民が共同で政治家や役所に対して陳情を行ったり請願書を提出したりしたことがあるか否か、尋ねた質問である。総計では、61.53%の回答者が「一度もない」と回答している。男女別の集計では、男性の方がそういった活動の経験がないと回答している。年齢別では、年齢が高い層ほど、そういった活動の経験があるとの回答がやや多い。収入別の集計では、顕著な差異が見られない。居住地域別では、「モスクワ市、サンクトペテルブルグ市」に住んでいる回答者の方が、やや多くそういった経験がないと回答している。

E1.（Q42.）過去 1 年間に、以下のような地域や社会の問題について 3 人以上で話し合うことがどのくらいありましたか（オンラインも含む）。項目ごとに 1 つ選んでください。

		全体	まったくない	数回	ほぼ毎月	ほぼ毎週	無回答
環境問題（大気、水、騒音、廃棄物、山火事、洪水など）	%	100%	51.35%	24.47%	12.06%	10.71%	1.41%
	実数	1700	873	416	205	182	24
教育問題（教育費、塾、青少年の非行など）	%	100%	39.35%	21.76%	18.82%	19.24%	0.82%
	実数	1700	669	370	320	327	14
安全・安心（防災、防犯など）	%	100%	48.65%	21.41%	14.35%	14.12%	1.47%
	実数	1700	827	364	244	240	25
消費者問題（食品の安全性、モノの品質、物価変動など）	%	100%	34.59%	12.18%	18.41%	32.35%	2.47%
	実数	1700	588	207	313	550	42
社会的問題（年金、失業その他の社会的給付、税金、医療など）	%	100%	29.35%	19.53%	25.06%	25.18%	0.88%
	実数	1700	499	332	426	428	15
医療問題	%	100%	27.12%	18.82%	27.53%	25.88%	0.63%
	実数	1700	461	320	468	440	11

図 E1-0　総計（N=1700）

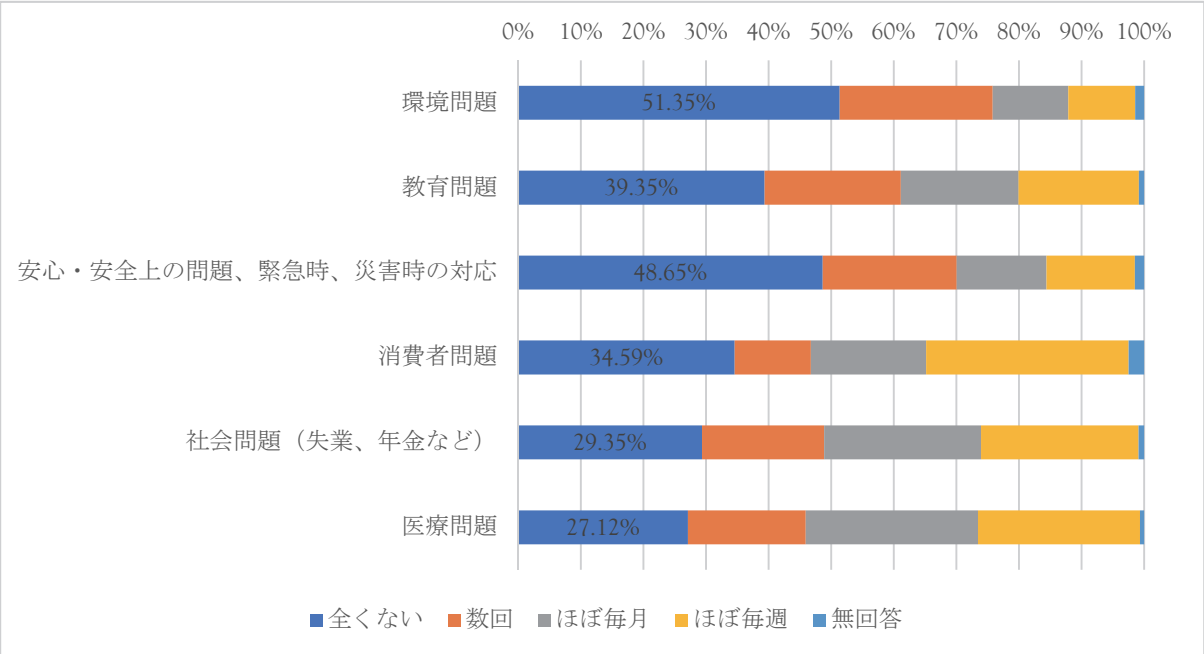


図 E1-1　男女別

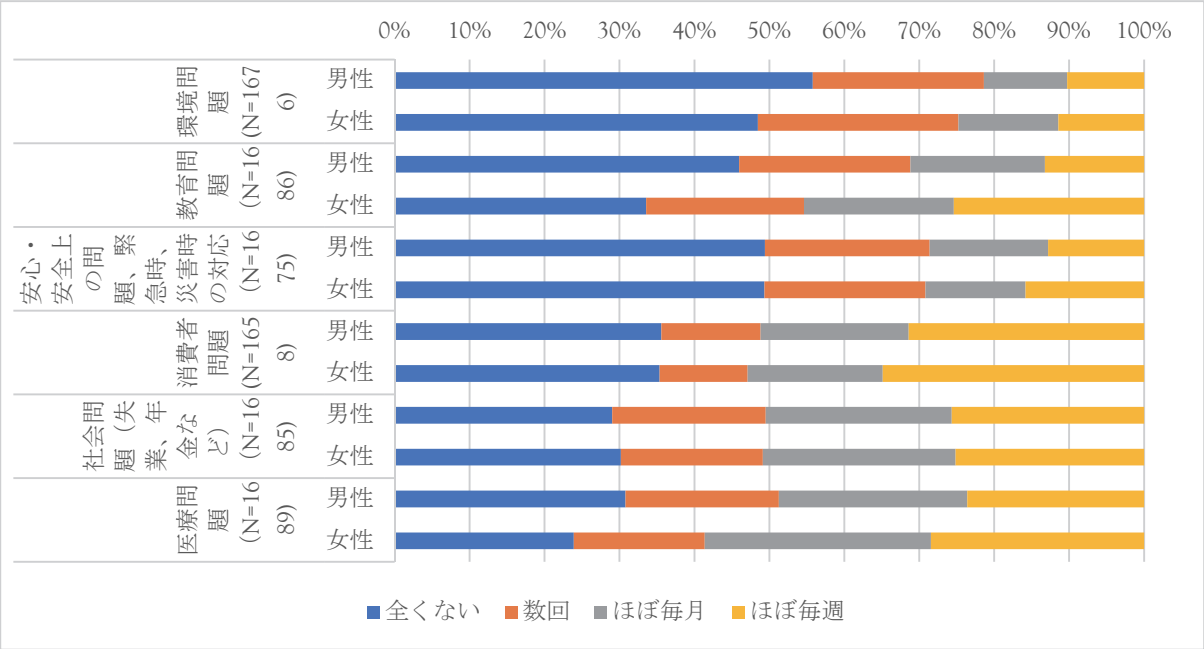

0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
環境問題 (N=1676)
教育問題 (N=1686)
安心・安全上の問題、緊急時、災害時の対応 (N=1675)
消費者問題 (N=1658)
社会問題（失業、年金など） (N=1685)
医療問題 (N=1689)
男性
女性
全くない
数回
ほぼ毎月
ほぼ毎週

図 E1-2　年齢別

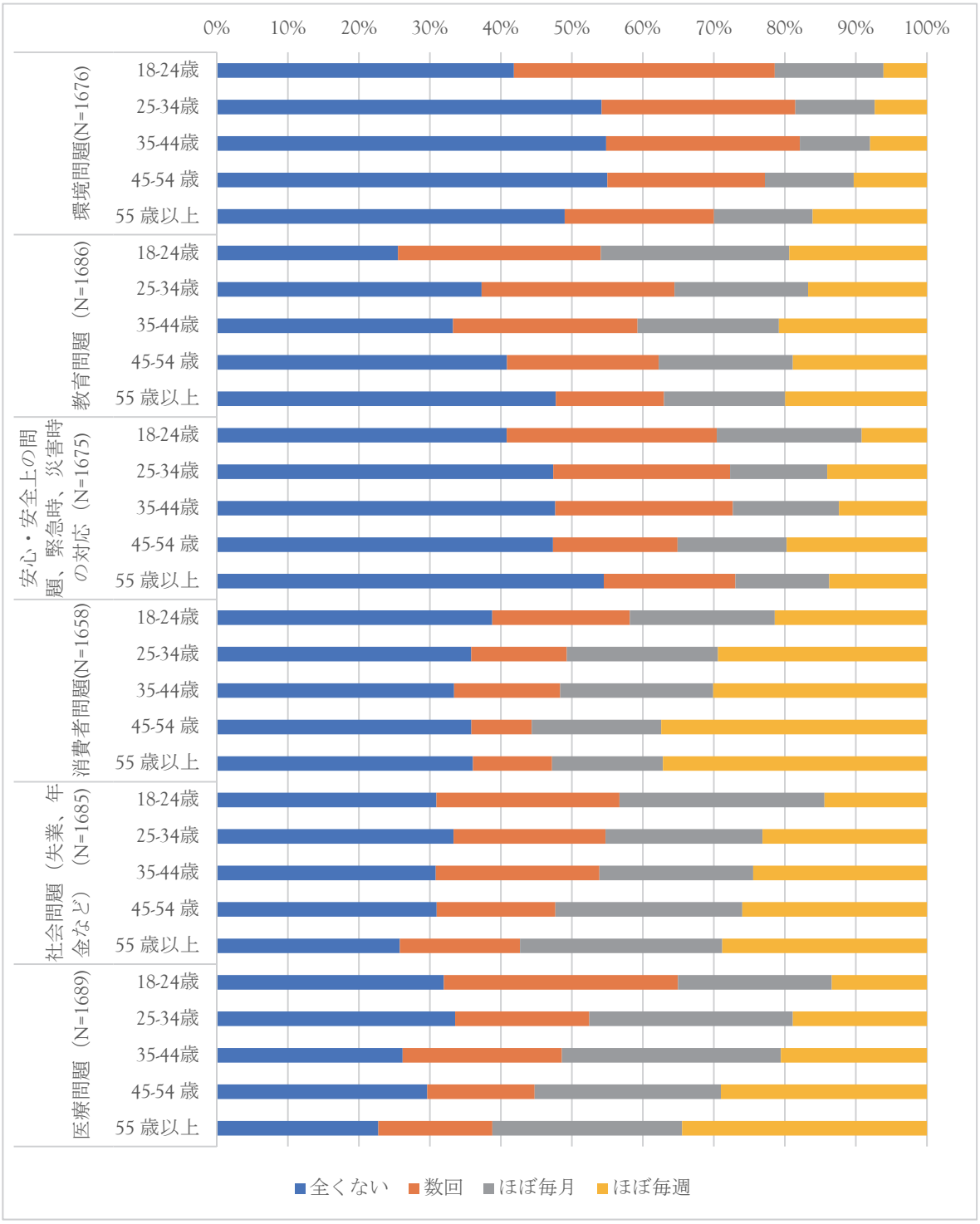

0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
環境問題(N=1676)
教育問題（N=1686）
安心・安全上の問題、緊急時、災害時の対応（N=1675）
消費者問題(N=1658)
社会問題（失業、年金など）（N=1685）
医療問題（N=1689）
18-24歳
25-34歳
35-44歳
45-54 歳
55 歳以上
全くない
数回
ほぼ毎月
ほぼ毎週

図 E1-3　収入別

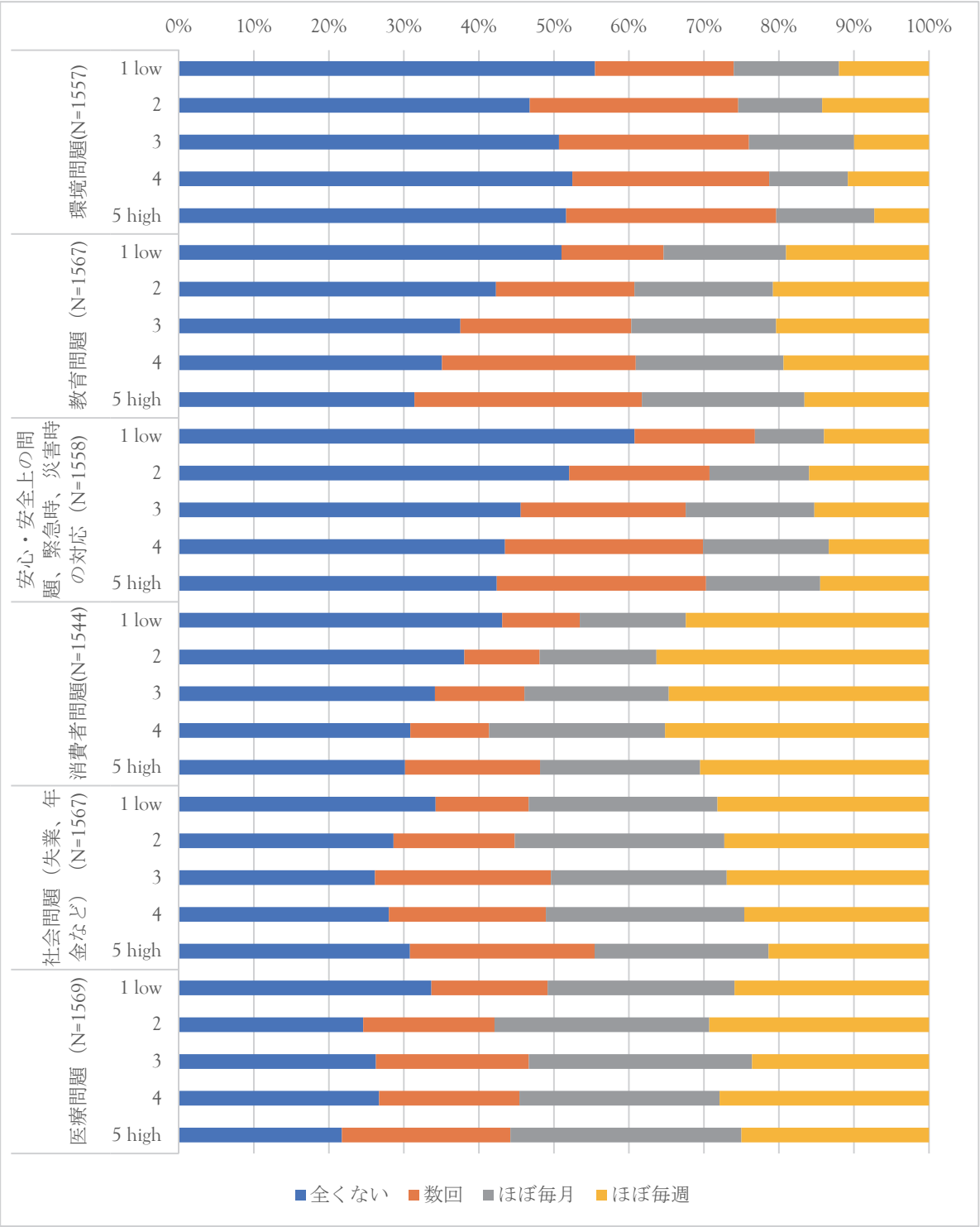
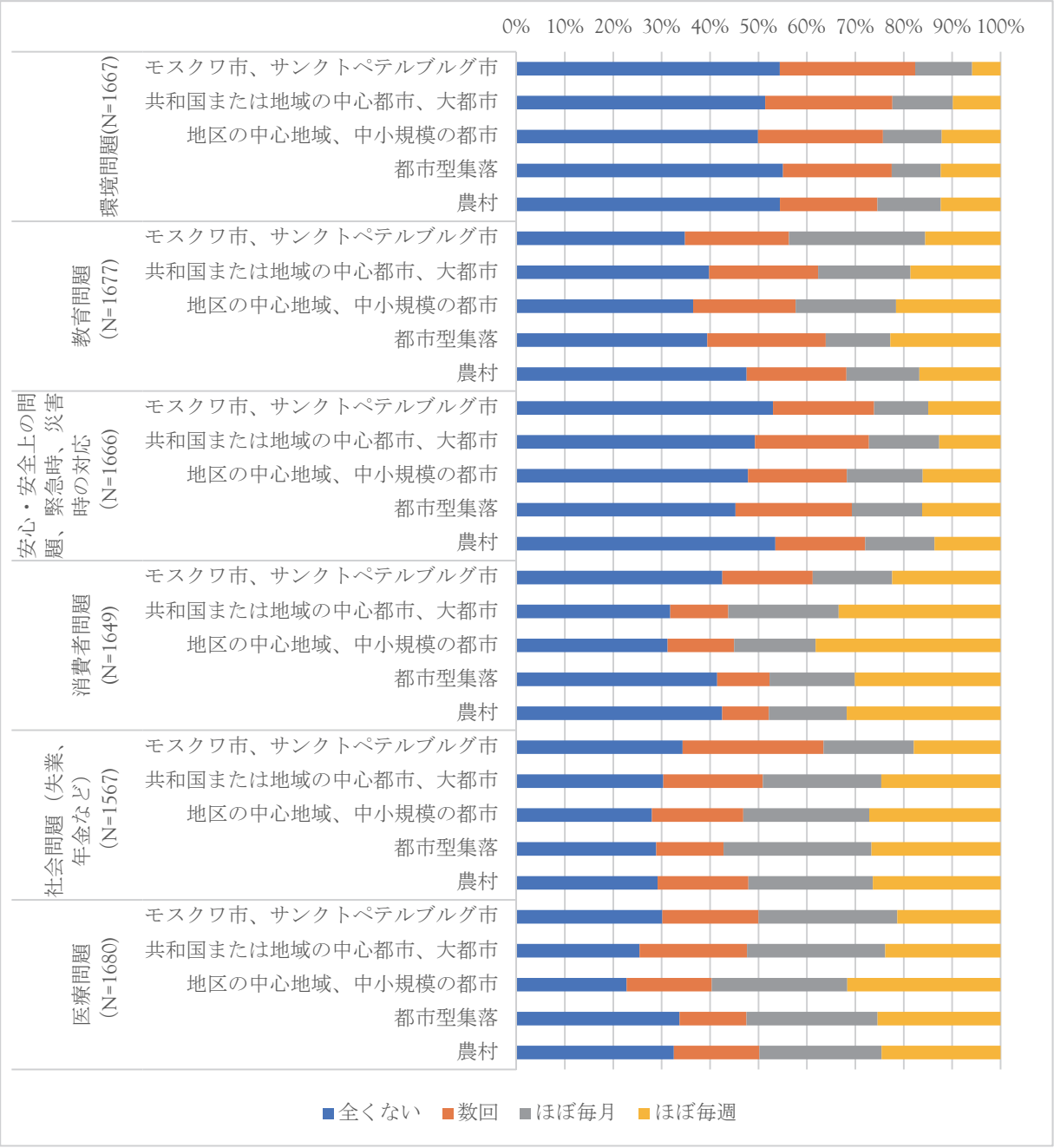

0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
環境問題(N=1557)
教育問題（N=1567）
安心・安全上の問題、緊急時、災害時の対応（N=1558）
消費者問題(N=1544)
社会問題（失業、年金など）（N=1567）
医療問題（N=1569）
1 low
2
3
4
5 high
全くない
数回
ほぼ毎月
ほぼ毎週

図 E1-4　居住地域別


0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
環境問題(N=1667)
教育問題 (N=1677)
安心・安全上の問題、緊急時、災害時の対応 (N=1666)
消費者問題 (N=1649)
社会問題（失業、年金など） (N=1567)
医療問題 (N=1680)
モスクワ市、サンクトペテルブルグ市
共和国または地域の中心都市、大都市
地区の中心地域、中小規模の都市
都市型集落
農村
全くない
数回
ほぼ毎月
ほぼ毎週

E2. （Q 43.）過去 1 年間にボランティア活動に参加したことがありますか（オンラインも含む）。

		全体	はい	いいえ
自分の住んでいる地域をよくするためのボランティア（活動環境の改善、治安の向上、街の活性化、その他）	%	100%	16.35%	83.65%
	実数	1700	278	1422
スポーツ・文化・芸術・学術に関連したボランティア活動（スポーツのコーチ、伝統文化の継承、専門的知識の伝達、その他）	%	100%	6.82%	93.18%
	実数	1700	116	1584
社会的な支援を必要とする人々を対象としたボランティア活動（障がい者、子ども、高齢者、その他）	%	100%	15.94%	84.06%
	実数	1700	271	1429
政治的問題に関連した活動（請願書への署名、デモや抗議運動への参加、その他）	%	100%	5.53%	94.47%
	実数	1700	94	1606

図 E2-0　総計（N=1700）

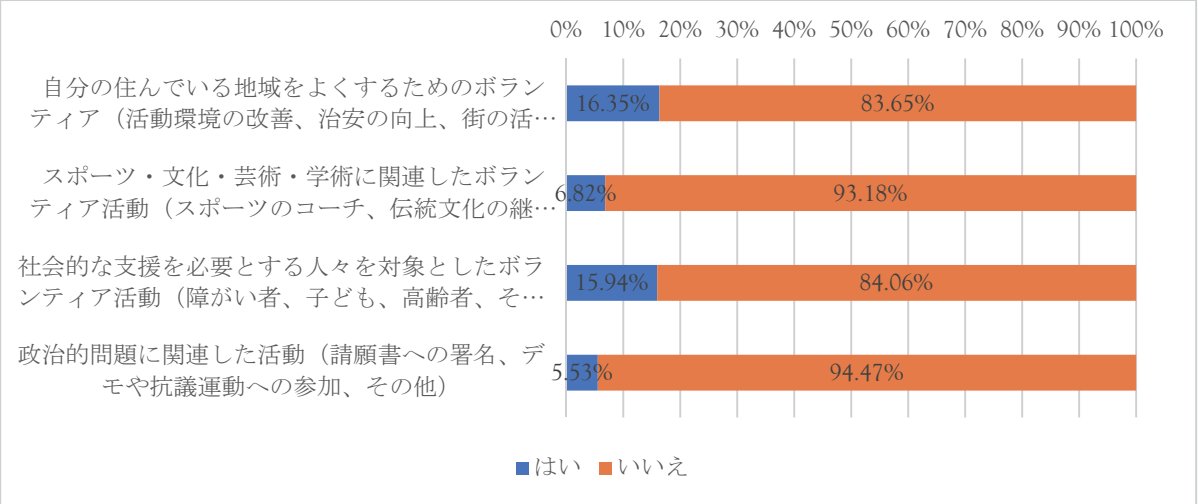


図 E2-1　男女別（N=1700）

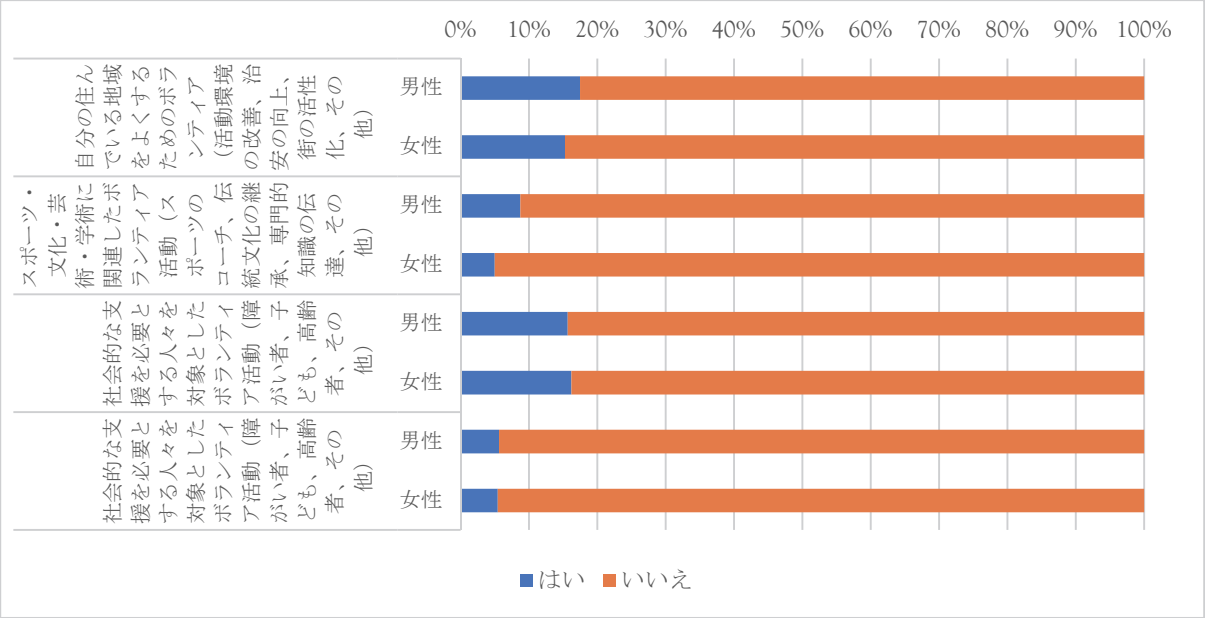


図 E2-2　年齢別（N=1700）

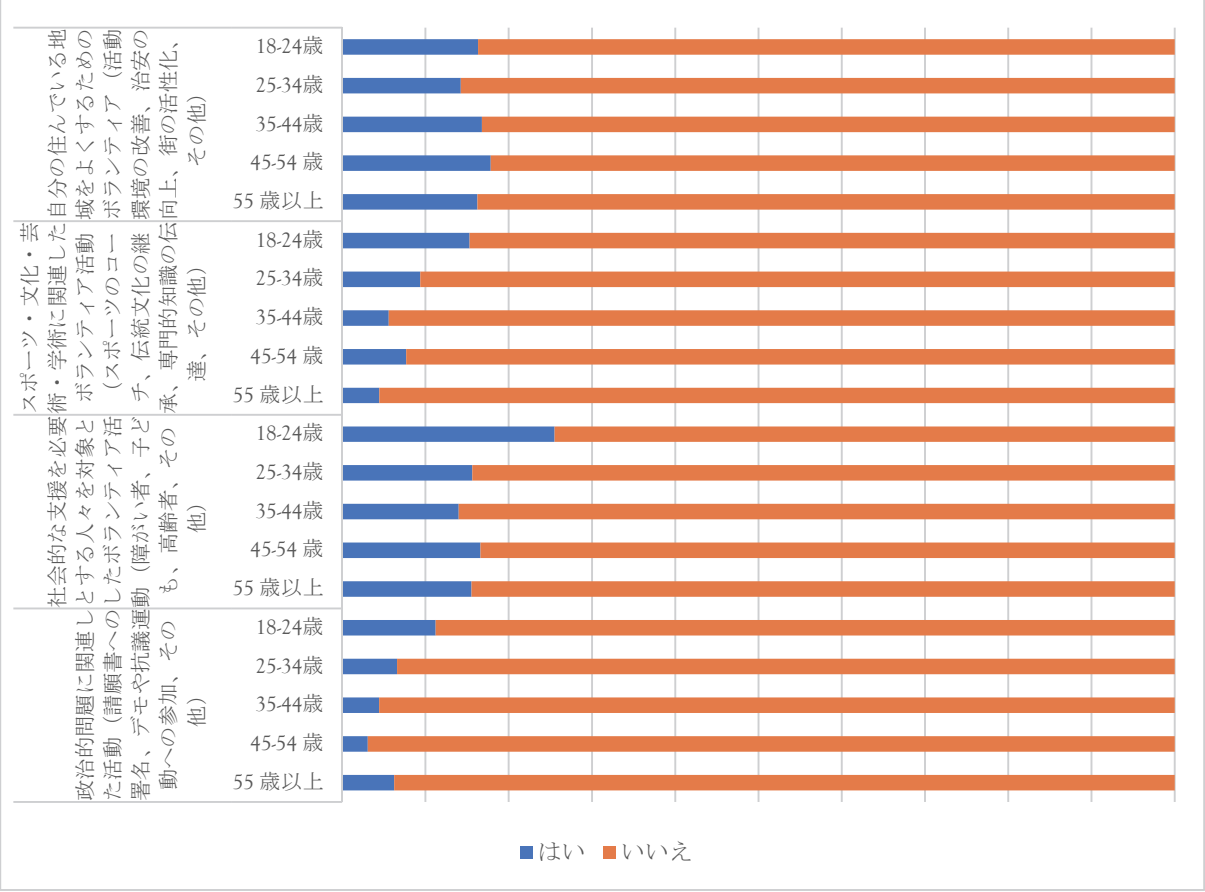


図 E2-3　収入別（N=1700）

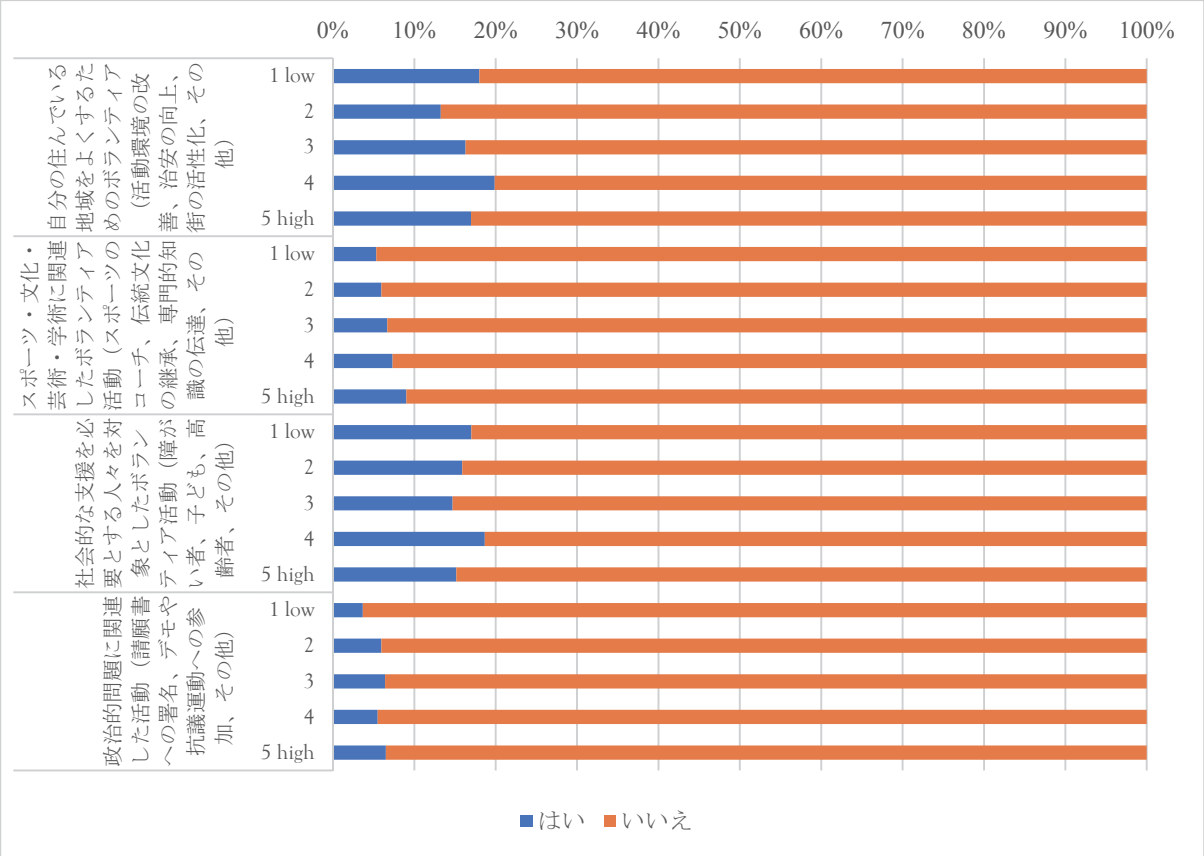
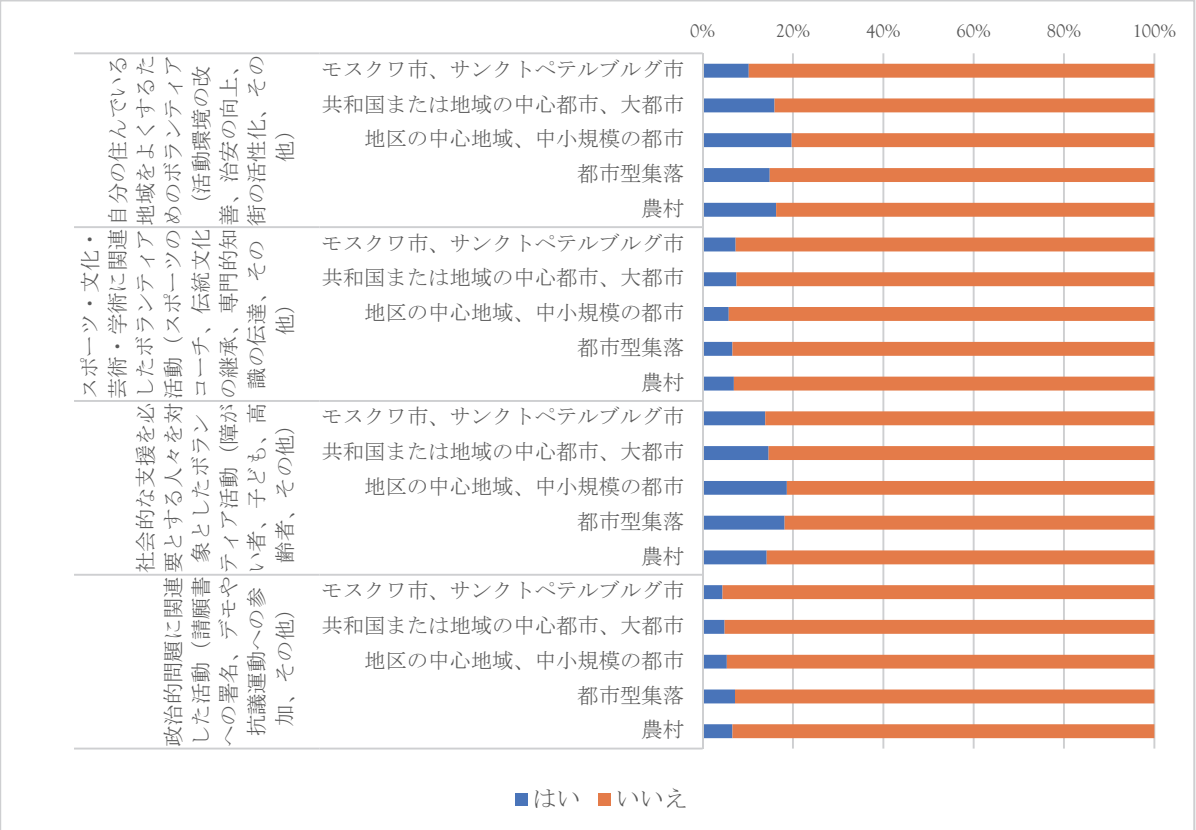


図 E2-4　居住地域別（N=1700）



E3.（Q44.）あなたは市民権、政府、近所づき合いに関する以下の考え方に賛成しますか、あるいは反対しますか。当てはまるものをそれぞれお答えください。

		全体	強く反対	どちらかと言えば反対	どちらとも言えない	どちらかと言えば賛成	強く賛成	無回答
自分のような普通の市民には、政府のすることに対して、影響を及ぼせるほどの力がない	%	100	19.41%	9.94%	23.00%	12.29%	33.41%	1.94%
	実数	1700	330	169	391	209	568	33
政治や政府は複雑なので、何をやっているのかよく理解できない	%	100	24.18%	11.82%	24.65%	15.00%	21.53%	2.82%
	実数	1700	411	201	419	255	366	48
私は政治に対して関心がある	%	100	20.76%	9.41%	20.06%	17.41%	31.12%	1.24%
	実数	1700	353	160	341	296	529	21
私は社会のために役立ちたい	%	100	8.41%	3.24%	18.24%	22.65%	45.29%	2.18%
	実数	1700	143	55	310	385	770	37
近所の人は、お互いを気にかけている	%	100	19.53%	9.82%	21.53%	17.35%	30.35%	1.41%
	実数	1700	332	167	366	295	516	24
近所の人は、私が困っていたら手助けしてくれる	%	100	16.53%	10.59%	20.94%	18.82%	31.82%	1.29%
	実数	1700	281	180	356	320	541	22

図 E3-0　総計（N=1700）

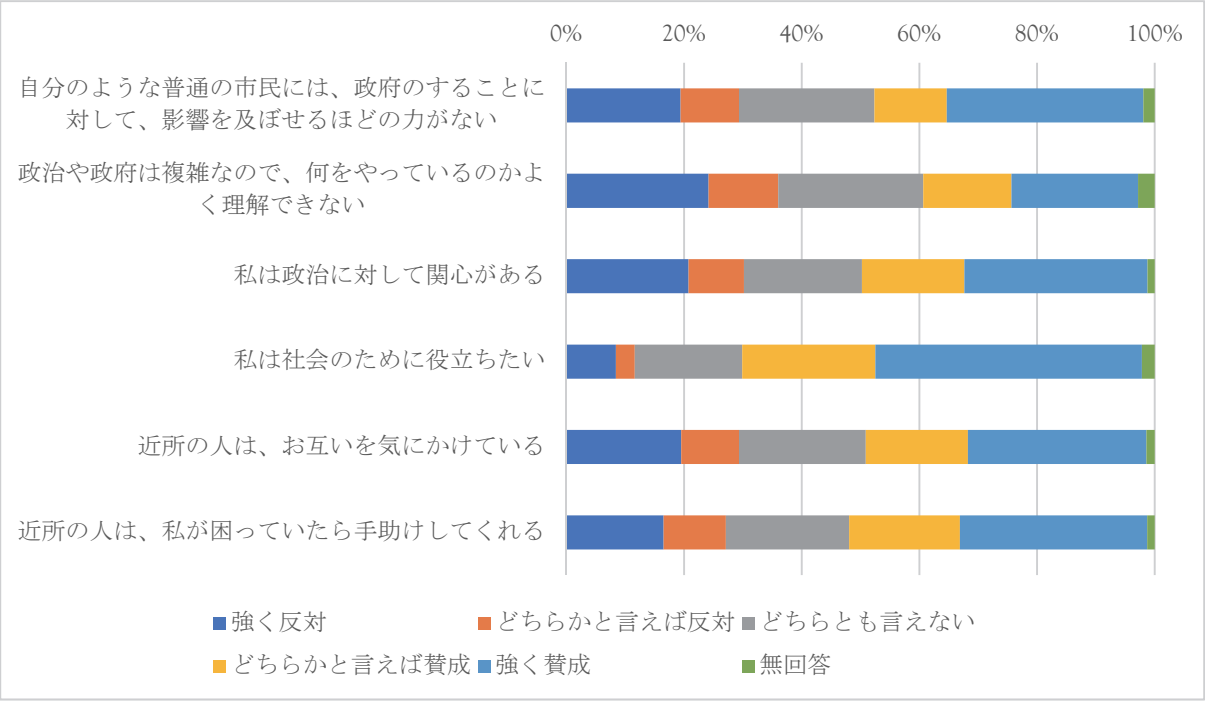


図 E3-1　男女別

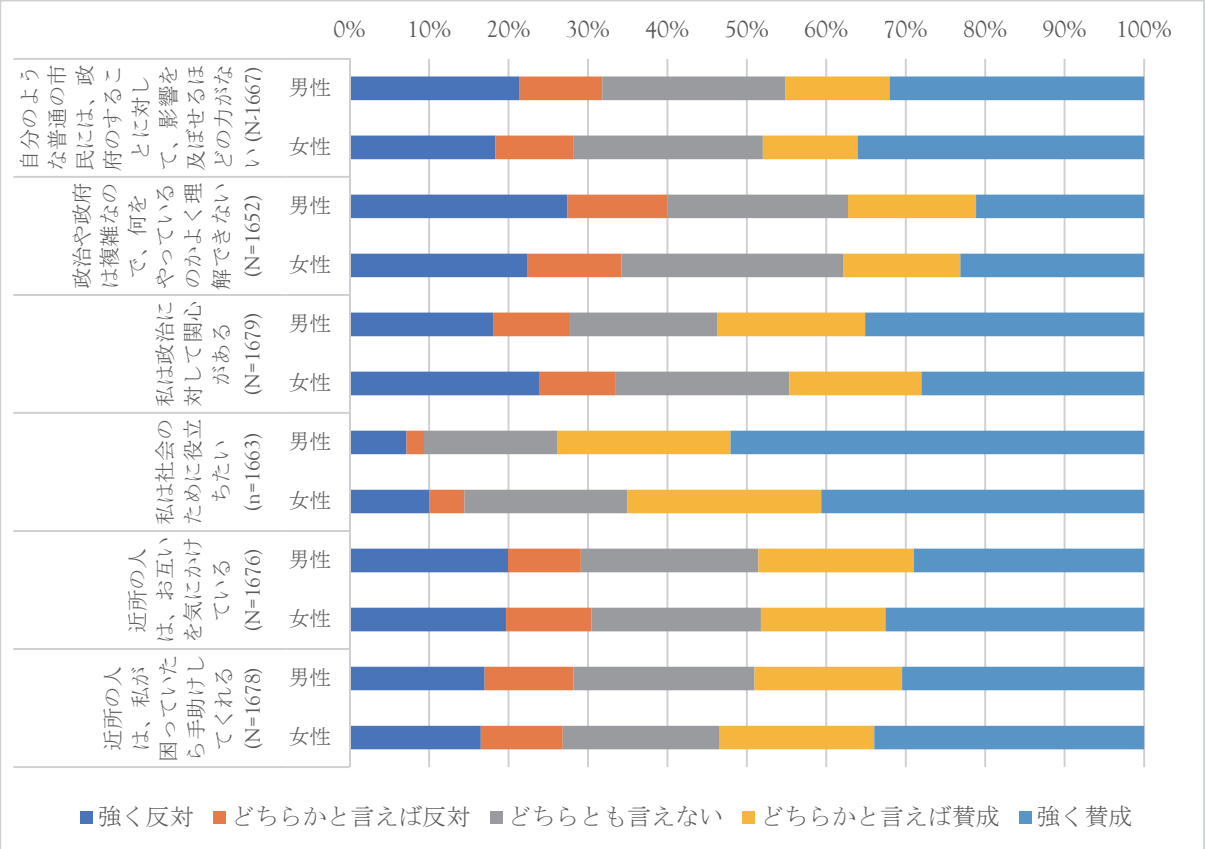


図 E3-2　年齢別

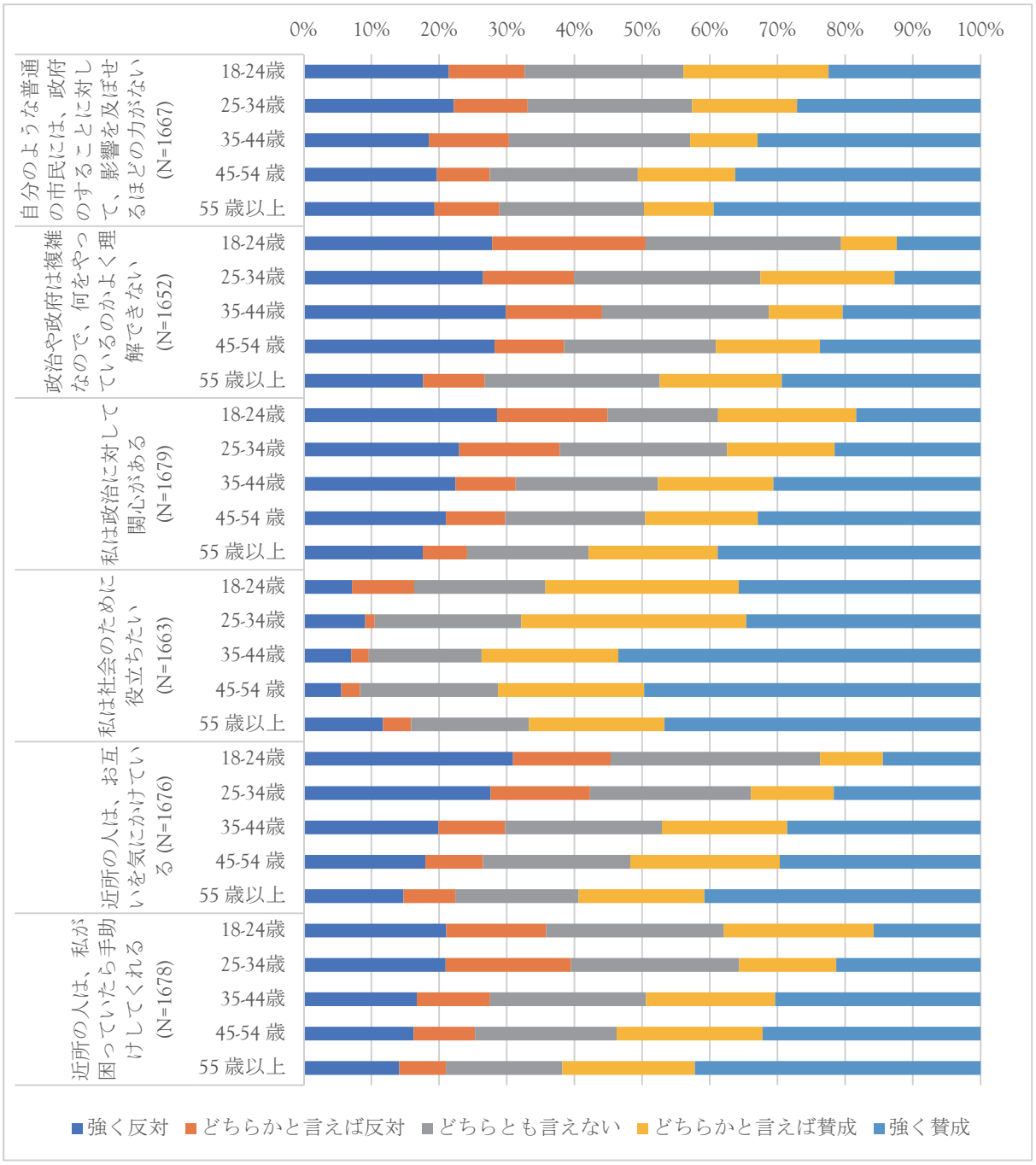

0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
自分のような普通の市民には、政府のすることに対して、影響を及ぼせるほどの力がない (N=1667)
政治や政府は複雑なので、何をやっているのかよく理解できない (N=1652)
私は政治に対して関心がある (N=1679)
私は社会のために役立ちたい (N=1663)
近所の人は、お互いを気にかけている (N=1676)
近所の人は、私が困っていたら手助けしてくれる (N=1678)
18-24歳
25-34歳
35-44歳
45-54 歳
55 歳以上
強く反対
どちらかと言えば反対
どちらとも言えない
どちらかと言えば賛成
強く賛成

図 E3-3　収入別

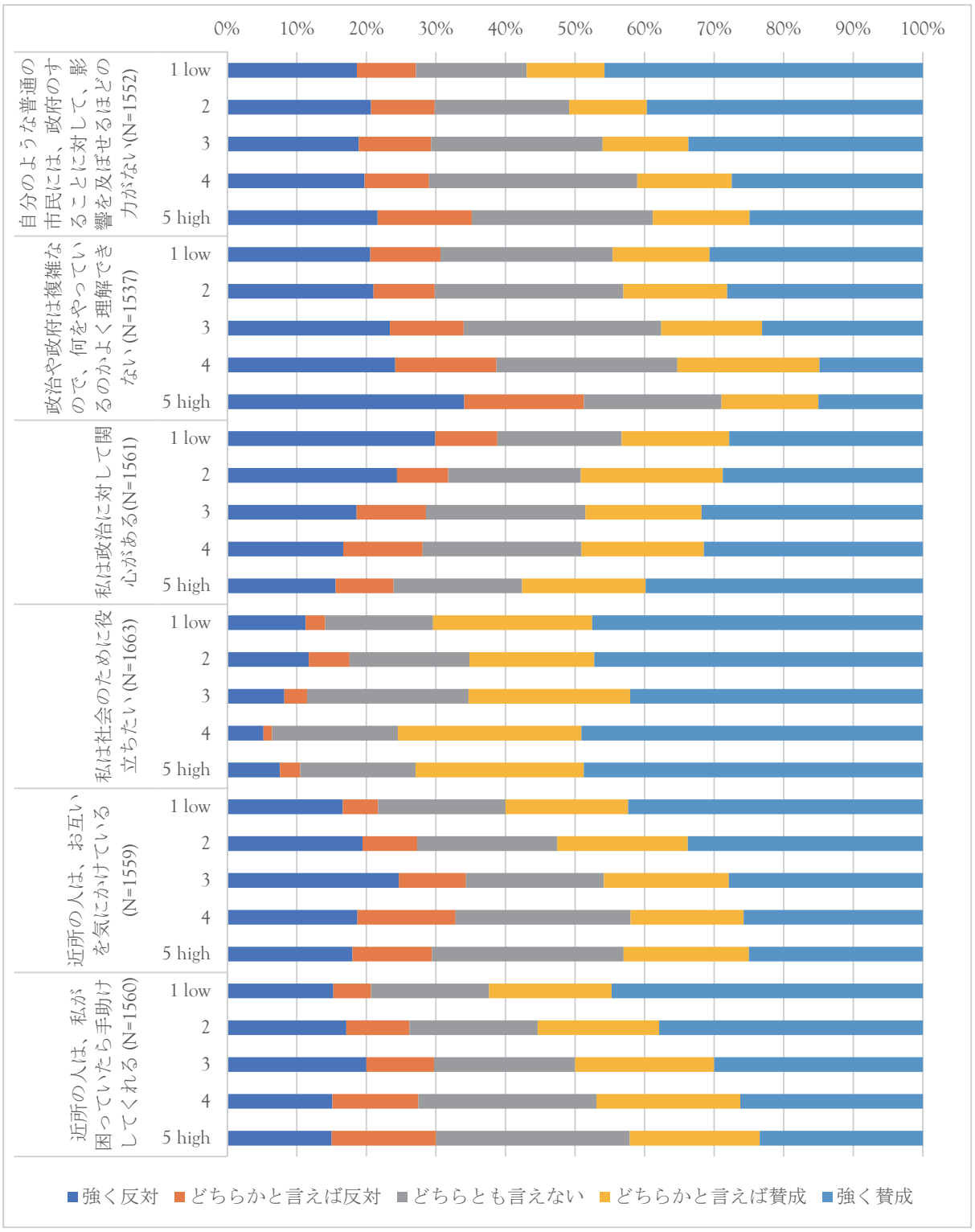
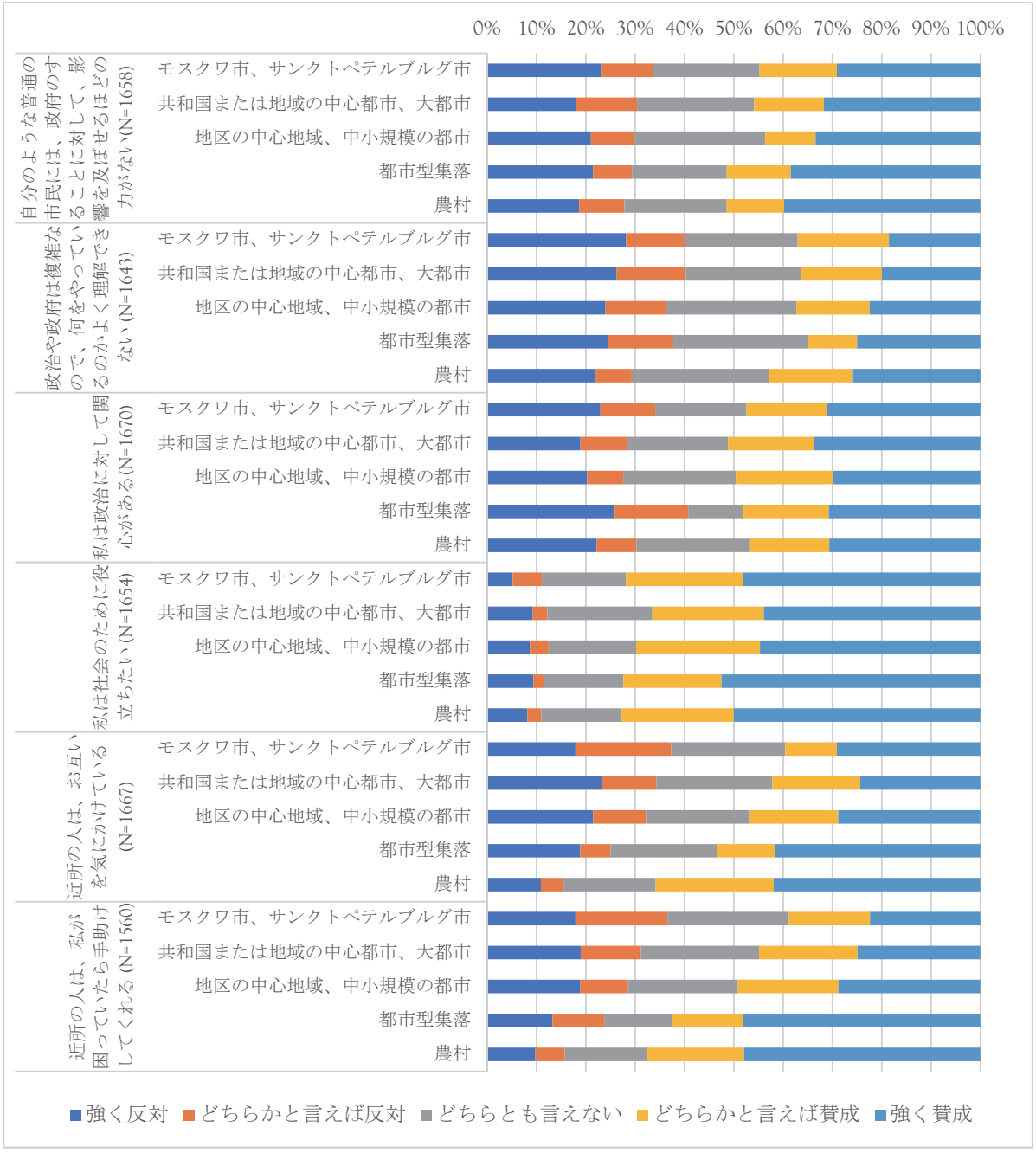

0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
自分のような普通の市民には、政府のすることに対して、影響を及ぼせるほどの力がない(N=1552)
政治や政府は複雑なので、何をやっているのかよく理解できない(N=1537)
私は政治に対して関心がある(N=1561)
私は社会のために役立ちたい(N=1663)
近所の人は、お互いを気にかけている(N=1559)
近所の人は、私が困っていたら手助けしてくれる(N=1560)
1 low
2
3
4
5 high
強く反対
どちらかと言えば反対
どちらとも言えない
どちらかと言えば賛成
強く賛成

図 E3-4　居住地域別


0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
自分のような普通の市民には、政府のすることに対して、影響を及ぼせるほどの力がない(N=1658)
政治や政府は複雑なので、何をやっているのかよく理解できない(N=1643)
私は政治に対して関心がある(N=1670)
私は社会のために役立ちたい(N=1654)
近所の人は、お互いを気にかけている(N=1667)
近所の人は、私が困っていたら手助けしてくれる(N=1560)
モスクワ市、サンクトペテルブルグ市
共和国または地域の中心都市、大都市
地区の中心地域、中小規模の都市
都市型集落
農村
強く反対
どちらかと言えば反対
どちらとも言えない
どちらかと言えば賛成
強く賛成

E4.（Q45.）過去 3 年間に、あなたのお住まいの地域の問題について、住民が共同で政治家や役所に対して陳情を行ったり請願書を提出したりしたことはありましたか？

	実数（人）	比率
一度もない	1046	61.53%
一度のみ	267	15.71%
2～5 回	310	18.24%
6 回以上	66	3.88%
無回答	11	0.65%
総計	1700	100.00

図 E4-0　総計（N=1700）

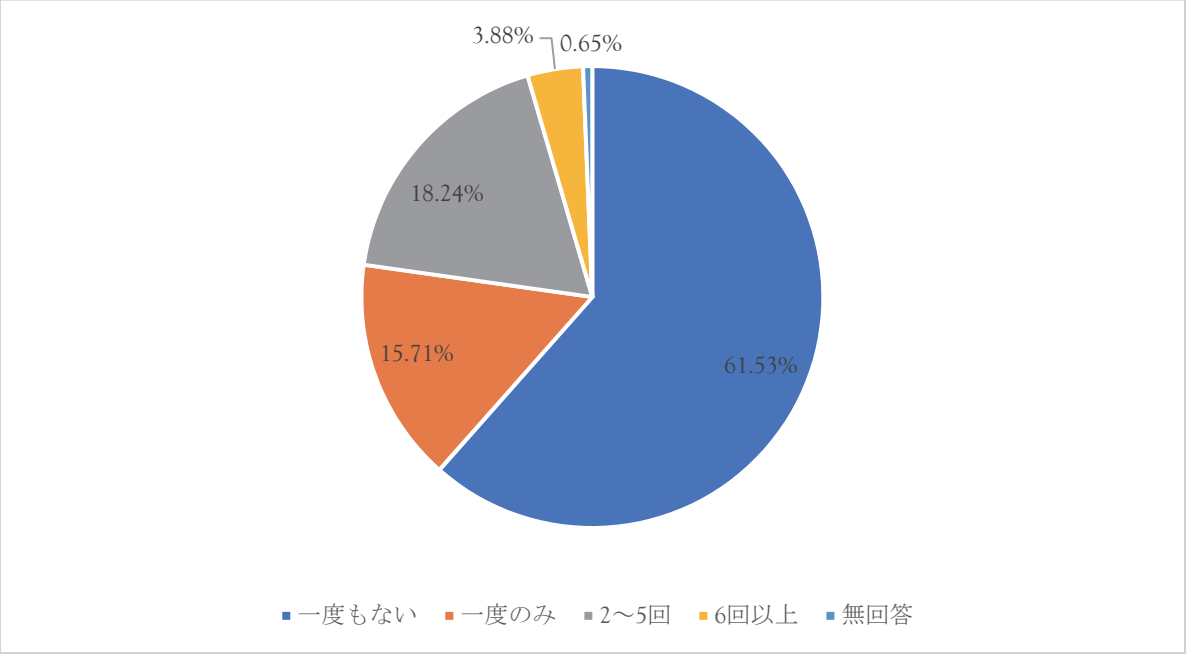


図 E4-1　男女別（N=1689）

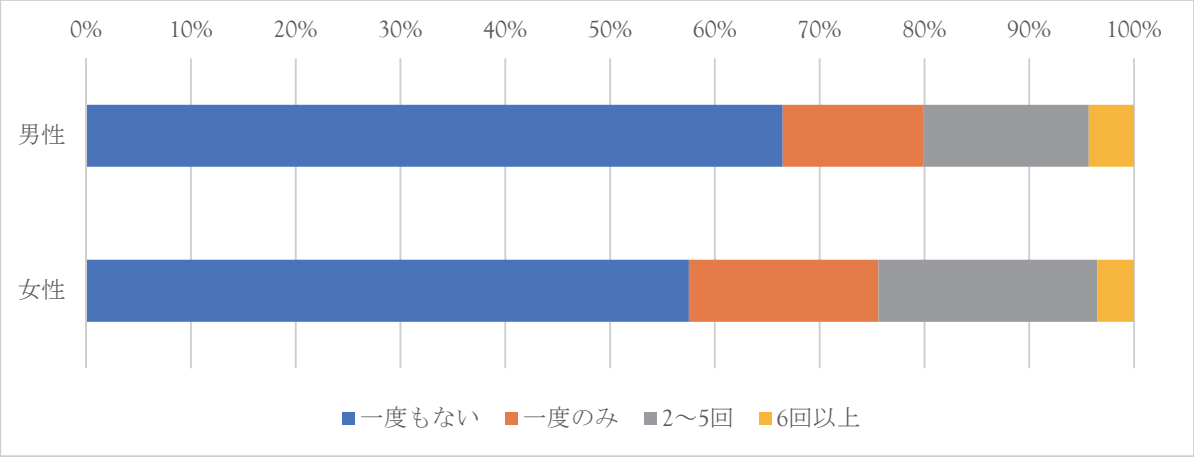


図 E4-2　年齢別（N=1689）

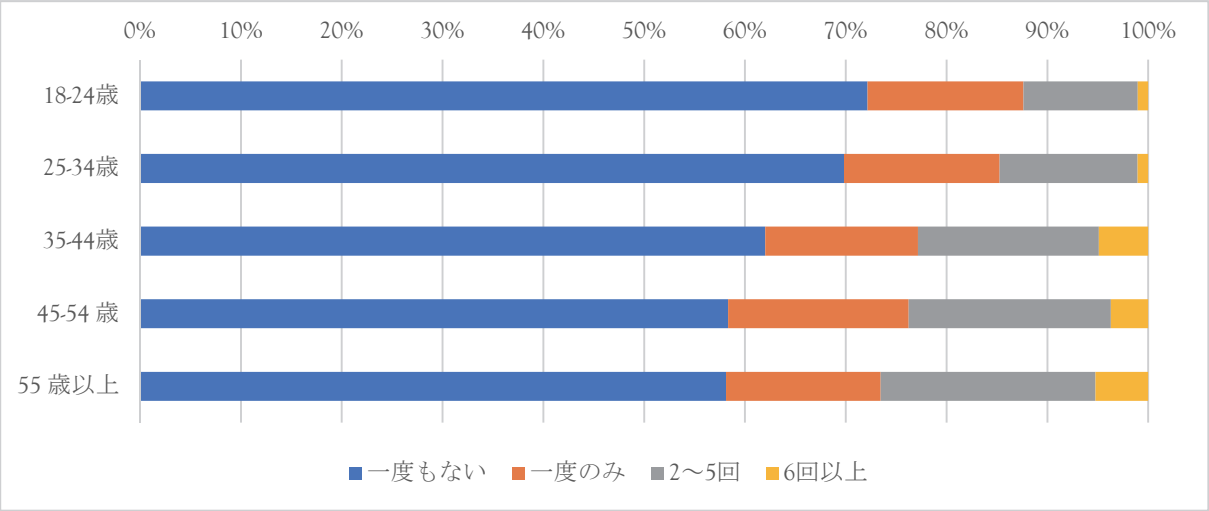


図 E4-3　収入別（N=1573）

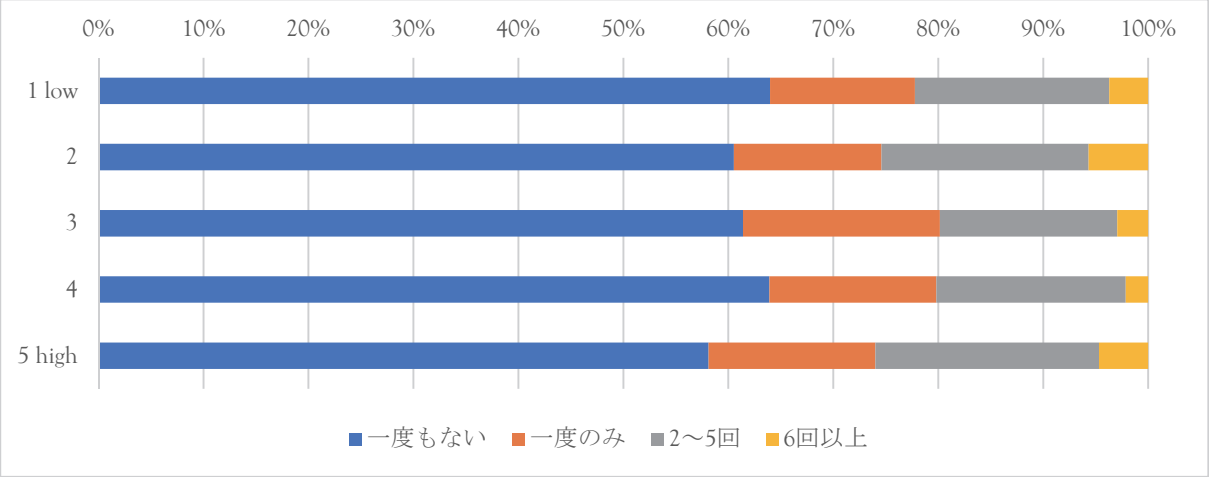
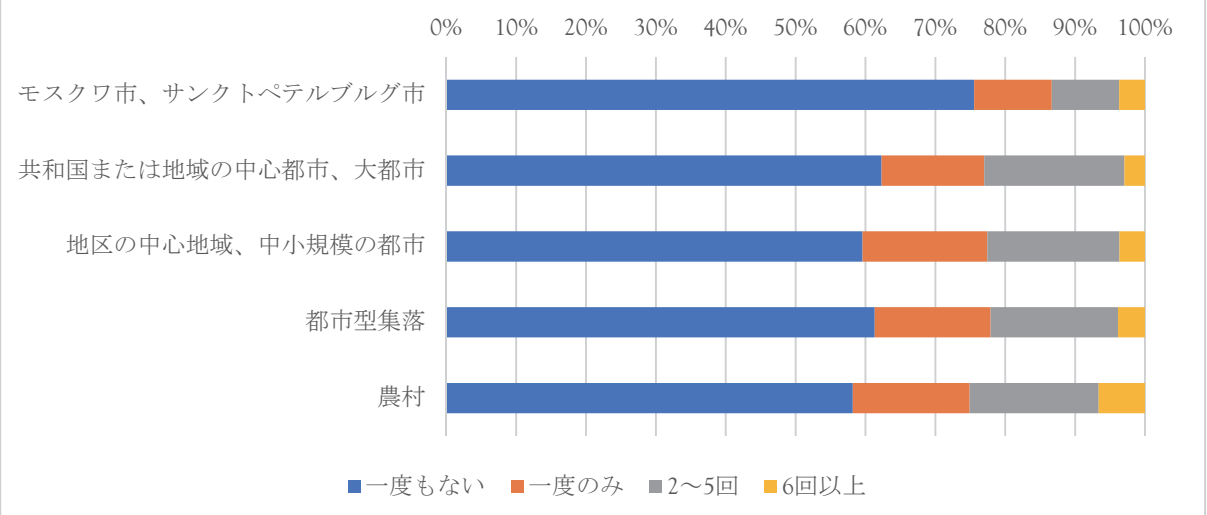


図 E4-4　居住地域別（N=1681）



F. パンデミックの影響

ソーシャル・キャピタルは、新型コロナ感染症の結果に影響するだけでなく(Bartscher et al., 2021)、パンデミックの影響も強く受ける。本節では、責任の所在、情報に対する信頼、生活や労働の変化、支援の状況などにかかわって検討しよう。

新型コロナ感染症の責任（F1/Q46）は、世界的に見れば誰の責任でもないという見方が強いが、ロシアでは、すべての人および国民がもっとも責任が大きく、次いで外国人となり、誰の責任でもないは4番目の大きさであり、さらに国家の責任はそれほど大きくない。こうした見方は女性に多いが、総じて観察される。

新型コロナ感染症に関する情報経路(F2/Q47)に関しては、友人・知人がもっとも信用のおける媒体であり、このことはネットワーク、ソーシャル・キャピタルがパンデミックに対する行動に深く影響していることを意味する。次いで、国家の信用度が高く、従来のメディアがそれに次ぐ。他方、インターネット、ソーシャルメディアの信用度はもっとも低い。このことは、友人・知人のコロナに関する情報がもっとも信頼できるとする Артамонов, Лаврентьев (2021, c.14)に合致している。もっとも、上記資料では、インターネット、SNS がテレビ・新聞といった伝統的メディアよりも信用度は低く、本調査とは対照的な結果を示している。

相対的に信用度の高い従来メディアは高齢層ほど、低所得層ほど信用されており、逆に低年齢層、高所得層は信用していない。このことは、大統領支持の媒体のケースと重なる。また、従来メディアは、都市部よりも農村部で信用度が大きい。明らかに政府の公式報道が受け入れられやすい層・所得階層と地域が特定化される。ちなみに、国家機関および地方自治体は高齢層ほど、低所得層ほど信用度が高く、都市部よりも農村部での信用が高くなっており、従来メディアと同様の特徴を検出することができる。一方、インターネットおよびソーシャルメディアは若年層ほど信用が高い。友人・知人は所得、年齢にかかわりなく信用度が高い。

パンデミックの生活への影響(F3/Q48)は当然、相対的にネガティブの方が多い(37%)が、大半(58 %)は変わらないと見なしている。この比率の分布は日本のケースでも 34.8%、57.5%とほぼ同じ水準を指し示している。悪影響は高齢層、低所得層でやや多くなっているが、地域的な特徴は検出されない。収入に対する影響(F4/Q49)も類似した傾向で、63%が変わらない、31%が減少となる。興味深いことに高所得層ほど収入がよくなったと見なしている。

さらに、仕事に対する影響（F5/Q50）では、半数以上が何も変わらないと答え、高齢層、高所得層ほど変わっていない。次いで仕事をしなかったという回答が多く、若年層ほど多い。さらに退職・転職、オンライン勤務が続くが、相対的に若年層に検出される。

パンデミックに伴う生活の変化(F6/Q51)では、ここでも半数ほど(45.2%)が何も変わっていないと回答したが、労働時間の短縮から家族との時間の増加が多く（18%)、次いで新しい知識・技術の習得、余暇・レクリエーション・スポーツ、仕事が 7－8%で続く。とくに新しい知識・技術の習得および余暇等は若年層・高所得層に顕著に見える。

ワクチンの有効性(F7/Q52)について、信用しているものは 58.1%で同時期の日本の 55.8%と大きく変わらず、不信は 39.2%占めた。年齢が高くなるにつれ信用の度合いが高くなるが所得と居住地域については大きな差はない。

政府のコロナに対する政策の評価(F8/Q53)では、きわめて有効ではなかったという回答が15.7%、きわめて有効であったという回答が 23.4%で、概して有効とする回答へのバイアスは高

い。政策に対する信用は相対的に女性、高齢層、低所得層で高くなっており、貧困対策の一面を示唆する。

パンデミック時の物的支援 (F9/Q54)について言えば、政府は政策評価でみるほどきわめて有効は多くはないが(18.5%)、項目の中では相対的に高い水準にある。とくに、高齢層、低所得層、農村部に有効の回答は多い。中央政府に比して地方政府の支援は驚くほどに有効ではないという回答の比率は過半を超えており、このことは地方財政の逼迫状況を示唆する。政府を除けば、支援がもっとも有効であったのは、家族・親戚(47.1%)、ついで友人・知人(17.7%)であり、閉じた社会的ネットワーク・特定化信頼の有効性を示唆している。とくに、家族・親戚については、女性、高齢層、低所得層に有効性が確認される。その一方で、企業、地域社会、NPO・NGO、近所はまったく支援がないか有効ではない。ただし、近所が低所得層において有効度が高くなっている。人の接触がパンデミックの伝染要因になっている以上、一般的信頼、社会におけるネットワークが有効ではないのは当然の結果であったと言える。

F1.（Q46.）ロシアにおける新型コロナ感染症感染拡大を引き起こした責任はどこにあると思いますか。最も重要と思うものを 1 つ選んでください。

	実数（人）	%
1 国民	409	24.1
2 大統領と政府	73	4.3
3 地方自治体	43	2.5
4 政治家および国会議員	26	1.5
5 政府関係者	16	0.9
6 大企業の役員	6	0.4
7 外国人	191	11.2
8 その他	92	5.4
9 誰の責任でもない	188	11.1
10 多少なりとも全員に責任がある	549	32.3
99 回答拒否または答えられない	107	6.3
総計	1700	100.0

図 F1-0　総計（N＝1700）

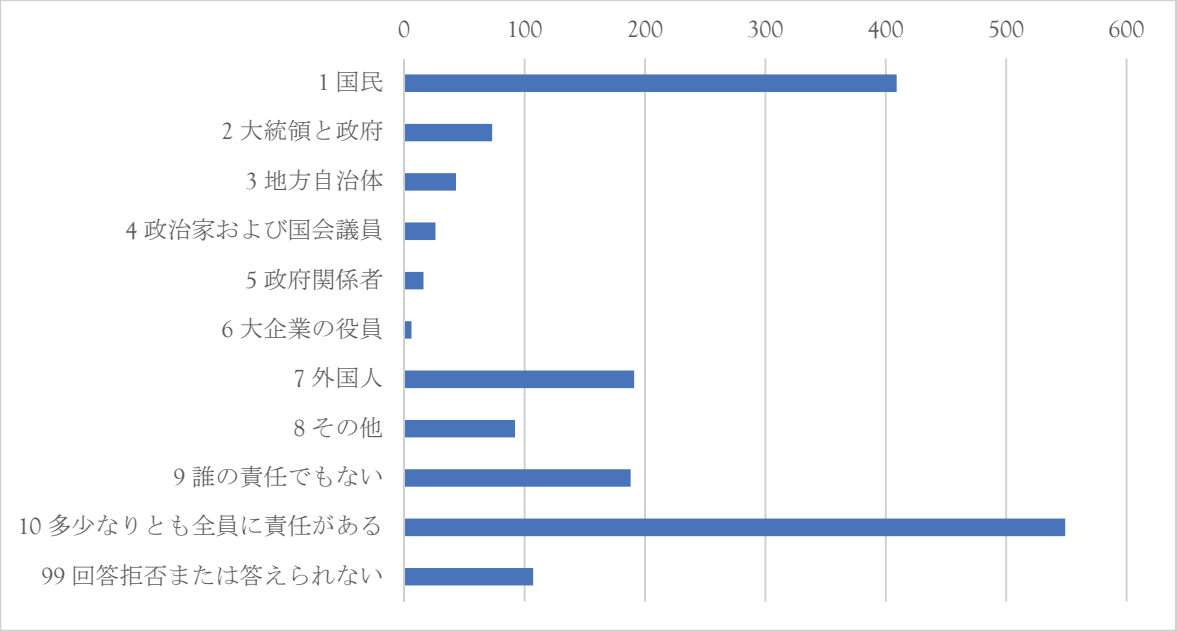


図 F1-1　男女別（N=1593）

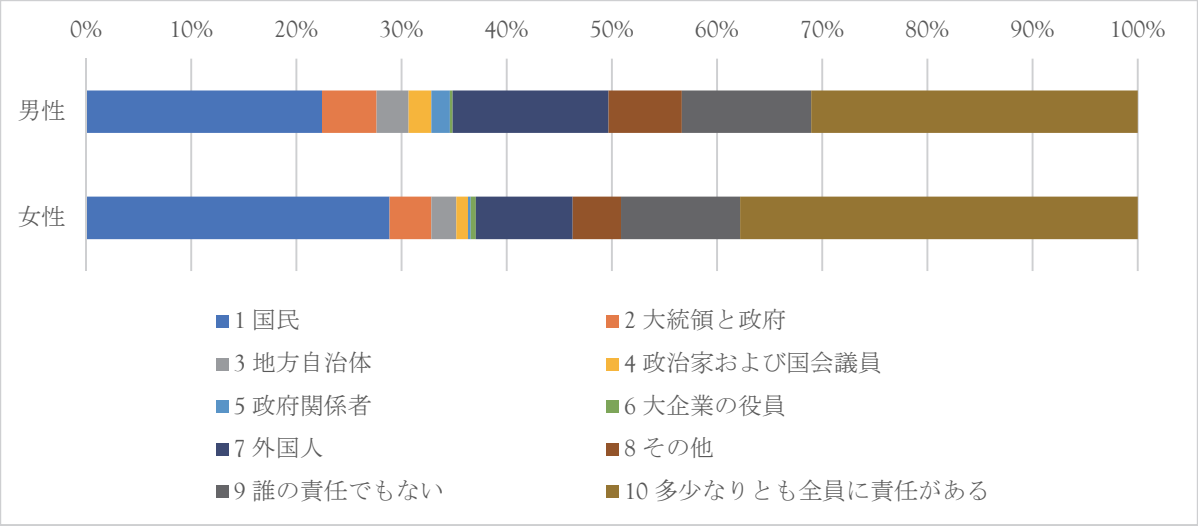


図 F1-2　年齢別（N=1593）

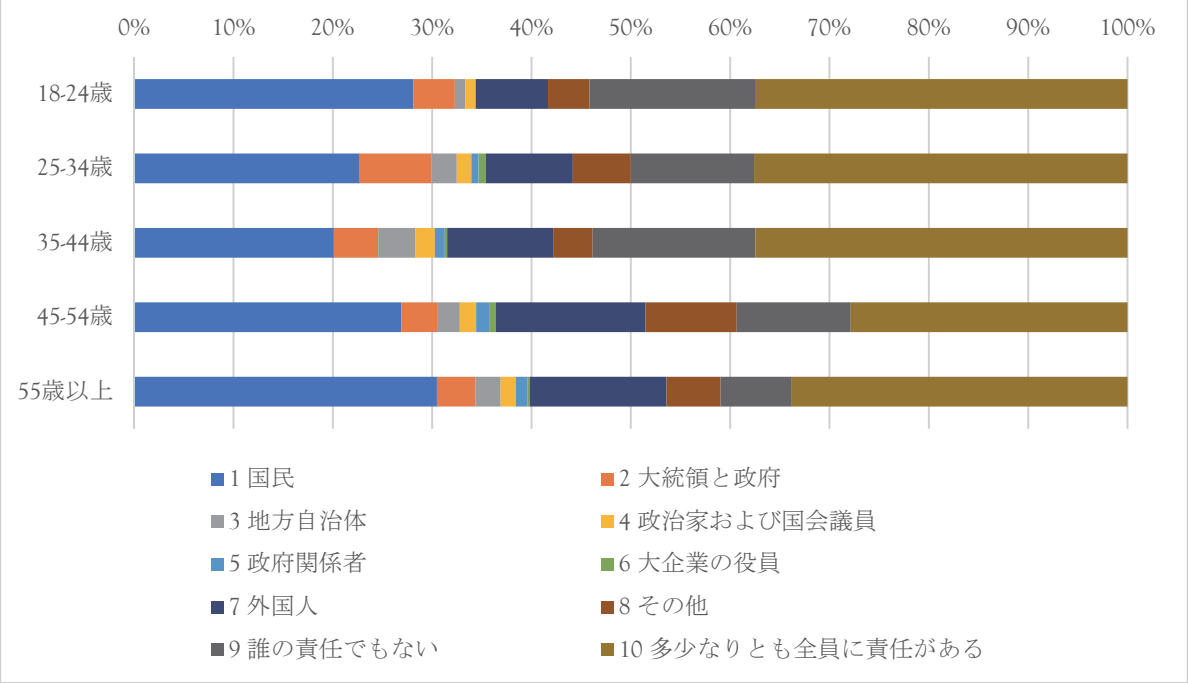


図 F1-3　収入別（N=1482）

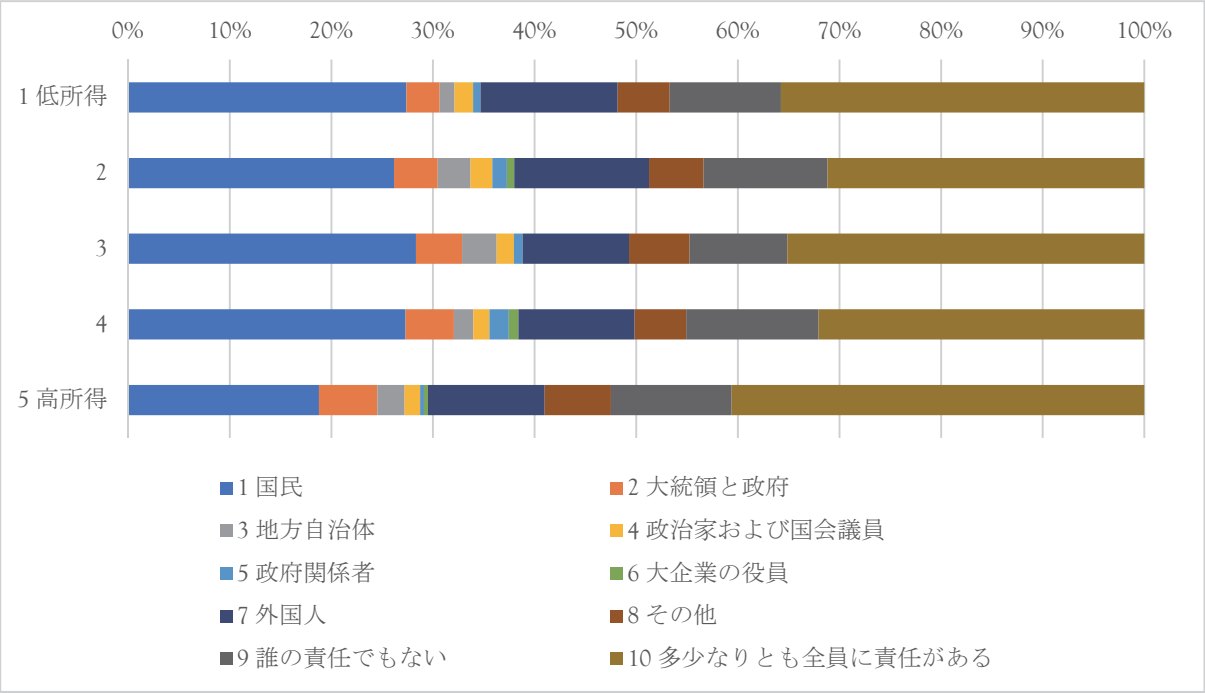
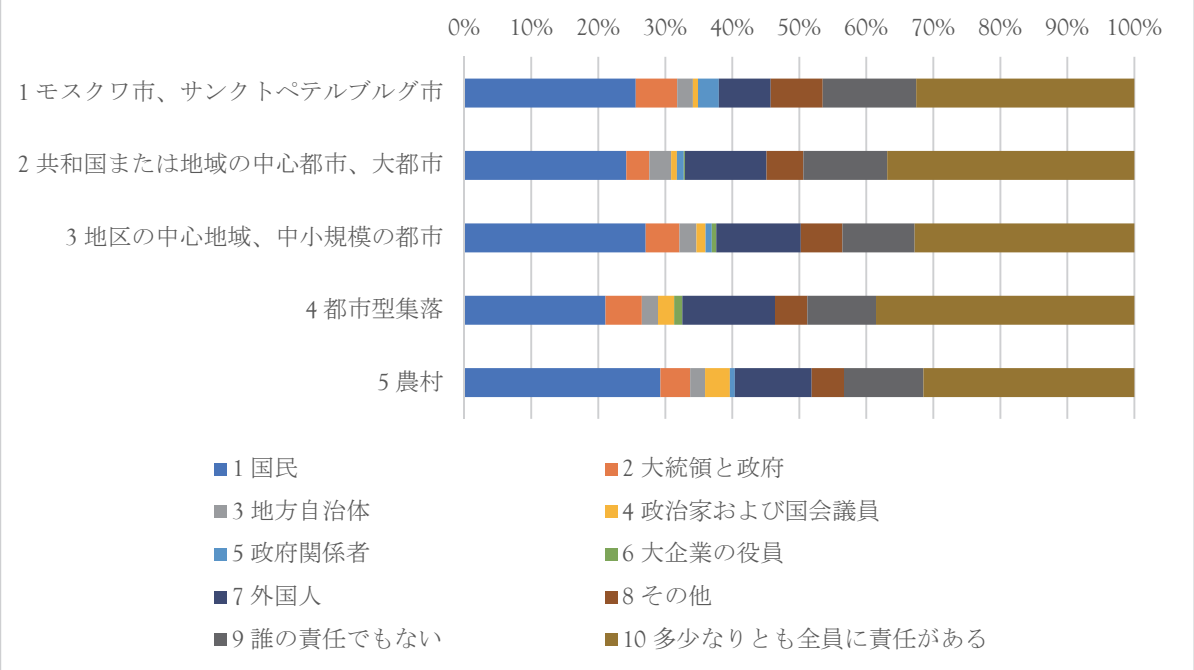


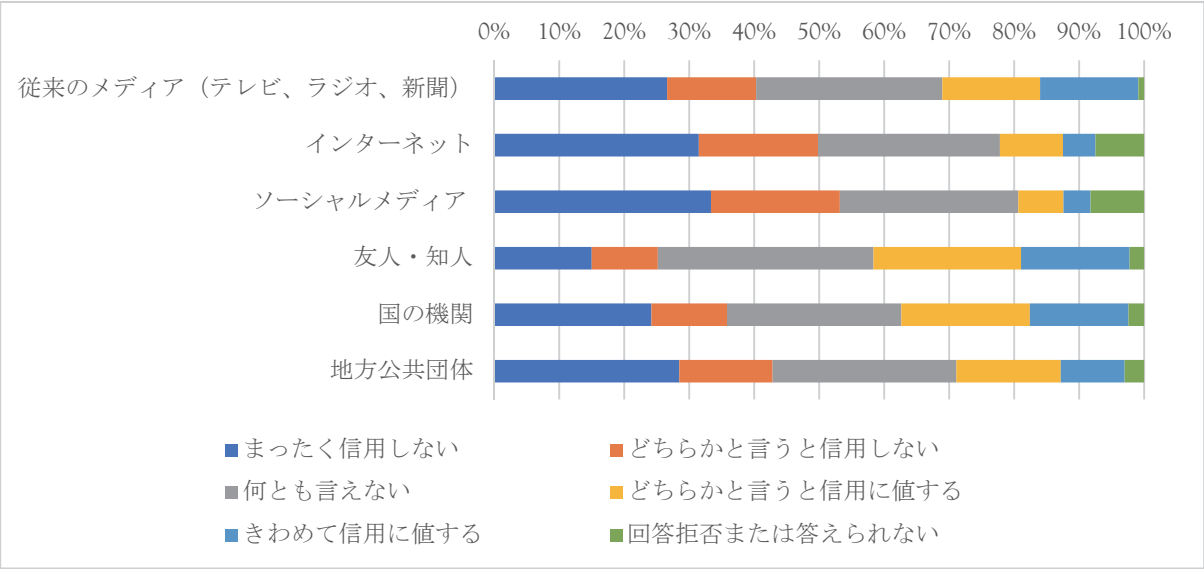
図 F1-4　居住地域別（N=1584）



F2.（Q47.）あなたは、パンデミックについて、以下の情報源から得た情報をどの程度信用していますか？1 が完全に不信、5 が完全に信用できるとして、1～5 のスケールで評価してください。

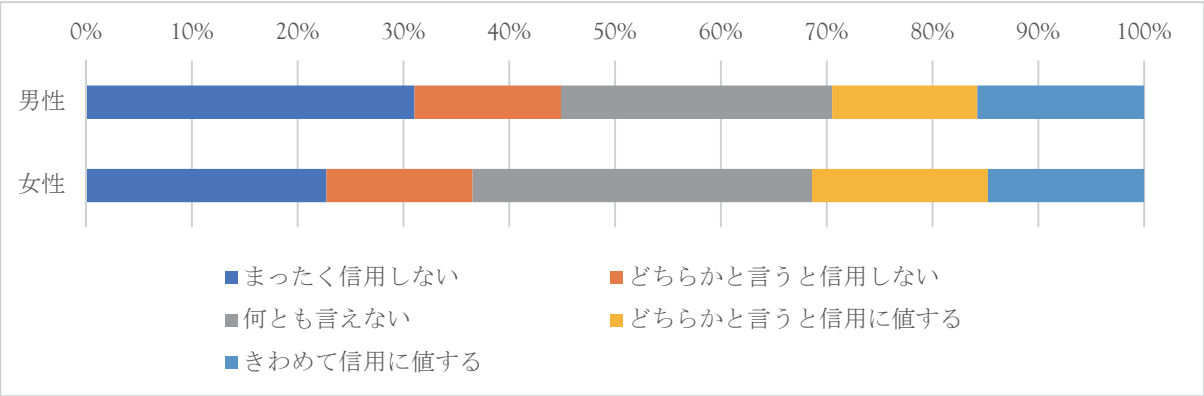
			全体	まったく信用しない	どちらかと言うと信用しない	何とも言えない	どちらかと言うと信用に値する	きわめて信用に値する	回答拒否または答えられない
F2-1 (Q47-1)	従来のメディア（テレビ、ラジオ、新聞など）	実数	1700	452	233	487	256	257	15
		%	100.0	26.6	13.7	28.6	15.1	15.1	0.9
F2-2 (Q47-2)	インターネット	実数	1700	535	312	476	165	85	127
		%	100.0	31.5	18.4	28.0	9.7	5.0	7.5
F2-3 (Q47-3)	ソーシャルメディア	実数	1700	567	337	467	118	71	140
		%	100.0	33.4	19.8	27.5	6.9	4.2	8.2
F2-4 (Q47-4)	知人・友人から	実数	1700	255	173	564	386	284	38
		%	100.0	15.0	10.2	33.2	22.7	16.7	2.2
F2-5 (Q47-5)	国の機関	実数	1700	411	198	456	336	258	41
		%	100.0	24.2	11.6	26.8	19.8	15.2	2.4
F2-6 (Q47-6)	地方公共団体の機関	実数	1700	484	244	481	273	167	51
		%	100.0	28.5	14.4	28.3	16.1	9.8	3.0

図 F2-0　総計（N＝1700）

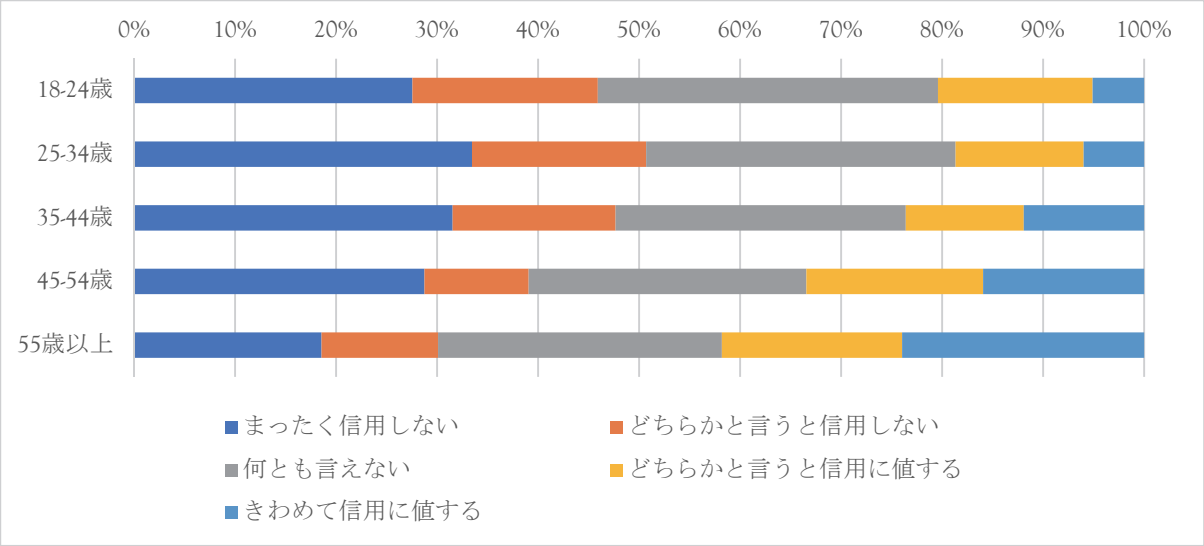


F2-1　従来のメディア（テレビ、ラジオ、新聞など）

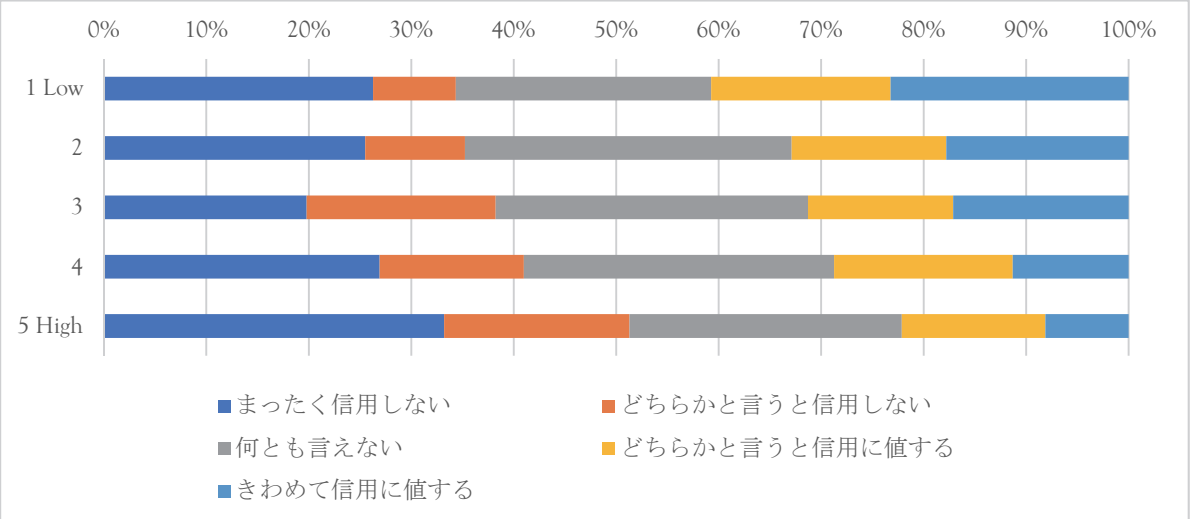
F2-1-1　男女別（N＝1685）



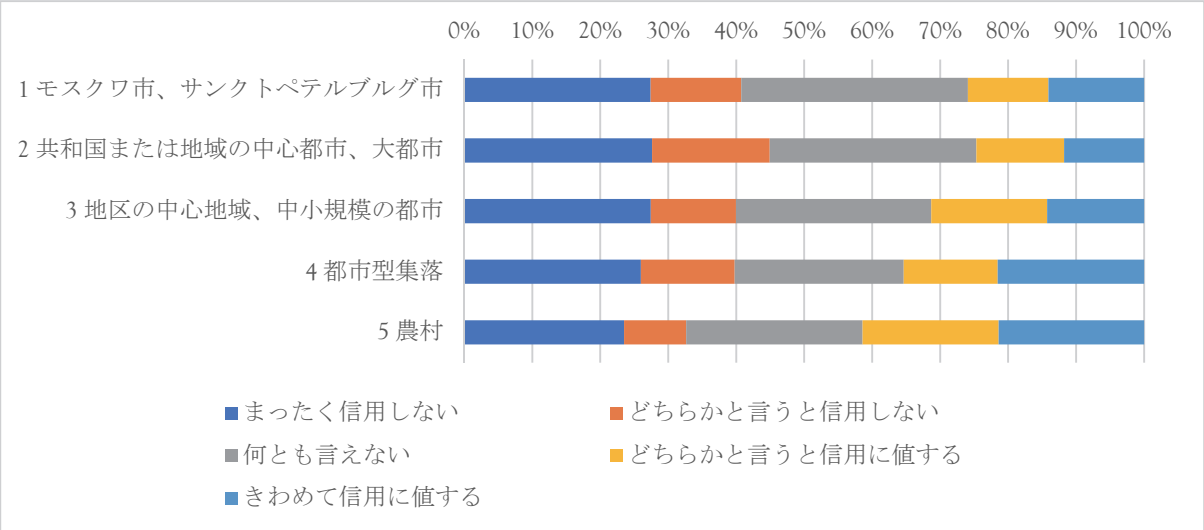
F2-1-2　年齢別（N＝1685）



F2-1-3　収入別（N＝1569）

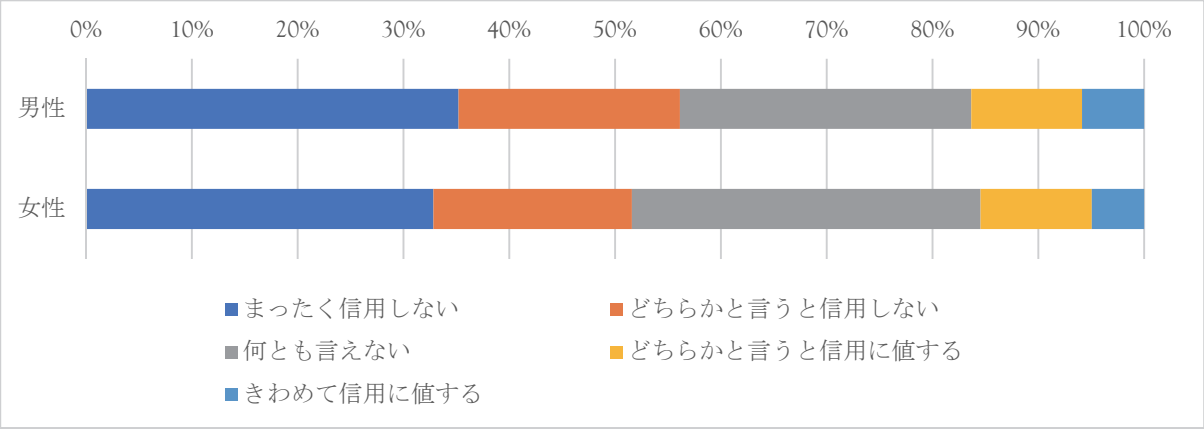


F2-1-4　居住地域別（N＝1676）

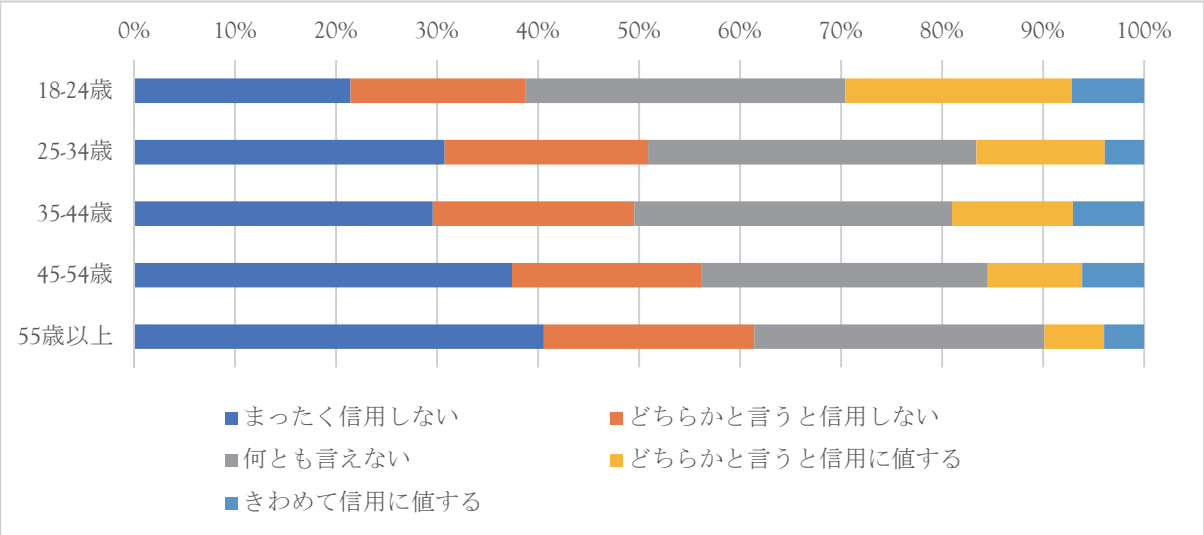


F2-2　インターネット

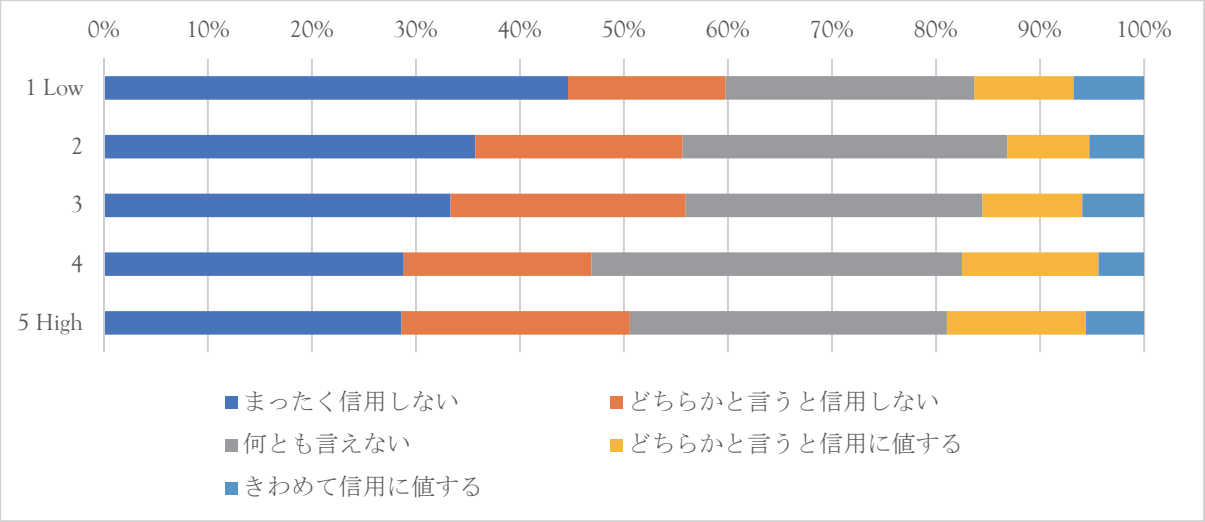
F2-2-1　男女別（N＝1573）



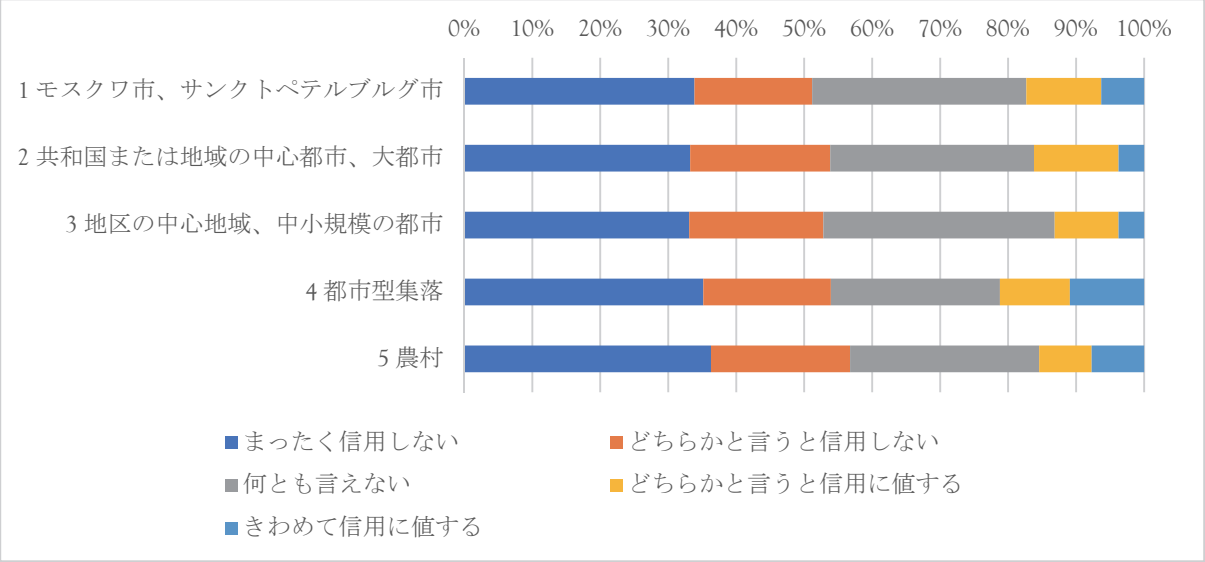
F2-2-2　年齢別（N＝1573）



F2-2-3　収入別（N＝1462）

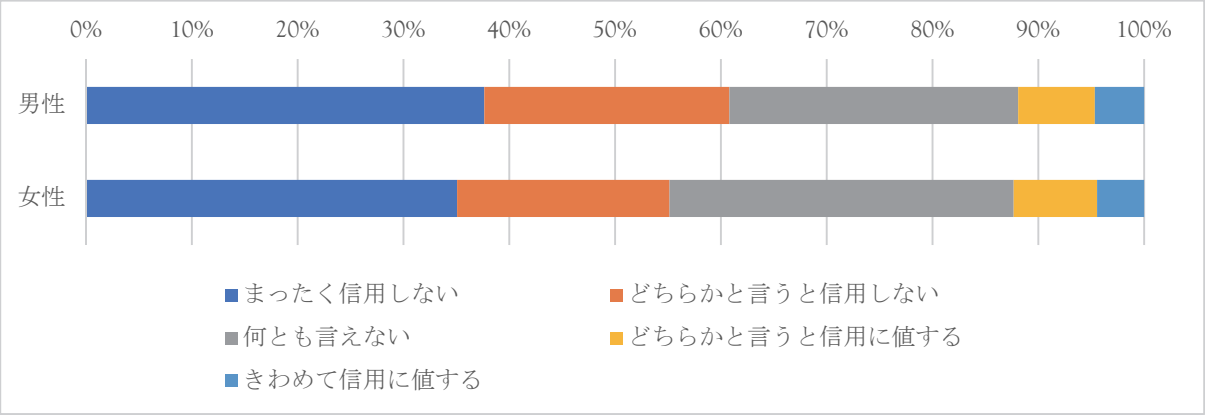


F2-2-4　居住地域別（N＝1564）

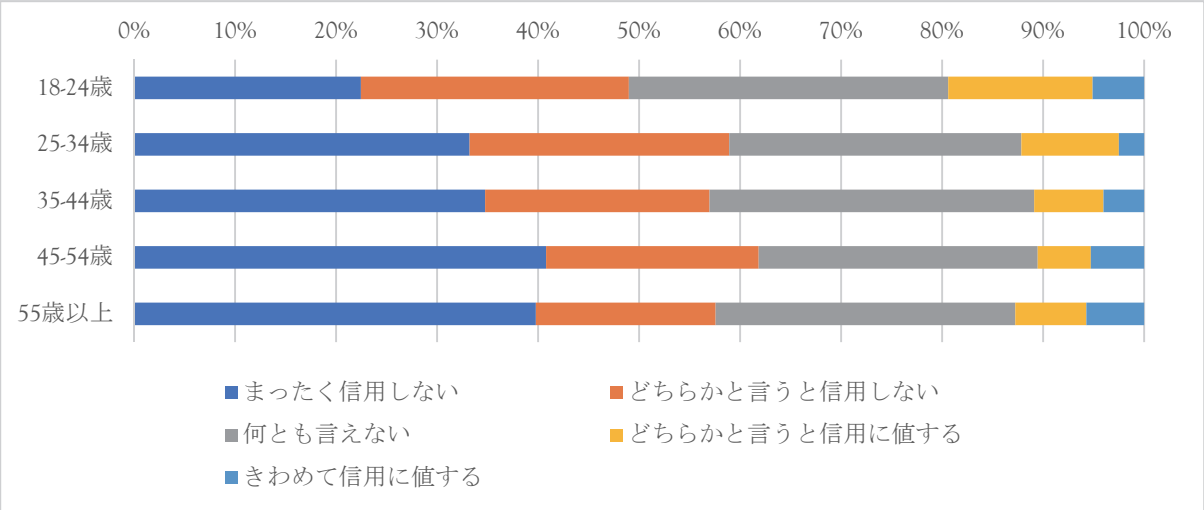


F2-3　ソーシャルメディア

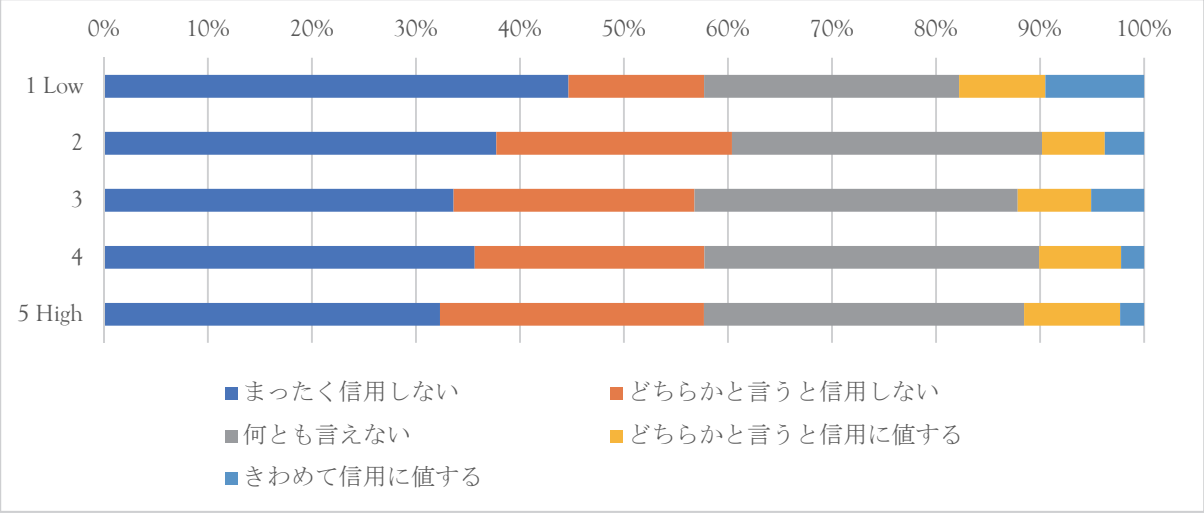
F2-3-1　男女別（N＝1560）



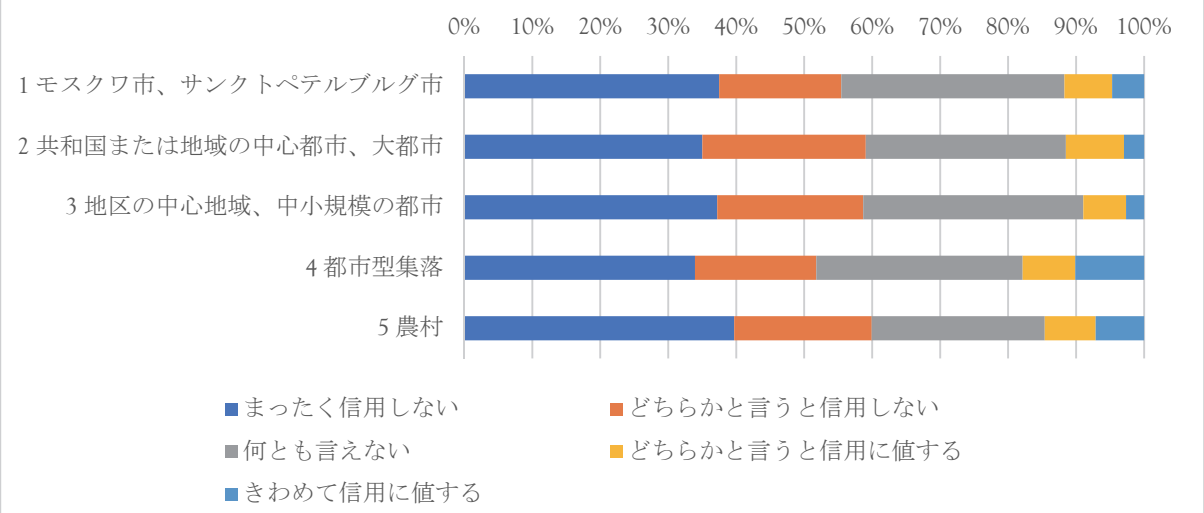
F2-3-2　年齢別（N＝1560）



F2-3-3　収入別（N＝1451）

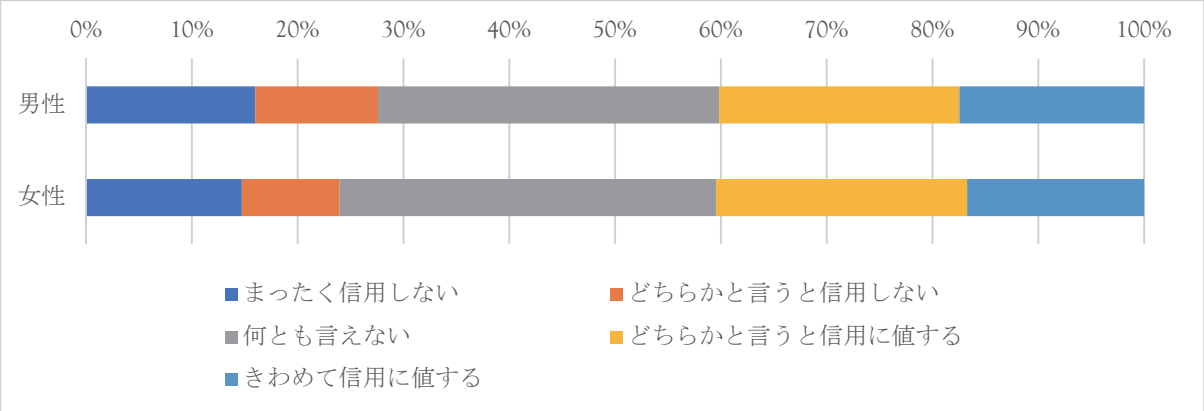


F2-3-4　居住地域別（N＝1551）

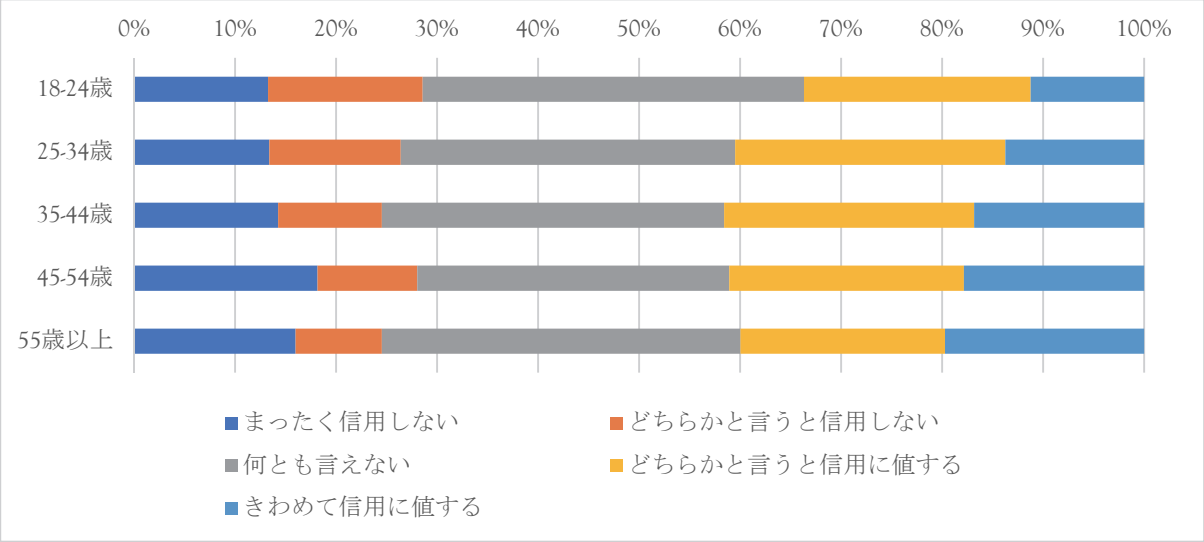


F2-4　友人・知人

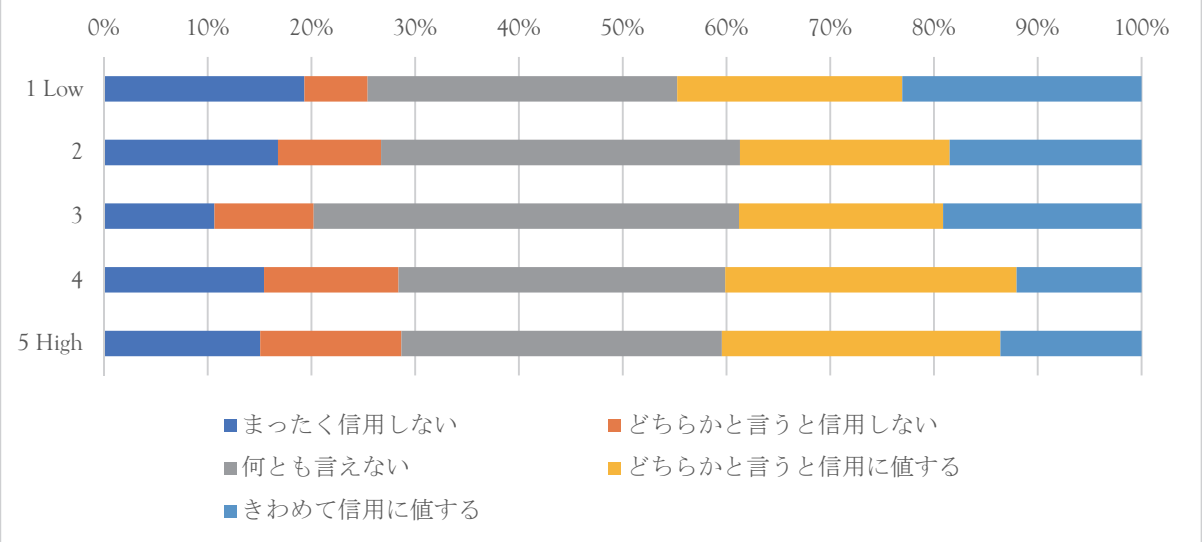
F2-4-1　男女別（N＝1662）



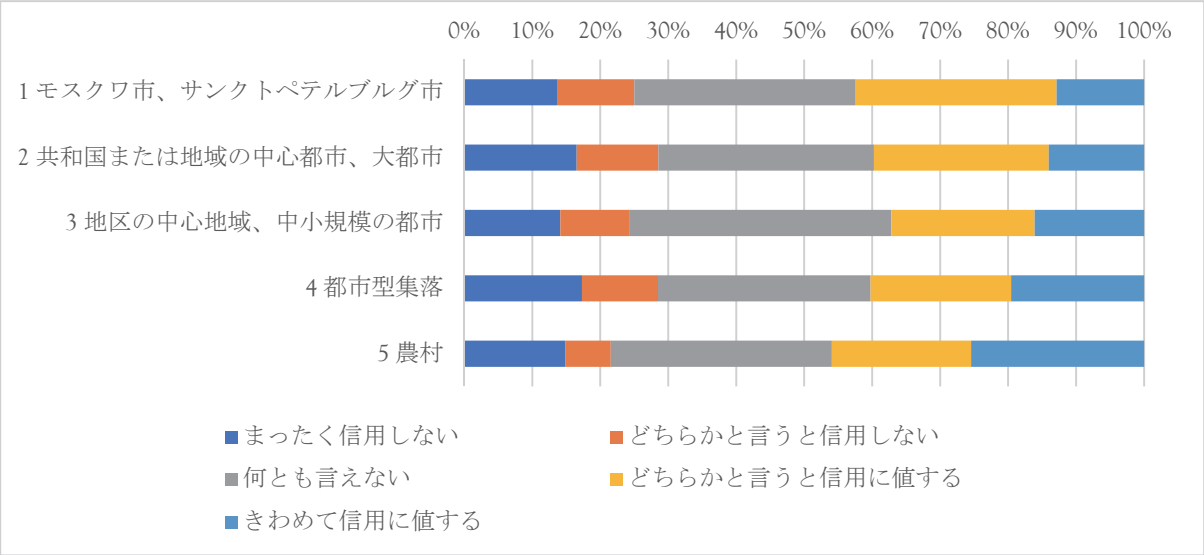
F2-4-2　年齢別（N＝1662）



F2-4-3　収入別（N＝1551）

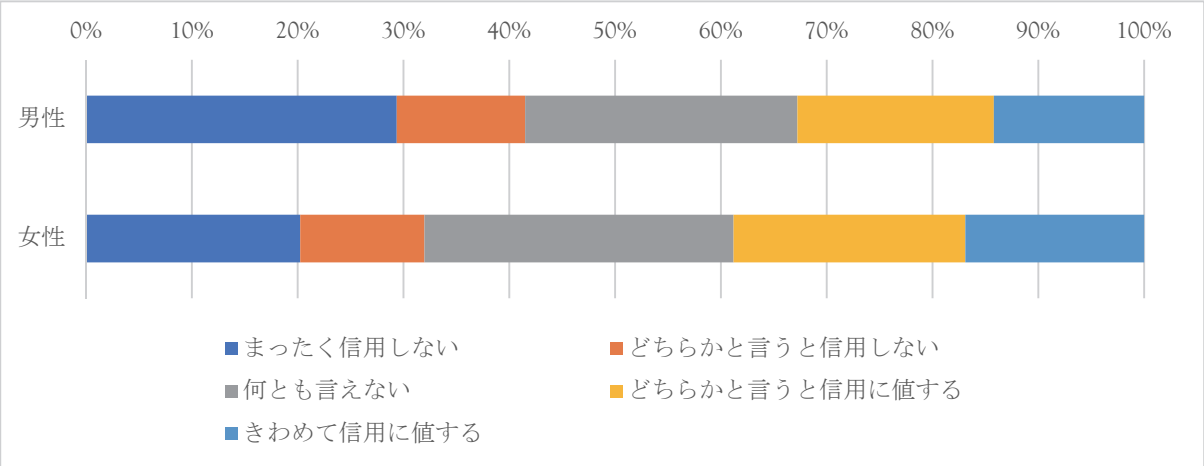


F2-4-4　居住地域別（N＝1653）

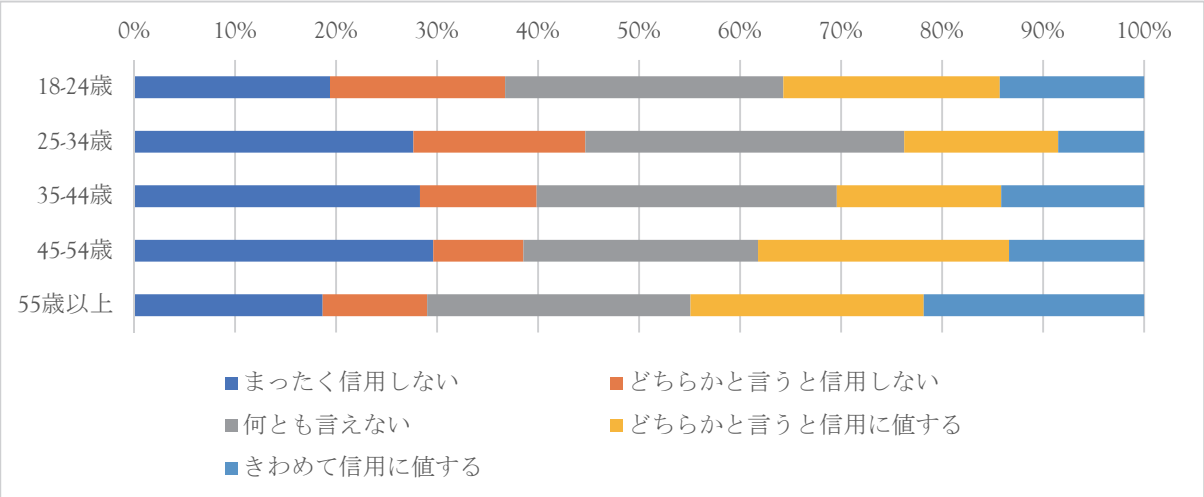


F2-5　国の機関

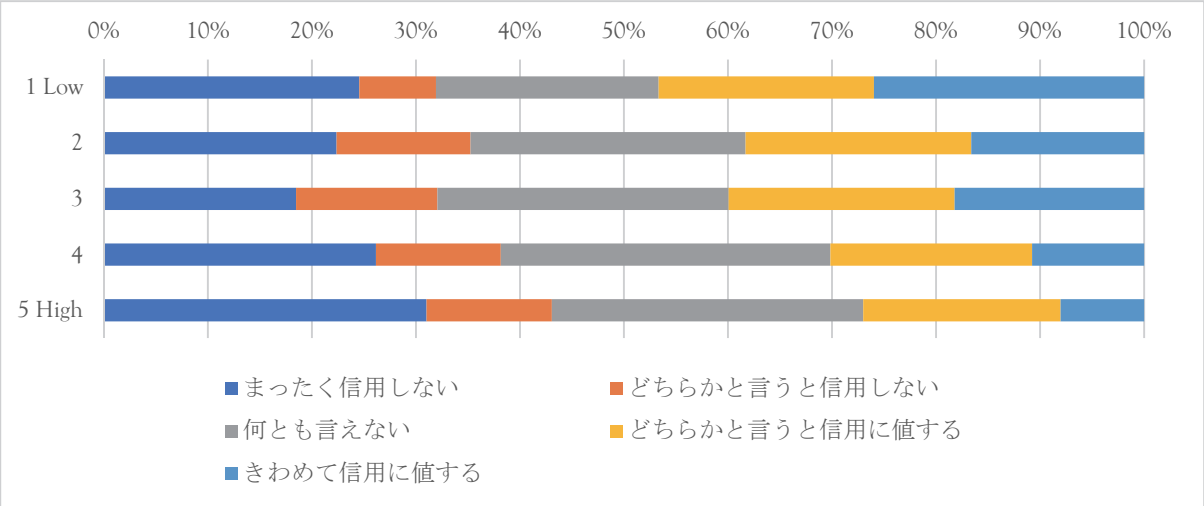
F2-5-1　男女別（N＝1659）



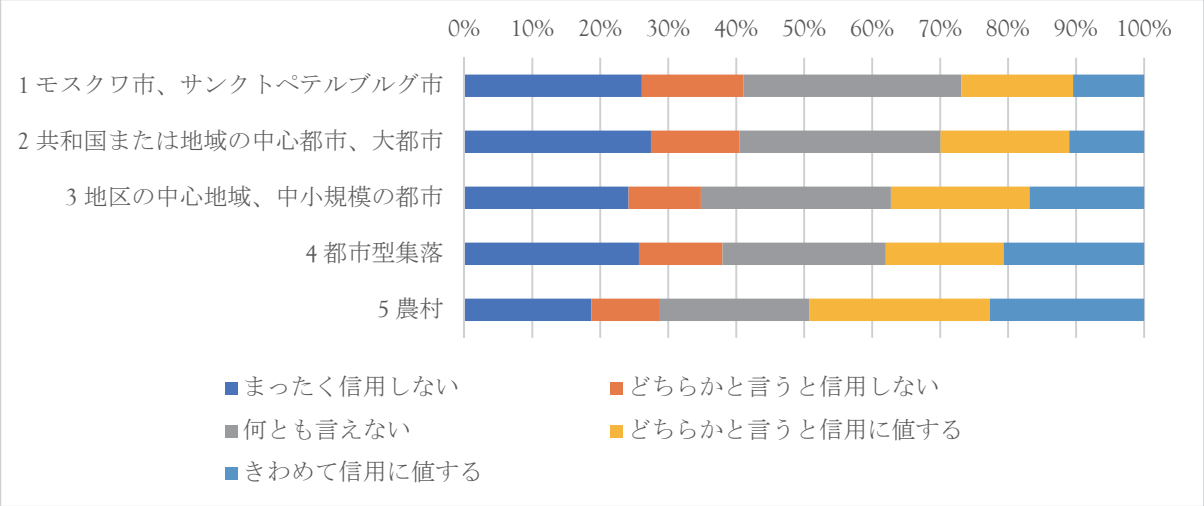
F2-5-2　年齢別



F2-5-3　収入別（N＝1549）

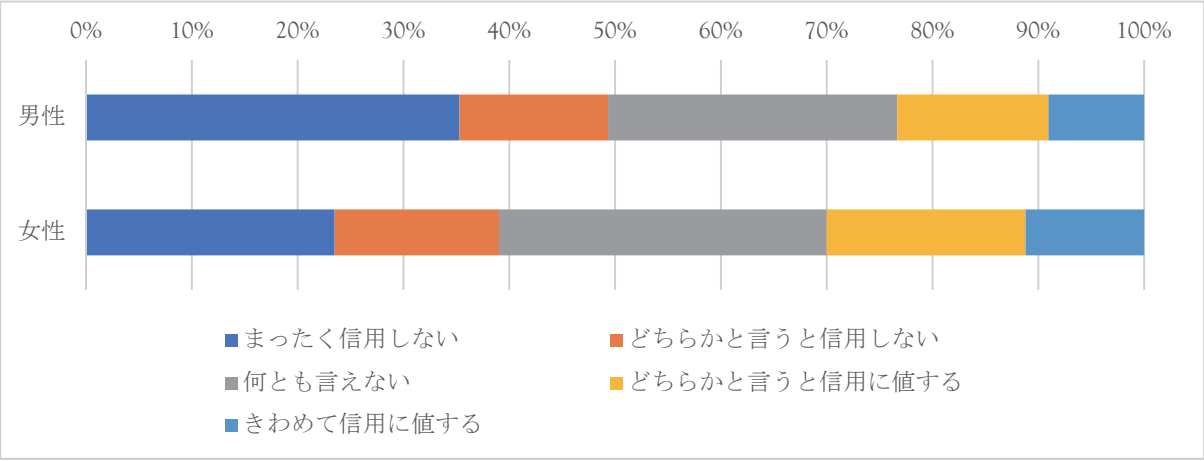


F2-5-4　居住地域別（N＝1650）

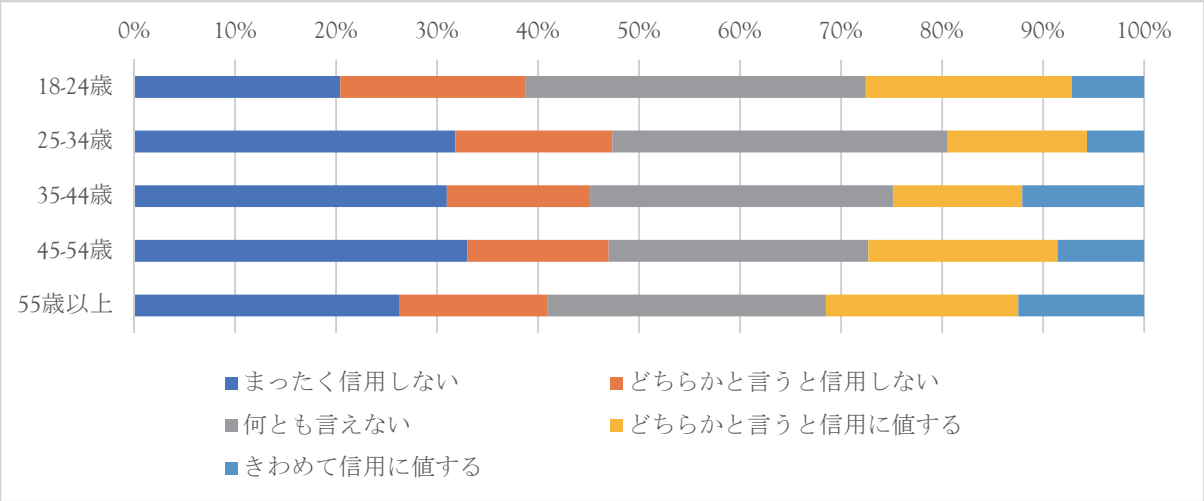


F2-6　地方公共団体

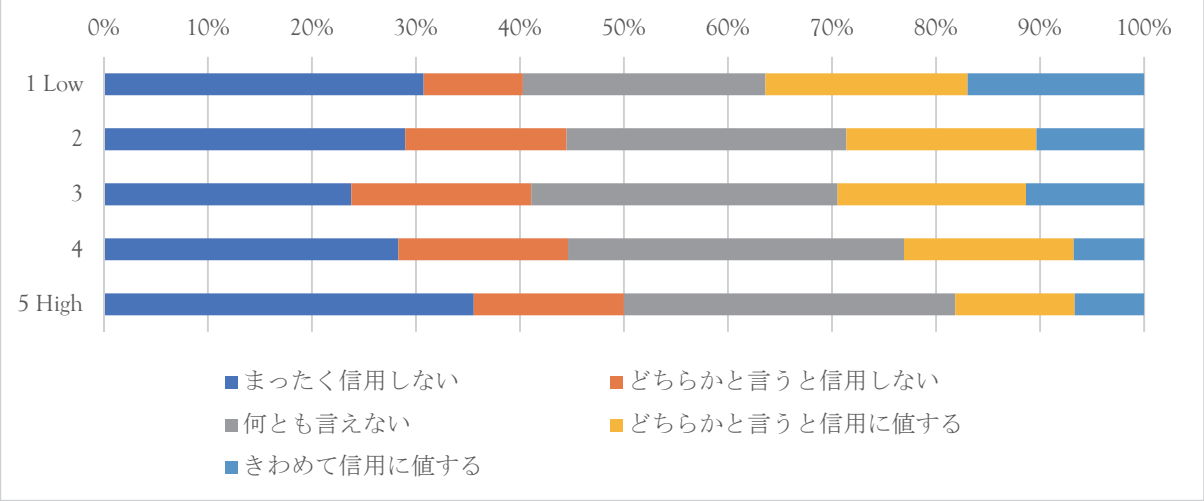
F2-6-1　男女別（N＝1649）



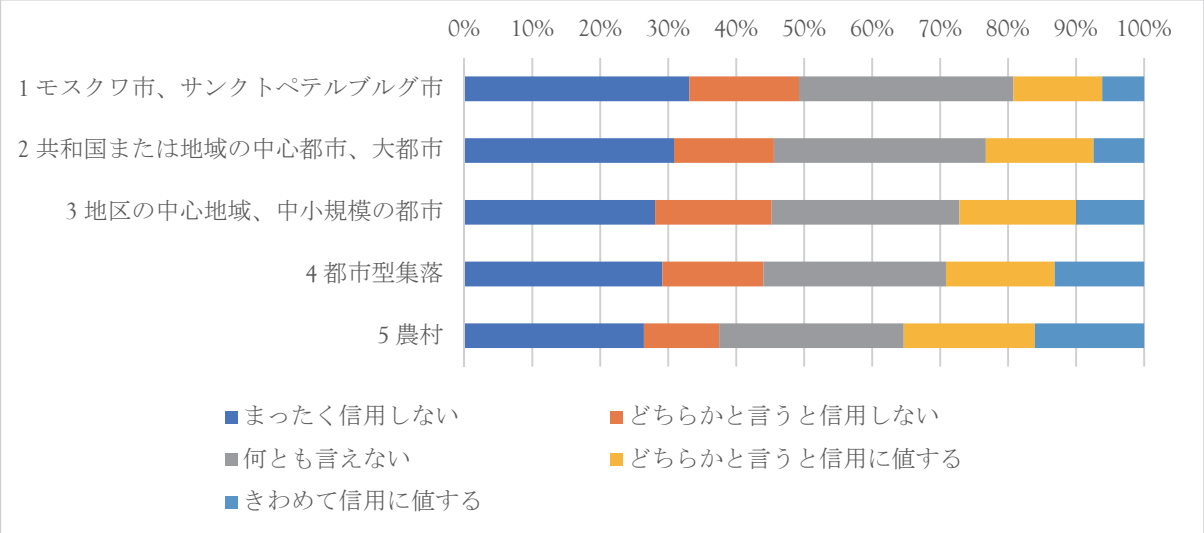
F2-6-2　年齢別（N＝1649）



F2-6-3　収入別（N＝1540）



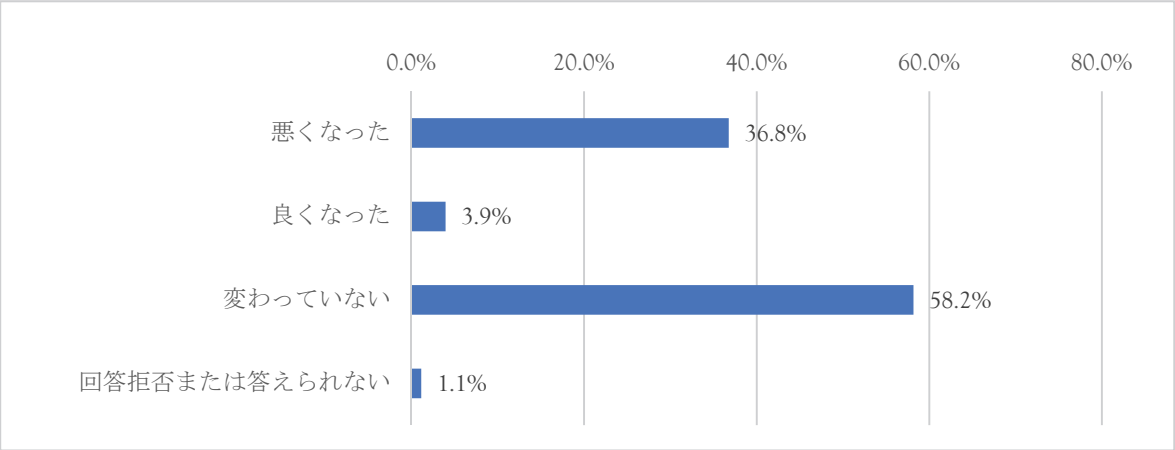
F2-6-4　居住地域別（N＝1640）



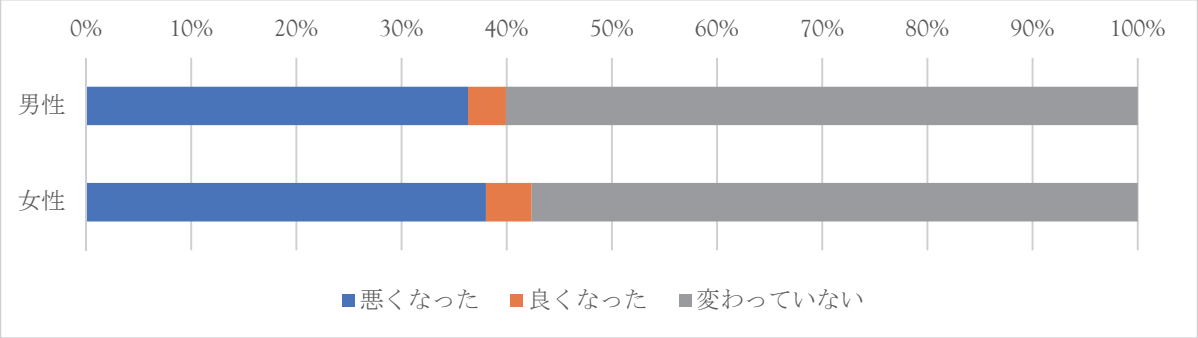
F3.（Q48.）新型コロナ感染症感染拡大によりあなたの生活はどのように変わりましたか。1つ選んでください。

	実数（人）	比率
悪くなった	625	36.8%
良くなった	67	3.9%
変わっていない	989	58.2%
回答拒否または答えられない	19	1.1%
総計	1700	100.0%

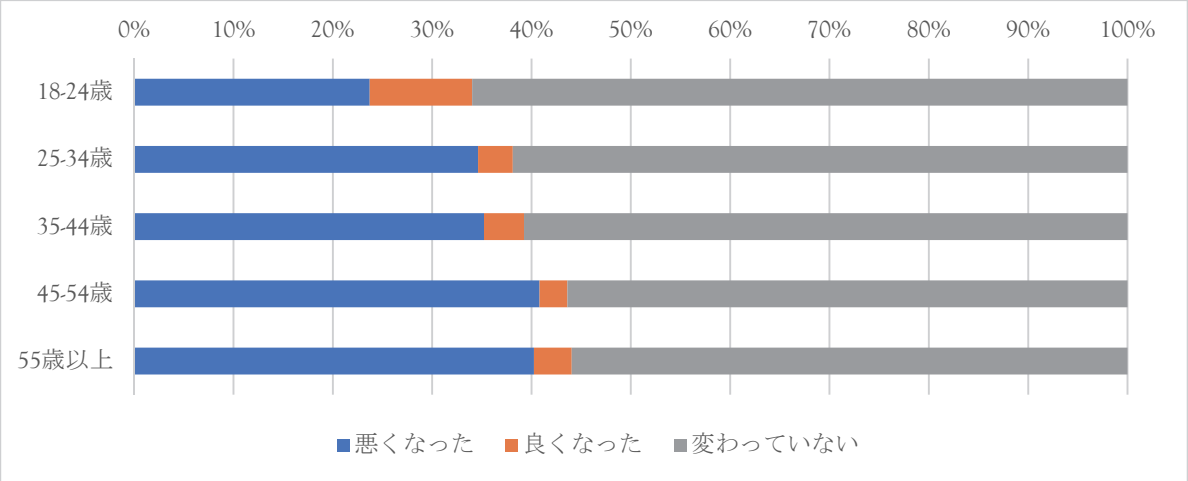
F3-0　総計（N＝1700）



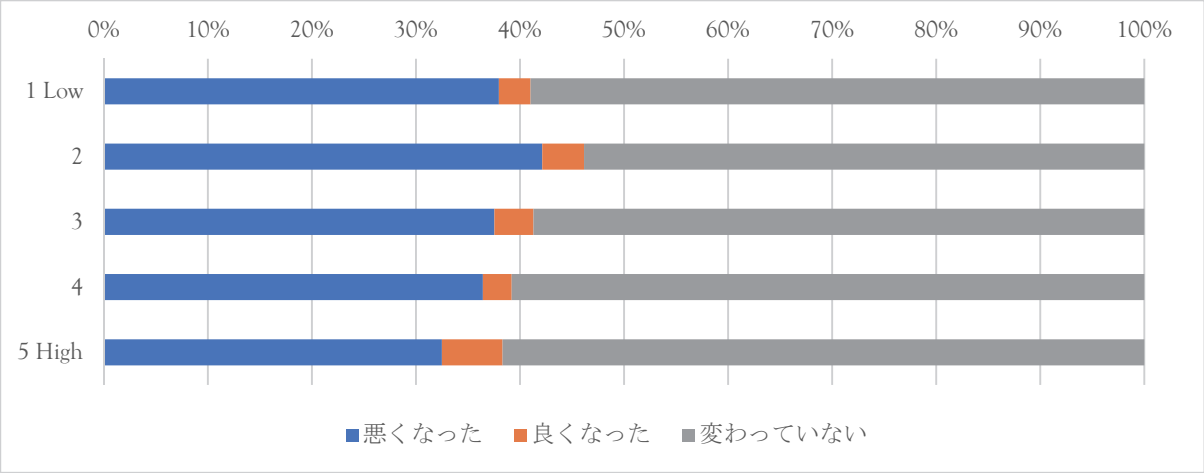
F3-1　男女別（N＝1681）



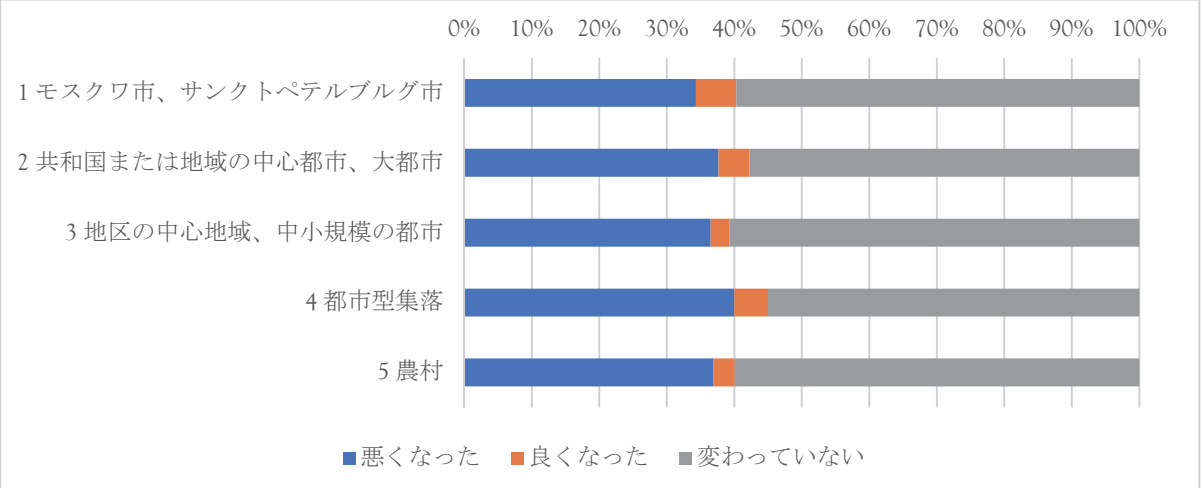
F3-2　年齢別（N＝1681）



F3-3　収入別（N＝1567）



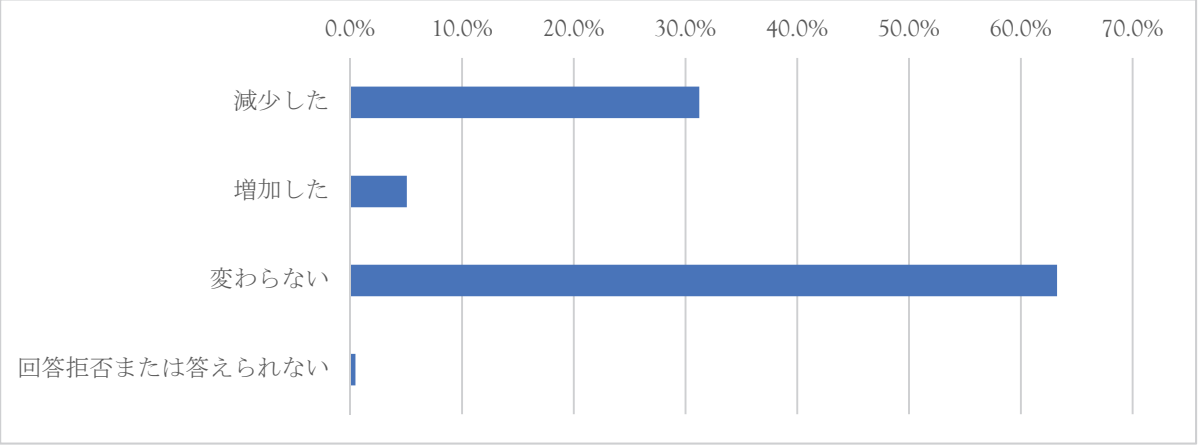
F3-4　居住地域別（N＝1672）



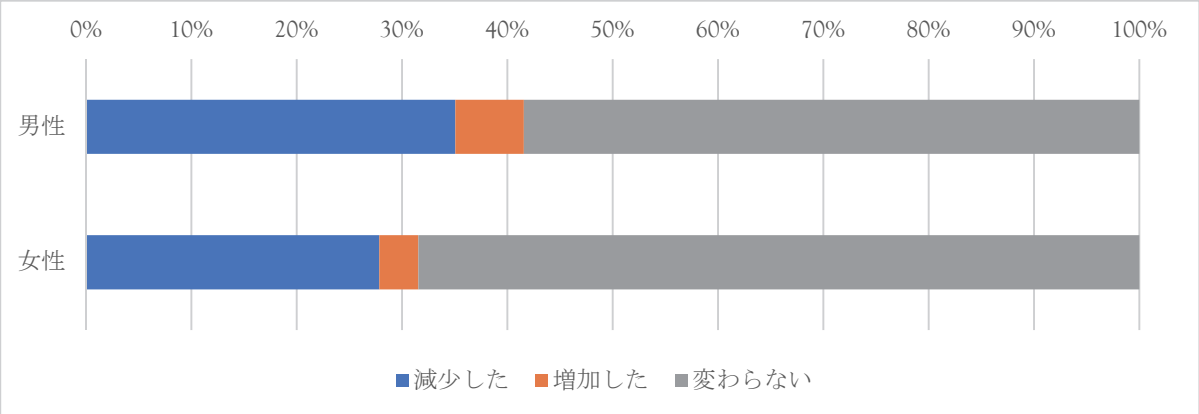
F4.（Q49.）新型コロナ感染症感染拡大によりあなたの収入はどのように変わりましたか。1 つ選んでください。

	実数（人）	比率（%）
1 減少した	531	31.2%
2 増加した	86	5.1%
3 変わらない	1075	63.2%
99 回答拒否または答えられない	8	0.5%
総計	1700	100.0%

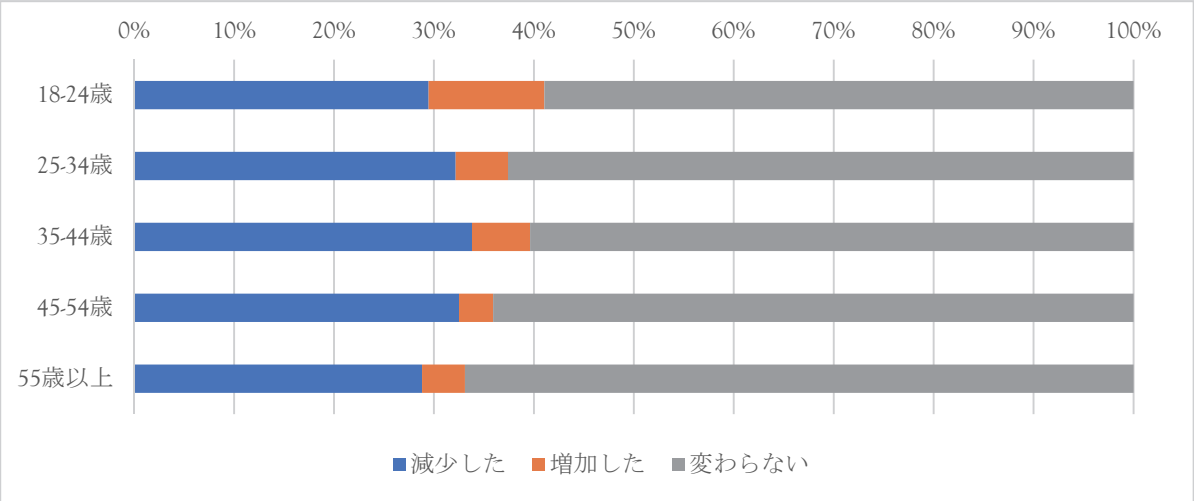
F4-0　総計（N＝1700）



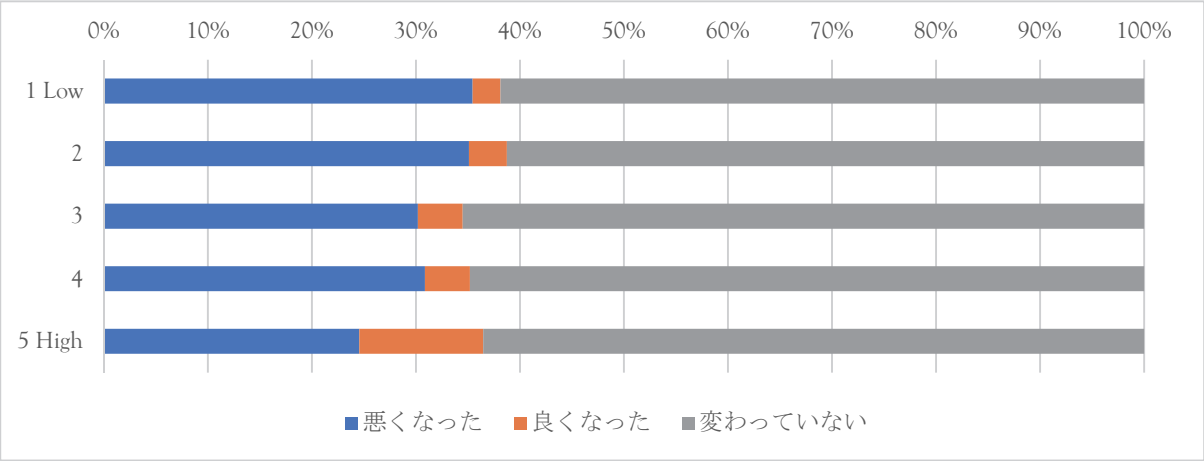
F4-1　男女別（N＝1692）



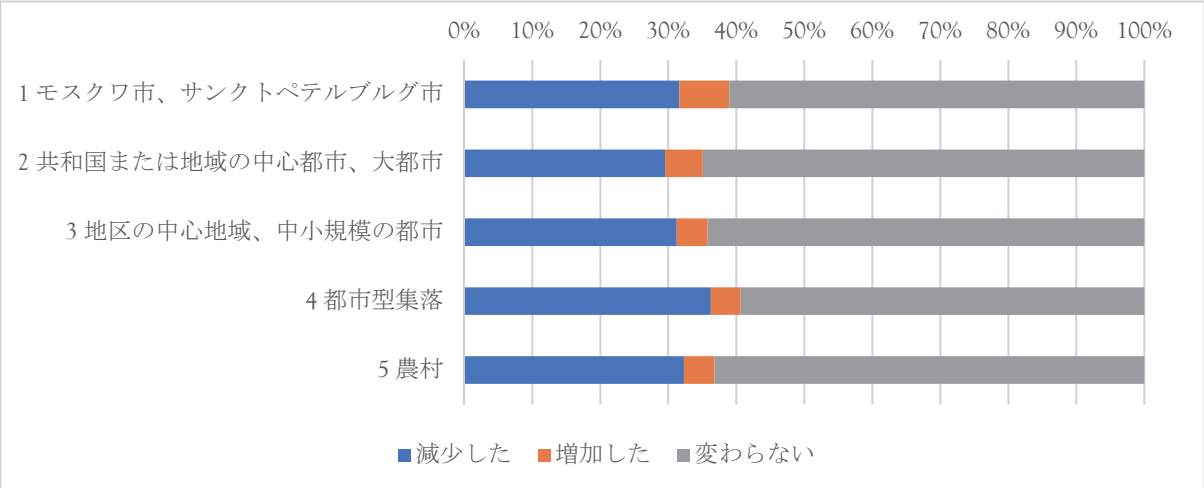
F4-2　年齢別（N＝1692）



F4-3　収入別（N＝1575）



F4-4　居住地域別（N＝1683）



F5.（Q50.）コロナウイルス感染症の拡大により、あなたの仕事の状況はどのように変化しましたか？（複数回答）

	実数	比率
Q50_1_退職または転職した	162	9.4%
Q50_2_週の労働日の半分以上をオンライン勤務するようになった	104	6.0%
Q50_3_通勤・通学のラッシュアワーを避けるようになった	33	1.9%
Q50_4_出張の回数が半分以下になった	71	4.1%
Q50_5T_その他（具体的に）	98	5.7%
Q50_6_何も変わっていない	892	51.6%
Q50_7_パンデミック前とパンデミック中は仕事をしなかった	365	21.1%
Q50_99_回答拒否または答えられない	3	0.2%
総計	1728	100.0%

Q50_5T_その他の回答例：

労働時間が減少した。給与が減った。年金生活なので変わらない。個人事業が潰れた。個人事業を始めた。労働時間が増えた。住宅のリフォームをする人が増えた。出稼ぎ вахтовый 期間が長くなった／出稼ぎの際に検閲期間ができた。解雇された／企業が倒産した。副業を探している。

図 F5-0　総計（N＝1728）

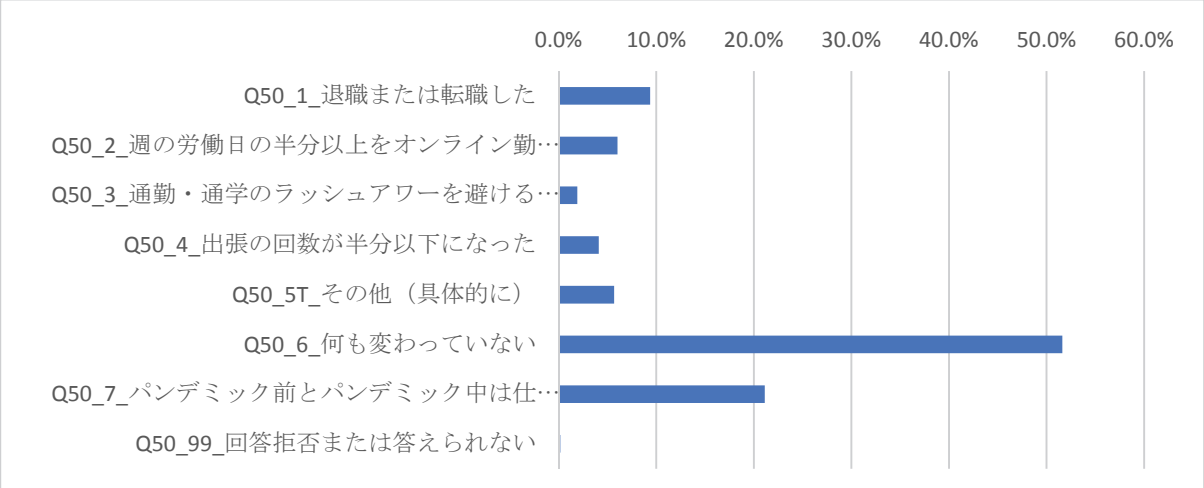


図 F5-1　男女別（N＝1728）

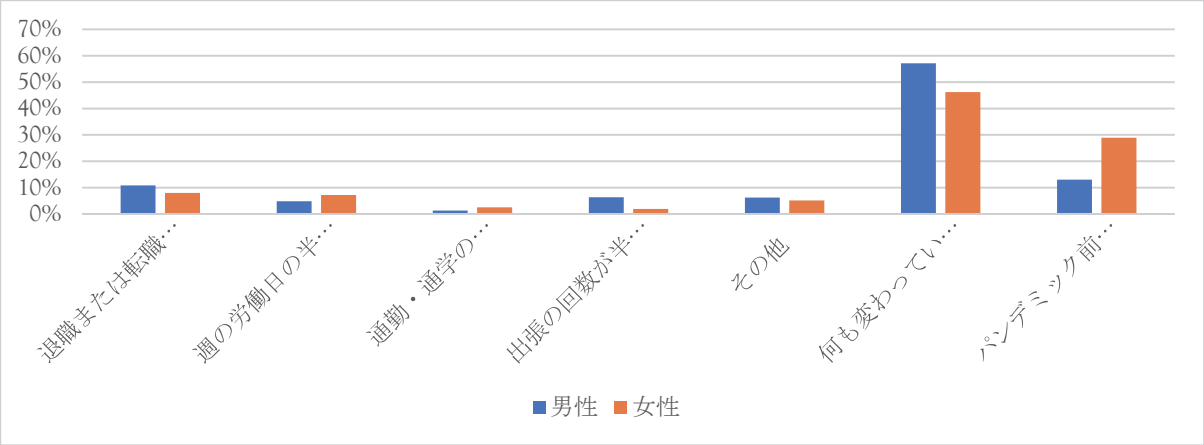


図 F5-2　年齢別（N＝1728）

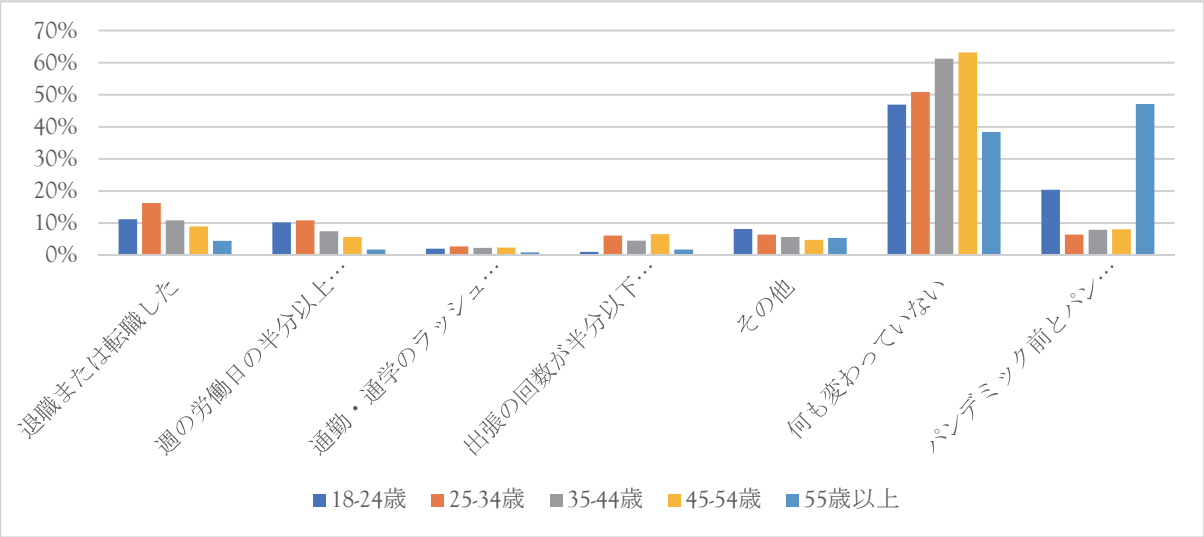


図 F5-3　収入別（N＝1605）

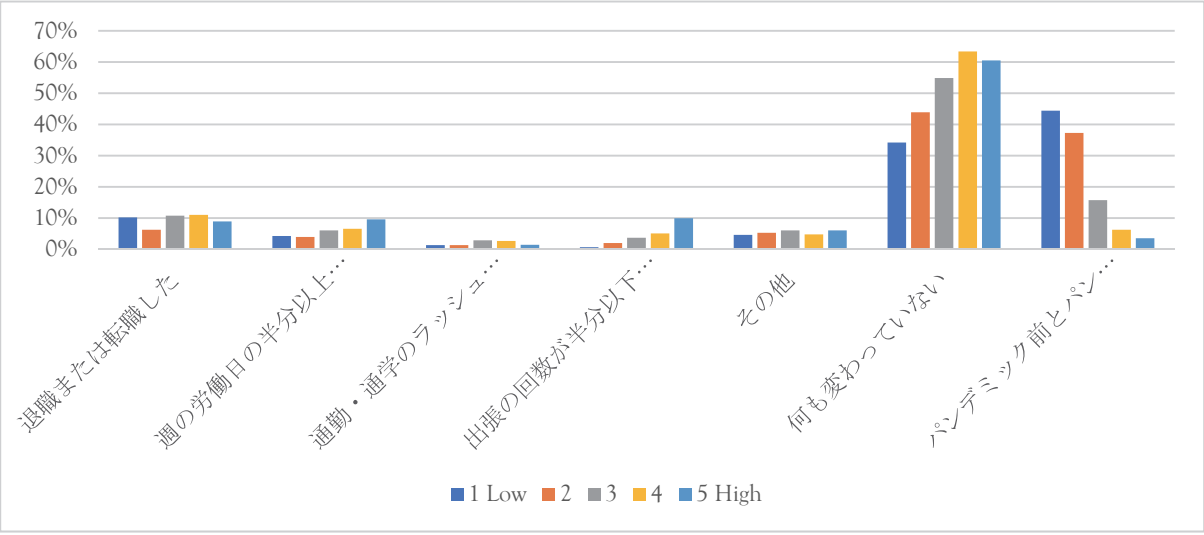
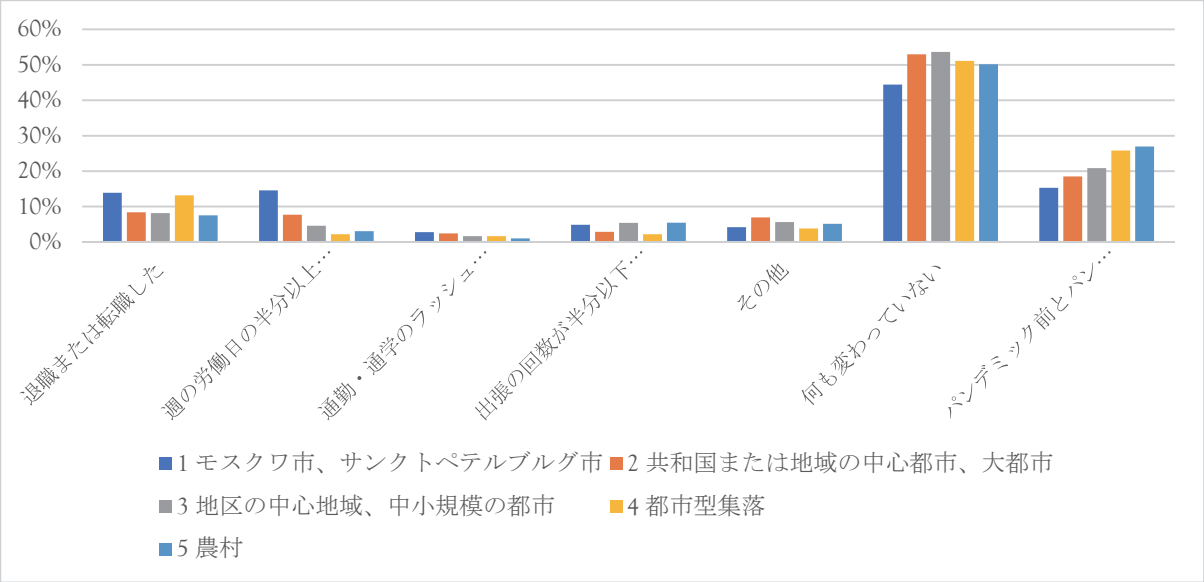


図 F5-4　居住地域別（N＝1719）



F6.（Q51.）新型コロナ感染症感染拡大によりかける時間数が増えたものをチェックして下さい。（複数回答）

	実数	比率
Q51_1_仕事	136	7.1%
Q51_2_家族との時間	346	18.0%
Q51_3_親戚との付き合い	145	7.5%
Q51_4_近所との付き合い	33	1.7%
Q51_5_余暇・レクリエーション・スポーツ	148	7.7%
Q51_6_ボランティア活動	22	1.1%
Q51_7_新しい知識や技術を身につけること	162	8.4%
Q51_8T_その他（具体的に）	51	2.7%
Q51_9_費やす時間は変わっていない	869	45.2%
99 Q51_99_回答拒否または答えられない	12	0.6%
総計	1924	100.0%

Q51_8T　その他の内容：新しい職探し、家事、療養、友達との付き合い、など。

図 F6-0　総計（N＝1924）

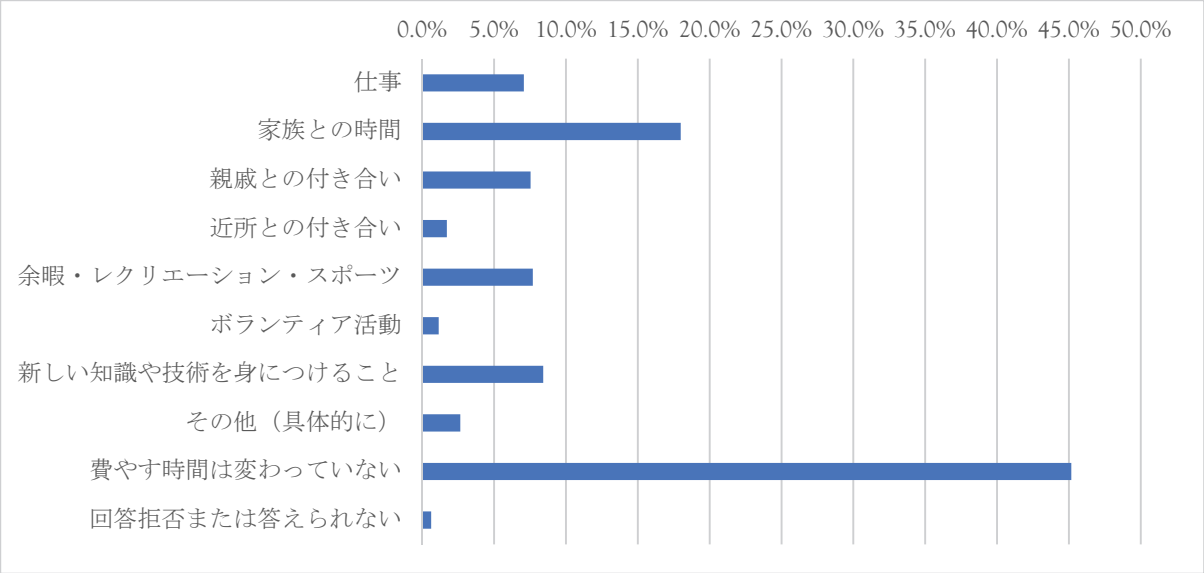


図 F6-1　男女別（N＝1924）

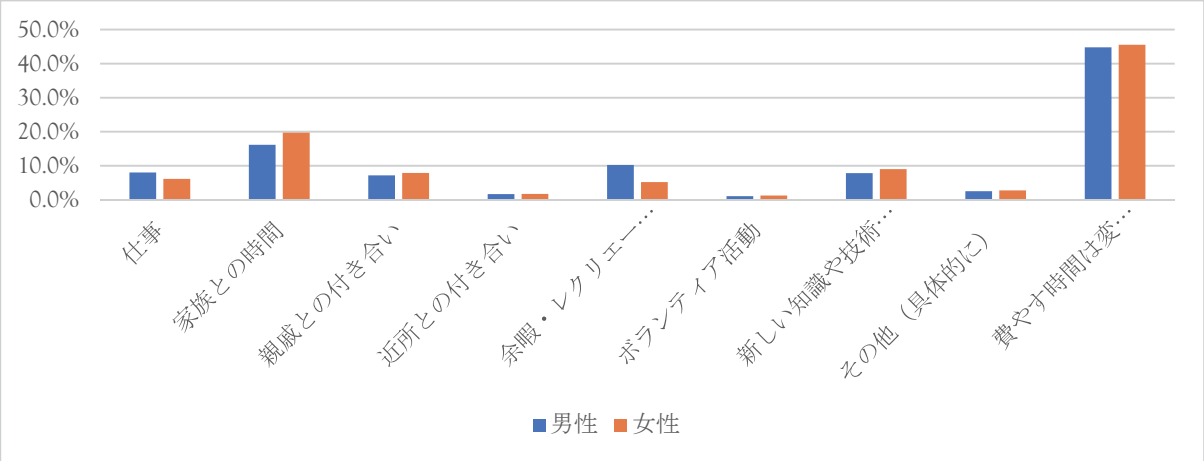


図 F6-2　年齢別（N＝1924）

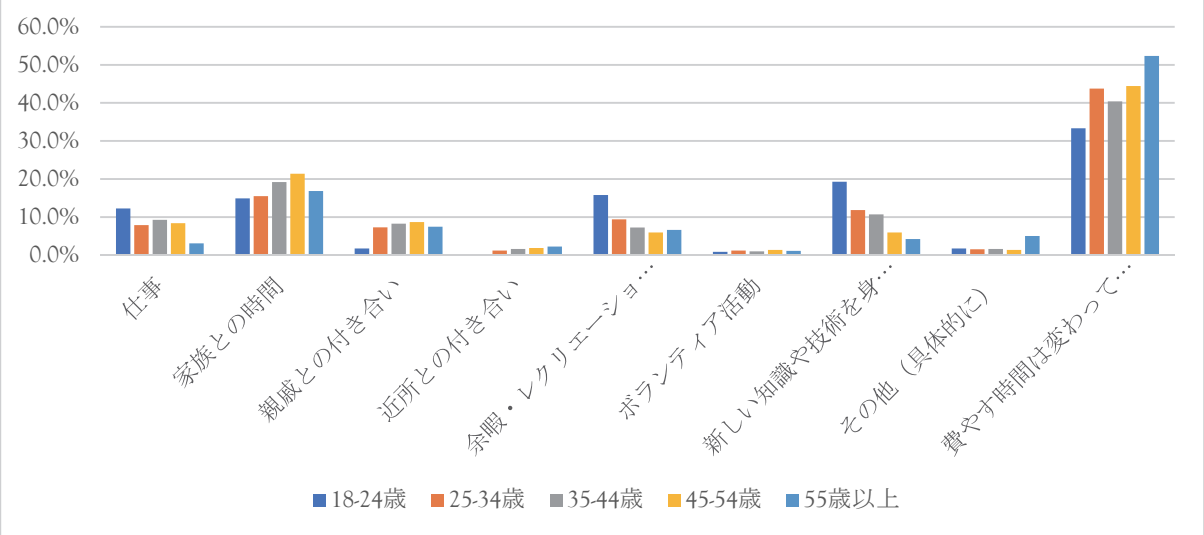


図 F6-3　収入別（N＝1792）

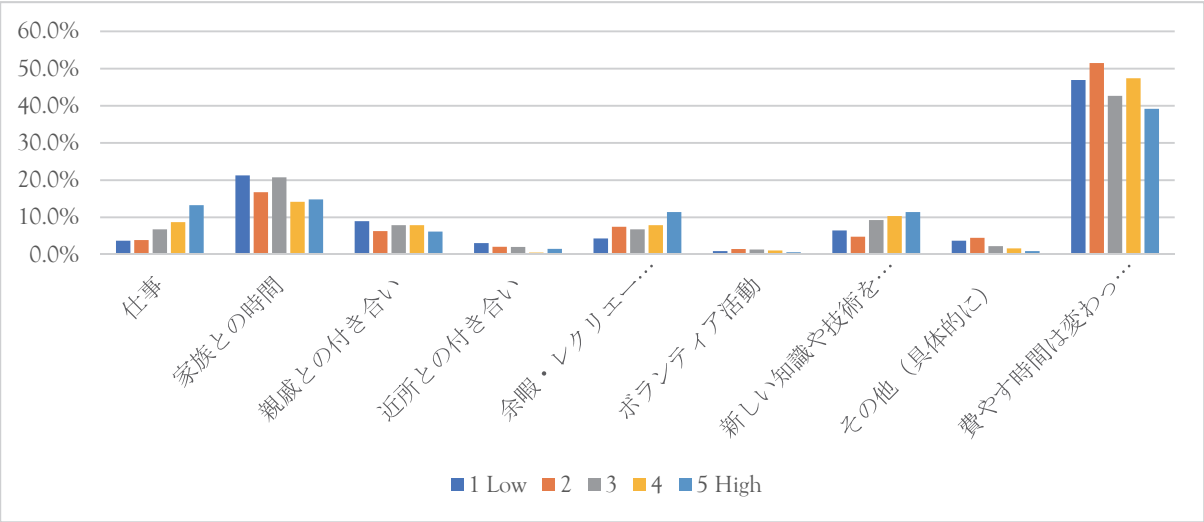
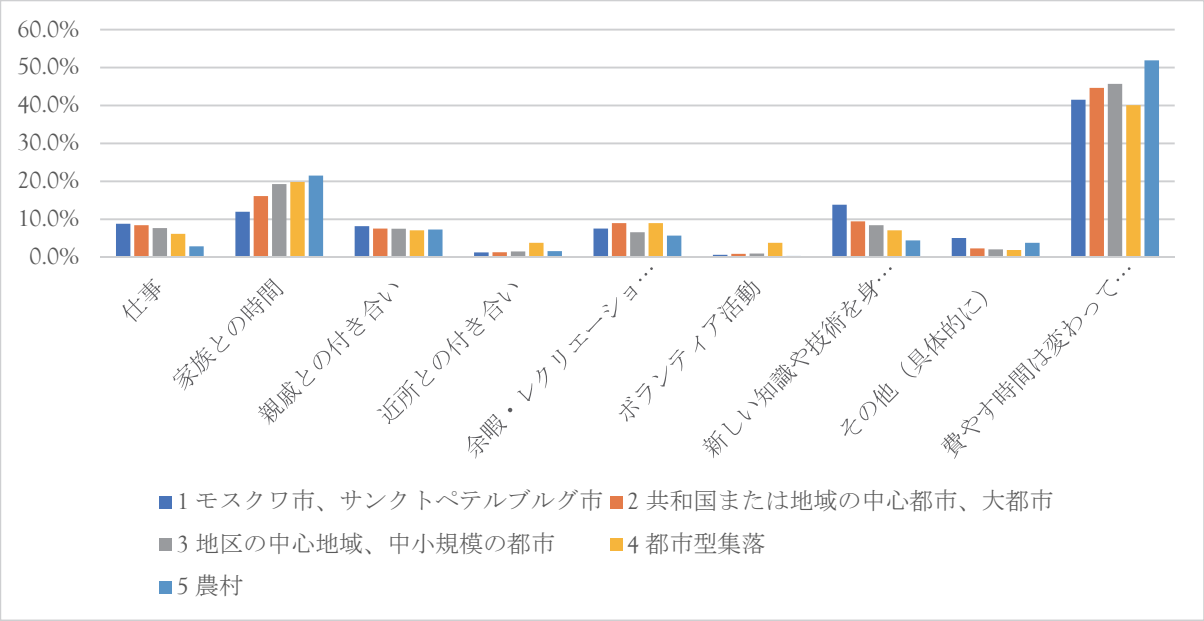


図 F6-4　居住地域別（N＝1911）



F7.（Q52.）あなたは新型コロナ感染症に対するワクチンの有効性を信用していますか。1 つ選んでください。

	実数（人）	比率
1 絶対的に信用している	345	20.3%
2 どちらかといえば信用している	642	37.8%
3 どちらかといえば信用していない	311	18.3%
4 全く信用していない	355	20.9%
99 無回答、回答拒否	47	2.8%
総計	1700	100.0%

図 F7-0　総計（N＝1700）

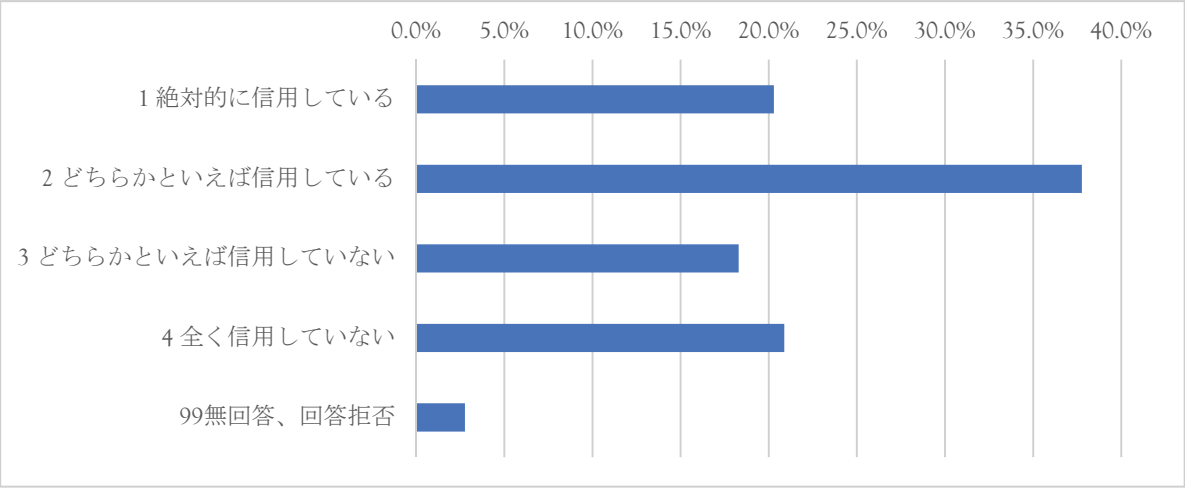


図 F7-1　男女別（N＝1653）

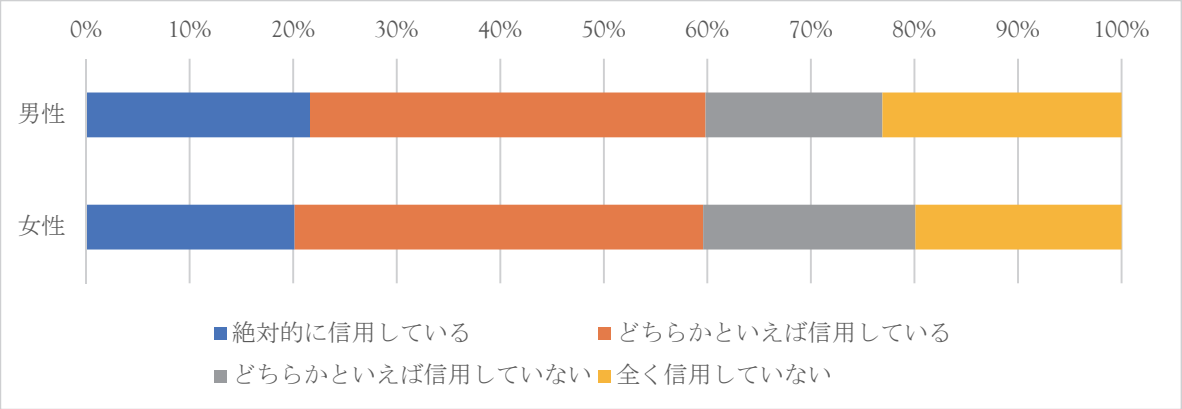


図 F7-2　年齢別（N＝1653）

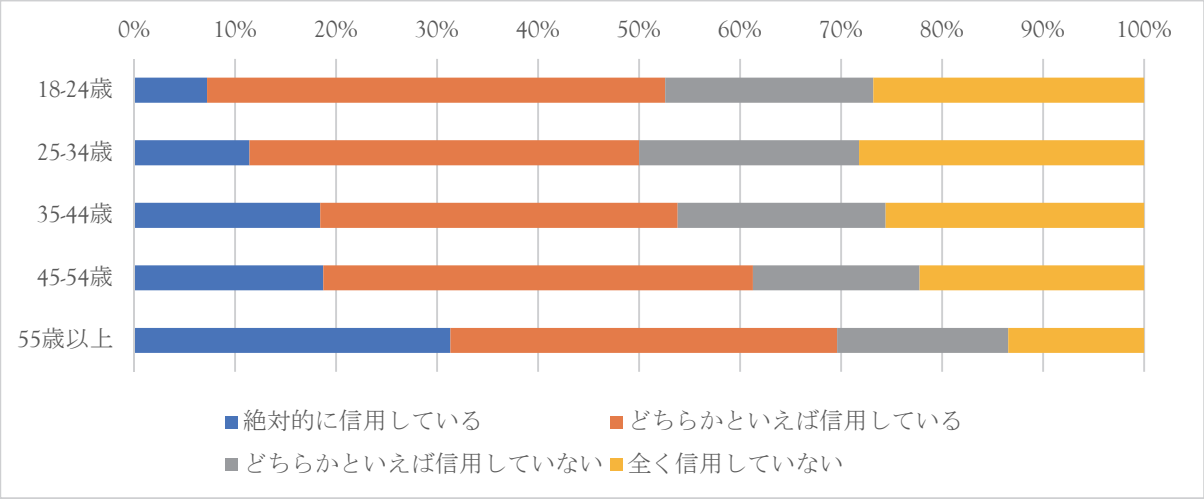


図 F7-3　収入別（N＝1537）

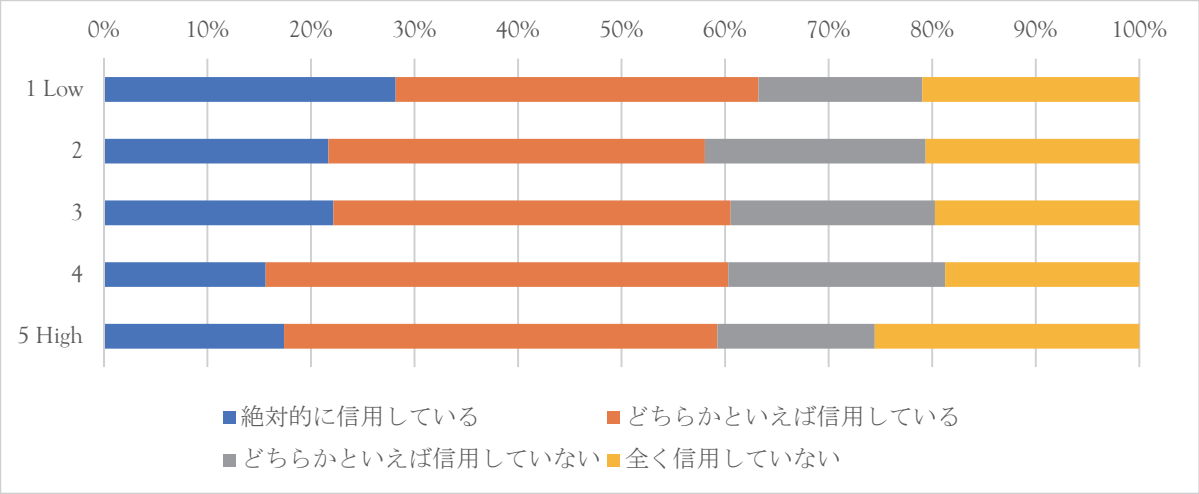
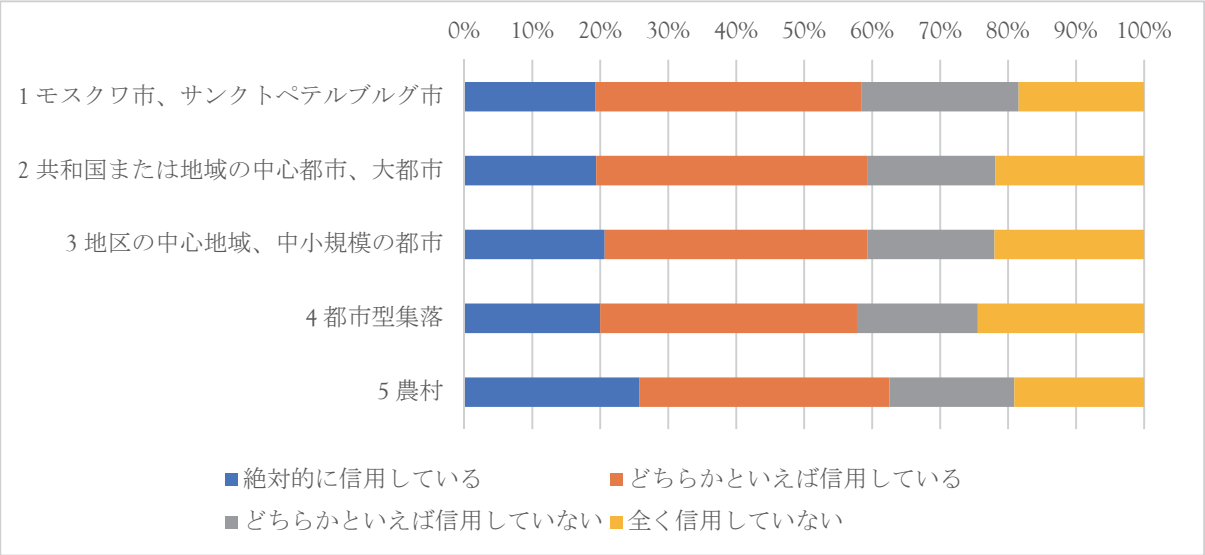


図 F7-4　居住地域別（N＝1646）



F8.（Q53.）政府のコロナウイルス感染症対策は、あなた個人にとってどの程度有効でしたか？1 がまったく有効ではなく、5 がきわめて有効であるとして、1～5 の尺度で評価してください。

	実数（人）	比率（%）
1 まったく有効ではなかった	267	15.7
2	156	9.2
3	421	24.8
4	393	23.1
5 きわめて有効であった	397	23.4
99 無回答	66	3.9
総計	1700	100.0

図 F8-0　総計（N=1700）

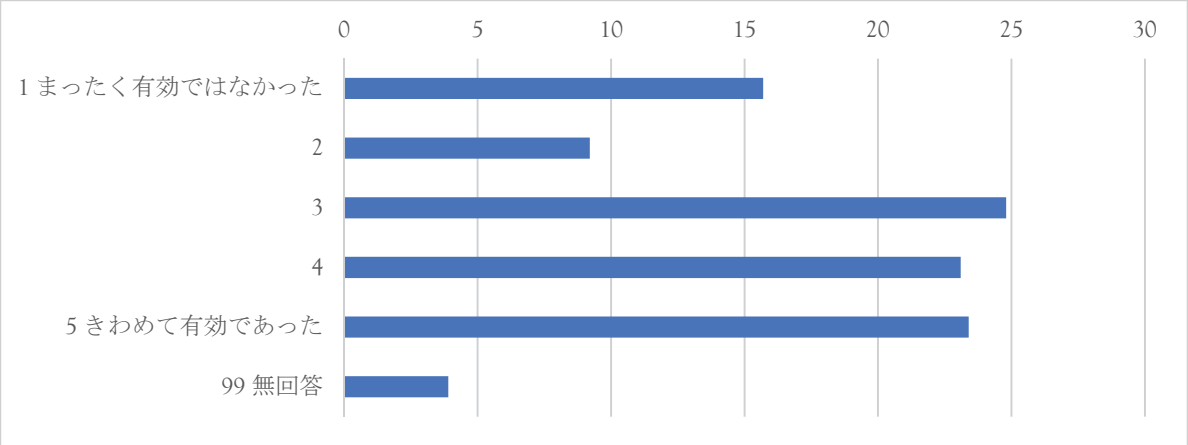


図 F8-1　男女別（N=1634）

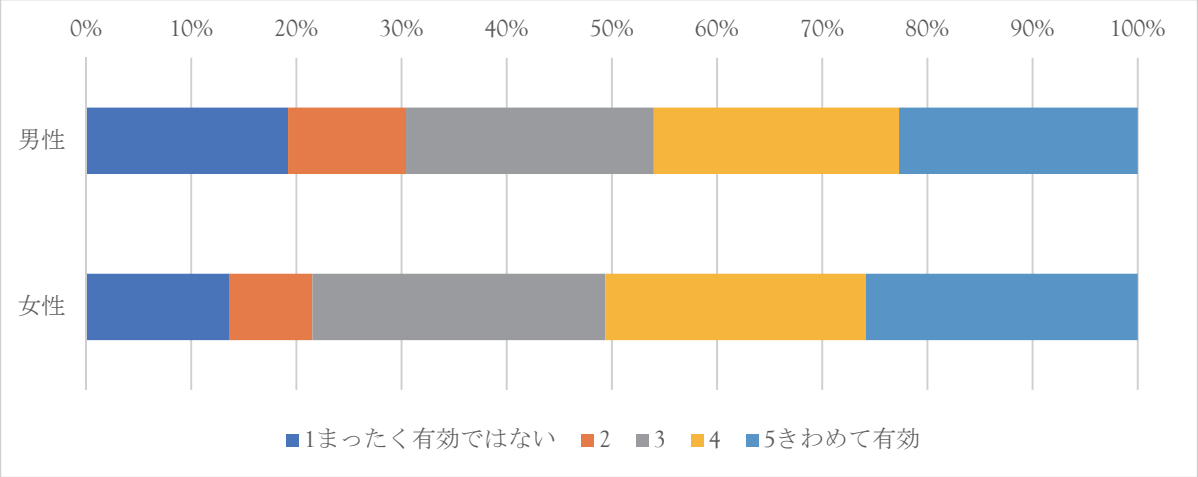


図 F8-2　年齢別（N=1634）

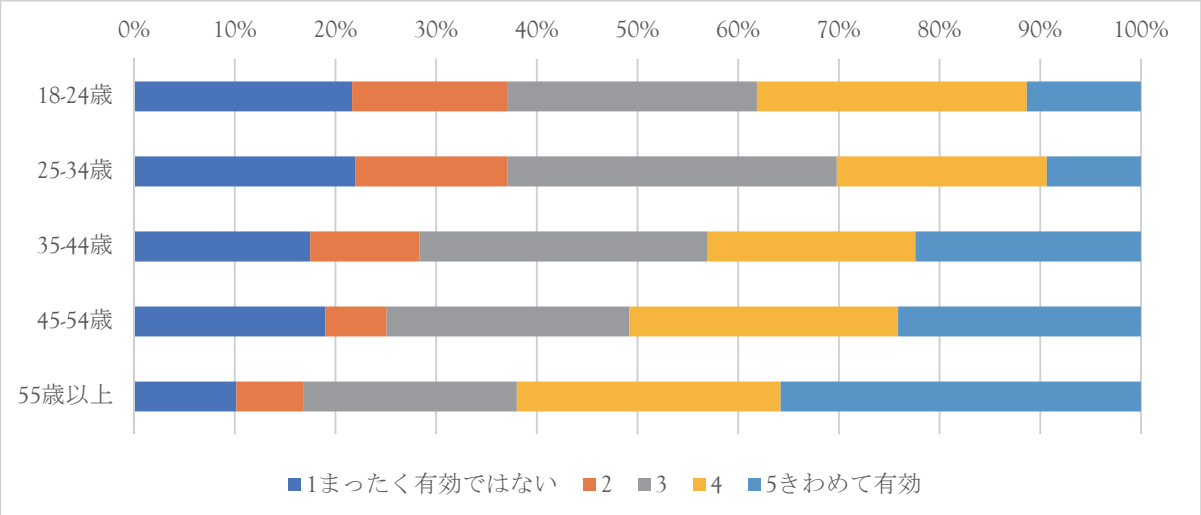


図 F8-3　収入別（N=1522）

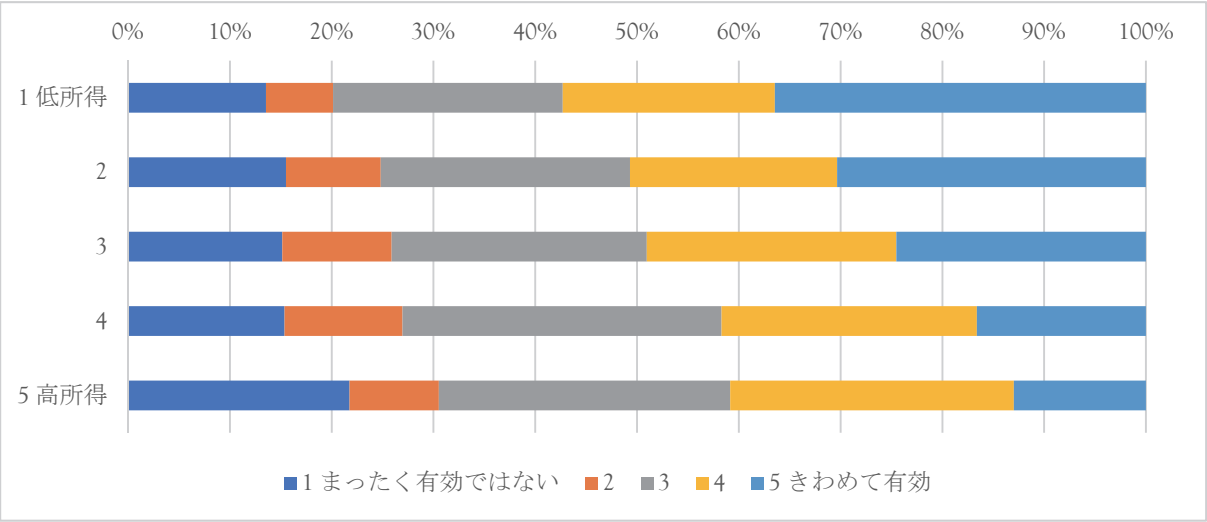
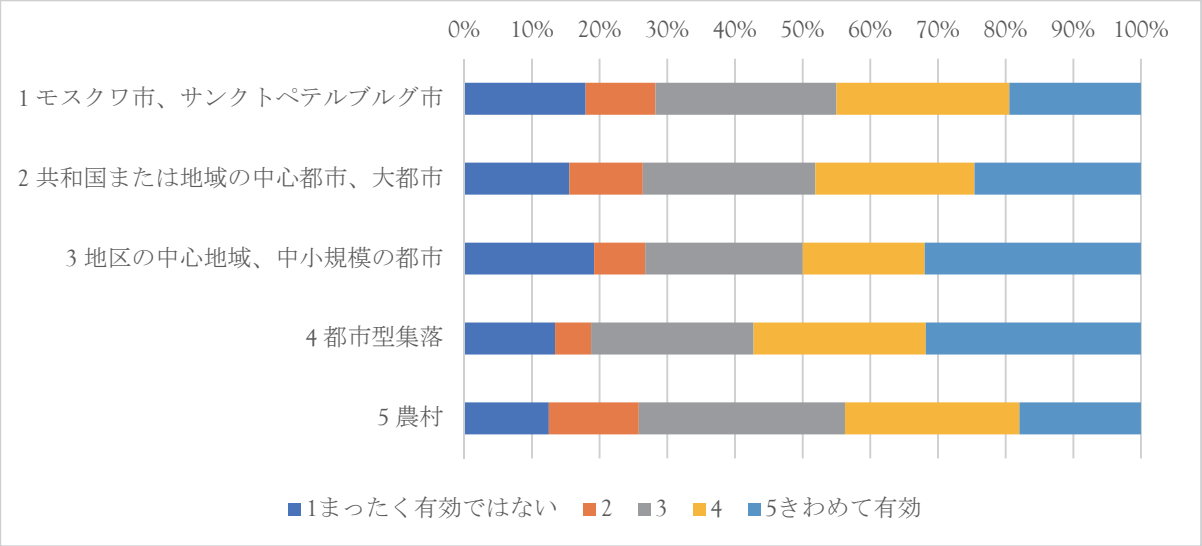


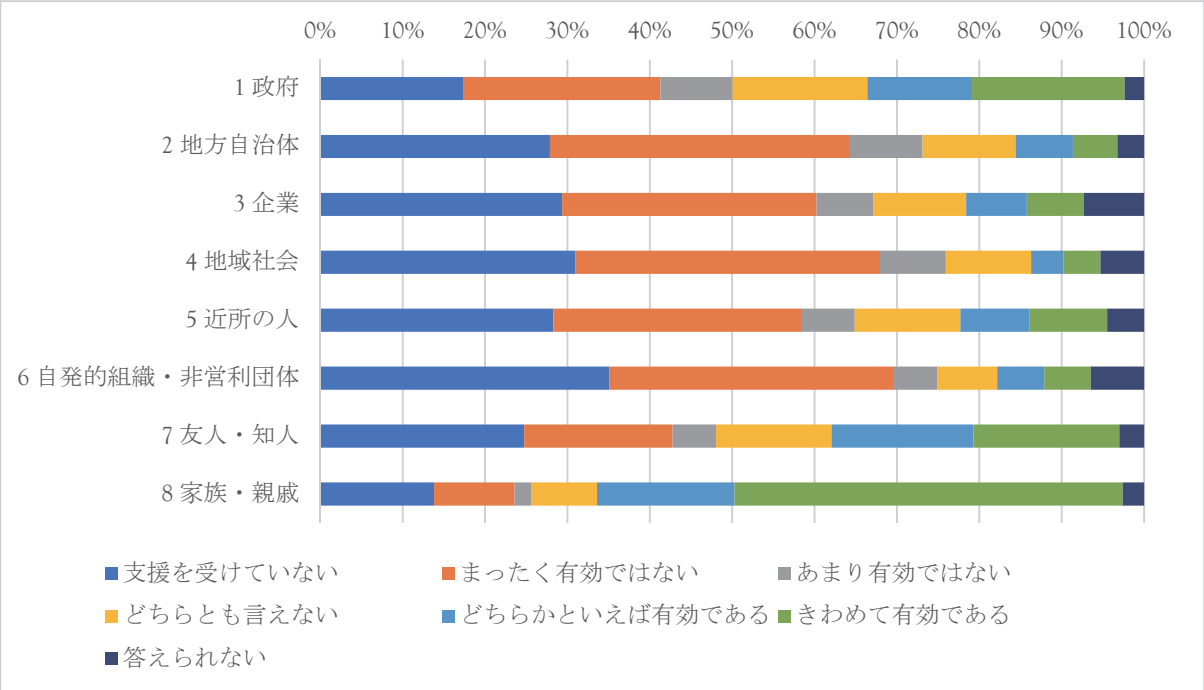
図 F8-4　居住地域別（N=1625）



F9.（Q54.）パンデミック時にさまざまな人々や組織から提供された物質的支援策は、あなた自身やあなたの家族にとってどの程度有効でしたか？1：まったく有効ではない、5：きわめて有効である、として1～5の尺度で評価してください。0は支援を受けていないものとします。

		0 支援を受けていない	1 まったく有効ではない	2	3	4	5 きわめて有効である	無回答	総計
1 政府	実数	296	406	149	278	216	315	40	1700
	比率	17.4	23.9	8.8	16.4	12.7	18.5	2.4	100.0
2 地方自治体	実数	474	619	150	192	118	92	55	1700
	比率	27.9	36.4	8.8	11.3	6.9	5.4	3.2	100.0
3 企業	実数	499	525	117	192	125	118	124	1700
	比率	29.4	30.9	6.9	11.3	7.4	6.9	7.3	100.0
4 地域社会	実数	527	628	136	176	67	76	90	1700
	比率	31.0	36.9	8.0	10.4	3.9	4.5	5.3	100.0
5 近所の人	実数	481	513	109	218	143	160	76	1700
	比率	28.3	30.2	6.4	12.8	8.4	9.4	4.5	100.0
6 自発的組織・非営利団体	実数	597	585	91	124	97	96	110	1700
	比率	35.1	34.4	5.4	7.3	5.7	5.6	6.5	100.0
7 友人・知人	実数	421	306	90	238	293	301	51	1700
	比率	24.8	18.0	5.3	14.0	17.2	17.7	3.0	100.0
8 家族・親戚	実数	235	166	34	136	284	801	44	1700
	比率	13.8	9.8	2.0	8.0	16.7	47.1	2.6	100.0

図 F9-0　総計（N＝1700）



F9-1　政府

図 F9-1-1　男女別（N=1660）

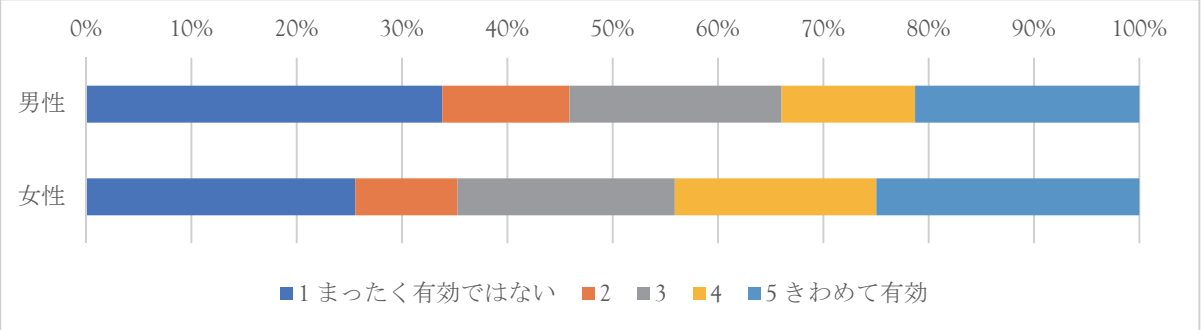


図 F9-1-2　年齢別（N＝1660）

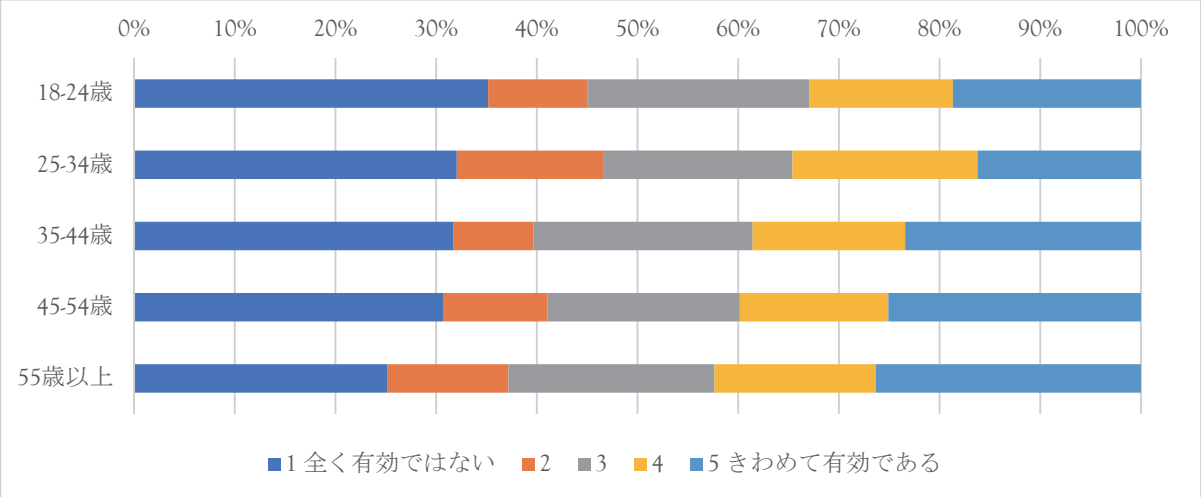


図 F9-1-3　収入別（N＝1547）

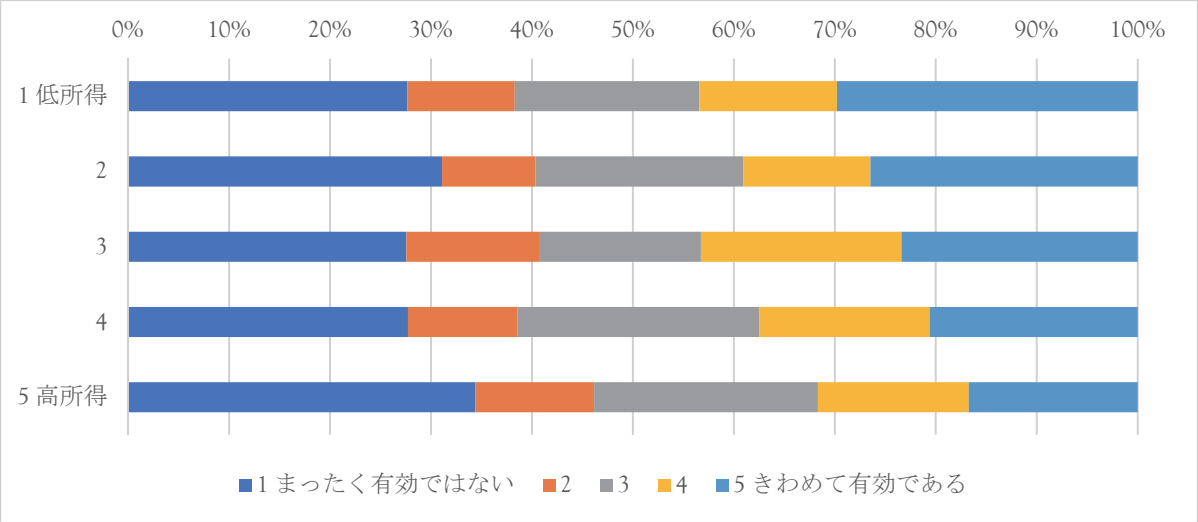
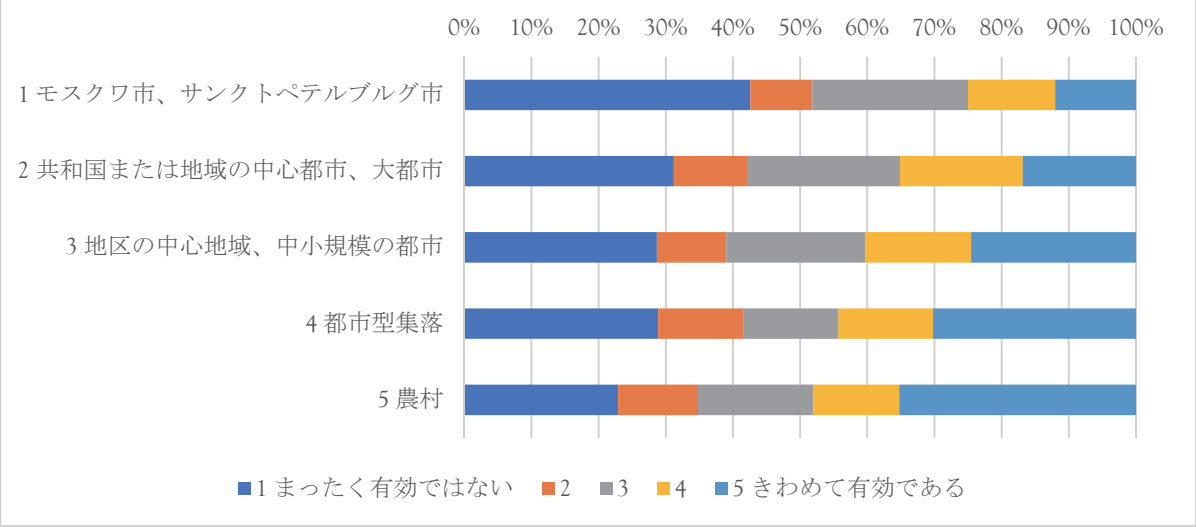
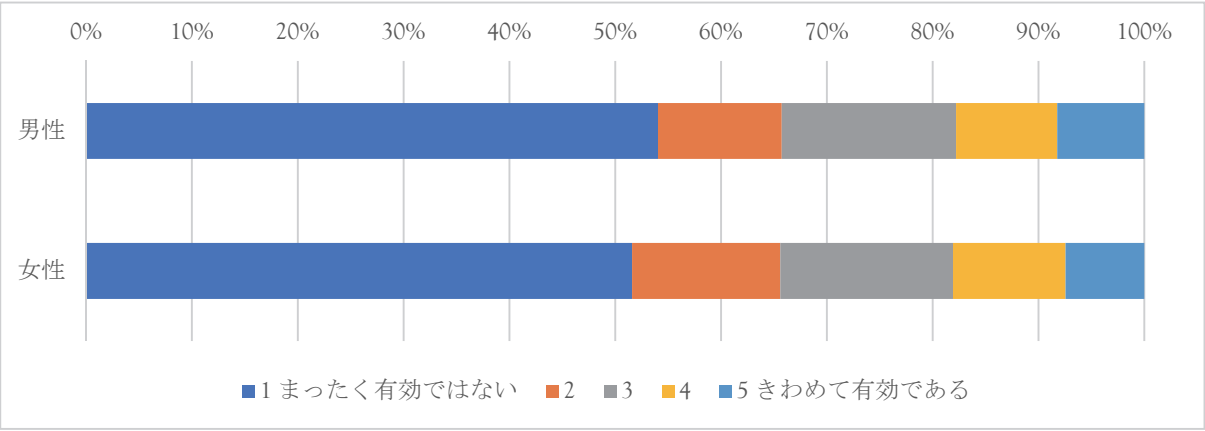


図 F9-1-4　居住地域別（N＝1651）

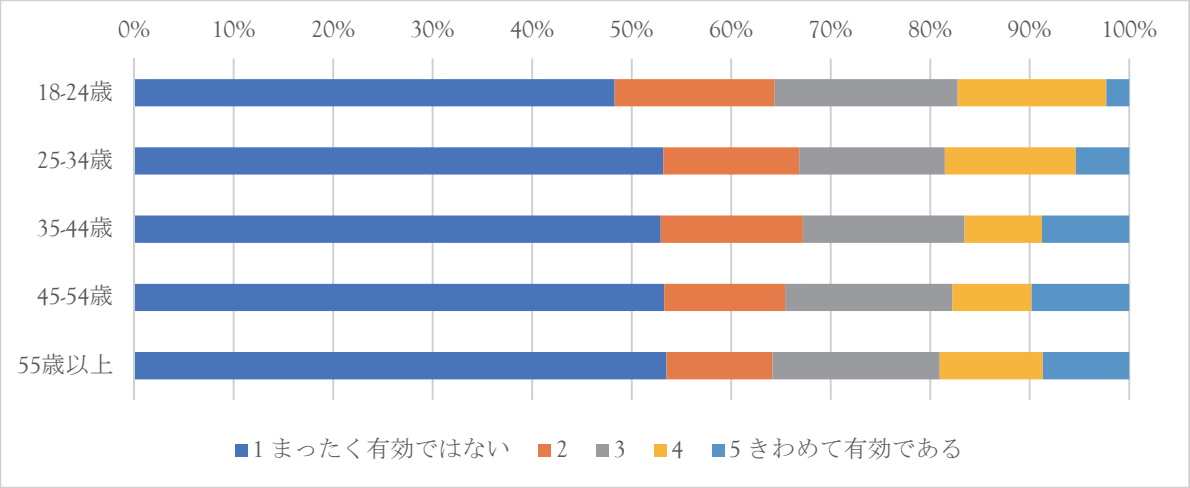


F9-2　地方自治体

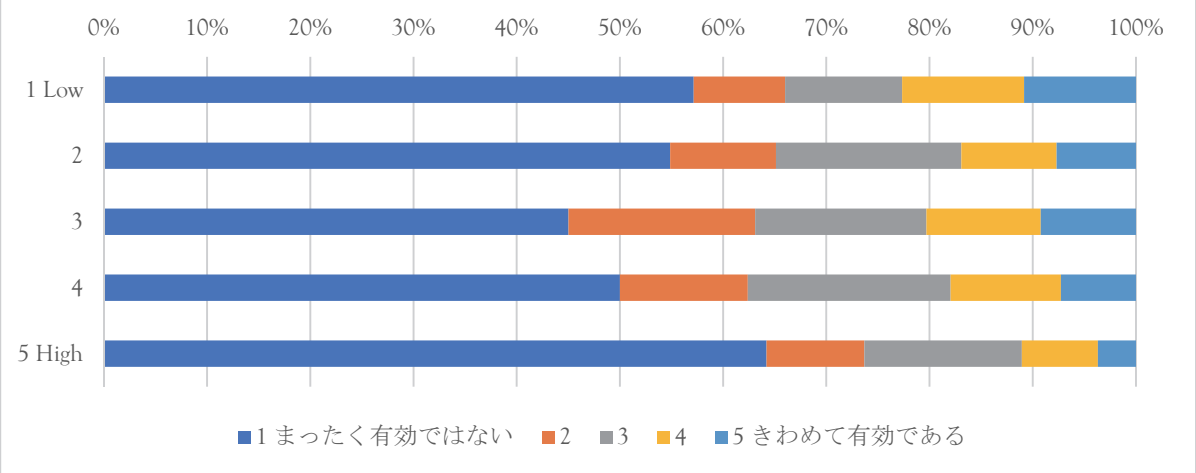
図 F9-2-1　男女別（N=1645）



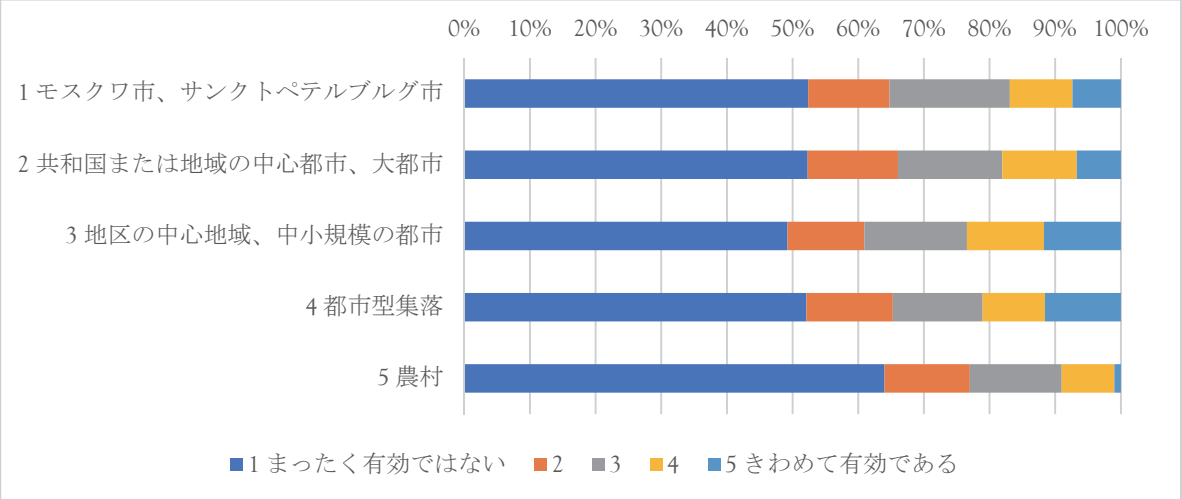
F9-2-2　年齢別（N=1645）



F9-2-3　収入別（N=1536）

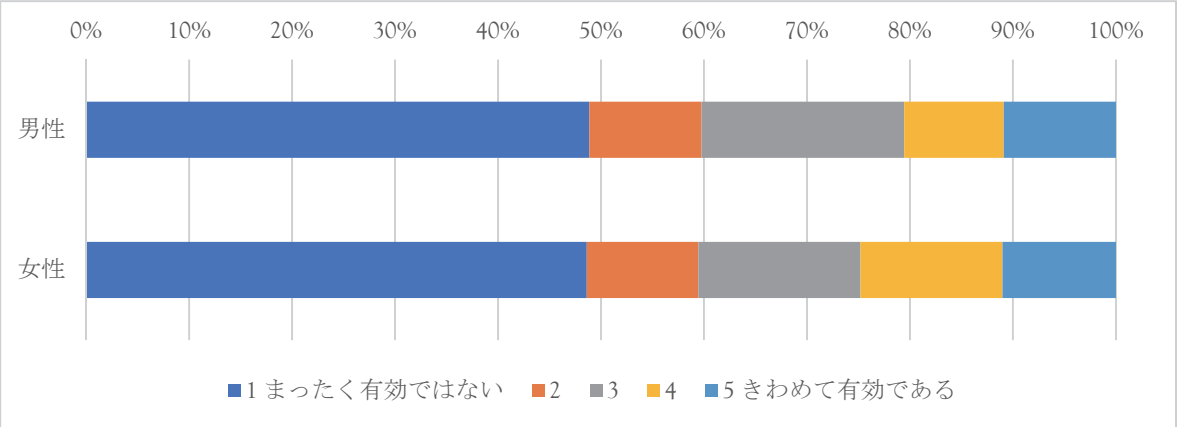


F9-2-4　居住地域別（N=1636）

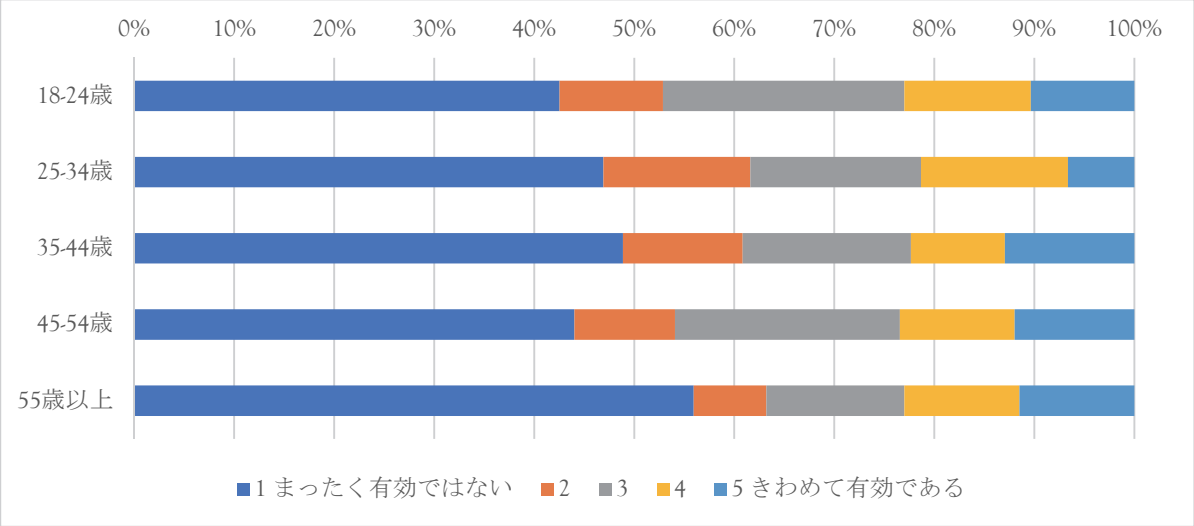


F9-3　企業

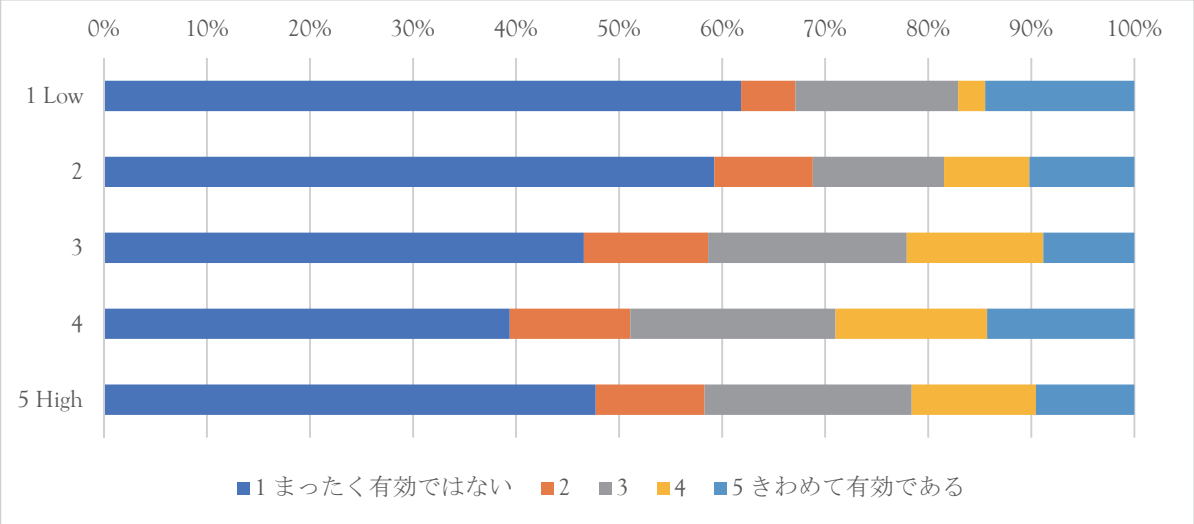
F9-3-1　男女別（N=1576）



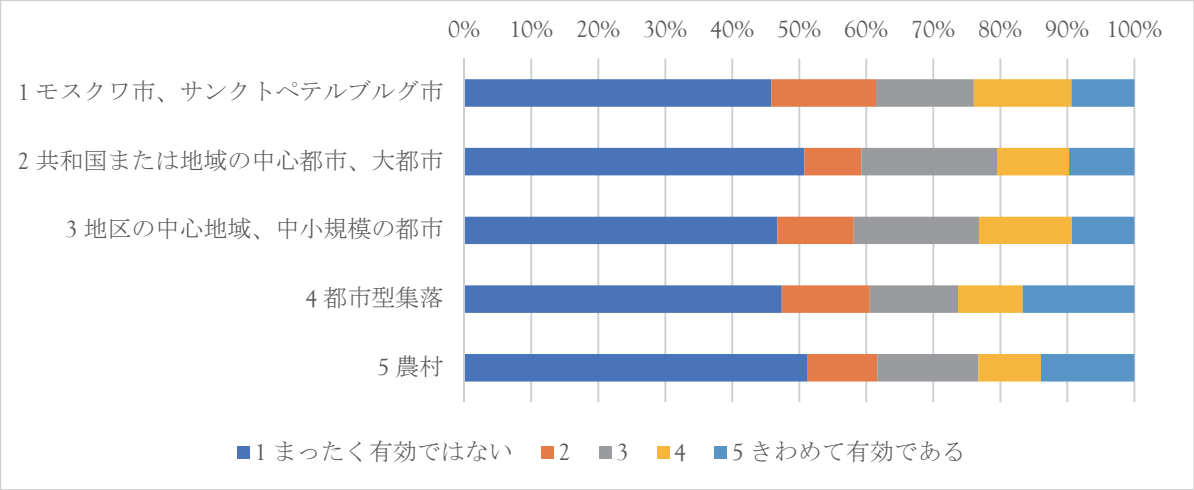
F9-3-2　年齢別（N=1576）



F9-3-3　収入別（N=1466）

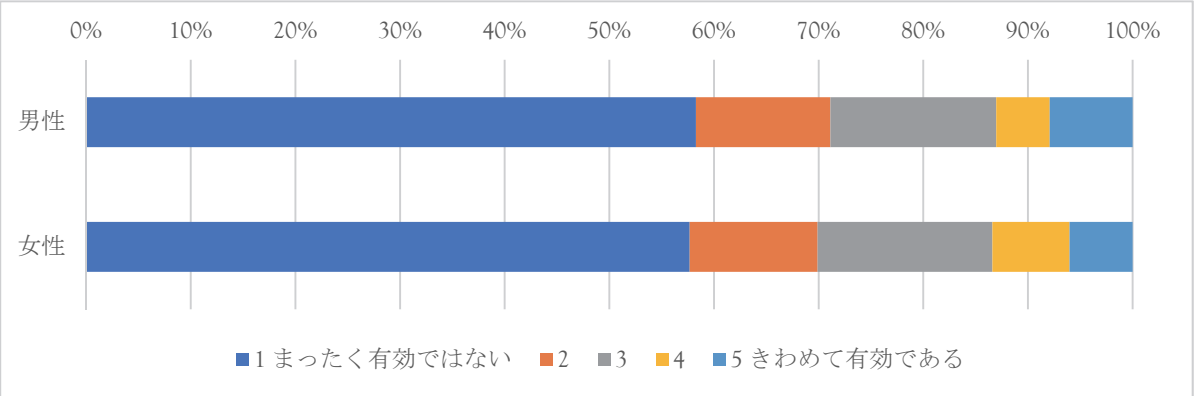


F9-3-4　居住地域別（N=1567）

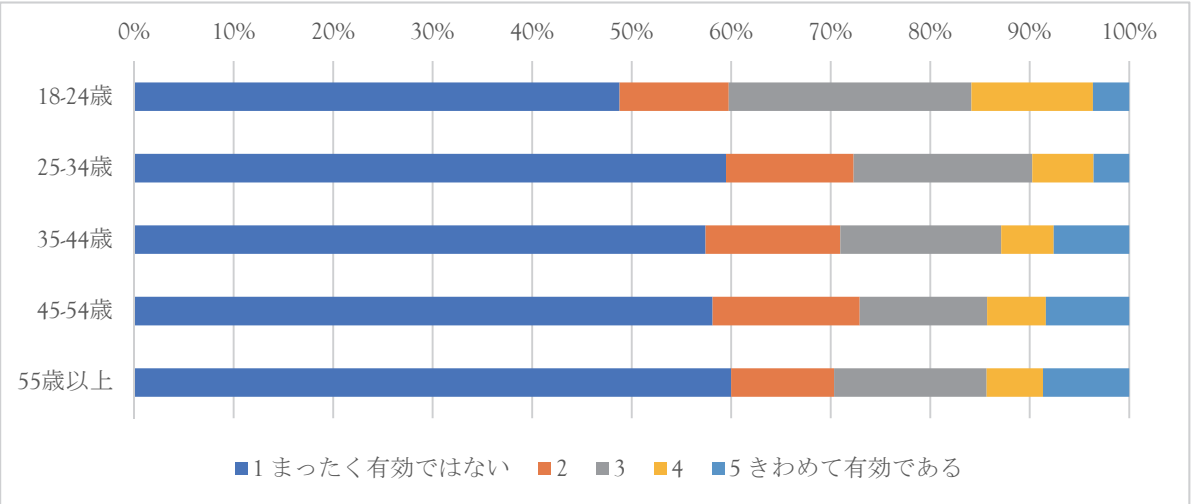


F9-4　地域社会

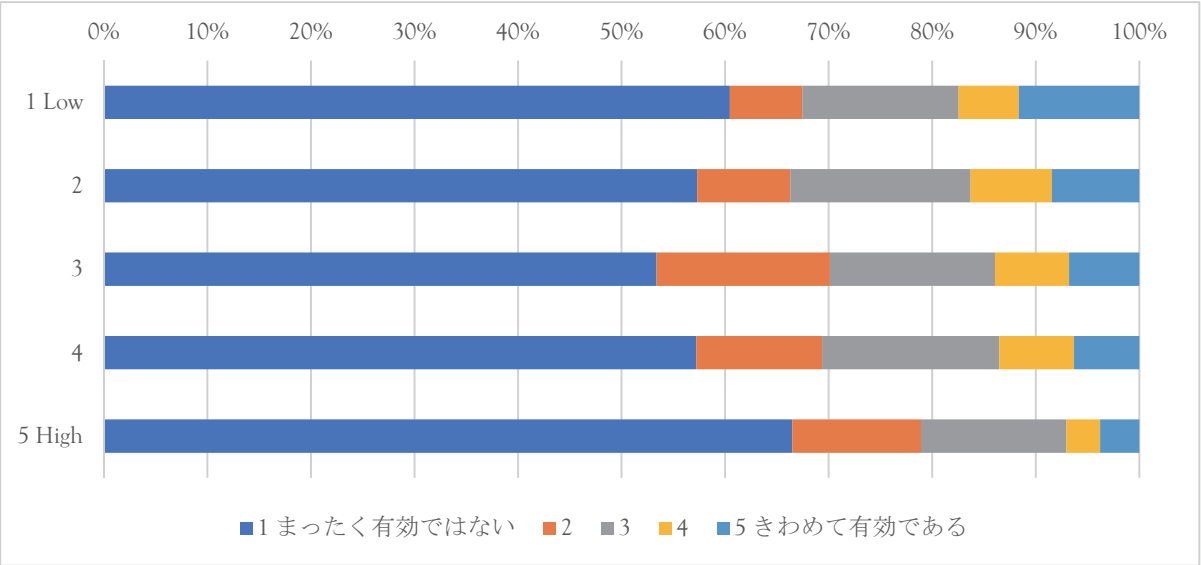
F9-4-1　男女別（N=1610）



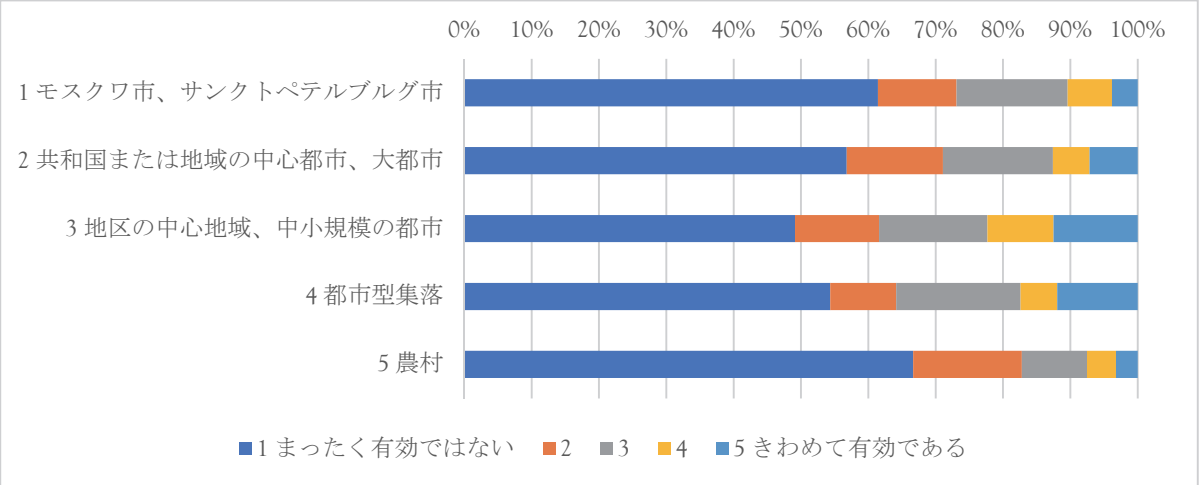
F9-4-2　年齢別（N=1610）



F9-4-3　収入別（N=1502）

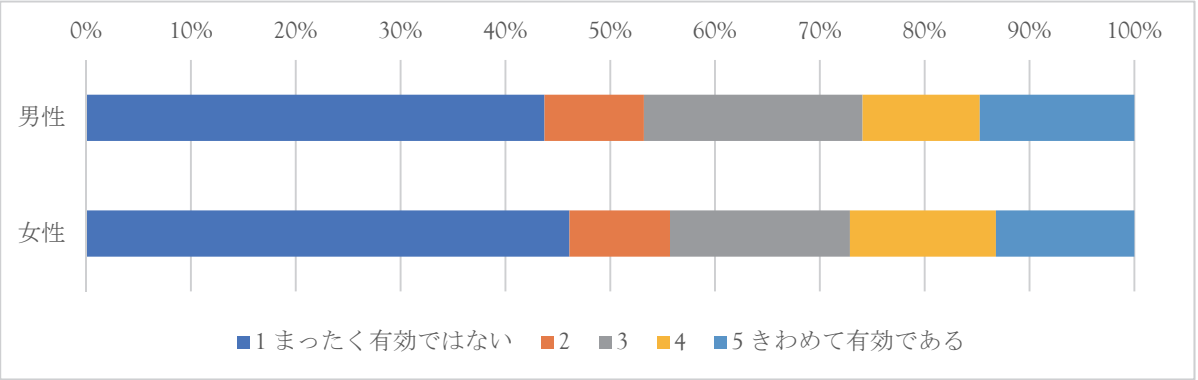


F9-4-4　居住地域別（N=1601）

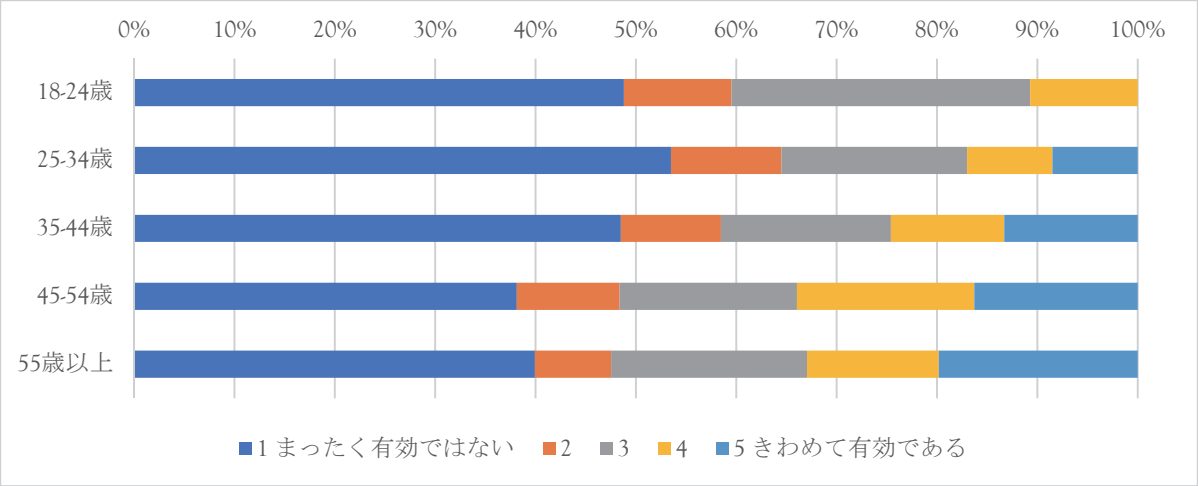


F9-5　近所の人

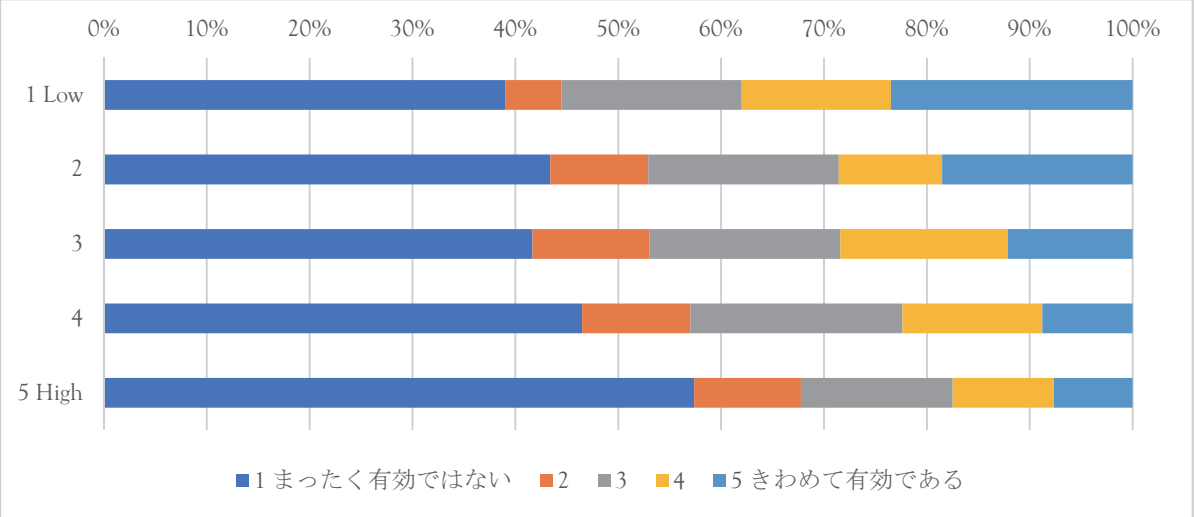
F9-5-1　男女別（N=1624）



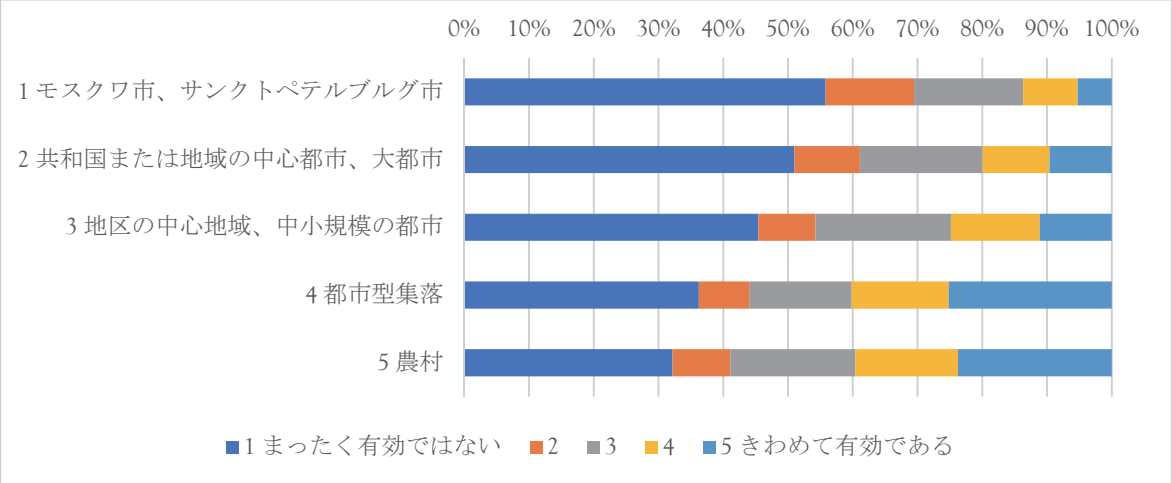
F9-5-2　年齢別（N=1624）



F9-5-3　収入別（N=1513）

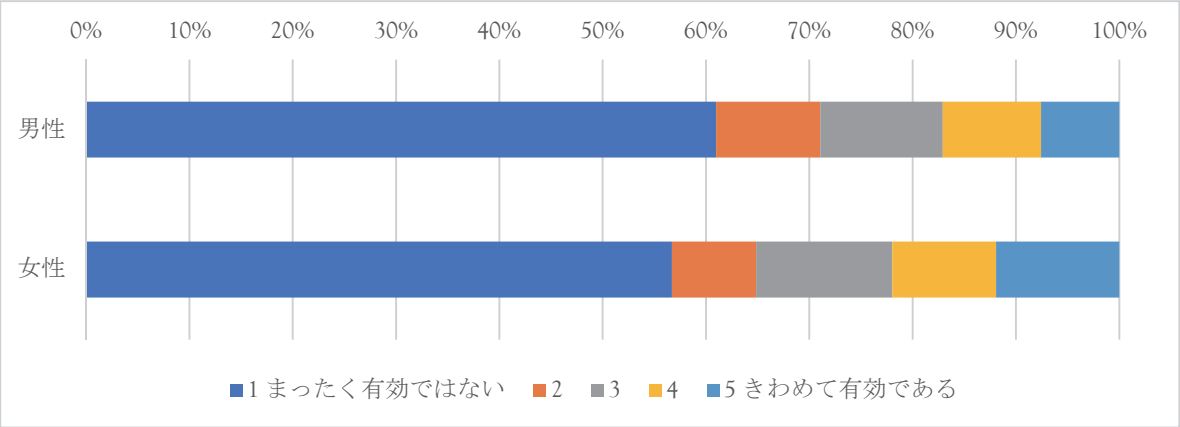


F9-5-4　居住地域別（N=1615）

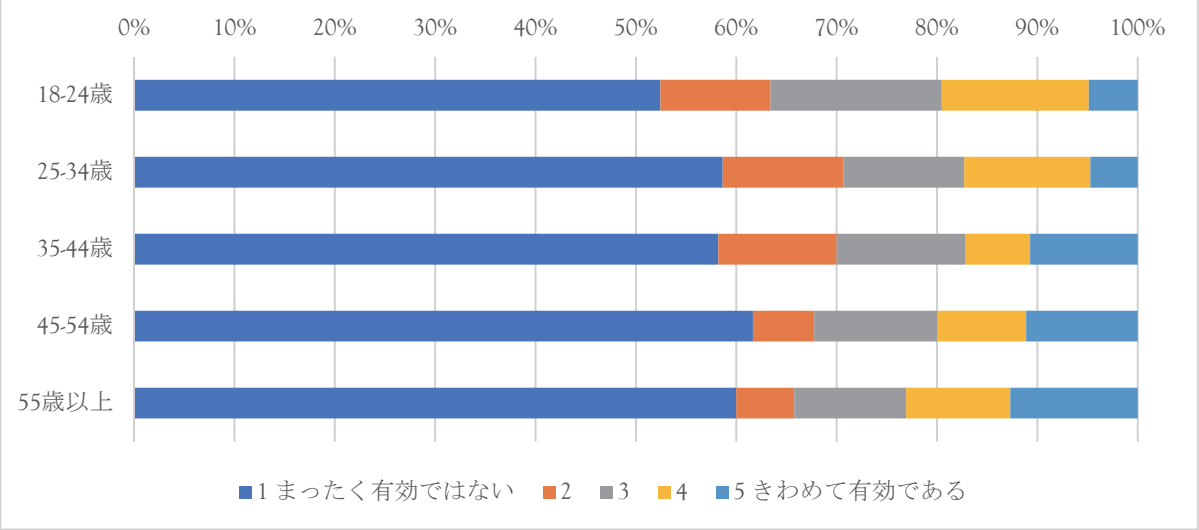


F9-6　自発的組織・非営利団体

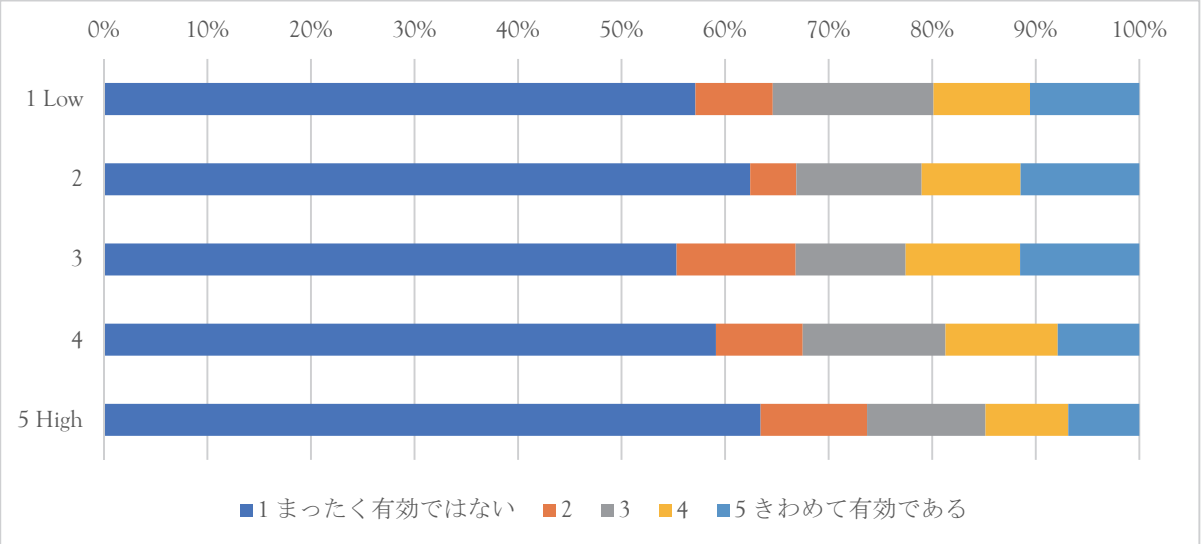
F9-6-1　男女別（N=1590）



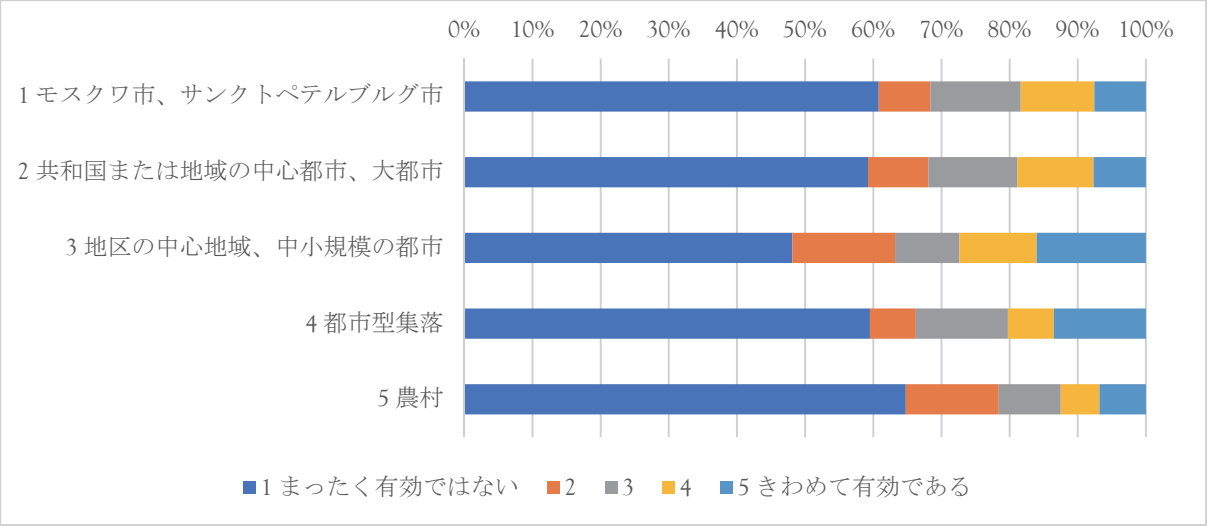
F9-6-2　年齢別（N=1590）



F9-6-3　収入別（N=1482）

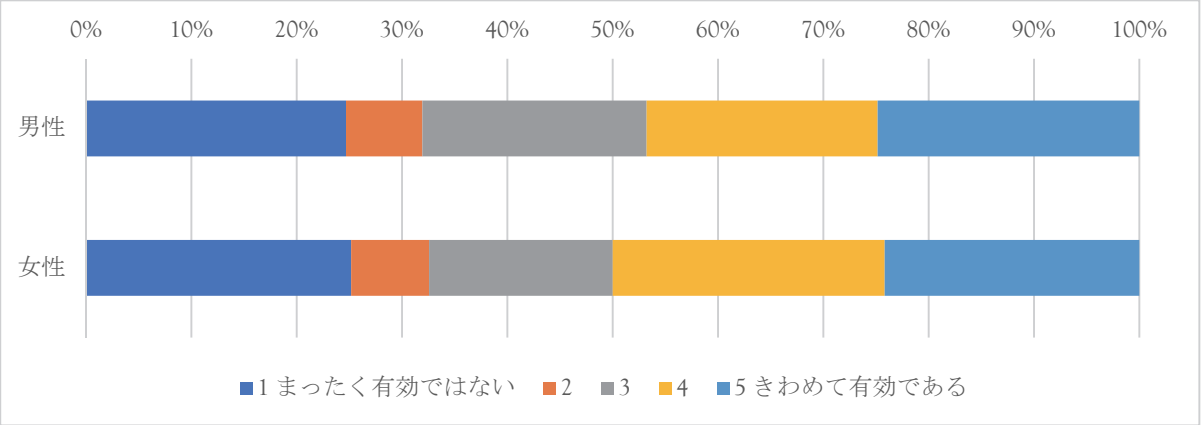


F9-6-4　居住地域別（N=1582）

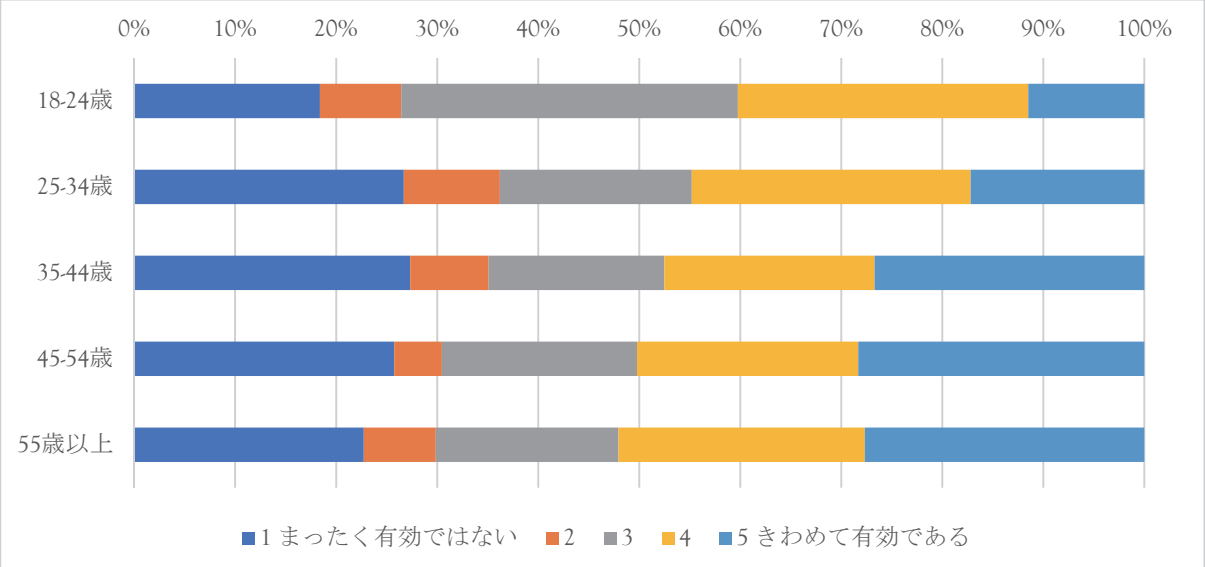


F9-7　友人・知人

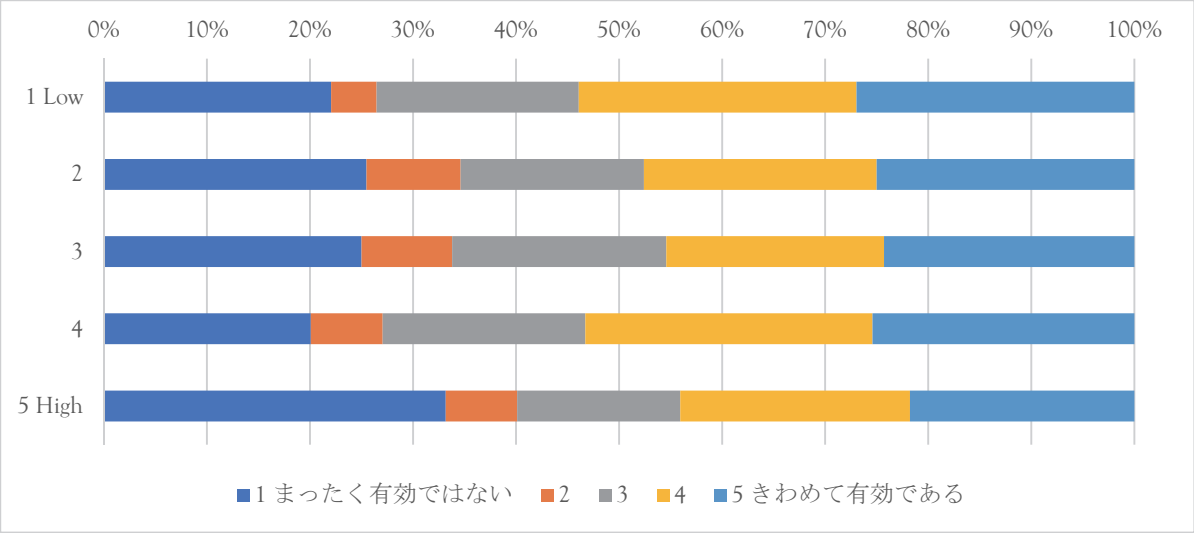
F9-7-1　男女別（N=1649）



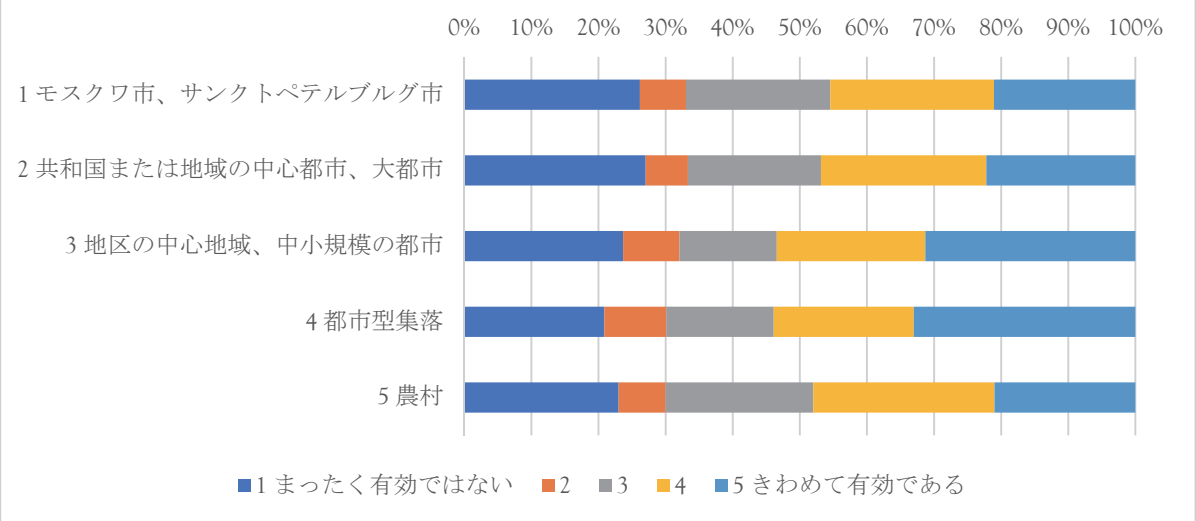
F9-7-2　年齢別（N=1649）



F9-7-3　収入別（N=1536）

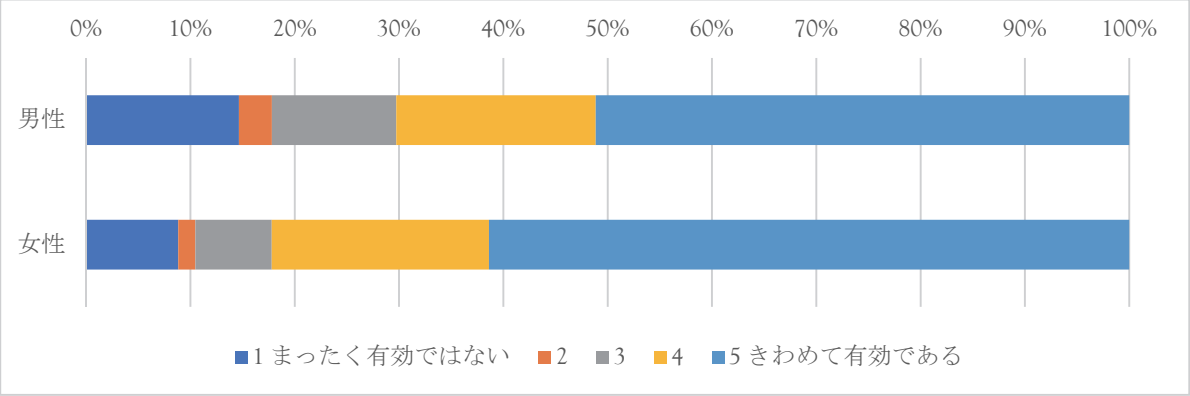


F9-7-4　居住地域別（N=1640）

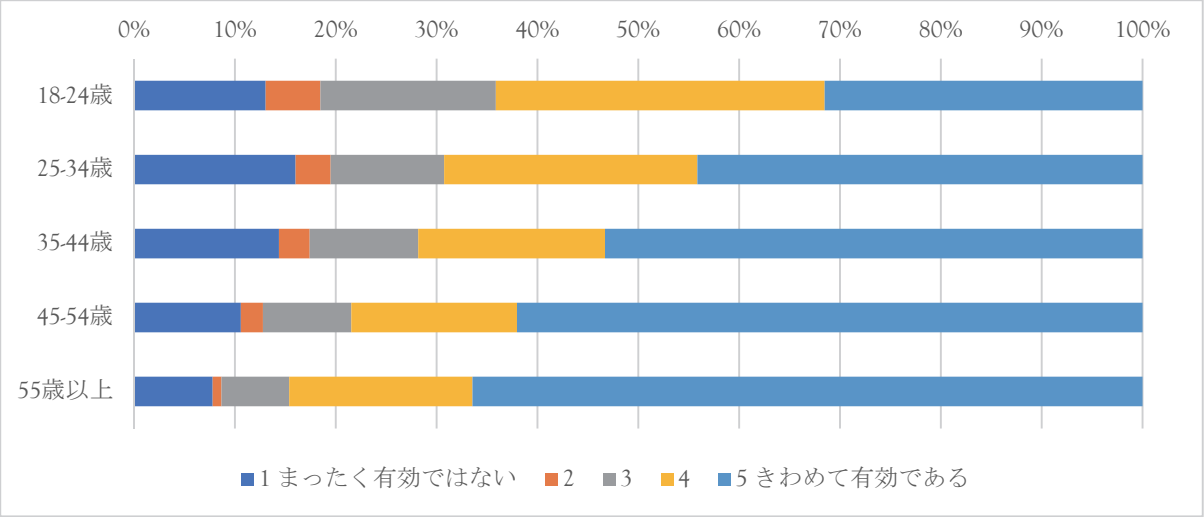


F9-8　家族・親戚

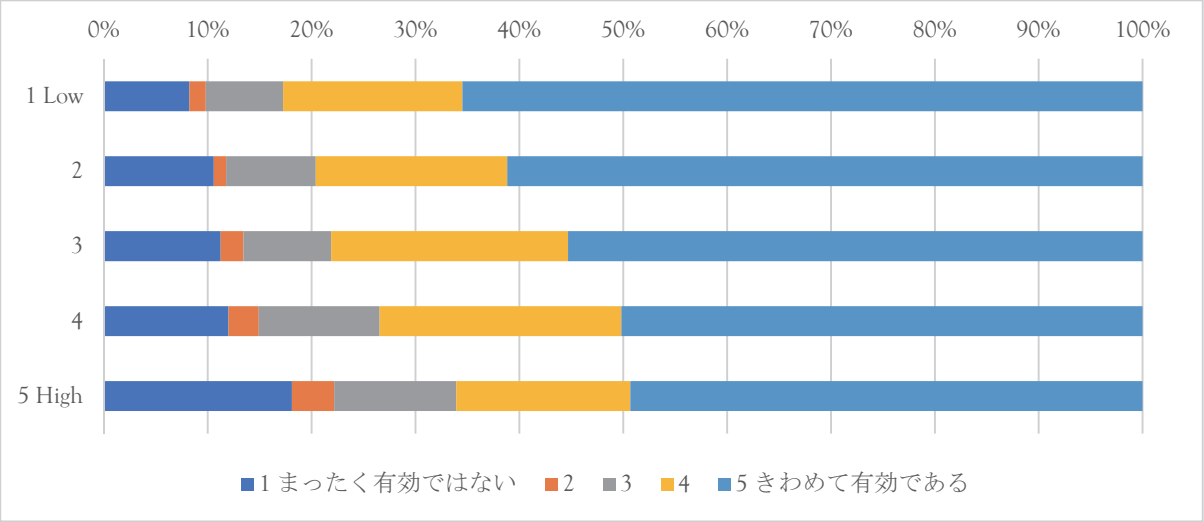
F9-8-1　男女別（N=1656）



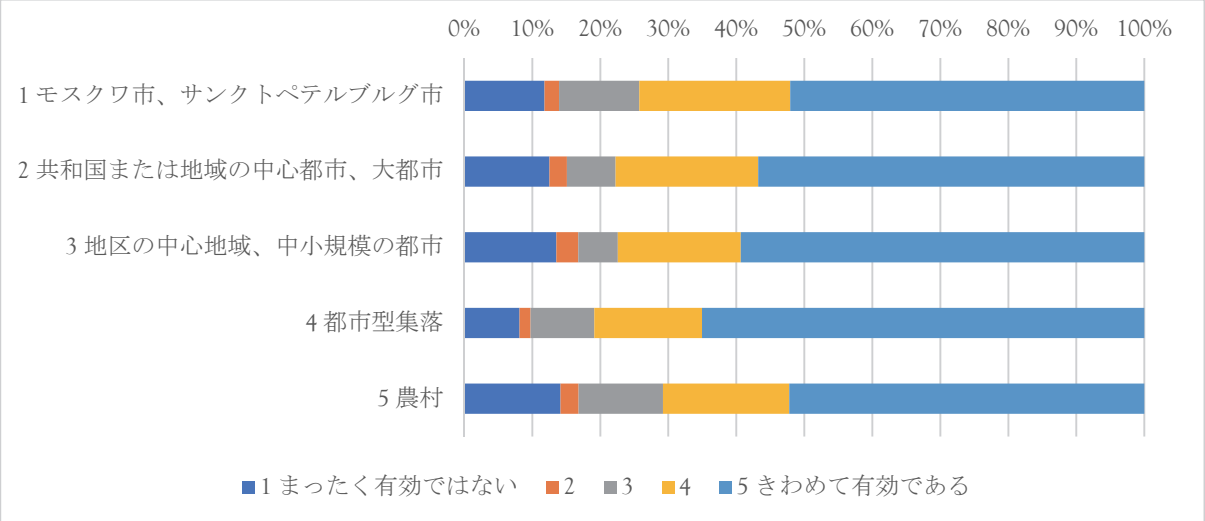
F9-8-2　年齢別（N=1656）



F9-8-3　収入別（N=1544）



F9-8-4　居住地域別（N=1647）



G. 社会政治的態度

G はロシア政府の政策に対する態度や評価に関する質問である。

G1（Q55）は、政府による所得格差の是正についてどう考えるかを尋ねている。全体では「完全に賛成」がほぼ 5 割、「どちらかと言えば賛成」を合わせると 63.5%であった。日本側調査の同様の質問では、賛成派が 46%であったことと比べても、非常に再分配志向が強いと言える。属性別では、年齢が上がるほど再分配志向は強くなり、また所得が上がるほど反対意見が多くなる。

過去 5 年間のロシア政府の政策に対する評価を尋ねたのが G2（Q56）で、①雇用機会の創出、②経済格差の縮小、③景気刺激、④インフラ整備、⑤国の安全保障、⑥教育・科学技術振興、⑦医療システムの発展、⑧環境対策という 8 つ分野についての評価を聞いている。全体としては、最も評価が高いのが国の安全保障で、過半数が肯定的に捉えている。次いでインフラ整備も約 46%が肯定的に評価している。反対に最も評価が低いのは経済格差の縮小で、45%の人が否定的に捉えている。肯定的評価と否定的評価のバランスで見ると、雇用機会の創出と教育・科学技術振興はわずかに肯定評価が多く、医療システムの発展や環境対策では否定的評価が肯定的評価を上回っている。

政策ごとに属性別の評価を見ていくと、①雇用機会の創出については、女性、高齢者、低所得層、農村で評価がより高くなっている。全体では否定的な評価が多かった②経済格差の縮小については、24～54 歳の現役労働世代で辛い評価が多く、また高所得層や大都市の住民の否定的評価が高くなる傾向がある。再分配が大きいことに対する不満なのか小さいことに対する不満なのかは、この結果からは明らかではない。③景気刺激策については、全体では否定派が 34.3%、肯定派が 30.9%で、若干否定的な評価が多いが、属性別ではとくに男性、高齢者以外の現役世代、高所得層で不満が大きくなっており、年金生活者以外では不満の方が大きいと考えられる。④インフラ整備については、年齢が上がるほど良い評価が増えている。⑤国の安全保障に関しては、回答者の 6 割が「良い」「極めて良い」と評価しており、高齢者、低所得、農村で評価が高くなる傾向にある。これは大統領への支持層とも重なる。⑥教育・科学技術振興については、全体として肯定的評価と否定的評価にあまり大きな差はないものの、女性、高齢者、低所得層、農村で比較的肯定的な評価が多くなっている。⑦医療システムの発展については、全体では若干否定的な評価の方が多いが、属性別で見ると、低所得層の方が高所得層より満足している人が多く、また医療システムがより整っていると思われる大都市よりも農村の方で満足度が高くなっている。最後に、⑧環境対策では、男性、若者、高所得層ほど否定的な回答が多くなっている。

G1. （Q55）あなたは「政府が人々の間の所得格差を減ずるべき」という意見に賛成しますか。1－5 で評価してください。

	実数（人）	比率（%）
1 全く反対	203	11.9
2 どちらかといえば反対	85	5.0
3 賛成でも反対でもない	275	16.2
4 どちらかといえば賛成	235	13.8
5 完全に賛成	845	49.7
6 回答拒否または答えられない	57	3.4
総計	1700	100.0

図 G1-0　総計（N＝1700）

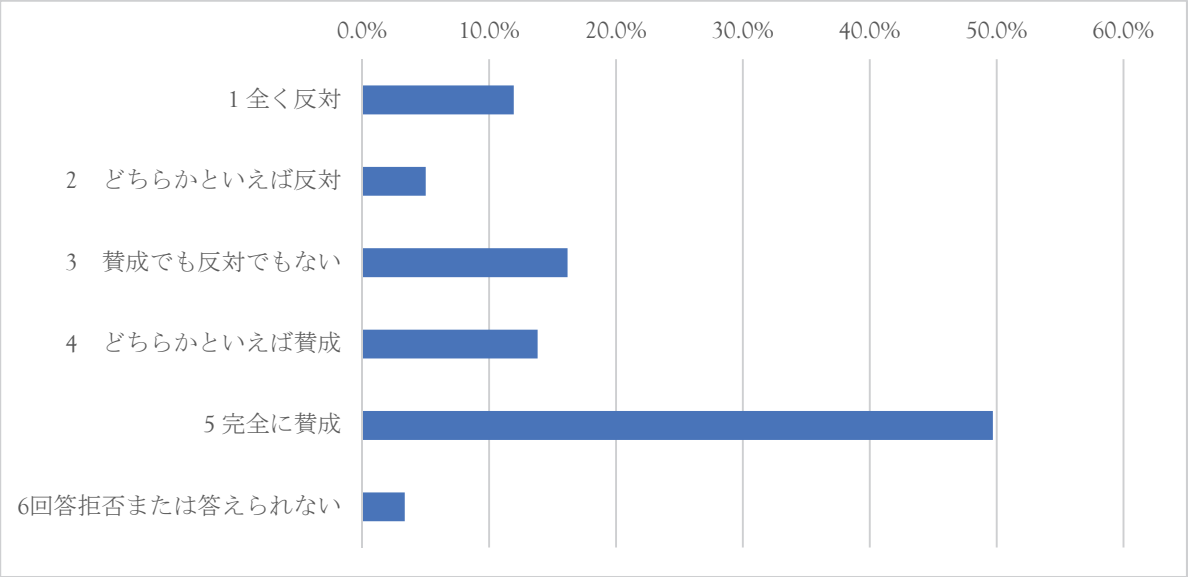


図 G1-1　男女別（N=1643）

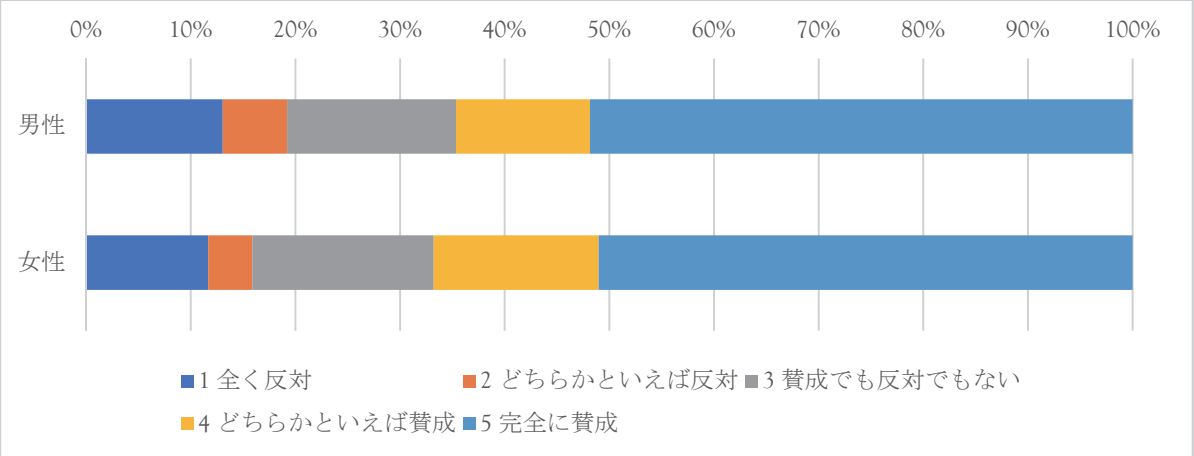


図 G1-2　年齢別（N=1643）

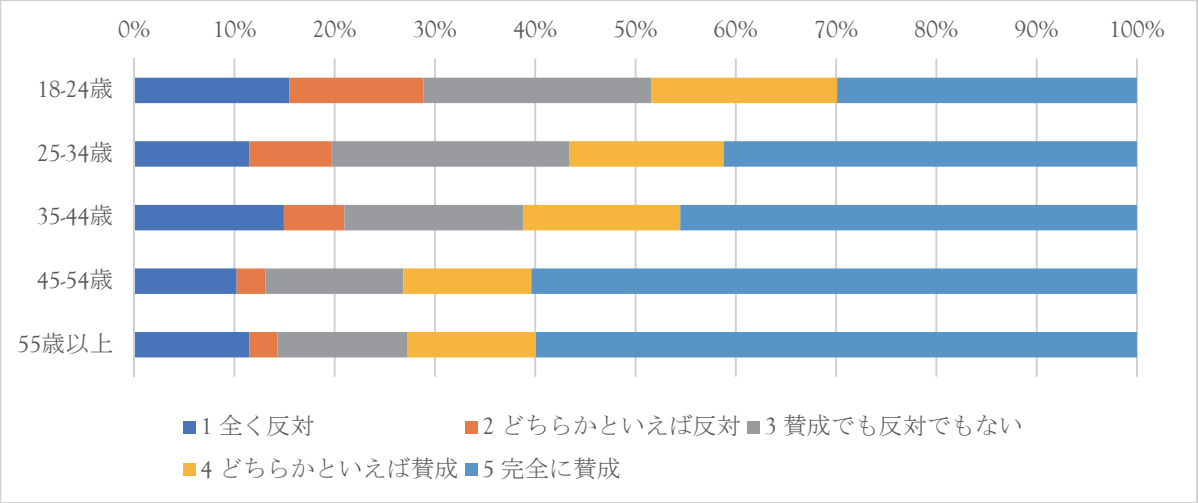


図 G1-3　収入別（N=1531）

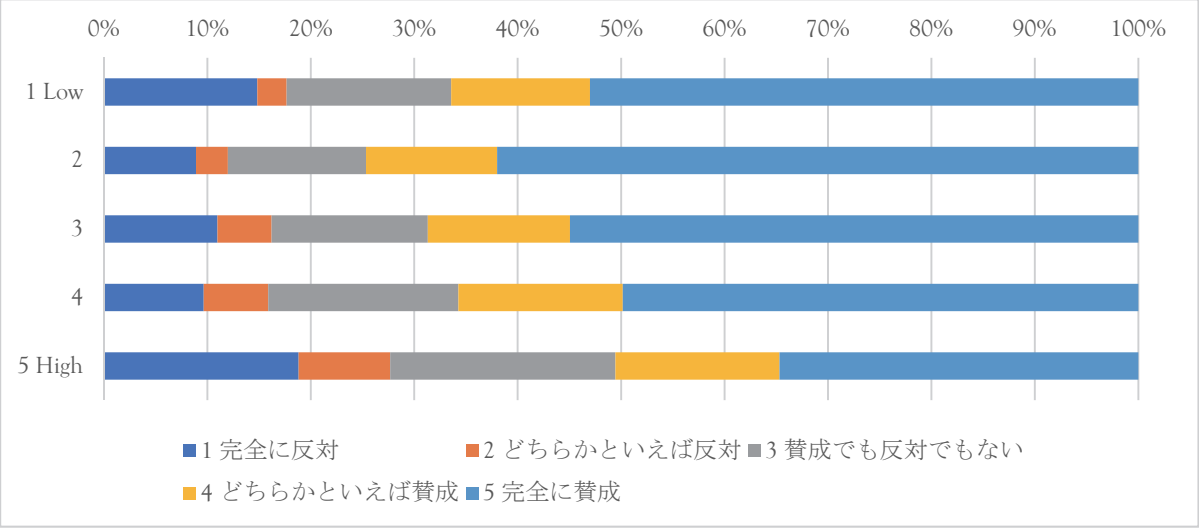
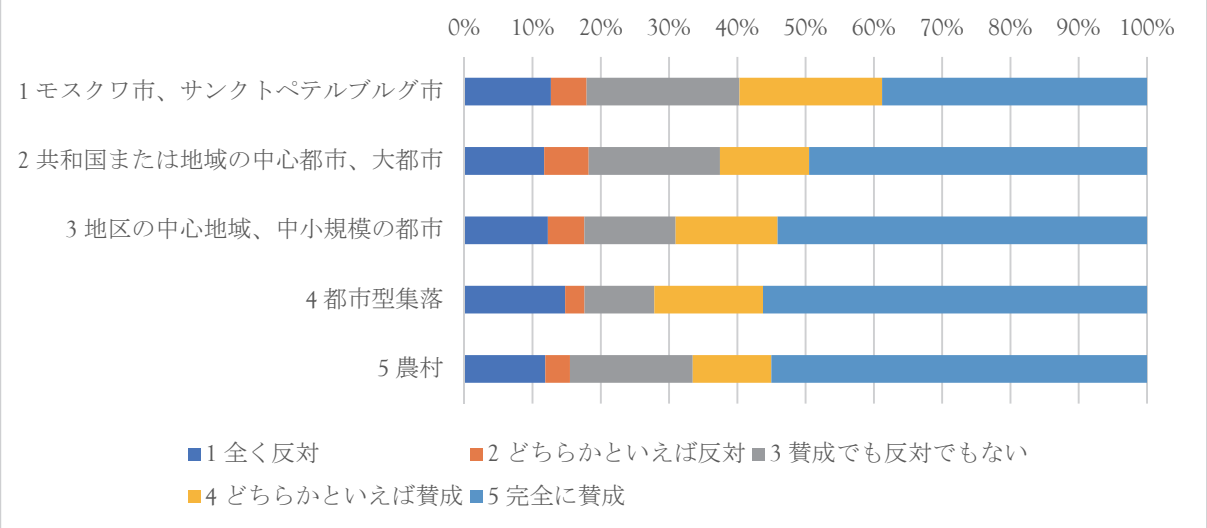


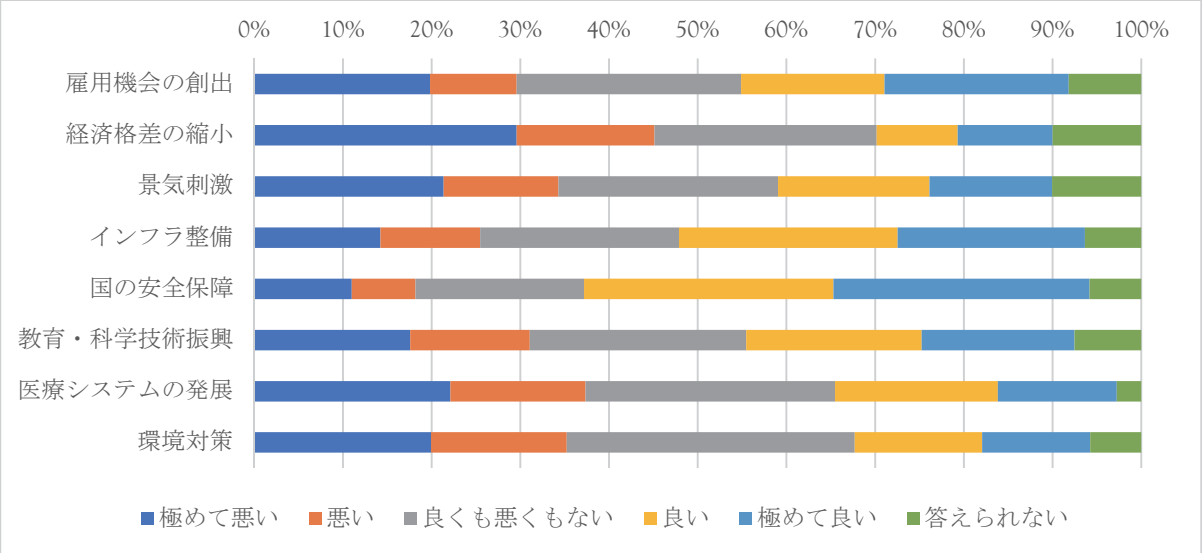
図 G1-4　居住地域別（N=1635）



G2. (Q56) この 5 年間のロシア政府の政策に関してあなたはどのように評価しますか。項目ごとに 1 つ選んでください。

			極めて悪い	悪い	良くも悪くもない	良い	極めて良い	答えられない	総計
1	雇用機会の創出	実数	337	166	430	275	353	139	1700
		比率	19.8%	9.8%	25.3%	16.2%	20.8%	8.2%	100.0%
2	経済格差の縮小	実数	503	264	426	155	182	170	1700
		比率	29.6%	15.5%	25.1%	9.1%	10.7%	10.0%	100.0%
3	景気刺激	実数	363	220	421	290	235	171	1700
		比率	21.4%	12.9%	24.8%	17.1%	13.8%	10.1%	100.0%
4	インフラ整備	実数	242	191	381	419	359	108	1700
		比率	14.2%	11.2%	22.4%	24.6%	21.1%	6.4%	100.0%
5	国の安全保障	実数	187	122	323	478	491	99	1700
		比率	11.0%	7.2%	19.0%	28.1%	28.9%	5.8%	100.0%
6	教育・科学技術振興	実数	299	229	415	336	293	128	1700
		比率	17.6%	13.5%	24.4%	19.8%	17.2%	7.5%	100.0%
7	医療システムの発展	実数	376	259	478	312	228	47	1700
		比率	22.1%	15.2%	28.1%	18.4%	13.4%	2.8%	100.0%
8	環境対策	実数	339	260	552	244	207	98	1700
		比率	19.9%	15.3%	32.5%	14.4%	12.2%	5.8%	100.0%

図 G2-0　総計 (N＝1700)



G2 (Q56) _1_雇用機会の創出

図 G2-1-1　男女別 (N＝1561)

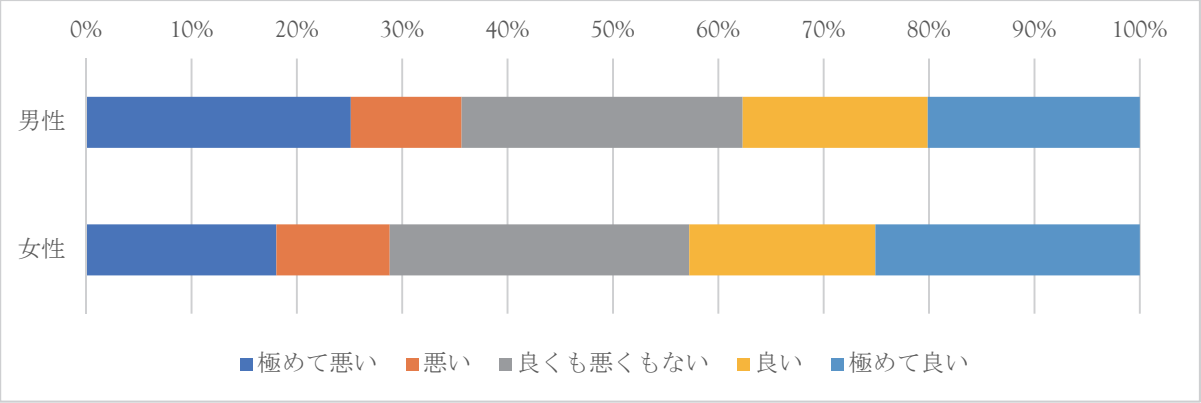


図 G2-1-2　年齢別（N＝1561）

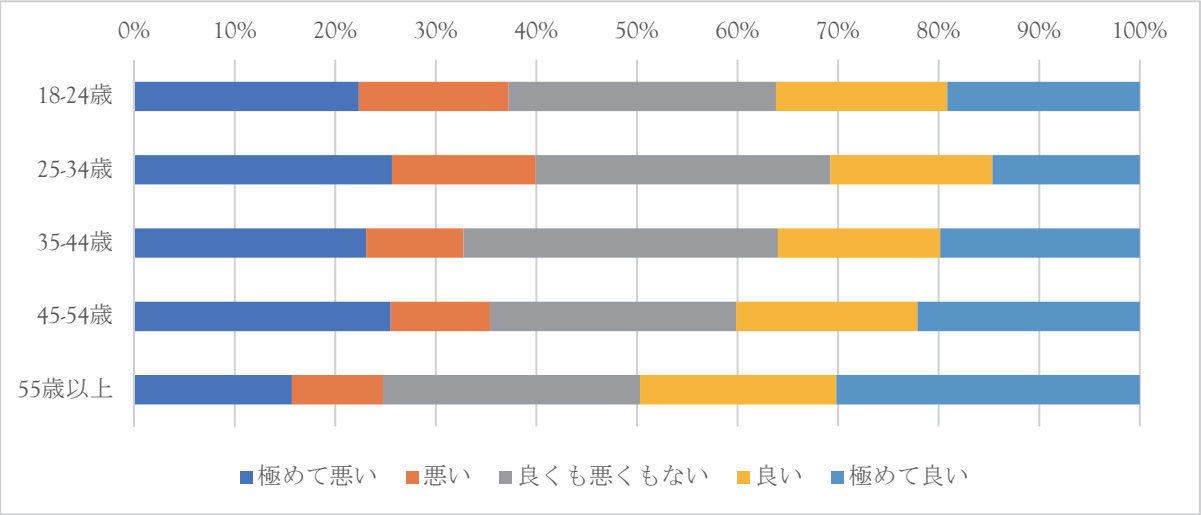


図 G2-1-3　年収別（N＝1457）

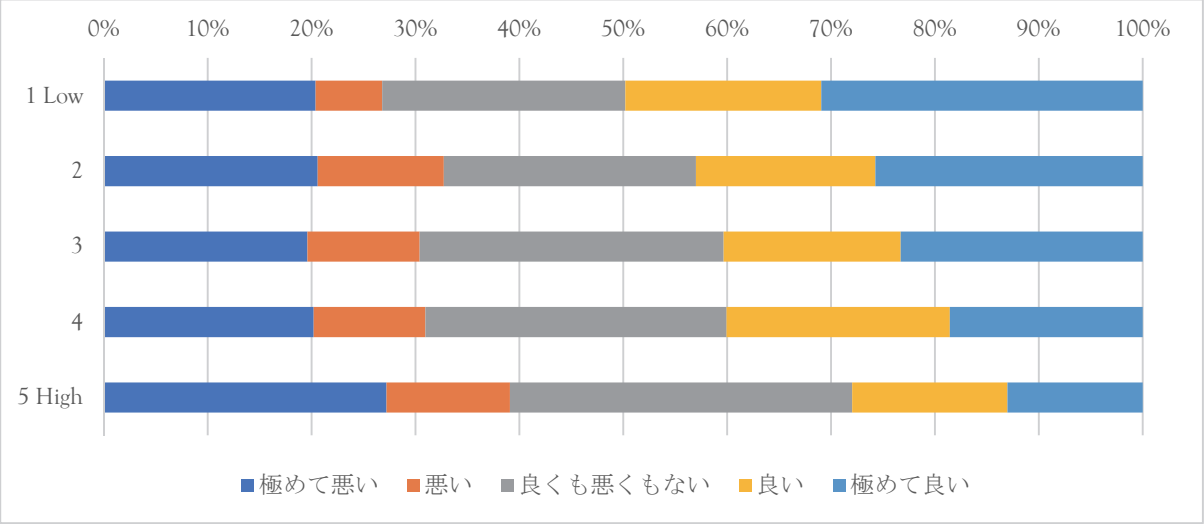
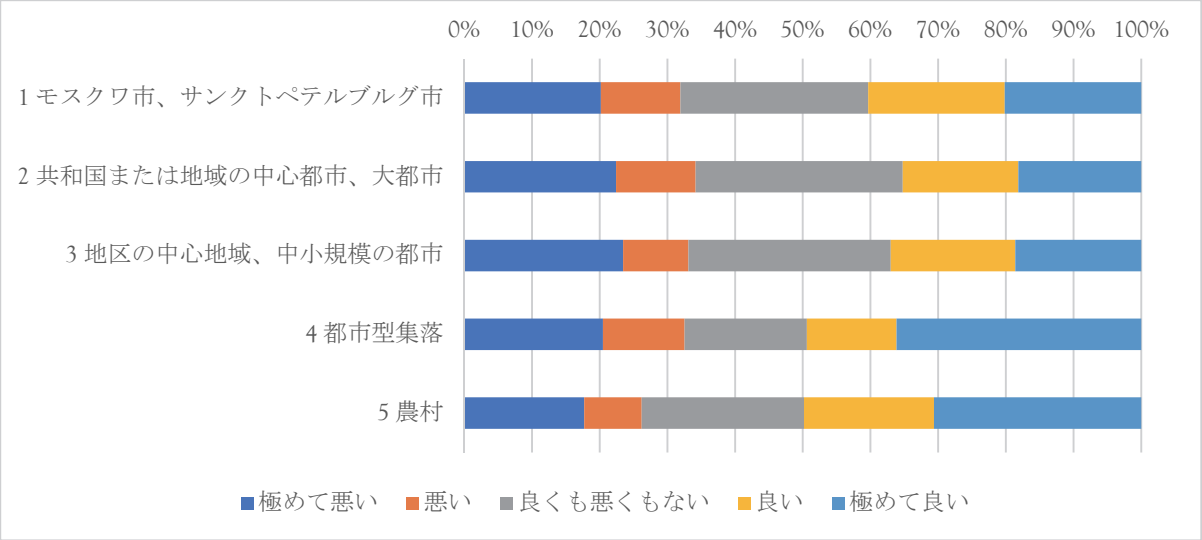


図 G2-1-4　居住地域別（N＝1553）



G2（Q56）_2_経済格差の縮小

図 G2-2-1　男女別（N＝1530）

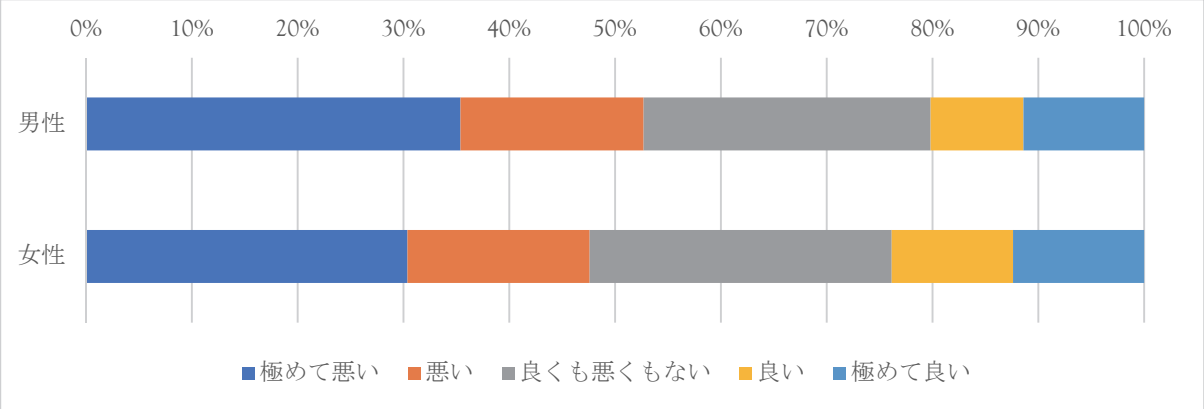


図 G2-2-2　年齢別（N＝1530）

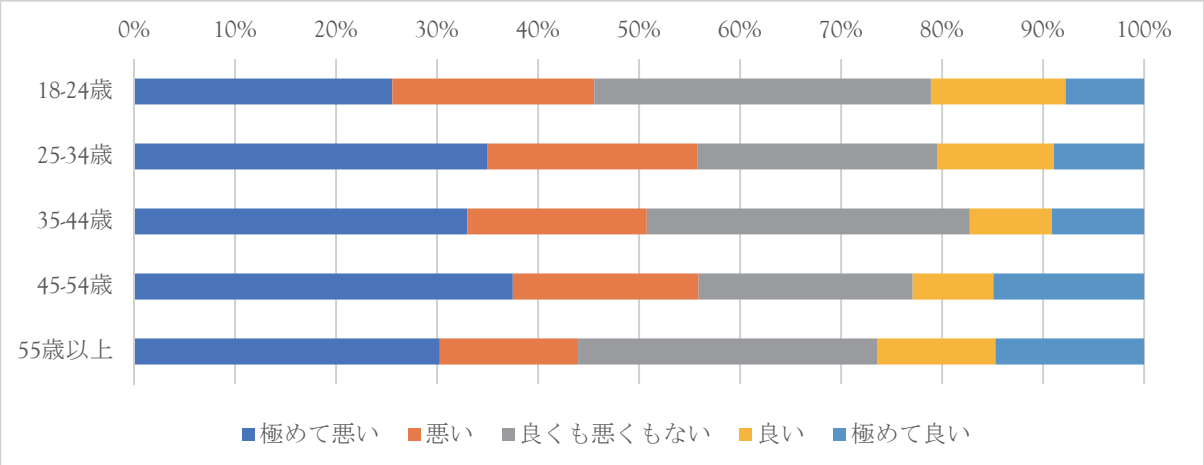


図 G2-2-3　年収別（N＝1432）

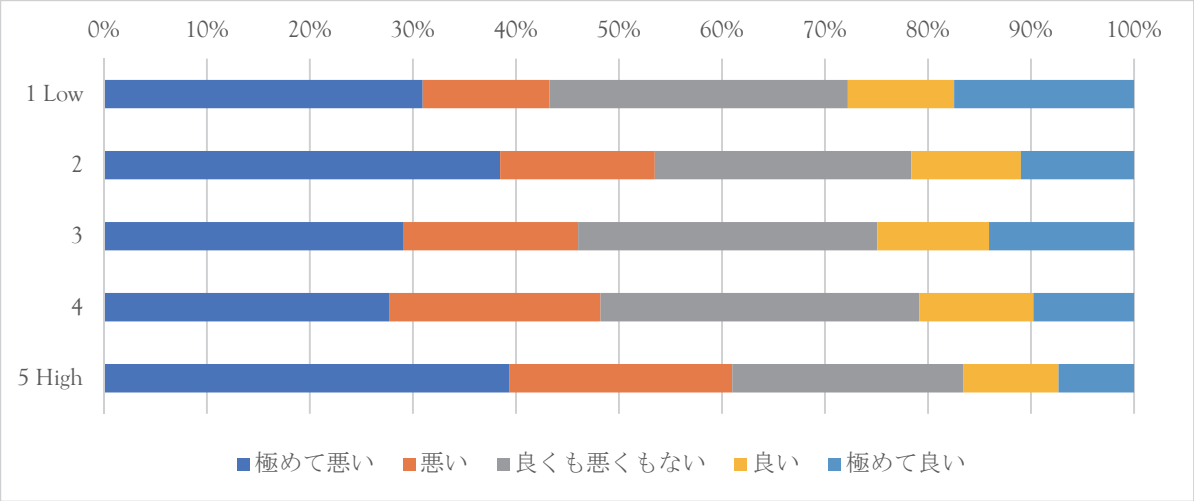
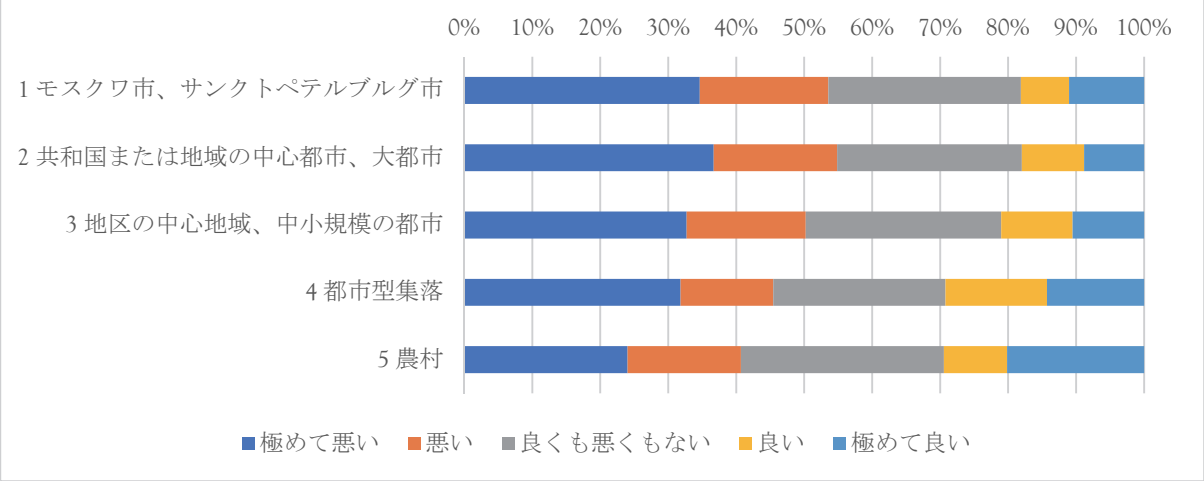


図 G2-2-4　居住地域別（N＝1523）



G2（Q56）_3_景気刺激

図 G2-3-1　男女別（N＝1529）

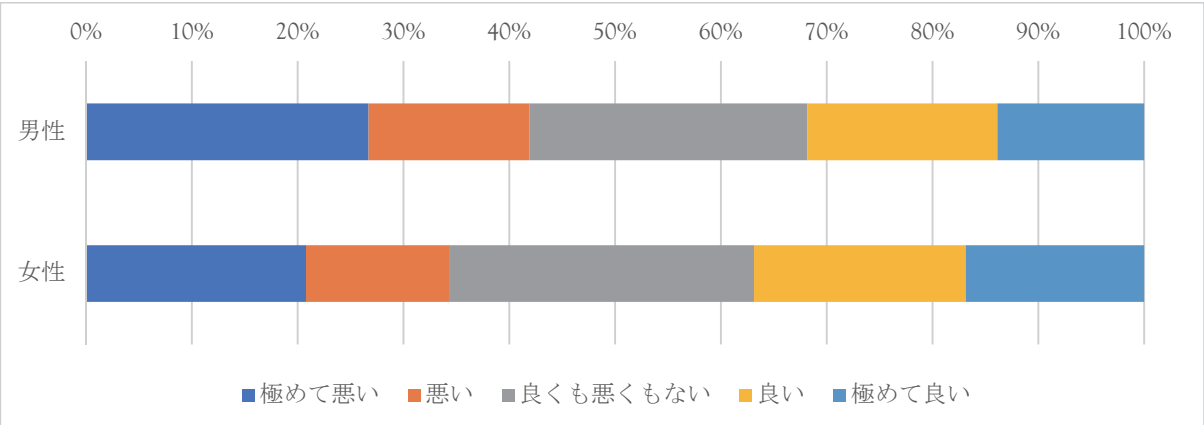


図 G2-3-2　年齢別（N＝1529）

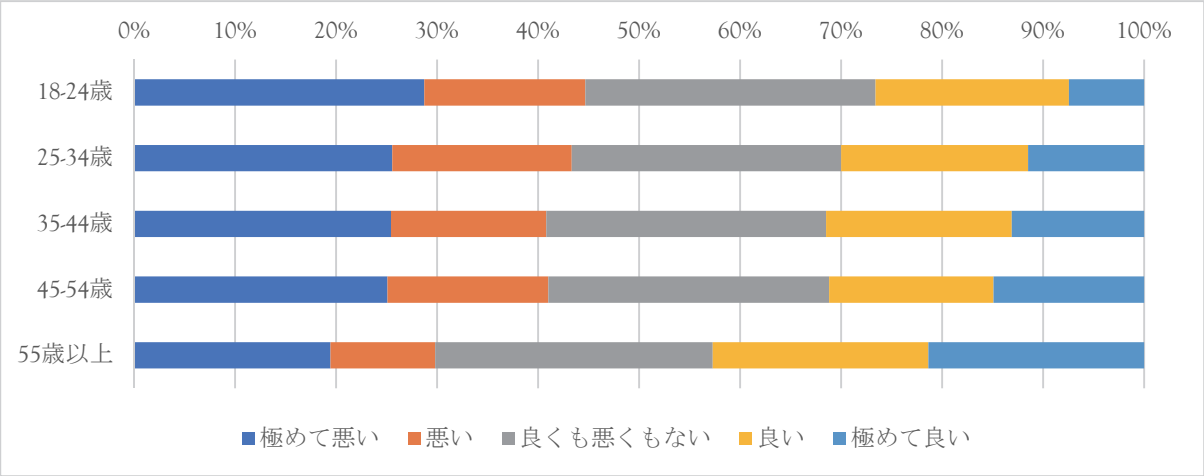


図 G2-3-3　年収別（N＝1431）

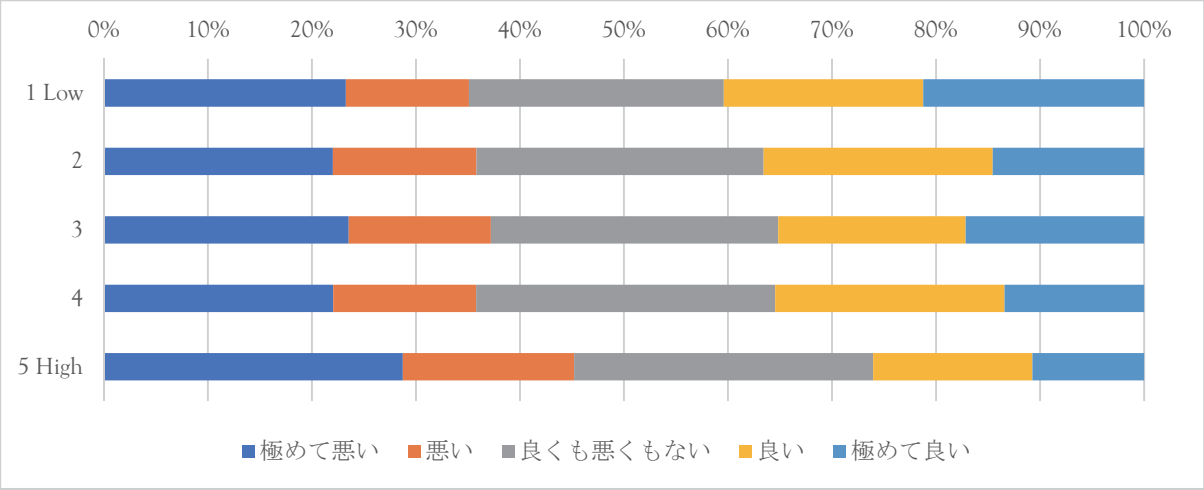
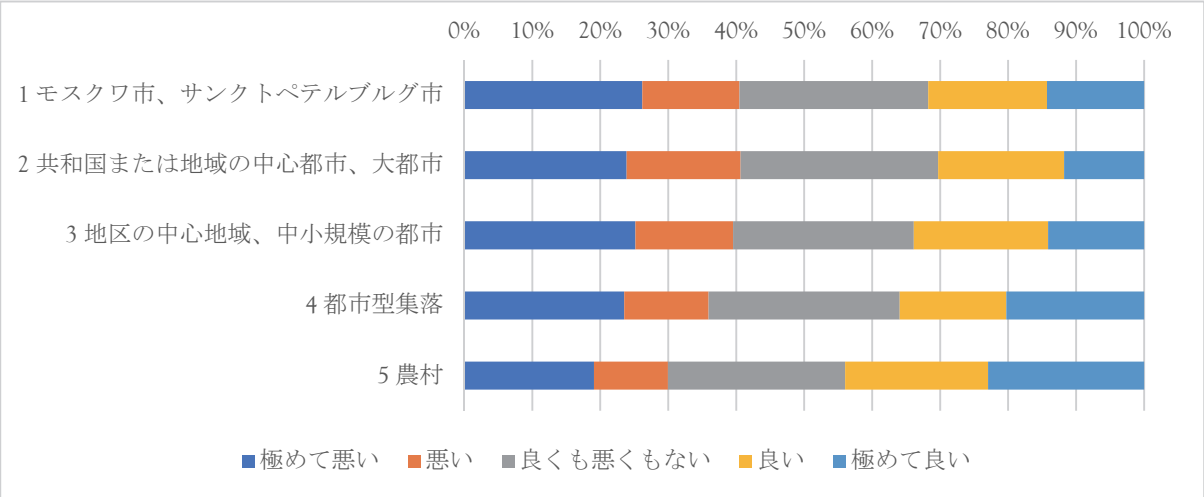


図 G2-3-4　居住地域別（N＝1522）



G2（Q56）_4_インフラ整備

図 G2-4-1　男女別（N＝1952）

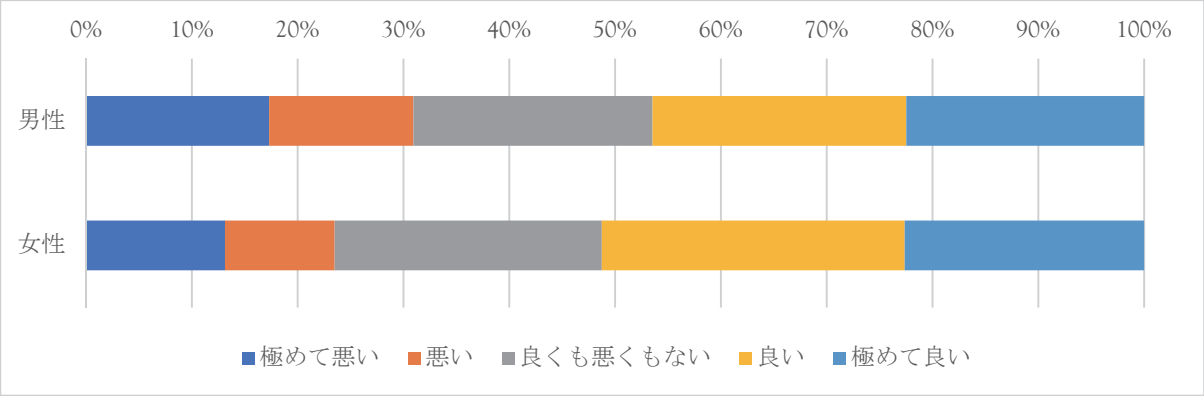


図 G2-4-2　年齢別（N＝1592）

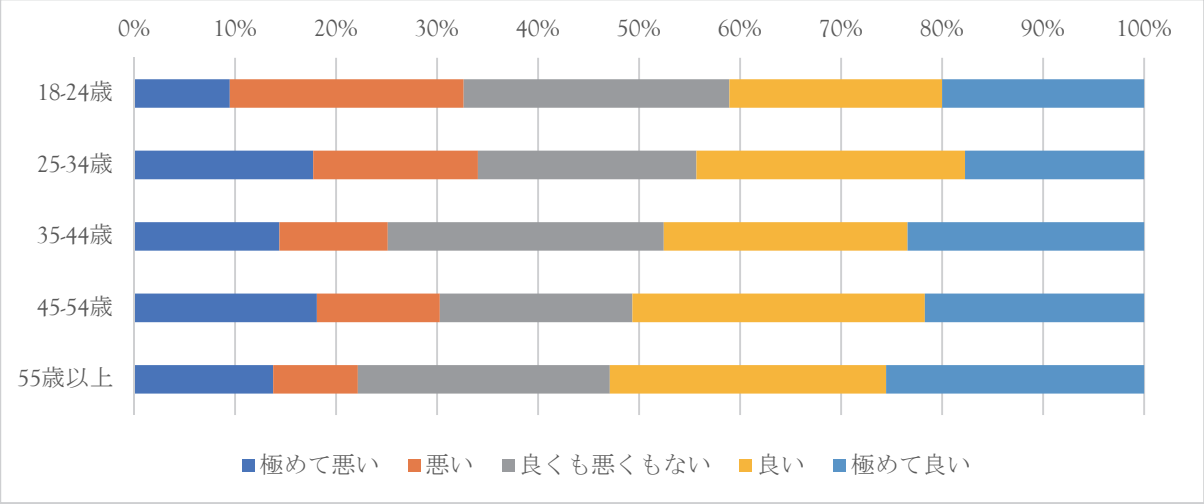


図 G2-4-3　年収別（N＝1487）

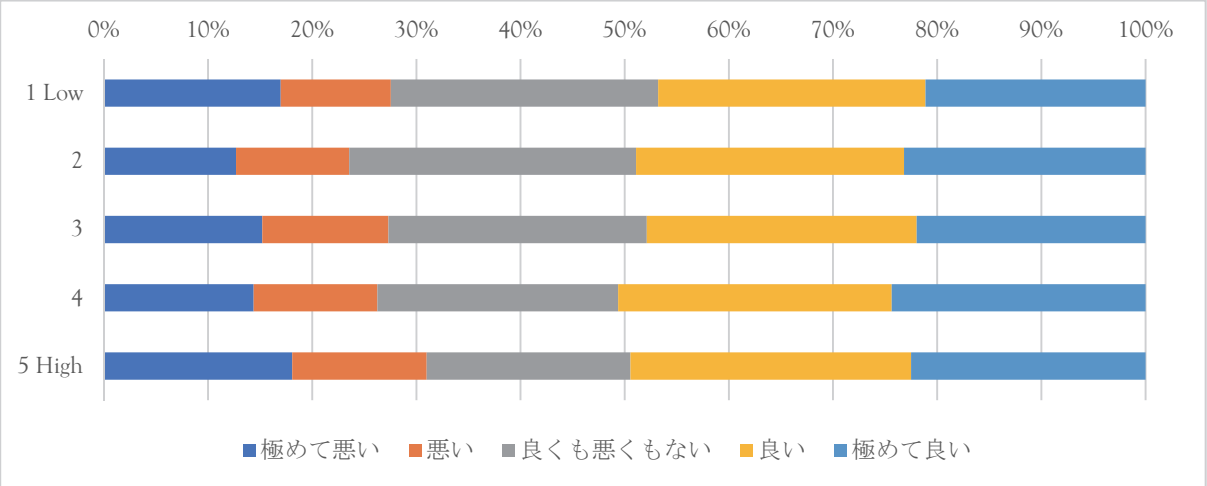
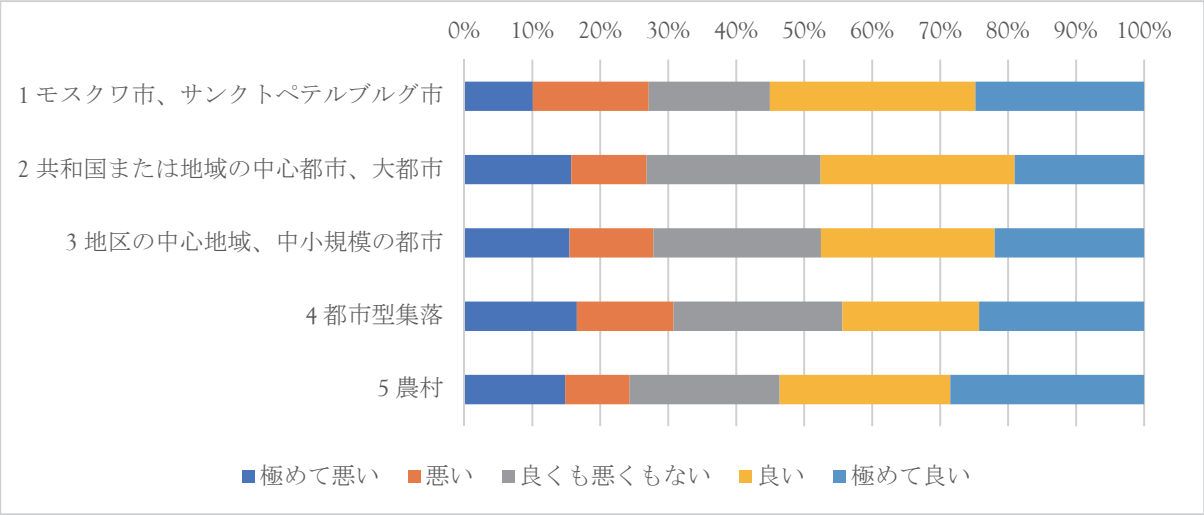


図 G2-4-4　居住地域別（N＝1585）



G2（Q56）_5_国の安全保障

図 G2-5-1　男女別（N＝1601）

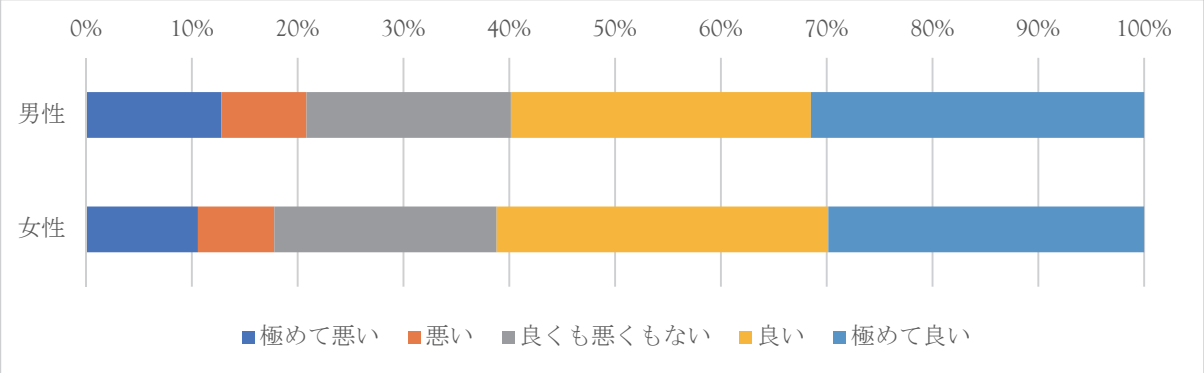


図 G2-5-2　年齢別（N＝1601）

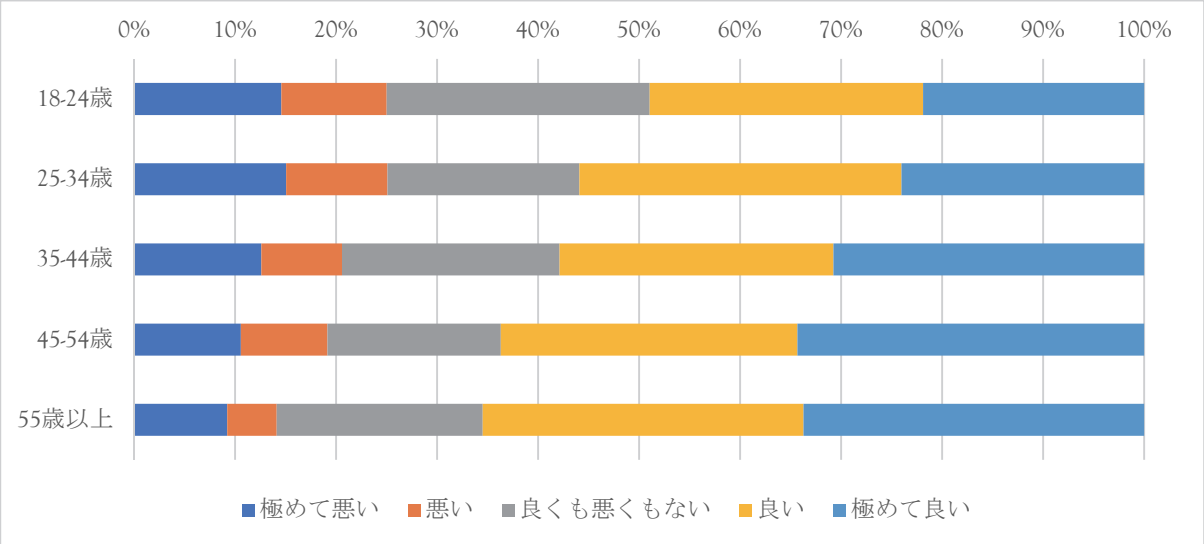


図 G2-5-3　年収別（N＝1494）

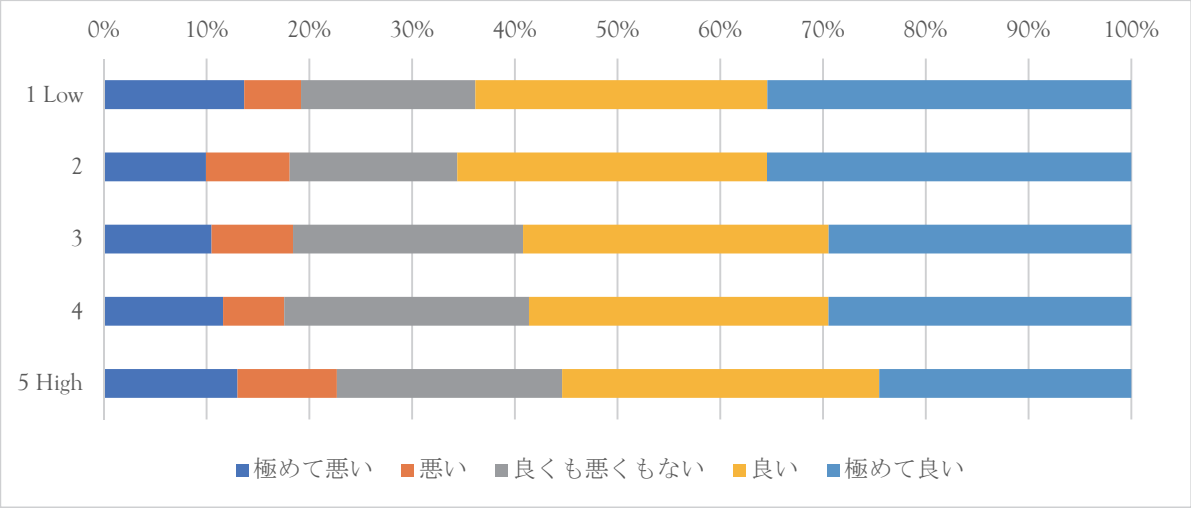
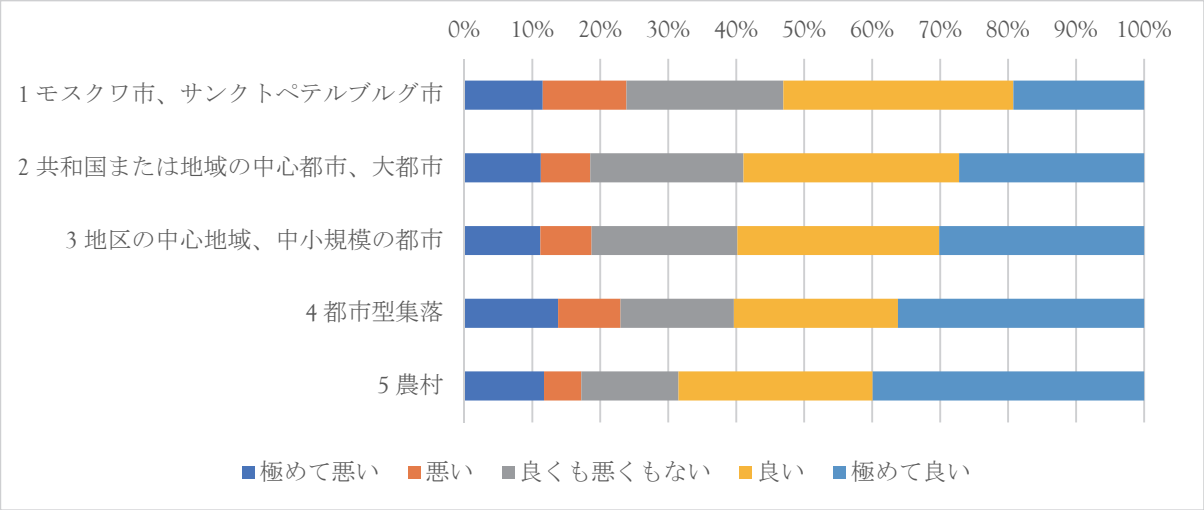


図 G2-5-4　居住地域別（N＝1592）



G2（Q56）_6_教育・科学技術振興

図 G2-6-1　男女別（N＝1572）

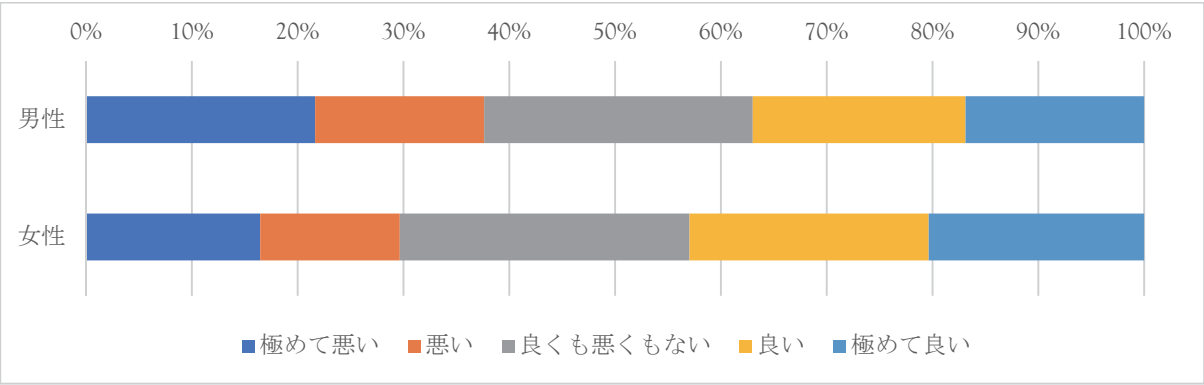


図 G2-6-2　年齢別（N＝1572）

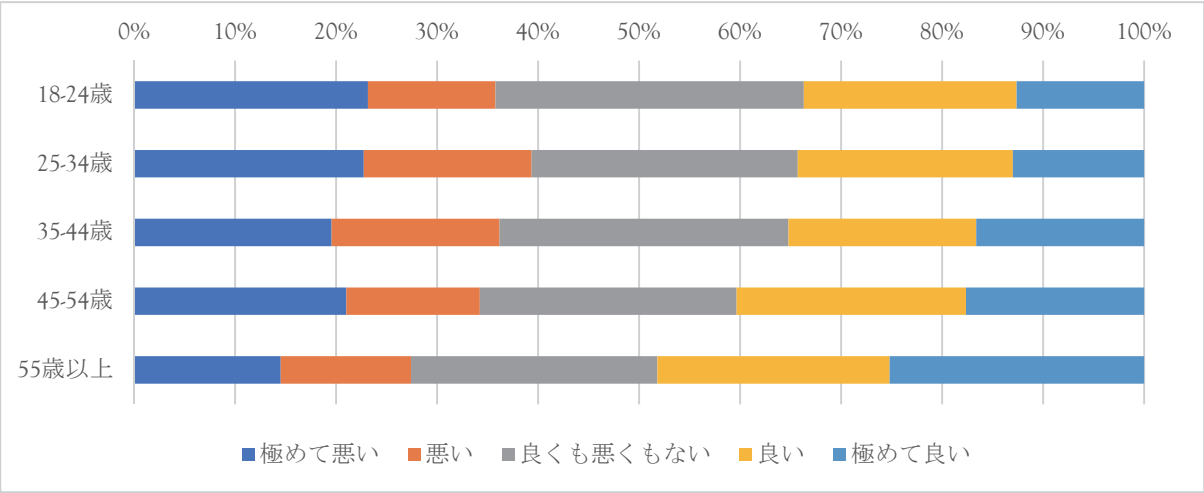


図 G2-6-3　年収別（N＝1467）

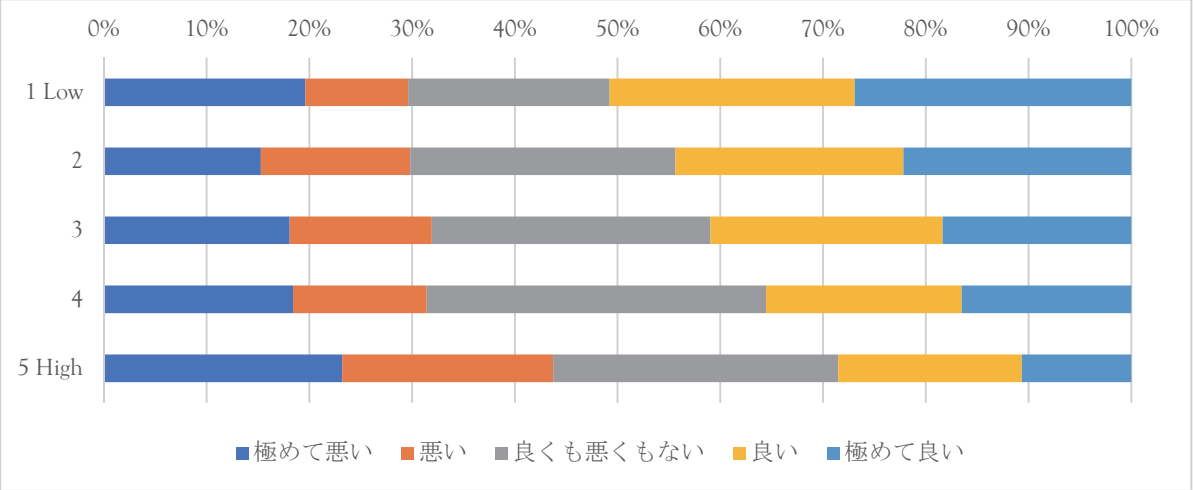
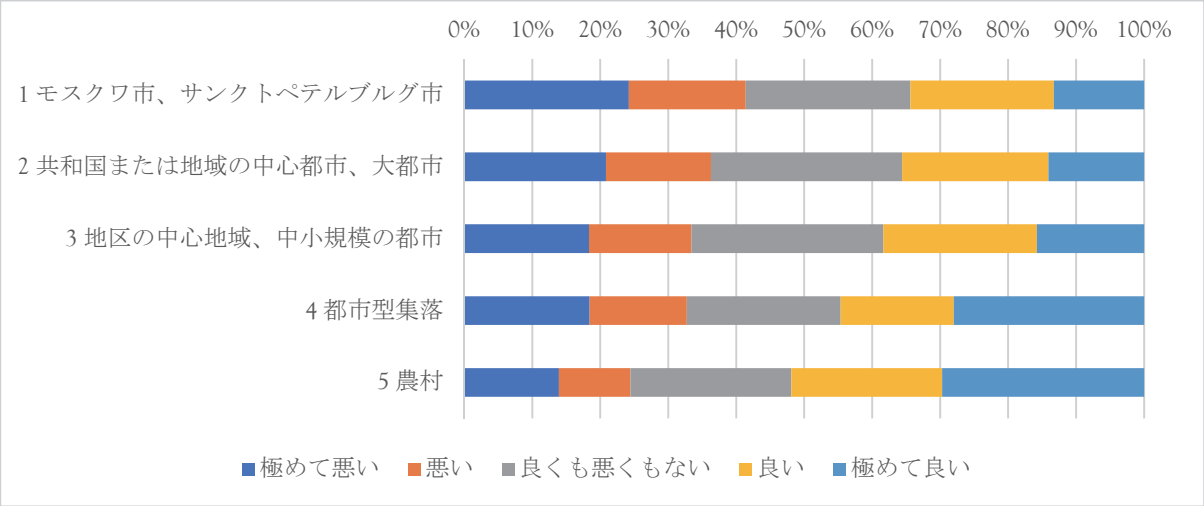


図 G2-6-4　居住地域別（N＝1563）



G2（Q56）_7_医療制度の発展

図 G2-7-1　男女別（N＝1653）

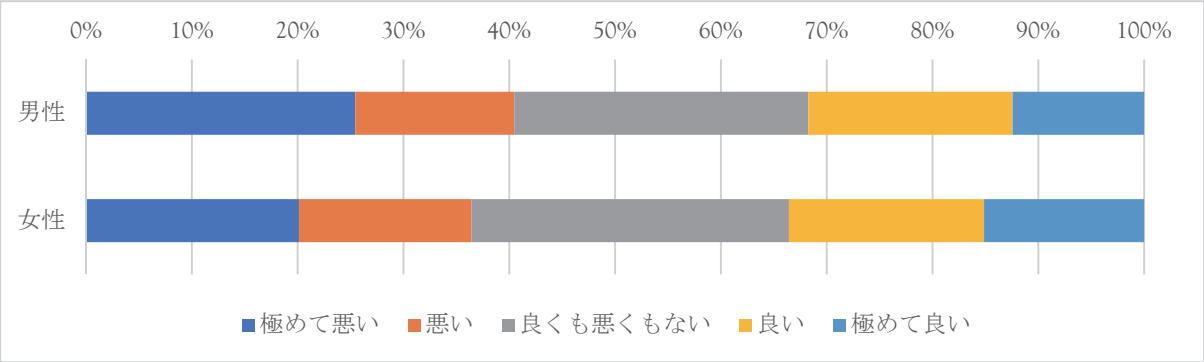


図 G2-7-2　年齢別（N＝1653）

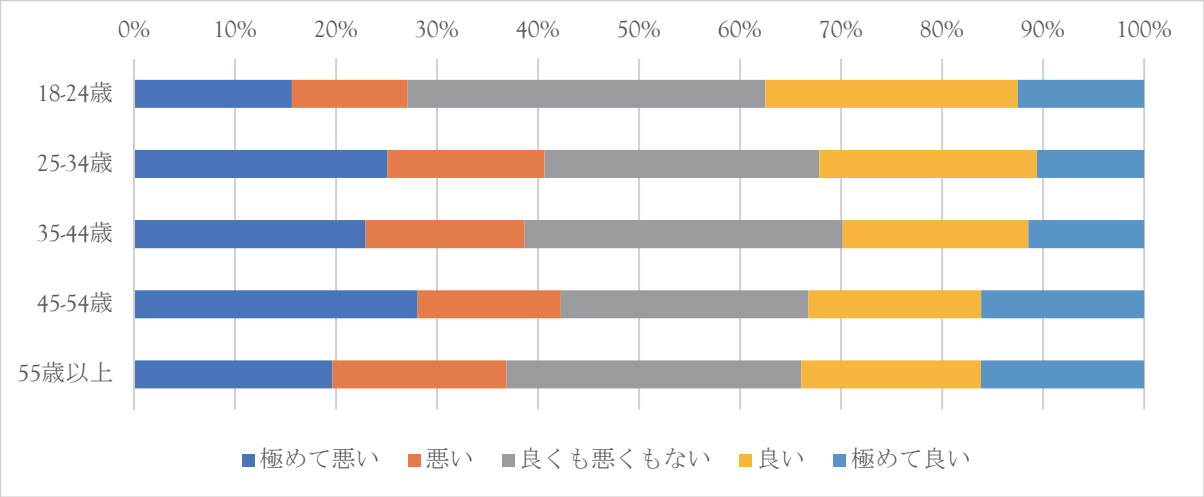


図 G2-7-3　年収別（N＝1540）

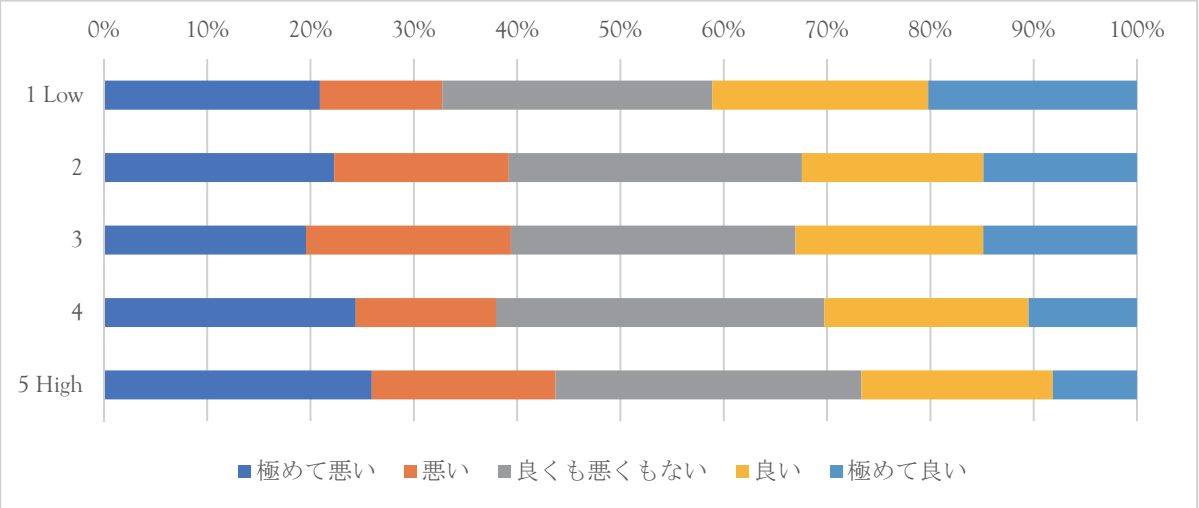
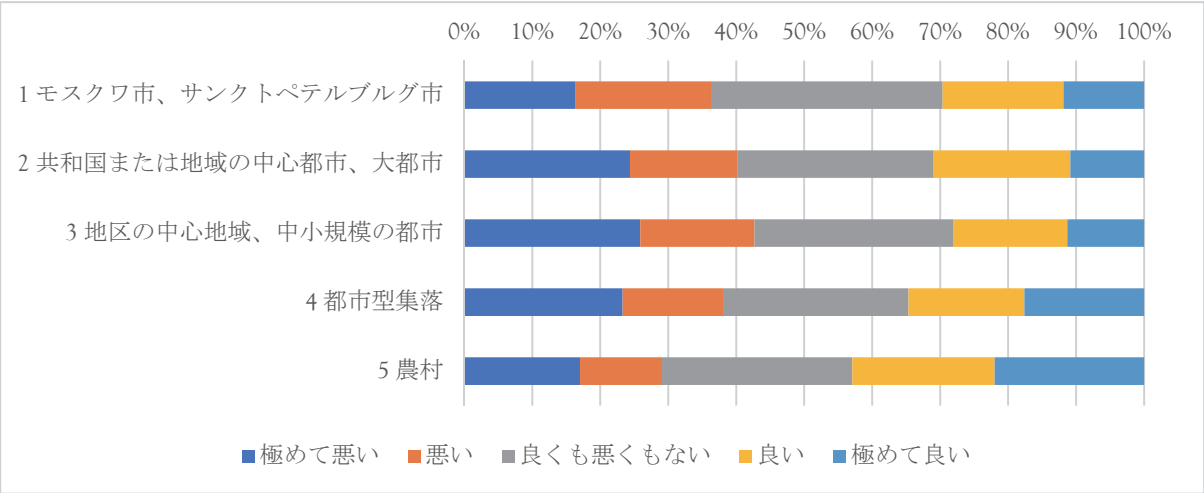


図 G2-7-4　居住地域別（N＝1644）



G2（Q56）_8_環境対策

図 G2-8-1　男女別（N＝1602）

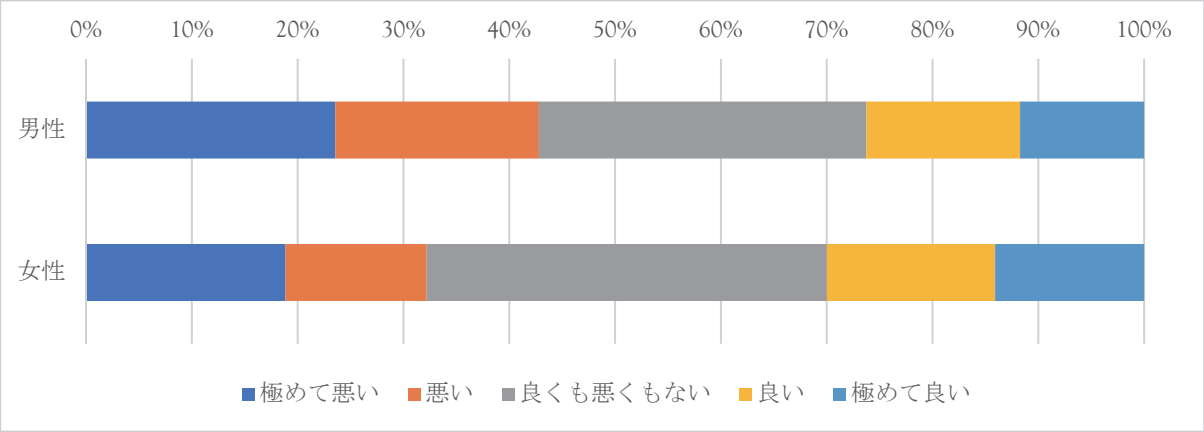


図 G2-8-2　年齢別（N＝1602）

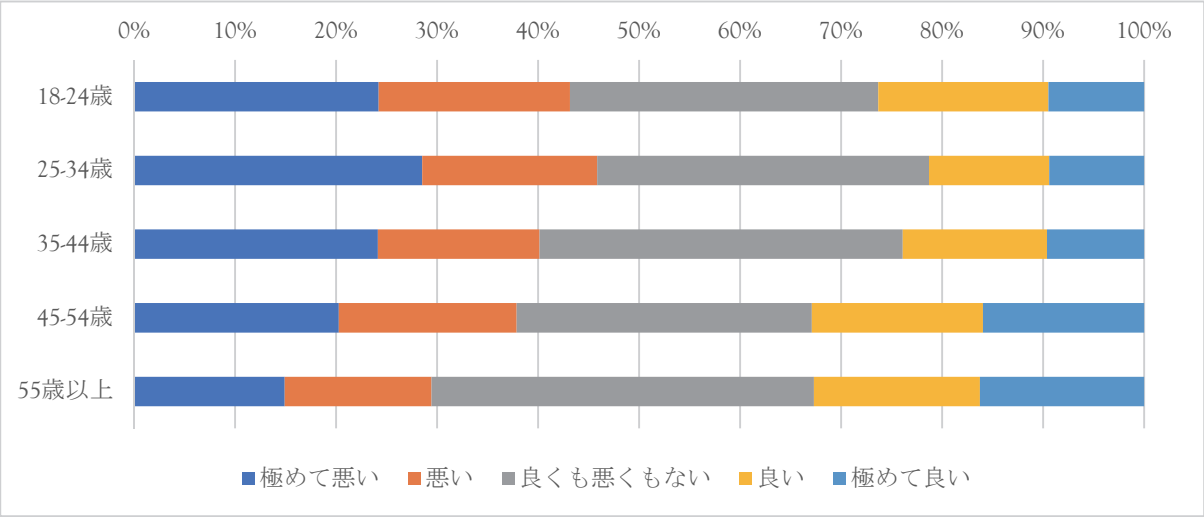


図 G2-8-3　年収別（N＝1497）

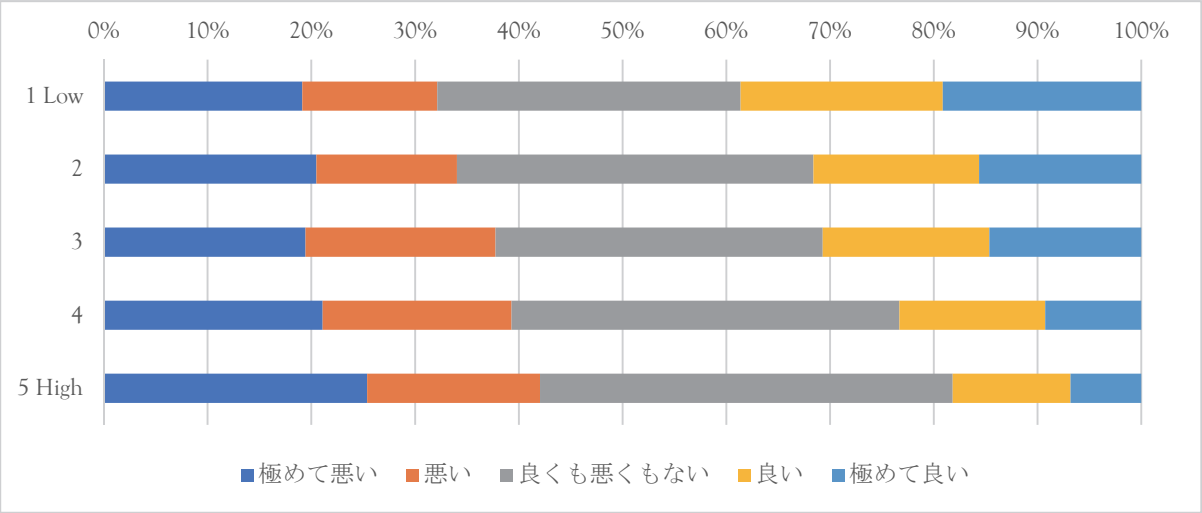
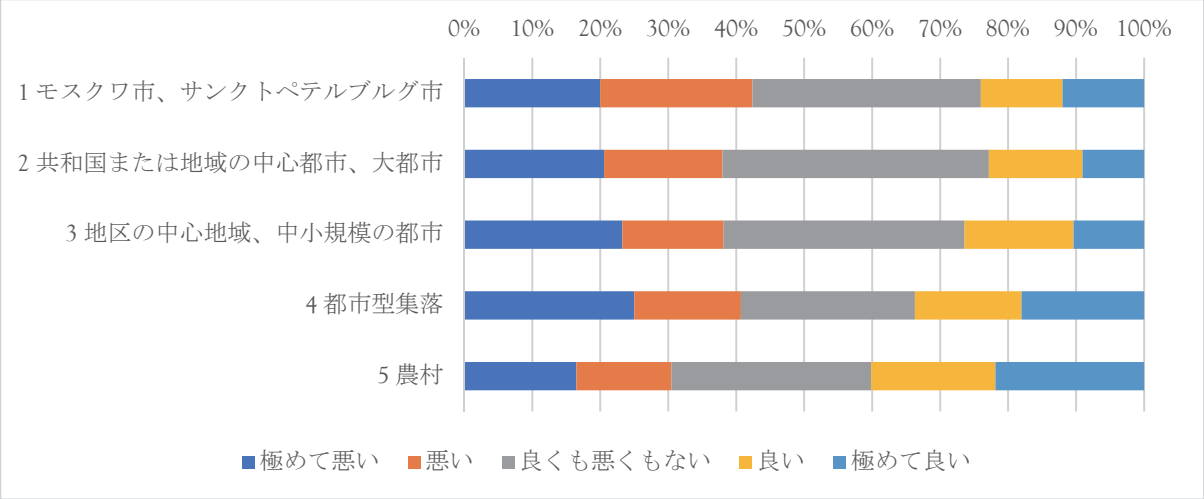


図 G2-8-4　居住地域別（N＝1593）



H. 回答者プロフィール

最後に、セクションHでは回答者に対して教育水準、家族構成、収入等についての質問をしている。個々のアンケート結果については節末にまとめているので参照されたい。

まず、H1（Q57-62）では回答者および家族・友人が受けてきた教育に関して問うている。回答者およびそのパートナーと、彼らの親世代とを比較すると、回答者およびパートナーにおいて教育水準の向上が確認される。他方、回答者自身の属性と教育水準の関係では、男女間の教育格差はそれほど大きくないのに対し、所得や居住地域の違いが相対的に強く反映されている。

H2.1.（Q63）は何人の家族と同居しているかを問うている。回答者のうち一人暮らしは12.8%であり、家族との同居者は87%となっている。

H3（Q65）では家族の収入源について問うている。「主たる勤務先からの給与」および「年金、手当、扶養手当、国や公的機関からの援助など」の比率が高いが、「故人副業経営、ダーチャ、家庭菜園」も26.9%と相対的に高く、ロシアの独自性を示している。

H4（Q66-Q73）では回答者自身の平均月収について問うている。地域ごとに 5 つの区分を設定して、自身がどこに区分されるかを示してもらっている。地域にかかわりなく、5 つの月収区分に該当する人の比率のみを示せば、月収の低い順に、17.6%、17.8%、22.0%、19.2%、16.3%、6.9%となっている。

H5（Q74）は家族の他のメンバーが収入源を有しているかについて問うている。回答者の73.6%が「はい」と回答している。

H6（Q75）は回答者の財政状況について問うている。「1 年以上生活できる貯蓄がある」は11.1%であり、日本の数値（42.2%）と比較して大幅に低い。他方、「金融機関からの借入残高がある」は日本が7%であるのに対しロシアでは37.7%と高い。

H7（Q76）は回答者の現在の雇用形態を問うている。総計では、正社員が約半数、次いで未就労年金受給者、自営業者の順となっている。所得別で見た場合、所得が高くなるにつれ、正社員の比率が高くなること、最高位所得層で自営業者の比率が高いことが確認できる。

H8（Q77）は働いている回答者に対して現在の職種を問うている。総計では、高等教育を前提とする職務における専門家（23.8%）、高等教育を必要としない職種の従業員（12.9%）、「自営業」または純粋の家族経営（9.8%）の順となっている。男女別で見た場合に女性の方が「高等教育を前提とする職務における専門家」の比率が高いこと、所得別では最高位所得層で起業家・経営者層の比率が高くなっていること、居住地域別では都市規模が大きくなるにつれて起業家・経営者層の比率が高くなっていることが確認できる。

H9（Q78）は回答者の仕事が組織および部署の意思決定に与える影響について問うている。当然ではあるが、所得が高くなるにつれて、組織および部署の意思決定に影響を与えうるとの回答が多くなっている。

H10（Q79）は現在の職場での勤続年数を問うている。最も多いのは 1〜5 年の 42.9%で、1 年未満を合わせると、5 年以内のケースが 50%を超えている。6〜10 年は 20.4%、11〜20 年が17.2%、勤続21年以上は約1割であった。

H11（Q80）は現在勤めている会社の所有形態について問うている。総計では、ロシアの民間企業が 41.5%、（ロシアの）国営企業が 17.5%、外資の民間企業が 0.9%となっている。男女別

では女性の方が、年齢別では高齢者の方が、それぞれ国営企業に勤務する比率が高いこと、所得別では所得が高くなるにつれて国営が減って民間企業が増えていること、居住地域別ではモスクワ市・サンクトペテルブルグ市および農村において国営企業の比率が高いことが確認できる。

H12（Q81）は転職する機会があれば働きたい組織形態について問うている。総計では、国営企業、ロシアの民間企業、自営業、個人起業家活動の順となっている。国営企業志向が強いのは、女性、高齢者、低所得者層、農村に住む人々となっている。

H13（Q82）は現在住んでいる地域に何年間住んでいるかを問うている。「30 年以上」住んでいるという回答が最も多く、過半数（54.4%）となった。長期にわたり同じ地域に住んでいる人が多いことは、近隣住民とのネットワークが強固であることの裏付けになるかもしれない。なお、居住年数は男女別および居住地域別では大きな差は見られなかったが、所得との関係では概して所得が高くなるにつれ、現在の地域での居住年数が少なくなる傾向が見られた。

H1.(Q57-62) 教育について

どのような教育を受けてきたのか、教えてください。(Q57：あなた、Q58：ご主人・奥様、Q59：お父さん、Q61：お母さん、Q62：親しい友人)

表 H1-0　総計

	あなた		ご主人・奥様		お父さん		お母さん		親しい友人	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
初等教育	7	0.4	7	0.4	129	7.6	127	7.5	6	0.4
8年制中学校	53	3.1	25	1.5	110	6.5	110	6.5	16	0.9
中等普通教育	176	10.4	145	8.5	160	9.4	223	13.1	134	7.9
中等特殊教育	639	37.6	493	29.0	575	33.8	644	37.9	425	25.0
大学中退	81	4.8	40	2.4	17	1.0	22	1.3	55	3.2
経済学など人文社会科学系の大学	348	20.5	272	16.0	87	5.1	240	14.1	443	26.1
技術系あるいは自然科学系の大学	284	16.7	255	15.0	248	14.6	151	8.9	400	23.5
2 つの大学卒、修士、大学院、博士	107	6.3	66	3.9	33	1.9	32	1.9	80	4.7
無回答	5	0.3	42	2.5	341	20.1	151	8.9	87	5.1
該当者なし			355	20.9					54	3.2
総計	1700	100	1700	100	1700	100	1700	100	1700	100

図 H1-0　総計 (N=1700)

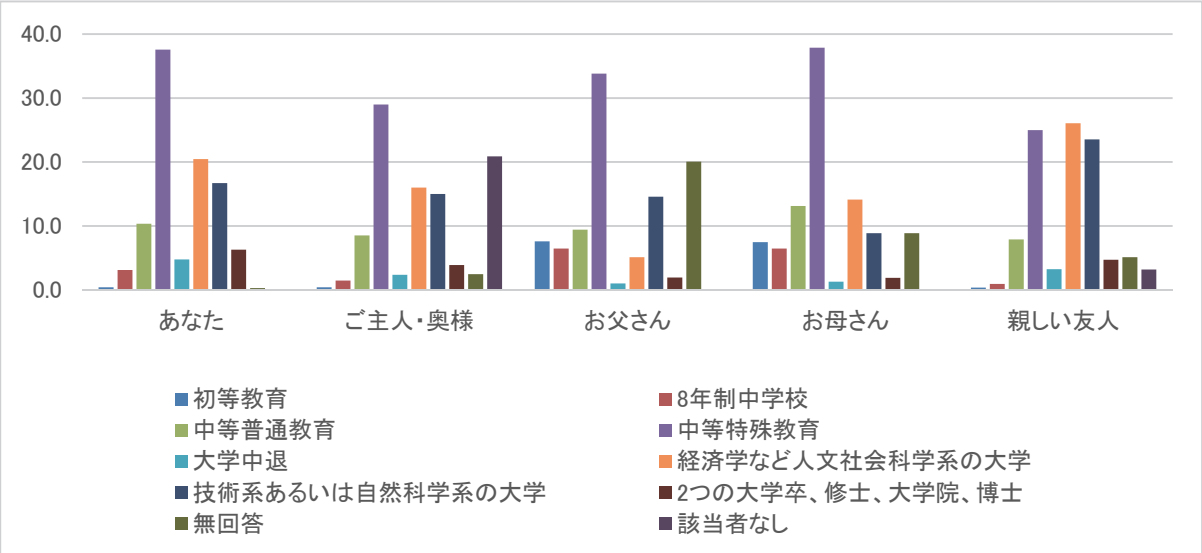


図 H1-1　回答者自身の学歴_男女別 (N=1695)

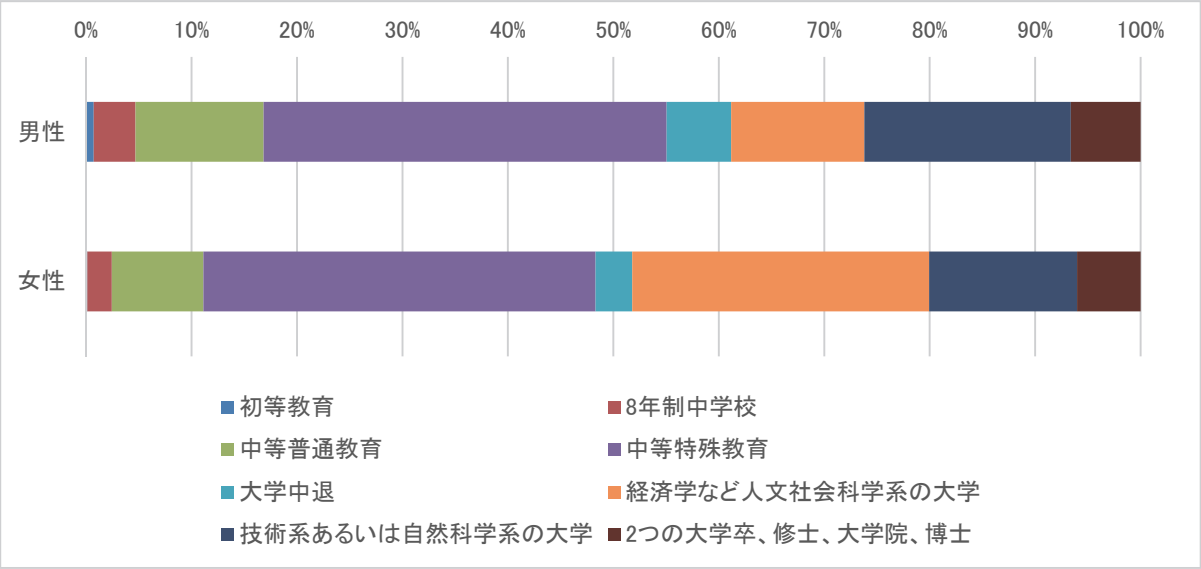


図 H1-2　回答者自身の学歴_年齢別（N=1695）

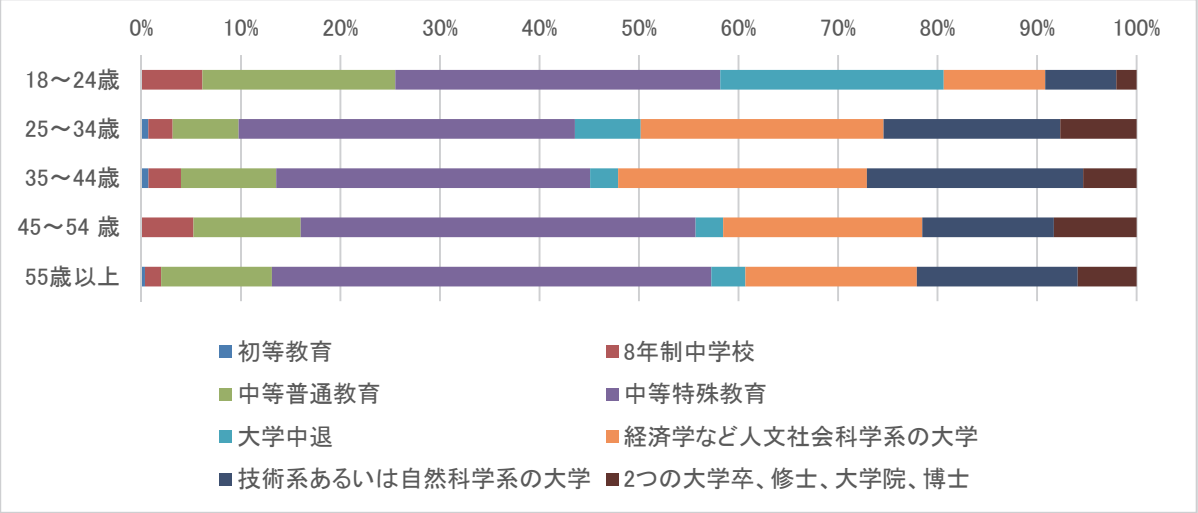


図 H1-3　回答者自身の学歴_所得別（N=1576）

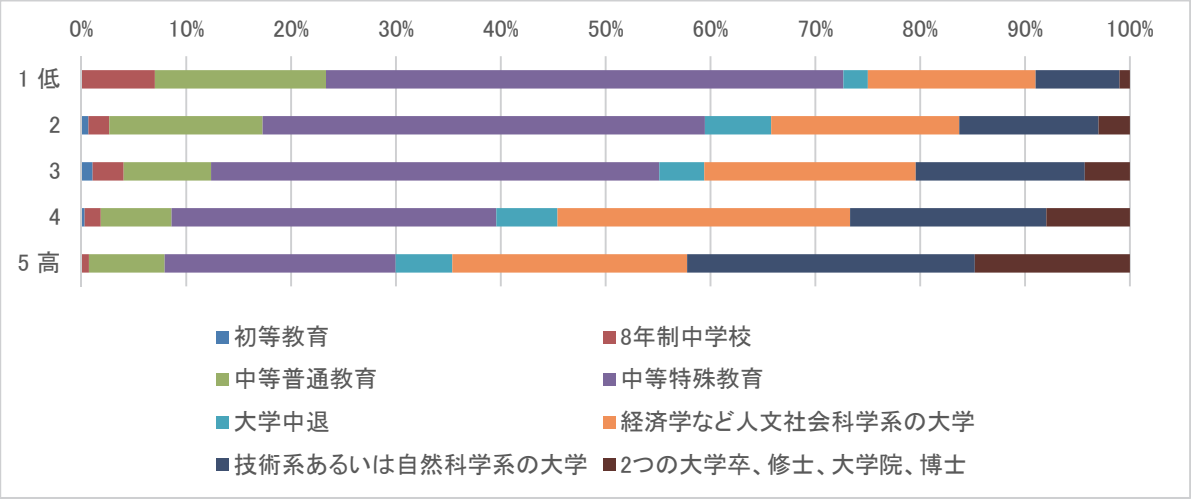
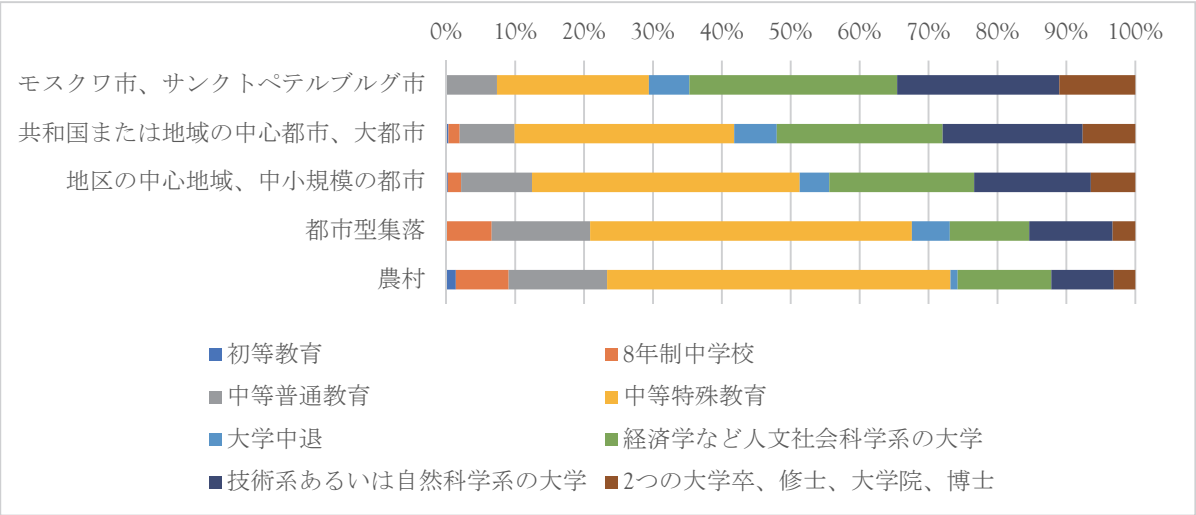


図 H1-4　回答者自身の学歴_居住地域別（N=1686）



H2.1.（Q63）あなたを含め、何人のご家族と同居されていますか？

表 H2.1-0　総計

	実数（人）	比率
1 同居家族がいる	1479	87.0%
2 一人暮らし	217	12.8%
3 無回答	4	0.2%
総計	1700	100.0%

表 H2.1-1　同居家族の人数

	実数（人）	比率（%）
0	1	0.1%
1	109	7.4%
2	512	34.6%
3	379	25.6%
4	289	19.5%
5	116	7.8%
6	38	2.6%
7	13	0.9%
8	14	0.9%
9	4	0.3%
10	2	0.1%
11	2	0.1%
総計	1479	100.0%

H2.2.（Q64.）（Q63=1 の場合）同居している 18 歳未満の子ども、孫、その他の近親者は何人ですか？

表 H2.2-0　総計

	実数（人）

0　18 歳未満の子、孫、その他の親族がいない、または同居していない場合	-
1　回答者の言葉から数字を書き出す【q64_1n】。	1426
2　一人暮らしの場合はチェックを入れてください。	45
3　無回答	8

表 H2.2-1　同居する子ども等の人数

	実数（人）
0	704
1	352
2	254
3	75
4	27
5	8
6	2
7	3
8	1
総計	1426

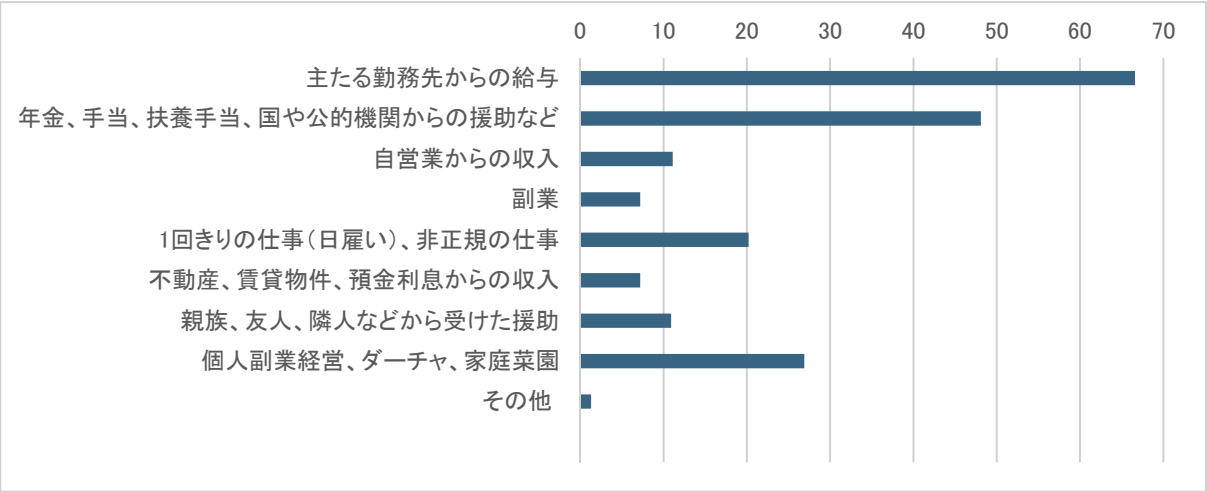
H3.（Q65.）あなたの収入源は次のうちどれですか？（あなたのご家族に該当するものすべてにチェックを入れてください）（複数回答）

表 H3-0　総計

	実数（人）	比率（%）*
1 主たる勤務先からの給与	1132	66.6
2 年金、手当、扶養手当、国や公的機関からの援助など	817	48.1
3 自営業からの収入	188	11.1
4 副業	123	7.2
5 1 回きりの仕事（日雇い）、非正規の仕事	343	20.2
6 不動産、賃貸物件、預金利息からの収入	123	7.2
7 親族、友人、隣人などから受けた援助	186	10.9
8 個人副業経営、ダーチャ、家庭菜園	458	26.9
9 その他	22	1.3
99 無回答	6	0.4
総数	1700	100.0

*回答者総数（1700 人）に対する比率

図 H3-0　総計

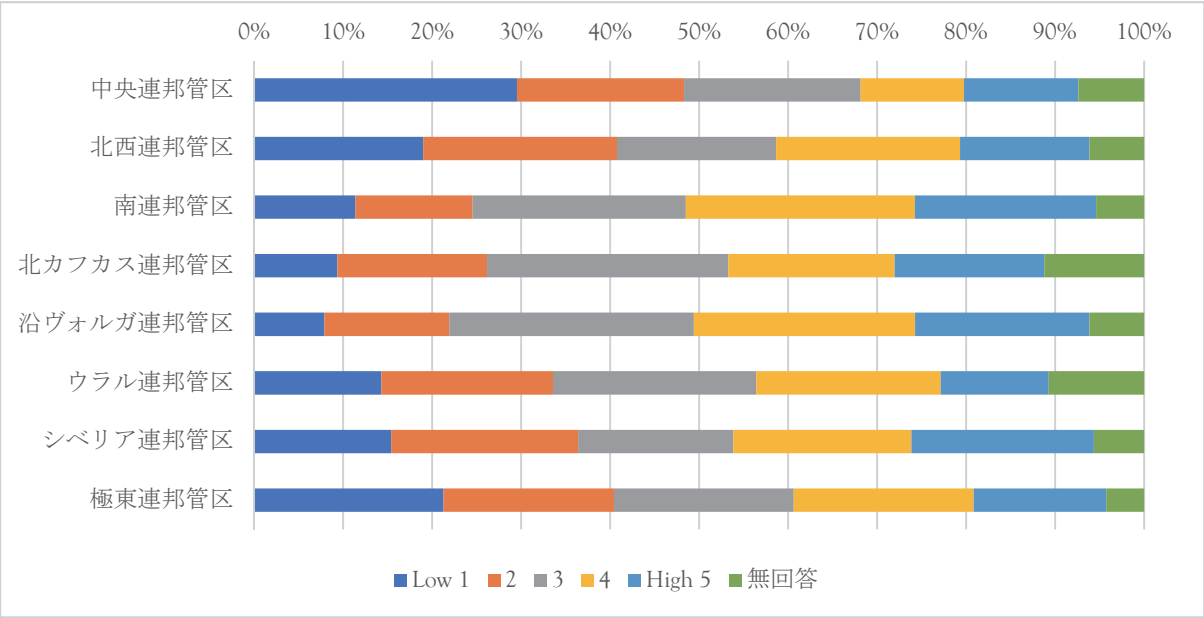


H4.（Q66-Q73.）あなた自身の平均月収（給与、年金、収入など）を教えてください。
連邦区ごとに所得制限が異なります。

表 H4-0　総計　　（単位：ルーブル）

	1	2	3	4	5	無回答
中央連邦管区 ЦФО	21,000 未満	21,000～30,000	31,000～50,000	51,000～81,000	82,000 以上	
	140	89	94	55	61	35
北西連邦管区 СЗФО	18,000 未満	18,000～26,000	27,000～44,000	45,000～71,000	72,000 以上	
	34	39	32	37	26	11
南連邦管区 ЮФО	12,000 未満	12,000～17,000	18,000～28,000	29,000～45,000	46,000 以上	
	19	22	40	43	34	9
北カフカス連邦管区 СКФО	10,000 未満	10,000～14,000	15,000～24,000	25,000～39,000	40,000 以上	
	10	18	29	20	18	12
沿ヴォルガ連邦管区 ПФО	12,000 未満	12,000～17,000	18,000～28,000	29,000～46,000	47,000 以上	
	27	48	94	85	67	21
ウラル連邦管区 УФО	17,000 未満	17,000～25,000	26,000～42,000	43,000～68,000	69,000 以上	
	20	27	32	29	17	15
シベリア連邦管区 СФО	14,000 未満	14,000～20,000	21,000～34,000	35,000～55,000	56,000 以上	
	30	41	34	39	40	11
極東連邦管区 ДФО	19,000 未満	19,000 ～27,000	28,000～47,000	48,000～75,000	76,000 以上	
	20	18	19	19	14	4
実数（人）	300	302	374	327	277	118
比率（%）	17.6	17.8	22.0	19.2	16.3	6.9

図 H4-0　総計（N＝1698）

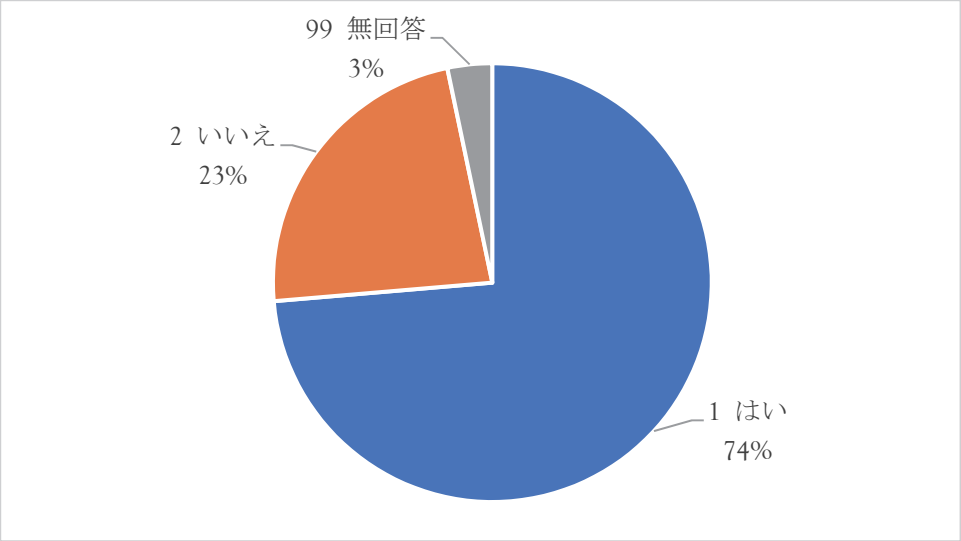


H5.（Q74.）あなたの家族の他のメンバーは、収入源を持っていますか？

表 H5-0　総計

	実数（人）	比率（%）
1　はい	1252	73.6
2　いいえ	392	23.1
99　無回答	56	3.3
総計	1700	100

図 H5-0　総計（N＝1700）



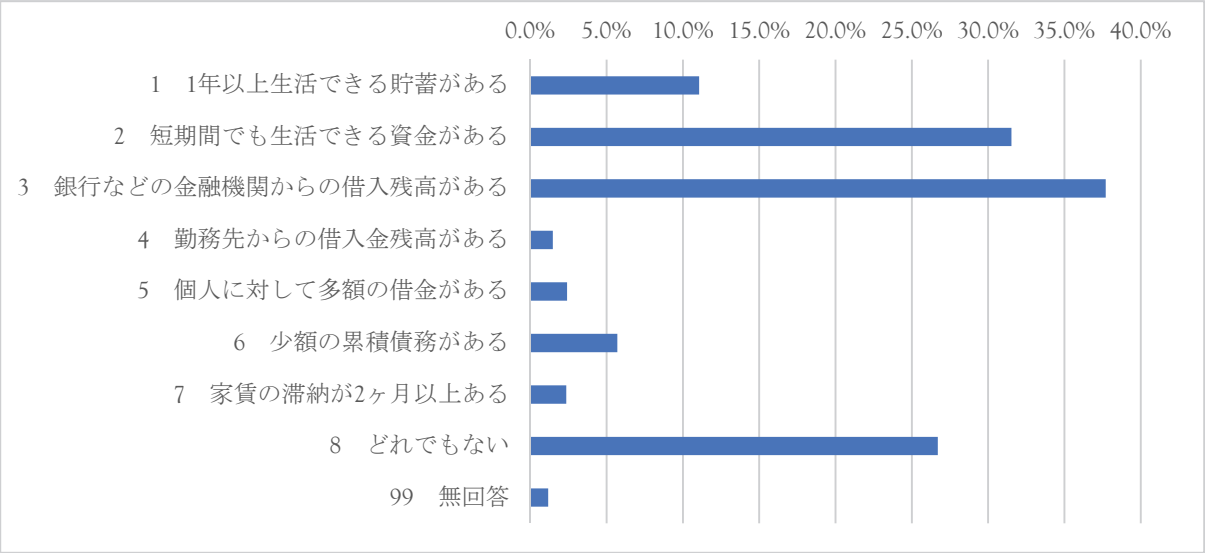
H6.（Q75.）現在のあなたの家計状況は、次のうちどれに当てはまりますか？自分に合ったものを全て選んでください。（複数回答）

表 H6-0　総計

	実数（人）	比率（%）*
1　1 年以上生活できる貯蓄がある	188	11.1
2　短期間でも生活できる資金がある	536	31.5
3　銀行などの金融機関からの借入残高がある	641	37.7
4　勤務先からの借入金残高がある	25	1.5
5　個人に対して多額の借金がある	41	2.4
6　少額の累積債務がある	97	5.7
7　家賃の滞納が 2 ヶ月以上ある	40	2.4
8　どれでもない	454	26.7
99　無回答	20	1.2
総計	1700	100.0

*回答者総数に対する比率。

図 H6-0　総計（N＝1700）



H7.（Q76.）あなたの現在の雇用形態は？

表 H7-0　総計

	実数（人）	比率（%）
1　正社員（働きながら年金ももらっている人、社会人学生も含む）	839	49.4
2　パートタイムの自営業（働きながら年金ももらっている人、社会人学生も含む）	87	5.1
3 自営業、家族経営、農業（自営業者）	183	10.8
4 無給で働いている（ボランティア、インターンシップ）	2	0.1
5 働いていない学生	13	0.8
6 健康上の理由によって働いていない／身体障害者	40	2.4
7 一時的に失業しているが、仕事を探している。	60	3.5
8 出産・育児休暇	43	2.5
9 主婦・育児	31	1.8
10 未就労年金受給者	362	21.3
98 その他	30	1.8
99 無回答	10	0.6
総計	1700	100

図 H7-0　総計（N＝1700）

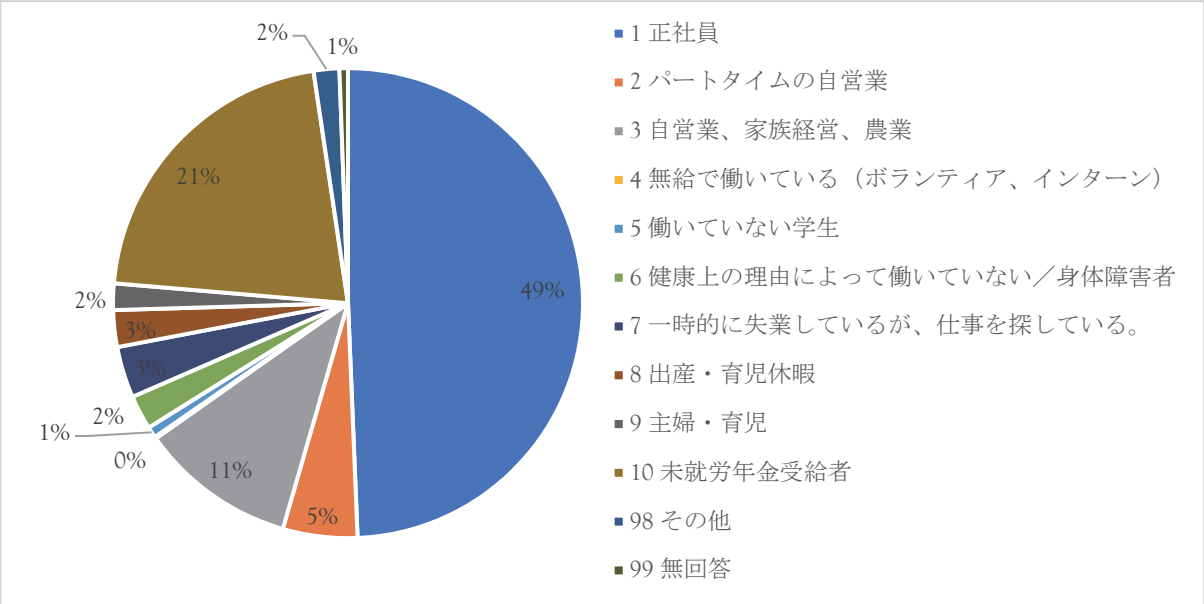


図 H7-1　男女別（N=1690）

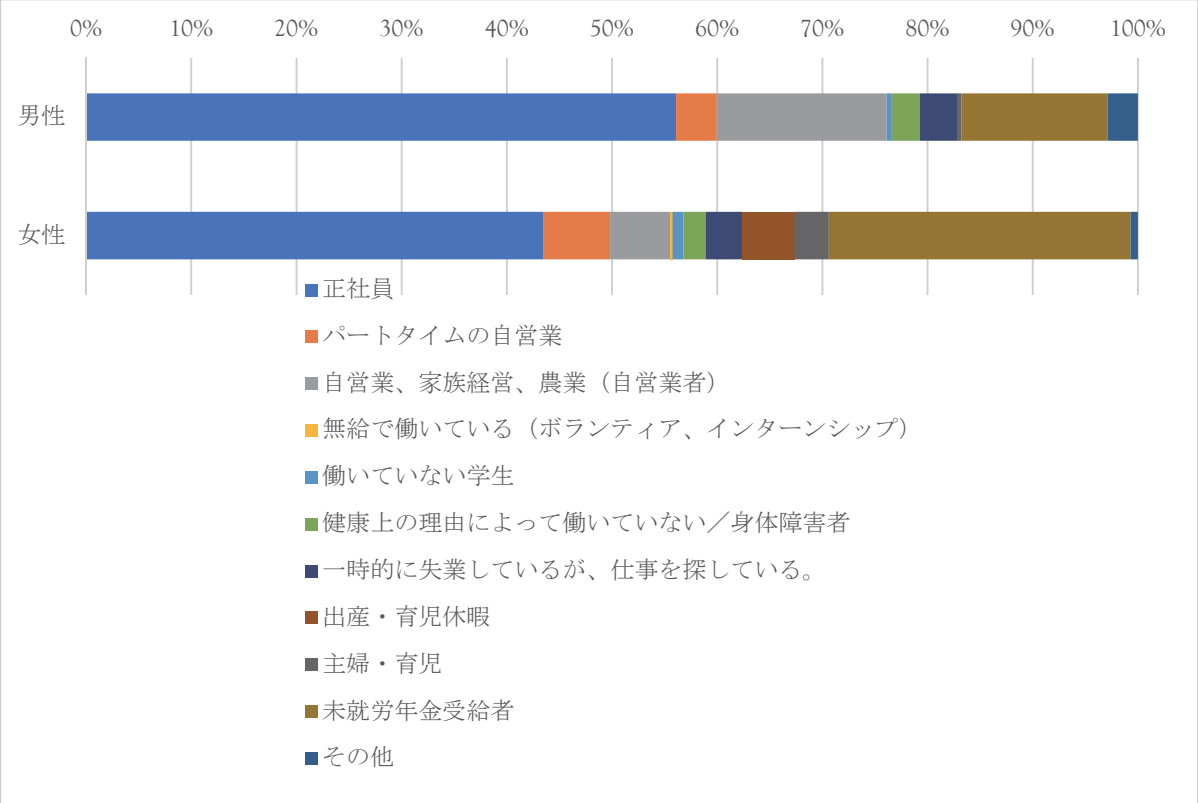


図 H7-2　年齢別（N=1690）

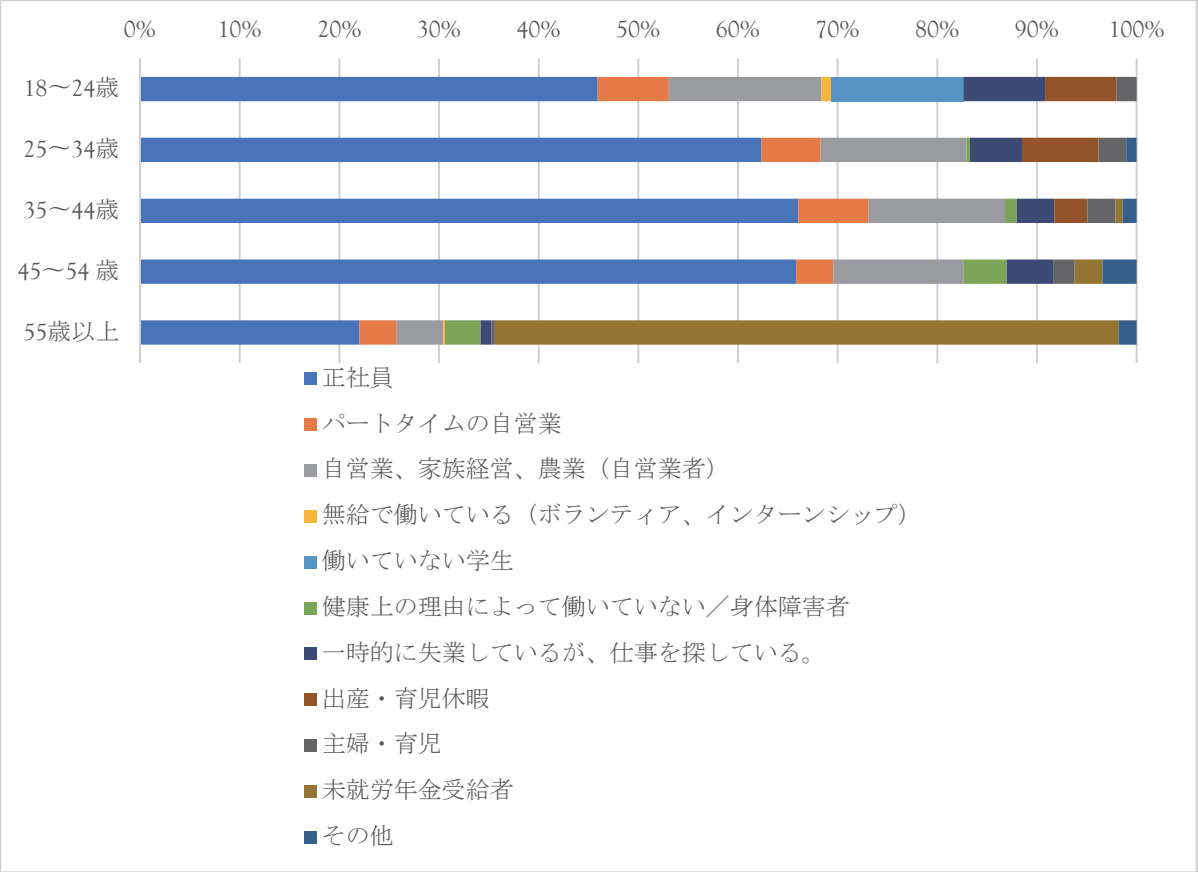


図 H7-3　所得別（N=1575）

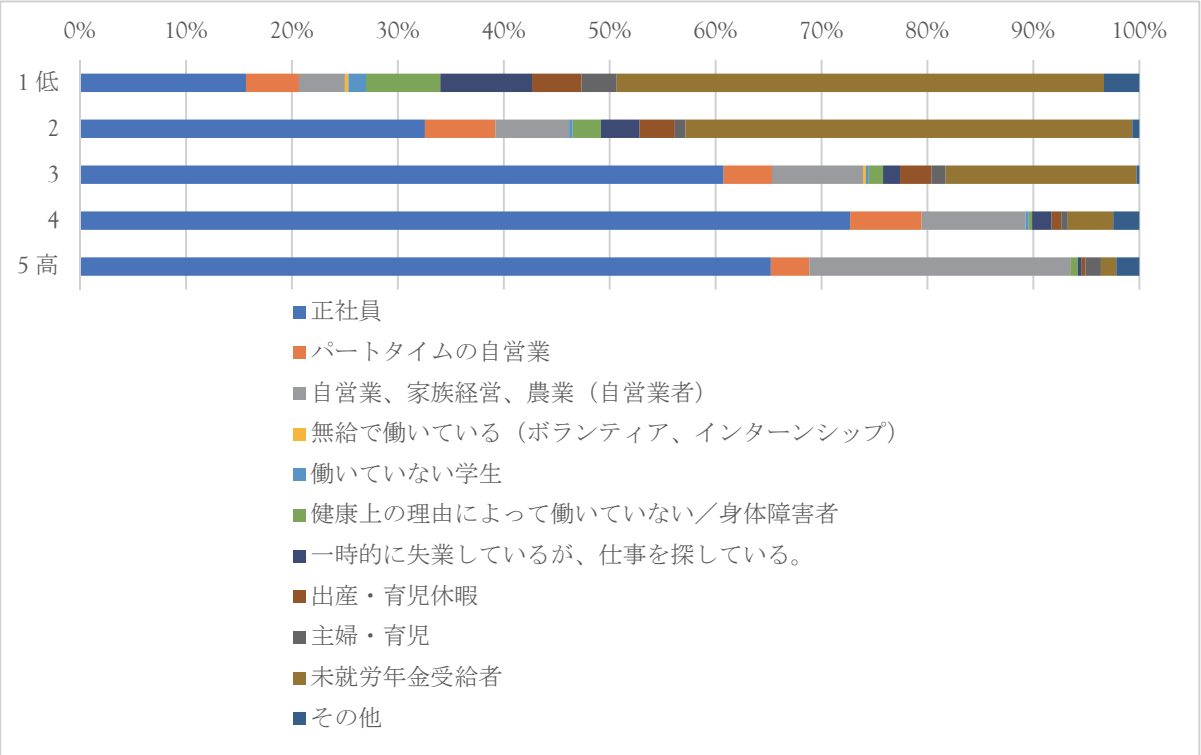
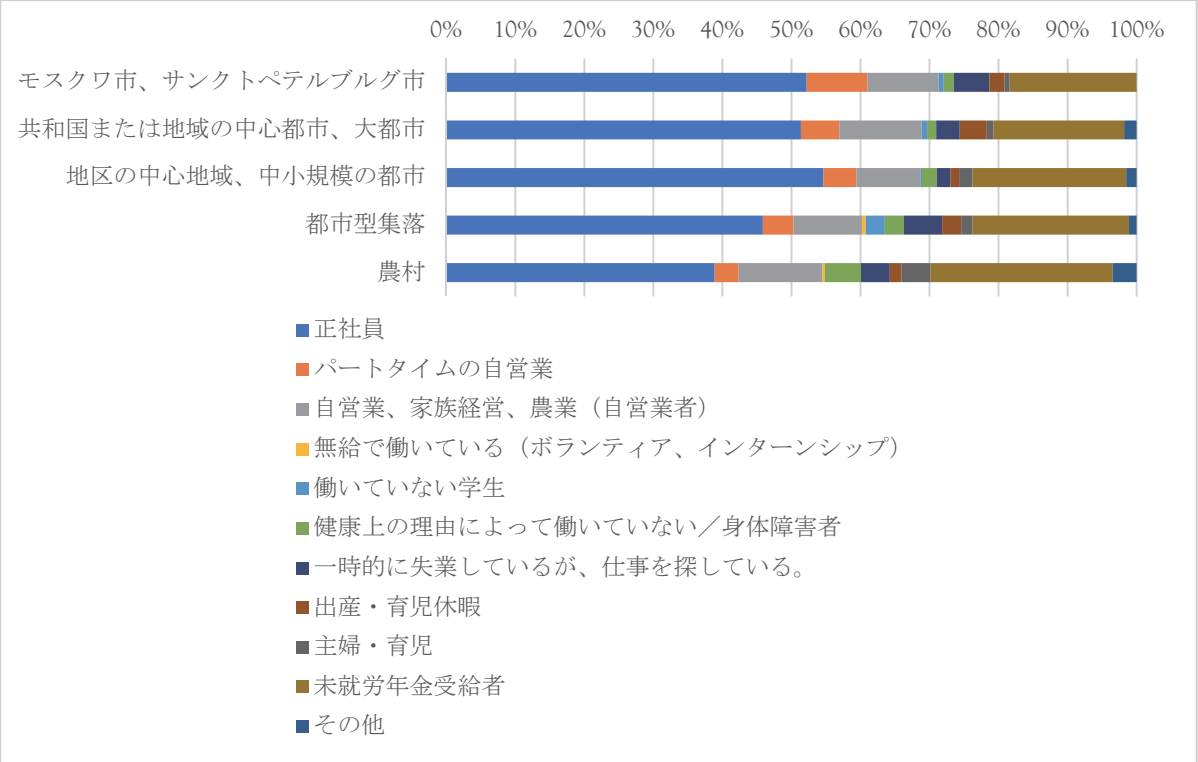


図 H7-4　居住地域別（N=1681）



H8.（Q77.）（Q76<5 の場合）現在のお仕事について教えてください。複数の職場で働いている人は、主な収入を得ている仕事を、働いている年金受給者は、現在就いている仕事を教えてください。

表 H8-0　総計

	実数（人）	比率（%）
1 従業員を雇っている起業家	52	4.7
2 企業・機関の経営者またはサブ経営者	66	5.9
3 中小企業経営者	100	9.0
4 高等教育を前提とする職務における専門家（軍士官を含む）	264	23.8
5 「自営業」または純粋の家族経営	109	9.8
6 高等教育を必要としない職種の従業員（事務職、保安機関の制服組、実験室の助手、司書、秘書、受付係などを含む。）	143	12.9
7 商業やサービス業に従事する一般労働者	69	6.2
8 5 類労働者	71	6.4
9 労働者（3～4 類）	61	5.5
10 作業員（1-2 類、区分外、雑役労働者）	64	5.8
11 その他	99	8.9
99 無回答	13	1.2
総計	1111	100.0

図 H8-0　総計（N＝1111）

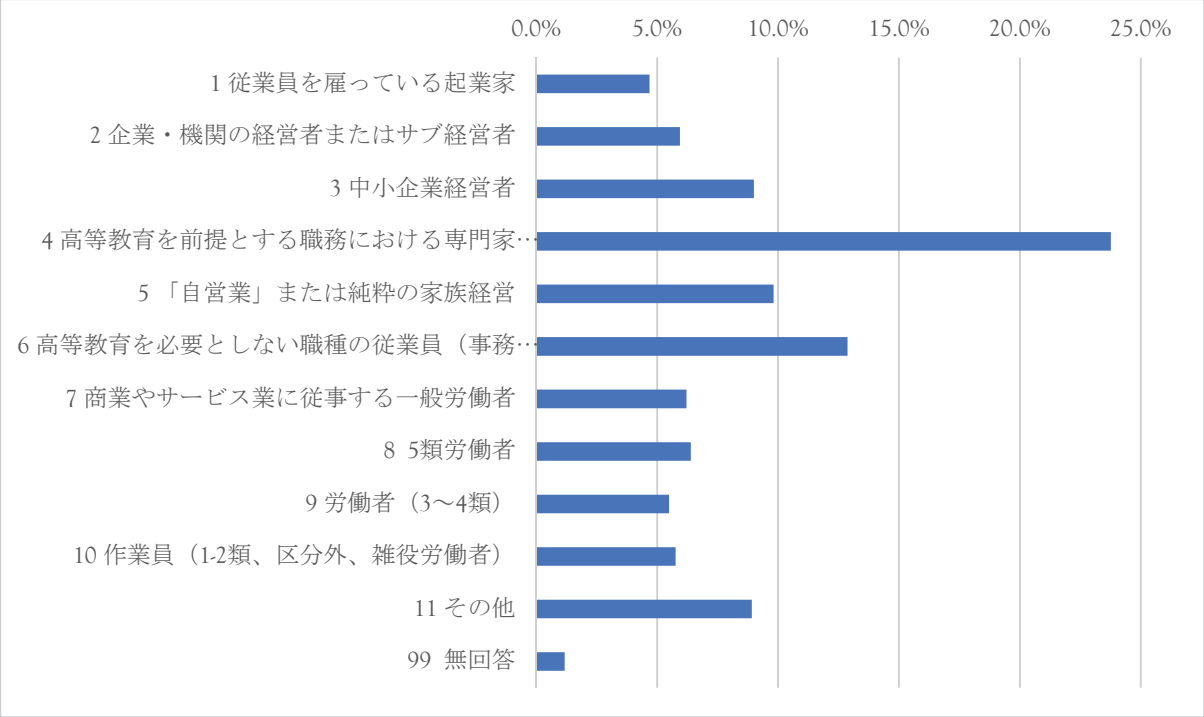


図 H8-1　男女別（N=1098）

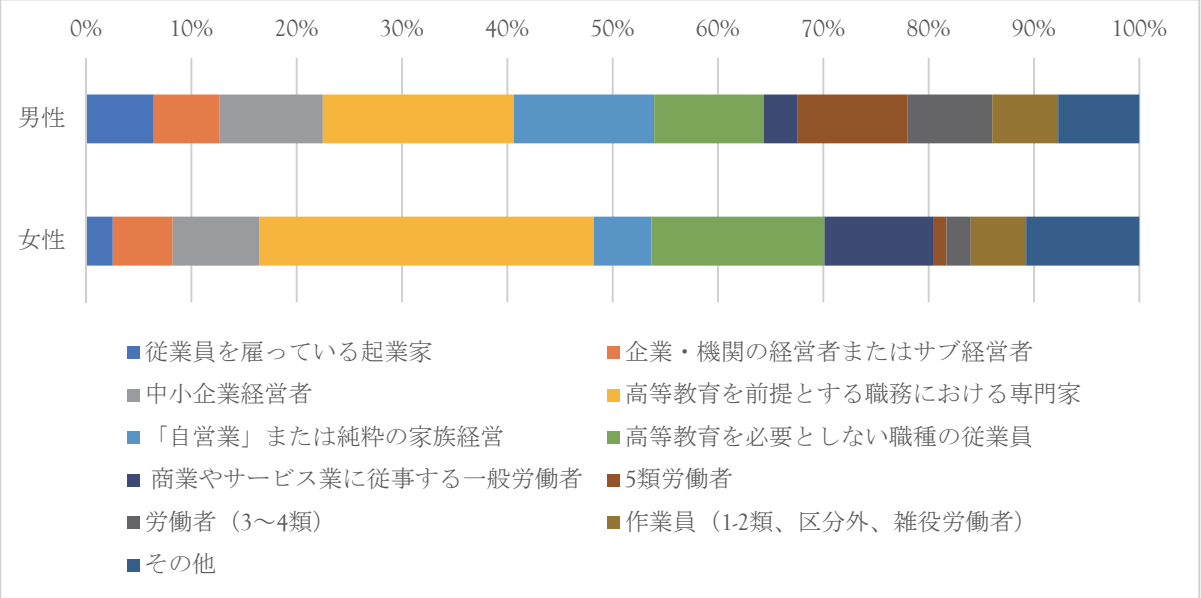


図 H8-2　年齢別（N=1098）

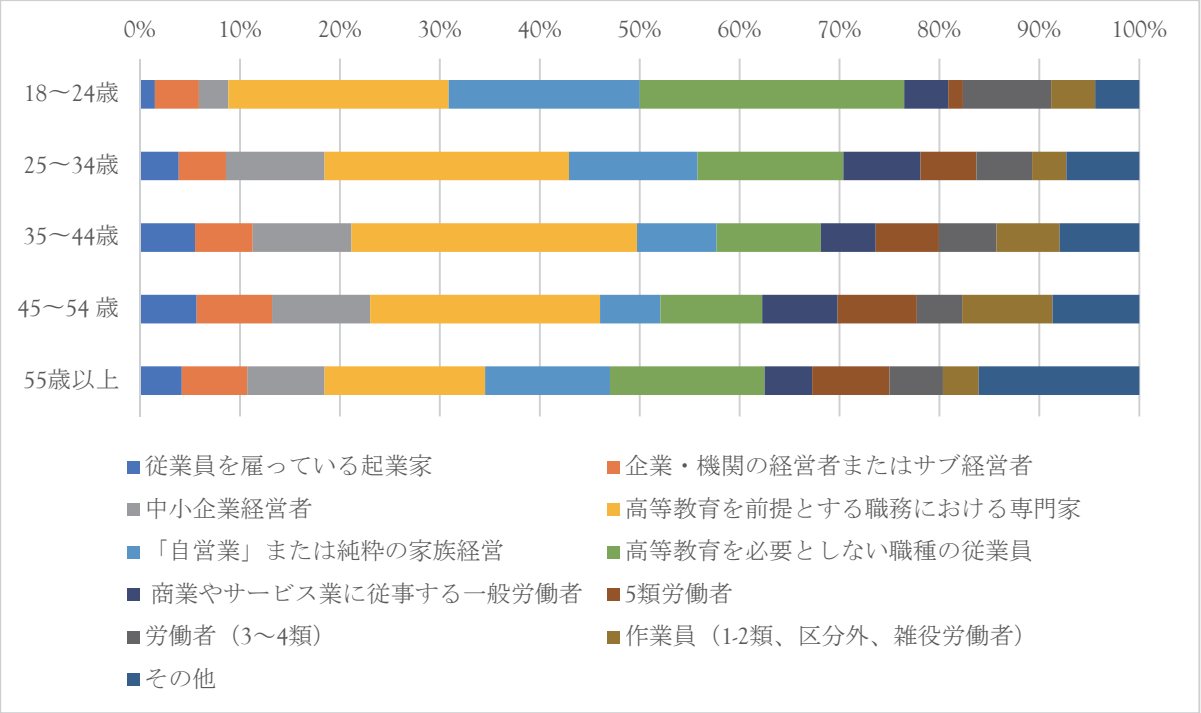


図 H8-3　所得別（N=1034）

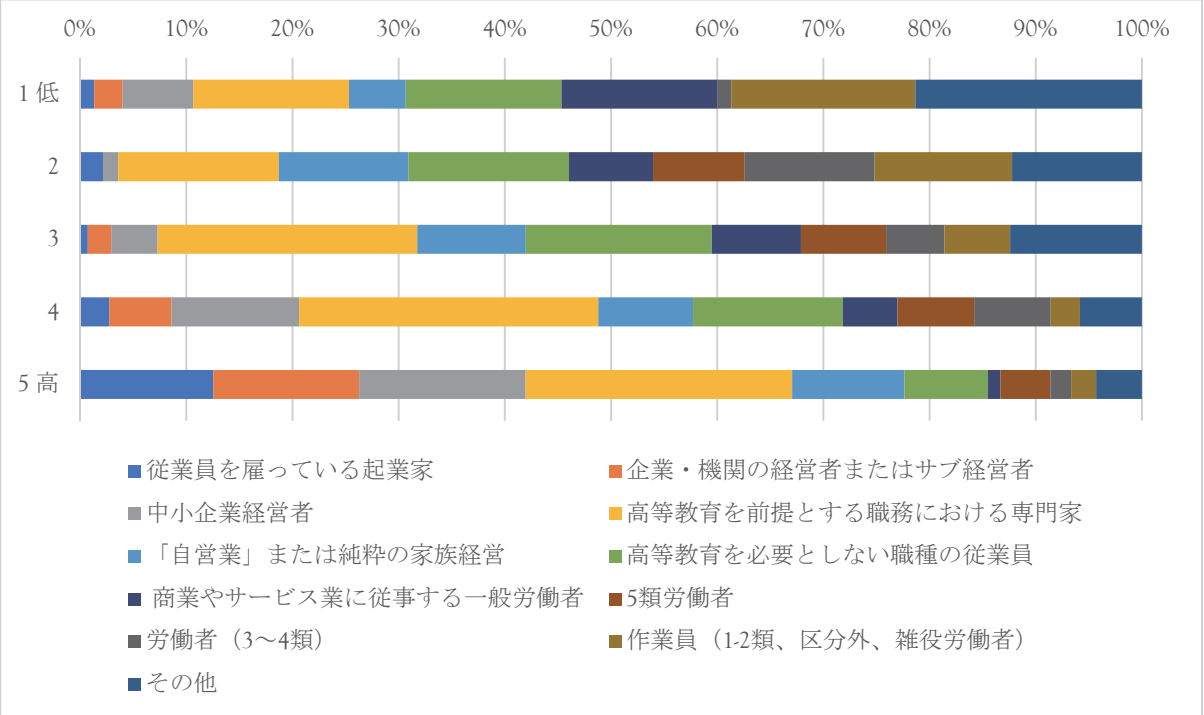
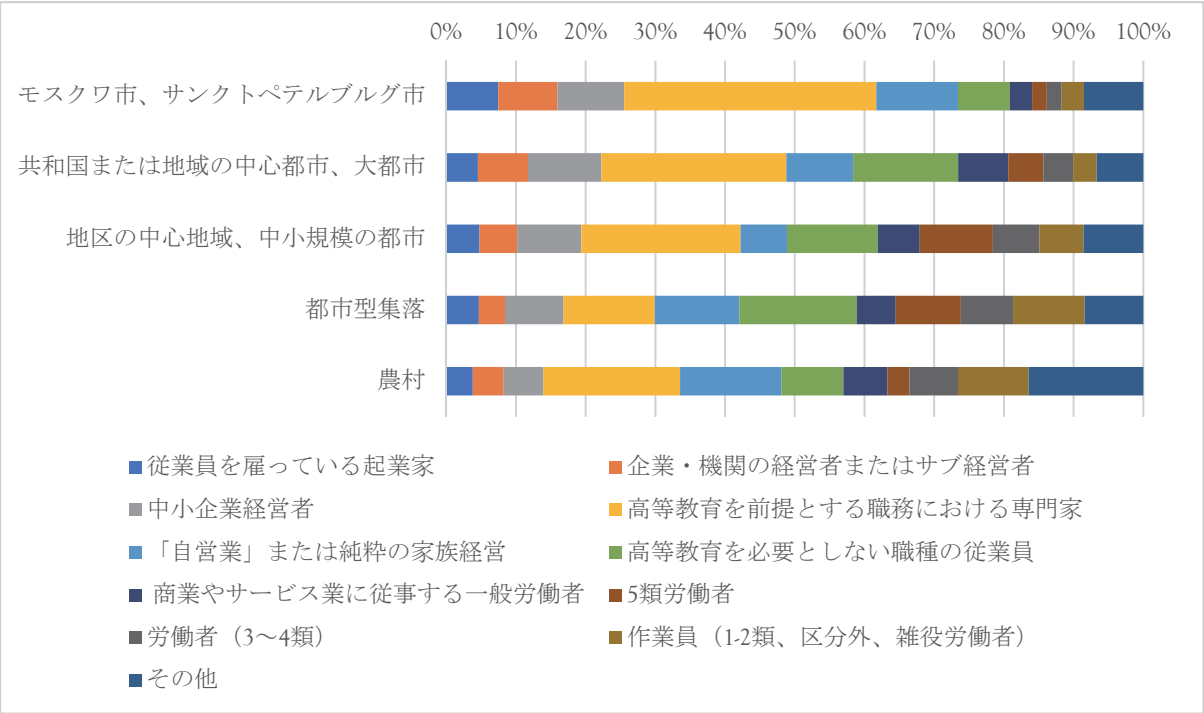


図 H8-4　居住地域別（N=1098）



Q76<5 の場合

H9.（Q78.）現在の仕事にかんして、あなたは...

表 H9-0　総計

	実数（人）	比率（%）
1 組織全体の意思決定に影響を与えることができる	255	23.0
2 部署全体の意思決定に影響を与えることができる	418	37.6
3 仕事では事実上、あなたの意見に左右されることは何もない	423	38.1
99 無回答	15	1.4
総計	1111	100.0

図 H9-0　総計（N＝1111）

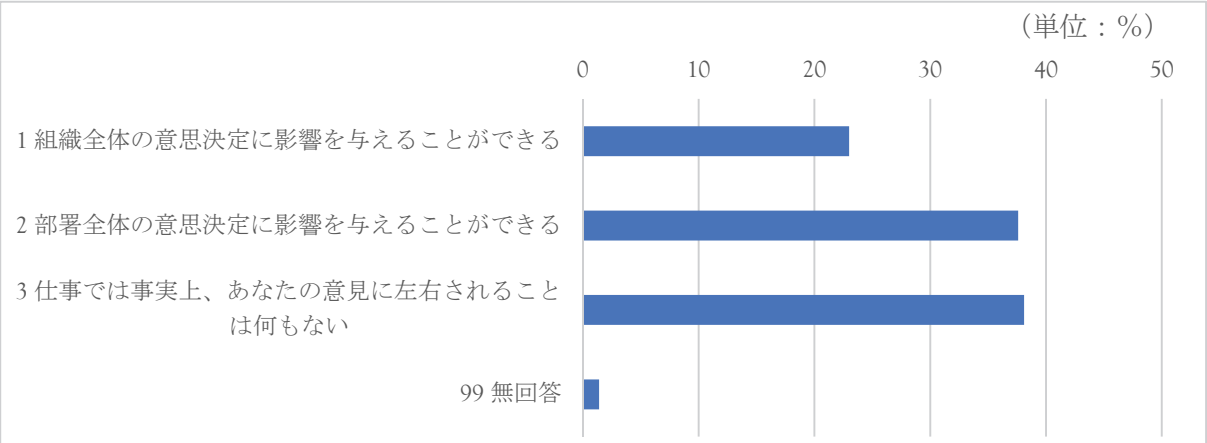


図 H9-1　男女別（N=1096）

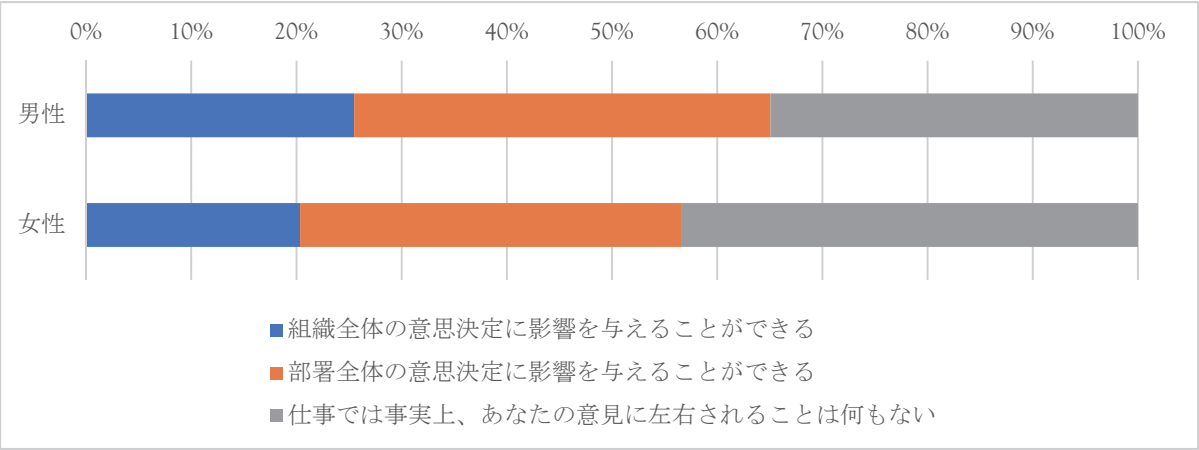


図 H9-2　年齢別（N=1096）

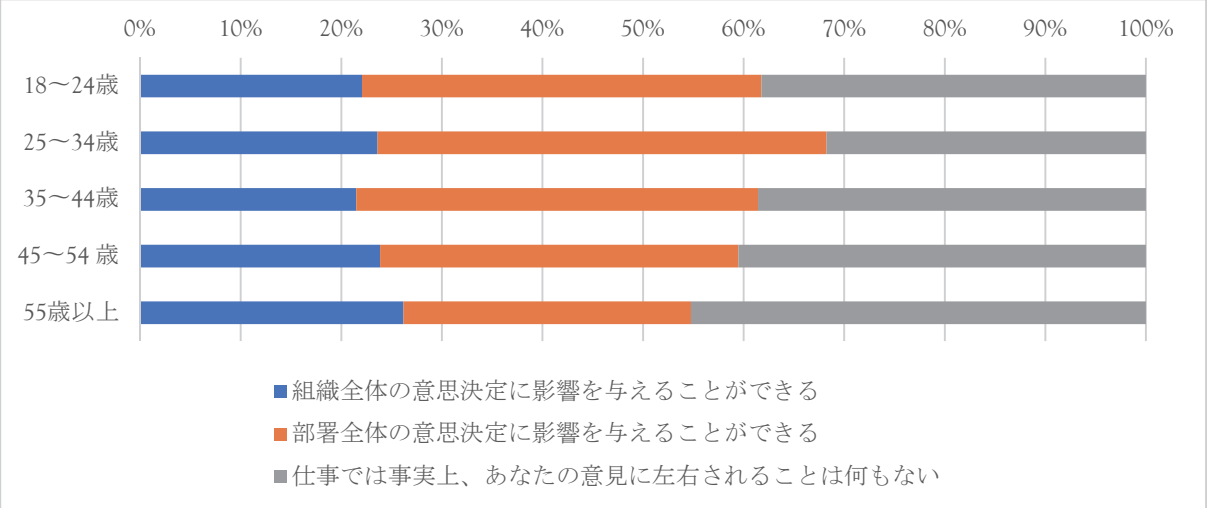


図 H9-3　所得別（N=1028）

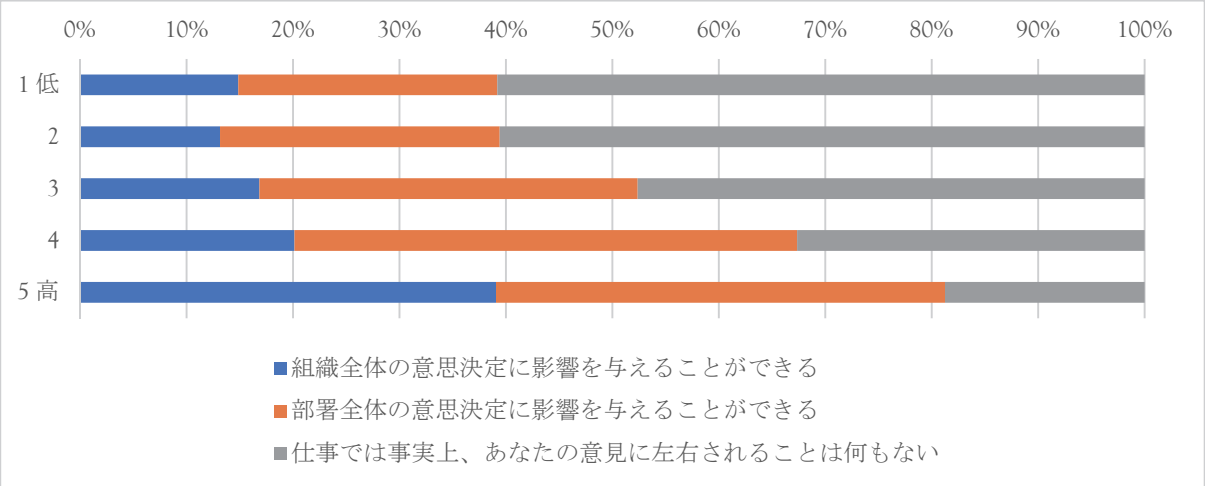
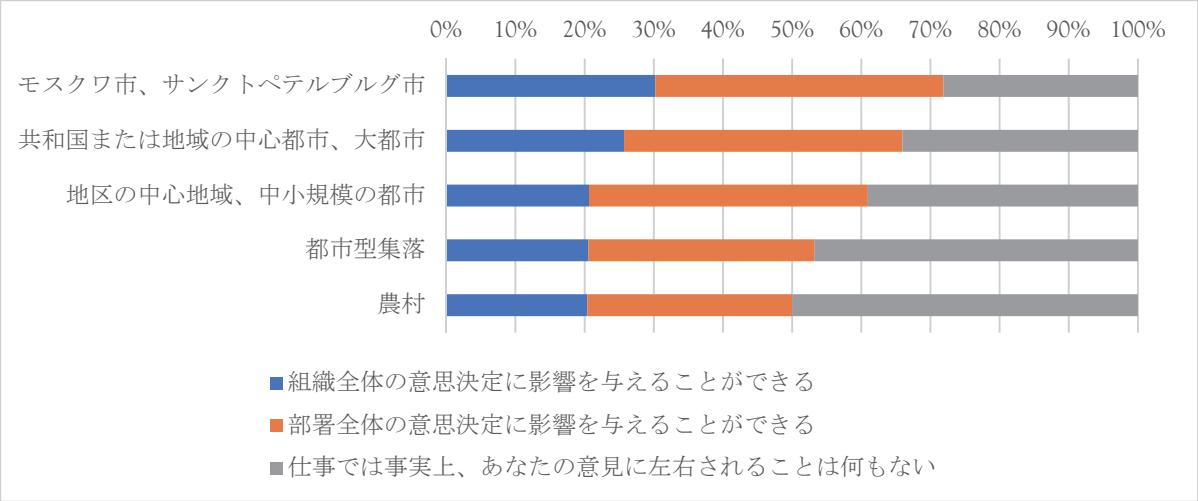


図 H9-4　居住地域別（N=1096）

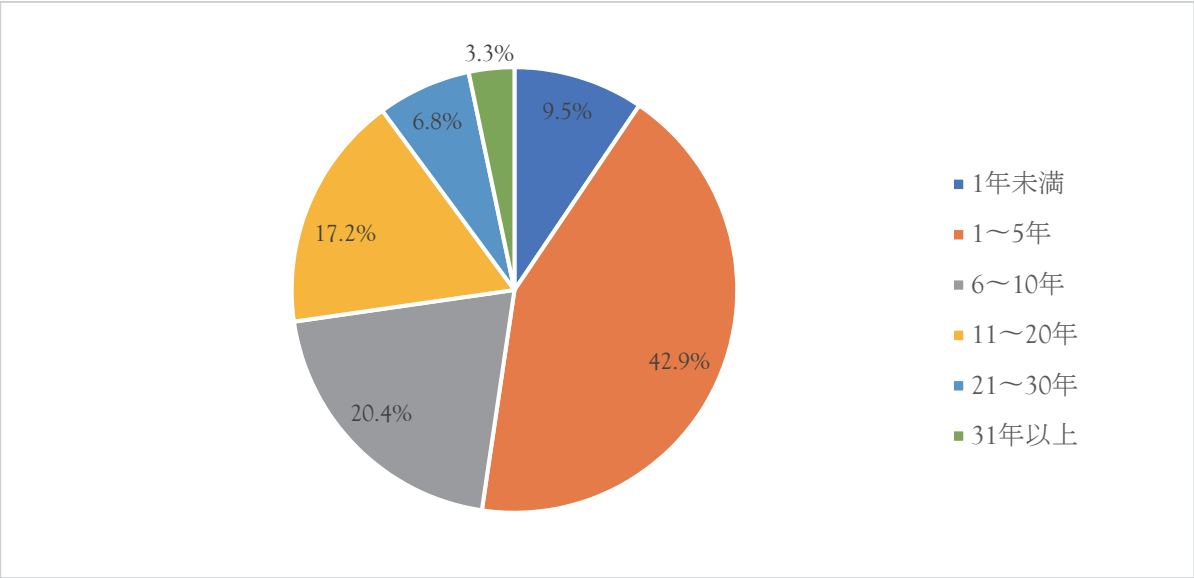


H10.（Q79.）（Q76<5 の場合）現在の職場での勤続年数を教えてください。

表 H10-0　総計

	実数（人）	比率
1 年未満	103	9.5%
1～5 年	467	42.9%
6～10 年	222	20.4%
11～20 年	187	17.2%
21～30 年	74	6.8%
31 年以上	36	3.3%
総計	1089	100.0%

図 H10-0　総計（N＝1089）



H11.（Q80.）（Q76<5 の場合）あなたが働いている会社の所有形態をお答えください。複数の職場で働いている方は主な収入を得ている仕事を、働いている年金受給者は現在働いている職場

を記入してください。

表 H11-0　総計

	実数（人）	比率（%）
1 国営	297	17.5
2 ロシアの民間	706	41.5
3 外資の民間	15	0.9
4 その他	63	3.7
99 無回答	30	1.8
総計	1111	65.4

図 H11-0　総計（N＝1111）

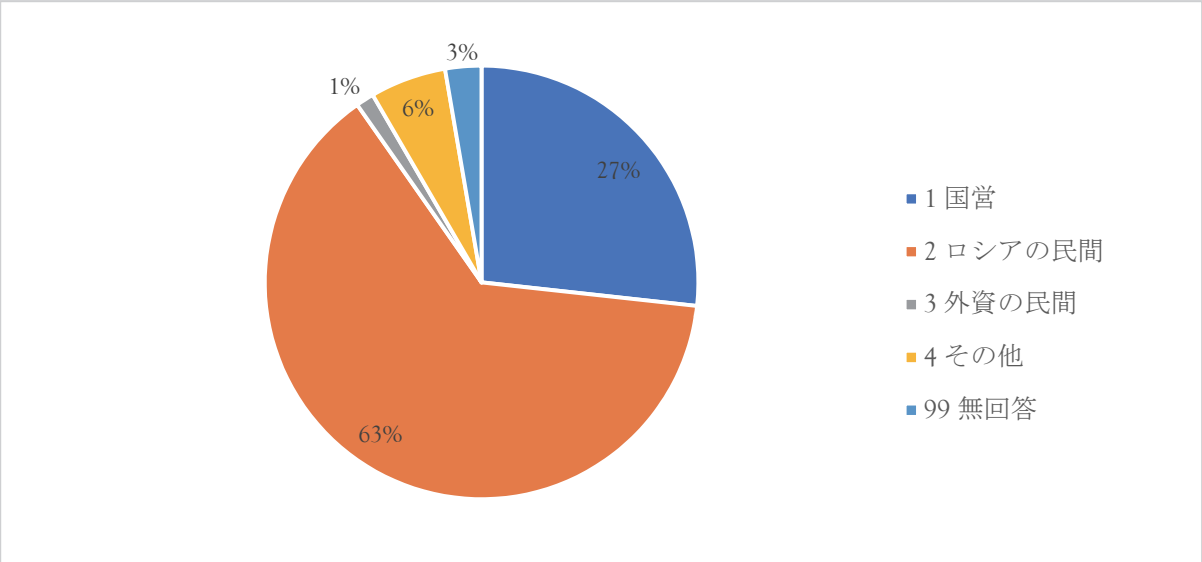


図 H11-1　男女別（N=1081）

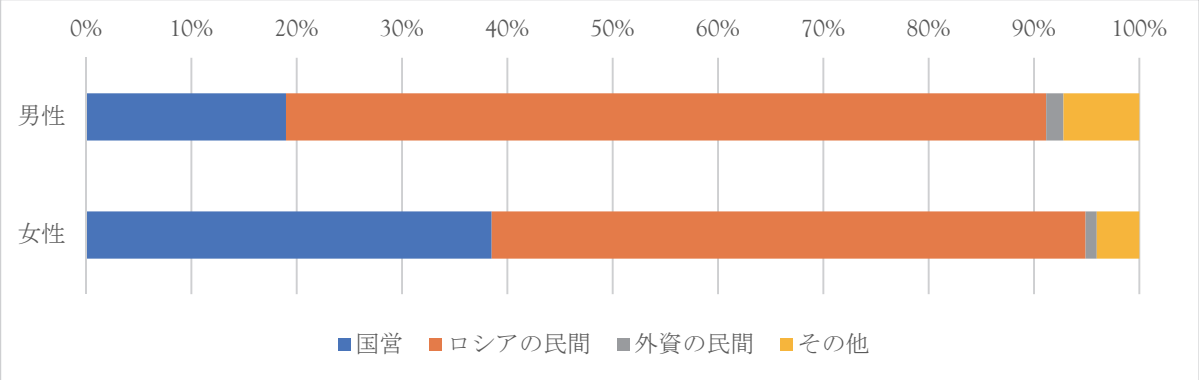


図 H11-2　年齢別（N=1081）

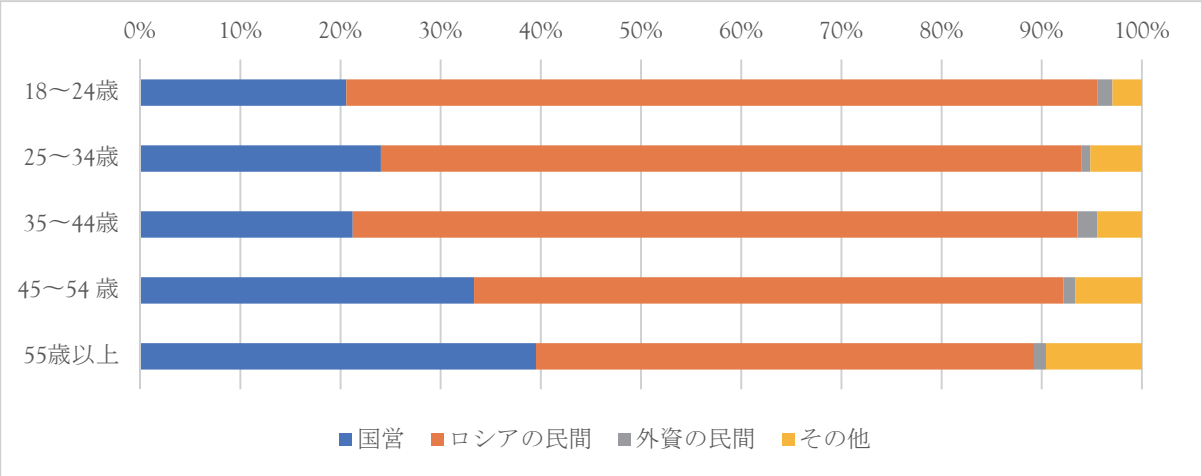


図 H11-3　所得別（N=1017）

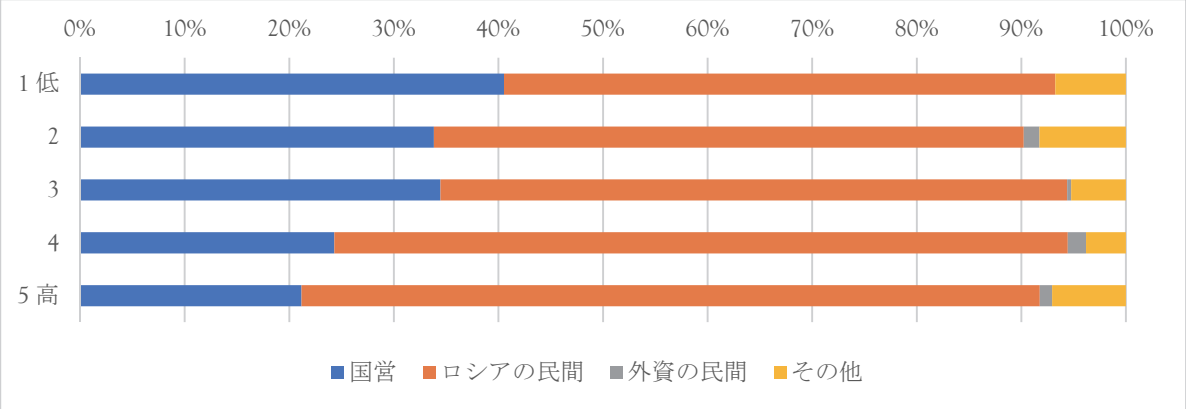
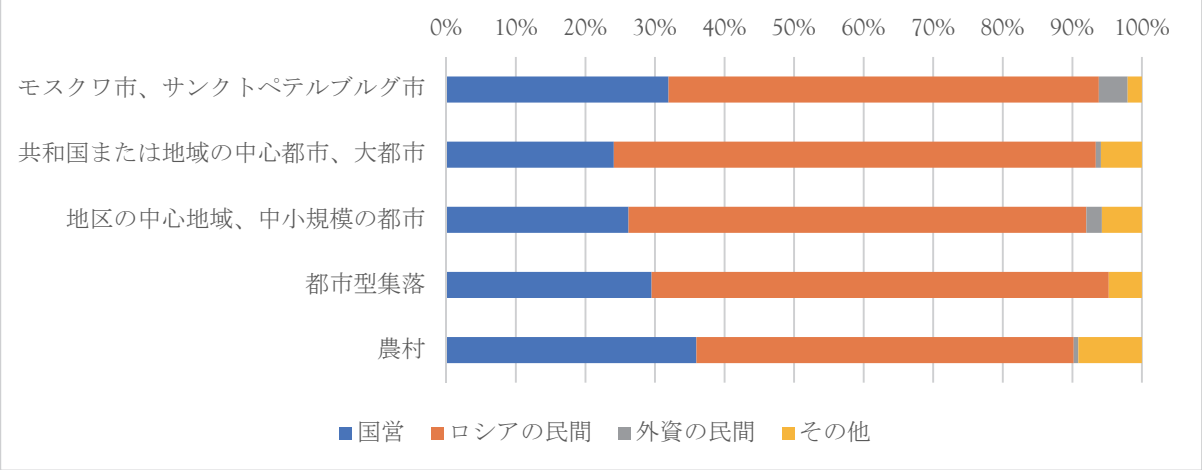


図 H11-4　居住地域別（N=1075）



Q76<5 の場合

H12.（Q81.）もし転職する機会があれば、どこで働きたいですか？

表 H12-0　総計

	実数（人）	比率（%）
1 国営（国の予算でまかなわれている）企業	316	28.4
2 ロシアの民間企業	212	19.1
3 外資系民間企業	62	5.6
4 非営利組織	10	0.9
5 個人起業家活動	177	15.9
6 自営業	183	16.5
7 その他	54	4.9
99 無回答	97	8.7
総計	1111	100.0

図 H12-0　総計（N＝1111）

図 H12-1　男女別（N＝1014）

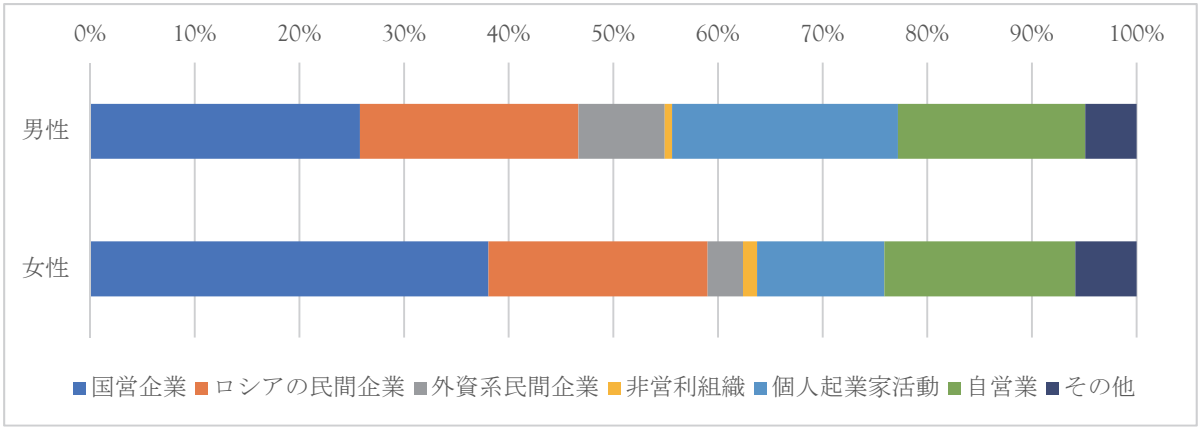


図 H12-2　年齢別（N=1014）

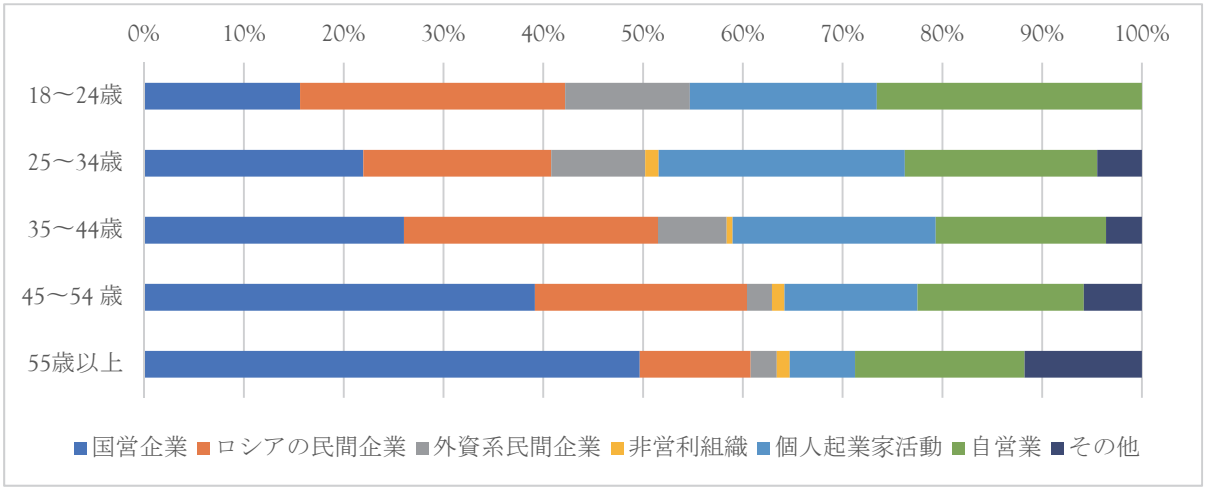


図 H12-3　所得別（N=956）

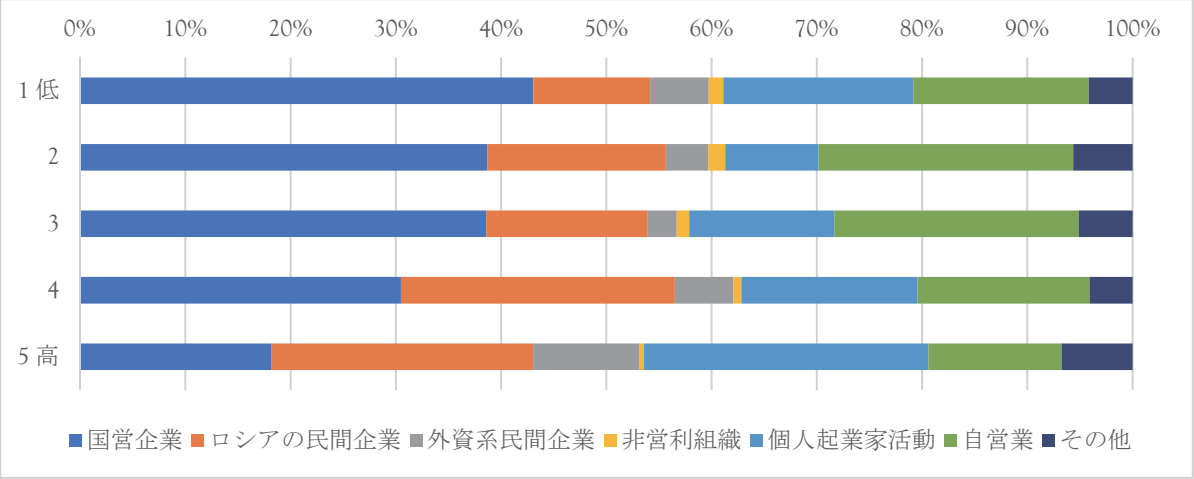
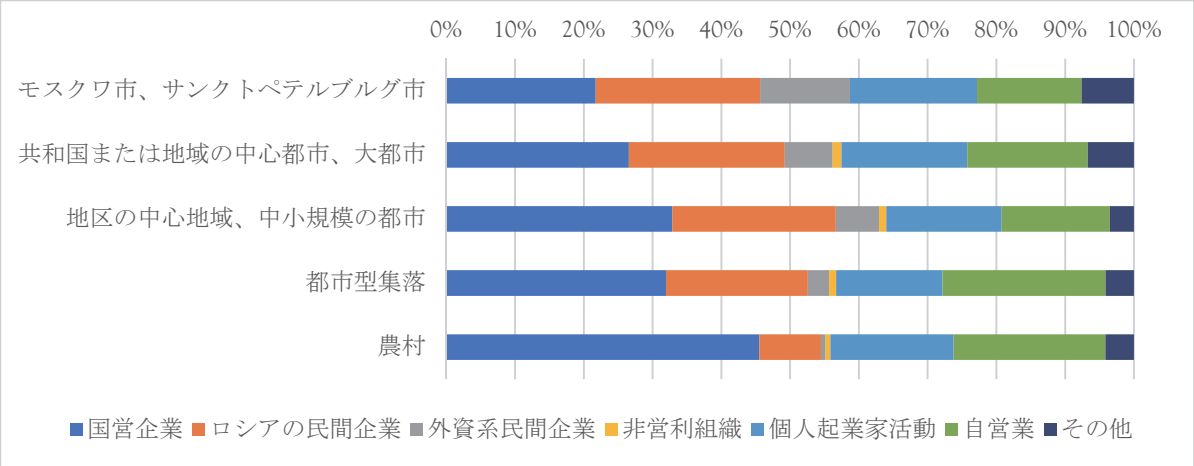


図 H12-4　居住地域別（N=1008）



H13.（Q82.）現在お住まいの地域に何年間住んでいますか？

表 H13-0　総計

	実数（人）	比率（%）
1　1 年未満	51	3.0
2　1～5 年	156	9.2
3　6～10 年	138	8.1
4　11～20 年	231	13.6
5　21～30 年	189	11.1
6　30 年以上	924	54.4
99　無回答	11	0.6
総計	1700	100.0

図 H13-0　総計（N＝1700）

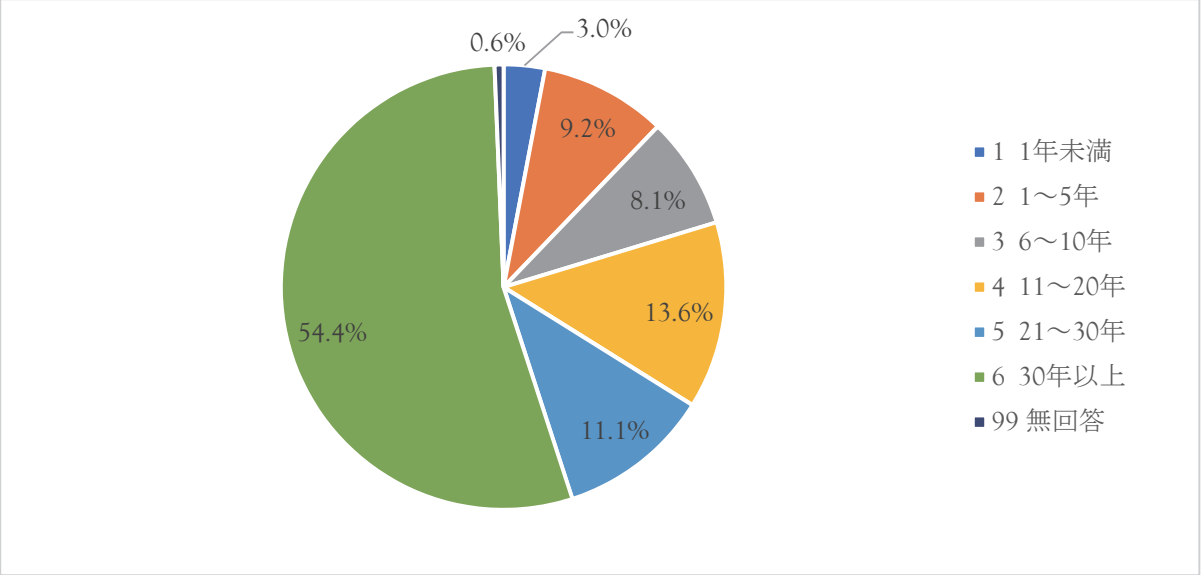


図 H13-1　男女別　(N=1689)

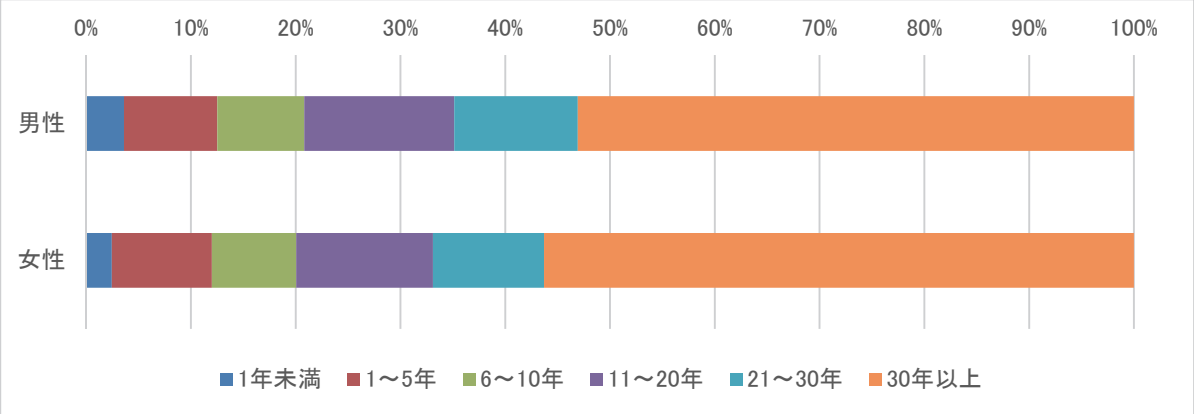


図 H13-2　年齢別 (N=1689)

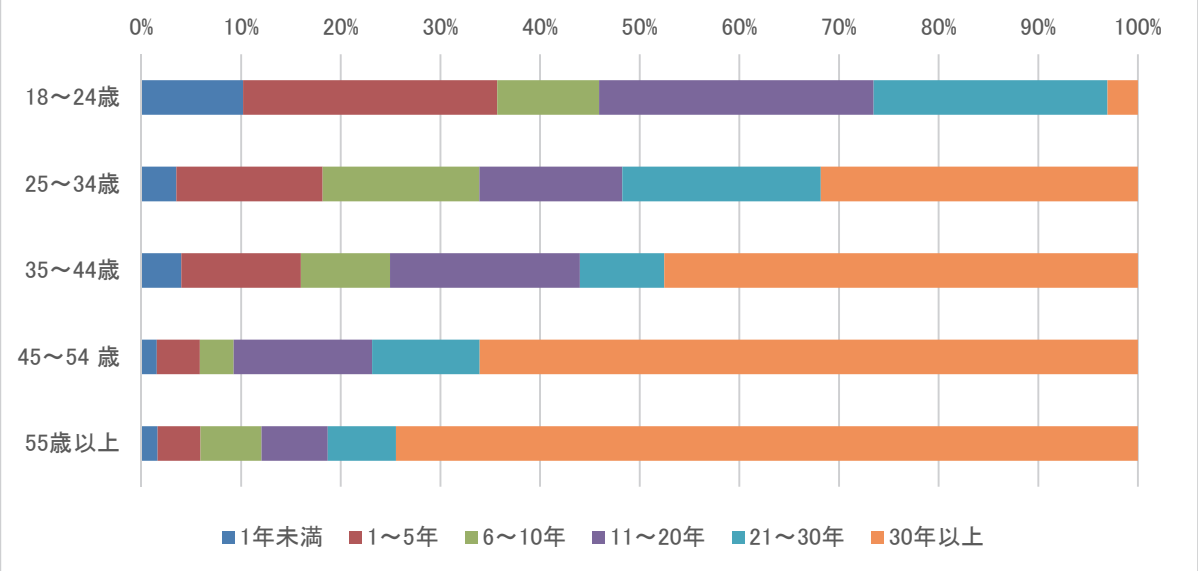


図 H13-3　所得別（N=1576）

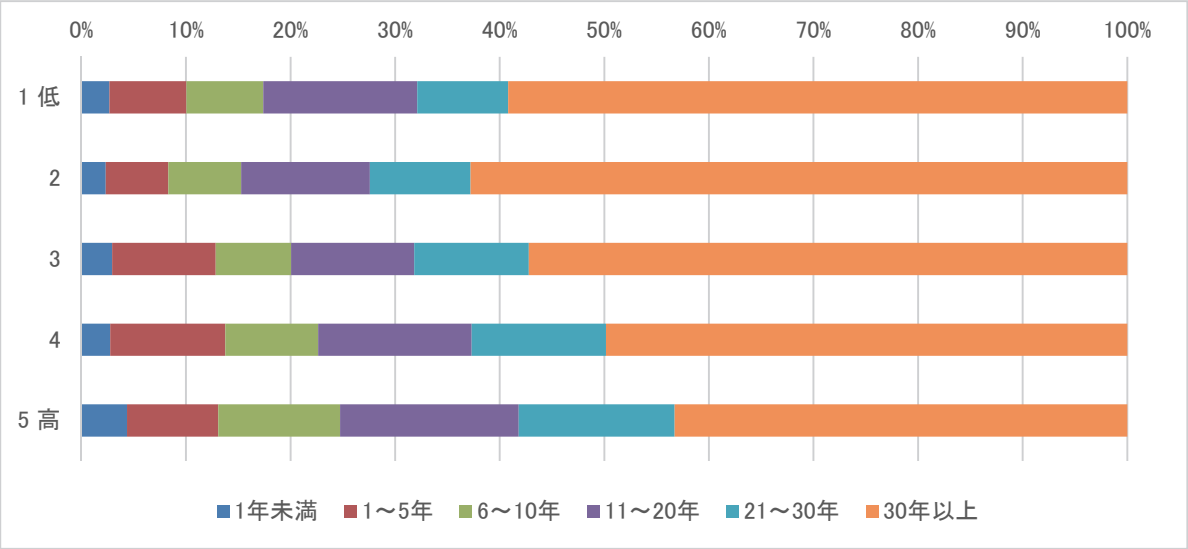
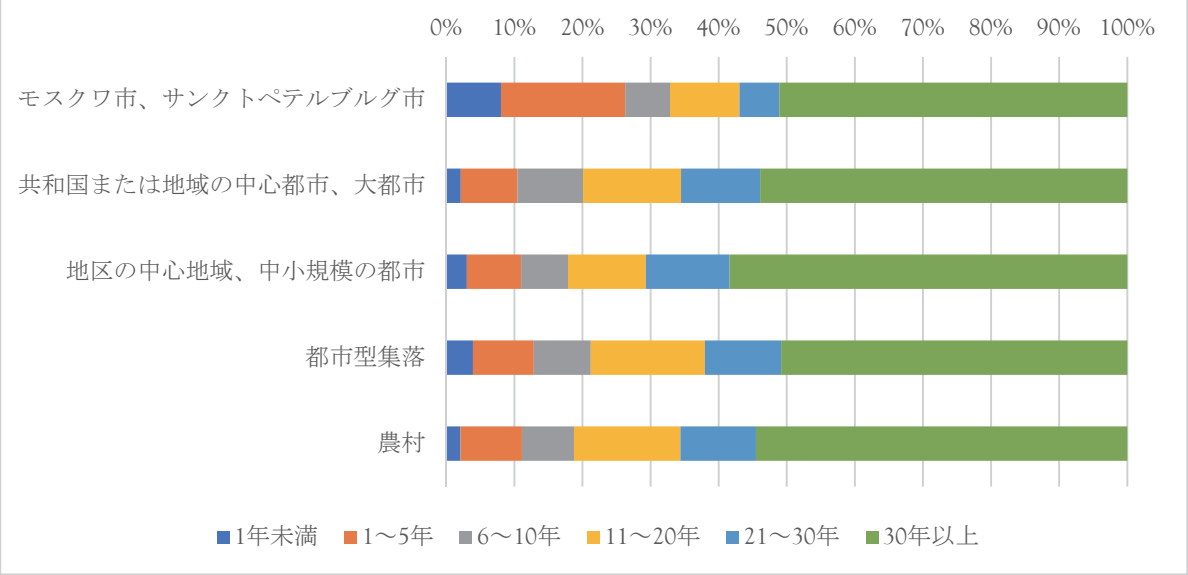


図 H13-4　居住地域別（N=1680）



おわりに

ロシアのソーシャル・キャピタルは決して低いと評価することはできないが、その独自の姿は本調査において浮かび上がったと考えられる。この独自の姿は、特定の閉じた社会において有効なソーシャル・キャピタルの存在を示唆している。

何よりも、家族・友人といった特定の人びととの交流・結びつき、信頼（特定化信頼）が強い反面、初対面の人に対する信頼、一般的信頼は低い。このことは、パンデミックに対する反応でも明確に見出すことができ、年齢にかかわらない。新型コロナ感染症での支援は中央政府に依存するのだが、それを別にすれば特定化信頼がものを言う。

人間の本性を悪よりも善として見る見方が強いにもかかわらず、一般的信頼は低く、人びとは周囲に用心し、その傾向は若年層に強い。もっとも、男性の孤立があること、高齢層が求職・教育に対する問題を感じておらず自身に降りかかる問題に対する対応に世代間格差があることもまた確認される。

もうひとつ、先進諸国と対照的であるのは、機関・制度への信頼のうち、軍、大統領に対する信頼はとびぬけて高いことである。この傾向は世論調査に見られる大統領支持率の高さを追認するものだが、本調査結果のウクライナ政策に対する 70%を超える支持の大きさもそうした信頼の裏返しと言えよう。言うまでもなく、高齢者、低所得者ほど支持は大きいが、逆転する階層がないことも人びとの支持の厚さを示唆する。ただし、その責任の所在にロシア政府を位置づける見方は、両国政府に責任を求める見解も含めて 4 割弱に及ぶ点は、両国の対立の終わりを考えるうえで興味深い。

ソーシャル・キャピタルを育む価値観を考えるうえで、本調査では自らが人生を変えることができるとするポジティブな見方を圧倒的多数から確認でき、それはネガティブな立ち位置の日本とは大きな開きがある。しかも、軍事紛争が続いているにもかかわらず多くは生活に満足しているのだが、経済格差に対する不満が大きく、平等指向が働いているのである。

ソーシャル・キャピタルのあり方はロシア社会を特徴づけるに十分なものであり、欧米、日本との比較は権威主義的な硬直社会とは異なる人びとの行動と価値観を示唆していると考える。国際比較、その後の推移との比較は今後の課題である。

引用文献

【英語】

Alfio, C. （2006） Poverty and Social Structure in Russia: An Analysis of the First Decade of Transition, *Luxembourg Income Study Working Paper Series*, Working Paper No. 445, 1-25.

Algan Y. （2018） Trust and social capital, Joseph E. Stiglitz, Jean-Paul Fitoussi and Martine Durand eds., *For Good Measure: Advancing Research on Well-being Metrics Beyond GDP*, OECD.

Bartscher Alina Kristin, Seitz Sebastian, Siegloch Sebastian, Slotwinski Michaela, and Wehrhöfer Nils (2021) Social capital and the spread of covid-19: Insights from European countries, *Journal of Health Economics,* 80, 102531.

Borisova, E., Govorun, A., and Ivanov, D. （2017） Social capital and support for the welfare state in Russia, *Post-Soviet Affairs*, Vol.33, Issue 5, 411-429.

Buttrick, S.C. and Moran, J.P. （2005） Russia's missing link? Social capital, entrepreneurialism, and economic performance in post-communist Russia, *Communist and Post-Communist Studies*, Vol.38, No.3, 357-368.

Eberstadt, N. （2010） Russia's Peacetime Demographic Crisis: Dimensions, Causes, Implications, NBR Project Report.

Gundacker, L., and Fidrmuc, J. （2017） Oligarchs and social capital in Russian regions: a quantitative assessment. *Empirica* 44, 509–527

Haerpfer, C., Inglehart, R., Moreno, A., Welzel, C., Kizilova, K., Diez-Medrano J., M. Lagos, P. Norris, E. Ponarin and B. Puranen eds.（2022） *World Values Survey: Round Seven - Country-Pooled Datafile Version 5.0. Madrid*, Spain & Vienna, Austria: JD Systems Institute & WVSA Secretariat. doi:10.14281/18241.20（世界価値観調査（WVS））

Hedland, S. （2005） *Russian Path Dependence: A People with a Troubled History*, Routledge.

Maltseva, A.P. （2012）Social trust in modern Russia: Diagnosis, reasons of crisis, "treatment" conditions, *Vlast*, No.11, 49-52.

Marsh, Ch. （2000） Social capital and democracy in Russia, *Communist and Post-Communist Studies*, Vol.33, Issue 2., 183-199.

Kennedy, B., and Kawachi, I. （1998） The role of social capital in the Russian mortality crisis, *World Development*, Vol.26, Issue 11, 2029-2043.

Menyashev, R. and Polishchuk, L.（2011）Does Social Capital Have Economic Payoff in Russia?, *Center for Institutional Studies Working Paper Series*, Working Paper WP10/2011/01, Series WP10, 1-44.

Petro, N （2001） Creating Social Capital in Russia: The Novgorod Model, *World Development*, 29 （2）, 229-244.

Rose, R. （1998）Getting things done in an anti-modern society: Social capital networks in Russia, *Social Capital Initiative Working Paper*, No.6, World Bank.

Schrader, H. （2004） Social capital and social transformation in Russia, *Journal of East European Management Studies*, Vol.9, No.4, 391-410.

Shleifer, A.and Treisman D. （2005） A Normal Country: Russia After Communism, *Journal of Economic Perspectives*, Volume 19, Number 1, Winter 2005, 151–174.

Volkov, Denis and Kolesnikov, Andrei (2022) My country, right or wrong: Russian public opinion on Ukraine, Carnegie Endowment for International Peace, *Working Paper*, September 2022, 1-23.

Yaffa, J. （2020） *Between Two Fires. Truth, Ambition, and Compromise in Putin's Russia*, Granta, London （ジョシュア・ヤッファ『板挟みのロシア人ー「プーチン時代」に生きる狡知と悲劇』長崎泰裕訳、白水社、2023 年）.

【ロシア語】

Артамонов, Р.Е.. Лаврентьев, Н.В. (2021) Общественное мнение в течение года пандемии оценки событий и тенденции, ред. С.М.Плаксин, А.Б.Жулин, С.А.Фаризова, «Черный лебедь» в белой маске. Аналитический доклад НИУ ВШЭ к годовщине пандемии COVID-19, ВШЭ, М.

Никишина, Е.Н., Коробкова, Н.Ю. （2022） Социальный капитал общества как фактор сдерживания пандемии COVID-19, Население и экономика, 6 （4）, 62-82.

Плаксин, С.М., Жулин, А.Б., Фаризова, С.А. ред. （2021） Черный лебедь в белой маске. Аналитический доклад НИУ ВШЭ к годовщине пандемии COVID-19, ВШЭ, М.

【日本語】

石川晃弘・佐々木正道・ニコライ・ドリャフロフ編（2017）『ロシア社会の信頼感』ハーベスト社

稲葉陽二（2007）『ソーシャル・キャピタルー「信頼の絆」で解く現代経済・社会の諸課題』生産性出版

岩井紀子・宍戸邦章編（2021）『データで見る東アジア社会的ネットワークと社会関係資本（東アジア社会調査による日韓中台の比較）』ナカニシヤ出版

関根仁博（2022）「ソーシャル・キャピタルと新型コロナウイルスの感染予防行動との関連性に関する実証研究ーながはまスタディー」『社会関係研究』Vol.1, No.2, pp.17-29.

溝端佐登史編（2022）『国家主導資本主義の経済学ー国家は資本主義を救えるのか?』文眞堂

付録　アンケート質問票

Русский	English	日本語
0. БАЗОВЫЕ ХАРАКТЕРИСТИКИ	**0. BASIC CHARACTERISTICS**	**0. 基本属性**
01. Согласие принять участие в опросе *Если Q1000>1, то завершить интервью с результатом "Завершено"* 1 Согласие 2 Отказ 3 Категорический отказ 4 Респондент сказал, что в роуминге 5 Респондент очень быстро повесил трубку 6 Плохая связь, плохо слышно респондента или оператора 7 Трубку взял ребенок (детский голос) 8 Автоответчик 9 Факс 10 Организация/рабочий/служебный номер 11 Тишина в трубке 12 Респондент не говорит на русском языке, плохо понимает 13 Физическая или ментальная нереспондентопригодность	**01. Consent to participate in the interview** *If Q1000>1, complete the interview with "Completed" result* 1 Agree 2 Disagree 3 Absolutely disagree 4 Respondent said that he/she was in roaming 5 Respondent hung up very quickly 6 Poor connection, respondent or operator has trouble to hear 7 Child answered the phone (child's voice) 8 Voicemail 9 Fax 10 Company/work/office number 11 Silence on the line 12 Respondent does not speak Russian language or has poor Russian language ability 13 Physical or mental disability of the respondent to participate in the survey	**01. インタビュー参加への同意** *Q1000>1 の場合、「完了」結果でインタビューに答える* 1 同意する 2 同意しない 3 全く同意しない 4 ローミング中と言われた 5 回答者が非常に早く電話を切ってしまった 6 接続が悪い、回答者またはオペレータが聞き取りにくい 7 子供が電話に出た（子供の声） 8 留守番電話 9 ファックス 10 会社・職場・勤務先番号 11 返答なし 12 回答者がロシア語を話せない、またはロシア語能力が低い 13 回答者が調査に参加するために身体的または精神的な障害がある
02. Пол респодента 1 Мужской 2 Женский	**02. Sex** 1 Male 2 Female	**02. 回答者の性別** 1 男性 2 女性
03. Возраст. Сколько лет вам исполнилось? *Если Q1003 < 18, то завершить интервью с результатом "Завершено"* **04. Возраст. Возрастные когорты**	**03. Age.** *If Q1003 < 18, complete the interview with the result "Completed".* **04. Age. Age cohorts**	**03. 年齢** *Q1003 <18 の場合、「完了」という結果で面接を終了してください。*

1 18-24 2 25-34 3 35-44 4 45-54 5 55 лет и старше	1 18-24 2 25-34 3 35-44 4 45-54 5 55 and over	**04. 年齢層** 1 18～24 歳 2 25～34 歳 3 35～44 歳 4 45～54 歳 5 55 歳以上
05. Скажите пожалуйста, в каком регионе(крае, области, республике) Вы проживаете на данный момент? 1 Белгородская область 2 Брянская область 3 Владимирская область 4 Воронежская область 5 Ивановская область 6 Калужская область 7 Костромская область 8 Курская область 9 Липецкая область 10 Орловская область 11 Рязанская область 12 Смоленская область 13 Тамбовская область 14 Тверская область 15 Тульская область 16 Ярославская область 17 Москва 18 Московская область 19 Респ. Карелия 20 Респ. Коми 21 Ненецкий автономный округ 22 Архангельская область 23 Вологодская область 24 Калининградская область 25 Ленинградская область	**05. Please tell me in which region (kray, oblast, republic) you reside at the moment?** 1 Belgorod oblast 2 Bryansk oblast 3 Vladimir oblast 4 Voronezh oblast 5 Ivanovo oblast 6 Kaluga oblast 7 Kostroma oblast 8 Kursk oblast 9 Lipetsk obalst 10 Oryol oblast 11 Ryazan oblast 12 Smolensk oblast 13 Tambov oblast 14 Tver oblast 15 Tula oblast 16 Yaroslavl oblast 17 Moscow 18 Moscow oblast 19 Republic of Karelia 20 Republic of Komi 21 Nenets Autonomous okrug 22 Arkhangelsk oblast 23 Vologda oblast 24 Kaliningrad oblast 25 Leningrad oblast 26 Saint-Petersburg	**05. 現在、あなたのお住まいの連邦構成主体はとぢらですか。**（*モスクワ、サンクトペテルブルグ、セヴァストポリの 3 市は連邦的意義を有する都市として、連邦構成主体の地位を有している。） 1 ベルゴロド州 2 ブリャンスク州 3 ウラジミール州 4 ヴォロネジ州 5 イヴァノヴォ州 6 カルーガ州 7 コストロマ州 8 クルスク州 9 リペツク州 10 オリョール州 11 リャザン州 12 スモレンスク州 13 タンボフ州 14 トヴェリ州 15 トゥーラ州 16 ヤロスラヴリ州 17 モスクワ市* 18 モスクワ州 19 カレリア共和国 20 コミ共和国 21 ネネツ自治管区

26 Санкт-Петербург	27 Murmansk oblast	22 アルハンゲリスク州
27 Мурманская область	28 Novgorod oblast	23 ヴォログダ州
28 Новгородская область	29 Pskov oblast	24 カリーニングラード州
29 Псковская область	30 Adygeya Republic	25 レニングラード州
30 Респ. Адыгея	31 Republic of Kalmykia	26 サンクトペテルブルク市*
31 Республика Калмыкия	32 Crimea	27 ムルマンスク州
32 Крым	33 Sevastopol	28 ノヴゴロド州
33 Севастополь	34 Krasnodar krai	29 プスコフ州
34 Краснодарский край	35 Astrakhan oblast	30 アディゲ共和国
35 Астраханская область	36 Volgograd oblast	31 カルムイク共和国
36 Волгоградская область	37 Rostov oblast	32 クリミア共和国
37 Ростовская область	38 Republic of Dagestan	33 セヴァストポリ市*
38 Республика Дагестан	39 Republic of Ingushetia	34 クラスノダール地方
39 Республика Ингушетия	40 Kabardino-Balkarian republic	35 アストラハン州
40 Кабардино-Балкарская республика	41 Karachayevo-Circassian republic	36 ヴォルゴグラード州
41 Карачаево-Черкесская республика	42 Republic of North Ossetia-Alania	37 ロストフ州
42 Республика Северная Осетия - Алания	43 Chechen Republic	38 ダゲスタン共和国
43 Чеченская республика	44 Stavropol krai	39 イングーシ共和国
44 Ставропольский край	45 Republic of Bashkortostan	40 カバルダ・バルカル共和国
45 Республика Башкортостан	46 Republic of Mariy-El	41 カラチャイ・チェルケス共和国
46 Республика Марий Эл	47 Republic of Mordovia	42 北オセチア共和国
47 Республика Мордовия	48 Republic of Tatarstan	43 チェチェン共和国
48 Республика Татарстан	49 Udmurt republic	44 スタヴロポリ地方
49 Удмуртская республика	50 Chuvash republic	45 バシコルトスタン共和国
50 Чувашская республика	51 Perm krai	46 マリ・エル共和国
51 Пермский край	52 Kirov oblast	47 モルドヴィア共和国
52 Кировская область	53 Nizhny Novgorod oblast	48 タタールスタン共和国
53 Нижегородская область	54 Orenburg oblast	49 ウドムルト共和国
54 Оренбургская область	55 Penza oblast	50 チュヴァシ共和国
55 Пензенская область	56 Samara oblast	51 ペルミ地方
56 Самарская область	57 Saratov oblast	52 キーロフ州
57 Саратовская область	58 Ulyanovsk oblast	53 ニジニ・ノヴゴロド州
58 Ульяновская область	59 Kurgan oblast	54 オレンブルク州
59 Курганская область	60 Sverdlovsk oblast	
60 Свердловская область	61 Khanty-Mansi autonomous okrug	
61 Ханты-Мансийский автономный округ	62 Yamalo-Nenets autonomous okrug	
62 Ямало-Ненецкий автономный округ	63 Tyumen oblast	

63 Тюменская область 64 Челябинская область 65 Республика Алтай 66 Республика Тыва 67 Республика Хакасия 68 Алтайский край 69 Красноярский край 70 Иркутская область 71 Кемеровская область 72 Новосибирская область 73 Омская область 74 Томская область 75 Республика Бурятия 76 Республика Саха (Якутия) 77 Забайкальский край 78 Камчатский край 79 Приморский край 80 Хабаровский край 81 Амурская область 82 Магаданская область 83 Сахалинская область 84 Еврейская автономная область 85 Чукотский автономный округ 98 Затрудняюсь ответить (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ) 99 Отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	64 Chelyabinsk oblast 65 Republic of Altai 66 Republic of Tuva 67 Republic of Khakassia 68 Altai krai 69 Krasnoyarsk krai 70 Irkutsk oblast 71 Kemerovo oblast 72 Novosibirsk oblast 73 Omsk oblast 74 Tomsk oblast 75 Republic of Buryatia 76 Republic of Sakha (Yakutia) 77 Zabaykalsky krai 78 Kamchatka krai 79 Primorsky krai 80 Khabarovsk krai 81 Amur oblast 82 Magadan oblast 83 Sakhalin oblast 84 Jewish Autonomous oblast 85 Chukotka Autonomous oblast 98 Difficult to answer (DO NOT READ) 99 Disclaimer (DO NOT READ	55 ペンザ州 56 サマラ州 57 サラトフ州 58 ウリヤノフスク州 59 クルガン州 60 スヴェルドロフスク州 61 ハンティ・マンシ自治管区 62 ヤマロ・ネネツ自治管区 63 チュメニ州 64 チェリャビンスク州 65 アルタイ共和国 66 トゥヴァ共和国 67 ハカス共和国 68 アルタイ地方 69 クラスノヤルスク地方 70 イルクーツク州 71 ケメロヴォ州 72 ノヴォシビルスク州 73 オムスク州 74 トムスク州 75 ブリヤート共和国 76 サハ（ヤクート）共和国 77 ザバイカルスキー州 78 カムチャツカ地方 79 沿海地方 80 ハバロフスク地方 81 アムール州 82 マガダン州 83 サハリン州 84 ユダヤ自治州 85 チュクチ自治管区 98 答えられない（読み上げないこと） 99 回答拒否（読み上げないこと）

06. В каком Федеральном округе Вы проживаете? 1 Центральный федеральный округ 2 Северо-Западный федеральный округ 3 Южный федеральный округ 4 Северо-Кавказский федеральный округ 5 Приволжский федеральный округ 6 Уральский федеральный округ 7 Сибирский федеральный округ 8 Дальневосточный федеральный округ 98 Затрудняюсь ответить 99 З/О, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	**06. Which Federal District do you live in?** 1 Central Federal District 2 North West Federal District 3 Southern Federal District 4 North Caucasian Federal District 5 Volga Federal District 6 Ural Federal District 7 Siberian Federal District 8 Far Eastern Federal District 98 Difficult to answer (DO NOT READ) 99 no asnwer, refuse to answer (DO NOT READ)	**06. あなたのお住まいの連邦管区はとぢらですか。** 1 中央連邦管区 2 北西連邦管区 3 南部連邦管区 4 北カフカース連邦管区 5 沿ヴォルガ連邦管区 6 ウラル連邦管区 7 シベリア連邦管区 8 極東連邦管区 98 答えられない（読まないこと） 99 回答拒否（読まないこと）
07. В населенном пункте какого типа Вы проживаете сейчас? 1 Москва и Санкт-Петербург 2 Республиканский или областной центр, крупный город 3 Районный центр, малый или средний город 4 Поселок городского типа 5 Село, деревня 99 З/О, отказ （НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ）	**07. What type of settlement do you currently live in?** 1 Moscow and St. Petersburg 2 Republican or regional centre, big city 3 Regional centre, small or medium-sized town 4 Village 5 Village, countryside 99 no asnwer, refuse to answer (DO NOT READ)	**07. 居住地域は以下のうち、どれに該当しますか。** 1 モスクワ市、サンクトペテルブルグ市 2 共和国または地域の中心都市、大都市 3 地区の中心地域、中小規模の都市 4 都市型集落 5 農村 99 回答拒否または答えられない （読み上げないこと）
A. СОЦИАЛЬНЫЕ КОНТАКТЫ И ЧЛЕНСТВО В ОРГАНИЗАЦИЯХ	**A. SOCIAL CONTACTS AND MEMBERSHIP IN ORGANISATIONS**	**A. 社会的ネットワークと組織加入**
A1. (Q5). Часто люди участвуют в работе различных групп, организаций, сетей, ассоциаций. Это могут быть официально созданные группы, например, общественные организации, политические партии, клубы по интересам, волонтёрские организации, просто группы людей, которые регулярно собираются для совместной деятельности или обсуждения	**A1. (Q5). Often people are involved in different groups, organisations, networks, associations. These can be formally established groups such as voluntary organisations, political parties, hobby clubs, voluntary organisations, or simply groups of people who meet regularly to work together or discuss different topics. How many**	**A1. （Q5). 多くの場合、人々はさまざまなグループ、組織、ネットワーク、団体に関与しています。社会団体、政党、趣味のクラブ、ボランティア団体など、正式に設立されたグループもあれば、単に定期的に集まって一緒に仕事をしたり、さまざまなテーマについて話し合**

различных тем. Членом скольких таких групп являетесь Вы или кто-либо из членов вашей семьи? 1 ДА. *ЗАПИШИТЕ ЧИСЛО* **Q5_1N** 2 Не является членом подобных групп 99 З/О, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	**of these groups do you or a family member belong to?** 1 YES. WRITE DOWN THE NUMBER **Q5_1N** 2 Not a member of such groups 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	**ったりする人々のグループもあります。あなたやあなたのご家族は、このうちいくつのグループに所属していますか？** 1 参加団体あり **Q5_1N** 「参加団体あり」と答えた人のみ、参加団体数を教えてください。 2 参加団体なし 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
Только для тех, кто выбрал A1.(Q5)=1. **A2. (Q6_1-Q6_10). Скажите, пожалуйста, насколько активно Вы участвуете в деятельности следующих организаций?** **Q6_1**_политическая партия **Q6_2**_местная общественная организация (ТСЖ и пр.) **Q6_3**_некоммерческая или волонтерская организация **Q6_4**_профессиональная ассоциация **Q6_5**_религиозная организация **Q6_6**_организация выпускников школ или вузов **Q6_7**_организации по интересам (например, творческие или спортивные) **Q6_8**_профсоюзные организации **Q6_9**_профессиональная организация (коллегия адвокатов, банковские ассоциации и пр.) **Q6_10**_другое (укажите, что именно) 1 состою и активно участвую 2 состою, но не активно участвую 3 не состою 99 з/о или отказ	*Only for those who chose A1.(Q5)=1.* **A2. (Q6_1-Q6_10). Please tell me how actively you participate in the activities of the following organisations?** **Q6_1**_political party **Q6_2**_local public organisation (home/apartment owners association, etc.) **Q6_3**_non-profit or voluntary organisation **Q6_4**_ professional association **Q6_5**_religious organization **Q6_6**_school or university alumni organisation **Q6_7**_interest organisations (e.g. arts or sports) **Q6_8**_trade union organisations **Q6_9**_professional organisation (bar associations, banking associations, etc.) **Q6_10**_other (specify what it is) 1 membership and active participation 2 membership but not active participation 3 do not belong to any 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	*A1.(Q5)=1 を選択した方のみ。* **A2. (Q6_1-Q6_10). 以下の組織の活動にどの程度積極的に参加しているか教えてください。** **Q6_1**_政治団体 **Q6_2**_地縁組織（住宅所有者組合など） **Q6_3**_NPO・ボランティア団体 **Q6_4**_専門家集団 **Q6_5**_宗教団体 **Q6_6**_学校・大学の同窓会 **Q6_7**_趣味の団体（芸術やスポーツなど） **Q6_8**_労働組合 **Q6_9**_職業団体（弁護士会、銀行協会など） **Q6_10**_その他（具体的に） 1 積極的に参加している 2 加入のみ 3 加入していない 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと）

Только для тех, кто выбрал Q5=*1*. **A3. (Q7). В деятельности какой из следующих организаций Вы участвовали наиболее активно в течение последнего года?** 1 политическая партия 2 местная общественная организация (ТСЖ и пр.) 3 некоммерческая или волонтерская организация 4 профессиональная ассоциация 5 религиозная организация 6 организация выпускников школ или вузов 7 организации по интересам (например, творческие или спортивные) 8 профсоюзные организации 9 профессиональная организация (коллегия адвокатов, банковские ассоциации и пр.) 10 другое (укажите, что именно) **Q7_10T** 98 никакой из них (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ) 99 з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	*Only for those who have selected Q5=1.* **A3. (Q7). Which of the following organisations have you been most active in in the last year?** 1 political party 2 local civic organization (HOA, etc.) 3 non-profit or voluntary organization 4 professional Association 5 religious organization 6 school or university alumni organisation 7 organisations of interest (for example, creative or sports organisations) 8 trade union 9 professional bodies (bar associations, banking associations, etc.) 10 other (specify) **Q7_10T** 98 none (DO NOT READ) 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	*Q5=1 を選択された方のみ。* **A3. (Q7). この 1 年間で、あなたが最も積極的に活動に参加した組織は以下のうちどれですか？** 1 政治団体 2 地縁組織（住宅所有者組合など） 3 NPO・ボランティア団体 4 専門家集団 5 宗教団体 6 学校・大学の同窓会 7 趣味の団体（芸術やスポーツなど） 8. 労働組合 9 職業団体（弁護士会、銀行協会など） 10 その他（具体的に）**Q7_10T** 98 どれでもない 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
A4. (Q8- Q1010). Какие из следующих суждений правильно описывают отношения между людьми в … **Q8**_вашей политической партии? **Q1001**_местной общественной организации, в работе которой Вы участвовали в течение последнего года? **Q1002**_вашей некоммерческой или волонтёрской организации? **Q1005**_вашей профессиональной ассоциации? **Q1006**_вашей религиозной организации? **Q1007**_вашей организации выпускников школ или вузов? **Q1008**_вашей организации по интересам? **Q1009**_вашей профсоюзной организации?	**A4. (Q8- Q1010). Which of the following statements correctly describes the relationships between people in ...** **Q8**_your political party? **Q1001**_local civic organization in which you have been involved during the past year? **Q1002**_your non-profit or voluntary organisation? **Q1005**_your professional association? **Q1006**_your religious organization? **Q1007**_your school or college alumni organization? **Q1008**_your interest organization? **Q1009**_your trade union? **Q1010**_your professional organisation?	**A4. (Q8- Q1010).次の記述のうち、あなたが A3.（Q7）で選んだ以下の団体における人間関係を正しく表しているのはどれですか。** 1 政治団体 2 地縁組織（住宅所有者組合など） 3 NPO・ボランティア団体 4 専門家集団 5 宗教団体 6 学校・大学の同窓会 7 趣味の団体（芸術やスポーツなど） 8. 労働組合 9 職業団体（弁護士会、銀行協会など） 10 あなたが所属する他の団体

Q1010_вашей профессиональной организации? 1 Абсолютно все члены организации имеют схожие взгляды и действуют согласованно 2 Большинство членов организации имеют схожие взгляды и действуют согласованно 3 Небольшое число членов организации имеют схожие взгляды и действуют согласованно 4 Почти все члены организации имеют разные взгляды и не действуют согласованно 99 З/О или ОТКАЗ	1 Absolutely all members of the organisation have similar views and act in a coordinated way. 2 Most members of the organisation have similar views and act in a coordinated way. 3 A small number of members of the organisation have similar views and act in a coordinated way. 4 Almost all members of the organisation have different views and do not act in a coordinated way. 99. No answer, refuse to answer	1 全員が同じような考え方や行動をしている 2 大部分が同じような考え方や行動をしている 3 少数が同じような考え方や行動をしている 4 ほとんど全員が異なる考え方や行動をしている 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
A5. (Q9). Теперь поговорим о Вашем повседневном общении. Укажите, пожалуйста, количество членов Вашей семьи и родственников, с которыми Вы обычно контактируете в течение одного дня лично, по телефону или через Интернет без учёта тех, с кем Вы вместе живёте 1 0 2 1-2 человека 3 3-4 человека 4 5-9 человек 5 10-19 человек 6 более 20 человек 99 з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	**A5. (Q9). Now let's talk about your everyday communication. Please indicate the number of your family members and relatives with whom you usually have contact in one day in person, by telephone or via the internet, not including those with whom you live together** 1 0 2 1-2 people 3 3-4 people 4 5-9 people 5 10-19 people 6 more than 20 people 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	**A5. (Q9). 普段のコミュニケーションについてうかがいます。あなたが普段、1 日に直接、または電話やインターネットで連絡を取っているご家族や親族の人数をお答えください（同居している人は含みません）。** 1 0 2 1～2 人 3 3-4 人 4 5-9 人 5 10-19 人 6 20 人以上 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
A6. (Q10). Как часто вы общаетесь, советуетесь или просите помощи у членов своей семьи или близких родственников? За исключением тех из них, кто живёт вместе с Вами. 1 никогда (*ЕСЛИ РЕСПОНДЕНТ СКАЗАЛ, ЧТО нет родственников, ОТМЕТЬТЕ ЭТОТ ВАРИАНТ*) 2 один раз в год или раз в несколько лет 3 раз в месяц или несколько раз в год	**A6. (Q10). How often do you communicate, seek advice or help from your family members or close relatives? Except for those who live with you.** 1 Never (IF THE RESPONDENT SAYS NO RELATIVES, ACCEPT THIS OPTION) 2 Once a year or once every few years 3 once a month or more than once a year	**A6. (Q10).あなたは普段、どの程度の頻度で家族や親族とコミュニケーションをとったり、アドバイスや助けを求めたりしますか？（同居家族は除く）** 1 全くない（もしくは親族がいない） 2 1 年に 1 回～数年に 1 回程度 3 月 1 回～年に数回程度

4 раз в неделю или несколько раз в месяц 5 каждый день или несколько раз в неделю 99 з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	4 once a week or more than once a month 5 every day or several times a week 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	4 週に 1 回～月に数回程度 5 毎日～週に数回程度 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
A7. (Q11). Среди Ваших соседей сколько тех, с кем Вы обычно здороваетесь? 1 0 человек 2 1-4 человек 3 5-9 человек 4 10-19 человек 5 20 человек и более 99 з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	**A7. (Q11). Among your neighbours, how many people do you usually say hello to?** 1 0 people 2 1-4 people 3 5-9 people 4 10-19 people 5 20 people or more 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	**A7. (Q11).** あいさつ程度の付き合いがある近所の人は、何人くらいいますか？ 1 0 人 2 1～4 人 3 5-9 人 4 10 人～19 人 5 20 人以上 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
A8. (Q12). А у скольких соседей Вы можете попросить совета или помощи в случае необходимости? 1 0 человек 2 1-2 человека 3 3-4 человека 4 5-9 человек 5 более 10 человек 99 з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	**A8. (Q12). How many neighbours can you ask for advice or help in case of need?** 1 0 people 2 1-2 persons 3 3-4 persons 4 5 9 people 5 more than 10 people 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	**A8. (Q12).** 困ったときに相談や頼み事ができる近所の人は、何人くらいいますか？ 1 0 人 2 1-2 人 3 3-4 人 4 5 9 人 5 10 人以上 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
A9. (Q13). Сколько у Вас близких друзей, с которыми Вы делитесь подробностями вашей личной жизни или просите совета или помощи в трудных жизненных ситуациях? 1 0 человек 2 1-2 человека 3 3-4 человек 4 5-9 человек 5 10-19 человек	**A9. (Q13). How many close friends do you have with whom you share details of your personal life or ask for advice or help in difficult situations?** 1 0 persons 2 1-2 persons 3 3 3 4 people 4 5-9 people 5 10-19 people	**A9. (Q13).** あなたには、プライベートなことを話したり、困難な状況にあるときに助言や助けを求めたりできる親しい友人が何人いますか？ 1 0 人 2 1-2 人 3 3 4 人 4 5-9 人 5 10-19 人

6 20-49 человек 7 50-99 человек 8 100 и более человек 99 з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	6 20-49 persons 7 50-99 persons 8 100 or more persons 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	6 20-49 人 7 50-99 人 8 100 人以上 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
A10. (Q14). Как часто Вы просите совета или помощи у своих друзей и знакомых, исключая коллег по работе? 1 никогда (*ЕСЛИ у респондента нет таких друзей и знакомых, ОТМЕТЬТЕ ЭТОТ ВАРИАНТ*) 2 один раз в год или раз в несколько лет 3 раз в месяц или несколько раз в год 4 раз в неделю или несколько раз в месяц 5 каждый день или несколько раз в неделю 99 з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	**A10. (Q14). How often do you ask for advice or help from your friends and acquaintances, excluding work colleagues?** 1 Never (IF the respondent does not have such friends and acquaintances, MARK THIS OPTION) 2 Once a year, or once every few years 3 Once a month or more than once a year 4 once a week or more than once a month 5 every day or several times a week 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	**A10. (Q14). あなたは普段、どの程度の頻度で友人・知人（仕事仲間を除く）と、相談や頼み事といった付き合いをされていますか？** 1 全くない（もしくは友人・知人がいない） 2 1 年に 1 回～数年に 1 回程度 3 月 1 回～年に数回程度 4 週に 1 回～月に数回程度 5 毎日～週に数回程度 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
A11. (Q15). Каким образом Вы чаще всего контактируете со своими друзьями и знакомыми? 1 на личной встрече 2 по телефону 3 по электронной почте 4 в социальных сетях 5 прочее (укажите, что именно) **Q15_5T** 99 з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	**A11. (Q15). How do you most often have contact with your friends and acquaintances?** 1 in person 2 by phone 3 by e-mail 4 by social networks 5 other (specify) **Q15_5T** 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	**A11. (Q15). 友人・知人とは、どのように接することが多いですか？** 1 対面 2 電話 3 電子メール 4 SNS 5 その他（具体的に) **Q15_5T** 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
A12. (Q16). Что из нижеперечисленного характеризует людей из Вашего круга общения, исключая родственников? 1 в моем кругу общения больше людей, которые выше меня по статусу 2 в моем кругу общения больше людей с одинаковым со мной статусом	**A12. (Q16). Which of the following best characterizes people in your social circle, excluding relatives?** 1 there are more people in my social circle who are higher in status than me 2 there are more people of the same status in my network	**A12. (Q16). あなたが親族以外で日常的によくお付き合いをしている人たちについて、以下のうちどの記述がもっともよく当てはまりますか？** 1 私よりも地位の高い人が多い 2 私と地位がほぼ同じ人が多い

3 в моем кругу общения больше людей, которые ниже меня по статусу 99 з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	3 I have more people below me in my network 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	3 私よりも地位の低い人が多い 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
A13. (Q17). Есть ли у Вас родственники, друзья или знакомые представители следующих профессий? [1=выбран; 0=не выбран] **Q17_1_** преподаватель вуза **Q17_2_** адвокат **Q17_3_** врач или медсестра **Q17_4_** программист **Q17_5** _школьный учитель **Q17_6_** руководитель отдела кадров на предприятии **Q17_7_** сотрудник полиции **Q17_8_** политик **Q17_9_** государственный или муниципальный служащий **Q17_10**_директор предприятия 99 **Q17_99** _з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	**A13. (Q17). Do you have relatives, friends or acquaintances from the following professions? [1=selected; 0=not selected]** **Q17_1_** teacher in higher education institution **Q17_2_** lawyer **Q17_3_** doctor or nurse **Q17_4_** computer programmer **Q17_5**_schoolteacher **Q17_6_** human resources manager in an enterprise **Q17_7_** police officer **Q17_8_** politician **Q17_9_** civil or municipal servant **Q17_10**_company director 99 **Q17_99** _no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	**A13. (Q17). あなたの親族や友人・知人に、以下の職業の方がいらっしゃいますか？** **Q17_]**_大学教員 **Q17_2**_弁護士 **Q17_3**_医師・看護師 **Q17_4**_コンピューター・プログラマー **Q17_5**_学校の先生 **Q17_6**_企業の人事担当者 **Q17_7**_警察官 **Q17_8**_政治家 **Q17_9**_公務員・官僚 **Q17_10** _企業経営者 99 **Q17_99** _回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
A14. (Q18-24). К кому из следующих лиц Вы обращаетесь в первую очередь за помощью в случае… **Q18_** …возникновения психологических проблем? **Q19_** …возникновения проблем со здоровьем? **Q20_**…в вопросах быта, воспитания детей, ухода за членами семьи? **Q21_** …возникновения финансовых проблем? **Q22_** …возникновения чрезвычайных жизненных ситуаций? **Q23_** …возникновения проблем с поиском работы? **Q24_** …в вопросах образования?	**A14. (Q18-24). Which of the following persons do you go to first in case of...** **Q18_**... psychological problems? **Q19_**... health problems? **Q20_**family issues, children upbringing, family members care **Q21_**...financial problems? **Q22_**...emergencies? **Q23_**... problems with finding a job? **Q24_**...in educational issues? 1 family members living with you	**A14. (Q18-24). あなたは、以下のような場合に、まず誰に相談しますか？** **Q18_**心理的な問題 **Q19_**健康上の問題 **Q20_**家事や育児、介護の問題 **Q21_**金銭的な問題 **Q22_**緊急時や災害の問題 **Q23_**求職に関わる問題 **Q24_**教育問題 1 同居家族

1 к проживающим с вами членам семьи 2 к родственникам 3 к коллегам по работе 4 к соседям 5 к друзьям 6 к специалисту 7 в общественные организации 8 ни к кому 9 не было таких проблем (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ) 10 **[Q18_10T]** другое (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ) 99 з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	2 relatives 3 work colleagues 4 neighbours 5 friends 6 a professional 7 social organisations 8 no one (DO NOT READ) 9 no such problems (DO NOT READ) 10 [Q18_10T] other (DO NOT READ) 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	2 その他の親戚 3 職場の同僚 4 近所の人 5 友人・知人 6 専門家 7 社会的組織 8 誰にも助けを求めなかった 9 そのような問題はない (読まない) 10 [Q18_10T]その他 (具体的に) 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
Q25. УСЛОВИЕ Q4=5 (ДЛЯ СЕЛЬСКИХ ЖИТЕЛЕЙ) **A15.1 (Q25). Если вдруг Вам понадобилось занять небольшую сумму денег достаточную, чтобы <u>оплатить расходы Вашей семьи в течение одной недели</u>, есть ли люди помимо Ваших ближайших домочадцев и близких родственников, к которым Вы могли бы обратиться и которые хотели бы и могли бы одолжить Вам эти деньги?** 1 определенно да 2 скорее да 3 не уверен 4 скорее нет 5 определенно нет 99 з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	*Q25. CONDITION Q4=5 (FOR RURAL RESIDENTS)* **A15.1 (Q25). If you suddenly needed to borrow a small amount of money sufficient to cover your family's expenses for one week, are there people other than your family and close relatives you could turn to who would be willing and able to lend you the money?** 1 Definitely yes 2 Rather yes 3 Not sure 4 More likely no 5 Definitely not 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	*Q25.農村在住者（Q4＝5）のみ* **A15.1 (Q25).突然、1 週間分の家族の生活費をまかなうために少額のお金を借りる必要が生じた場合、あなたの身近な家族や親族以外で、あなたにお金を貸してくれそうな（その意思があり、実際に貸せる）人はいますか？** 1 確実にいる 2 どちらかと言えばいる 3 わからない 4 どちらかと言えばいない 5 確実にいない 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
Q26. УСЛОВИЕ Q4 != 5 (ДЛЯ ГОРОЖАН) **A15.2. (Q26). Если Вам вдруг понадобилось занять небольшую сумму денег, равную примерно <u>недельной Вашей заработной плате</u>, есть ли люди помимо Ваших ближайших домочадцев и близких родственников, к**	*Q26. CONDITION Q4 != 5 (FOR CITY RESIDENTS)* **A15.2. (Q26). If you suddenly needed to borrow a small amount of money equal to about a week's wages, are there people other than your immediate household and close relatives whom**	*Q26. 都市住民（Q4 ！＝5）のみ* **A15.2. (Q26). 突然、1 週間分の給料程度の少額のお金を借りる必要が生じた場合、あなたの身近な家族や親族以外で、あなたにお金を貸しく**

которым Вы могли бы обратиться и которые хотели бы и могли бы одолжить Вам эти деньги? 1 определенно да 2 скорее да 3 не уверен 4 скорее нет 5 определенно нет 99 з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	**you could turn to and who would be willing and able to lend you the money?** 1 Definitely yes 2 Rather yes 3 Not sure 4 More likely no 5 Definitely not 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	**れそうな（その意思があり、実際に貸せる）人はいますか？** 1 確実にいる 2 どちらかと言えばいる 3 わからない 4 どちらかと言えばいない 5 確実にいない 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
A16. (Q27). Кто из следующих лиц составляют наибольшую часть круга Вашего общения? 1 семья и родственники 2 соседи 3 одноклассники, одногруппники 4 друзья и знакомые (не включая одноклассников и одногруппников) 5 коллеги по работе 6 работники некоммерческих или волонтерских организаций 7 представители церкви 8 члены политических партий 9 **Q27_9T_** другие люди (указать кто) (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ) 10 з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	**A16. (Q27). Which of the following persons form the largest part of your social circle?** 1 family and relatives 2 neighbours 3 classmates, classmates 4 friends and acquaintances (not including classmates and classmates) 5 coworkers 6 employees of non-profit or voluntary organisations 7 church representatives 8 members of political parties 9 **Q27_9T**_other people (specify) (DO NOT ENTER) 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	**A16. (Q27). 以下の中で、あなたの人的交流の最も大きな部分を占める人物は誰ですか？** 1 家族・親族 2 隣人 3 クラスメート、同級生 4 友人・知人 5 職場の人 6 NPO、ボランティア団体の職員 7 教会代表者 8 政党関係者 9 **Q27_9T_**その他（具体的に） 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
A17. (Q28). Оцените, пожалуйста, по шкале от 1 до 5, насколько важным Вы считаете наличие связей с влиятельными людьми (такими как политики, госслужащие, руководители предприятий и т.п.) для того, чтобы стать успешным в обществе. (1- наличие связей абсолютно не важно, 5 – наличие связей крайне важно)	**A17. (Q28). On a scale from 1 to 5, please rate how important you think it is to have connections with influential people (such as politicians, civil servants, business leaders, etc.) in order to become successful in society. (1 is not important at all, 5 is extremely important)** 1 totally unimportant 2	**A17. (Q28). 社会で成功する上で、有力者（政治家、官僚、企業経営者など）との関係はどの程度重要だとお考えですか？** 1 まったく重要ではない 2 それほど重要ではない 3 どちらとも言えない 4 ある程度重要である

1 абсолютно не важно 2 3 4 5 крайне важно 99 з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	3 4 5 extremely important 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	5 極めて重要である 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
B. СОЦИАЛЬНОЕ ДОВЕРИЕ	**B. SOCIAL TRUST**	**B.社会的信頼**
B1. (Q29). Если говорить в целом, считаете ли Вы, что большинству людей можно доверять, или полагаете, что нужно быть очень осторожным в отношениях с людьми? 1 в большинстве случаях людям можно доверять 2 в некоторых случаях людям можно доверять 3 в некоторых случаях нужно быть очень осторожным в отношениях с людьми 4 в большинстве случаев нужно быть очень осторожным в отношениях с людьми 99 З з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	**Q29. B1. Generally speaking, do you think that most people can be trusted, or do you think you have to be very careful when dealing with people?** 1 In most cases people can be trusted 2 In some cases, people can be trusted 3 Sometimes you have to be very careful in your dealings with people 4 In most cases, you have to be very careful how you act towards people 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	**Q29.B1.** 一般的に言って、人は信用できると思いますか、それとも人と接するときには細心の注意を払う必要があると思いますか？ 1 ほとんどの場合、信用できる 2 たいていは、信用できる 3 たいていは、用心した方がよい 4 ほとんどの場合、用心した方がよい 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
B2. (Q30-31). Насколько Вы доверяете Вашему ближайшему окружению? Оцените по шкале от 1 до 5, где 1 – совсем не доверяю, 5 – полностью доверяю. 99 З/О, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ) **Q30_1**_семья **Q30_2**_родственники **Q30_3**_друзья **Q30_4**_коллеги по работе **Q30_5**_соседи **Q30_6**_люди, которых вижу впервые **Q31_1**_врачи **Q31_2**_рук.-ли предприятий **Q31_3**_рук.-ли общественных организаций или НКО	**B2. (Q30-31). How much do you trust your immediate environment? Rate on a scale of 1 to 5, where 1 is not trusted at all, 5 is fully trusted. 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)** **Q30_1**_family **Q30_2**_relatives **Q30_3**_friends **Q30_4**_work colleagues **Q30_5**_neighbours **Q30_6**_people I see for the first time **Q31_1**_doctors **Q31_2**_directors/Managers of companies **Q31_3**_directors of NGOs or NPOs	**B2. (Q30-31).** あなたは自分の身近な環境をどの程度信用していますか？**1**～**5** で評価してください。**1**：全く信用しない、**5**：完全に信用する。 **Q30_1**_家族 **Q30_2**_親類 **Q30_3**_友人 **Q30_4**_職場の人 **Q30_5**_近所の人 **Q30_6**_初対面の人 **Q31_1**_医者 **Q31_2**_企業経営者・役員

Q31_4_преподаватели **Q31_5**_ученые **Q31_6**_муниципальные служащие **Q31_7**_государственные служащие **Q31_8**_президент России **Q31_9**_политические партии **Q31_10**_выборы **Q31_11**_суды **Q31_12**_полиция **Q31_13**_российская армия **Q31_14**_церковь **Q31_15**_СМИ (ТВ, радио, газеты) **Q31_16**_социальные сети, информация в интернете **Q31_17**_правительство России **Q31_18**_Государственная Дума России	**Q31_4**_teachers **Q31_5**_scientists **Q31_6**_municipal employees **Q31_7**_civil servants **Q31_8**_president of Russia **Q31_9**_political parties **Q31_10**_elections **Q31_11**_courts **Q31_12**_police **Q31_13**_Russian army **Q31_14**_church **Q31_15**_traditional media (TV, radio, newspapers) **Q31_16**_social media, information on the internet **Q31_17**_Russian government **Q31_18**_State Duma	**Q31_3**_NGO/NPO のリーダー **Q31_4**_教員 **Q31_5**_科学者 **Q31_6**_地方公務員 **Q31_7**_国家公務員 **Q31_8**_大統領 **Q31_9**_政党 **Q31_10**_選挙 **Q31_11**_裁判官 **Q31_12**_警察 **Q31_13**_軍隊 **Q31_14**_教会 **Q31_15**_従来のメディア（テレビ、ラジオ、新聞） **Q31_16**_ソーシャルメディア（SNS、ブログ、YouTube など） **Q31_17**_ロシア政府 **Q31_18**_ロシア議会
B3. (Q32). Как Вы считаете, чего больше в человеческой природе: добра или зла? Оцените по шкале от 1 до 7, где 1 – полное преобладание зла, 7 – полное преобладание добра 1 Полное преобладание ЗЛА 2 3 4 5 6 7 Полное преобладание ДОБРА 99 з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	**B3. (Q32). What do you think is more in human nature: good or evil? Rate on a scale from 1 to 7, where 1 is the total predominance of evil, 7 is the total predominance of good.** 1 complete predominance of evil 2 3 4 5 6 7 total predominance of good 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	**B3. (Q32). あなたは人間の本性についてどう思いますか。1～7 の数字を選んでください。** **１―人間の本性は本来「悪」である、7―人間の本性は本来「善」である。** 1 人間の本性は本来「悪」である 2 3 4 5 6 7 人間の本性は本来「善」である

		99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
C. ВОЗМОЖНОСТИ И ВЛИЯНИЕ	**C. OPPORTUNITIES AND INFLUENCE**	**C. 機会と影響**
C1. (Q33). Оцените, насколько у Вас есть возможность принимать важные решения, способные изменить Вашу жизнь? 1 совершенно не способны изменить жизнь 2 в основном не способны изменить жизнь 3 в основном способны изменить жизнь 4 в полной мере способны изменить жизнь 99 з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	**C1. (Q33). To what extent you are able to make important decisions that can change your life?** 1 absolutely unable to change my life 2 somehwat unable to change my life 3 somewhat able to change my life 4 absolutely able to change my life 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	**C1. (Q33). あなたは人生を変えるような重要な決断をどの程度自分自身でくだせますか？** 1 自分の人生を変えることはまったくできない 2 どちらかといえば、人生を変えることはできない 3 どちらかといえば、人生を変えることができる 4 人生を変えることは十分にできる 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
C2. (Q34). Учитывая все стороны Вашей жизни, скажите, насколько Вы счастливы? 1 безусловно не счастливы 2 скорее не счастливы 3 в чём-то счастливы, в чём-то не счастливы, трудно сказать однозначно 4 скорее счастливы 5 безусловно счастливы 99 з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	**C2. (Q34). Considering all aspects of your life, how happy are you?** 1 absolutely not happy 2 somewhat not happy 3 happy about some things, unhappy about others, it is difficult to say 4 somewhat happy 5 absolutely happy 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	**C2. (Q34). 人生のあらゆる側面を考えたとき、あなたはどれくらい幸せですか？** 1 まったく幸せではない 2 どちらかといえば幸せではない _ 3 幸せなこともあれば、不幸なこともあり、はっきり言えない。 4 どちらかといえば幸せである _ 5 非常に幸せである _ 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
C3. (Q35). Скажите, насколько Вы удовлетворены своей жизнью в целом? 1 совсем не удовлетворены 2 скорее не удовлетворены 3 вчём-то удовлетворены, в чём-то не удовлетворены, трудно сказать однозначно 4 скорее удовлетворены	**C3. (Q35). Generally speaking, how satisfied are you with your life?** 1 absolutely not satisfied 2 somewhat dissatisfied 3 somewhat satisfied and somewhat dissatisfied, it is difficult to say unequivocally 4 somehwat satisfied	**C3. (Q35). あなたの生活全般に対する満足度はどの程度ですか？** 1 全く満足していない 2 どちらかというと満足していない 3 どちらともいえない 4 どちらかというと満足

5 полностью удовлетворены 99 з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	5 absolutely satisfied 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	5 非常に満足 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
Q36. C4. Кто из Вашего окружения является для Вас наиболее значимым человеком: авторитетом, главным советчиком или помощником в решении ваших проблем или достижении ваших целей? 1 начальник на работе 2 государственный или муниципальный служащий 3 политик 4 преподаватель школы или вуза 5 член местной общественной организации 6 **Q36_6T** прочее (_____) 7 нет такого человека 99 з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	**Q36. C4. Who in your environment is the most important person for you: an authority, the main adviser or helper in solving your problems or achieving your goals?** 1 boss at work 2 state or local government official 3 politician 4 teacher at school or university 5 member of a local community organization 6 **Q36_6T**_other (specify) 7 no one 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	**C4 (Q36) .あなたの身近な人々のうちだれが最もあなたに影響を与えていますか？あなたにとっての権威者、問題解決や目的達成に際して主に助言や援助をしてくれる人々は誰ですか？** 1 職場の上司 2 国家または地方政府関係者 3 政治家 4 学校・大学の先生 5 地元コミュニティーのメンバー 6 **Q36_6T**_その他 (具体的に) 7 そのような人はいない 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
C5. (Q137). Как бы Вы охарактеризовали свое обычное, повседневное эмоционально-психологическое состояние? 1 ощущаете эмоциональный подъем 2 чувствуете себя спокойно, уравновешенно 3 находитесь в состоянии безразличия, апатии 4 ощущаете тревогу 5 чувствуете раздражение 6 ощущаете чувство озлобленности 7 ощущаете чувство агрессии 8 когда как, бывает по-разному 9 **Q137_9T**_ другое (_____) 99 з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	**C5. (Q137). How would you describe your usual, everyday emotional and psychological condition?** 1 I feel emotionally uplifted 2 I feel calm and well-balanced 3 I feel apathetic 4 I feel anxious 5 I feel irritated 6 I feel angry 7 I feel aggressive 8 It depends, my emotional condition varies 9 **Q137_9T**_other (_____) 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	**C5. (Q137). あなたの普段の感情や心理状態はどのようなものでしょうか？** 1 感情の高揚を感じる 2 穏やかでバランスのとれた気分 3 無気力、無関心を感じる 4 不安を感じる 5 イライラを感じる 6 怒りを感じる 7 積極性を感じる 8 状況によって変化する 9 **Q137_9T**_その他 (具体的に) 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと）

C6. (Q138). Каково Ваше отношение к текущей политике России в отношении Украины? 1 абсолютно не поддерживаю 2 скорее не поддерживаю 3 скорее поддерживаю 4 абсолютно поддерживаю 98 затрудняюсь ответить (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ) 99 з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	**C6. (Q138). What is your attitude to Russia's current policy towards Ukraine?** 1 absolutely do not support it 2 somewhat do not support 3 somewhat support 4 absolutely support 98 difficult to answer (DO NOT READ) 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	**C6. (Q138). 現在のロシアの対ウクライナ政策について、どのようにお考えですか？** 1 絶対に支持しない 2 どちらかというと支持しない 3 どちらかというと支持する 4 絶対的に支持する 98 答えられない 99 回答拒否
C7. (Q139). По вашему мнению, на ком лежит наибольшая ответственность за военную операцию вооружённых сил России на территории Украины? 1 на российской власти 2 на украинской власти 3 на политиках и депутатах обеих стран 4 на гражданах России 5 на гражданах Украины 6 на руководстве иностранных государств 7 на иностранных бизнесменах 8 **Q139_8T**_другое (_____) 98 з/о (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ) 99 отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	**C7. (Q139). In your opinion, who bears the greatest responsibility for the special military operation of the Russian armed forces on the territory of Ukraine?** 1 Russian authorities 2 Ukrainian authorities 3 politicians and deputies of both countries 4 Russian citizens 5 Ukrainian citizens 6 foreign governments 7 foreign businessmen 8 **Q139_8T**_other (_____) 98 difficult to answer (DO NOT READ) 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	**C7. (Q139). ウクライナ領土内におけるロシアの軍による軍事行動の最大の責任はだれにあると考えますか？** 1 ロシアの政権 2 ウクライナの政権 3 両国の政治家、議員 4 ロシア国民 5 ウクライナ国民 6 外国政府のリーダー 7 外国のビジネスマン 8 **Q139_8T**_その他 (具体的に) 98 答えられない 99 回答拒否
D. СОЦИАЛЬНАЯ СПЛОЧЕННОСТЬ И ИНКЛЮЗИВНОСТЬ	**D. SOCIAL COHESION AND INCLUSIVENESS**	**D. 社会的結束と包摂性**
D1. (Q37). Часто бывает так, что между людьми, проживающими в одном районе, имеются существенные различия по социальному статусу, уровню дохода, национальности, родному языку, политическим предпочтениям, вероисповеданию, возрасту, полу и т.д. Насколько сильно выражены такие различия в	**D1. (Q37). It is often the case that there are significant differences between people living in the same area in terms of social status, income, nationality, mother tongue, political preferences, religion, age, gender, etc. How pronounced are such differences in your area of residence? Rate this on a scale of 1 to 5,**	**D1. (Q37). 同じ地域に住んでいても、社会的地位、収入、国籍、言語、政治的志向、宗教、年齢、性別などの面で大きな違いがあることはよくあることです。あなたの居住地では、そのような相違はどの程度顕著ですか？1～5 で評価してください。**

районе вашего проживания? Оцените это по шкале от 1 до 5, где 1 – в очень незначительной степени, 5 – в очень значительной степени. 1 в очень незначительной степени 2 3 4 5 в очень значительной степени 99 отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	**where 1 is absolutely not pronounced and 5 is absolutely pronounced.** 1 absolutely not pronounced 2 3 4 5 absolutely pronounced 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	1 ほとんど見られない 2 あまり見られない 3 どちらとも言えない 4 ある程度見られる 5 非常に強く見られる 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
D2. (Q38). Создают ли проблемы такие различия? 1 да 2 нет 3 з/о, отказ	**D2. (Q38). Do these differences create problems?** 1 yes 2 no 3 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	**D2. (Q38). そのような相違は問題を生じますか？** 1 はい 2 いいえ 3 回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
Если Q38>1, то переход на вопрос Q41 *ДЛЯ ТЕХ, КТО ВЫБРАЛ Q38=1* **D3. (Q39). Какие из нижеперечисленных различий могут стать потенциальной причиной противоречий и конфликтов?** **Q39_1**_уровень образования **Q39_2**_владение землёй **Q39_3**_владение материальными благами **Q39_4**_социальный статус **Q39_5**_ различия между мужчиной и женщиной **Q39_6**_разница между поколениями **Q39_7**_срок проживания в определенном районе (приезжие и коренные жители) **Q39_8**_различие в политических взглядах **Q39_9**_вероисповедание **Q39_10**_этнические и культурно-лингвистические различия	*If Q38>1, move to question Q41* *FOR THOSE WHO CHOSE Q38=1* **D3. (Q39). Which of the following differences could be a potential cause of controversy and conflict?** **Q39_1**_level of education **Q39_2**_Land ownership **Q39_3**_Possession of material goods **Q39_4**_Social status **Q39_5**_ Differences between men and women **Q39_6**_Intergenerational differences **Q39_7**_Length of residence in a particular area (newcomers and natives) **Q39_8**_Difference in political views **Q39_9**_Religion **Q39_10**_Ethnic and cultural-linguistic differences	*Q38=1 を選択された方のみ* **D3. (Q39). 以下の相違のうち、意見の対立やもめ事の原因となりうるのはどれでしょうか？（複数回答可）** **Q39_1**_教育の格差 **Q39_2**_土地所有の格差 **Q39_3**_物的所有の格差 **Q39_4**_社会的地位の格差 **Q39_5**_男女間の格差 **Q39_6**_世代間格差 **Q39_7**_地域での居住年数の格差 **Q39_8**_政治的見解の違い **Q39_9**_宗教上の相違 **Q39_10**_民族・文化・言語的な相違 **Q39_11T**_その他（具体的に）

Q39_11T_другие различия (укажите что именно)(НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ) 99 **Q39_99_з**/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	**Q39_11T**_Other differences (specify) ((DO NOT READ) **Q39_99**_no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	**Q39_99**_回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
ДЛЯ ТЕХ, КТО ВЫБРАЛ Q38=1 **D4. (Q40). Приводили ли эти проблемы к случаям насилия в Вашем районе?** 1 да 2 нет 3 трудно сказать 99 отказ	*FOR THOSE WHO CHOSE Q38=1.* **D4. (Q40). Have these problems led to incidents of violence in your area?** 1 yes 2 no 3 difficult to say 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	*Q38=1 を選択された方のみ* **D4. (Q40). それらの問題が、あなたの地域では暴力的行為の発生につながっていますか？** 1 はい 2 いいえ 3 答えられない 99 回答拒否（読み上げないこと）
ДЛЯ ВСЕХ **D5. (Q41). По Вашим личным ощущениям, насколько безопасно гулять в Вашем районе одному в тёмное время суток?** 1 вполне безопасно 2 скорее безопасно 3 скорее небезопасно 4 совсем не безопасно 99 з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	*FOR ALL RESPONDENTS* **D5. (Q41). In your personal experience, how safe is it to walk alone in your area at night?** 1 quite safe 2 somewhat safe 3 somewhat unsafe 4 not safe at all 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	*全員に* **D5. (Q41). あなたの個人的な感覚として、お住いの地域で夜間に一人で歩くのはどの程度安全ですか？** 1 非常に安全 2 どちらかと言えば安全 3 どちらかと言えば危ない 4 非常に危ない 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
E. КОЛЛЕКТИВНЫЕ ДЕЙСТВИЯ И СОТРУДНИЧЕСТВО	**E. COLLECTIVE ACTIONS AND COOPERATION**	**E. 集団行動と協同**
E1. (Q42). В течение последних 12 месяцев как часто Вы в личном общении или по Интернету обсуждали нижеперечисленные социальные проблемы в группе от трех и более человек? **Q42_1**_Проблемы окружающей среды	**E1. (Q42). During the last 12 months, how often have you discussed the following social problems in person or online in a group of three or more people?** **Q42_1**_environmental problems	**E1. (Q42). 過去 1 年間に、以下のような地域や社会の問題について 3 人以上で話し合うことがどのくらいありましたか（オンラインも含む）。項目ごとに 1 つ選んでください。**

Q42_2_вопросы образования **Q42_3**_вопросы безопасности, мер защиты в чрезвычайных ситуация **Q42_4**_проблемы потребителей **Q42_5**_социальные проблемы (безработица, пенсия) **Q42_6**_проблемы здравоохранения 1 не обсуждал 2 пару раз в год 3 почти каждый месяц 4 почти каждую неделю или ещё чаще 99 з/о или отказ	**Q42_2**_education issues **Q42_3**_safety issues, protection measures in emergencies **Q42_4**_consumer problems **Q42_5**_social problems (unemployment, pension) **Q42_6.** health care problems 1 did not discuss 2 a couple of times per year 3 almost every month 4 almost every week or even more often 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	**Q42_1**_環境問題（大気、水、騒音、廃棄物、山火事、洪水など） **Q42_2**_教育問題（教育費、塾、青少年の非行など） **Q42_3**_安全・安心（防災、防犯など） **Q42_4**_消費者問題（食品の安全性、モノの品質、物価変動など） **Q42_5**_社会的問題（年金、失業その他の社会的給付、税金、医療など） **Q42_6**_医療問題 1 まったくない 2 年に数回 3 ほぼ毎月 4 ほぼ毎週 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
E2. (Q43). В каких из следующих видов общественной деятельности Вы лично или через Интернет участвовали в течение последних 12 месяцев? **Q43_1**_волонтерская деятельность по улучшению места (района) своего проживания (озеленение улиц, улучшение безопасности, организация мероприятий и пр.) **Q43_2**_волонтерская деятельность на спортивных, культурных, научно-популярных мероприятиях **Q43_3**_волонтёрская деятельность, связанная с оказанием социальной помощи инвалидам, детям, людям пожилого возраста и пр. **Q43_4**_добровольное участие в политических мероприятиях (сбор подписей, участие в митингах и пр.)	**E2. (Q43). In which of the following community activities have you personally participated in the last 12 months? (including online participation).** **Q43_1**_volunteering to improve the place (area) where you live (landscaping streets, improving security, organizing events, etc.) **Q43_2**_volunteering at sports, cultural, scientific and popular science events **Q43_3**_volunteer activities related to the provision of social assistance to persons with disabilities, children, elderly people, etc. **Q43_4**_voluntary participation in political activities (collection of signatures, participation in rallies, etc.) 98 _**Q43_98**_did not participate in any (DO NOT READ)	**E2. (Q43). 過去 1 年間にボランティア活動に参加したことがありますか（オンラインも含む）。** **Q43_1**_自分の住んでいる地域をよくするためのボランティア（活動環境の改善、治安の向上、街の活性化、その他） **Q43_2**_スポーツ・文化・芸術・学術に関連したボランティア活動（スポーツのコーチ、伝統文化の継承、専門的知識の伝達、その他） **Q43_3**_社会的な支援を必要とする人々を対象としたボランティア活動（障がい者、子ども、高齢者、その他） **Q43_4**_政治的問題に関連した活動（請願書への署名、デモや抗議運動への参加、その他） 98 **Q43_98**_参加していない

98 **Q43_98**_ни в каких не участвовал (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ) 99 **Q43_99**_з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	99 **Q43_99**_ no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	99 **Q43_99**_回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
E3. (Q44). По шкале от 1 до 5 оцените, насколько Вы согласны со следующими утверждениями. **1 – категорически не согласен, 5 – полностью согласен** **Q44_1**_простые люди, как я, никак не могут повлиять на то, что происходит в государстве, В правительстве **Q44_2**_я не совсем понимаю, чем занимается государство и политики, поскольку это сложная для меня сфера **Q44_3**_я интересуюсь политикой **Q44_4**_я хочу быть полезным обществу **Q44_5**_я и мои соседи заботимся друг о друге **Q44_6**_я могу рассчитывать на помощь моих соседей в случае необходимости **99** з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	**E3. (Q44). On a scale of 1 to 5, rate the extent to which you agree with the following statements.** **1 - absolutely disagree, 5 - absolutely agree** **Q44_1**_ordinary people like myself have no influence whatsoever on what happens in the country or its government **Q44_2**_I don't really understand what the government and politicians do, because it's a difficult area for me **Q44_3**_I'm interested in politics **Q44_4**_I want to be useful to society. **Q44_5**_I and my neighbours care about each other **Q44_6**_I can count on the help of my neighbours in case of need 99 - no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	**E3. (Q44). あなたは市民権、政府、近所づき合いに関する以下の考え方に賛成しますか、あるいは反対しますか。当てはまるものをそれぞれお答えください。** **Q44_1**_自分のような普通の市民には、政府のすることに対して、影響を及ぼせるほどの力がない **Q44_2**_政治や政府は複雑なので、何をやっているのかよく理解できない **Q44_3**_私は政治に対して関心がある **Q44_4**_私は社会のために役立ちたい **Q44_5**_近所の人は、お互いを気にかけている **Q44_6**_近所の人は、私が困っていたら手助けしてくれる 1 強く反対 2 どちらかと言えば反対 3 どちらとも言えない 4 どちらかと言えば賛成 5 強く賛成 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
E4. (Q45). Как часто за последние три года Вы собирались вместе с другими жителями Вашего района, чтобы совместно обратиться к власти с просьбой решить какую-то проблему в Вашем районе?	**E4. (Q45). In the last three years, how often have you got together with other residents of your area to jointly ask the authorities to solve a problem in your area?**	**E4. (Q45). 過去 3 年間に、あなたのお住まいの地域の問題について、住民が共同で政治家や役所に対して陳情を行ったり請願書を提出したりしたことはありましたか？**

1 ни разу 2 один раз 3 несколько раз (от 2 до 5) 4 более 5 раз (более 5 раз) 99 з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	1 never 2 once 3 several times (2 to 5) 4 more than 5 times 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	1 一度もない 2 一度のみ 3 2～5 回 4 6 回以上 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
F. ВЛИЯНИЕ ПАНДЕМИИ	**F. INFLUENCE OF THE COVID-19 PANDEMIC**	**F. COVID-19 パンデミックの影響**
F1. (Q46). Сменим тему. Теперь я задам несколько вопросов относительно пандемии коронавируса. По вашему мнению, на ком лежит наибольшая ответственность за распространение коронавирусной инфекции? (*ОДИН ОТВЕТ*) 1 на гражданах страны 2 на президенте и правительстве 3 на органах местного самоуправления 4 на политиках и депутатах 5 на государственных служащих 6 на руководителях крупных предприятий 7 на иностранцах 8 **Q46_8T**_прочее（_____） 9 никто не несет за это ответственность 10 все в той или иной степени виноваты 99 з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	**F1. (Q46). Let's change the subject. I will now ask some questions about the coronavirus pandemic. In your opinion, who is most** responsible for the spread of coronavirus infection? *(ONE ANSWER)* 1 citizens of the country 2 the president and the government 3 local governments 4 politicians and parliamentarians 5 government officials 6 directors of major companies 7 foreigners 8 **Q46_8T**_other（_____） 9 no one is responsible 10 everyone is at fault to one degree or another 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	**F1. (Q46). 話題を変えましょう。これからコロナウイルスのパンデミックについていくつか質問させていただきます。ロシアにおける新型コロナ感染症感染拡大を引き起こした責任はどこにあると思いますか。最も重要と思うものを 1 つ選んでください。** 1 国民 2 大統領と政府 3 地方自治体 4 政治家および国会議員 5 政府関係者 6 大企業の役員 7 外国人 8 **Q46_8T**_その他（具体的に) 9 誰の責任でもない 10 多少なりとも全員に責任がある 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
F2. (Q47). Насколько Вы доверяете информации о пандемии, получаемой из следующих источников? Оцените Ваш ответ по шкале от 1 до 5, где 1 – полностью не доверяю, 5 – полностью доверяю. **Q47_1**_СМИ (ТВ, радио, газеты)	**F2. (Q47). How much do you trust the information you receive about the pandemic from the following sources? Please rate your answer on a scale of 1 to 5, where 1 is absolutely do not trust and 5 is absolutely trust.** **Q47_1**_traditional media (TV, radio, newspapers)	**F2. (Q47). あなたは、パンデミックについて、以下の情報源から得た情報をどの程度信用していますか？1 が完全に不信、5 が完全に信用できるとして、1～5 のスケールで評価してください。**

Q47_2_интернет **Q47_3**_социальные сети **Q47_4**_друзья, знакомые **Q47_5**_государственные органы **Q47_6**_органы местного самоуправления 99 з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	**Q47_2**_internet **Q47_3**_social media **Q47_4**_friends and acquaintances **Q47_5**_state authorities **Q47_6.** local government 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	**Q47_1**_従来のメディア（テレビ、ラジオ、新聞） **Q47_2**_インターネット **Q47_3**_ソーシャルメディア **Q47_4**_友人・知人 **Q47_5**_国の機関 **Q47_6**_地方公共団体 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
F3. (Q48). В какую сторону изменилась Ваша жизнь из-за распространения коронавирусной инфекции? 1 ухудшилась 2 улучшилась 3 не изменилась 99 з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	**F3. (Q48). In what way has your life changed because of the spread of the coronavirus infection?** 1 worsened 2 improved 3 has not changed 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	**F3. (Q48). 新型コロナ感染症感染拡大によりあなたの生活はどのように変わりましたか。1 つ選んでください。** 1 悪くなった 2 よくなった 3 変わっていない 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
F4. (Q49). Как изменился Ваш доход из-за распространения коронавирусной инфекции? (*Выберите один вариант ответа*) 1 уменьшился 2 увеличился 3 не изменился 99 з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	**F4. (Q49). How has your income changed due to the spread of coronavirus infection? (Choose one answer)** 1 decreased 2 increased 3 has not changed 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	**F4. (Q49). 新型コロナ感染症感染拡大によりあなたの収入はどのように変わりましたか。1 つ選んでください。** 1 減少した 2 増加した 3 変わらない 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
F5. (Q50). Как поменялась Ваша ситуация с работой из-за распространения коронавирусной инфекции? **Q50_1**_уволились или перешли на другую работу	**F5. (Q50). How has your job situation changed because of the spread of the coronavirus infection?** **Q50_1**_quit or moved to another job	**F5. (Q50). コロナウイルス感染症の拡大により、あなたの仕事の状況はどのように変化しましたか？** **Q50_1**_退職または転職した

Q50_2_стали работать дистанционно более чем половину рабочих дней в неделю **Q50_3**_стали избегать часов пик при поездках на работу и с работы **Q50_4**_количество командировок уменьшилось более чем в половину **Q50_5T**_другое (_____) **Q50_6**_ничего не изменилось **Q50_7**_не работали до и в период пандемии 99 **Q50_99**_з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	**Q50_2**_started working remotely more than half of the working days per week **Q50_3**_started to avoid rush hours on the way to and from work **Q50_4**_number of business trips reduced by more than half **Q50_5T**_other (specify) **Q50_6**_nothing has changed **Q50_7**_did not work before and during the pandemic 99 **Q50_99**_no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	**Q50_2**_週の労働日の半分以上をオンライン勤務するようになった **Q50_3**_通勤・通学のラッシュアワーを避けるようになった **Q50_4**_出張の回数が半分以下になった **Q50_5T**_その他（具体的に） **Q50_6**_何も変わっていない **Q50_7**_パンデミック前とパンデミック中は仕事をしなかった 99 **Q50_99**_回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
F6. (Q51). На что Вы стали тратить больше времени в результате пандемии? **Q51_1**_рабочие задачи **Q51_2**_семейные дела **Q51_3**_общение с родственниками **Q51_4**_общение с соседями **Q51_5**_досуг, отдых, спорт **Q51_6**_волонтерская деятельность **Q51_7**_получение новых знаний и навыков **Q51_8T**_другое (_____) **Q51_9**_мое время на выполнение данных задач не изменилось 99 **Q51_99**_з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	**F6. (Q51). What have you spent more time on as a result of the pandemic?** **Q51_1**_work tasks **Q51_2**_family matters **Q51_3**_socialising with relatives **Q51_4**_socialising with neighbours **Q51_5**_leisure time, recreation, sports **Q51_6**_voluntary work **Q51_7**_gaining new knowledge and skills **Q51_8T**_other (specify) **Q51_9**_my time for these tasks has not changed 99 **Q51_99**_no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	**F6. (Q51). 新型コロナ感染症感染拡大によりかける時間数が増えたものをチェックして下さい。** **Q51_1**_仕事 **Q51_2**_家族との時間 **Q51_3**_親戚との付き合い **Q51_4**_近所との付き合い **Q51_5**_余暇・レクリエーション・スポーツ **Q51_6**_ボランティア活動 **Q51_7**_新しい知識や技術を身につけること **Q51_8T**_その他（具体的に） **Q51_9**_費やす時間は変わっていない 99 **Q51_99**_回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
F7. (Q52). Доверяете ли вы эффективности вакцин против коронавирусной инфекции? 1 абсолютно доверяю 2 скорее доверяю 3 скорее не доверяю 4 абсолютно не доверяю 99 з/о отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	**F7. (Q52). Do you trust the effectiveness of vaccines against coronavirus infection?** 1 absolutely trust 2 somewhat trust 3 somewhat do not trust 4 absolutely do not trust 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	**F7. (Q52). あなたは新型コロナ感染症に対するワクチンの有効性を信用していますか。1 つ選んでください。** 1 絶対的に信用している 2 どちらかといえば信用している 3 どちらかといえば信用していない

		4 全く信用していない 99 無回答、回答拒否（読まないでください）
F8. (Q53). Насколько эффективными для Вас лично оказались меры Правительства по борьбе с коронавирусной инфекцией? Оцените свой ответ по шкале от 1 до 5, где 1 – крайне неэффективны, 5 – крайне эффективны. 1 крайне неэффективны 2 3 4 5 крайне эффективны 99 з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	**F8. (Q53). How effective have government measures to control coronavirus infection been for you personally? Please rate your answer on a scale of 1 to 5, where 1 is absolutely ineffective, 5 is absolutely effective.** 1 absolutely ineffective 2 3 4 5 absolutely effective 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	**F8. (Q53). あなたは新型コロナ感染症に対する政府の政策は、あなたの生活にとってどの程度有効だと思いますか。1 つ選んでください。** 1 全く有効ではない 2 あまり有効ではない 3 どちらとも言えない 4 どちらといえば有効である 5 極めて有効である 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
F9. (Q54). Насколько эффективными для Вас лично и членов Вашей семьи стали меры материальной поддержки во время пандемии, оказанные со стороны разных людей и структур? Оцените Ваш ответ по шкале от 1 до 5, где 1 – крайне неэффективны, 5 – крайне эффективны **Q54_1**_государство **Q54_2**_органы местного самоуправления **Q54_3**_предприятие **Q54_4**_местная общественность **Q54_5**_соседи **Q54_6**_волонтерские организации, некоммерческие организации **Q54_7**_друзья, знакомые **Q54_8**_семья и родственники 0 не получили такой помощи 1. крайне неэффективны	**F9. (Q54). How effective were the material support measures provided by different people and institutions during the pandemic for you personally and your family members? Rate your answer on a scale of 1 to 5, where 1 is absolutely ineffective, 5 is absolutely effective.** **Q54_1**_state **Q54_2**_local authorities **Q54_3**_enterprise **Q54_4**_local community **Q54_5**_neighbours **Q54_6**_voluntary organisations, non-profit organisations **Q54_7**_friends, acquaintances **Q54_8**_family and relatives 0 did not receive no such support 1 absolutely ineffective 2	**F9. (Q54). 新型コロナ感染症の影響が広がる中での次の物的・金銭的支援は、あなた自身、およびあなたの家族にどの程度有効なものでしたか。当てはまるものをそれぞれお答えください。** **Q54_1**_国（政府）からの公的な支援 **Q54_2**_地方自治体からの公的な支援 **Q54_3**_企業（職場）からの支援 **Q54_4**_地域コミュニティーからの支援 **Q54_5**_近所・隣人からの支援 **Q54_6**_NGO・NPO・ボランティアからの支援 **Q54_7**_友人・知人からの支援 **Q54_8**_家族・親戚からの支援 0 支援を受けていない 1 全く有効ではない 2 あまり有効ではない 3 どちらとも言えない

2 3 4 5 крайне эффективны 99. з/о, отказ	3 4 5 absolutely effective 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	4 どちらといえば有効である 5 極めて有効である 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
G. СОЦИАЛЬНО-ПОЛИТИЧЕСКИЕ УСТАНОВКИ	**G. SOCIO-POLITICAL ORIENTATION**	**G. 社会政治的態度**
G1. (Q55). Насколько Вы согласны с утверждением о том, что государство должно стремиться уменьшать разницу в доходах между гражданами страны. Оцените свой ответ от 1 до 5, где 1 – абсолютно не согласен, 5 – абсолютно согласен 1 абсолютно не согласен 2 3 4 5 абсолютно согласен 6 з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	**G1. (Q55). To what extent do you agree with the statement that the state should strive to reduce the income gap between the citizens of the country. Rate your answer from 1 to 5, where 1 - strongly disagree, 5 - strongly agree.** 1 totally disagree 2 3 4 5 totally agree 6 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	**G1. (Q55).** あなたは「政府が人々の間の所得格差を減ずるべき」という意見に賛成しますか。1-5 で評価してください。1 つ選んでください。 1 完全に反対 2　どちらかといえば反対 3　賛成でも反対でもない 4　どちらかといえば賛成 5 完全に賛成 6 回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
G2. (Q56). Как бы Вы оценили политику президента и правительства в следующих областях за последние 5 лет? 1 – очень неэффективная 5 – очень эффективная **Q56_1**_создание новых рабочих мест с **Q56_2**_сокращение экономического неравенства **Q56_3**_стимулирование экономического роста **Q56_4**_развитие инфраструктуры **Q56_5**_обеспечение безопасности **Q56_6**_развитие образования и науки **Q56_7**_развитие системы здравоохранения **Q54_8**_защита окружающей среды	**G2. (Q56). How would you rate the policies of the president and government in the following areas over the last 5 years? 1 - very inefficient 5 - very efficient** **Q56_1**_creation of new jobs with **Q56_2**_reducing economic inequality **Q56_3**_stimulation of economic growth **Q56_4**_infrastructure development **Q56_5**_ensuring security **Q56_6**_development of education and science **Q56_7**_development of health care system **Q54_8**_environmental protection	**G2. (Q56).** この 5 年間のロシア政府の政策に関してあなたはどのように評価しますか。項目ごとに 1 つ選んでください。 **Q56_1**_雇用機会の創出 **Q56_2**_経済格差の縮小 **Q56_3**_景気刺激 **Q56_4**_インフラ整備 **Q56_5**_国の安全保障 **Q56_6**_教育・科学技術振興 **Q56_7**_医療制度の発展 **Q54_8**_環境対策

1 очень неэффективная 2 3 4 5 очень эффективная 6 з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	1 very inefficient 2 3 4 5 very effective 6 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	1 極めて悪い 2 悪い 3 良くも悪くもない 4 良い 5 極めて良い 6 回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
H. ХАРАКТЕРИСТИКА РЕСПОНДЕНТА	**H. RESPONDENT'S PROFILE**	**H. 回答者プロフィール**
H1. Образование **Q57**_скажите, какое у Вас образование? **Q58**_вашего мужа/ жены? **Q59**_вашего отца? **Q61**_вашей матери? **Q62**_вашего ближайшего друга? 1 начальное 2 неполное среднее 3 общее среднее 4 среднее специальное 5 незаконченное высшее 6 высшее гуманитарное, в т.ч. экономическое 7 высшее техническое или естественнонаучное 8 два высших образования, магистратура, аспирантура, кандидат или доктор наук 99. затрудняюсь ответить / отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	**H1. Education:** **Q57**_what is your educational background? **Q58**_your spouse's education? **Q59**_your father education? **Q61**_your mother's education? **Q62**_your closest friend's education? 1 primary 2 incomplete secondary education 3 general secondary education 4 secondary special 5 incomplete higher education 6 higher liberal arts education, including economics 7 higher technical or natural science education 8 two higher education degrees, master's, post-graduate, candidate or doctor of sciences 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	**H1. 教育レベルについて** **Q57**_あなたの学歴を教えてください。 **Q58**_主人・奥様 **Q59**_父 **Q61**_母 **Q62**_親しい友人 1 初等教育 2 8 年制中学校 3 中等普通教育 4 中等特殊教育 5 大学中退 6 経済学など人文社会科学系の大学 7 技術系あるいは自然科学系の大学 8 2 つの大学卒、修士、大学院、博士 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
H2.1. (Q63). Сколько членов Вашей семьи живут вместе с Вами, включая Вас? 1 ЗАПИШИТЕ ЧИСЛО СО СЛОВ РЕСПОНДЕНТА **Q63_1N**	**H2.1. (Q63). How many family members live with you, including yourself?** 1 FILL IN THE NUMBER FROM THE RESPONDENT'S ANSWER **Q63_1N**	**H2.1. (Q63). あなたを含め、何人のご家族と同居されていますか？** 1 同居家族 **Q63_1N_人数** 2 一人暮らし

2 ОТМЕТЬТЕ, ЕСЛИ РЕСПОНДЕНТ ЖИВЁТ ОДИН 99 ОТКАЗ	2 TICK IF THE RESPONDENT LIVES ALONE 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
Если Q63=1 **H2.2. (Q64). Сколько детей, внуков или других близких людей младше 18 лет живут вместе с Вами?** 0 Если нет детей, внуков или других близких людей младше 18 лет или они не живут с респондентом 1 ЗАПИШИТЕ ЧИСЛО СО СЛОВ РЕСПОНДЕНТА **Q64_1N** 2 ОТМЕТЬТЕ, ЕСЛИ РЕСПОНДЕНТ ЖИВЁТ ОДИН 99 ОТКАЗ	*If Q63=1* **H2.2. (Q64). How many children, grandchildren or other close persons under 18 years old live with you?** 0 If there are no children, grandchildren or other close persons under 18 or they do not live with the respondent. 1 FILL IN THE NUMBER FROM THE RESPONDENT'S ANSWER **Q64_1N** 2 TICK IF THE RESPONDENT LIVES ALONE 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	*Q63=1 の場合* **H2.2. (Q64). 同居している 18 歳未満の子ども、孫、その他の近親者は何人ですか？** **0 18 歳未満の子、孫、その他の親族がいない、または同居していない場合** 1 18 歳未満の同居家族　**Q64_1N_人数** 2 一人暮らし 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと）
H3. (Q65). Что из перечисленного является для Вас источниками дохода? (Отметьте все, что относится к Вашей семье). **Q65_1**_зарплата по основному месту работы **Q65_2**_пенсии, пособия, алименты, помощь от государства и общественных организаций и т.д. **Q65_3**_собственный бизнес **Q65_4**_совместительство **Q65_5**_разовые приработки, заработки от случая к случаю **Q65_6**_доходы от собственности, сдачи в аренду имущества, проценты по вкладам **Q65_7**_помощь, получаемая от родственников, друзей, соседей и т.п. **Q65_8**_подсобное хозяйство, дача, приусадебный участок **Q65_9**_другое (_____) 99 **Q65_99**_з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	**H3. (Q65). Which of the following are your sources of income? (Mark all that are relevant to your family).** **Q65_1**_salary from your main job **Q65_2**_pensions, allowances, alimony, help from the state and public organizations, etc. **Q65_3**_own business **Q65_4**_outside employment (second job) **Q65_5**_occasional earnings, one-time work **Q65_6**_income from property, rental property, interest on deposits **Q65_7**_material aid received from relatives, friends, neighbours, etc. **Q65_8**_subsistence farming, dacha, garden plot **Q65_9**_other (specify) 99 **Q65_99**_no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	**H3. (Q65). あなたの収入源は次のうちどれですか？(あなたのご家族に該当するものすべてにチェックを入れてください)** **Q65_1**_主たる勤務先からの給与 **Q65_2**_年金、手当、扶養手当、国や公的機関からの援助など **Q65_3**_自営業からの収入 **Q65_4**_副業 **Q65_5**_1 回きりの仕事（日雇い）、非正規の仕事 **Q65_6**_不動産、賃貸物件、預金利息からの収入 **Q65_7**_親族、友人、隣人などから受けた援助 **Q65_8**_個人副業経営、ダーチャ、家庭菜園 **Q65_9**_その他 (具体的に) 99 **Q65_99**_回答拒否または答えられない（読み上げないこと）

H4. (Q66-Q73). Каков Ваш собственный среднемесячный доход (Ваша зарплата, пенсия, приработки и т.д.)? *ЕСЛИ ЗАТРУДНЯЕТСЯ С ОТВЕТОМ, ЗАЧИТАЙТЕ ВАРИАНТЫ – ДЛЯ КАЖДОГО ФЕДЕРАЛЬНОГО ОКРУГА СВОИ ГРАНИЦЫ ДОХОДА* **Центральный Федеральный Округ [Q66** *Если Q6001=1***]** 1 менее 21 000 2 от 21 000 до 30 000 3 от 31 000 до 50 000 4 от 51 000 до 81 000 5 82 000 и более **Северо-Западный Федеральный Округ [Q67** *Если Q6001=2***]** 1 менее 18 000 2 от 18 000 до 26 000 3 от 27 000 до 44 000 4 от 45 000 до 71 000 5 72 000 и более **Южный Федеральный Округ [Q68** *Если Q6001=3***]** 1 менее 12 000 2 от 12 000 до 17 000 3 от 18 000 до 28 000 4 от 29 000 до 45 000 5 46 000 и более **Северо-Кавказский Федеральный Округ [Q69** *Если Q6001=4***]** 1 менее 10 000 2 от 10 000 до 14 000 3 от 15 000 до 24 000 4 от 25 000 до 39 000	**H4. (Q66-Q73). What is your own average monthly income (your salary, pension, earnings, etc.)?** *IF IT IS DIFFICULT TO ANSWER, READ OUT THE OPTIONS - EACH FEDERAL DISTRICT HAS DIFFERENT INCOME LEVELS* **Central Federal District [Q66** *If Q6001=1***]** 1 less than 21 000 2 21 000 to 30 000 3 31 000 to 50 000 4 51 000 to 81 000 5 more than 82 000 **North-West Federal District [Q67** *If Q6001=2***]** 1 less than 18 000 2 18 000 to 26 000 3 27 000 to 44 000 4 45 000 to 71 000 5 more than 72 000 **Southern Federal District [Q68** *If Q6001=3***]** 1 less than 12 000 2 12 000 to 17 000 3 18 000 to 28 000 4 29 000 to 45 000 5 more than 46 000 **North Caucasian Federal District [Q69** *If Q6001=4***]** 1 less than 10 000 2 10 000 to 14 000 3 15 000 to 24 000 4 25 000 to 39 000 5 more than 40 000	**H4. (Q66-Q73).** あなた自身の平均月収（ルーブルでの給与、年金、収入など）を教えてください。 連邦区ごとに所得基準が異なります。 *回答が難しい場合は、選択肢を読み上げてください* 中央連邦管区　**[Q66** *If Q6001=1***]** 1 21 000 以下 2 21 000～30 000 3 31 000～50 000 4 51 000～81 000 5 82 000 以上 北西連邦管区　**[Q67** *If Q6001=2***]** 1 18 000 以下 2 18 000～26 000 3 27 000 ～44 000 4 45 000～71 000 5 72 000 以上 南連邦管区　**[Q68** *If Q6001=3***]** 1 12 000 以下 2 12 000～17 000 3 18 000～28 000 4 29 000～45 000 5 46 000 以上 北カフカス連邦管区**[Q69** *If Q6001=4***]** 1 10 000 以下 2 10 000～14 000 3 15 000～24 000 4 25 000～39 000 5 40 000 以上

5 40 000 и более **Приволжский Федеральный Округ [Q70 Если Q6001=5]** 1 менее 12 000 2 от 12 000 до 17 000 3 от 18 000 до 28 000 4 от 29 000 до 46 000 5 47 000 и более **Уральский Федеральный Округ [Q71 Если Q6001=6]** 1 менее 17 000 2 от 17 000 до 25 000 3 от 26 000 до 42 000 4 от 43 000 до 68 000 5. 69 000 и более **Сибирский Федеральный Округ [Q72 Если Q6001=7]** 1 менее 14 000 2 от 14 000 до 20 000 3 от 21 000 до 34 000 4 от 35 000 до 55 000 5 56 000 и более **Дальневосточный Федеральный Округ [Q73 Если Q6001=8]** 1 менее 19 000 2 от 19 000 до 27 000 3 от 28 000 до 47 000 4 от 48 000 до 75 000 5 76 000 и более 99 ОТКАЗ	**Volga Federal District [Q70 If Q6001=5]** 1 less than 12 000 2 12 000 to 17 000 3 18 000 to 28 000 4 29 000 to 46 000 5 more than 47 000 **Ural Federal District [Q71 If Q6001=6]** 1 less than 17 000 2 17 000 and 25 000 3 26 000 to 42 000 4 43 000 to 68 000 5 More than 69 000 **Siberian Federal District [Q72 if Q6001=7]** 1 less than 14 000 2 14 000 to 20 000 3 21 000 to 34 000 4 35 000 to 55 000 5 more than 56 000 **Far East Federal District [Q73 If Q6001=8]** 1 less than 19 000 2 19 000 to 27 000 3 28 000 to 47 000 4 48 000 to 75 000 5 more than 76 000 or more 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	**沿ヴォルガ連邦管区[Q70 If Q6001=5]** 1 12 000 以下 2 12 000～17 000 3 18 000～28 000 4 29 000～46 000 5 47 000 以上 **ウラル連邦管区[Q71 If Q6001=6]** 1 17 000 以下 2 17 000～25 000 3 26 000～42 000 4 43 000～68 000 5 69 000 以上 **シベリア連邦管区[Q72 if Q6001=7]** 1 14 000 以下 2 14 000～20 000 3 21 000～34 000 4 35 000～55 000 5 56 000 以上 **極東連邦管区　[Q73 If Q6001=8]** 1 19 000 以下 2 19 000～27 000 3 28 000～47 000 4 48 000～75 000 5 76 000 以上 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと

H5. (Q74). Есть ли у других членов вашей семьи источники дохода? 1 Да 2 Нет 99 з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	**H5. (Q74). Do other members of your family have sources of income?** 1 yes 2 no 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	**H5. (Q74). あなたの家族の他のメンバーは、収入源を持っていますか？** 1 はい 2 いいえ 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと
H6. (Q75). Что из нижеперечисленного характеризует Ваше финансовое положение в настоящее время? Выберете все, что Вам подходит **Q75_1**_у меня имеются сбережения, на которые можно прожить более одного года **Q75_2**_у меня имеются сбережения, на которые можно прожить лишь непродолжительное время **Q75_3**_у меня есть непогашенные кредиты в банке или других финансовых организациях **Q75_4**_у меня есть непогашенные кредиты, предоставленные по месту работы **Q75_5**_у меня есть большие долги перед частными физическими лицами **Q75_6**_у меня есть небольшие накопленные долги **Q75_7**_у меня есть задолженность по аренде более чем за 2 месяца **Q75_8**_ничего из вышеперечисленного 99 **Q75_99**_ з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	**H6. (Q75). Which of the following best characterises your financial situation at present? Choose all that applies to you.** **Q75_1**_I have savings to live on for more than one year **Q75_2**_I have some money to live on for a short time **Q75_3**_I have outstanding loans from a bank or other financial institutions **Q75_4**_I have outstanding loans from my workplace **Q75_5**_I have large debts to private individuals **Q75_6**_I have small accumulated debts **Q75_7**_I have more than 2 month-rent arrears **Q75_8**_none of the above 99 **Q75_99**_ no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	**H6. (Q75). 現在のあなたの家計状況は、次のうちどれに当てはまりますか？自分に合ったものを全て選んでください。** **Q75_1**_1 年以上生活できる貯蓄がある **Q75_2**_短期間でも生活できる資金がある **Q75_3**_銀行などの金融機関からの借入残高がある **Q75_4**_勤務先からの借入金残高がある **Q75_5**_個人に対して多額の借金がある **Q75_6**_少額の累積債務がある **Q75_7**_家賃の滞納が 2 ヶ月以上ある **Q75_8**_どれでもない 99 **Q75_99**_回答拒否または答えられない（読み上げないこと
H7. (Q76). Каково Ваше трудовое положение в настоящее время? Вы… 1 работаете по найму полный рабочий день (в том числе работающий пенсионер или работающий студент)	**H7. (Q76). What is your current employment situation?** 1 full-time employment (including a working pensioner or a working student) 2 self-employed part-time (this includes a working pensioner or a working student)	**H7. (Q76).あなたの現在の雇用形態は？** 1 正社員（働きながら年金ももらっている人、社会人学生も含む） 2 パートタイムの自営業（働きながら年金ももらっている人、社会人学生も含む） 3 自営業、家族経営、農業（自営業者）

2 работаете по найму неполный рабочий день (в том числе работающий пенсионер или работающий студент) 3 работаете на себя, в семейном бизнесе, фермерском хозяйстве (самозанятый) 4 работаете без оплаты (волонтёрство или стажировка) 5 неработающий студент учебного заведения 6 не работаете по состоянию здоровья/ инвалид 7 временно без работы, но ищете работу 8 находитесь в декретном отпуске или в отпуске по уходу за ребенком 9 занимаетесь домашним хозяйством, воспитываете детей 10 неработающий пенсионер 98 **Q76_98T**_другое (что именно_____) 99 з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	3 self-employed, in a family business or farm (self-employed) 4 working without pay (voluntary work or internship 5 student not working 6 unemployed for health reasons/disabled 7 temporarily unemployed but looking for job 8 maternity or parental leave 9 housewife or carer of children 10 not working pensioner 98 **Q76_98T**_other (specify) 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	4 無給で働いている（ボランティア、インターンシップ） 5 働いていない学生 6 健康上の理由によって働いていない／身体障害者 7 一時的に失業しているが、仕事を探している 8 出産・育児休暇 9 主婦・育児 10 未就労年金受給者 98 **Q76_98T**_その他 (具体的に) 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと
Если Q76<5 **H8. (Q77). Кем Вы работаете в настоящее время? Работающие в нескольких местах указывают работу, на которой получают основной доход; работающие пенсионеры отмечают, кем они сейчас работают.** 1 предприниматель, имеющий наемных работников 2 руководитель, заместитель руководителя предприятия или учреждения 3 руководитель среднего или низшего звена 4 специалист на должности, предполагающей высшее образование, в т.ч. офицеры 5 самозанятый или имеющий чисто семейный бизнес 6 служащий на должности, не требующей высшего образования (в т.ч. офисные работники, неофицерский состав силовых структур,	*If Q76<5* **H8. (Q77). What is your current job? Those working in more than one place indicate the job in which they earn their main income; working pensioners indicate what they are currently employed as.** 1 entrepreneur with employees in his subordinacy 2 manager or deputy manager of an enterprise or institution 3 middle or lower rank manager 4 specialist in a position involving higher education, including administrative officers 5 self-employed or having a purely family business 6 employee in a position that does not require higher education (including office workers, uniformed services personnel, laboratory	*Q76<5の場合* **H8. (Q77). 現在のお仕事について教えてください。複数の職場で働いている人は、主な収入を得ている仕事を、働いている年金受給者は、現在就いている仕事を教えてください。** 1 従業員を雇っている起業家 2 企業・機関の経営者またはサブ経営者 3 中小企業経営者 4 高等教育を前提とする職務における専門家（軍士官を含む） 5 「自営業」または純粋の家族経営 6 高等教育を必要としない職種の従業員（事務職、保安機関の制服組、実験室の助手、司書、秘書、受付係などを含む。） 7 商業やサービス業に従事する一般労働者 8 5 類労働者

лаборанты, библиотекари, секретари, администраторы и т.д.) 7 рядовой работник торговли или сферы бытовых услуг 8 рабочий от 5 разряда 9 рабочий (3-4 разряд) 10 рабочий (1-2 разряд и без разряда, разнорабочий) 11 **Q77_11T**_другое (указать что именно _____) 99 з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	technicians, librarians, secretaries, administrators, etc.) 7 ordinary employee in trade or consumer services 8 blue-collar employee from the 5th category onwards 9 employee (3rd-4th category) 10 employee (1st-2nd category and without category, handyman) 11 **Q77_11T**_other (specify) 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	9 労働者（3～4 類） 10 作業員（1-2 類、区分外、雑役労働者） 11 **Q77_11T] [Q76_98T**_その他 (具体的に) 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと
Если Q76<5 **H9. (Q78). Если говорить о Вашей нынешней работе, то можете ли Вы сказать, что Вы...?** 1 способны повлиять на принятие решений в масштабах всего предприятия 2 способны повлиять на принятие решений в масштабах Вашего подразделения 3 от Вашего мнения у Вас на работе практически ничего не зависит 99 з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	*If Q76<5* **H9. (Q78). Talking about your current job, can you say that...?** 1 you are able to influence enterprise-wide decision-making process 2 you are able to influence decision making across your unit/department 3 virtually nothing at work depends on your opinion 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	*Q76<5 の場合* **H9. (Q78). 現在の仕事にかんして、あなたは...** 1 組織全体の意思決定に影響を与えることができる 2 部署全体の意思決定に影響を与えることができる 3 仕事では事実上、あなたの意見に左右されることは何もない 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと
Если Q76<5 **H10. (Q79). Какой у Вас стаж работы на нынешнем рабочем месте?** **Q79_1T**_ВСТАВЬТЕ ЧИСЛО ЛЕТ СО СЛОВ РЕСПОНДЕНТА 99 ОТКАЗ ОТ ОТВЕТА	*If Q76<5* **H10. (Q79). What is your length of service in your current job?** **Q79_1T**_INSERT THE NUMBER OF YEARS AS REPORTED BY THE RESPONDENT 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	*Q76<5 の場合* **H10. (Q79). 現在の職場での勤続年数を教えてください。** **Q79_1T**_勤続年数 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと
Если Q76<5 **H11. (Q80). Укажите, пожалуйста, тип собственности предприятия, где Вы работаете.**	*If Q76<5* **H11. (Q80). Indicate the type of ownership of the enterprise where you currently work.**	*Q76<5 の場合* **H11. (Q80). あなたが働いている会社の所有形態をお答えください。**

Работающие в нескольких местах указывают работу, на которой получают основной доход; работающие пенсионеры отмечают, где они сейчас работают. 1 государственное 2 частное российское 3 частное иностранное 4 **Q80_4T_** другое (указать что именно) (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ) 99 з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	**Those working in more than one place indicate the job where they earn their main income; working pensioners indicate where they currently work.** 1 state 2 private Russian 3 private foreign 4 **Q80_4T_**other (specify what) (DO NOT READ) 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	**複数の職場で働いている方は主な収入を得ている仕事を、働いている年金受給者は現在働いている職場を記入してください。** 1 国営 2 ロシアの民間 3 外資系の民間 4 **Q80_4T_**その他（具体的に） 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと
Если Q76<5 **H12. (Q81). Если бы у Вас была возможность сменить место работы, где бы Вы хотели работать?** 1 государственное (бюджетное) предприятие 2 частная российская компания 3 частная иностранная компания 4 некоммерческая организация 5 индивидуальная предпринимательская деятельность 6 самозанятость 7 другое (указать что именно) (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ) 99 з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	*If Q76<5* **H12. (Q81). If you had the opportunity to change your jobs, where would you like to work?** 1 state (state-financed) enterprise 2 private Russian company 3 private foreign company 4 non-profit organisation 5 individual entrepreneurial activity 6 self-employment 7 other (specify what) (DO NOT READ) 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	*Q76<5 の場合* **H12. (Q81).もし、転職する機会があれば、どこで働きたいですか？** 1 国営（国の予算でまかわれている）企業 2 ロシアの民間企業 3 外資系民間企業 4 非営利組織 5 個人起業家活動 6 自営業 7 その他（具体的に） 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと
H13. (Q82). Как долго Вы проживаете в Вашем населенном пункте? 1 менее года 2 1-5 лет 3 6-10 лет 4 11-20 лет 5 21-30 лет	**H13. (Q82). How long have you lived in your locality?** 1 less than a year 2 1-5 years 3 6-10 years 4 11-20 years 5 21-30 years	**H13. (Q82). あなたの地元に住んでいる期間はどのくらいですか？** 1 1 年未満 2 1～5 年 3 6～10 年 4 11～20 年

6 более 30 лет 99 з/о, отказ (НЕ ЗАЧИТЫВАТЬ)	6 over 30 years of age 99 no answer, refuse to answer (DO NOT READ)	5 21～30 歳 6 30 歳以上 99 回答拒否または答えられない（読み上げないこと